

ISBN978-4-902948-29-5
C0074 ¥3000E

定価: 本体3000円+税

STYLE



9784902948295



1920074030002

村田峻治

ANIMATION WORKS

車輛設定資料

MURATA TOSHIHARU
ANIMATION WORKS
REFERENCE FOR DRAWING
AUTOMOBILES

STYLE

村田峻治
ANIMATION WORKS
車輛設定資料

STYLE

MURATA TOSHIO HARU ANIMATION WORKS REFERENCE FOR DRAWING AUTOMOBILES

004	逮捕しちゃうぞ
098	エクストライバー
116	ああ女神さまっ
134	GetBackers -奪還屋-
142	索引
144	対談 村田峻治×藤島康介

本書について

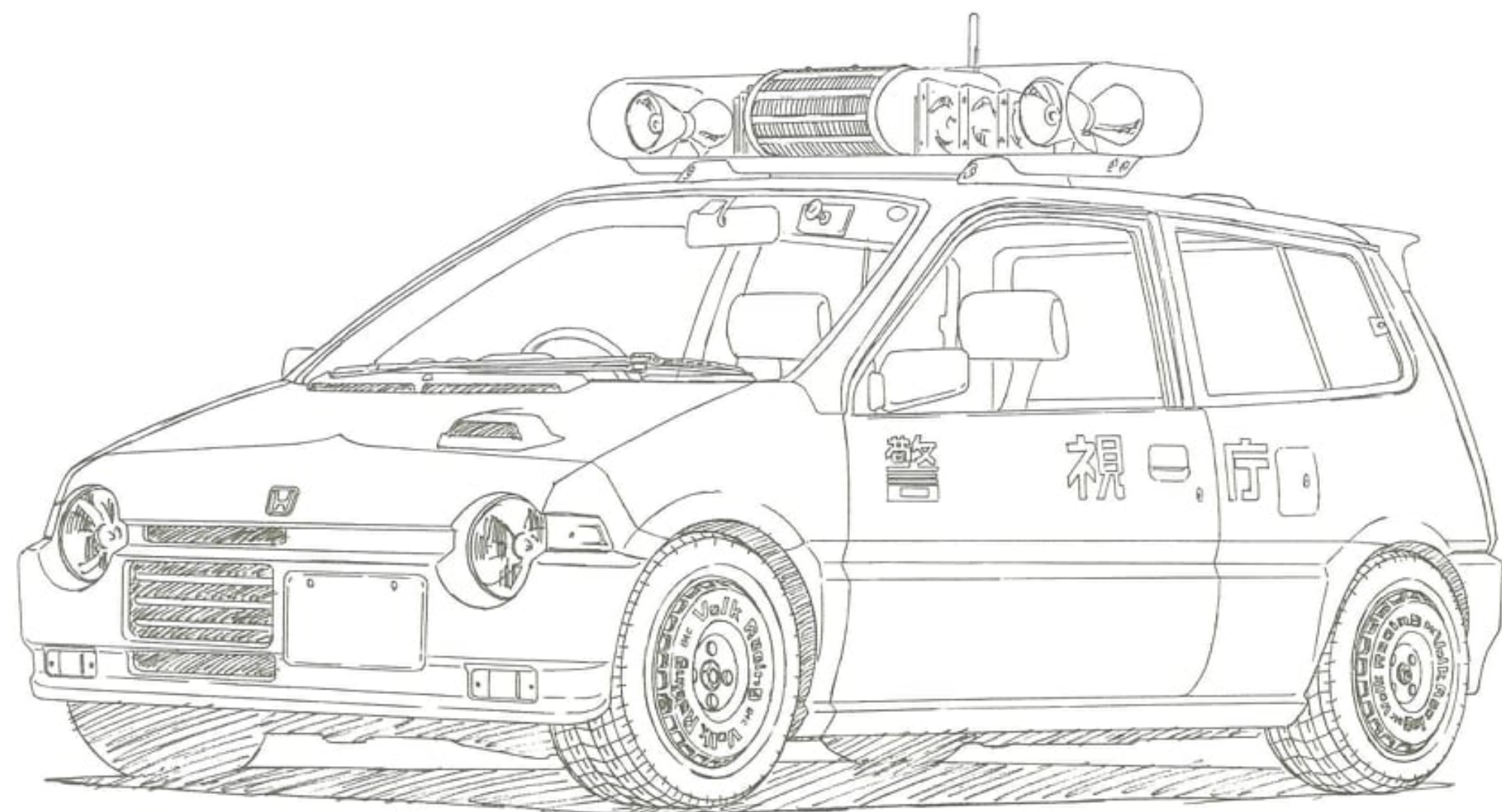
『村田峻治 ANIMATION WORKS 車輛設定資料』は、アニメーター、デザイナーである村田峻治が、アニメーションの制作過程で描いた四輪車やバイク等の車輛に関する設定画を収録した書籍である。収録した設定画は『逮捕しちゃうぞ』『エクストライバー』『ああ女神さまっ』『GetBackers -奪還屋-』のために描かれたものだ。編集作業は村田峻治自身が所有していた設定画を用いて行った。また、より見やすくするために、設定画内の画の配置をオリジナルの資料から若干調整したものがあることをお断りしておく。

なお、図版のキャプションについては、車輛名が「BMW」のようにアルファベットで呼称されるものはアルファベットにて記載を行い、トゥデイ等のカタカナで呼称する慣例がある車輛名はカタカナにて記載している。

村田峻治プロフィール

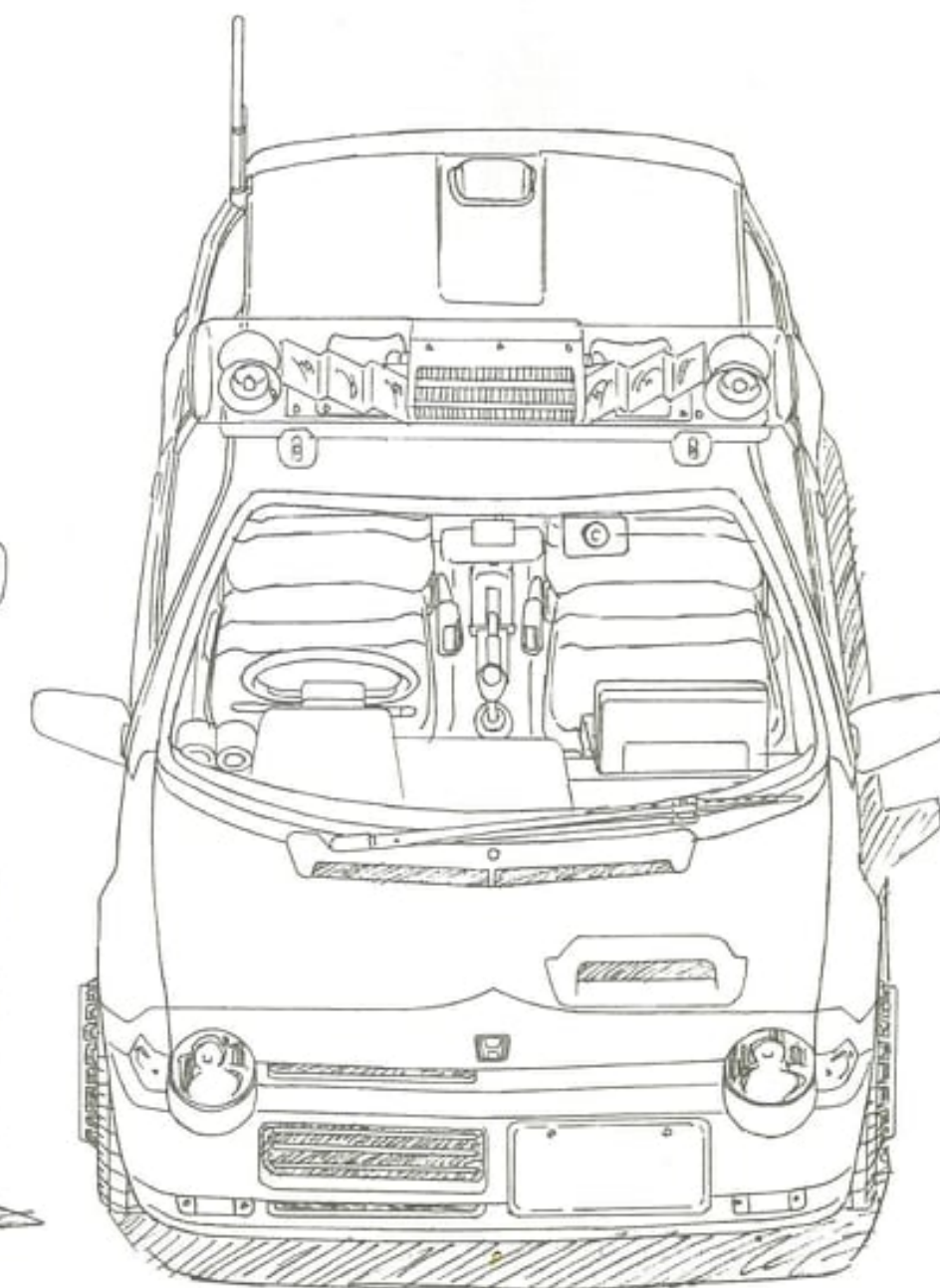
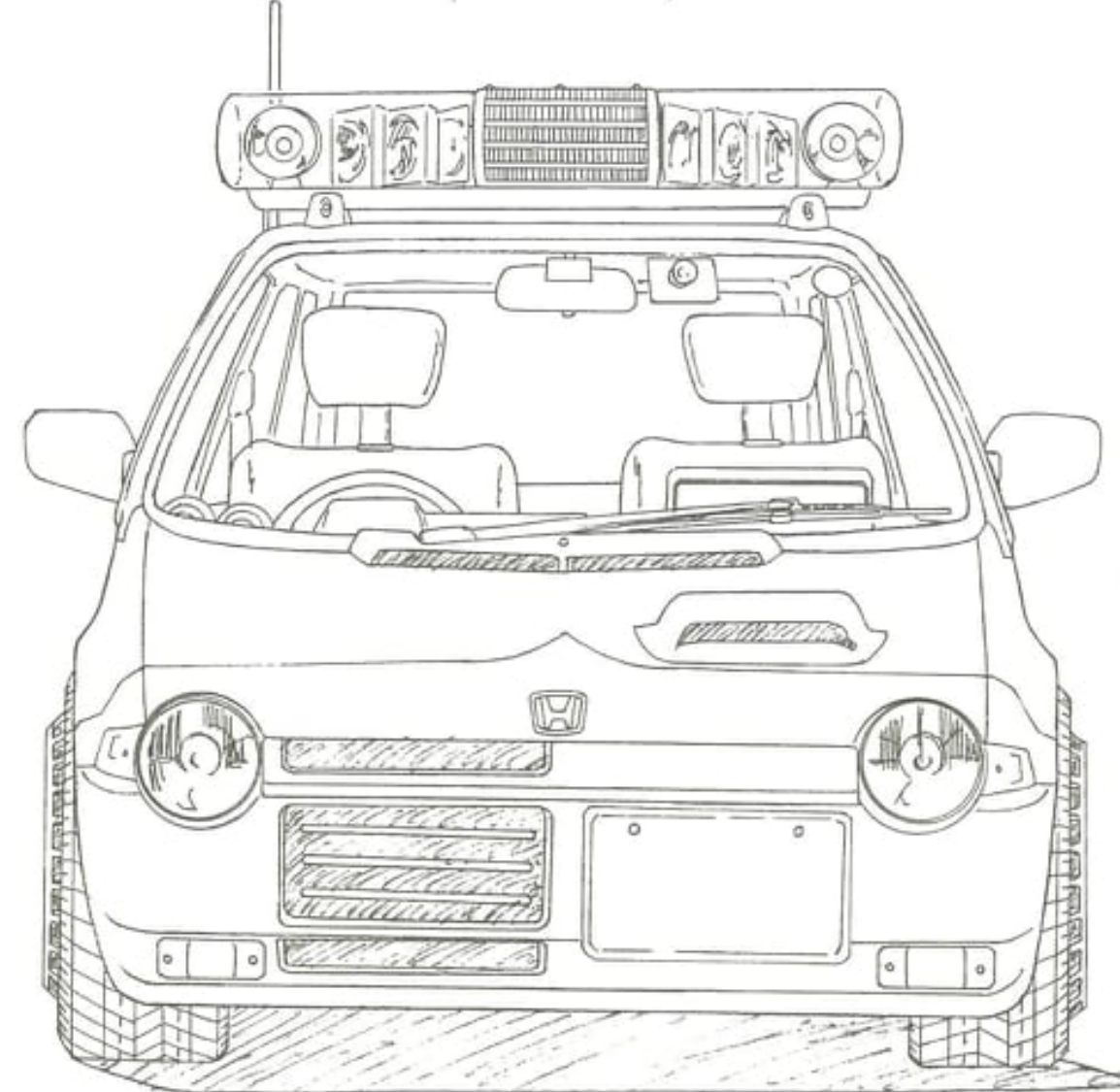
アニメーター、デザイナー。亜細亜堂、スタジオジブリ等を経てフリー。代表作に『逮捕しちゃうぞ』シリーズ（メカニックデザイン）、『EAT-MAN』（キャラクターデザイン・作画監督）、『機動警察パトレイバー [劇場版]』（原画）、『GUIN SAGA』（キャラクターデザイン・総作画監督）、『BATMAN GOTHAM KNIGHT』『Field Test』（キャラクターデザイン）等。

美幸のTODAY①(改)



94.1.15
by T. MURATA

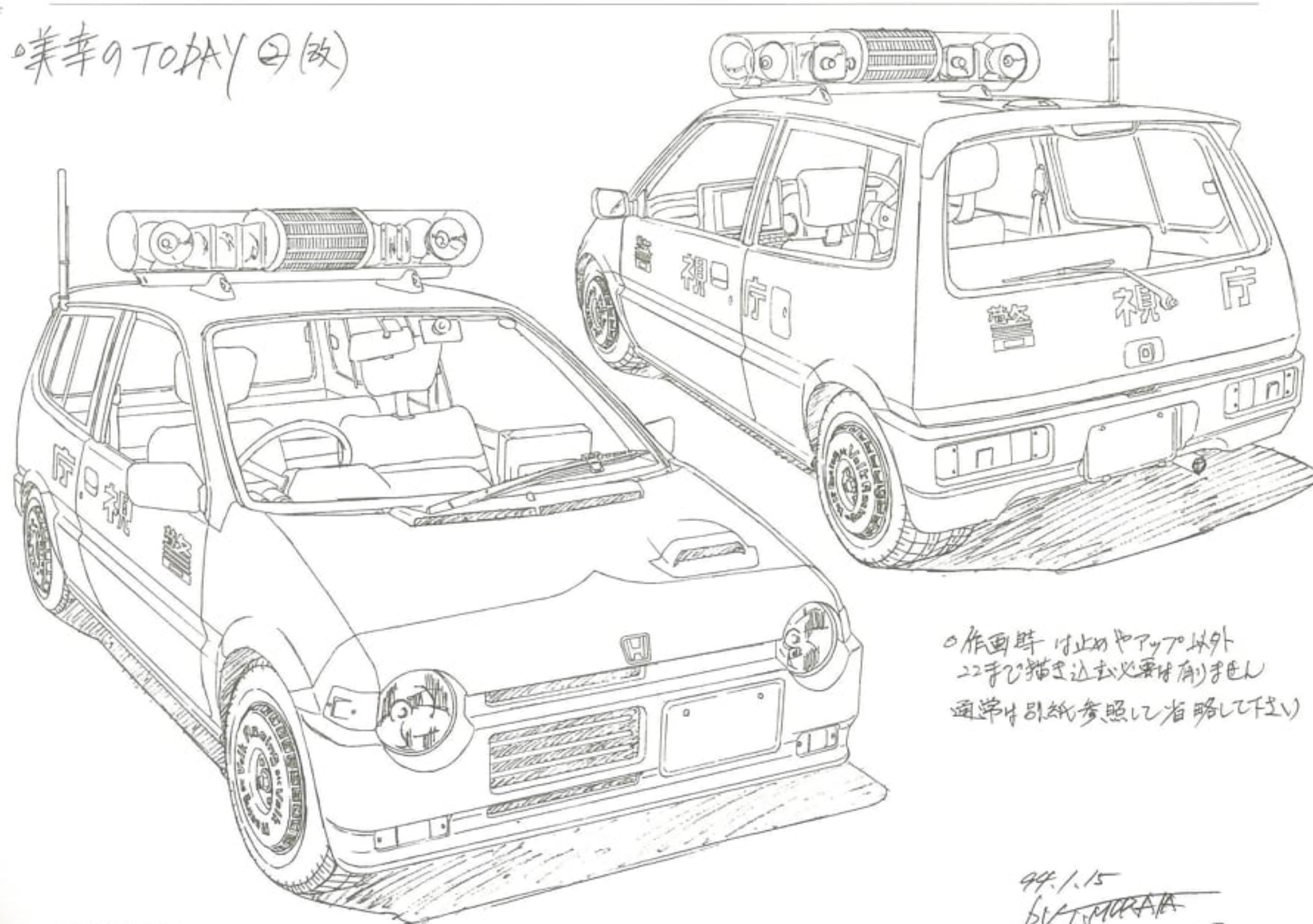
美幸のTODAY②(改)



94.1.15
by T. MURATA

4

美幸のTODAY③(改)



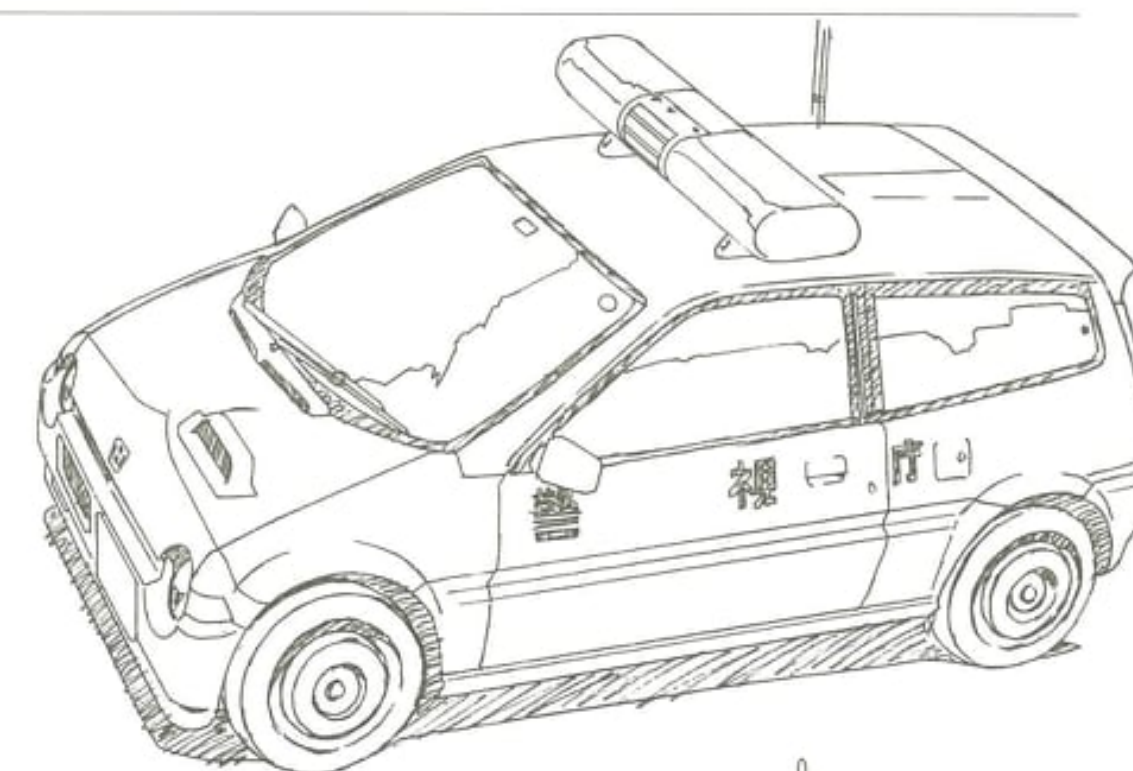
○作画時 付止めやアップ以外
の事は描き込めなくてもいい
通常は引紙参照に省略して下さい

94.1.15
by T. MURATA

ホンダ トゥデイ

5

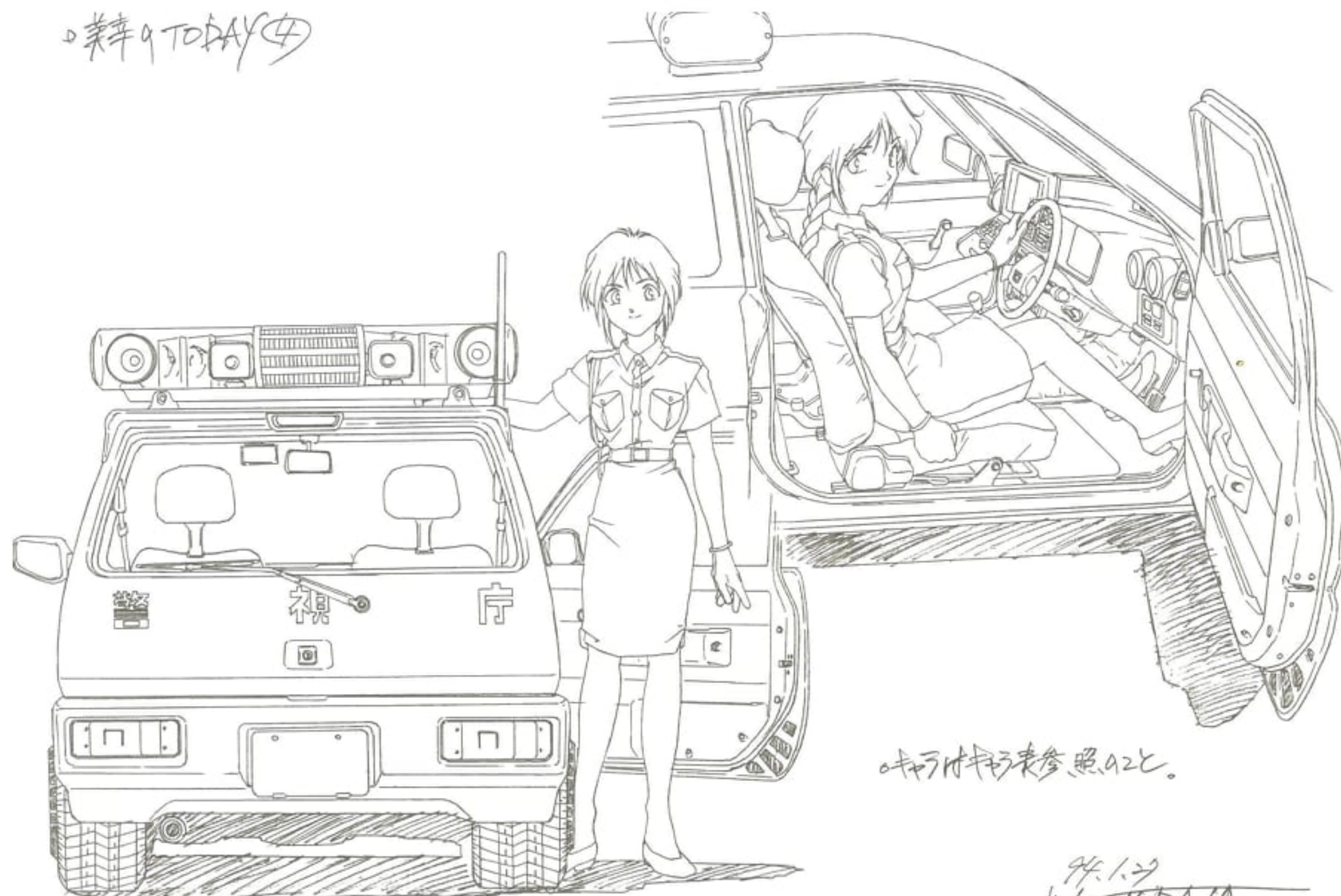
美幸のTODAY④



94.1.15
by T. MURATA

ホンダ トゥデイ

0 雑草の TODAY (4)



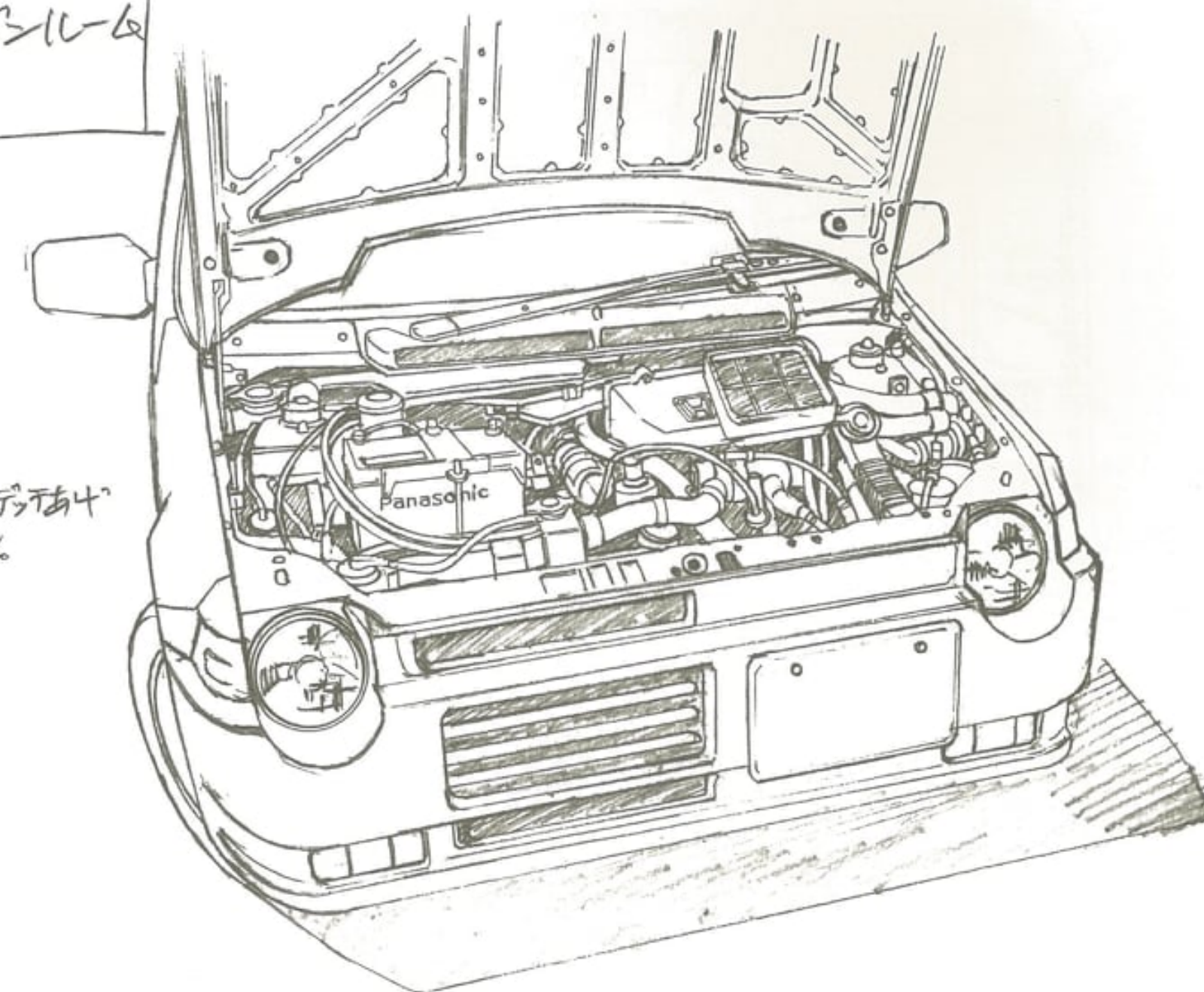
キャラ付け参考 照りこ.

94.1.27
by T. MURATA

ホンダ トゥデイ

TODAY エンジンルーム
全

※細かい所は
それらしき物で
2台も作りました。

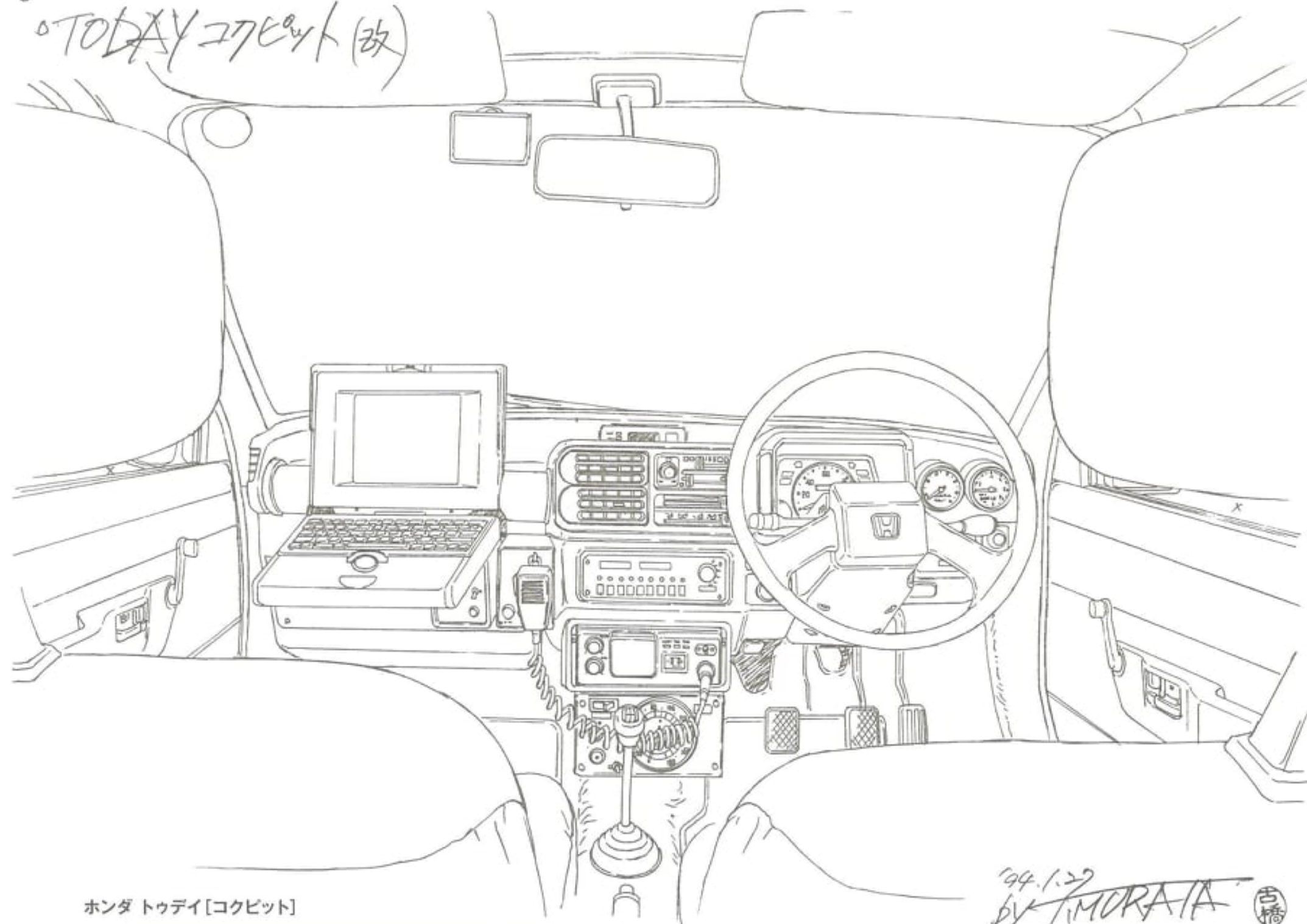


1996.9.18
by T. MURATA

ホンダ トゥデイ [エンジンルーム]

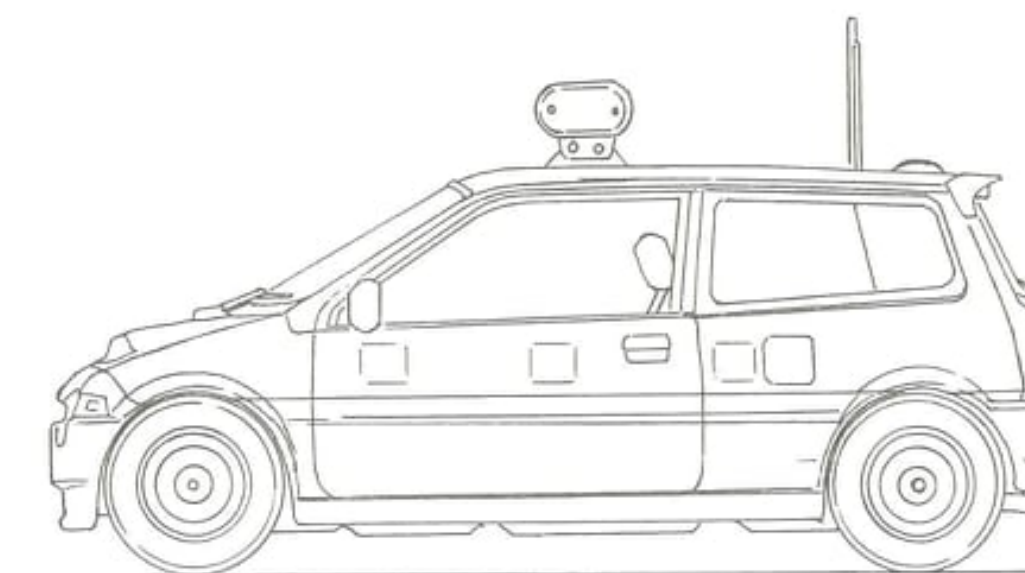
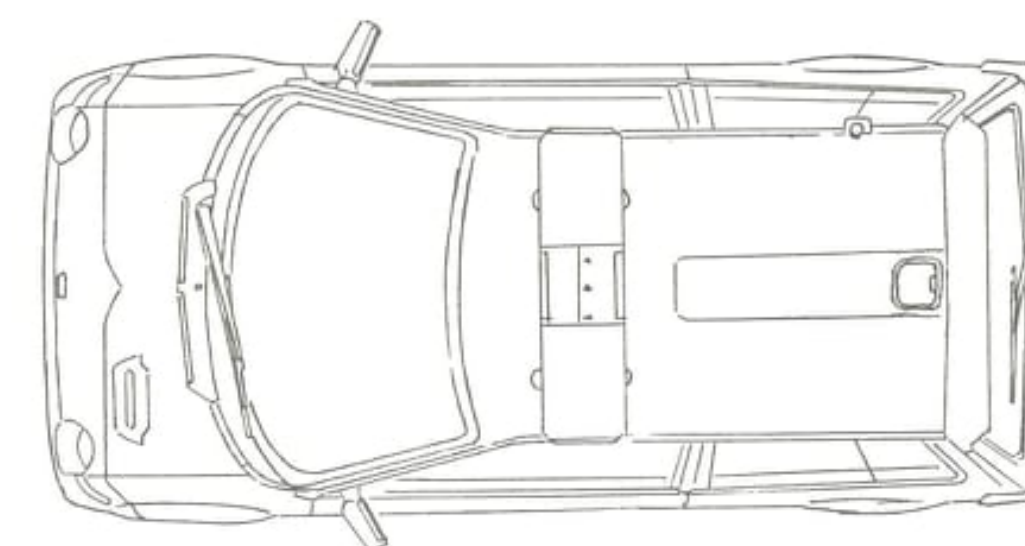
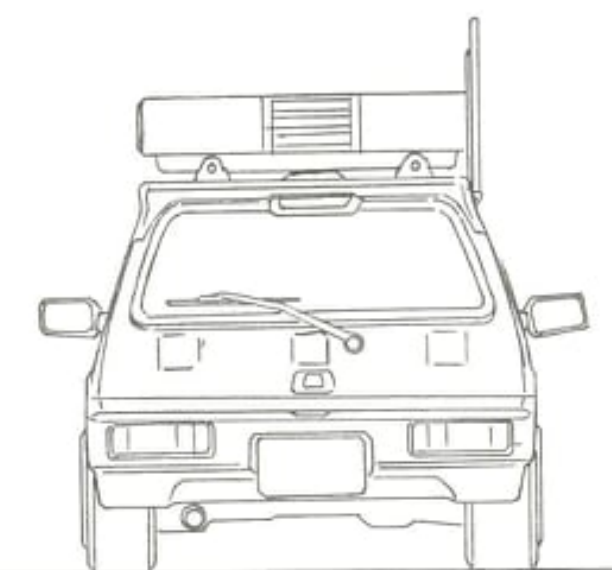
6

0 TODAY コックピット (改)



ホンダ トゥデイ [コックピット]

94.1.27
by T. MURATA

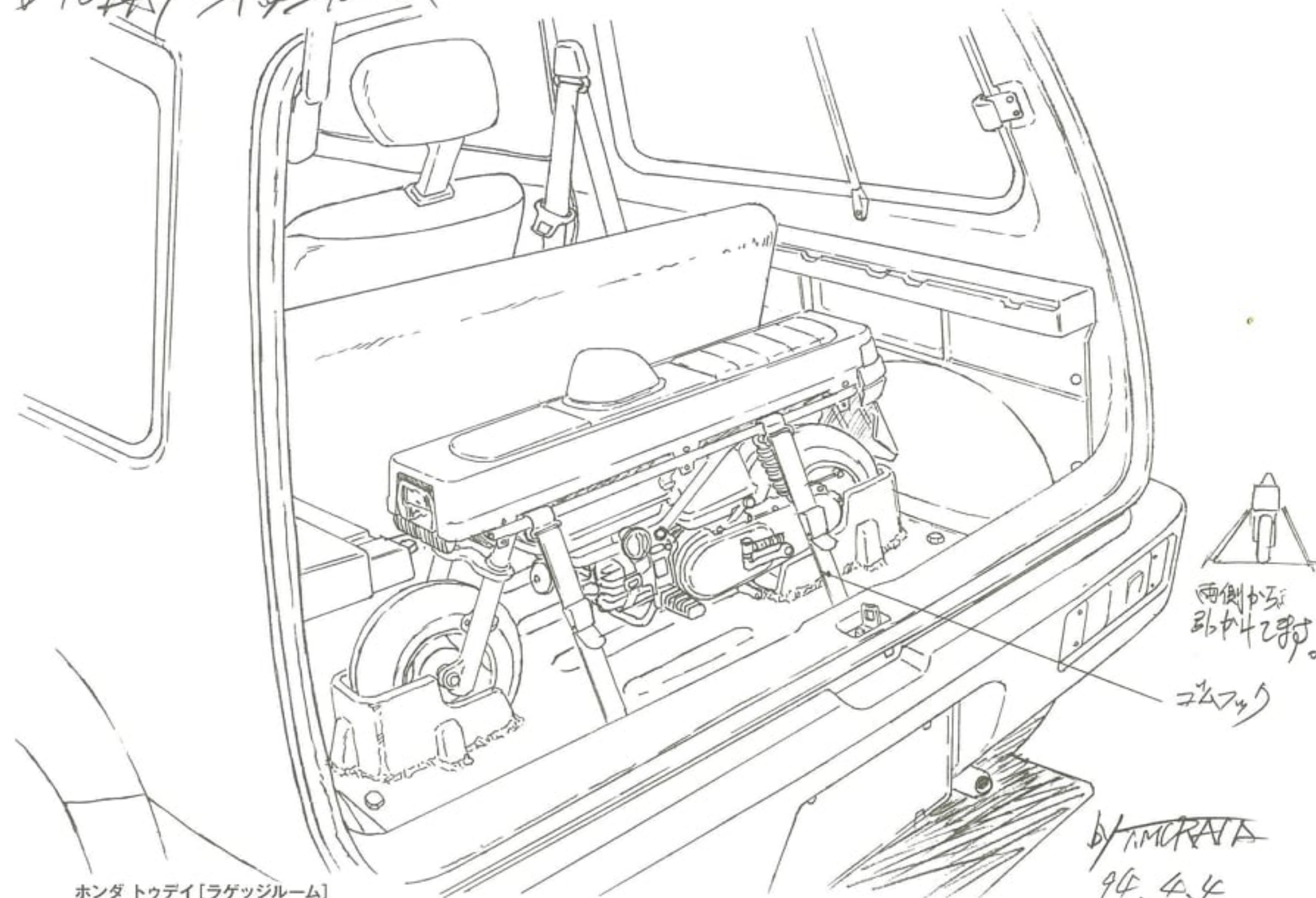


ホンダ トゥデイ [四面図]

1994.2.16
by T. MURATA

7

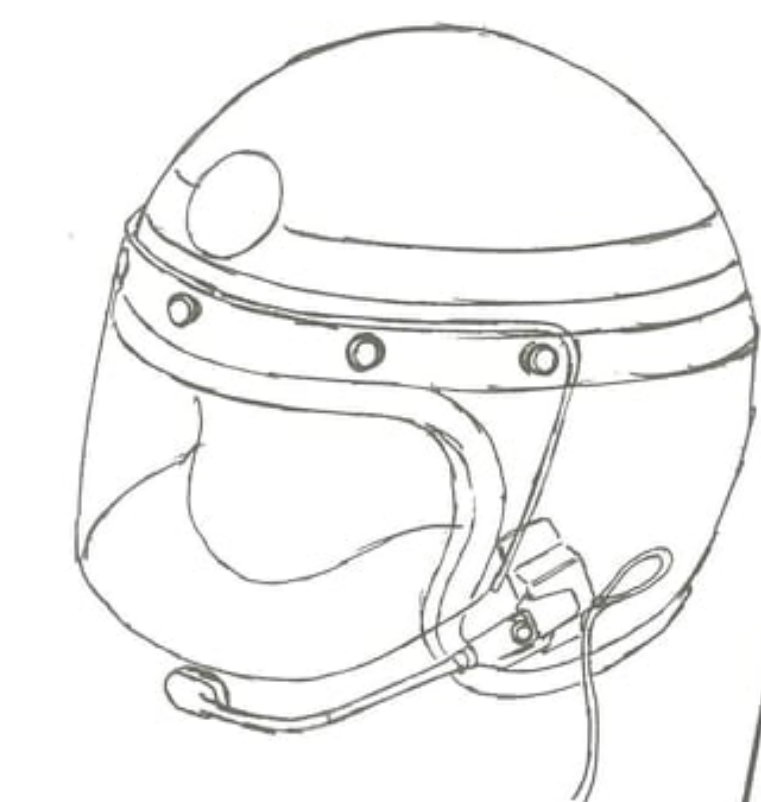
▷ TODAY ラゲッジルーム



ホンダ トッデイ [ラゲッジルーム]

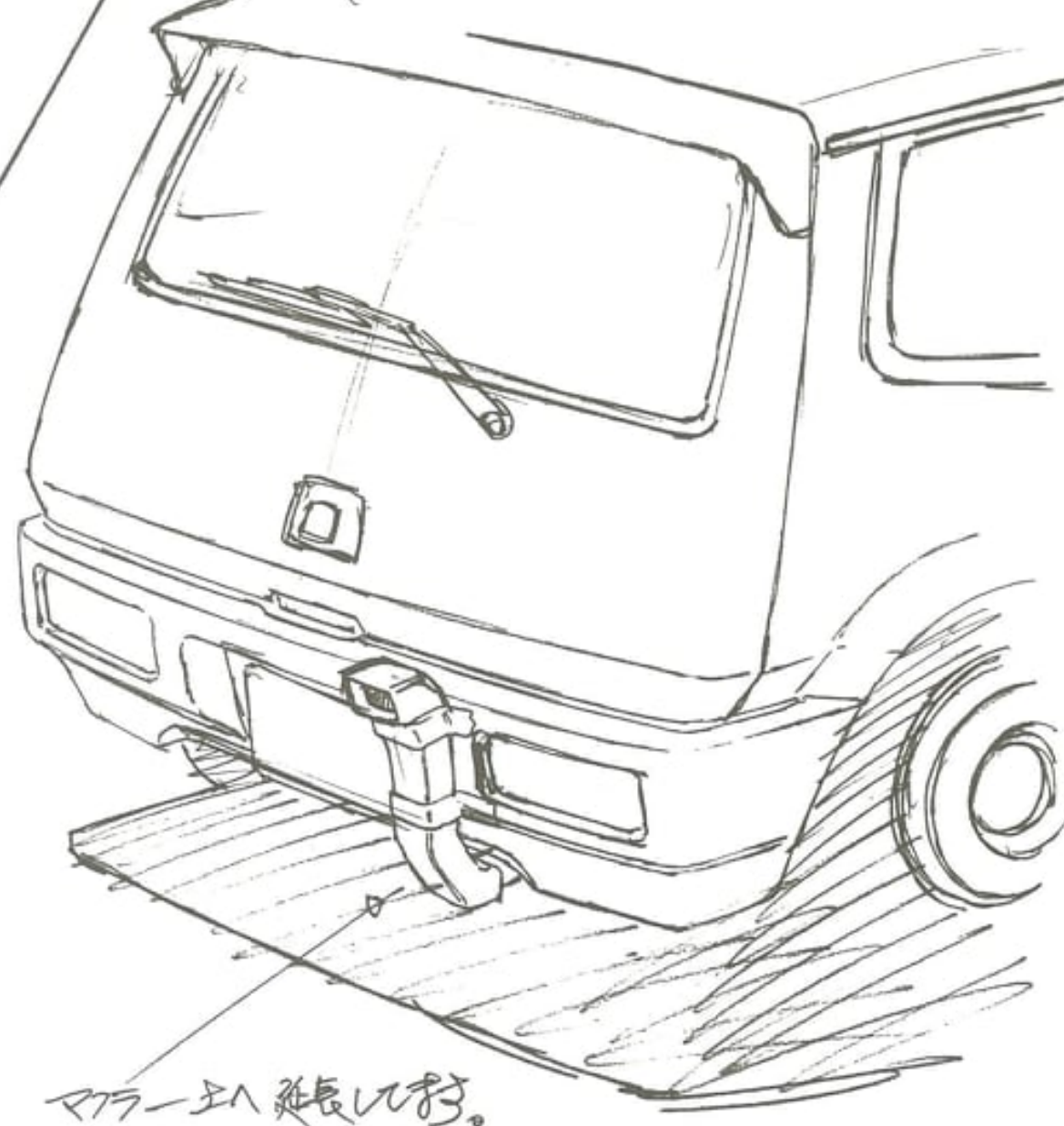
8

▷ TODAY 台風仕様



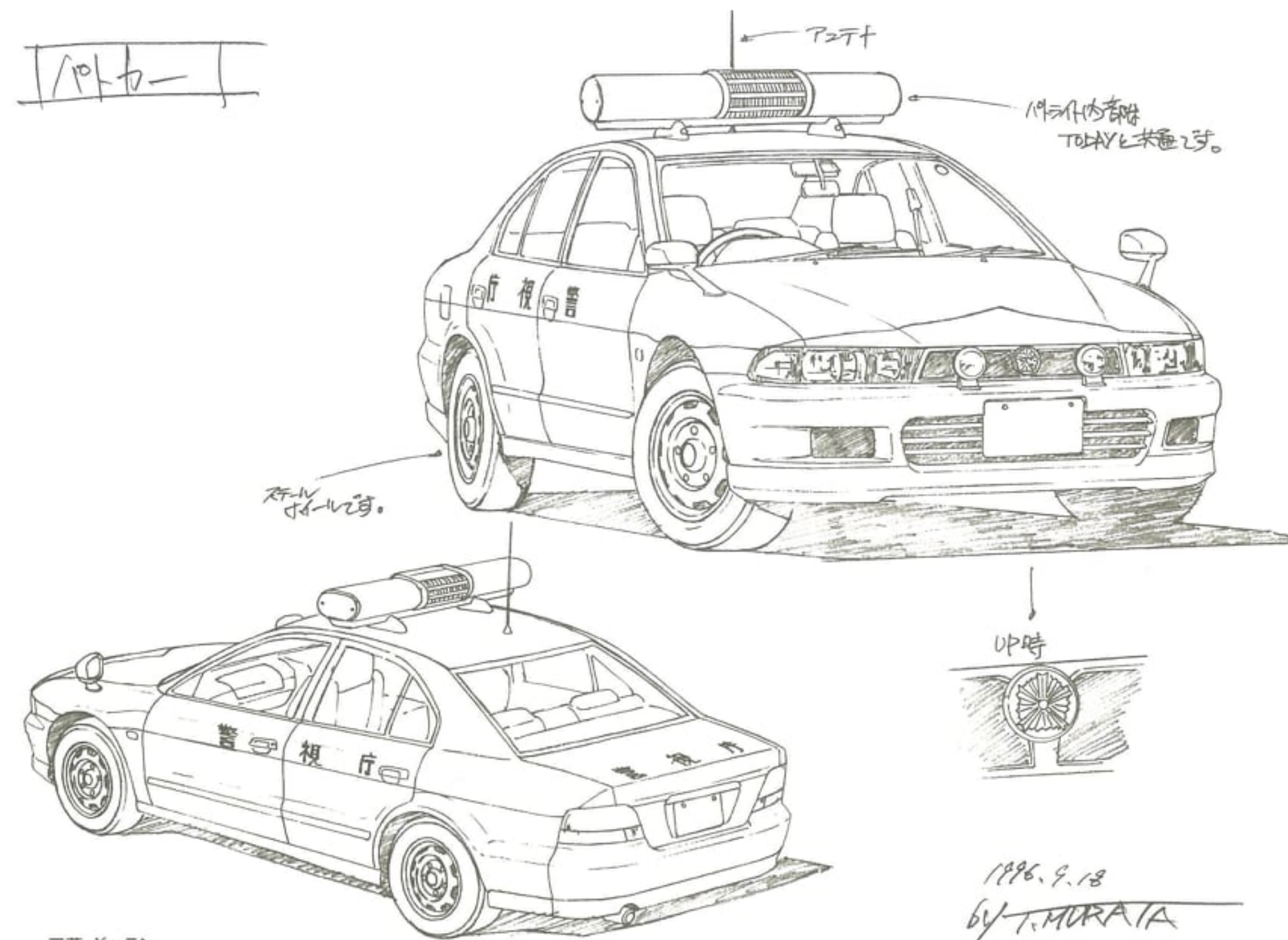
中嶋剣のヘルメット

中嶋剣のヘルメット / ホンダ トッデイ [台風仕様]



マラーエハ延長してます。

パトカー



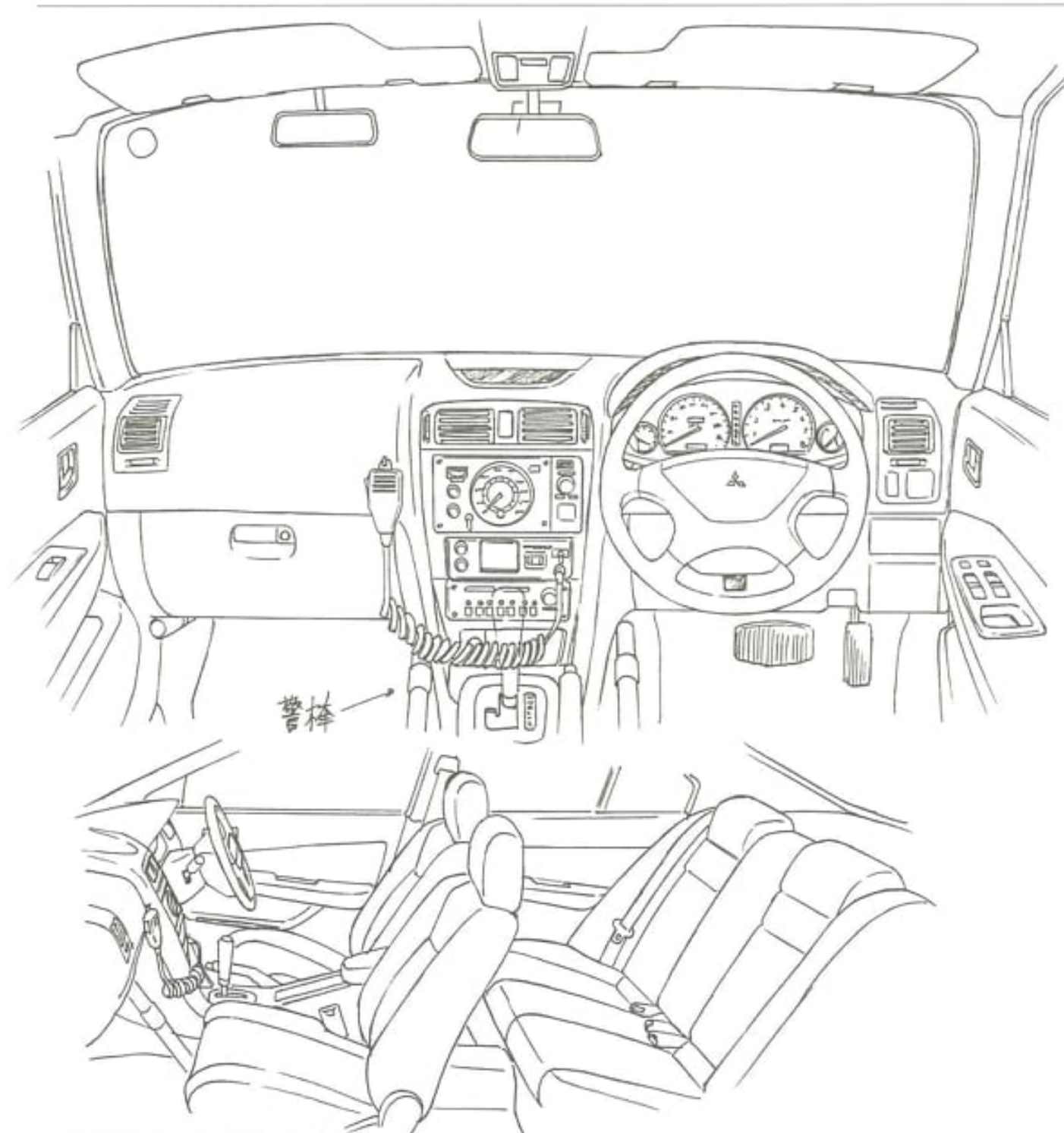
三菱 ギャラン

UP時

1996.9.18

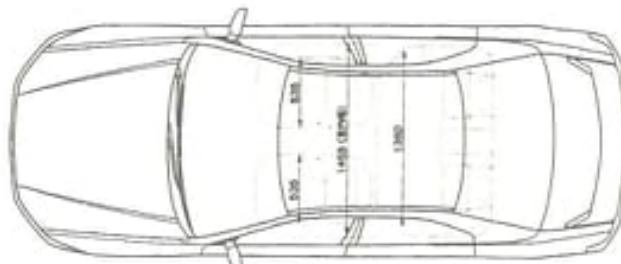
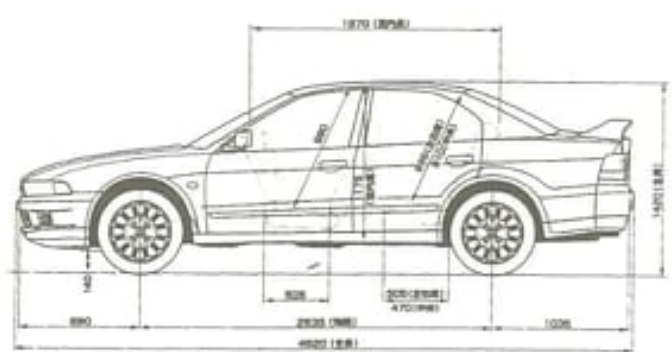
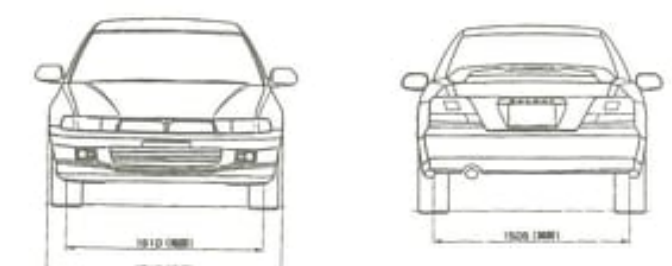
by T. MURATA

パトカーコクピット



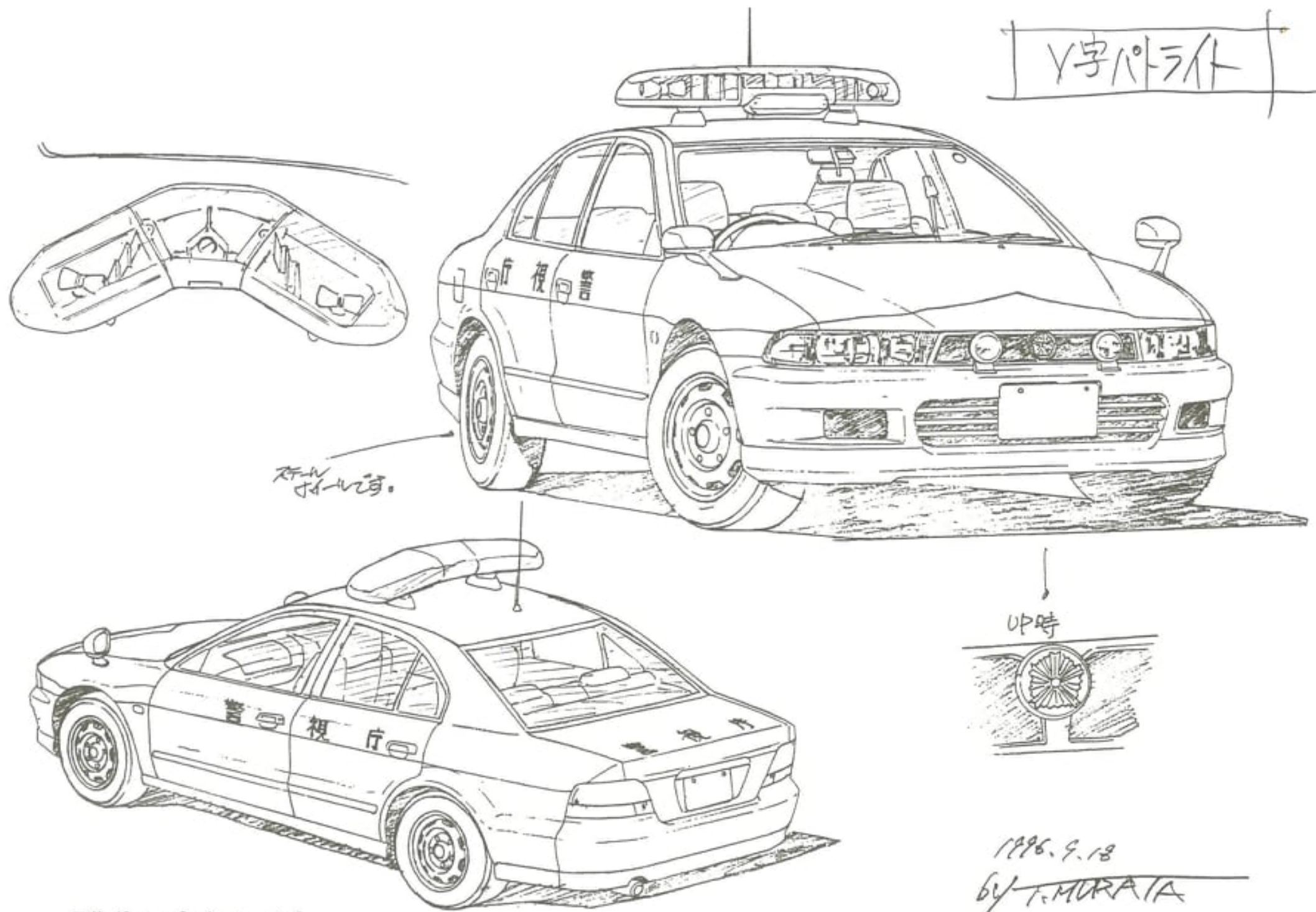
三菱 ギャラン [コクピット、内装]

(参考図面)



1996.10.13 by T. MURATA

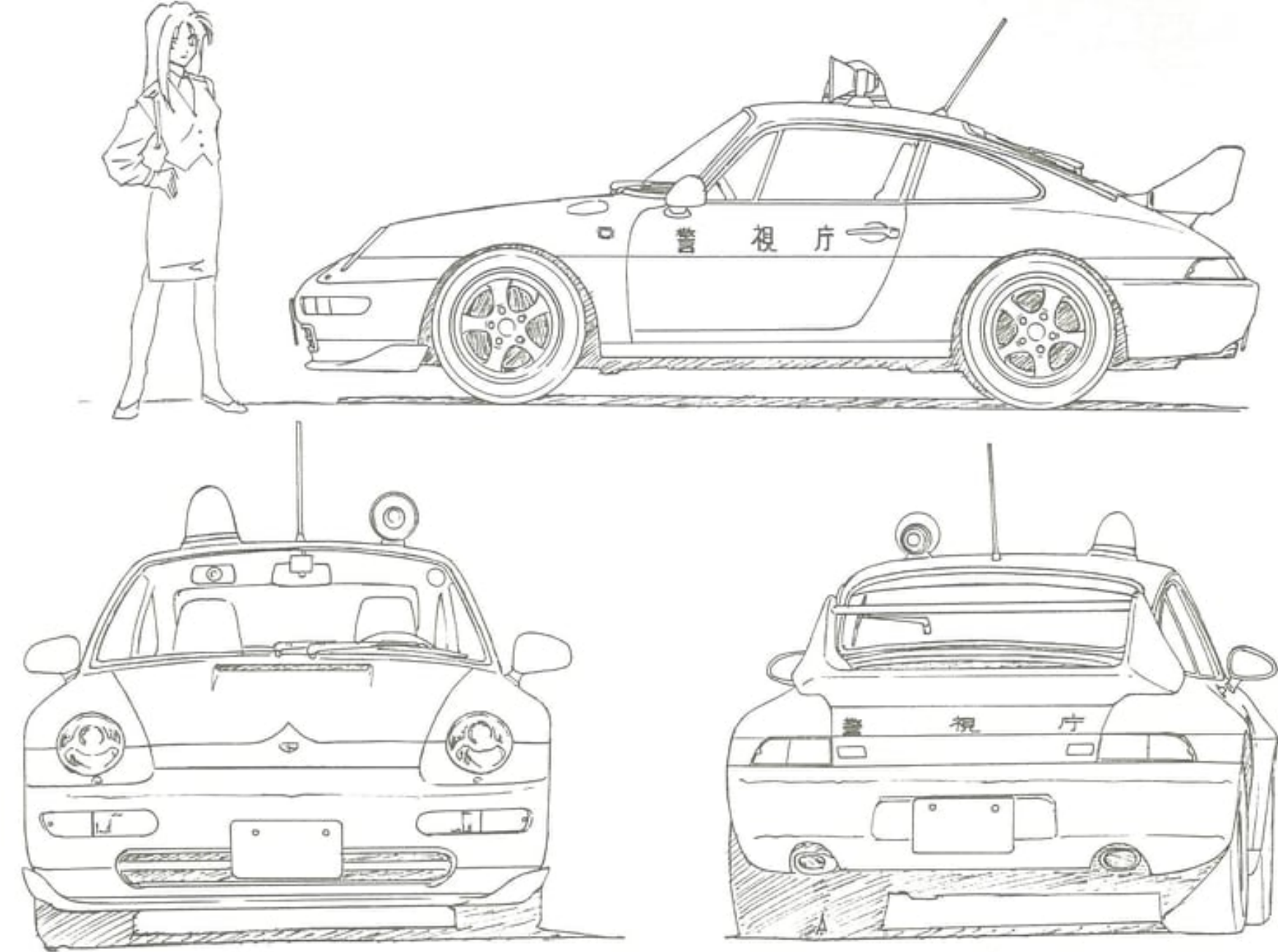
9



三菱 ギャラン[V字パトライト]

10

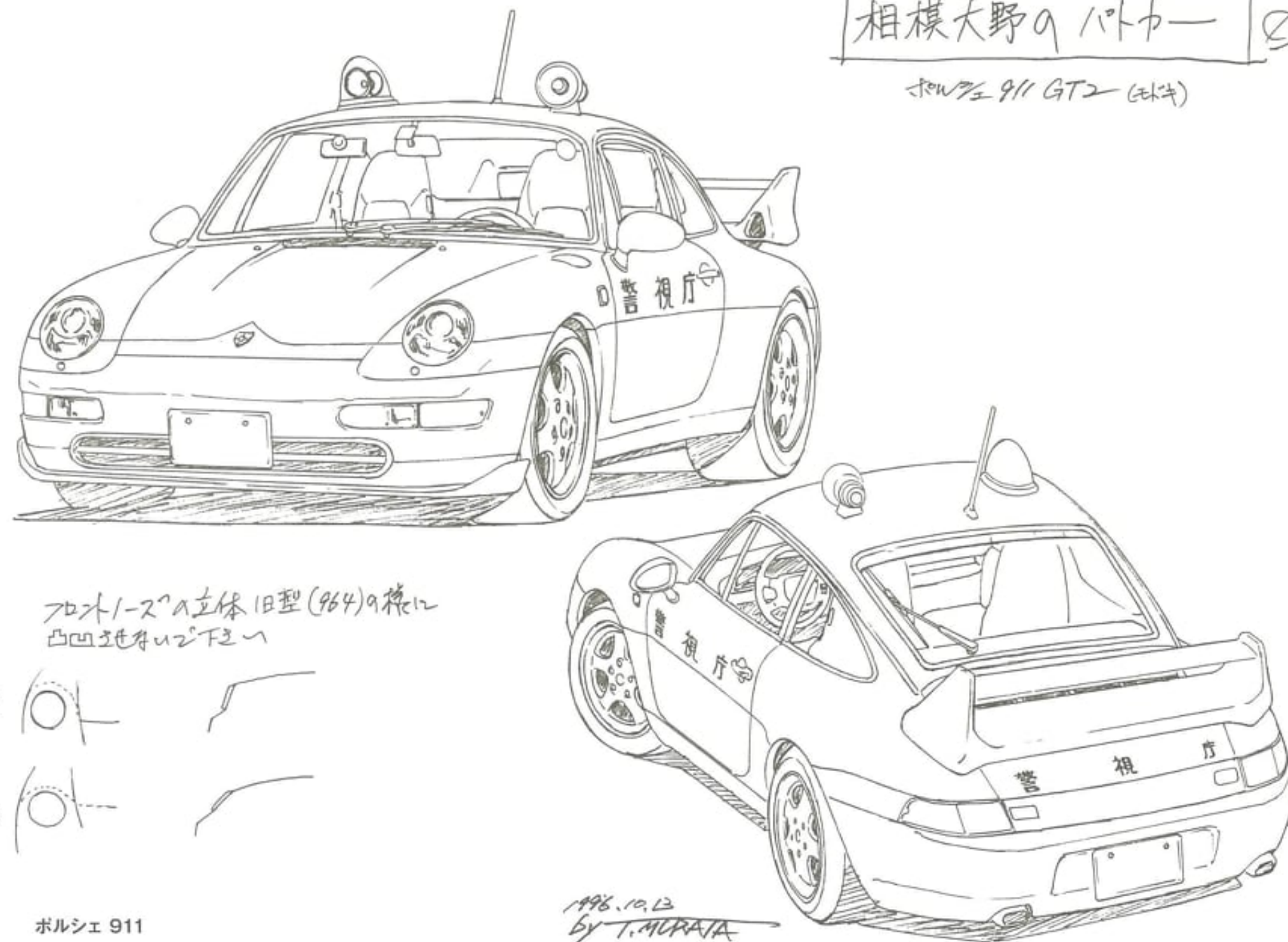
相模大野のパトカー②



ボルシェ 911

相模大野のパトカー①

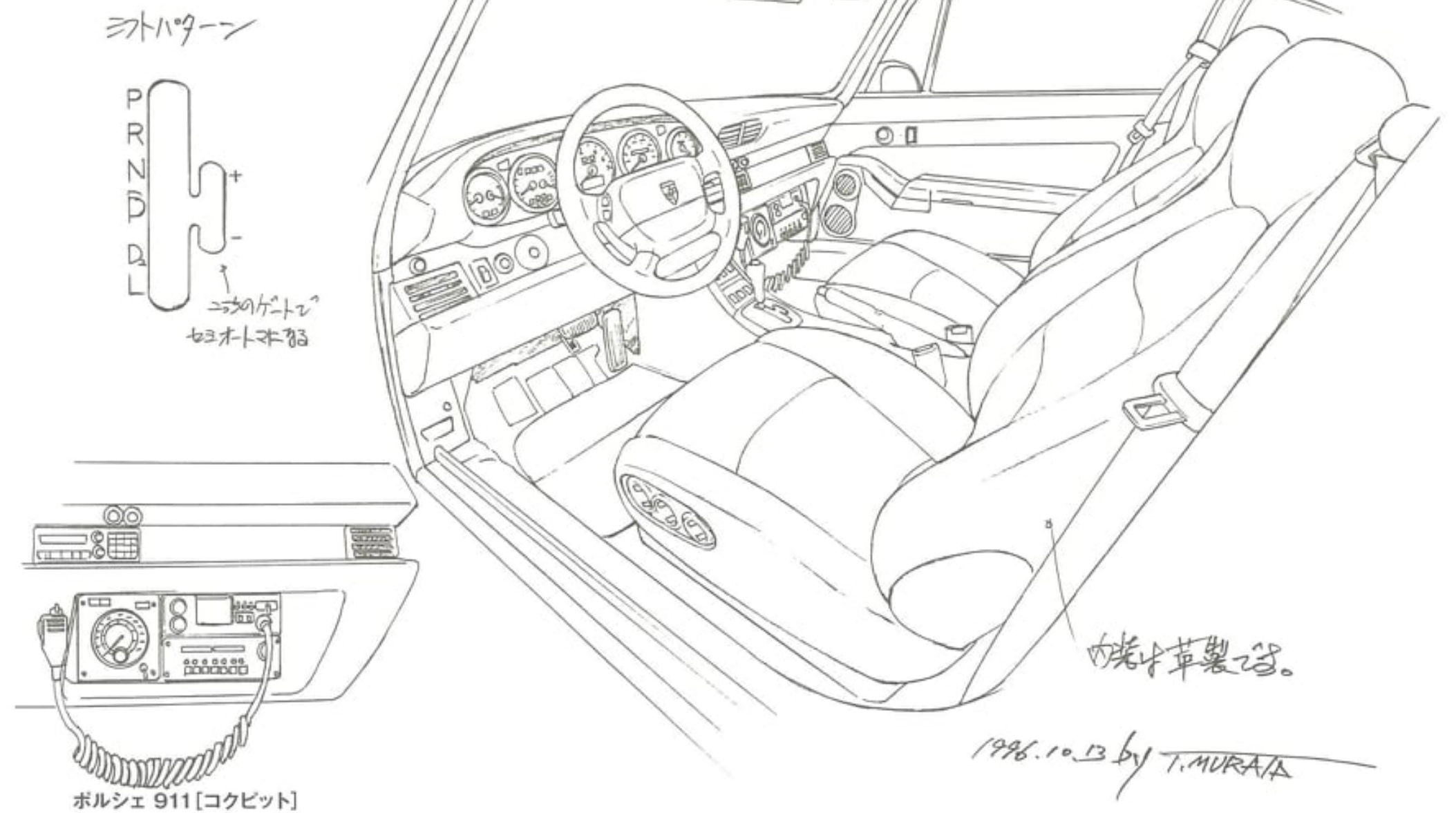
ボルシェ 911 GT2 (赤)



ボルシェ 911

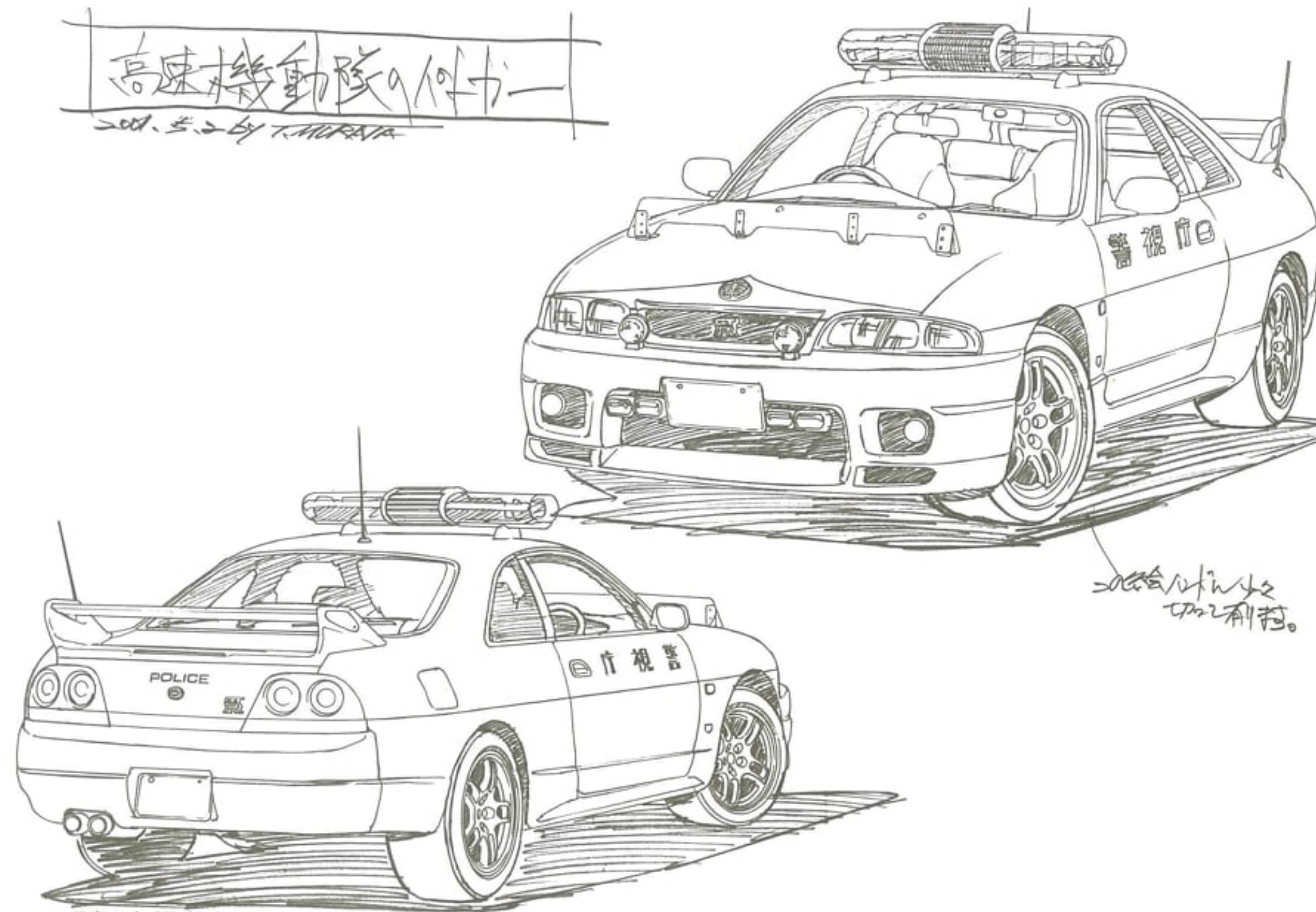
11

相模大野のパトカー③



ボルシェ 911 [コクピット]

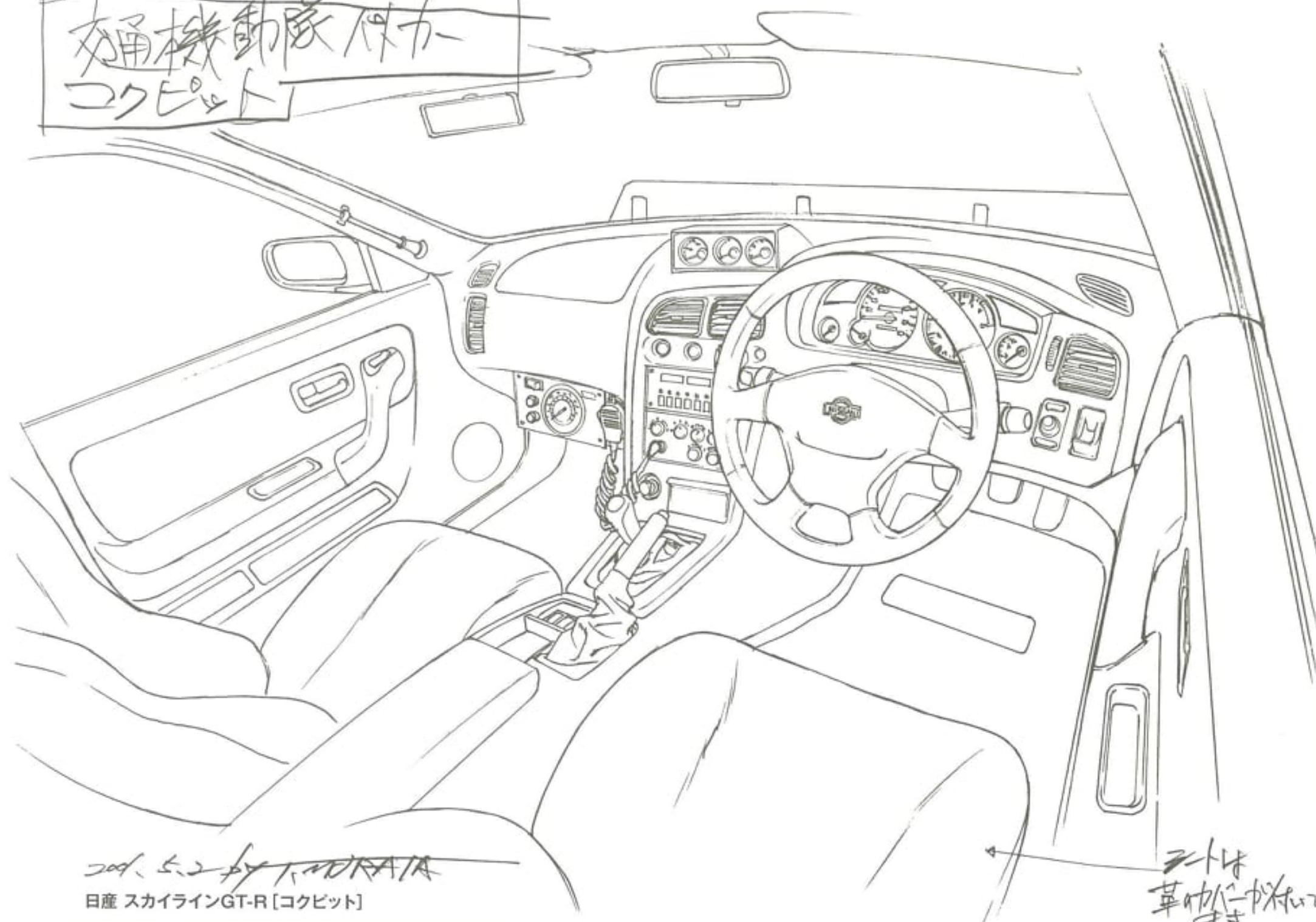
高速機動隊のバカー
2007.5.31 by T. MURATA



日産 スカイラインGT-R

12

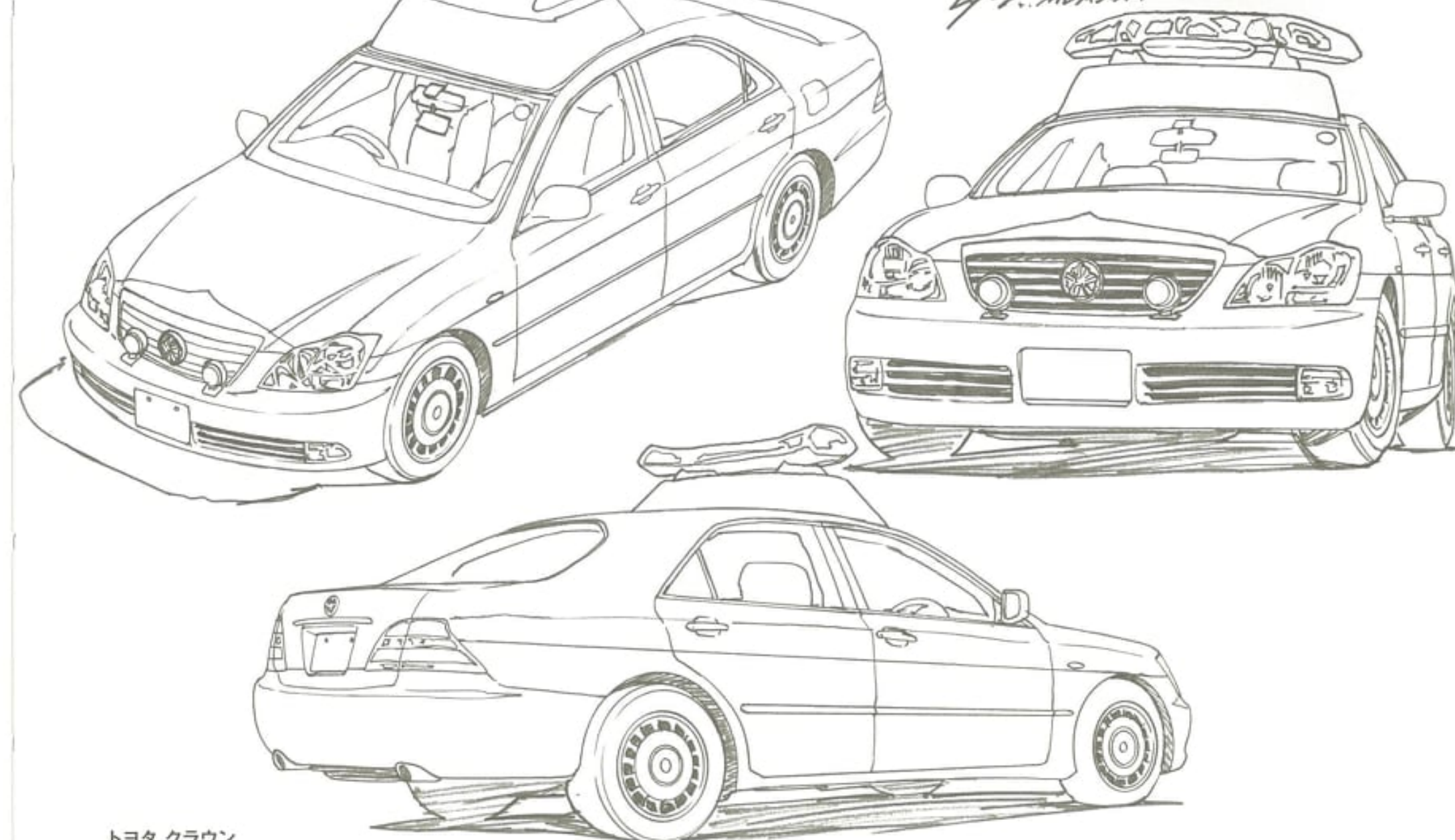
高速機動隊のバカー
コクピット



日産 スカイラインGT-R [コクピット]

2007.5.31 by T. MURATA

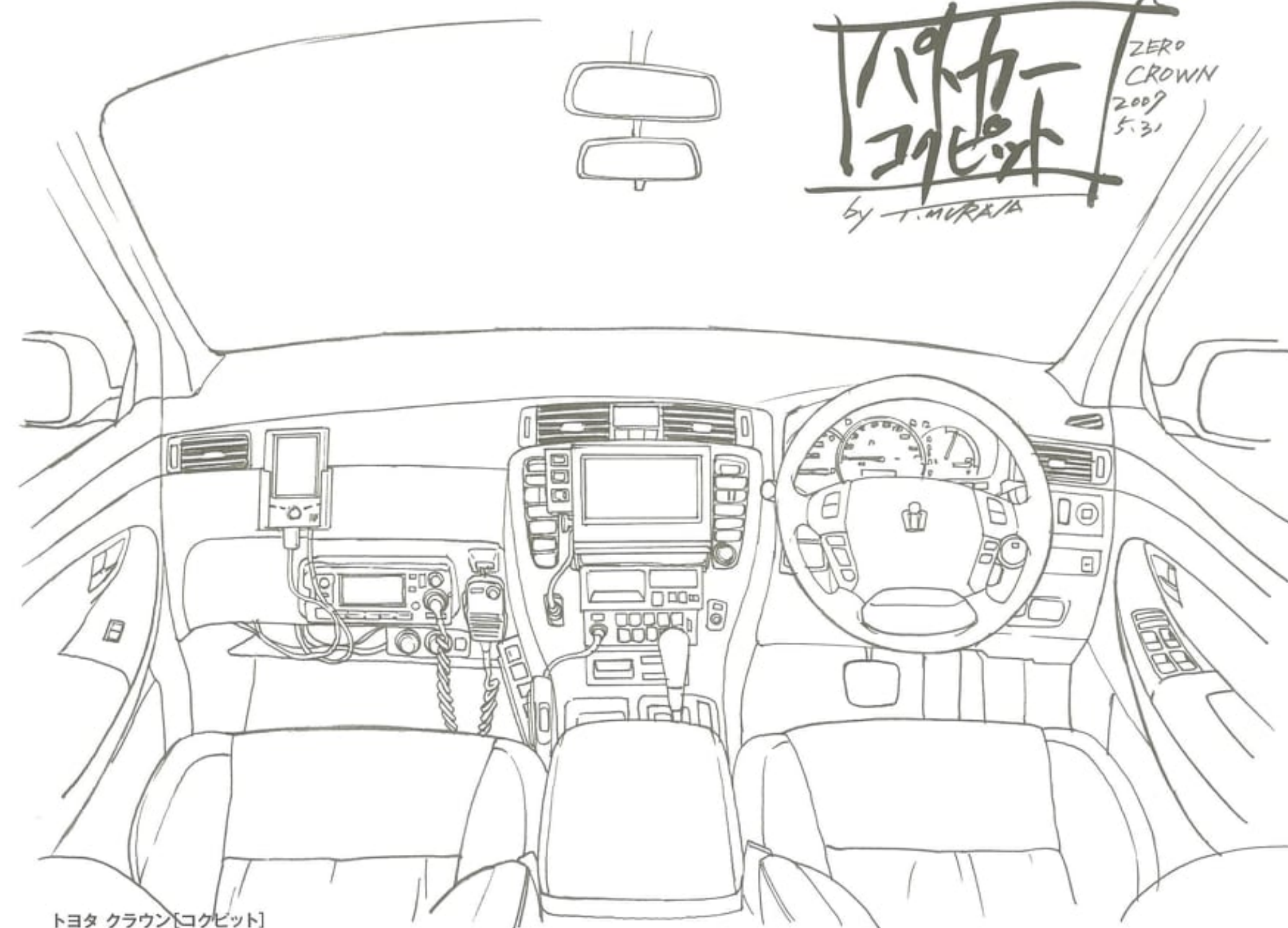
バカー ZERO CROWN
2007.5.31
by T. MURATA



トヨタ クラウン

13

バカー ZERO CROWN
2007.5.31
by T. MURATA



トヨタ クラウン [コクピット]

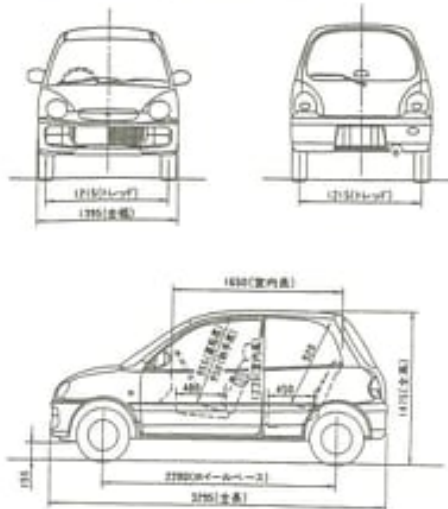
3=10ト

。親子等通常2台を使用しず。



三菱ミニカ1ドアセダン(外観4面図(単位:mm))

(多面図)



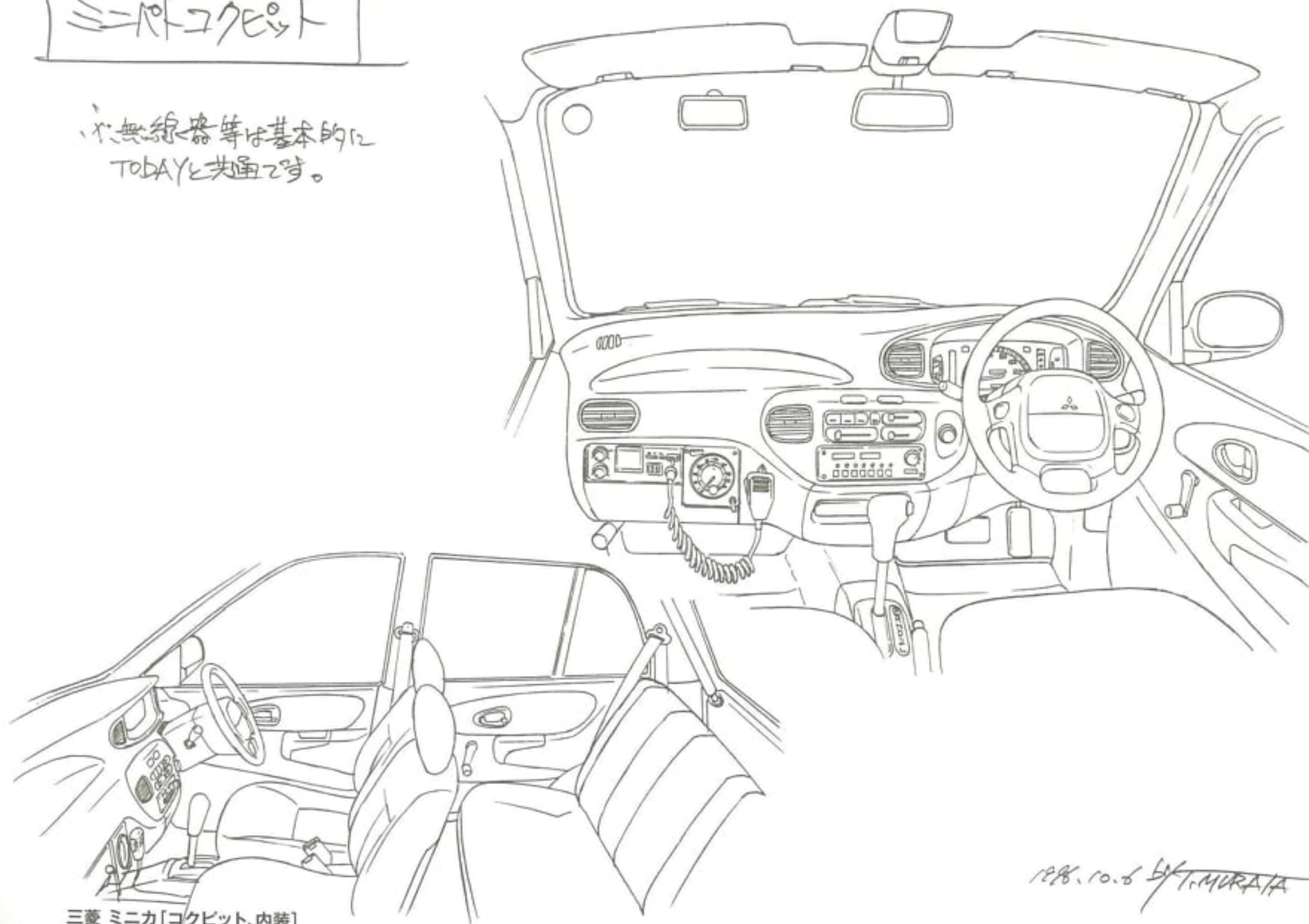
三菱 ミニカ

1996. 9. 19
by T. MURATA

14

ミニバコクピット

無線器等は基本的に
TOYOTAと共通です。



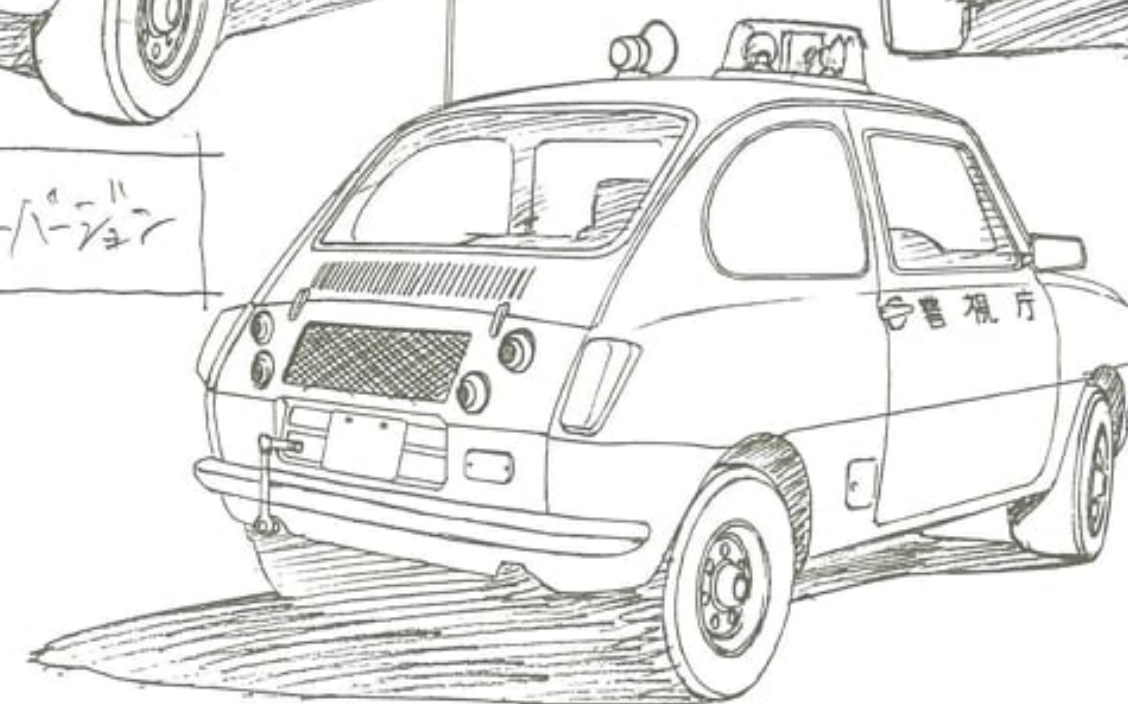
三菱 ミニカ[コクピット、内装]

1996. 10. 6 by T. MURATA



スバル R2 ロボカーバージョン

1997. 6 by T. MURATA

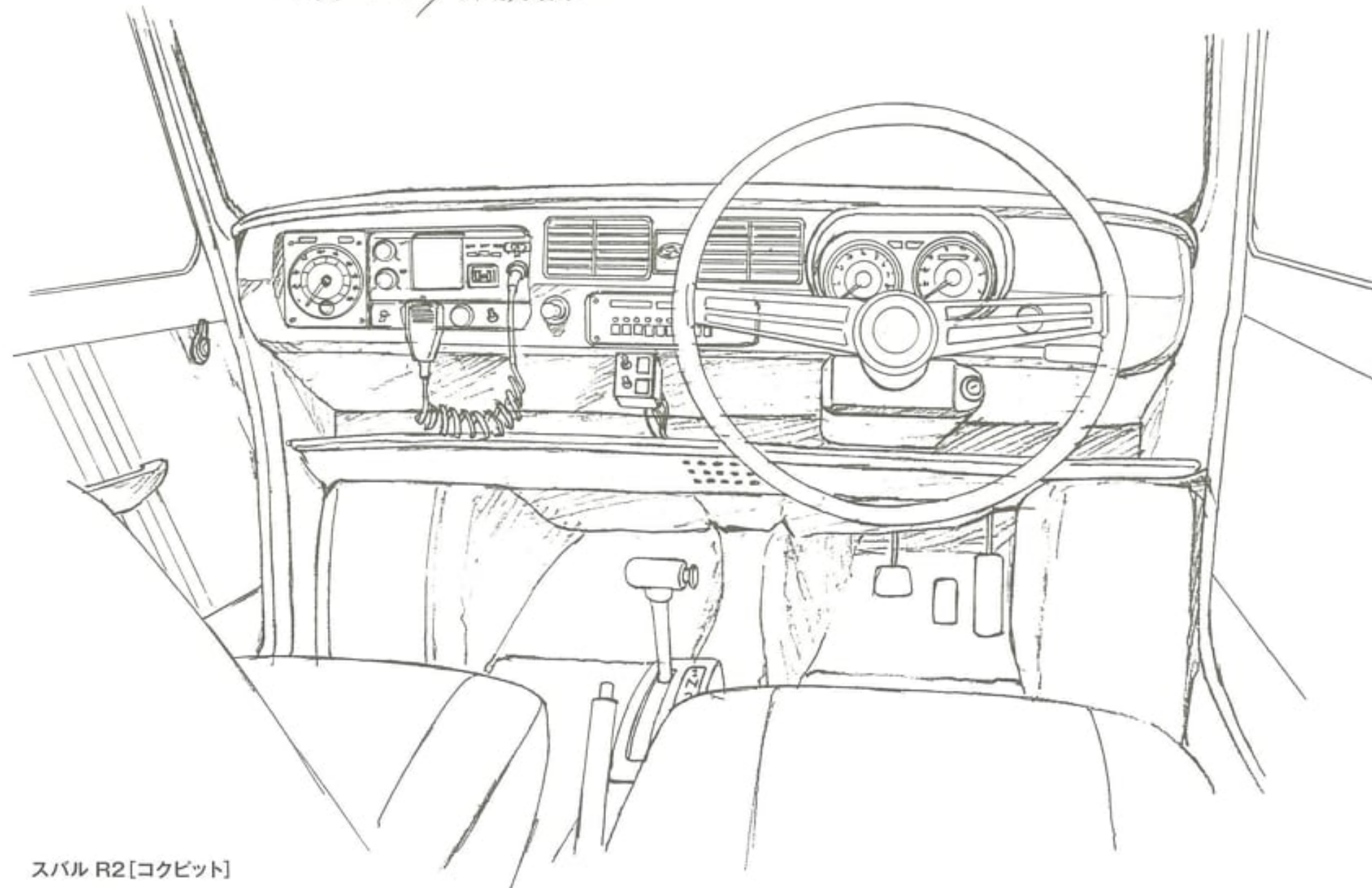


スバル R2

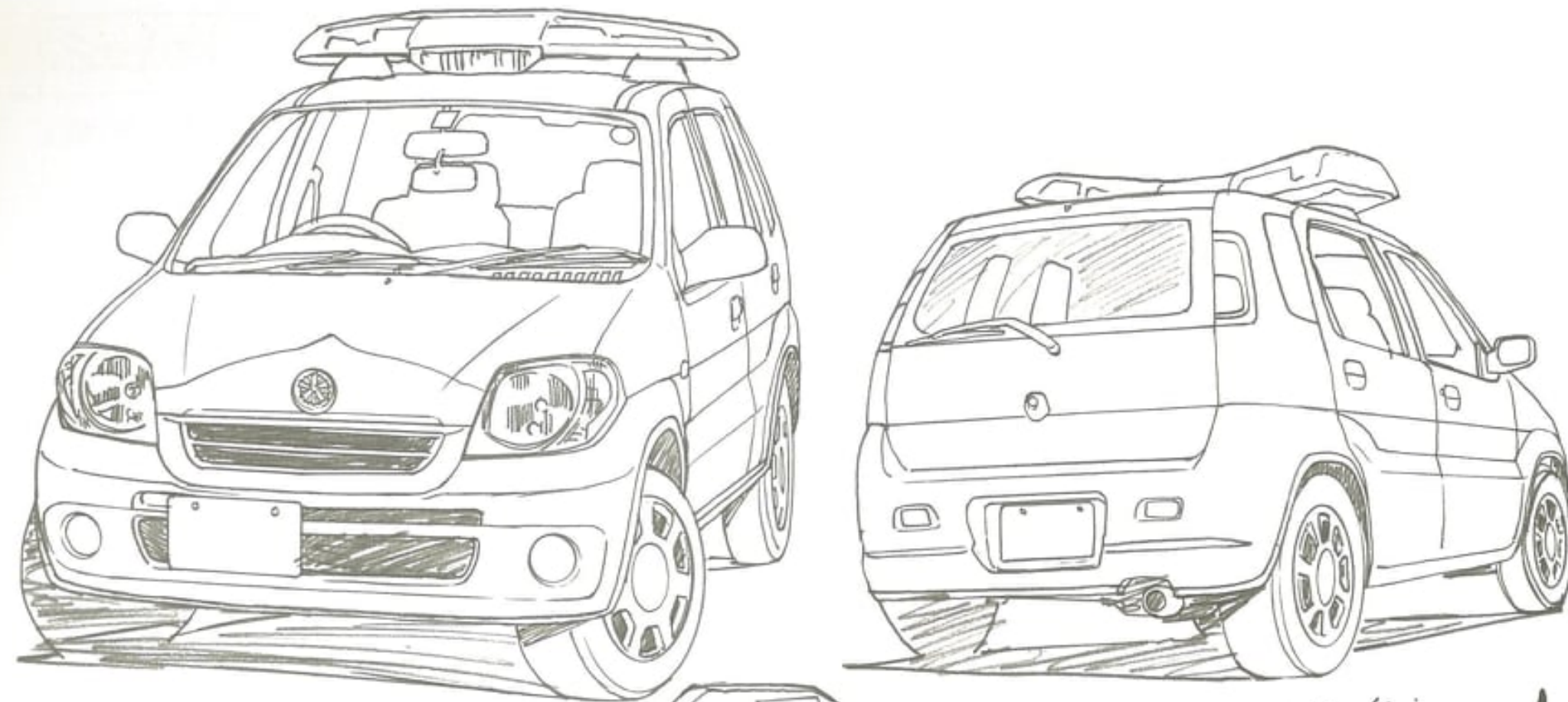
15

R2 ロボカーコクピット

1997. 3. 14 by T. MURATA

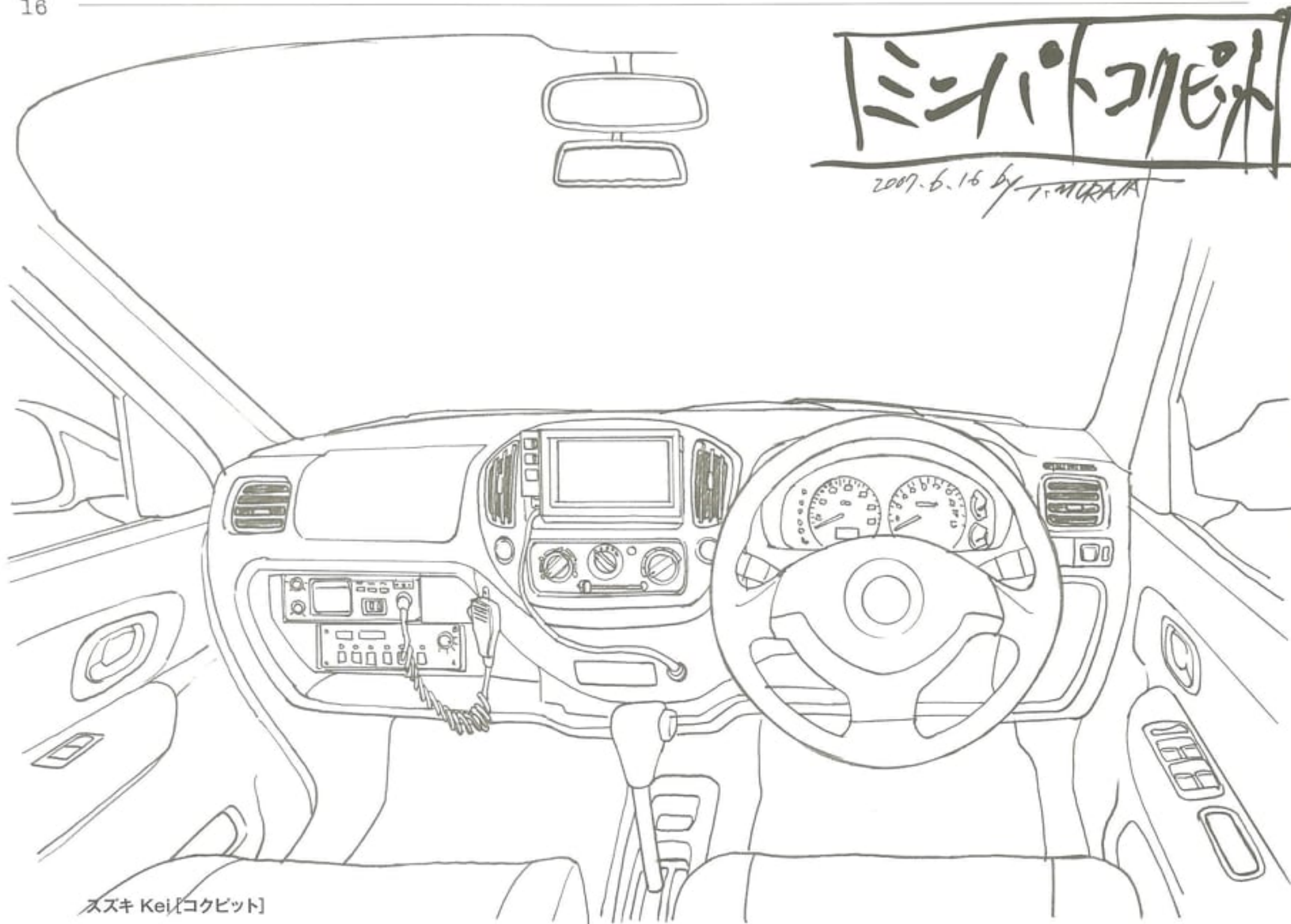


スバル R2[コクピット]

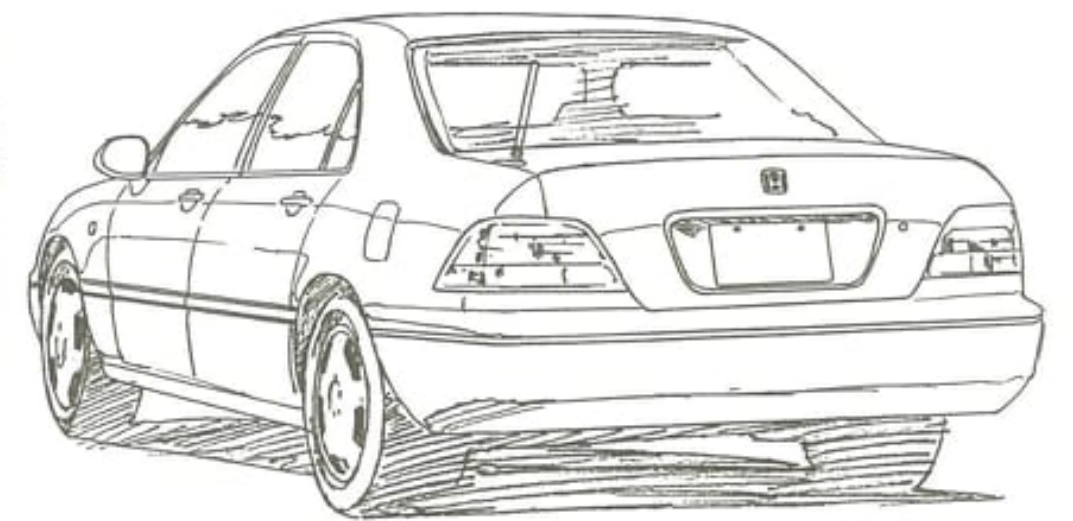
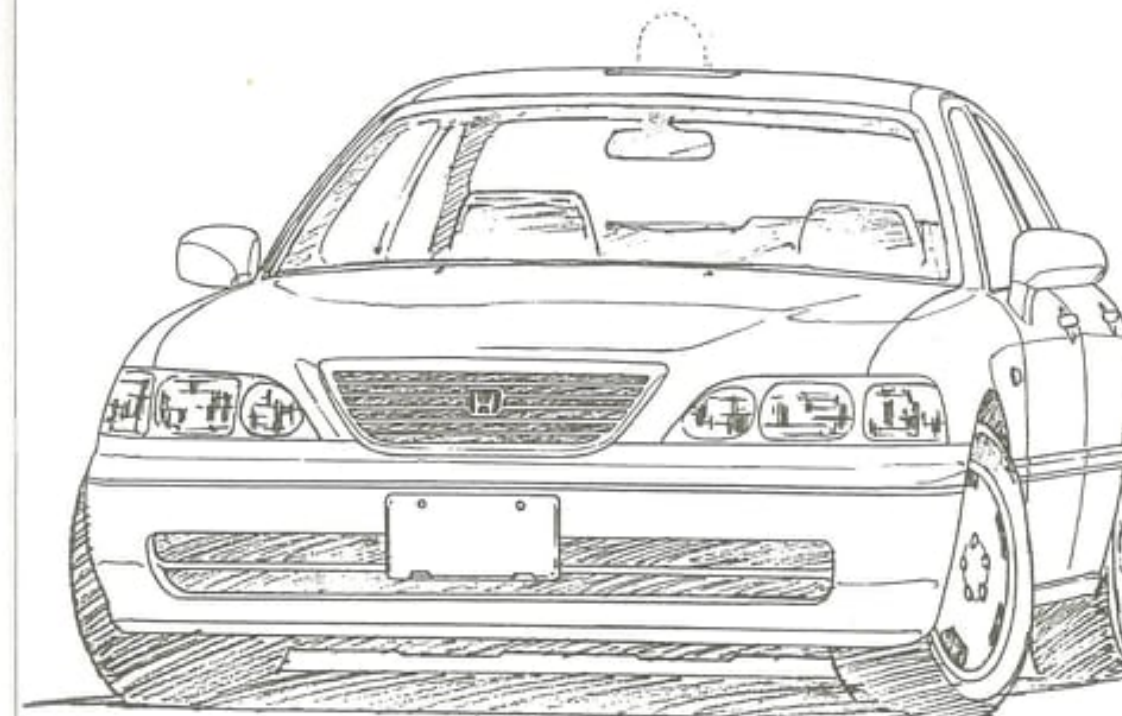


SUZUKI Kei
ミニハコ
2007.6.16
by T. MURATA

スズキ Kei



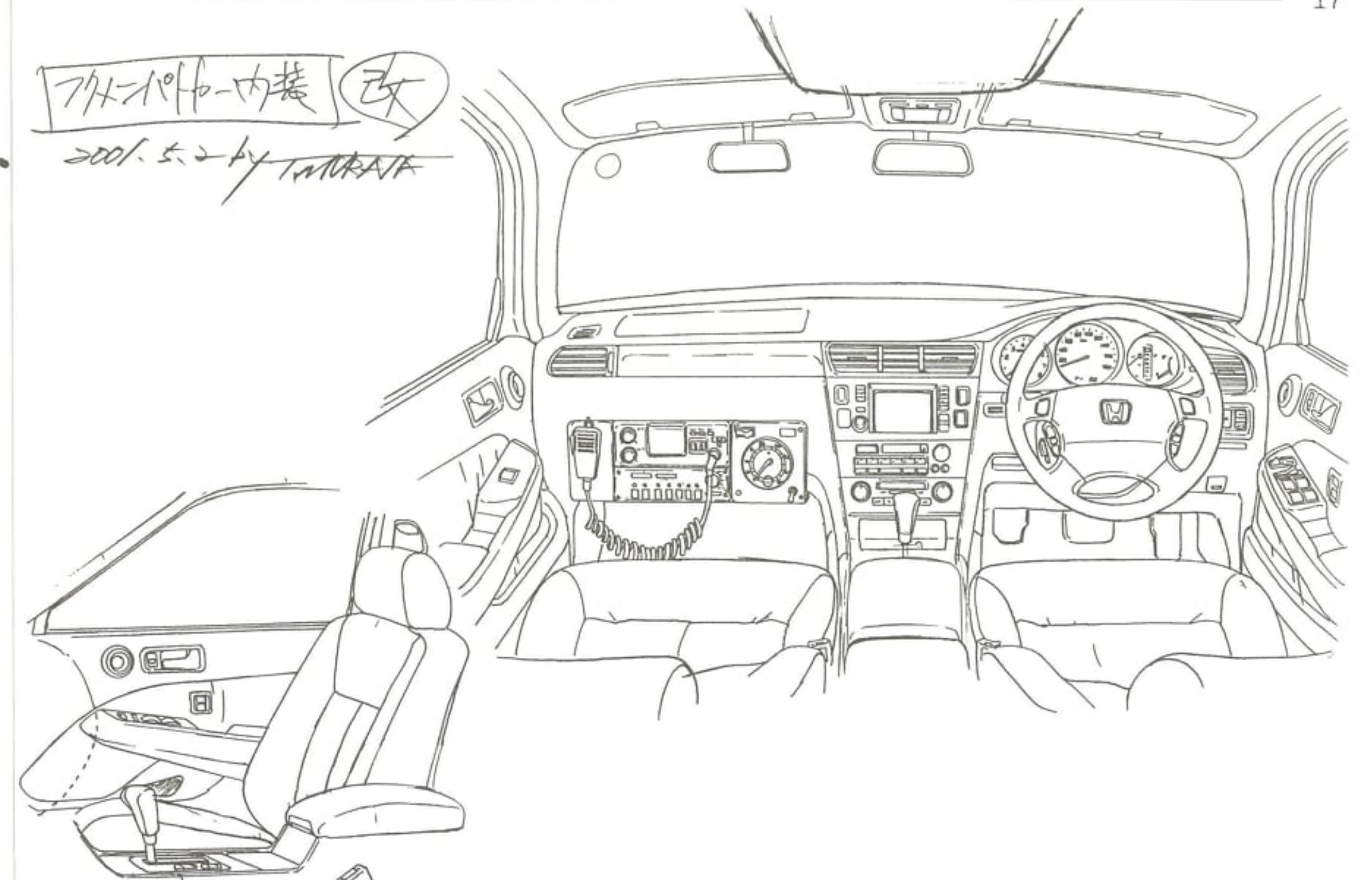
スズキ Kei [コクピット]



ホンダ レジェンド

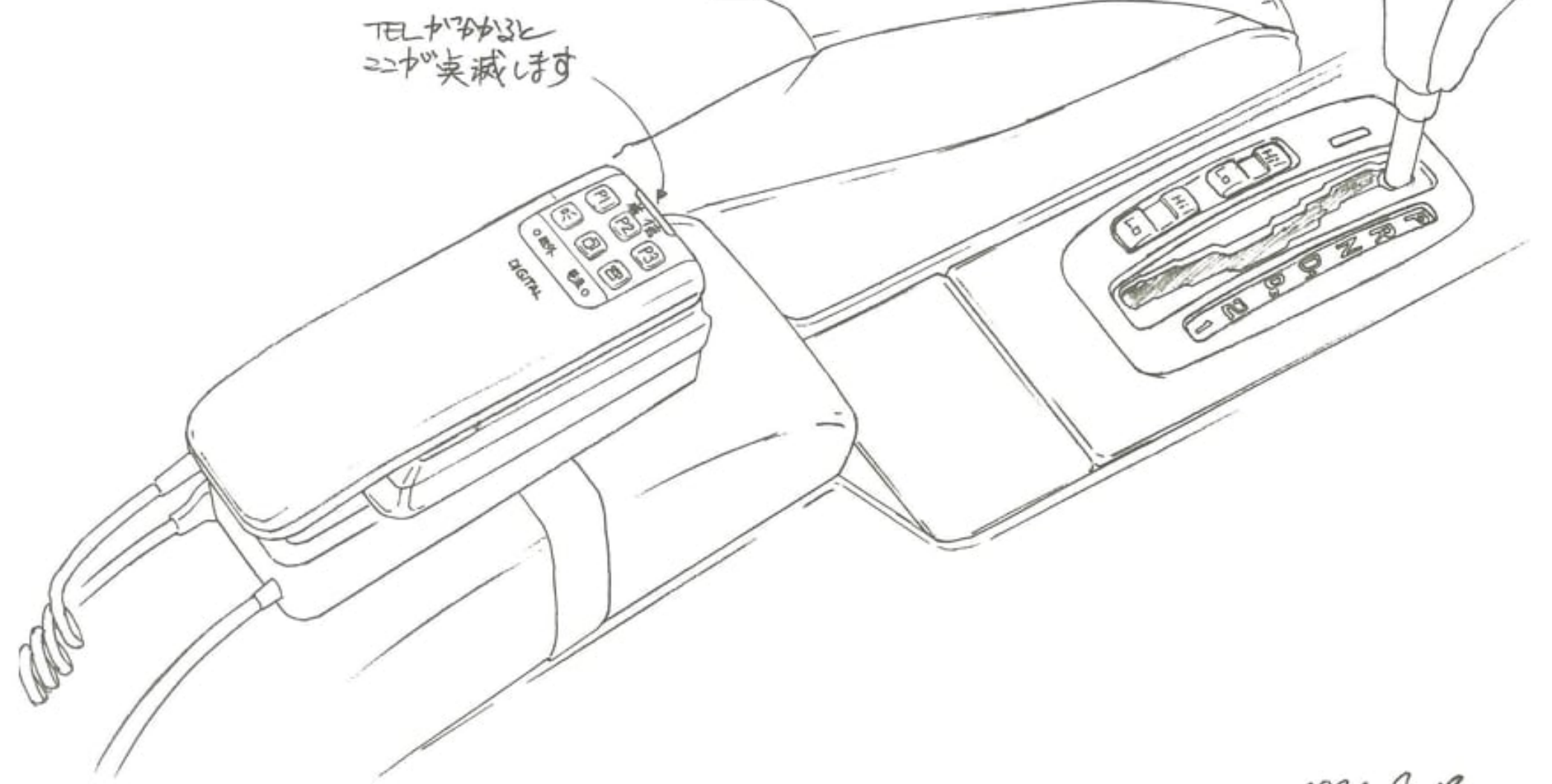
17年ハコカ 改

17年ハコカ-内装 改
2007.5.2 by T. MURATA



ホンダ レジェンド [コクピット、内装]

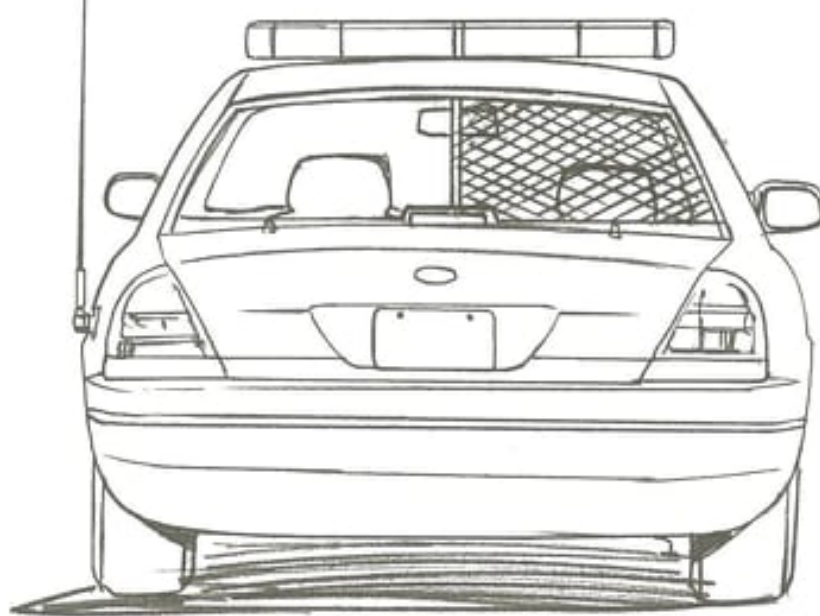
#7 フクニボトカーの
自動車電話



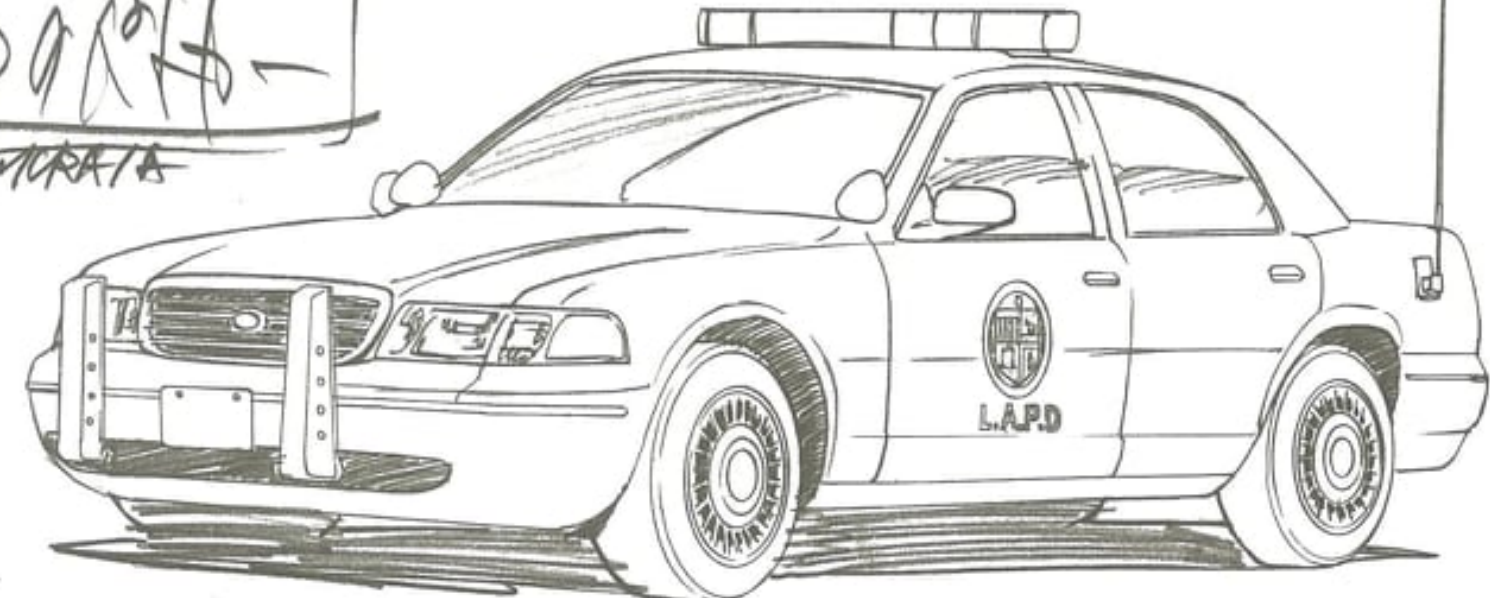
TEL.カメラと
モニター減らす

ホンダ レジェンド [自動車電話]

1996.9.18
by T. MURATA

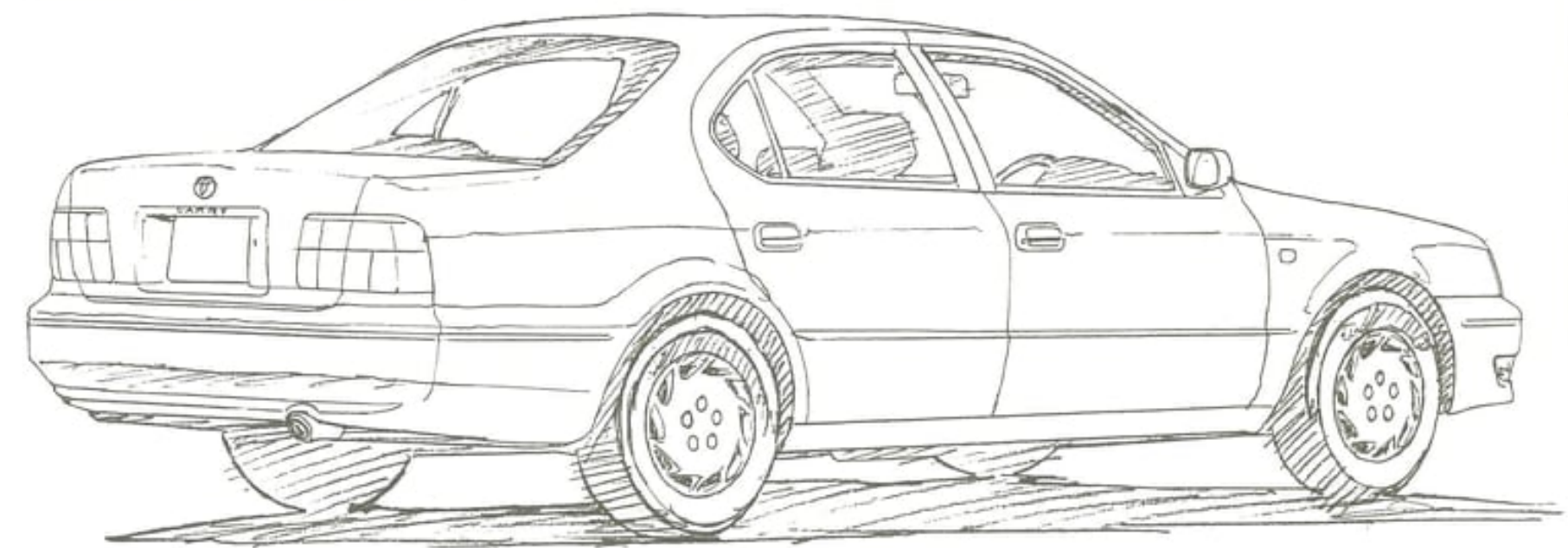
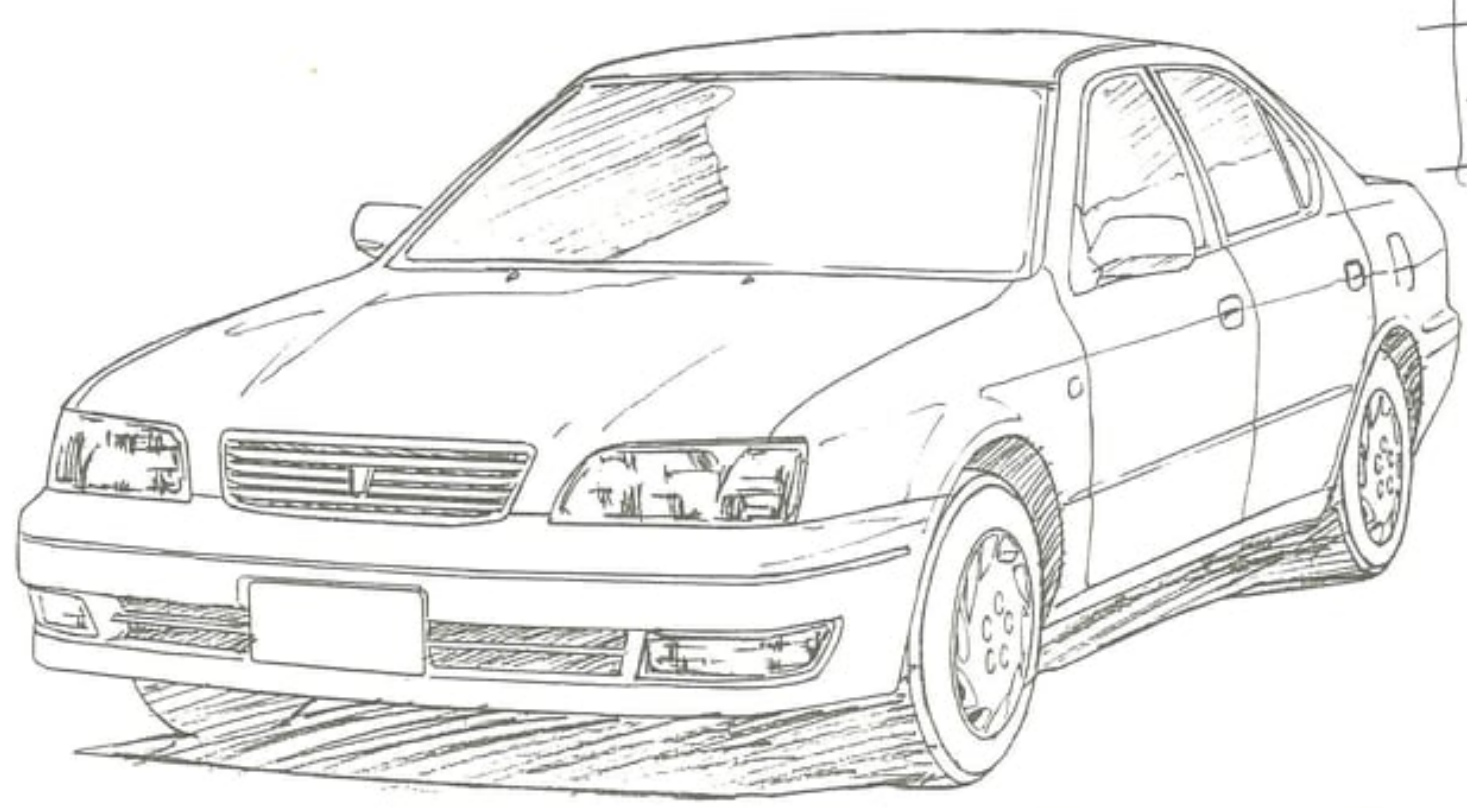


LAPD 001
2002.1 by T. MURATA



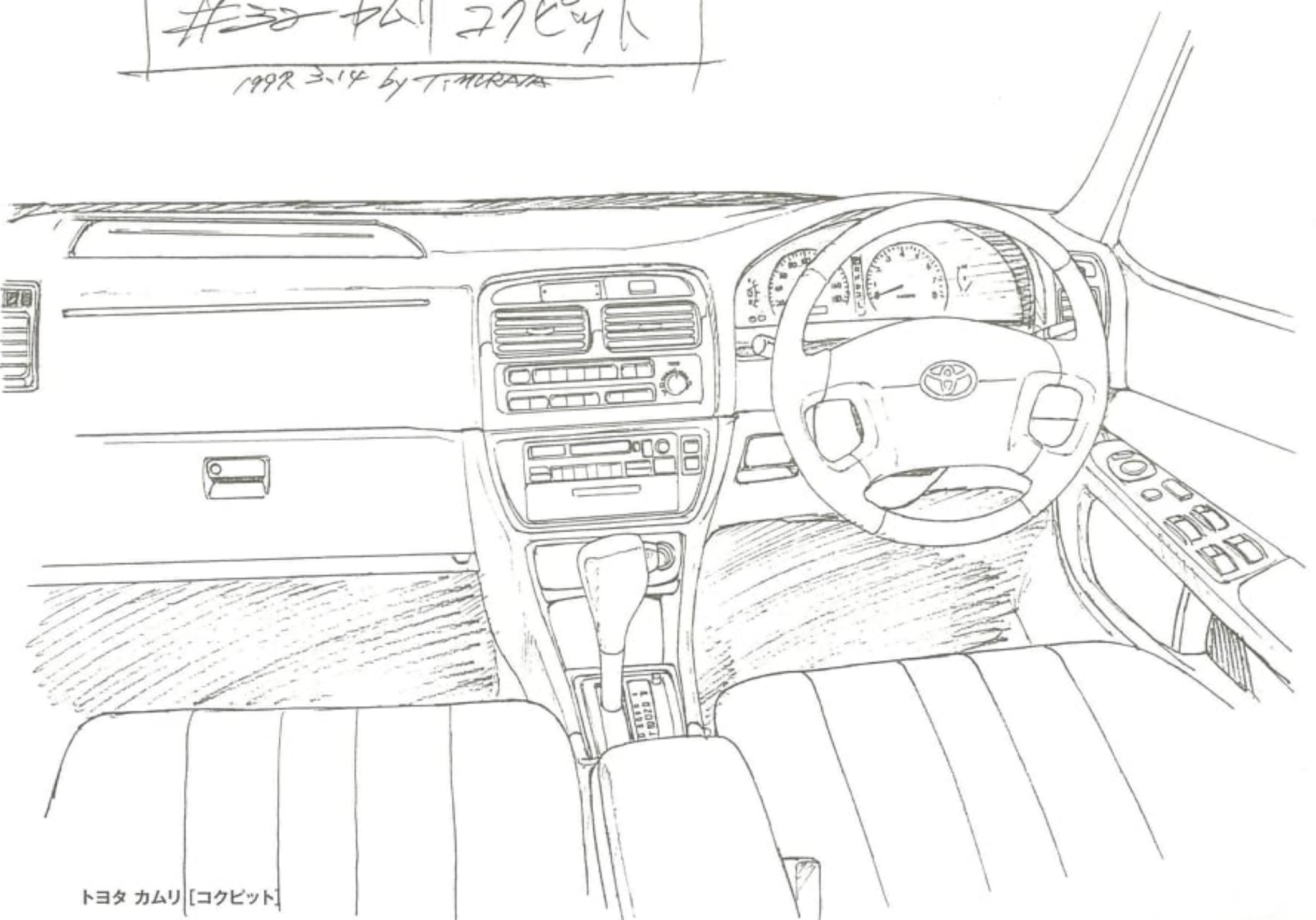
フォード クラウンビクトリア

#32 611
1997.3.14 by T. MURATA



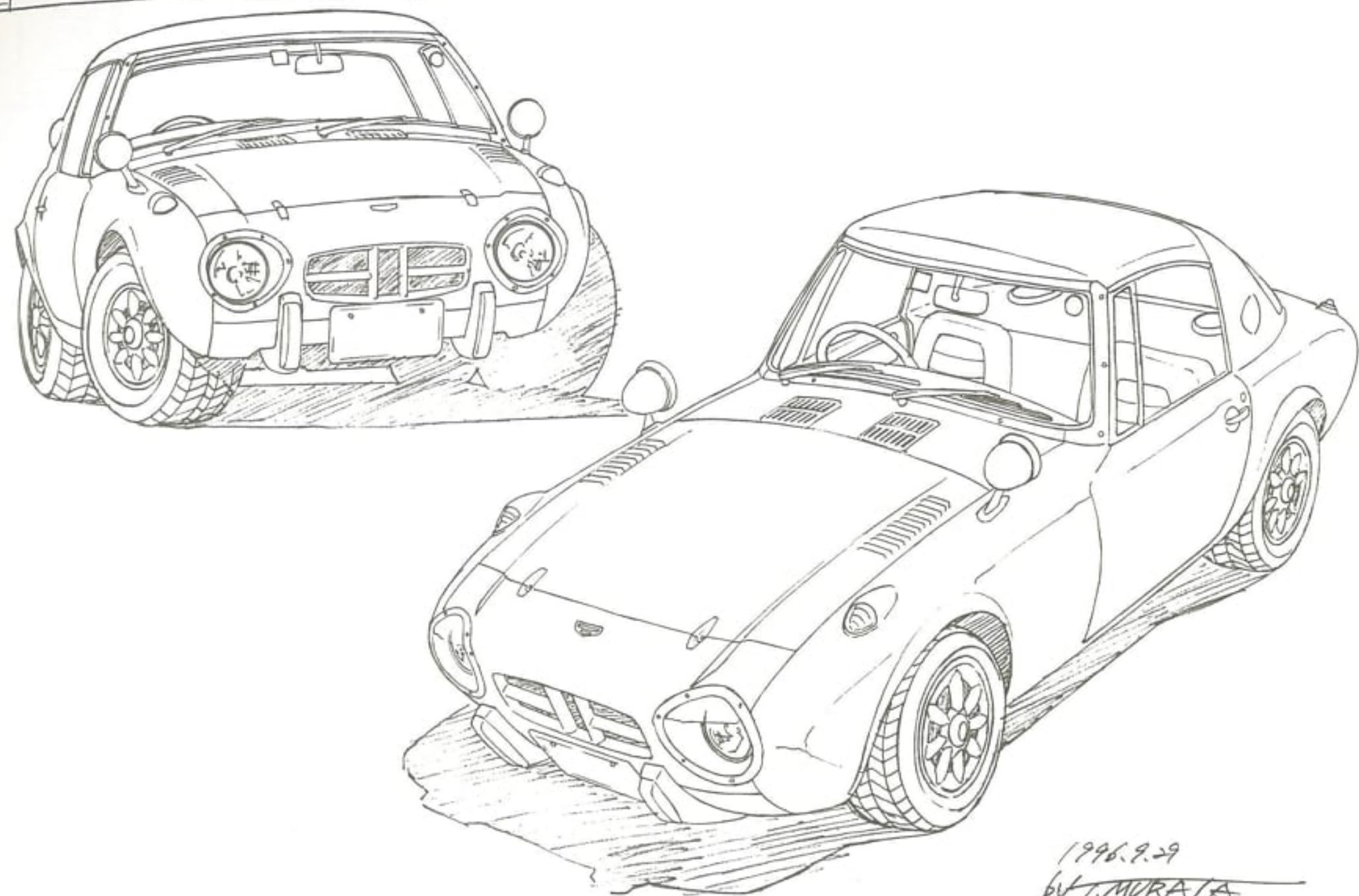
トヨタ カムリ

#30 611 2700cc
1998.3.14 by T. MURATA



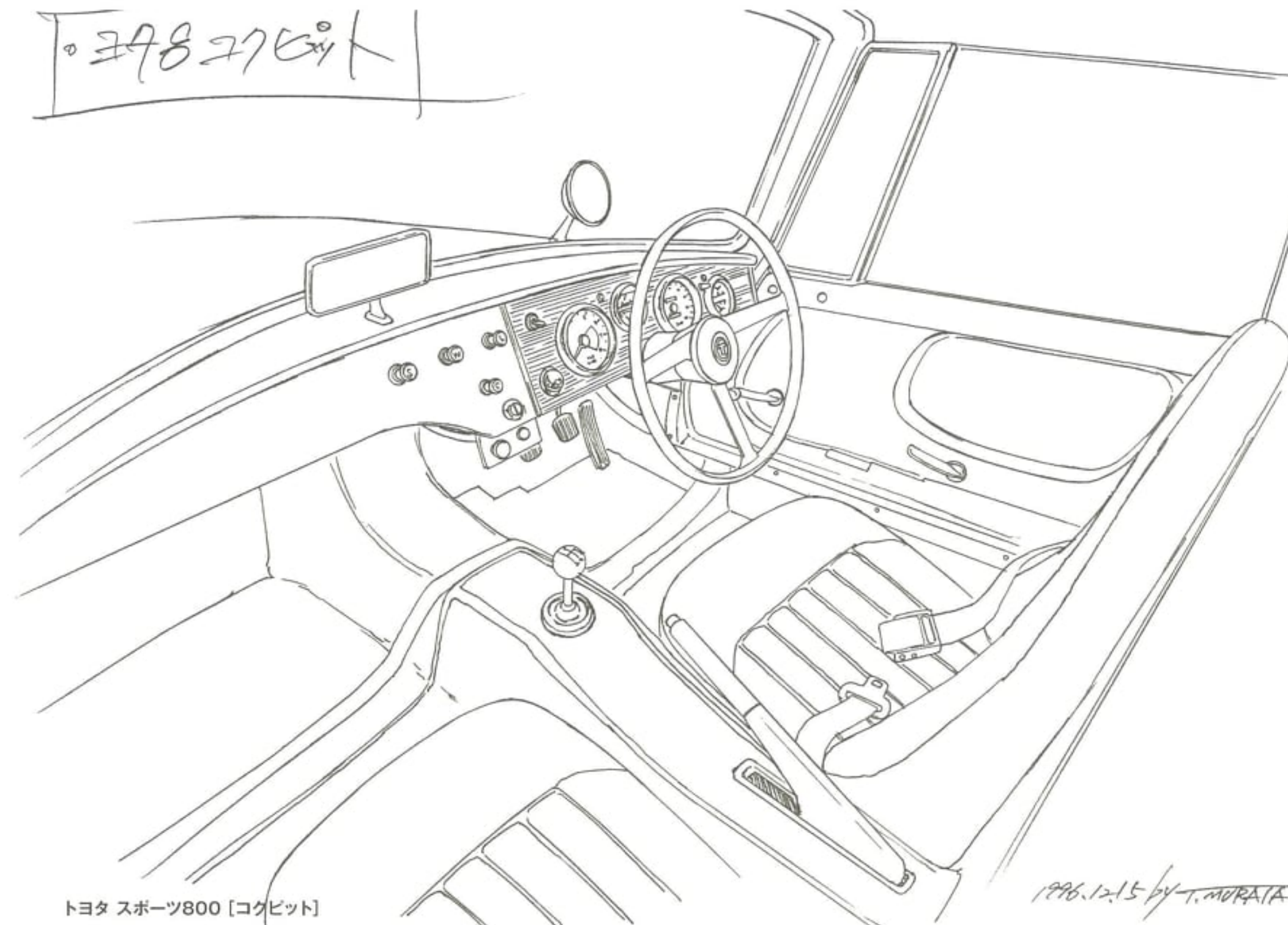
トヨタ カムリ [コクピット]

美幸のトヨタスポーツ800



1996.9.29
by T. MURATA

ヨ9877ピット

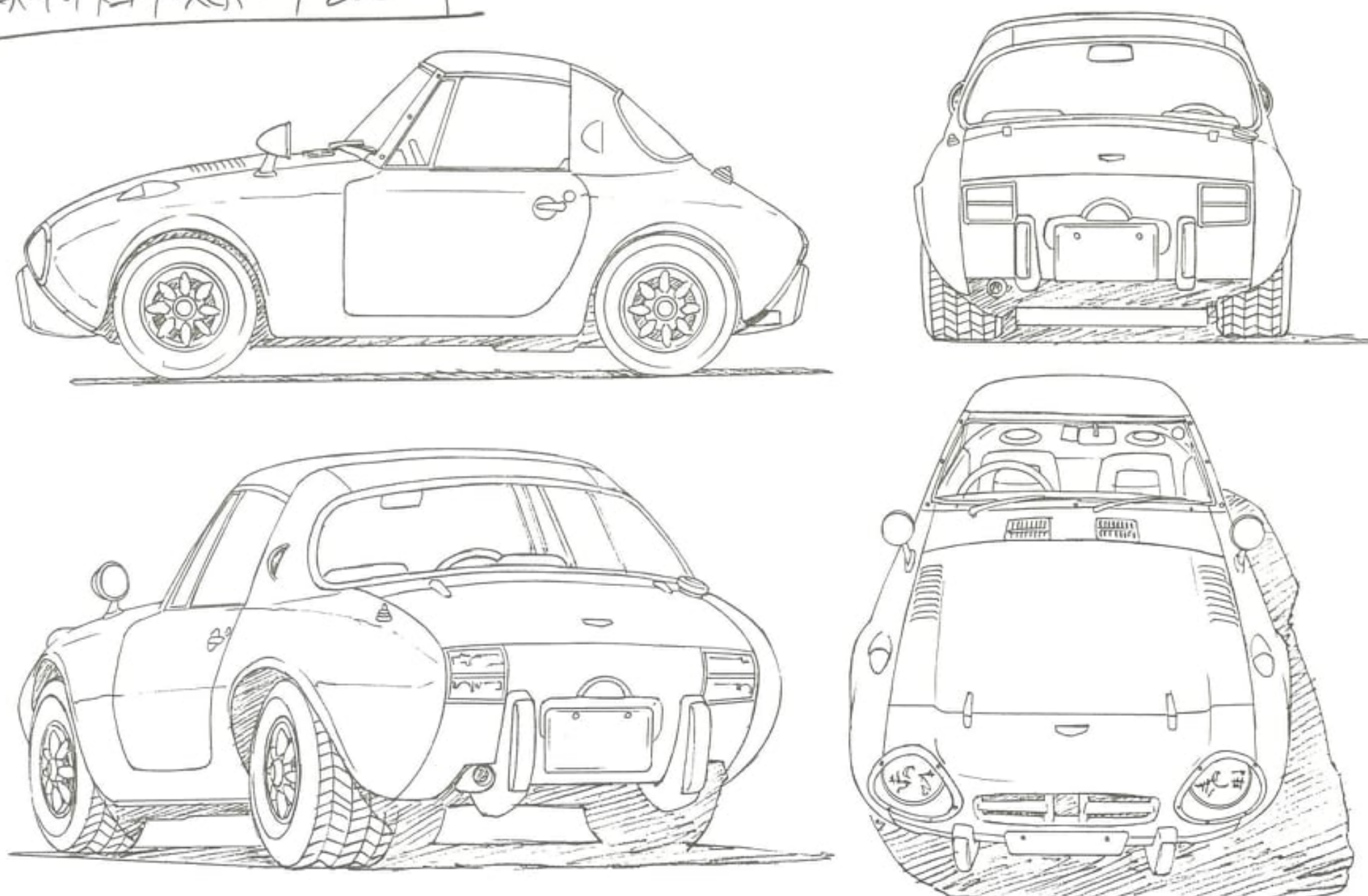


トヨタ スポーツ800 [コクピット]

1996.12.15 by T. MURATA

20

美幸のトヨタスポーツ800



1996.9.29
by T. MURATA

トヨタ スポーツ800

21

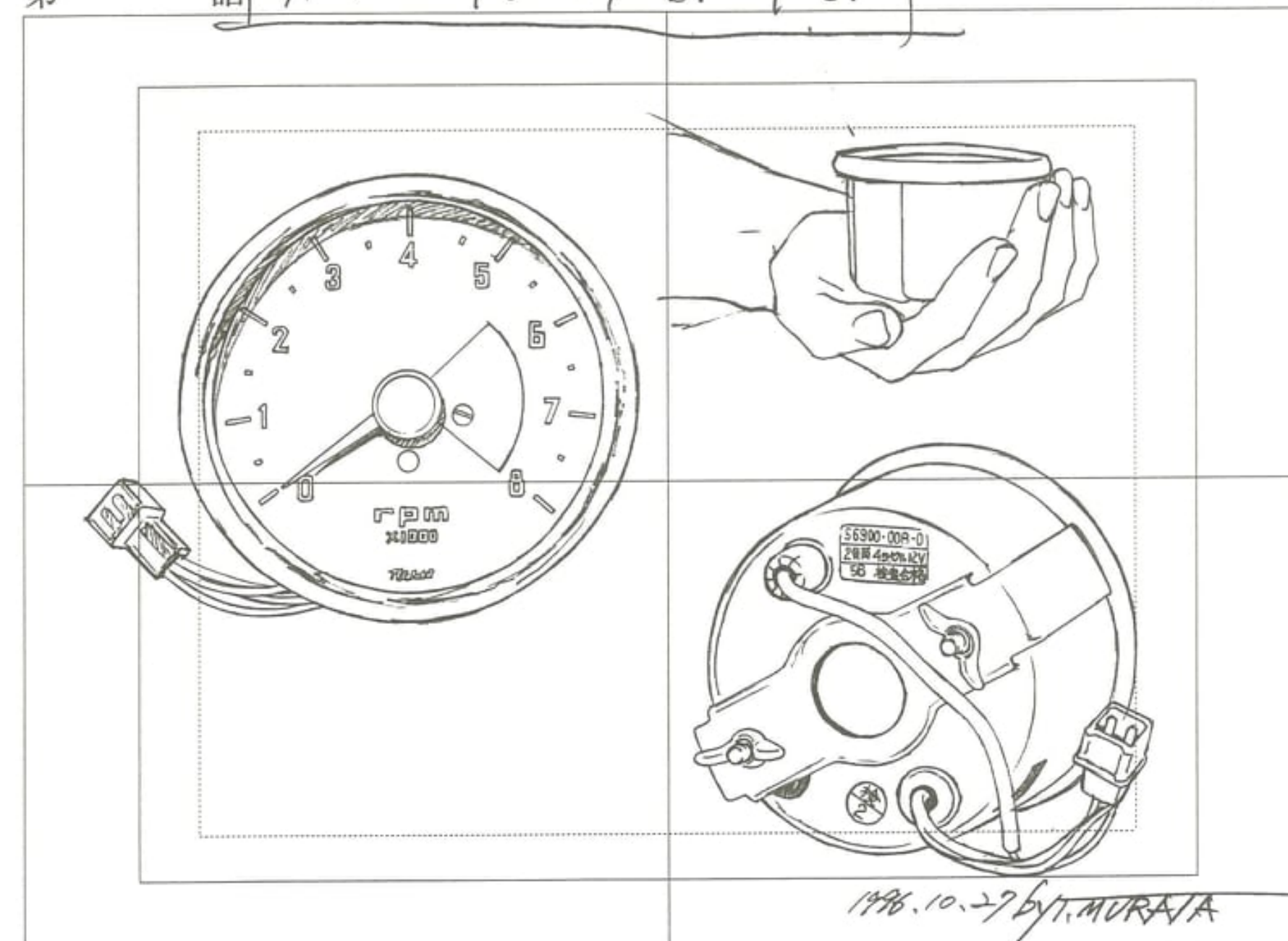
スタジオ デイーン

TIME (+)

第

話

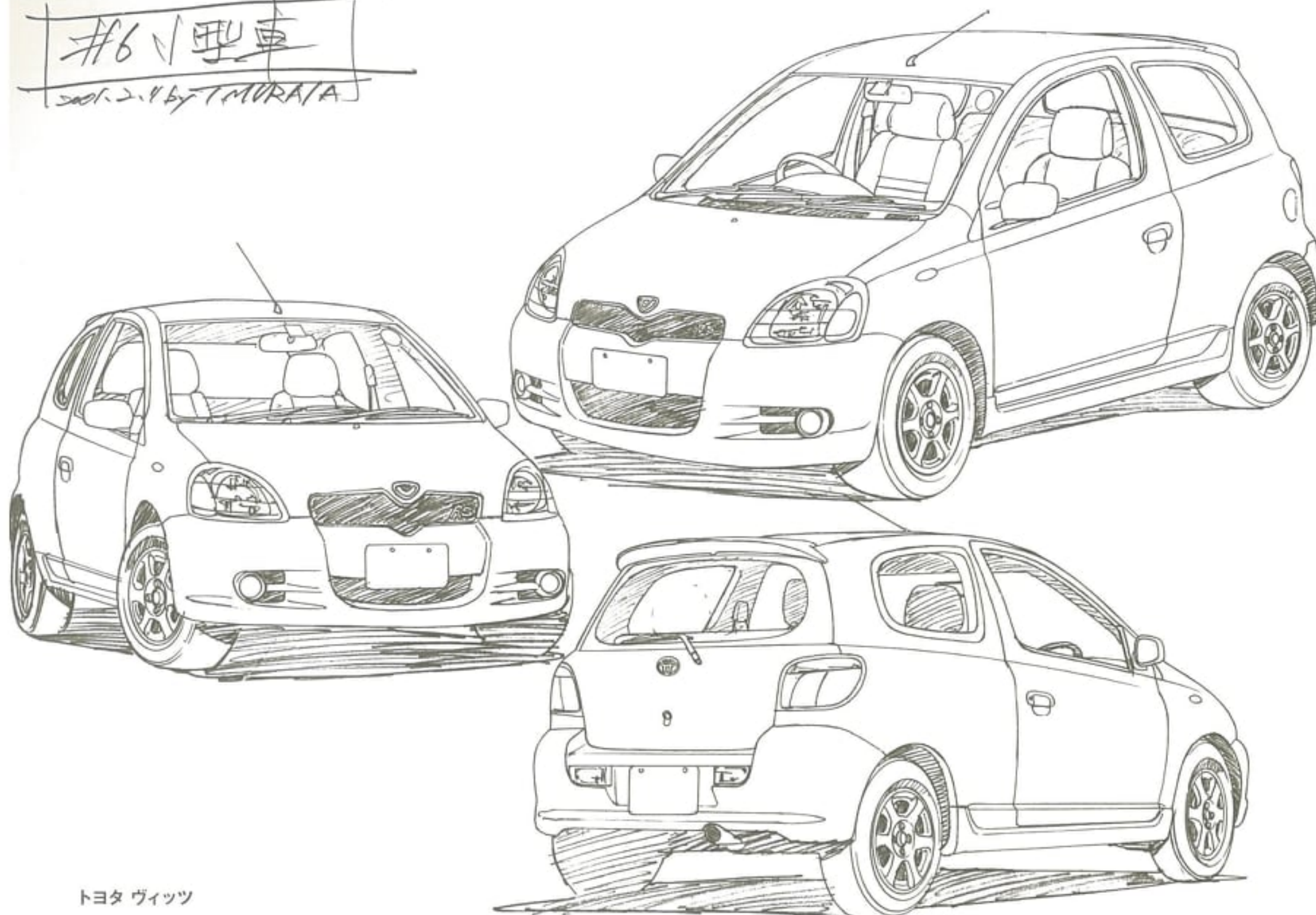
#9 ヨ9877ピット-9c.



1996.10.27 by T. MURATA

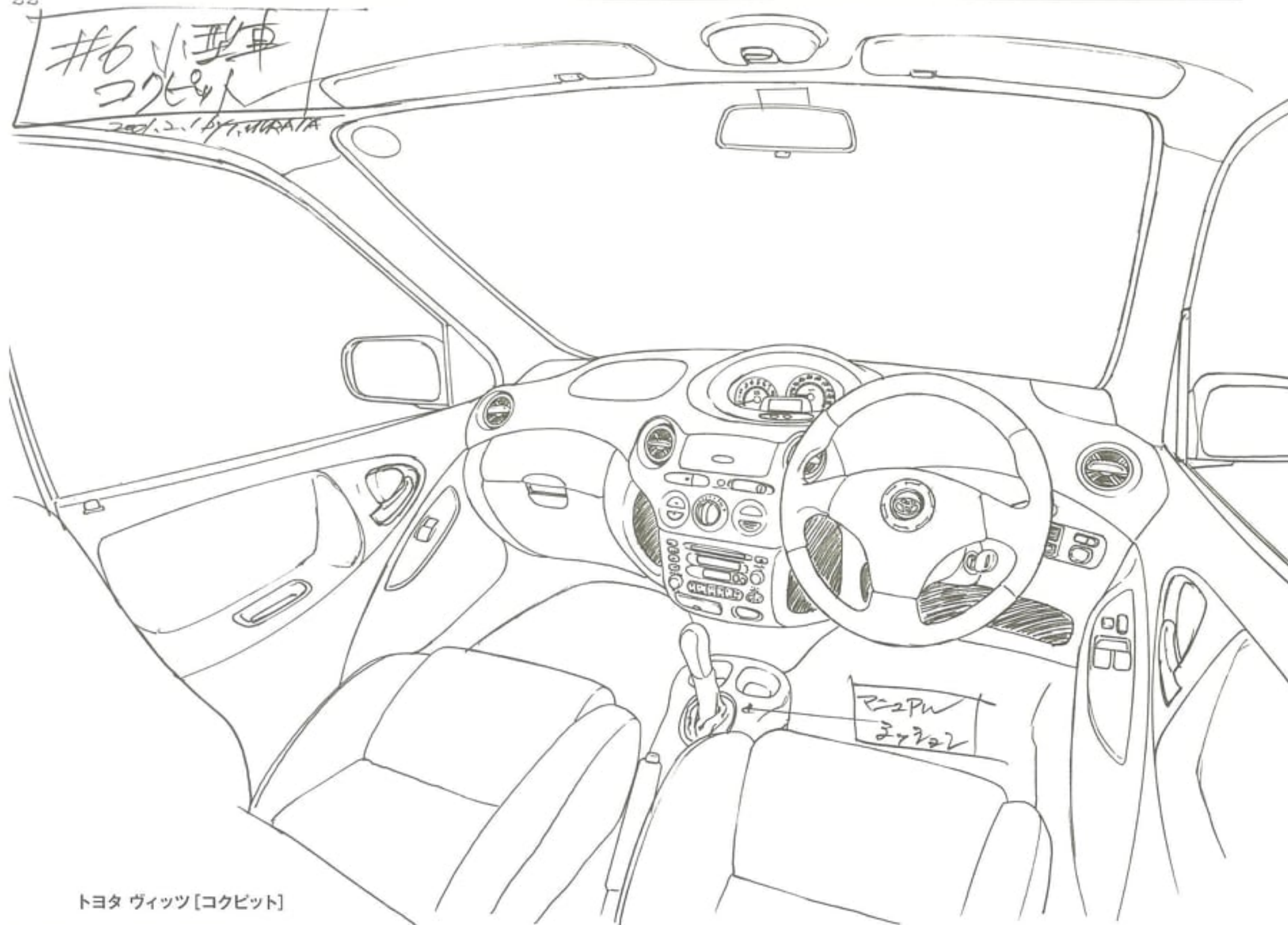
トヨタ スポーツ800 [タコメーター]

#6 小型車
2001.2.2 by T. MURATA



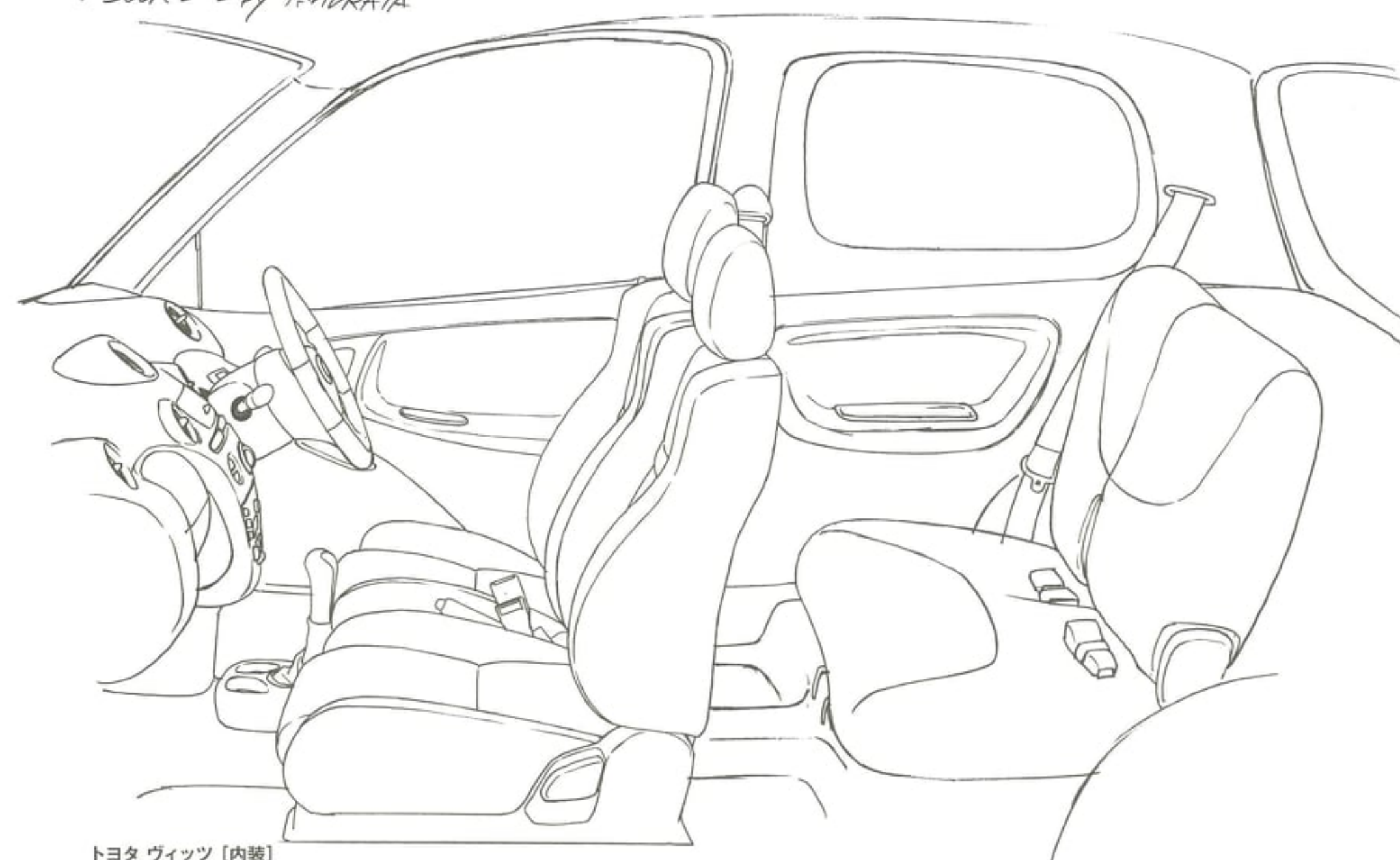
トヨタ ヴィッツ

22



トヨタ ヴィッツ [コクピット]

#6 小型車
2001.2.2 by T. MURATA

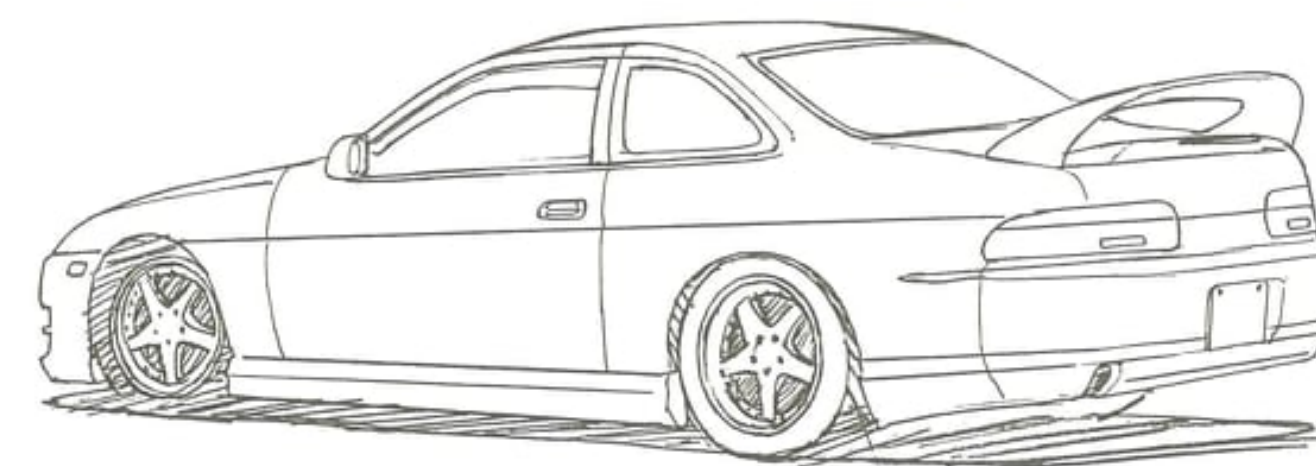


トヨタ ヴィッツ [内装]

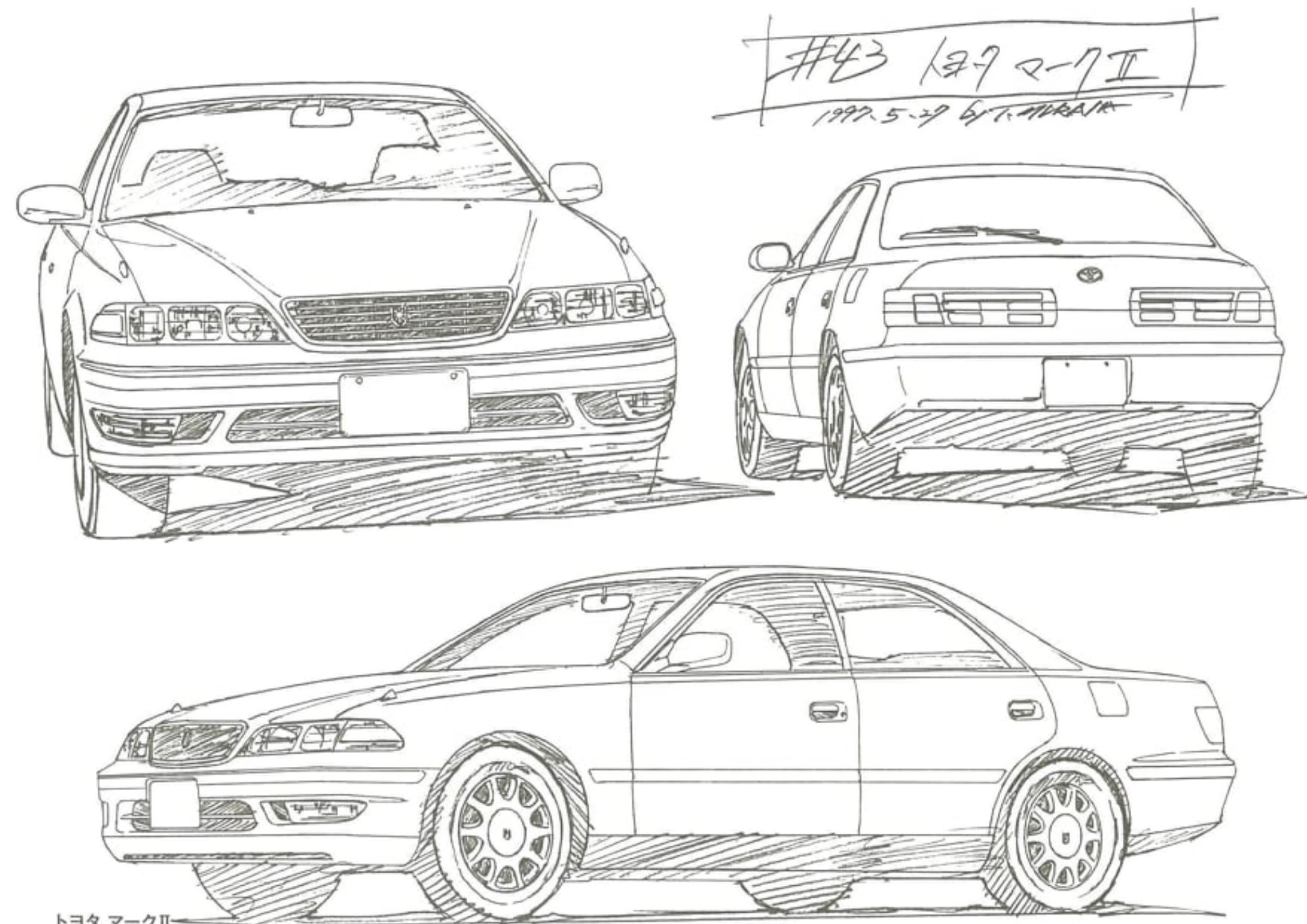
23



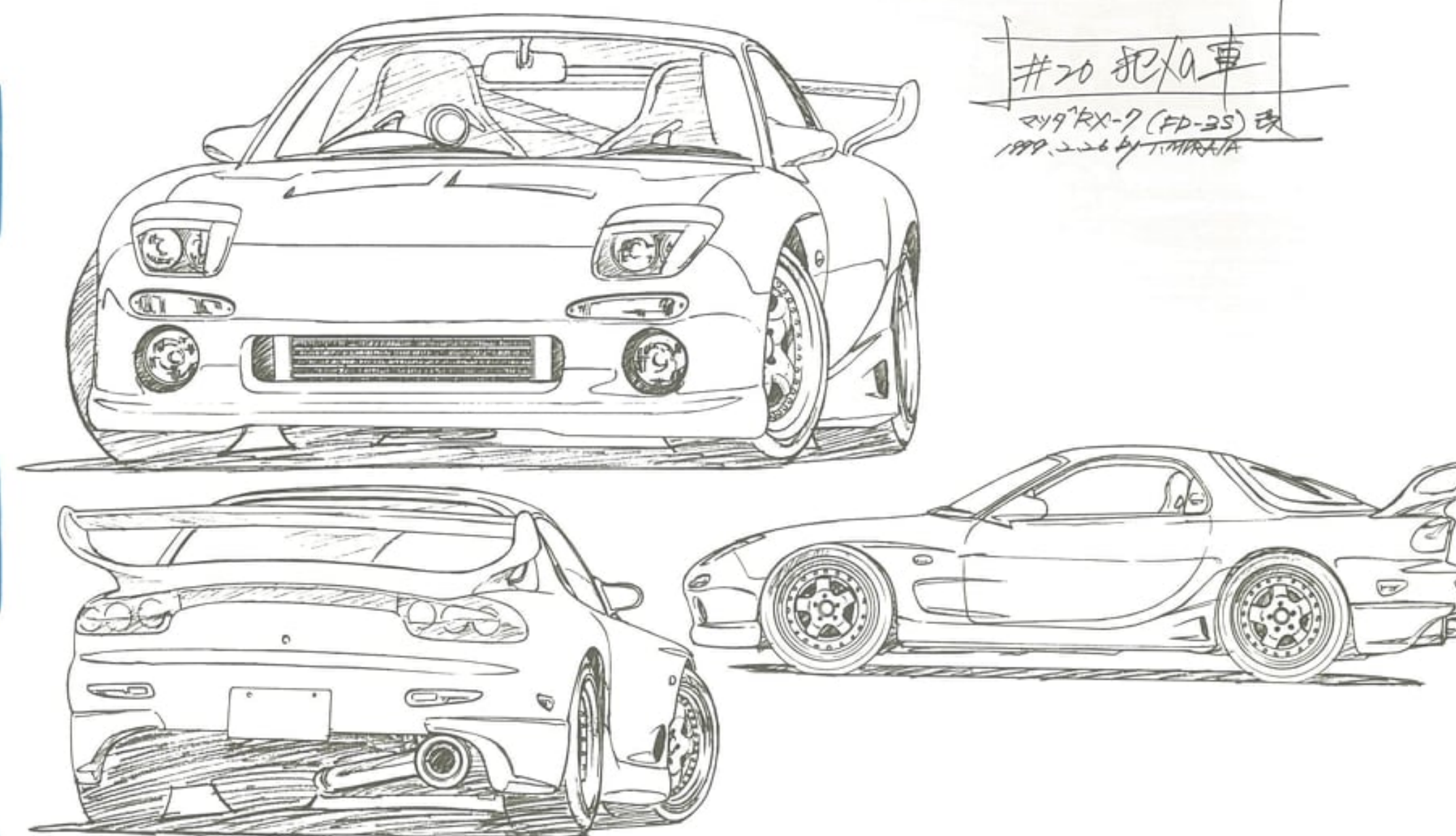
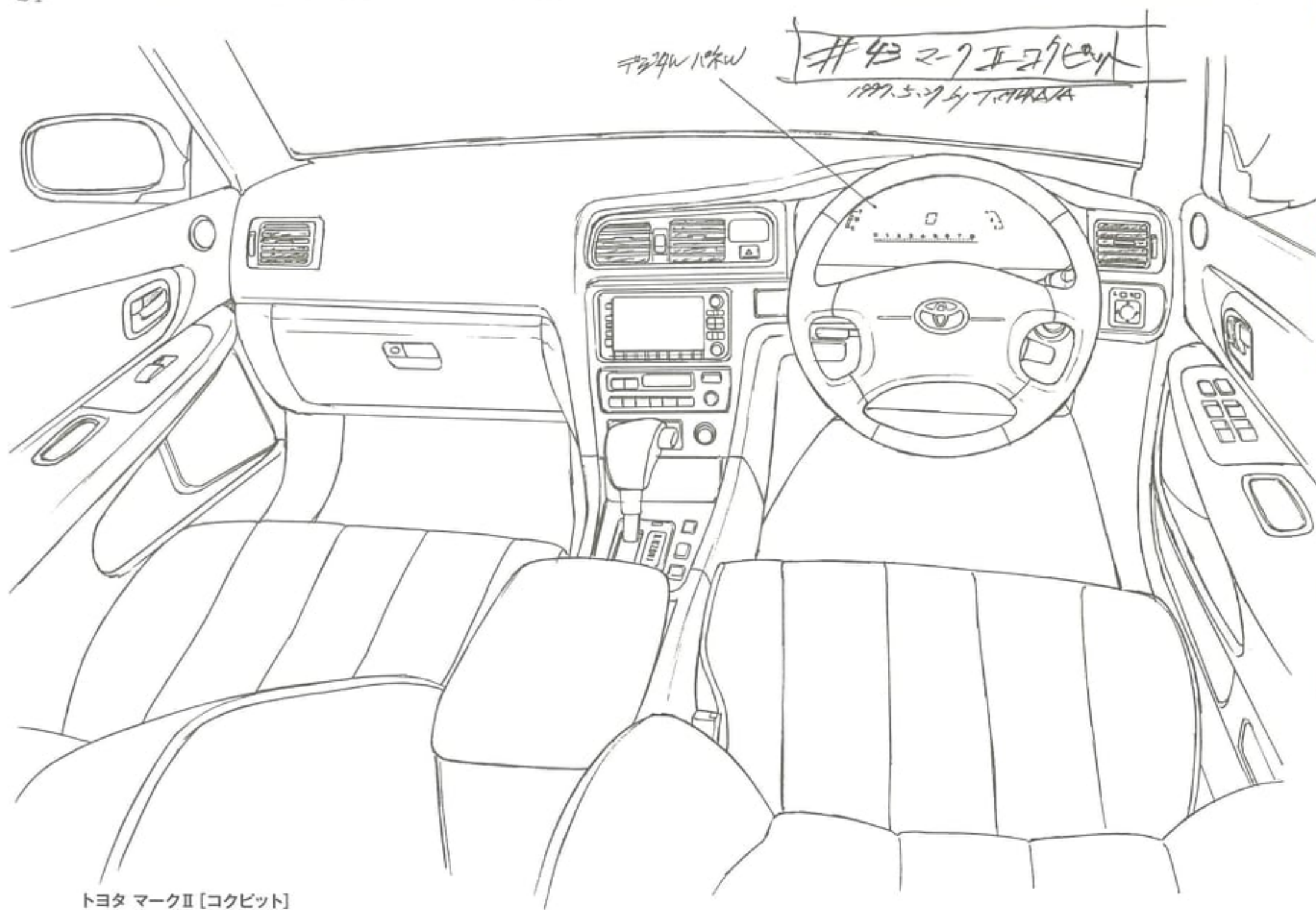
#4 改造車
1999.4.23 by T. MURATA



トヨタ ソアラ

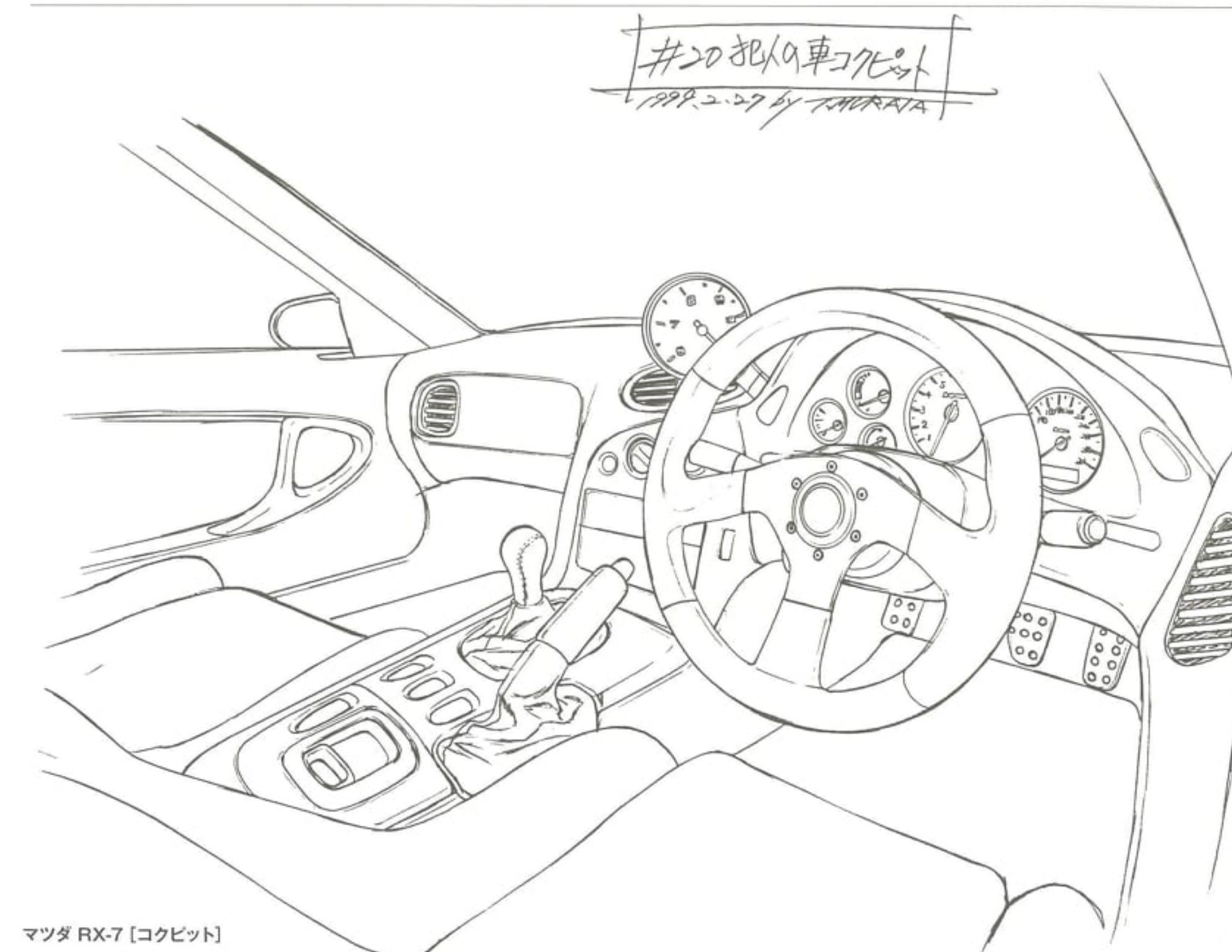


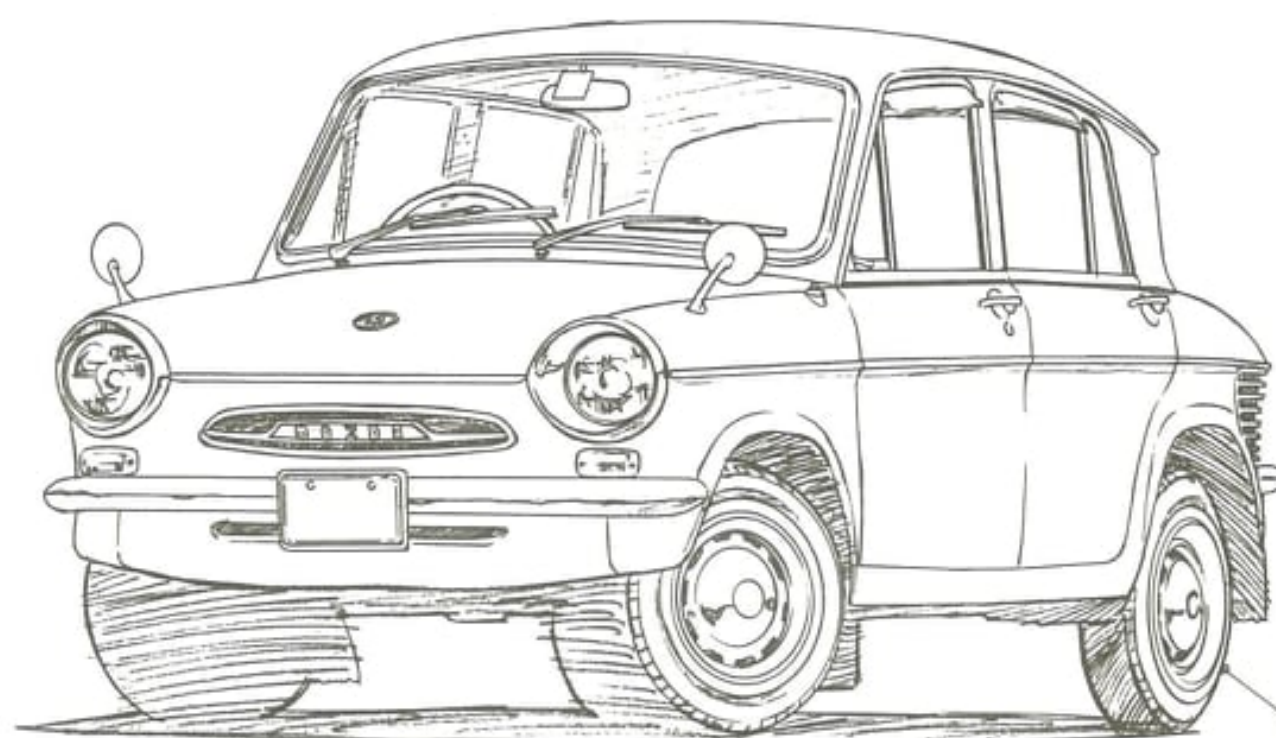
24



マツダ RX-7

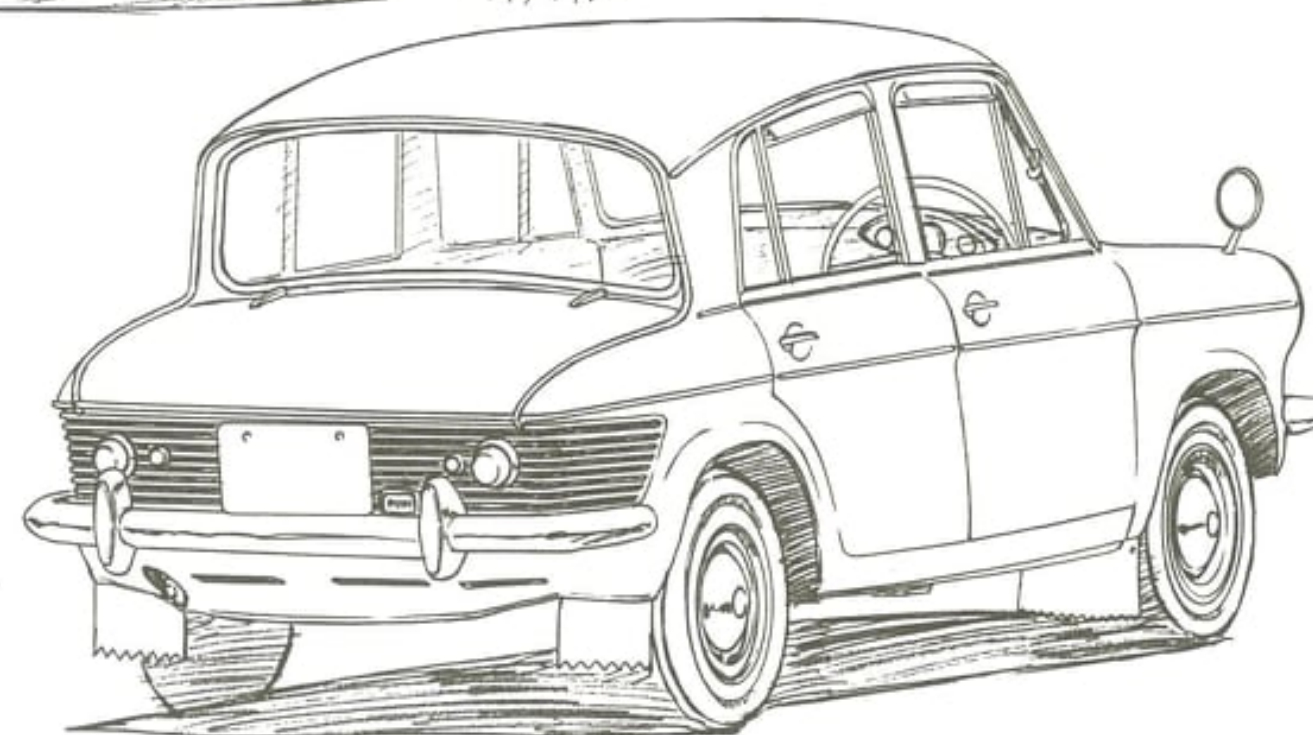
25





マツダキャロル
1999.2.26 by T. MURATA

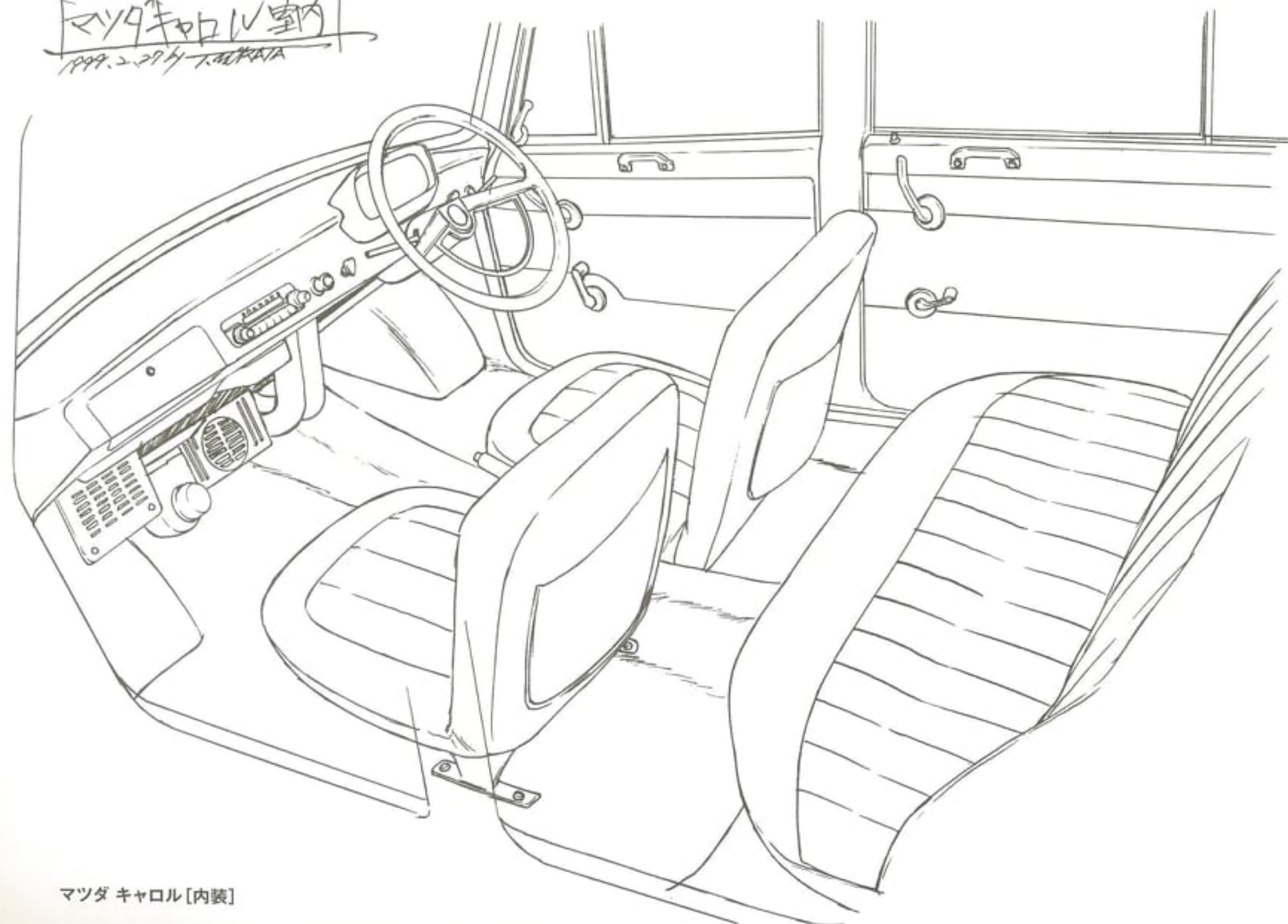
フォトリボン



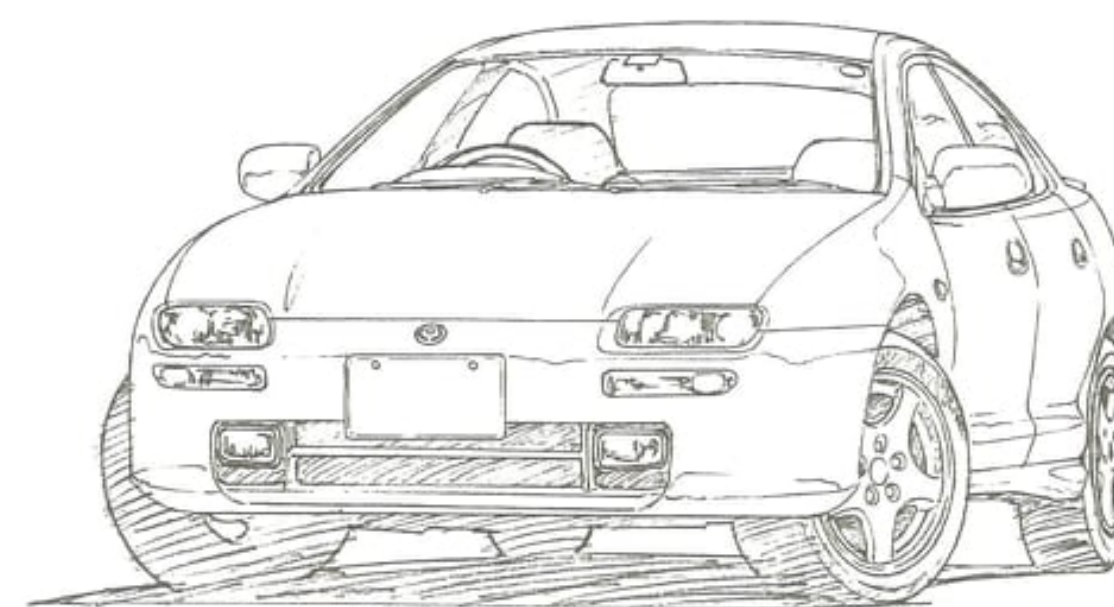
マツダ キャロル

26

マツダキャロル室内
1999.2.27 by T. MURATA



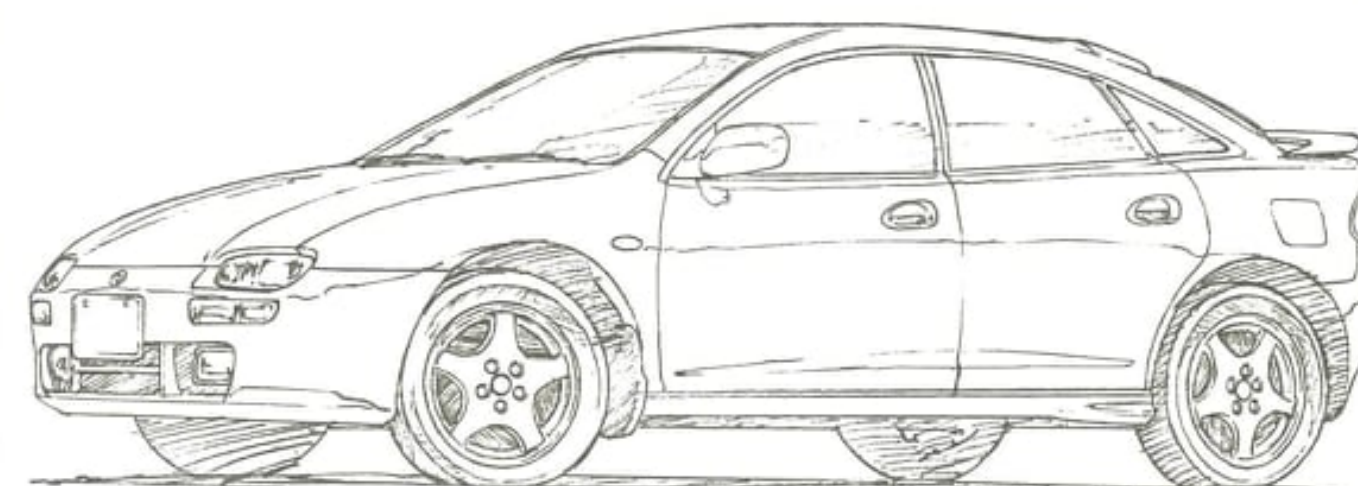
マツダ キャロル [内装]



マツダランティス
1998.3.16 by T. MURATA



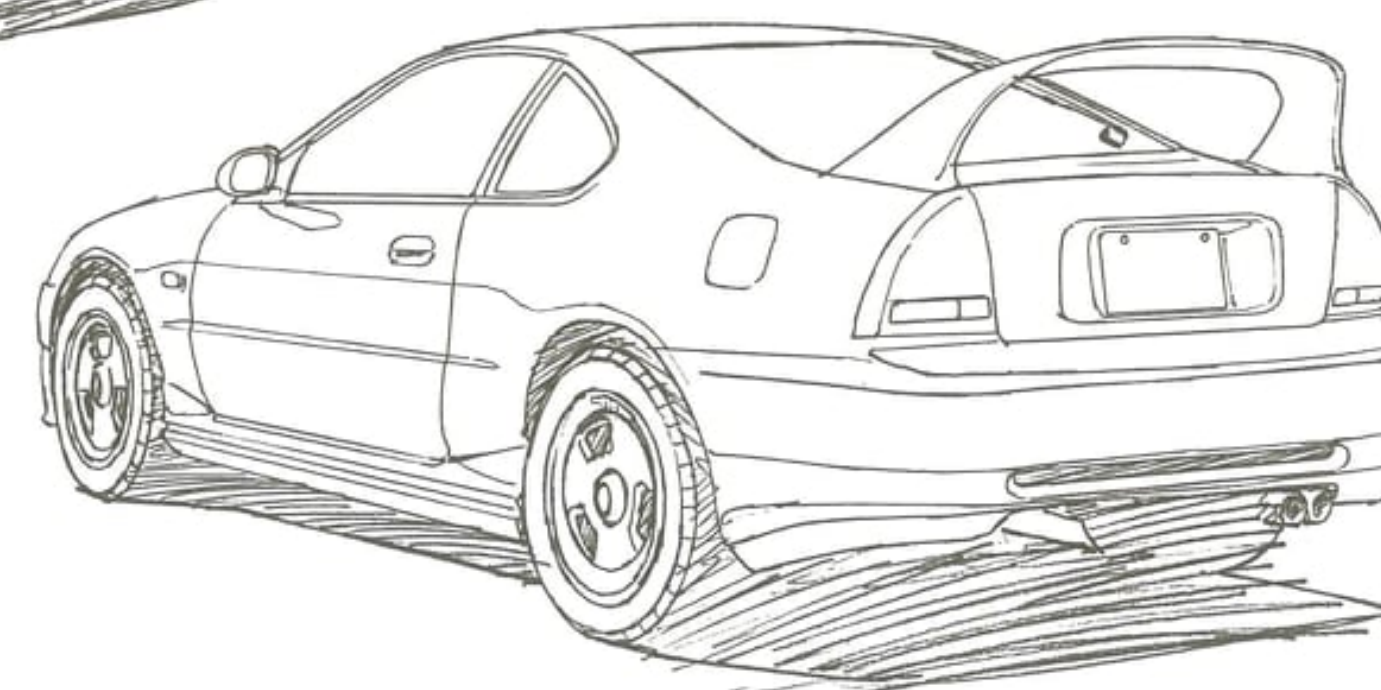
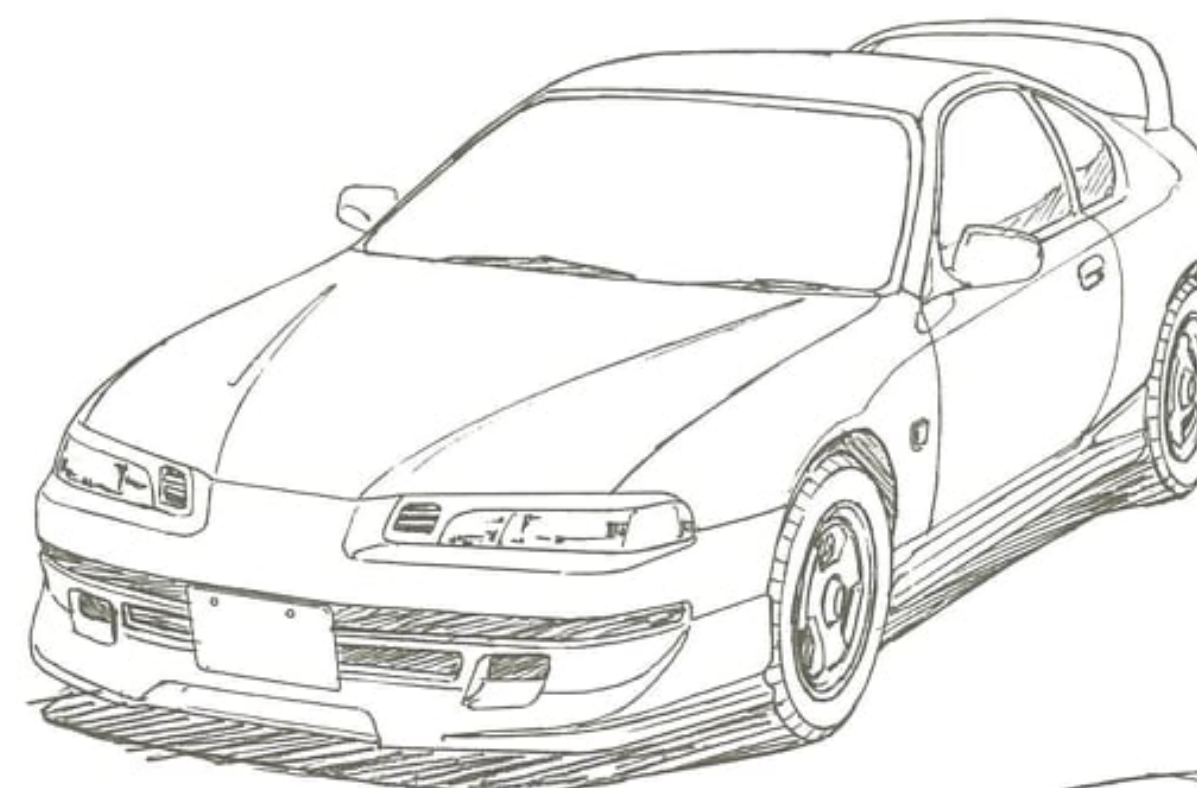
全長 4245mm
全幅 1695mm
全高 1355mm



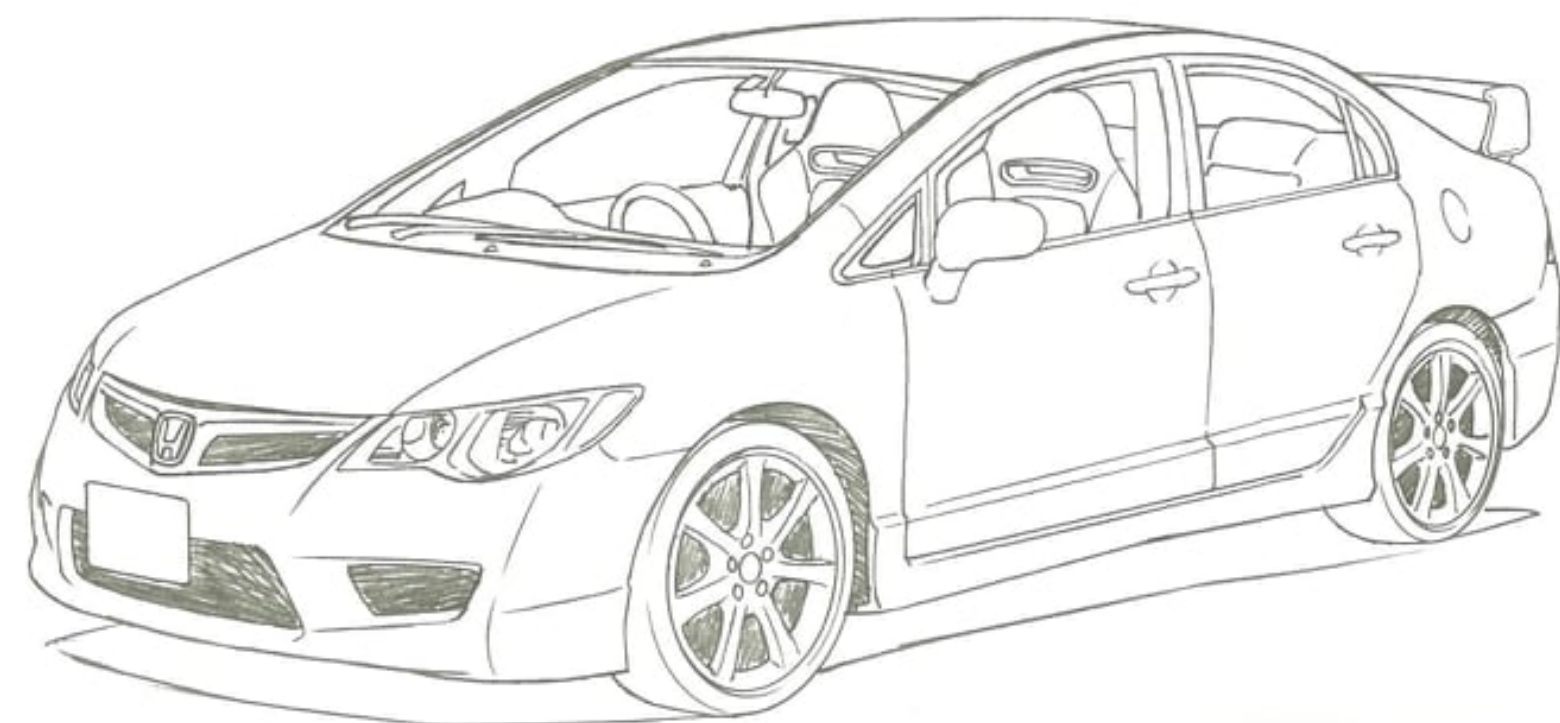
マツダ ランティス

27

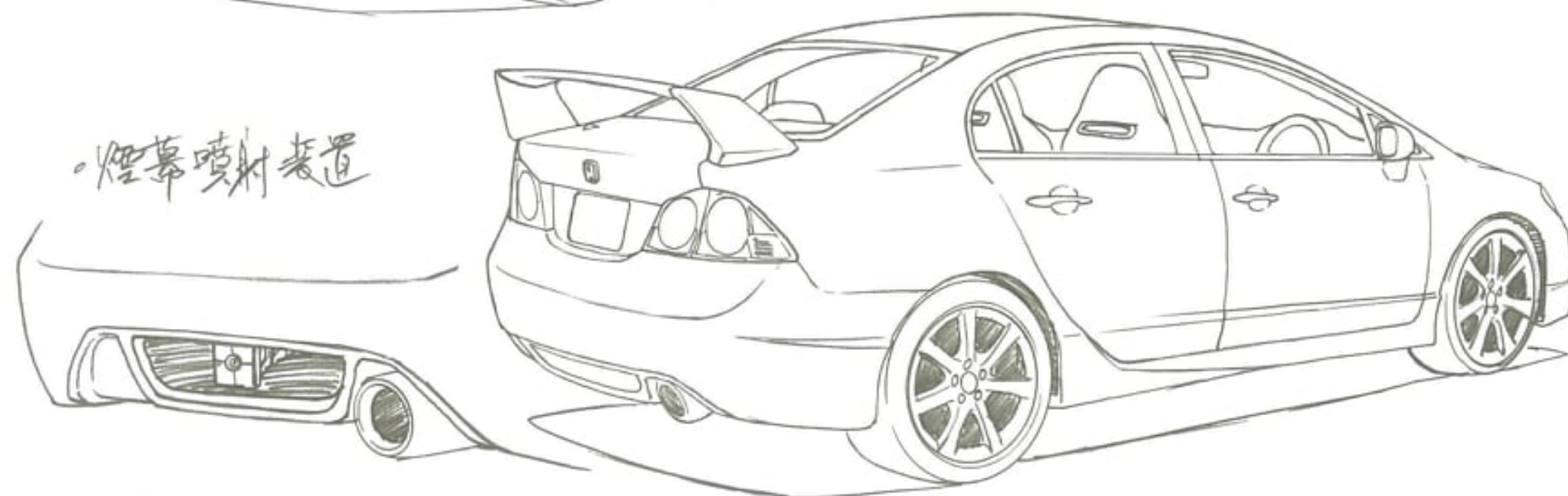
#41 改造車集の④
1999.4.23 by T. MURATA



ホンダ プレリュード



シビック
TYPE R
2007.12.13
by T. MURATA



・煙幕噴射装置

ホンダ シビックTYPE-R

28

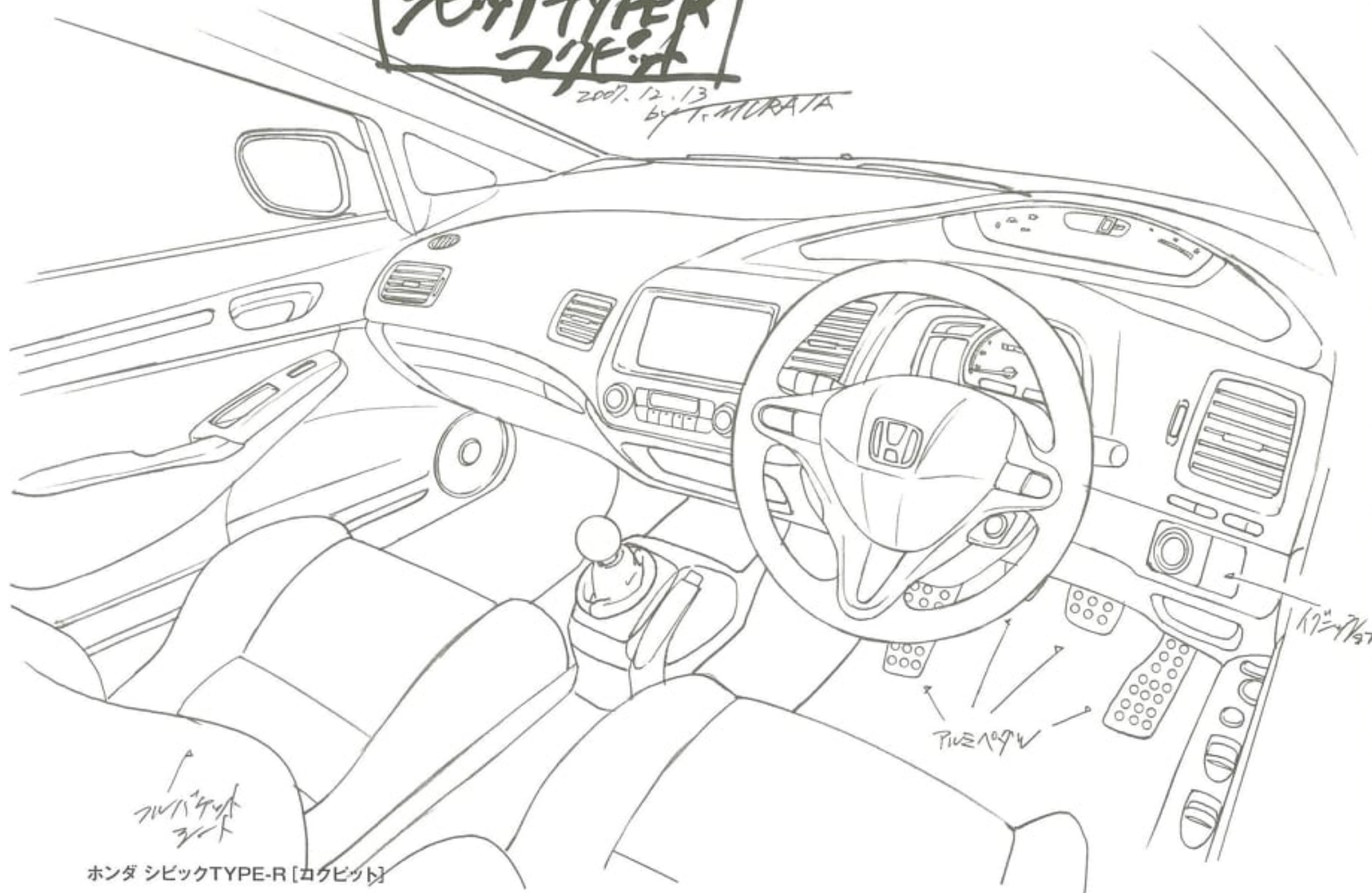
シビック
TYPE R
2007.12.13
by T. MURATA



ホンダ シビックTYPE-R [コクピット]

29

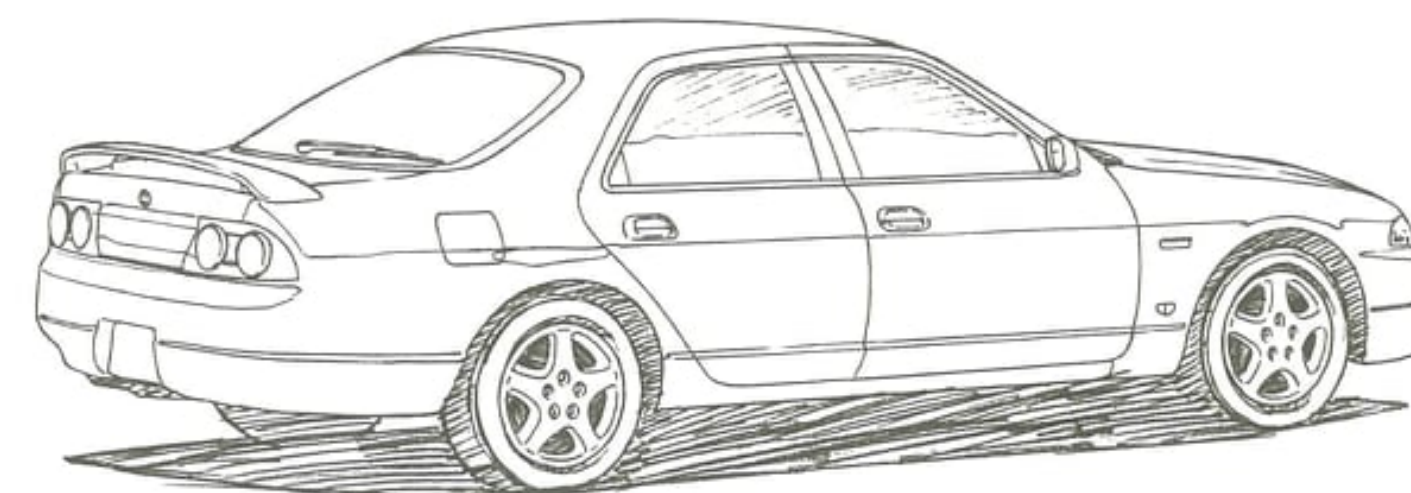
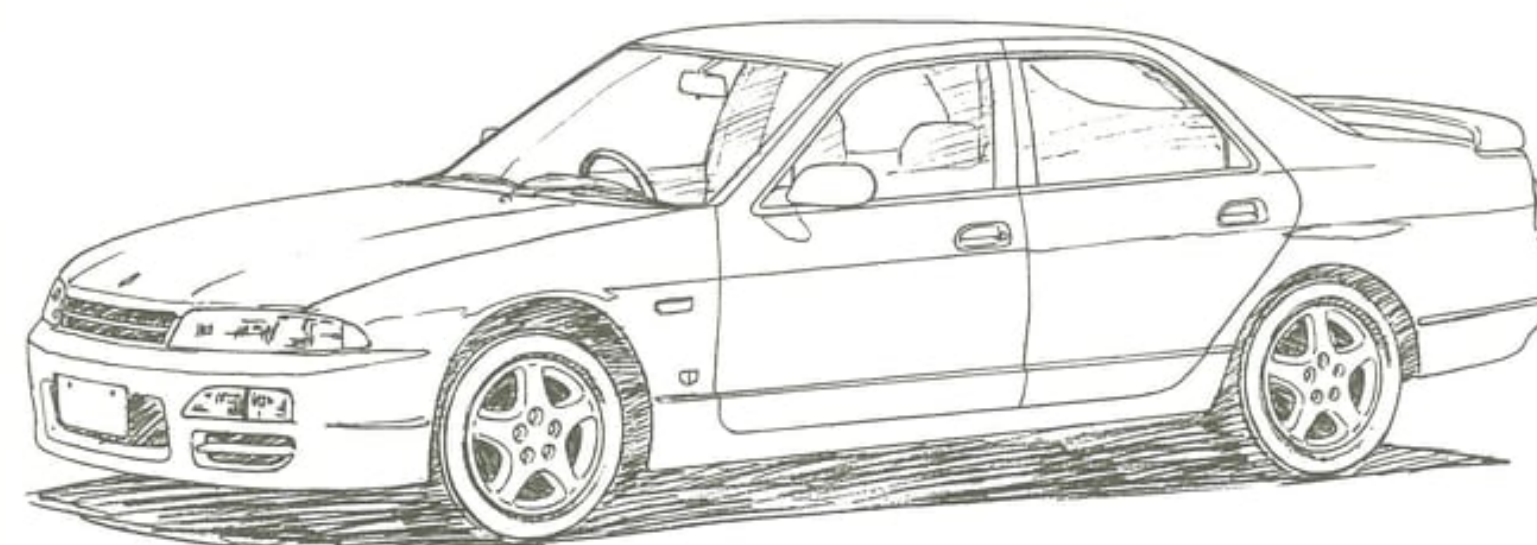
シビック
TYPE R
2007.12.13
by T. MURATA



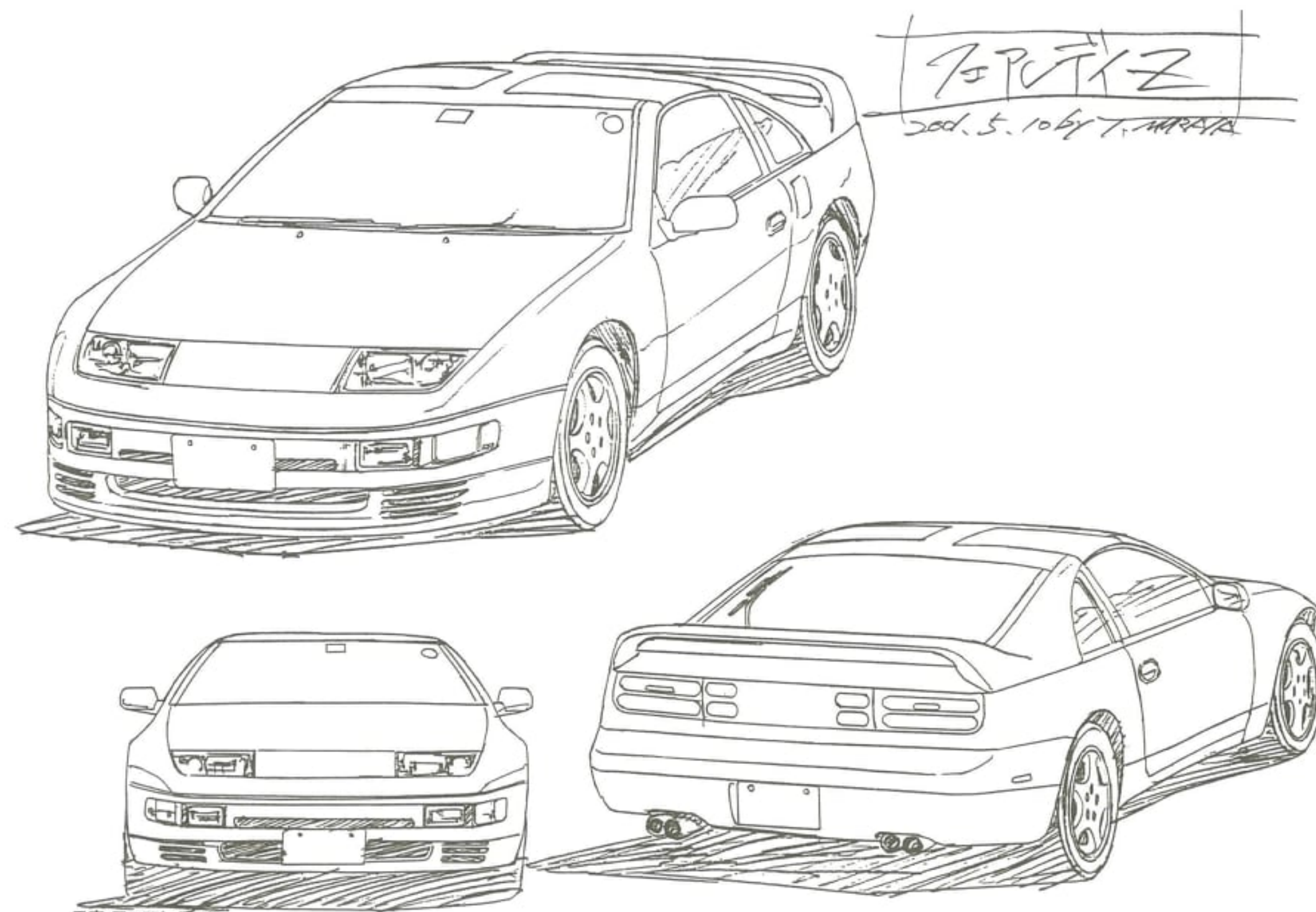
・ナビゲーション
システム

ホンダ シビックTYPE-R [コクピット]

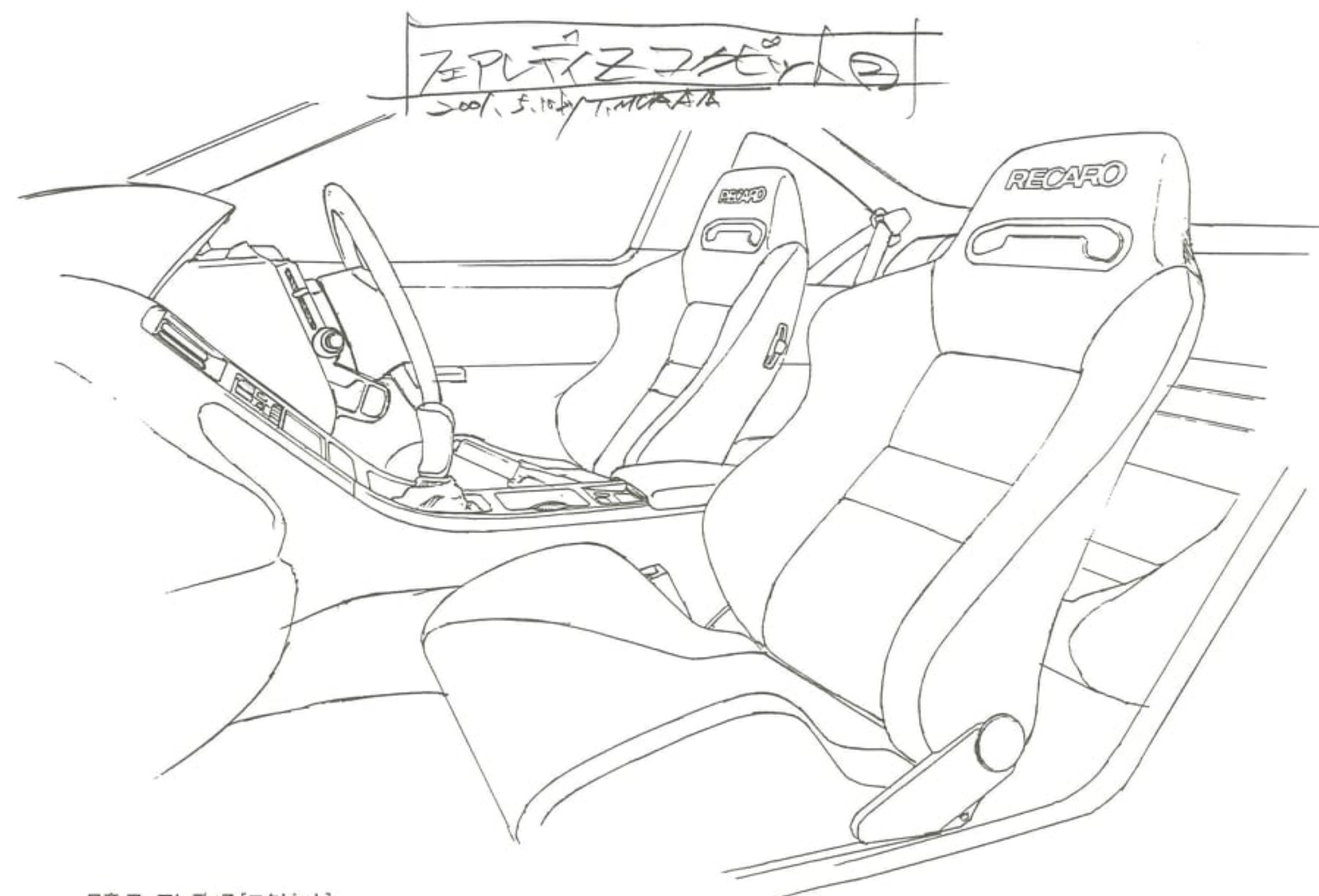
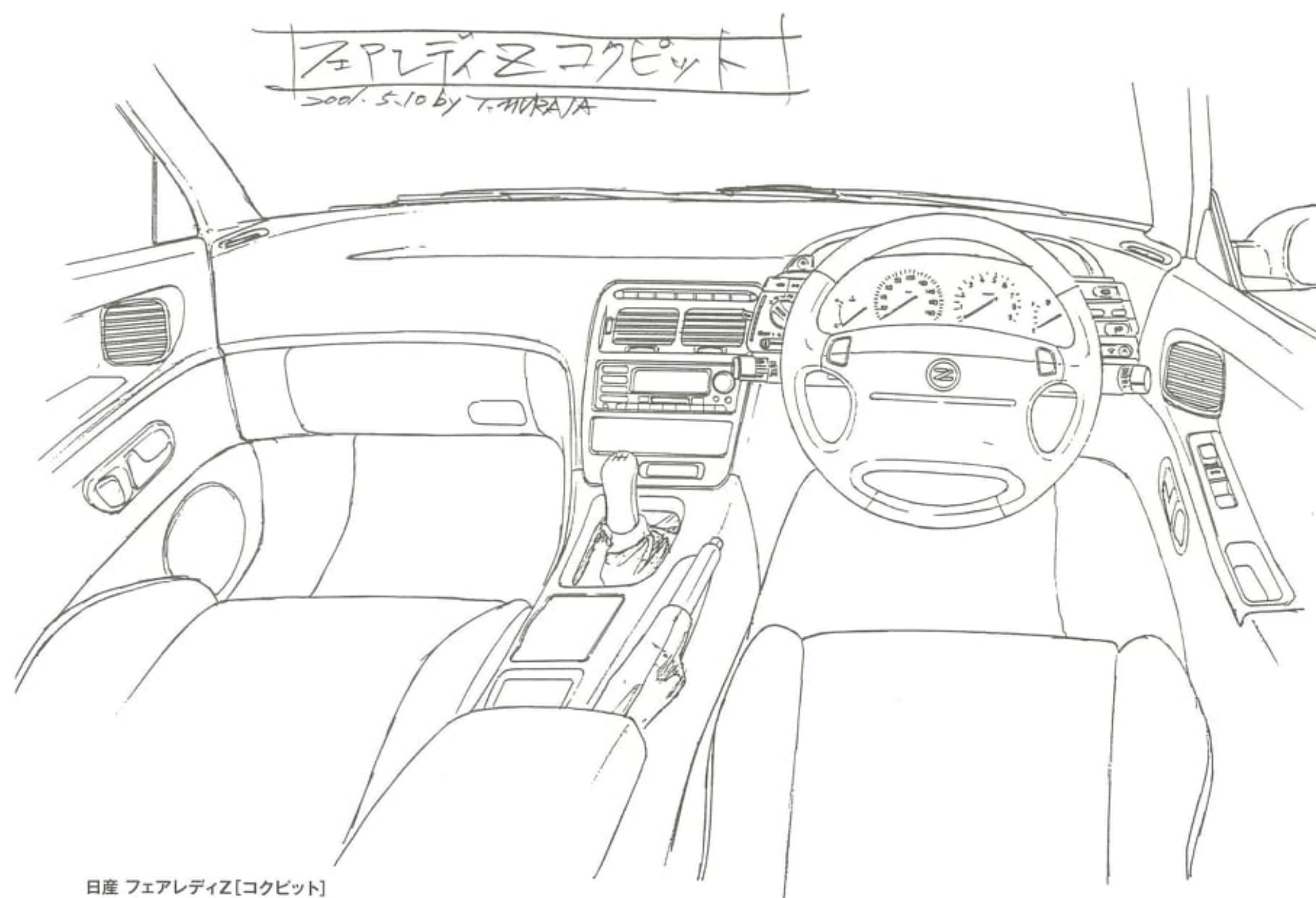
日産スカイライン
1998.3.26 by T. MURATA



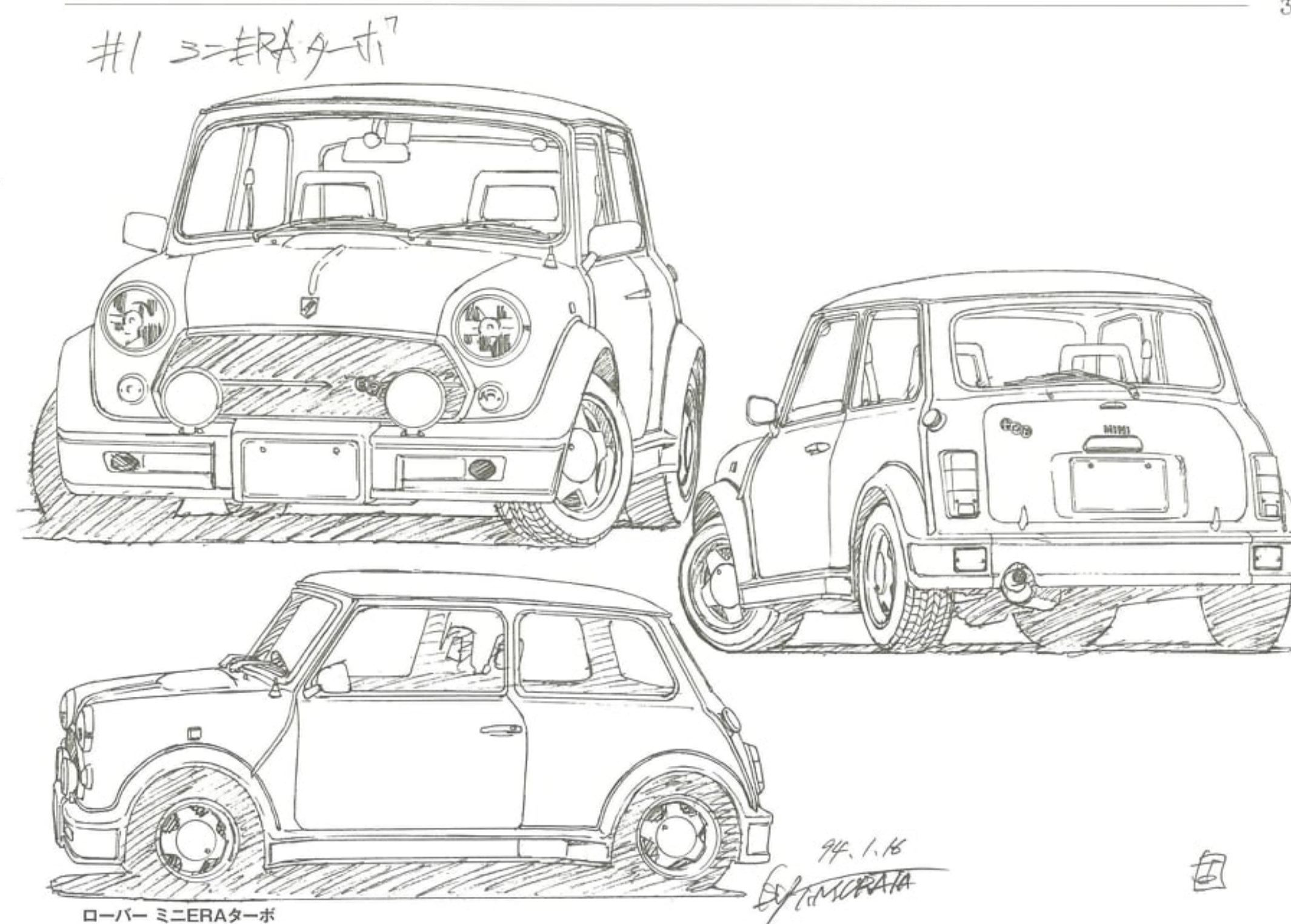
日産 スカイライン



30

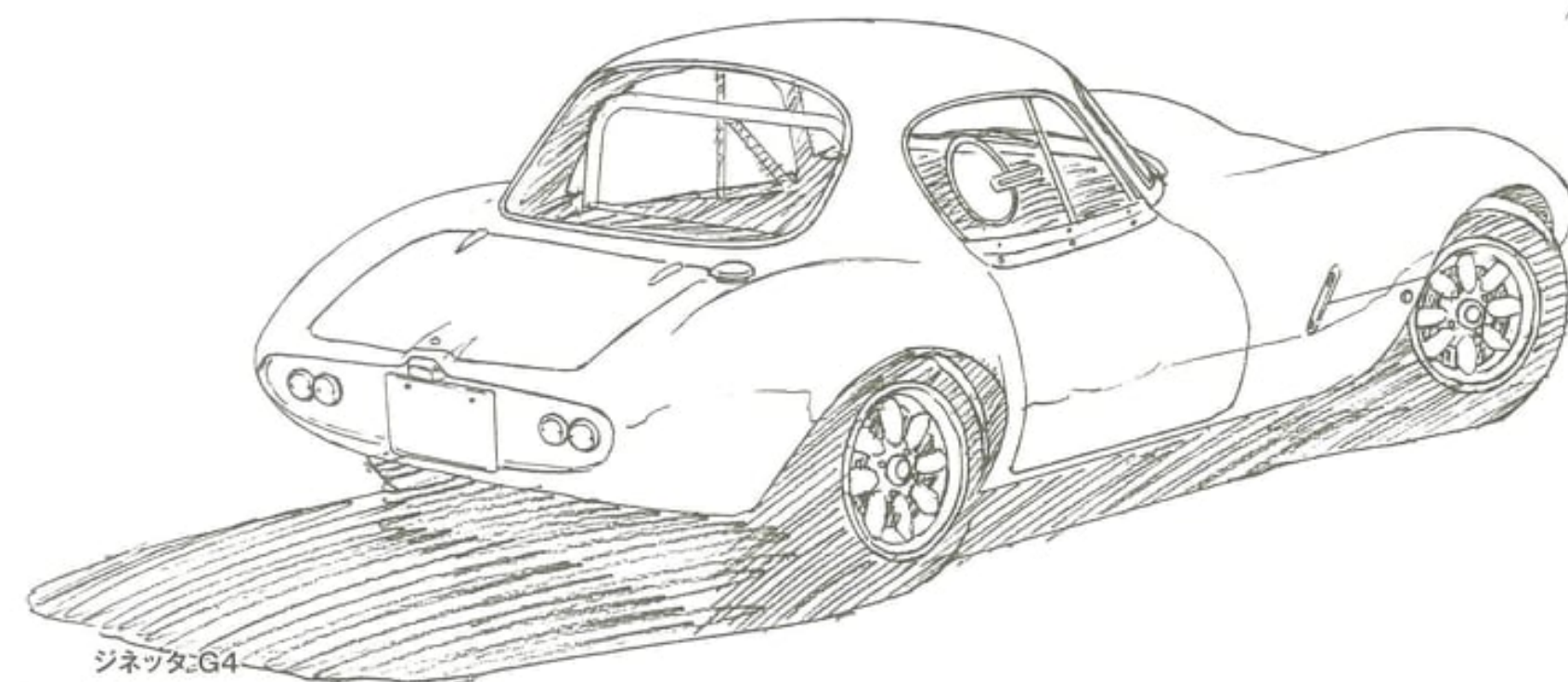
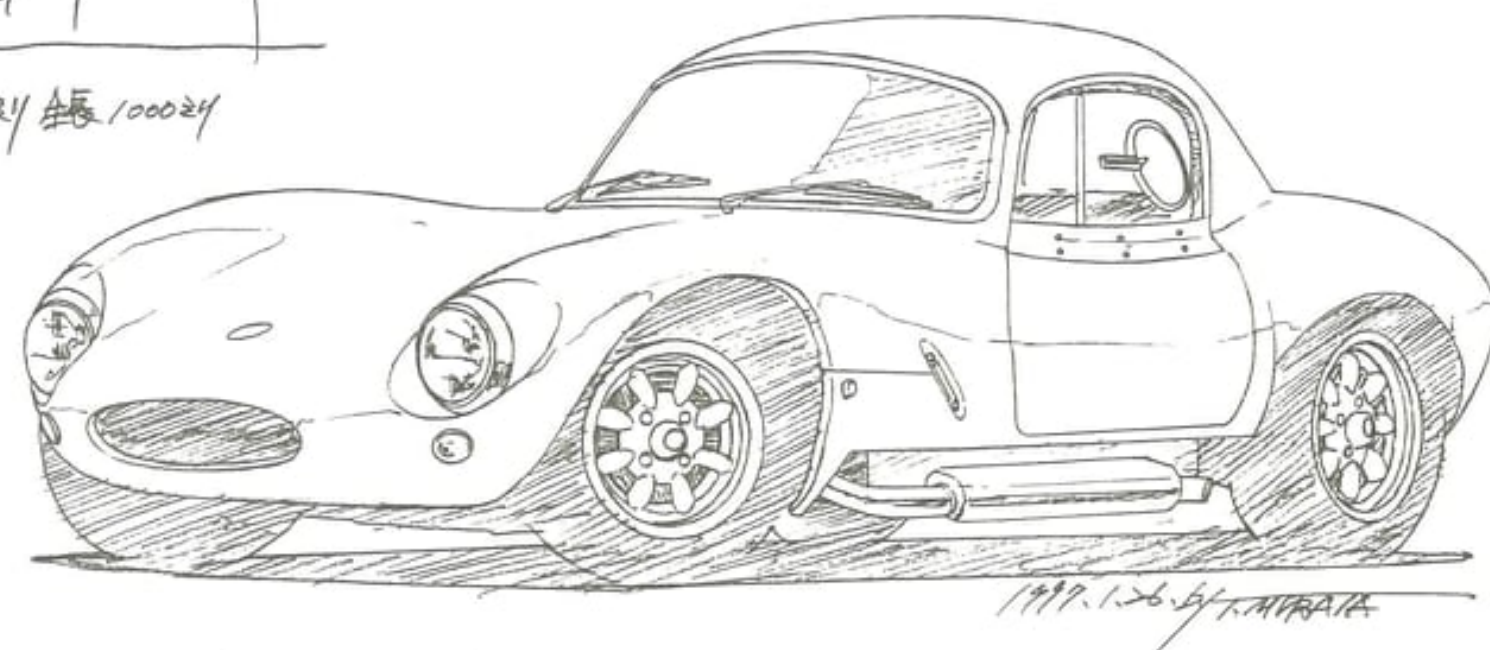


31



シネッタ G4

・全長 3400mm 全幅 1450mm 全高 1000mm
・エンジン 1.8L 5000rpm

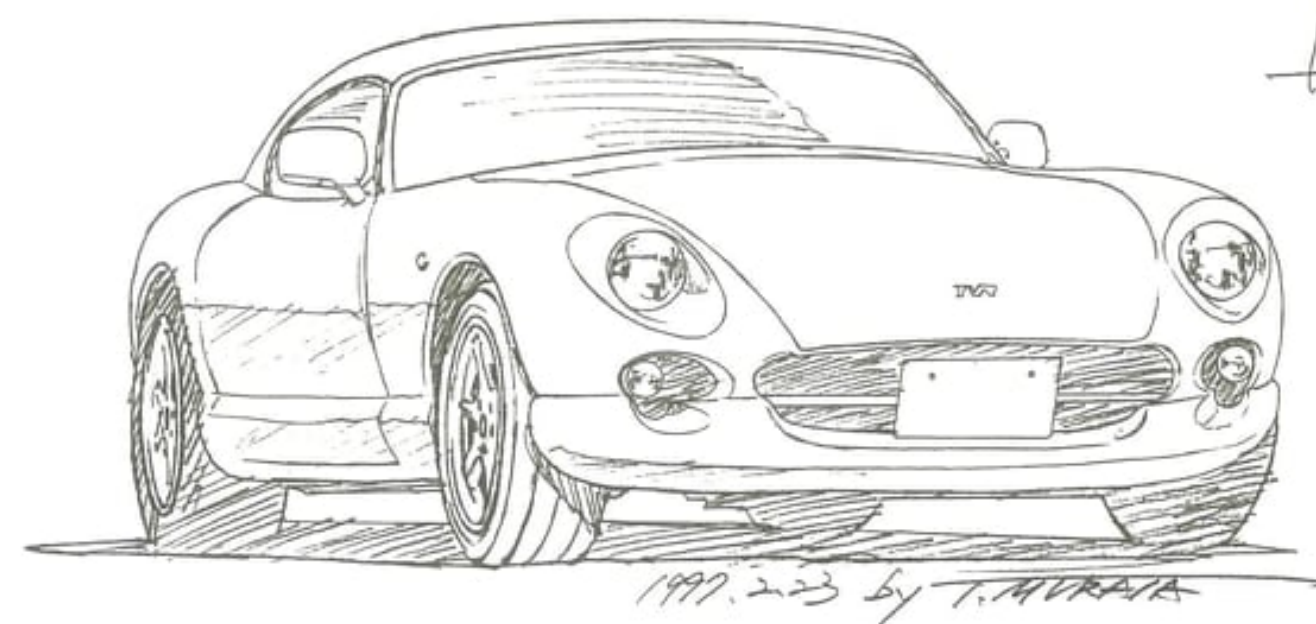


シネッタ G4

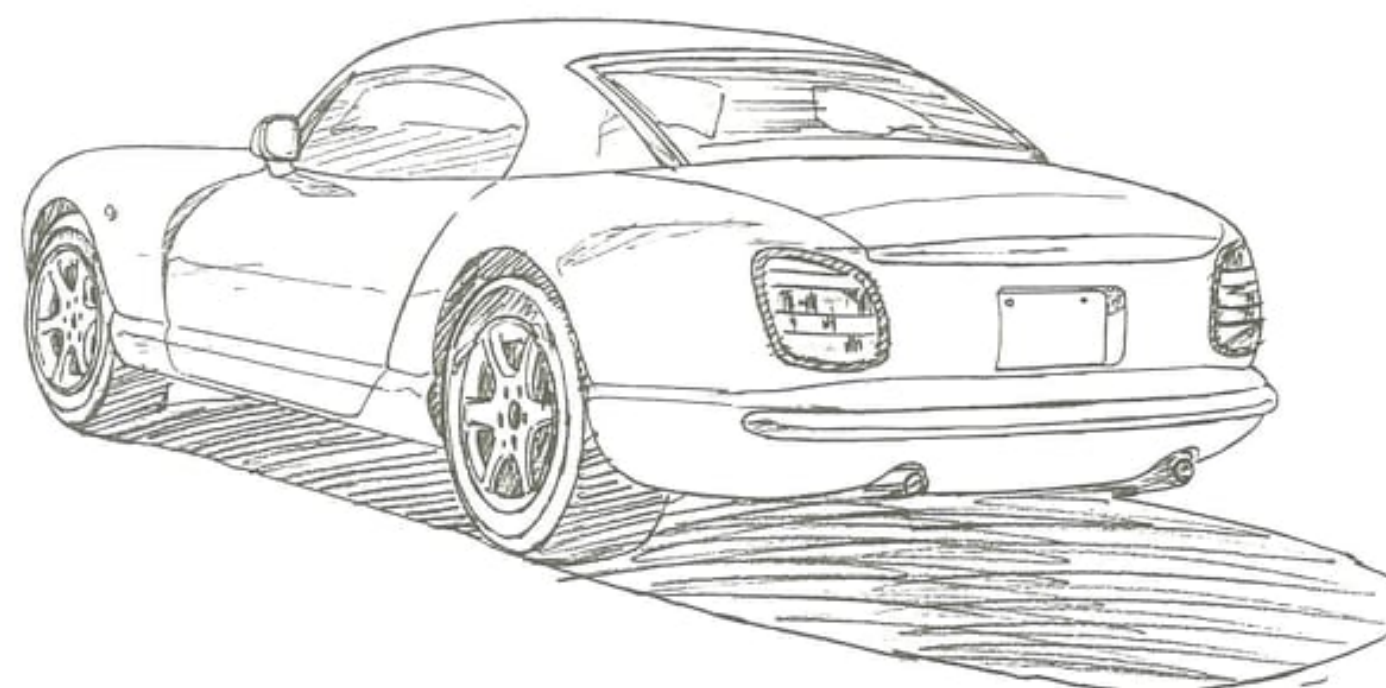
32

北小野のスポーツカー

・TVR 4-ブラウ

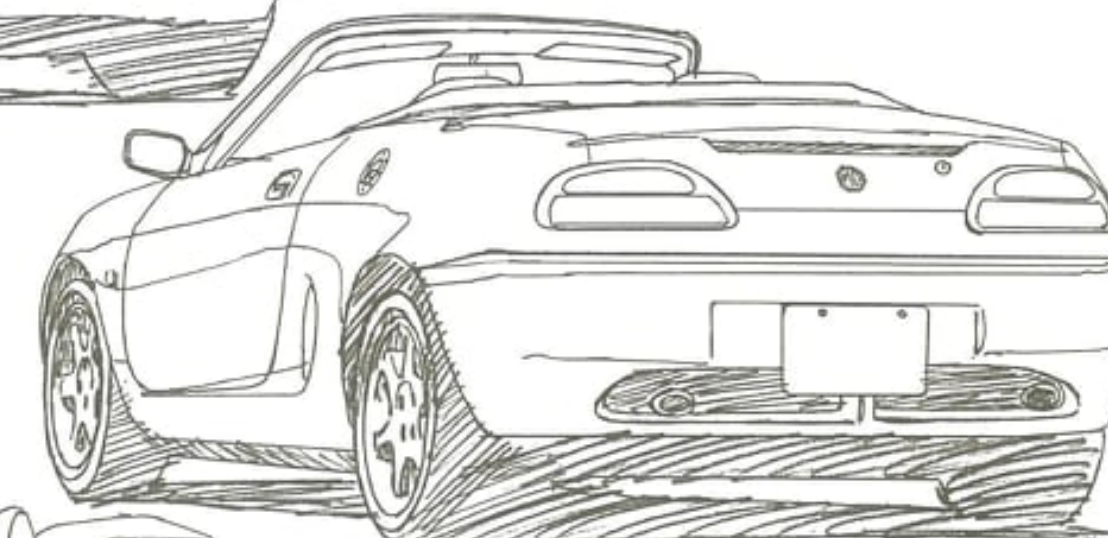
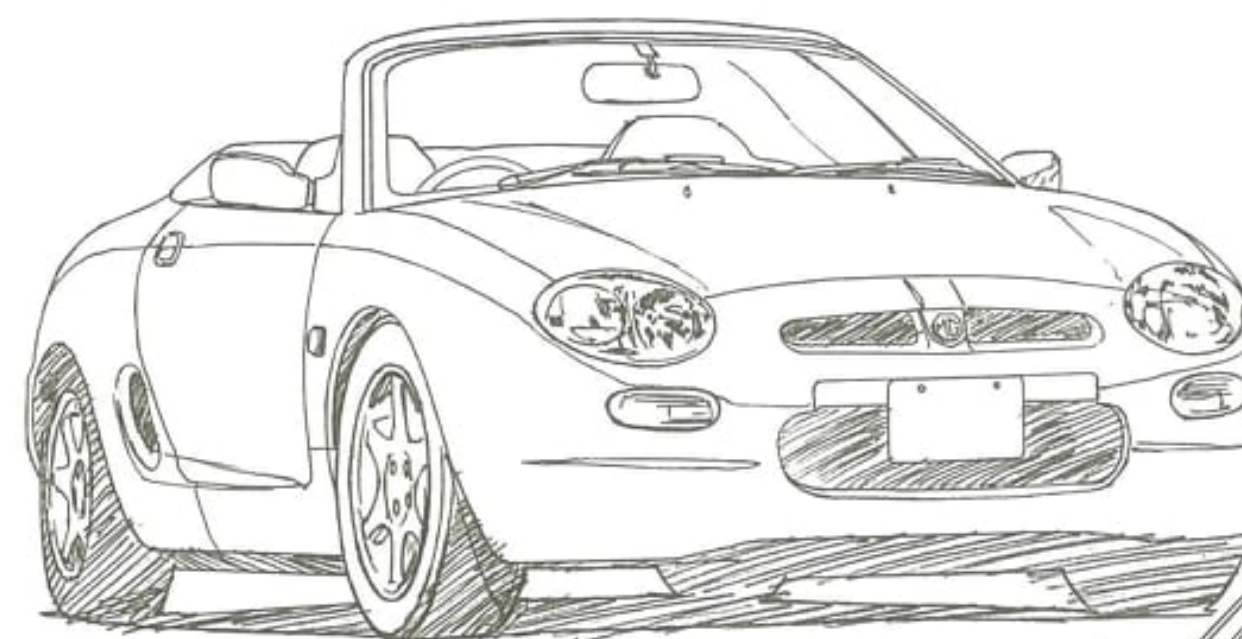


1997.2.23 by T. MURATA

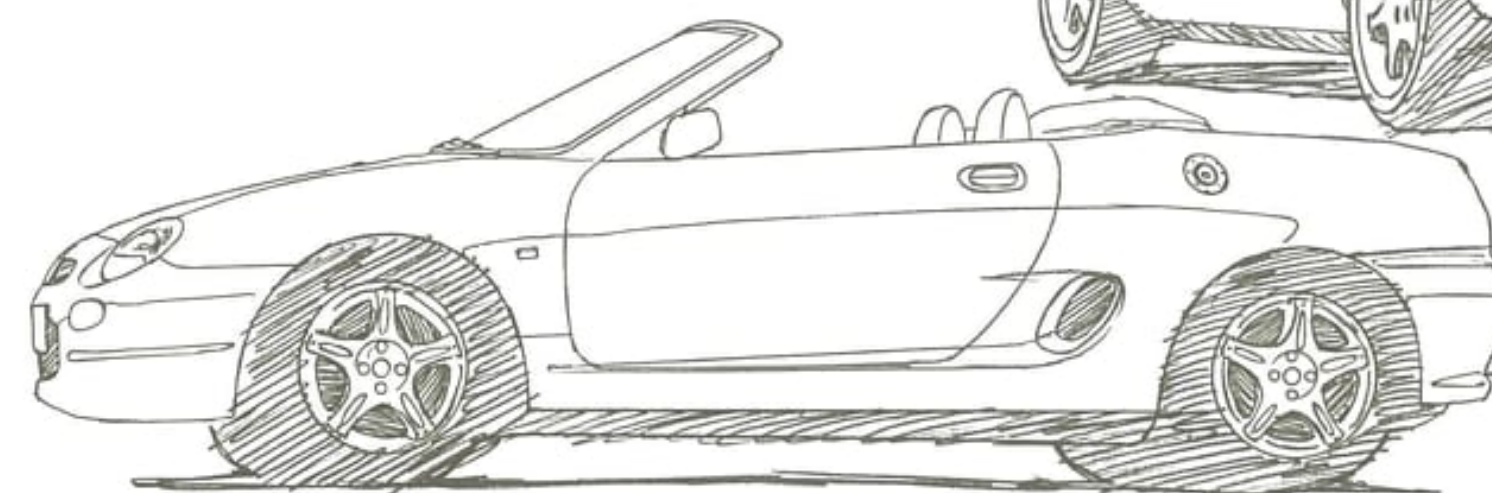


TVR サーブラウ

MGF



1997.3.29 by T. MURATA

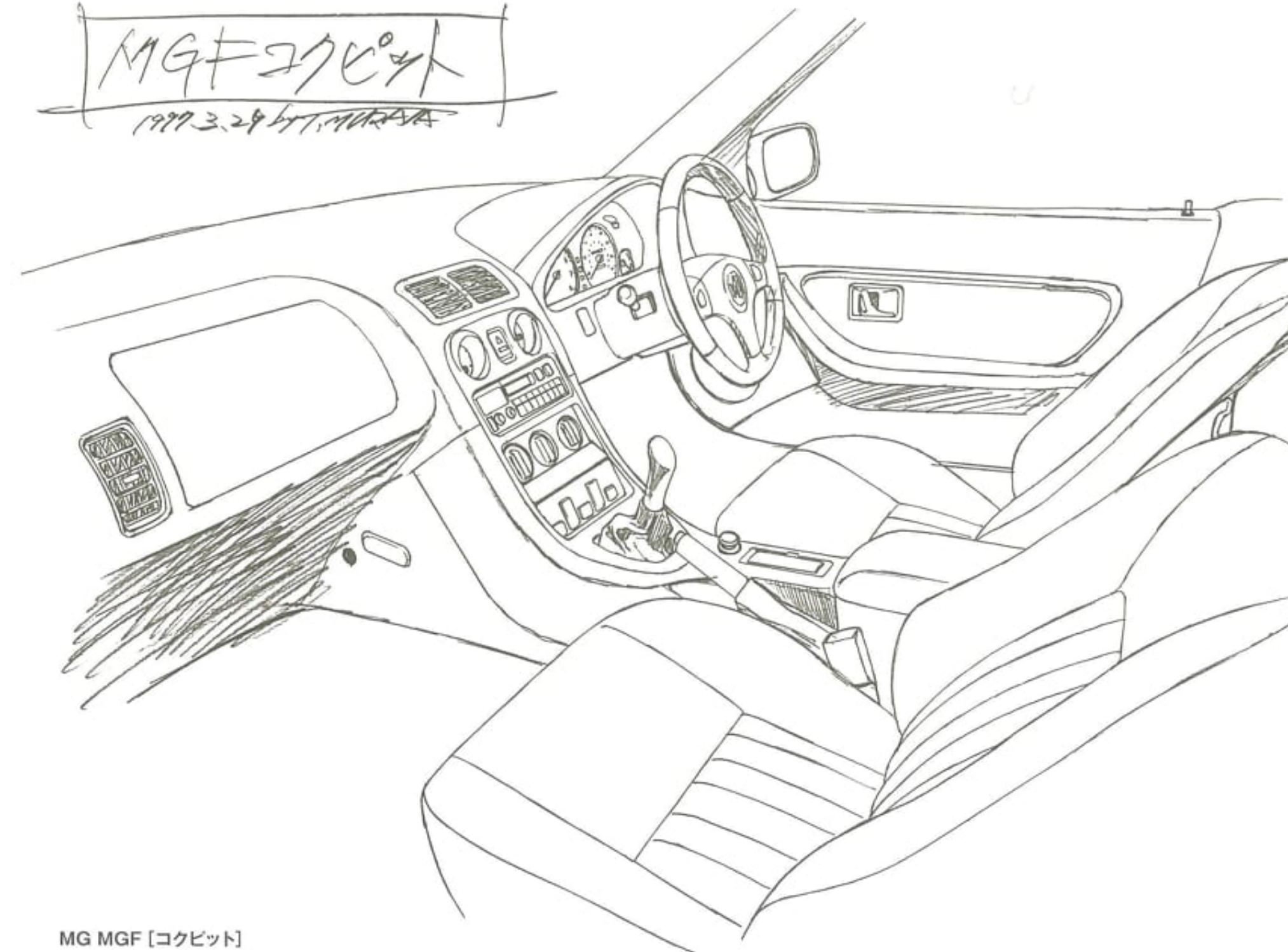


MG MGF

33

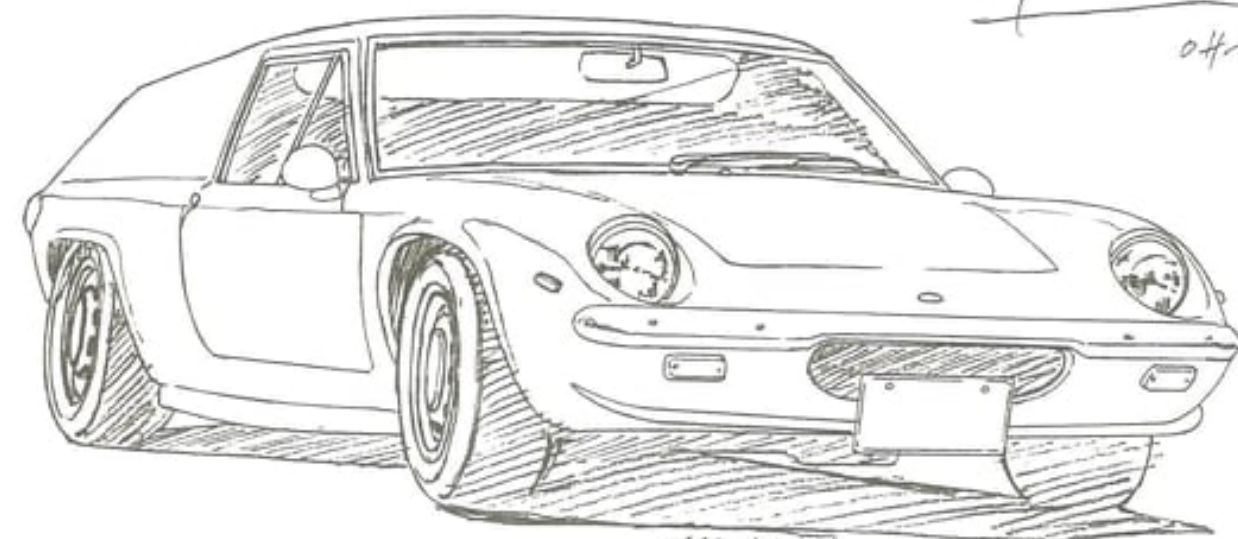
MGF コクピット

1997.3.29 by T. MURATA



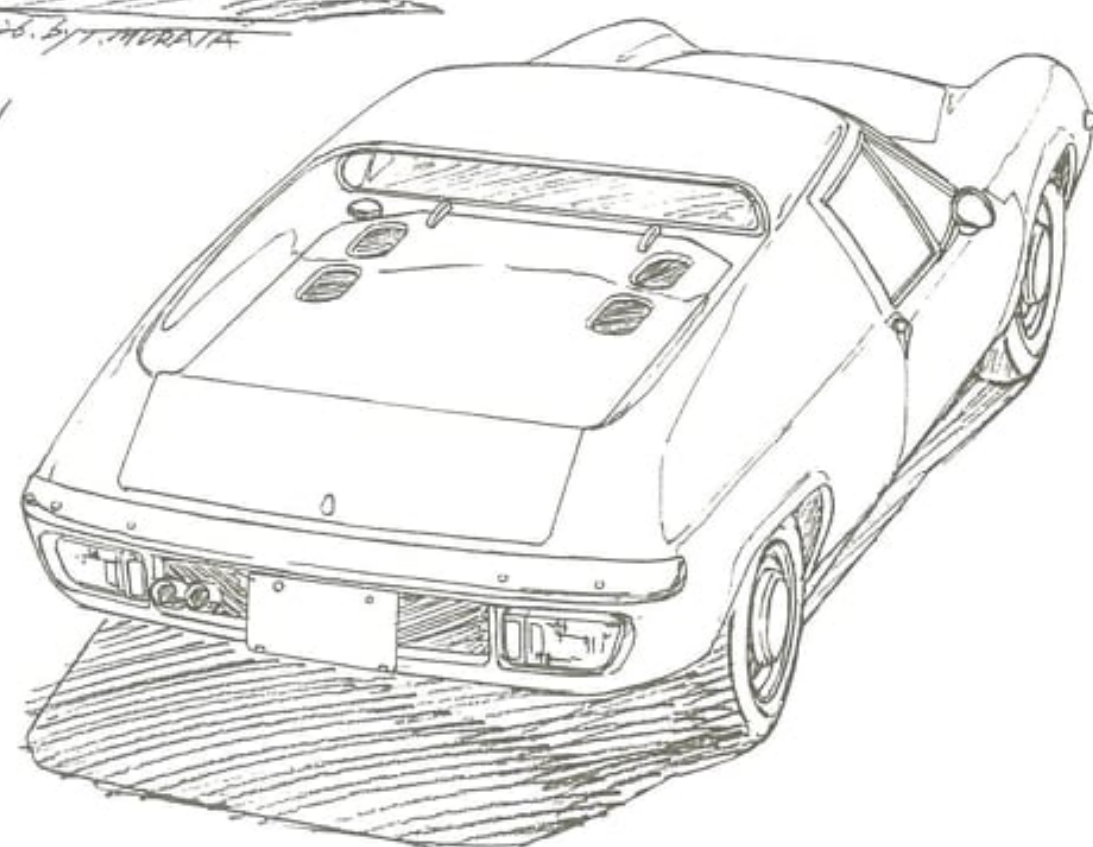
MG MGF [コクピット]

類案の仲間車③ | LOTUS ユーロパ S2
 04-05年の間に2台と作られた。
 (2台がSP)



1997.1.26 by T. MURAKAMI

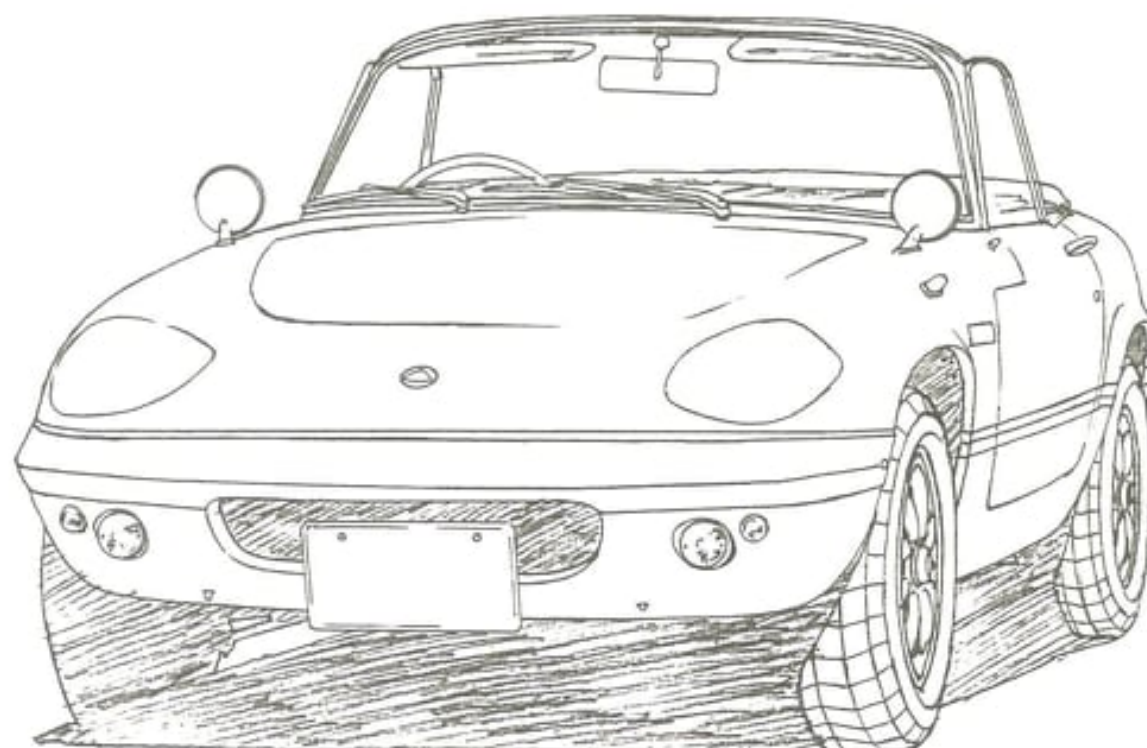
・全長4000mm 全幅1638mm 全高1080mm



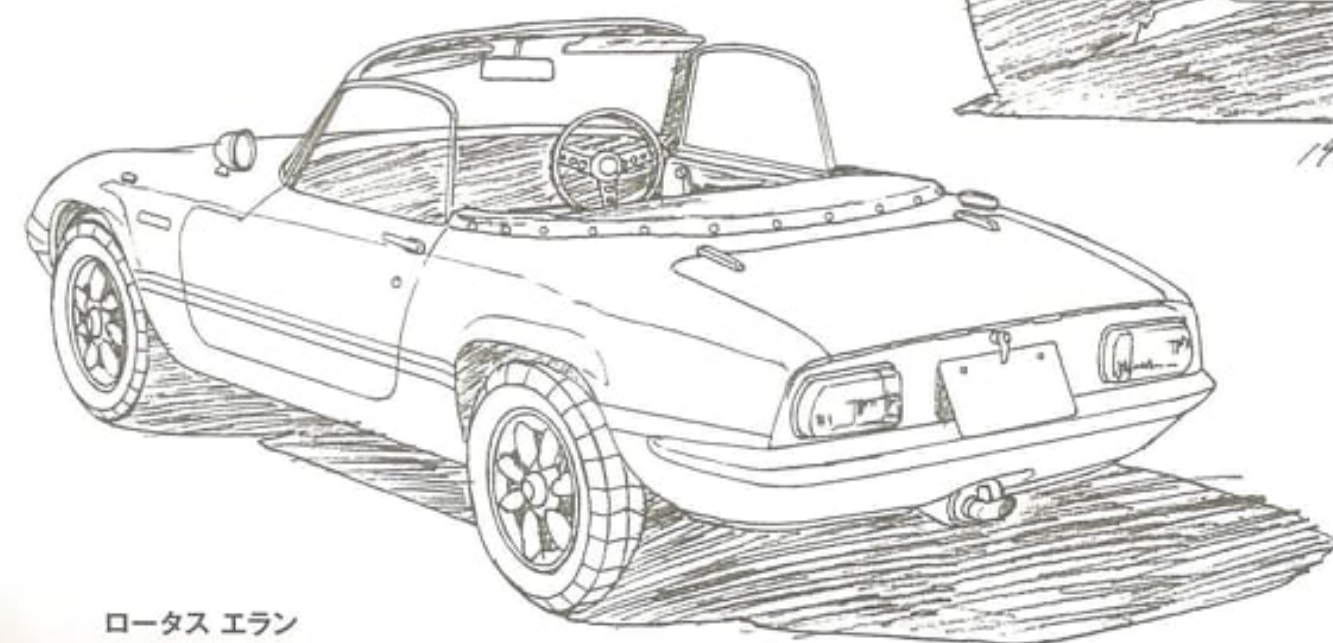
ロータス ユーロッパ

LOTUS エリス S4 スピリット
 ・類案の仲間車④

・全長2683mm 全幅1422mm 全高1156mm
 ・4人乗りの軽に作られた。

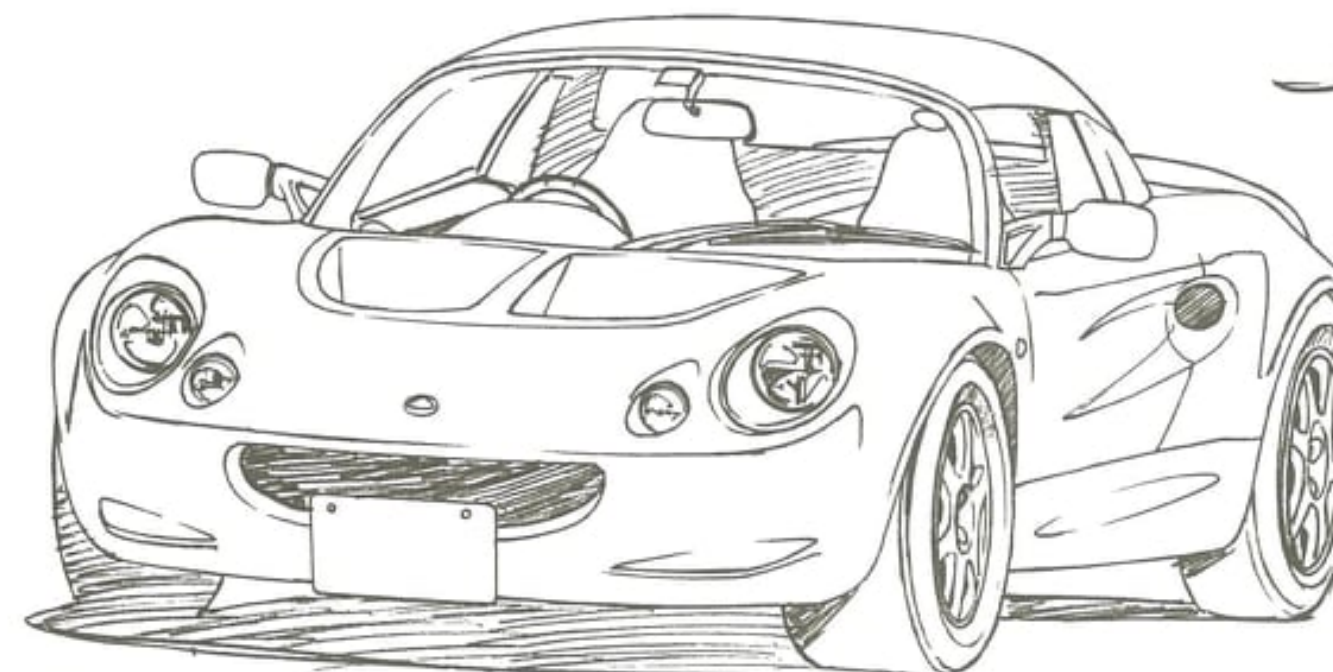


1997.1.26 by T. MURAKAMI

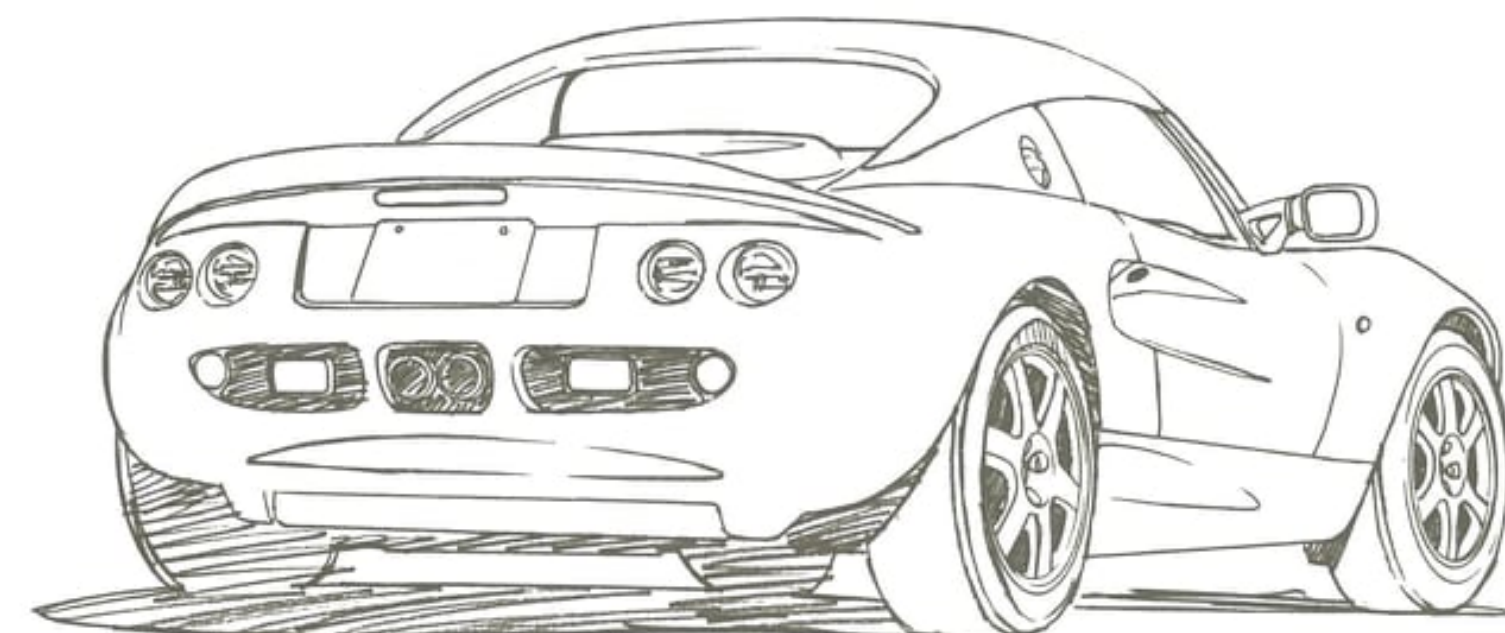


ロータス エラン

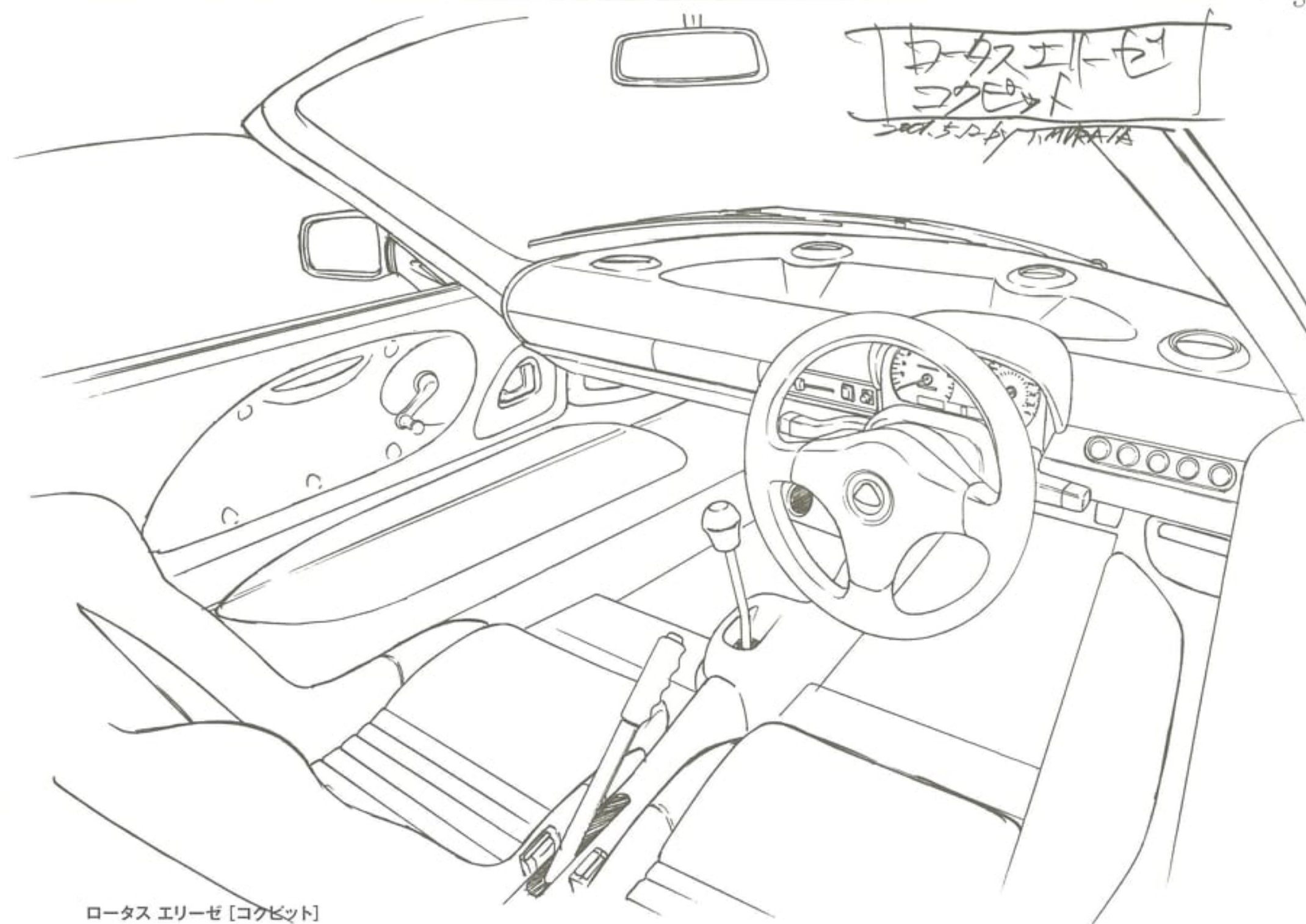
#15
 ロータス エリーゼ
 2001.5.12 by T. MURAKAMI



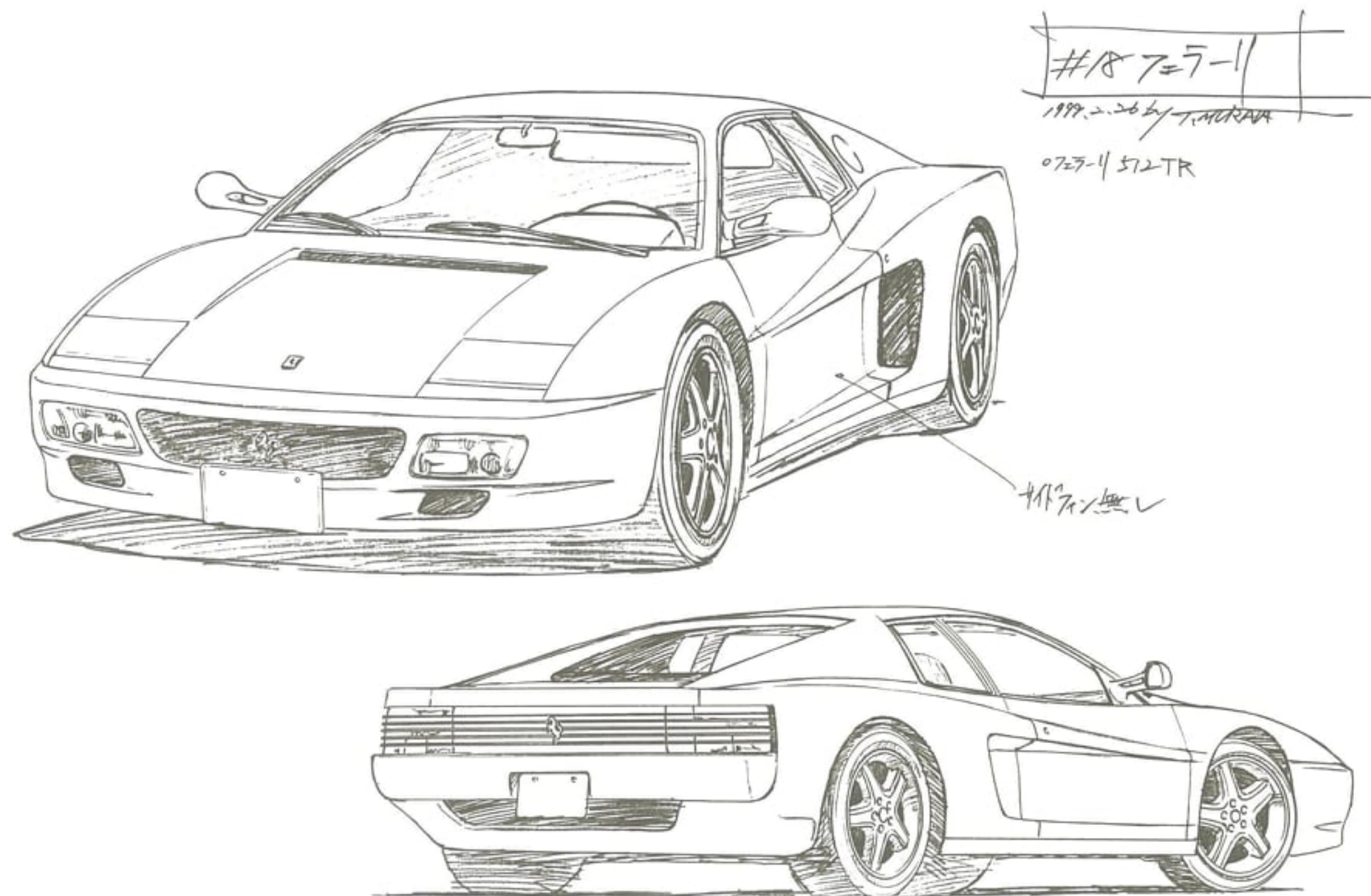
ロータス エリーゼ



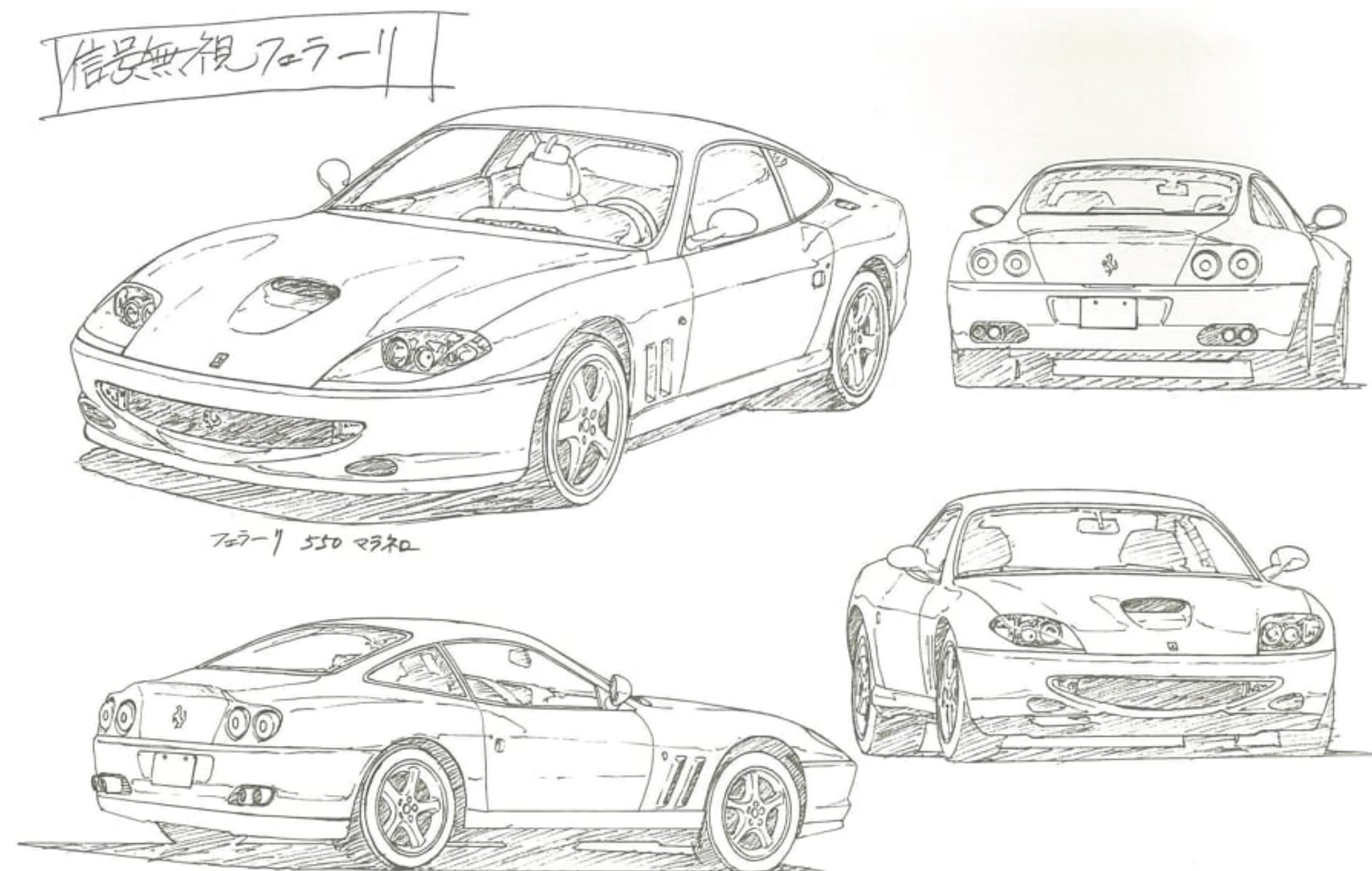
ロータス エリーゼ
 コクピット
 2001.5.12 by T. MURAKAMI



ロータス エリーゼ [コクピット]

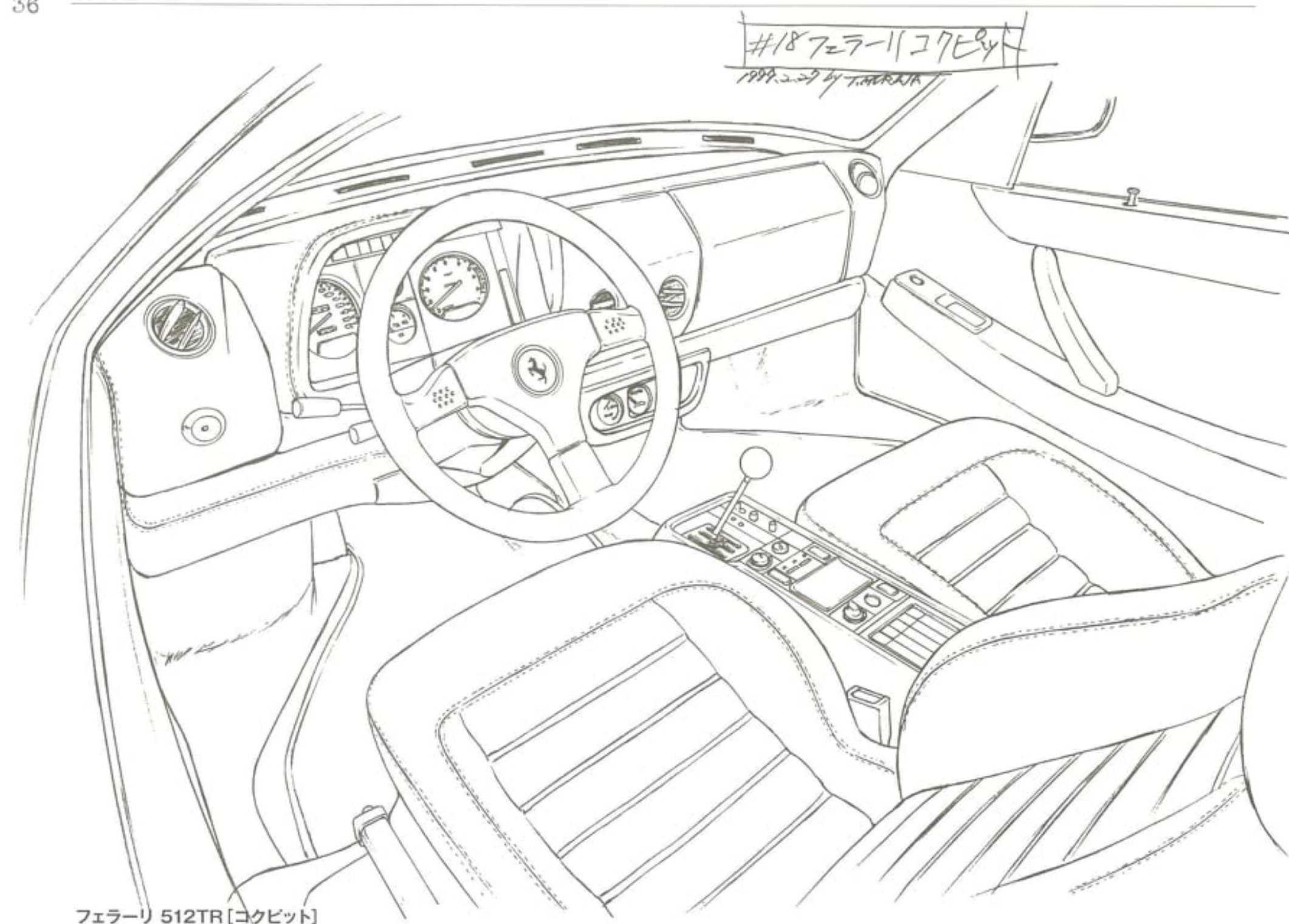


フェラーリ 512TR

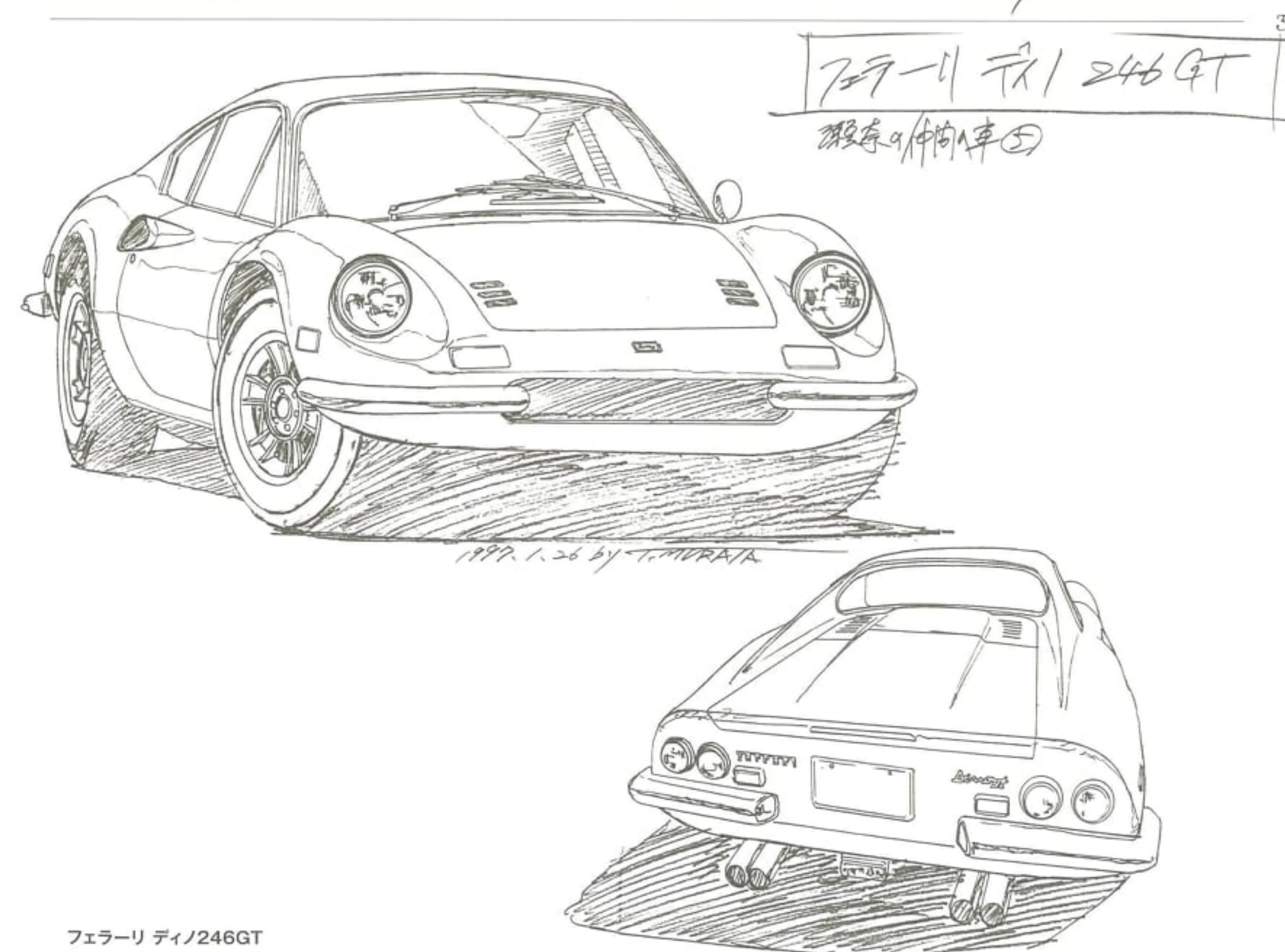


フェラーリ 550マラネロ

36



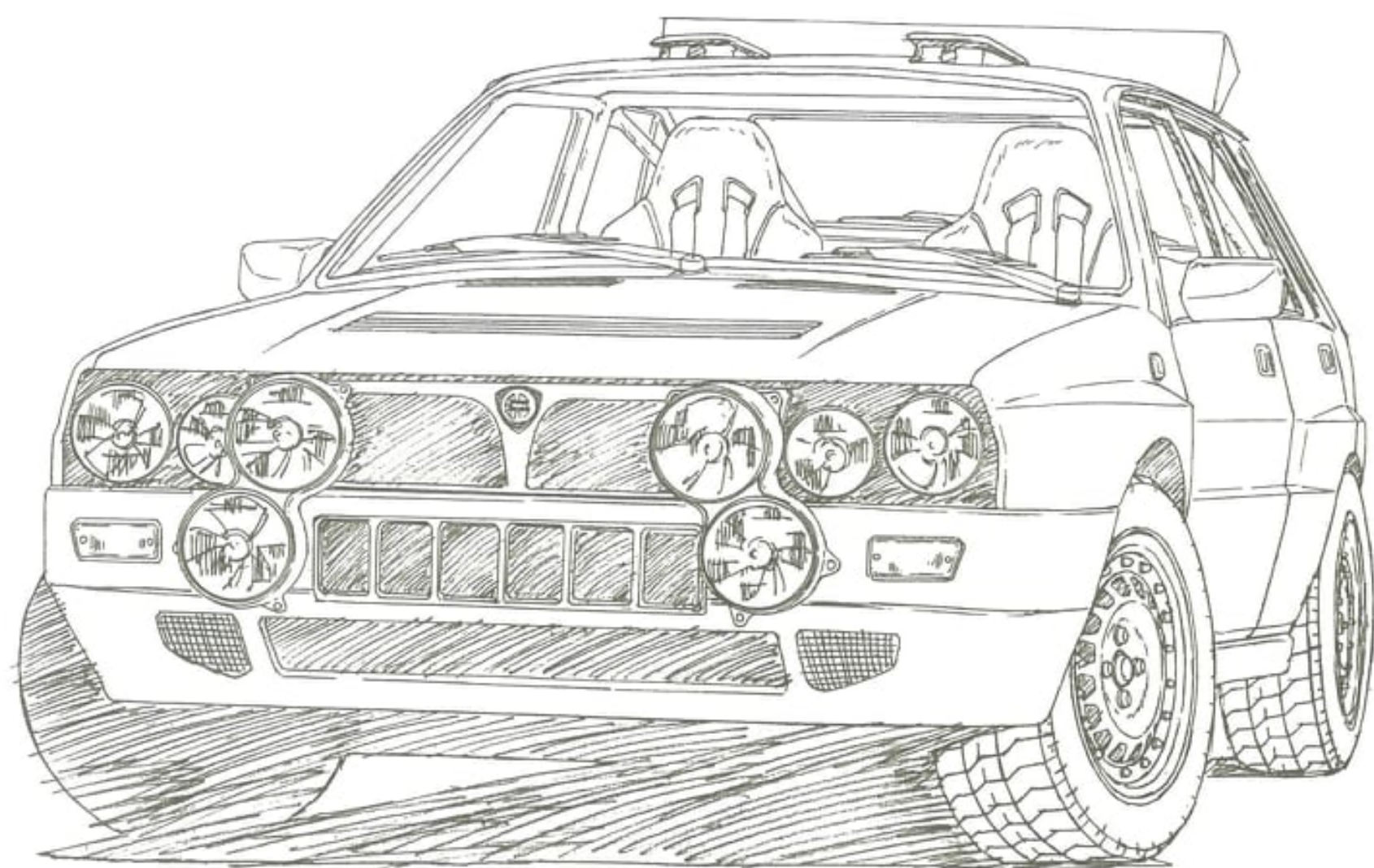
フェラーリ 512TR [コクピット]



フェラーリ ディノ246GT

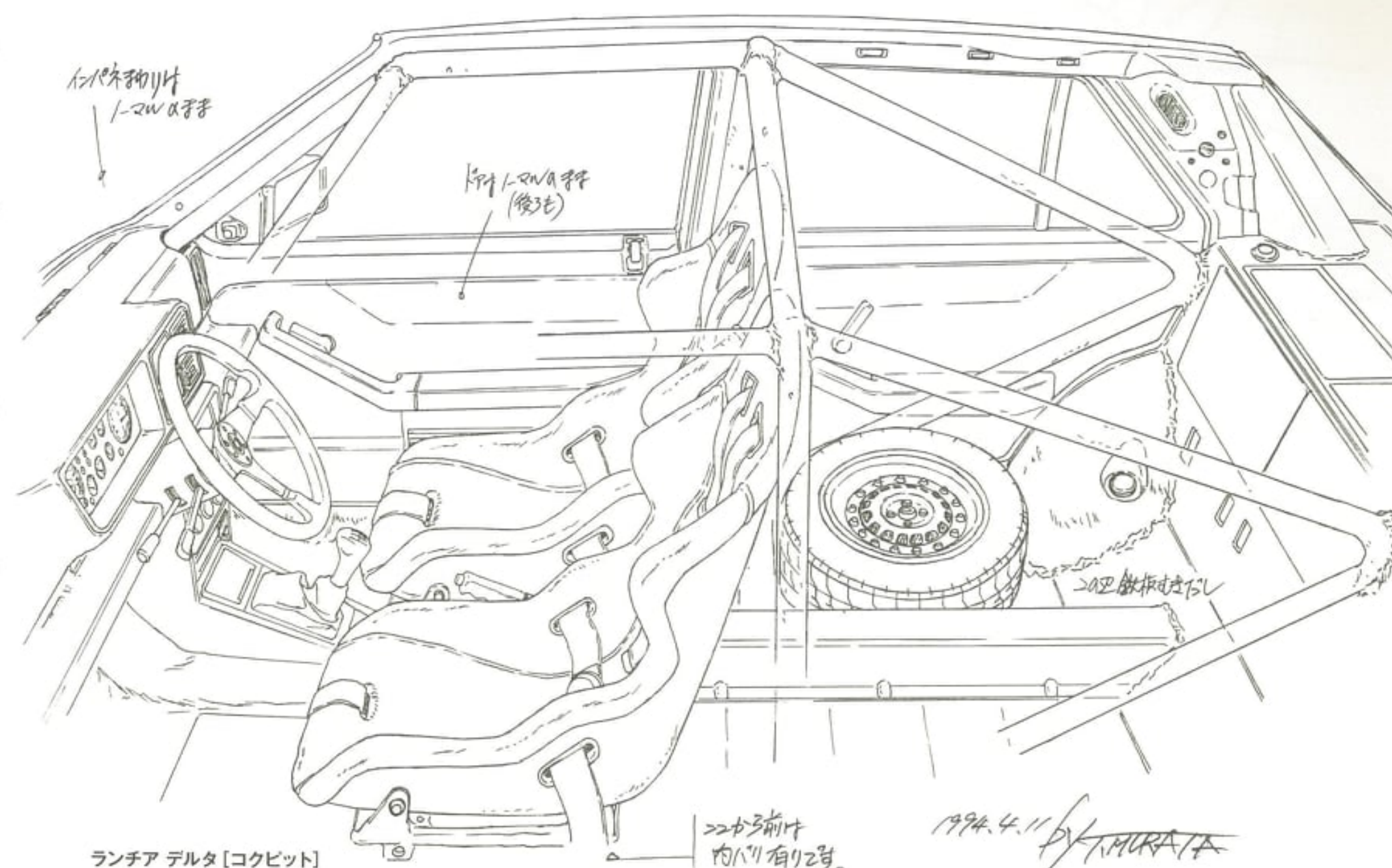
37

○#2 ランチャリウ



1994. 4.9 SAT. MURATA

5 #2 ランティウのフクロ

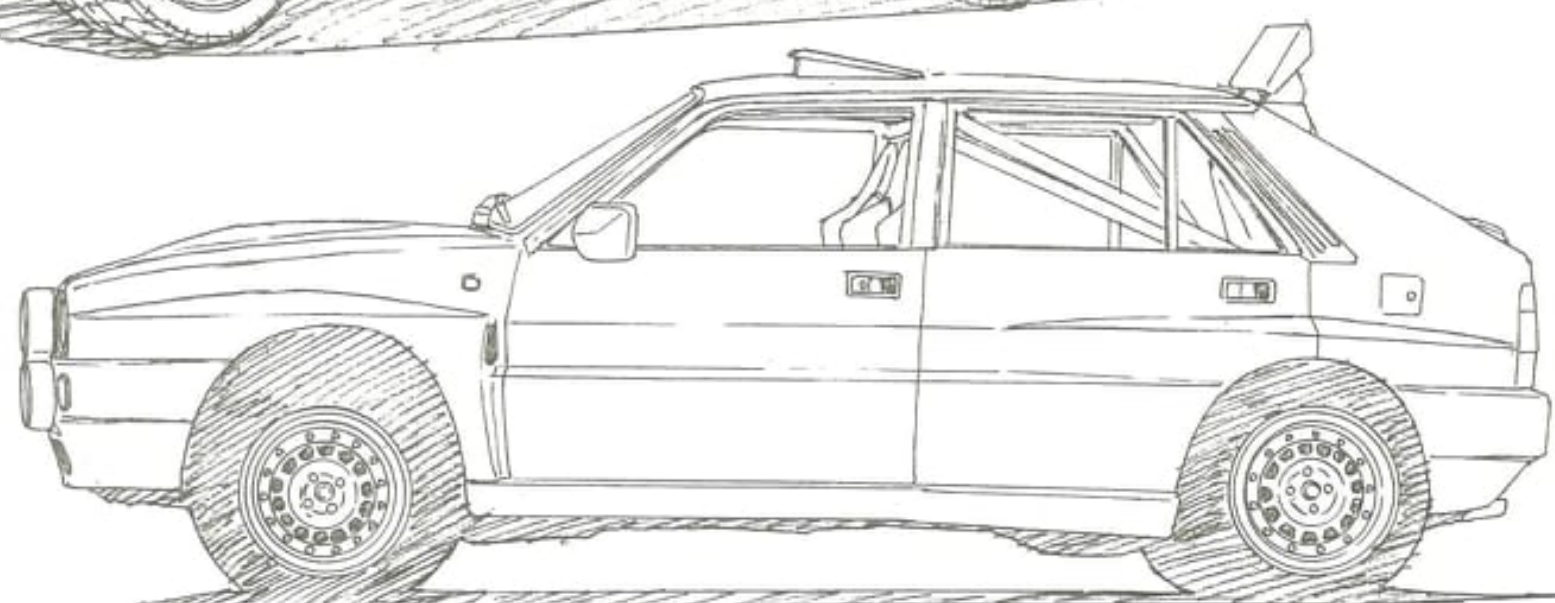
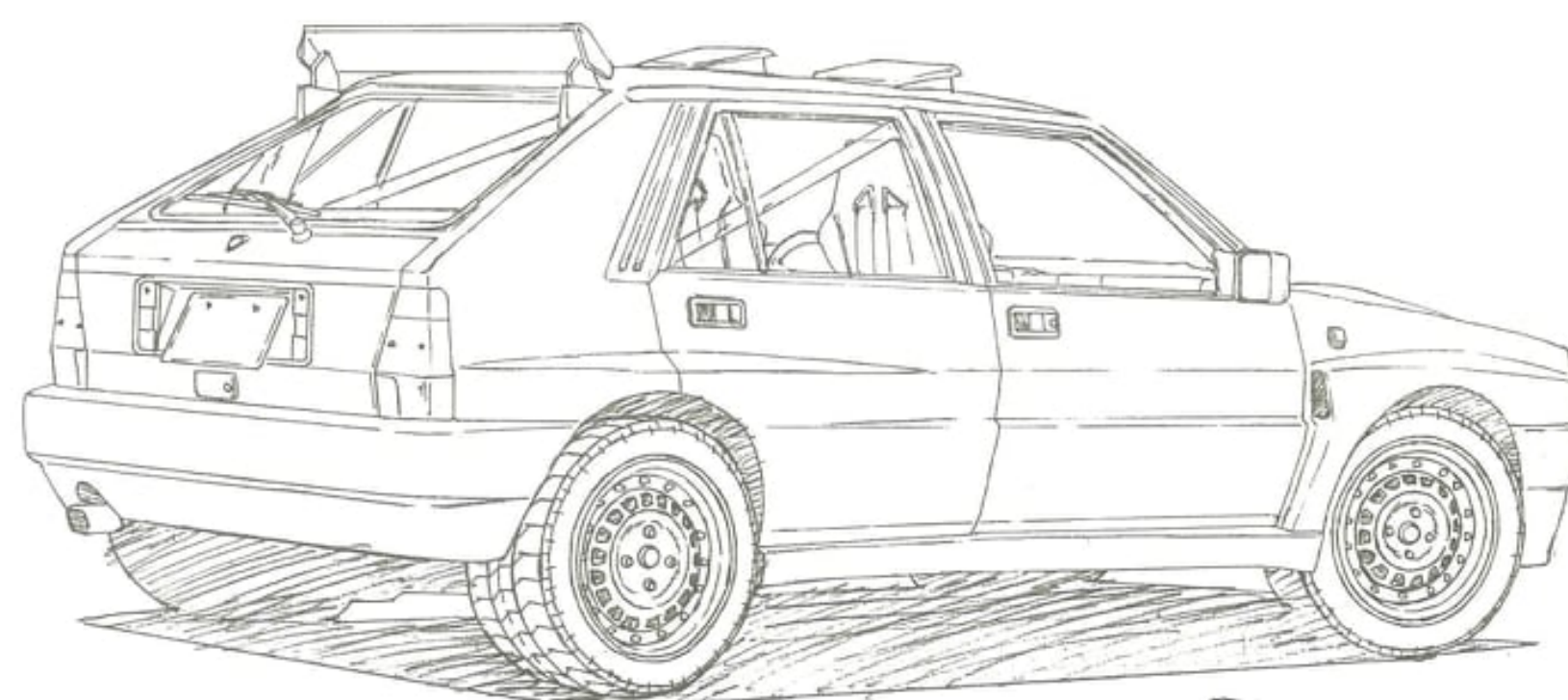


ランチア デルタ [コクピット]

1994.4.11 by T. MURATA

38

08 0 #2 5274747 ②

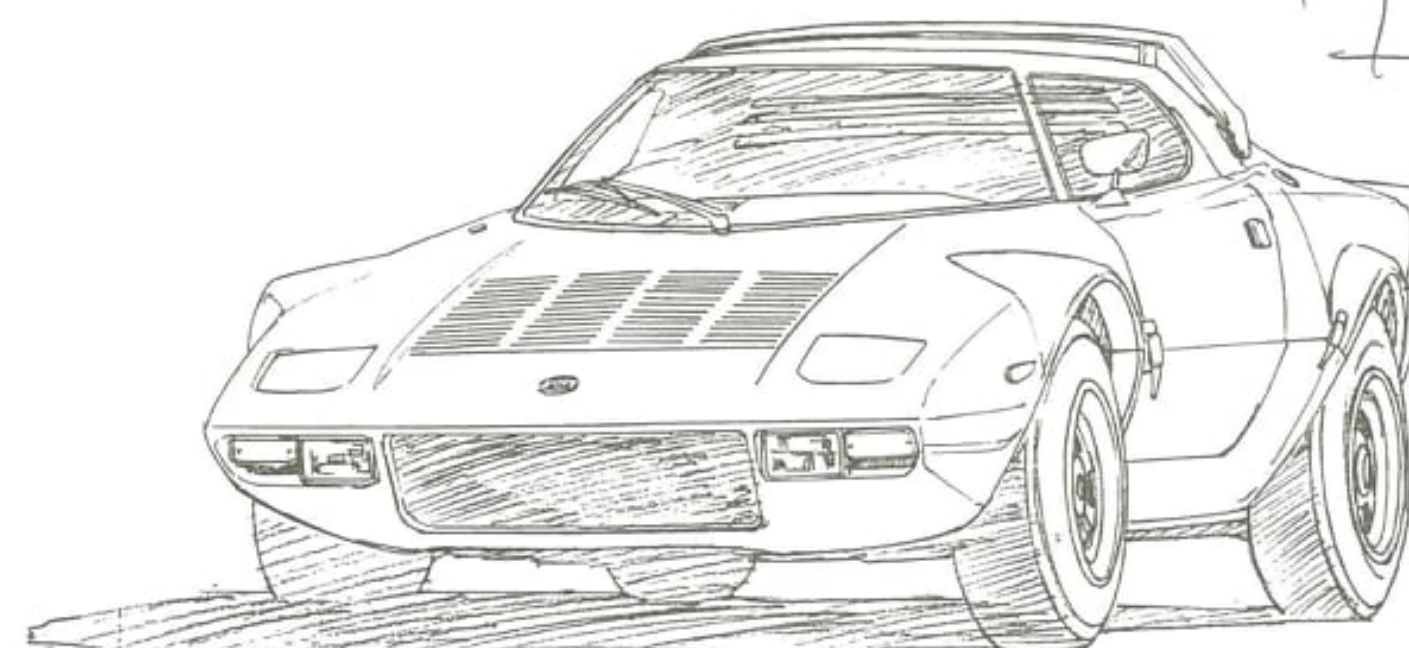


1999.4.9 by T. MURATA

ランチア デルタ

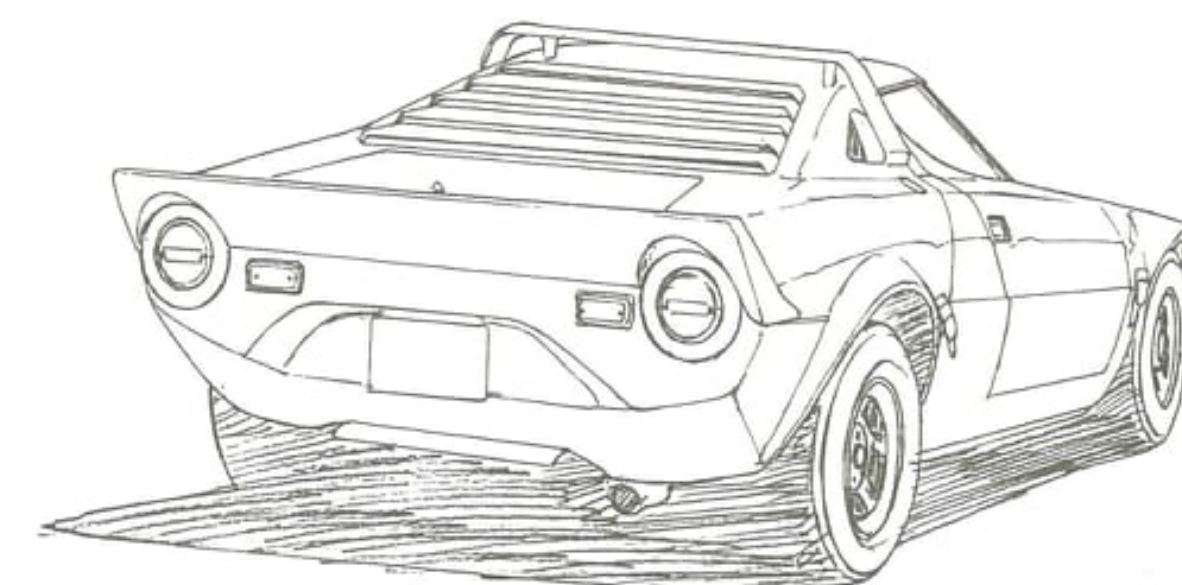
39

④ 727 2-717 HF

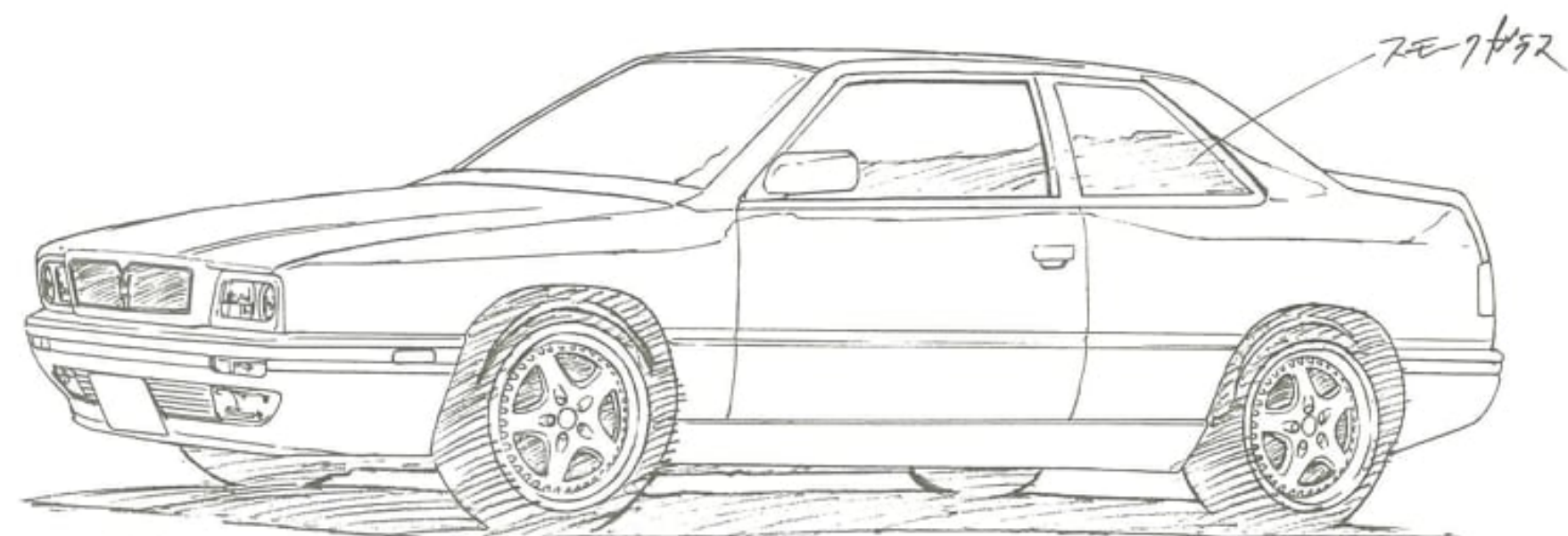
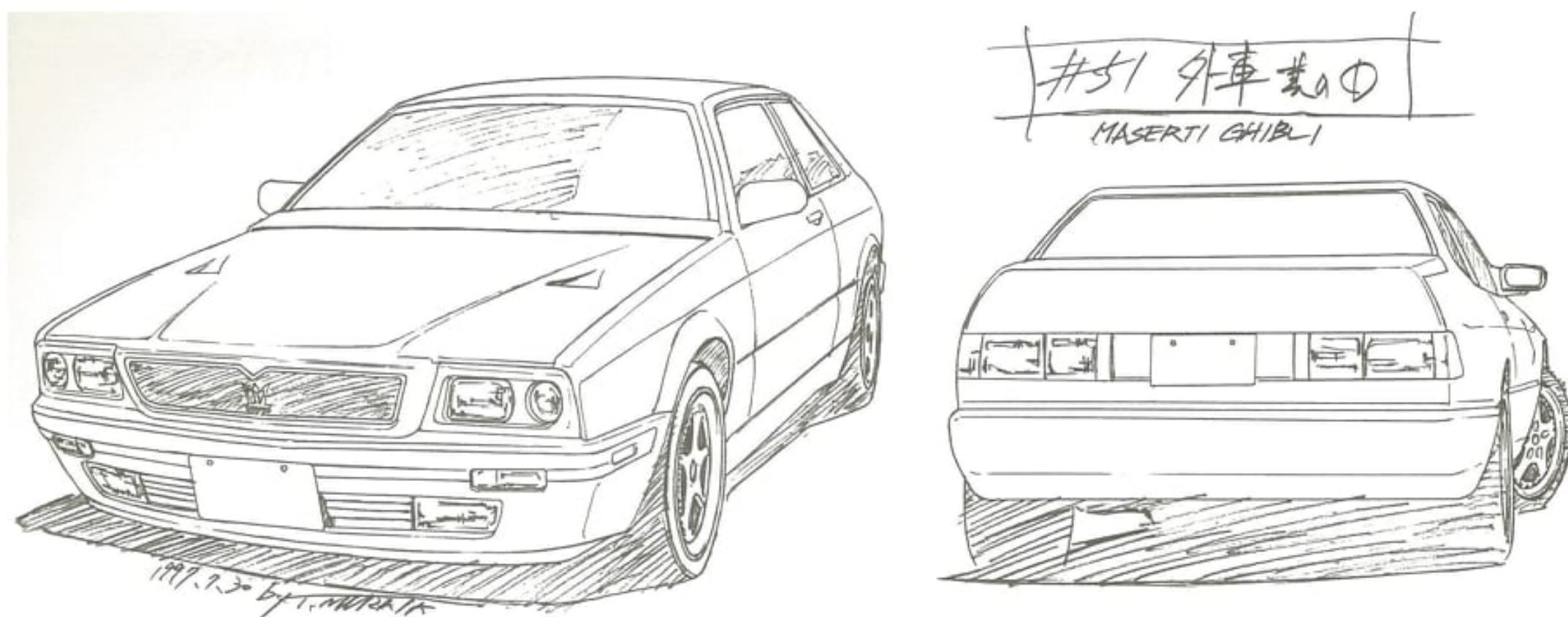


1992 Feb. by T. MURAHARA

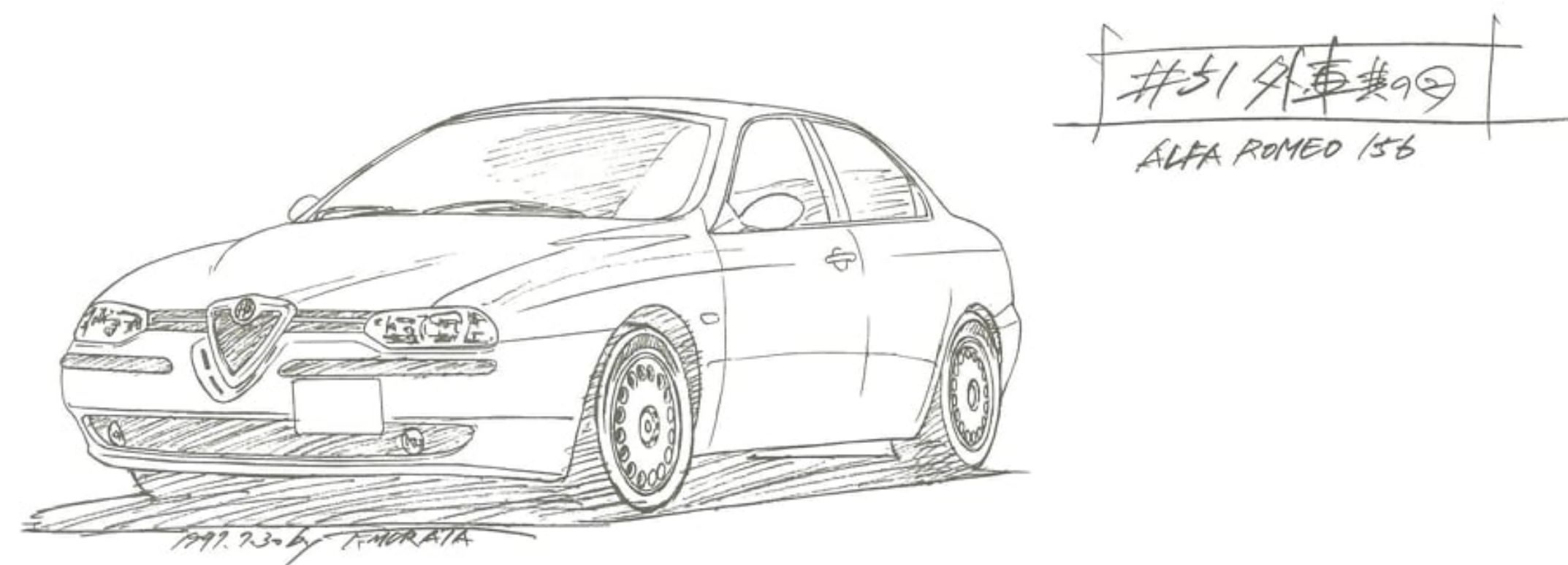
銀 371039 金 175039
金 111431



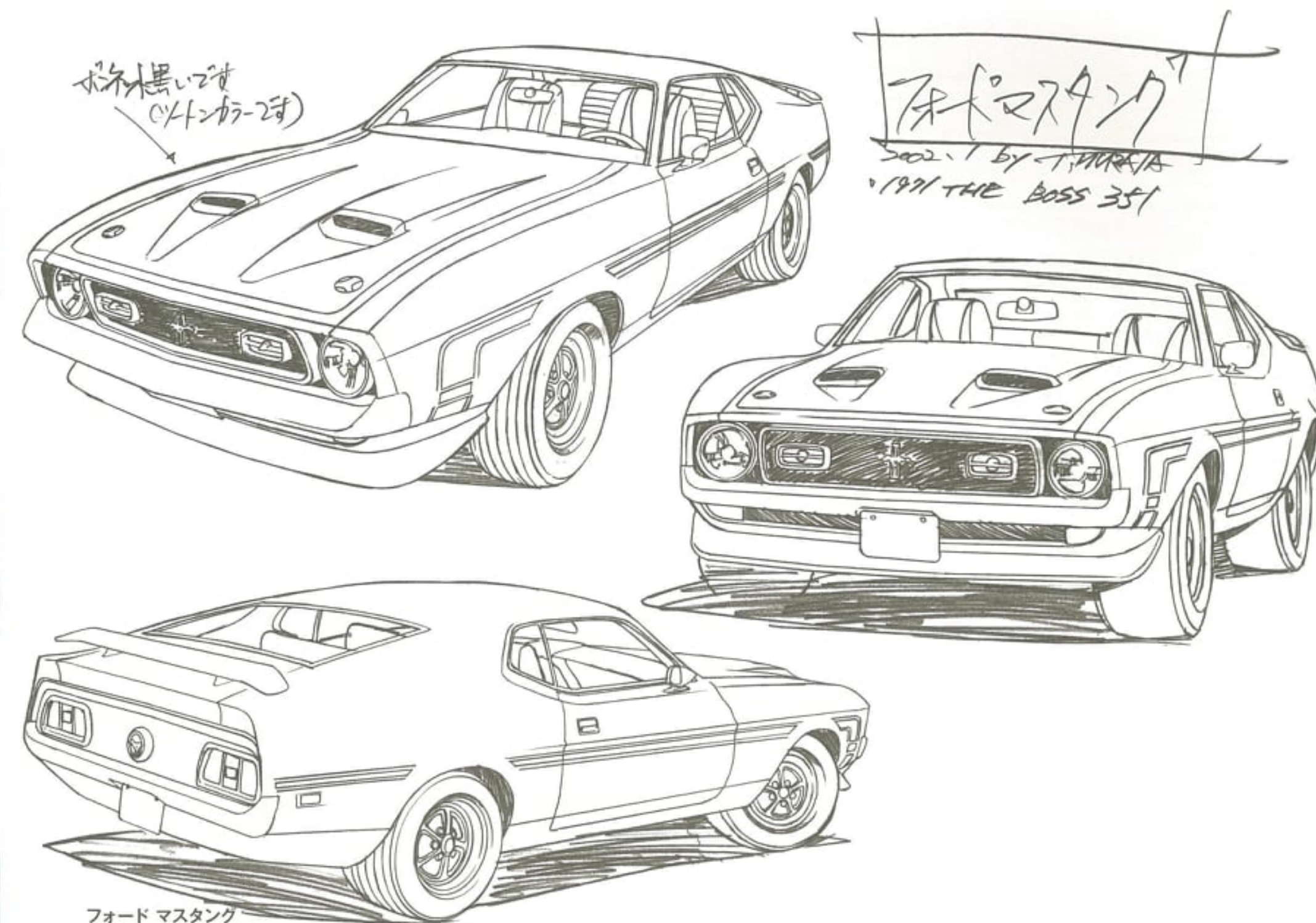
ランチア ストラトス



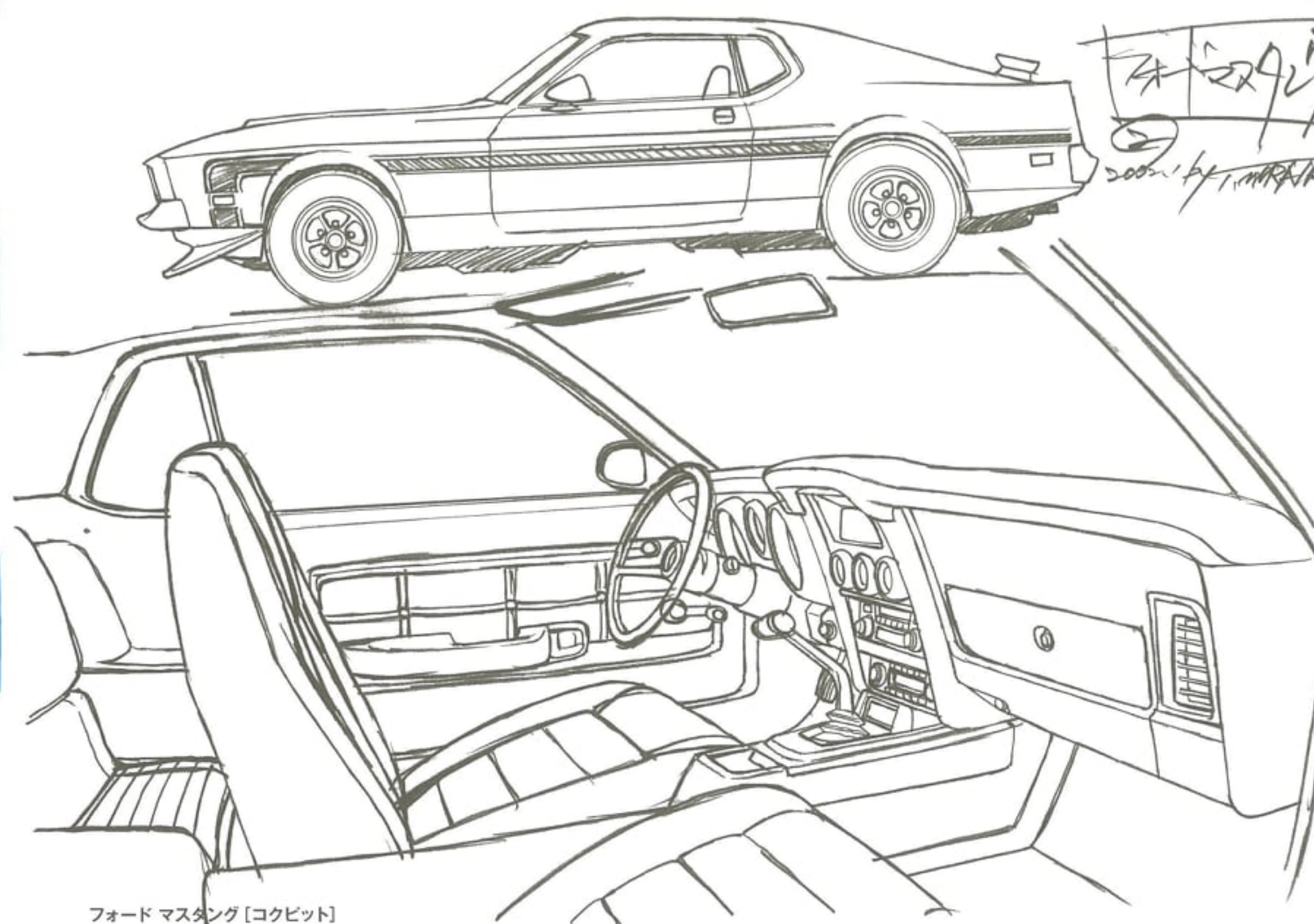
マセラティ ギブリ



アルファロメオ 156



フォード マスタング

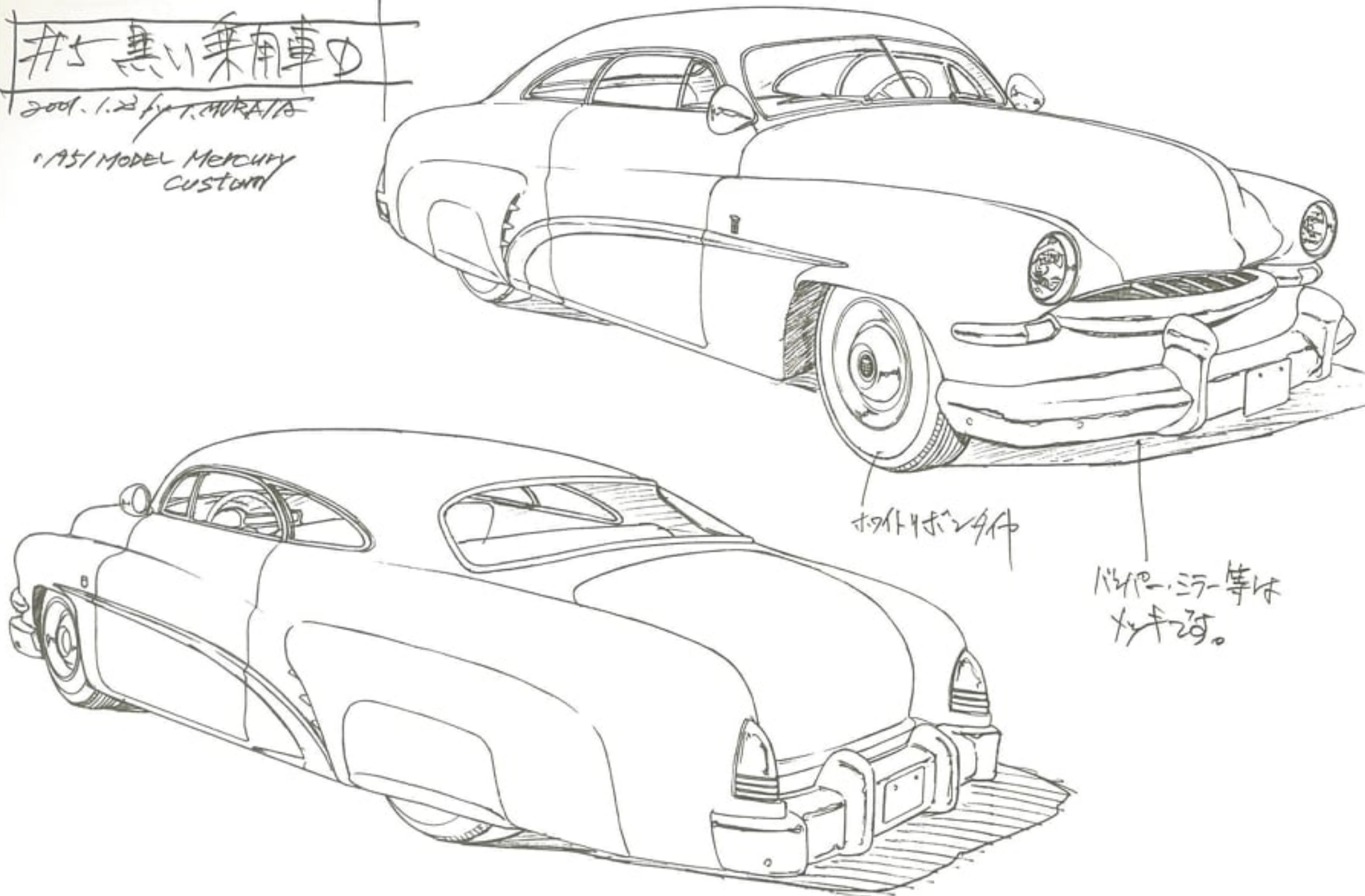


フォード マスタング [コクピット]

#5 黒い乗用車①

2001.1.23 by T. MURATA

1951 Model Mercury Custom

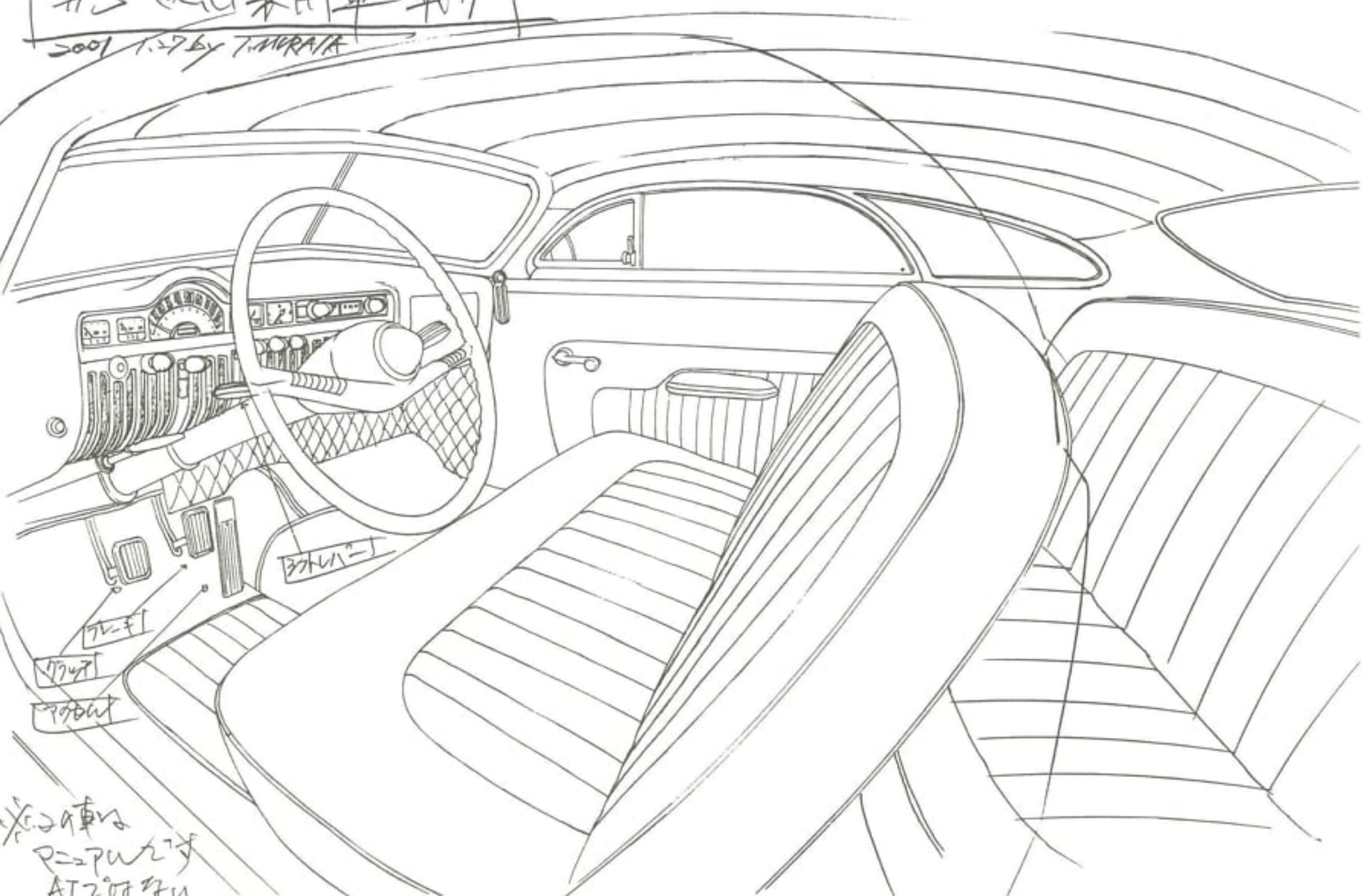


フロントボンネット

リア・シートの
クッション

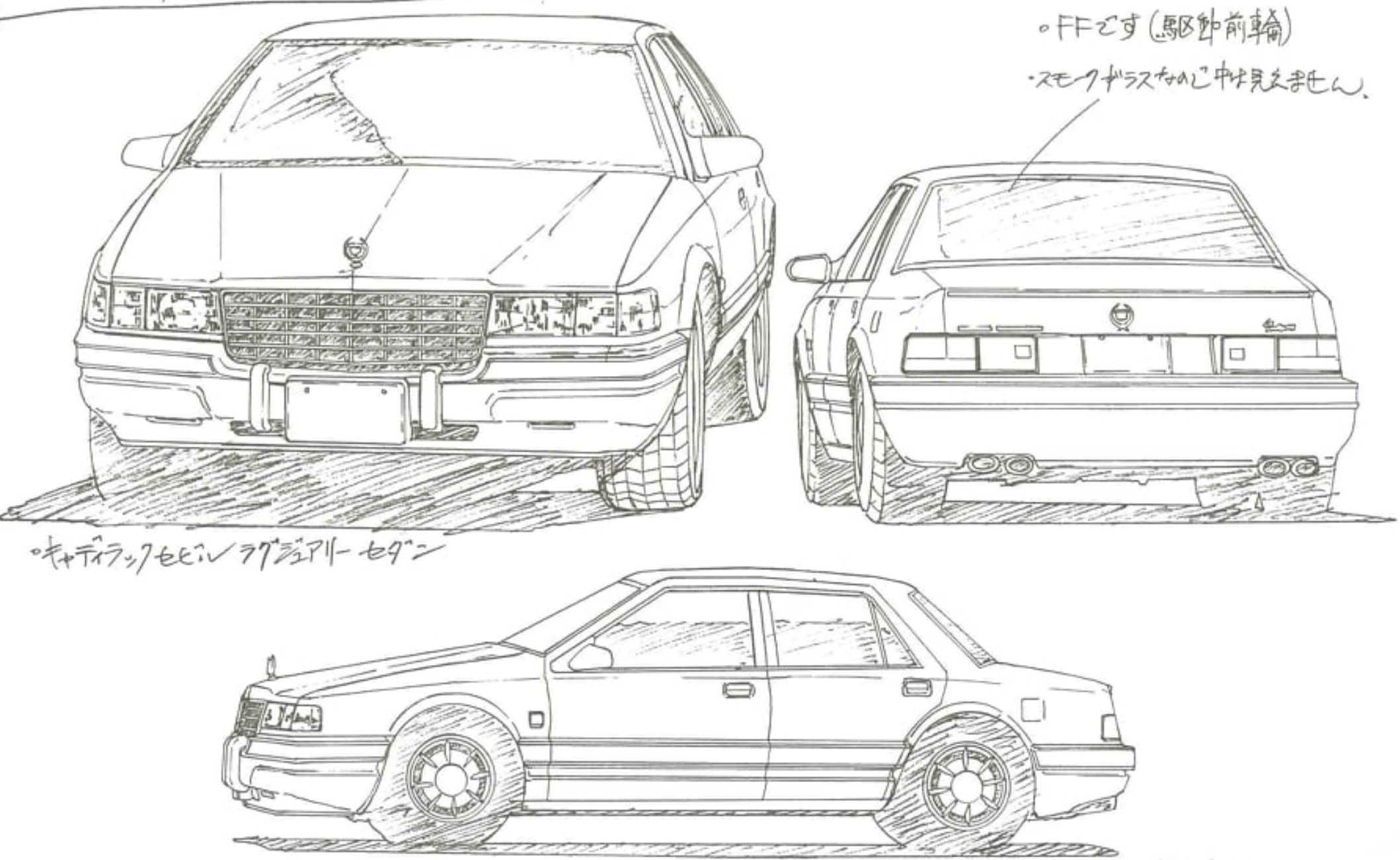
#5 黒い乗用車②

2001.1.27 by T. MURATA



※この車は
マニュアル
AT2速なリ
マーキュリー エイト [コクピット]

#7 ストライク男にダッジVP乗る車



FFです (駆動前輪)
スモークガラスが少し中々見えません。

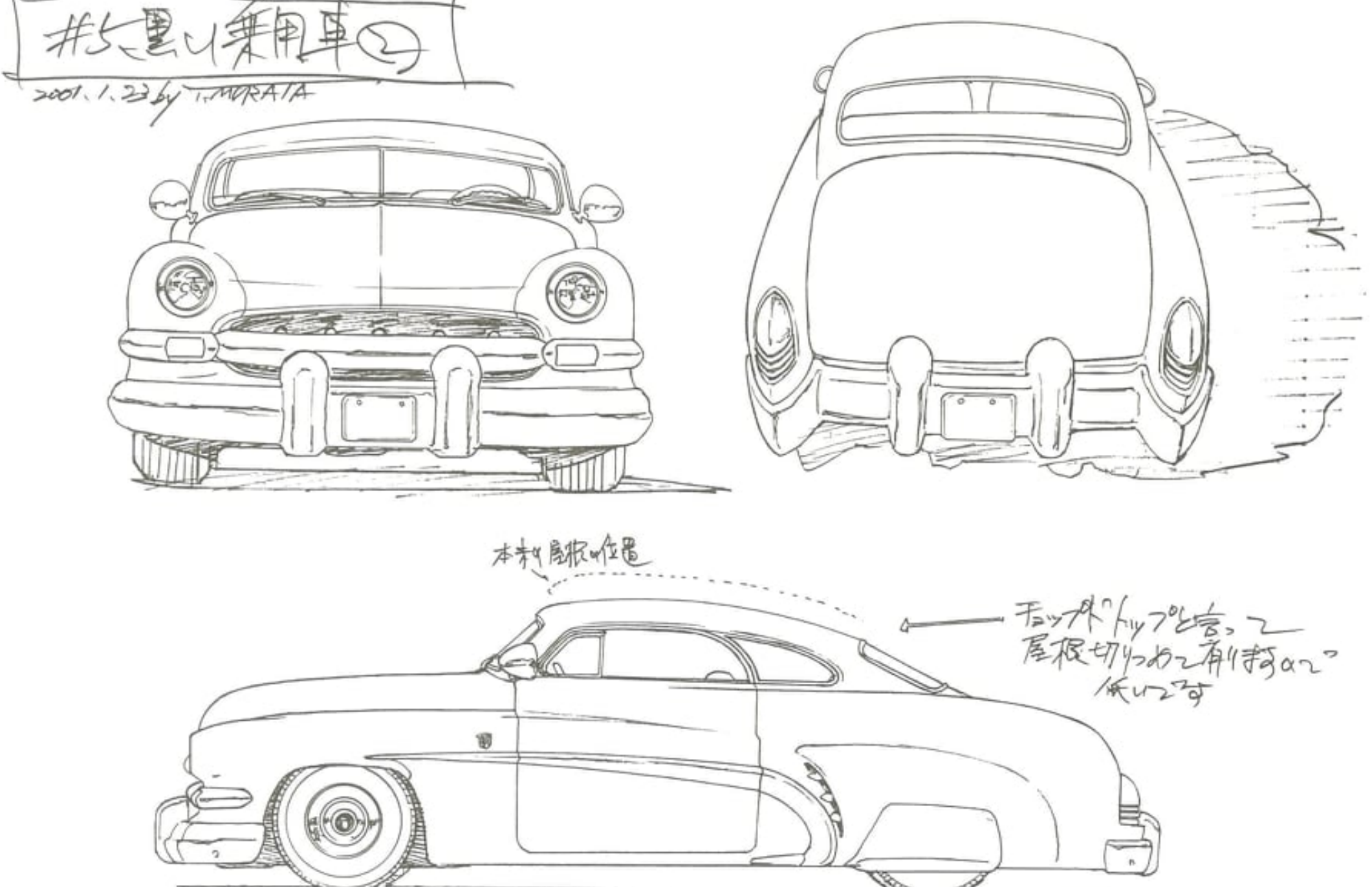
キャデラック セビル 372 cu in セダン

キャデラック セビル

1996.8.13
by T. MURATA

#5 黒い乗用車③

2001.1.23 by T. MURATA



本車は屋根位置

フロント・リアの
屋根切りかわり角が
鋭い

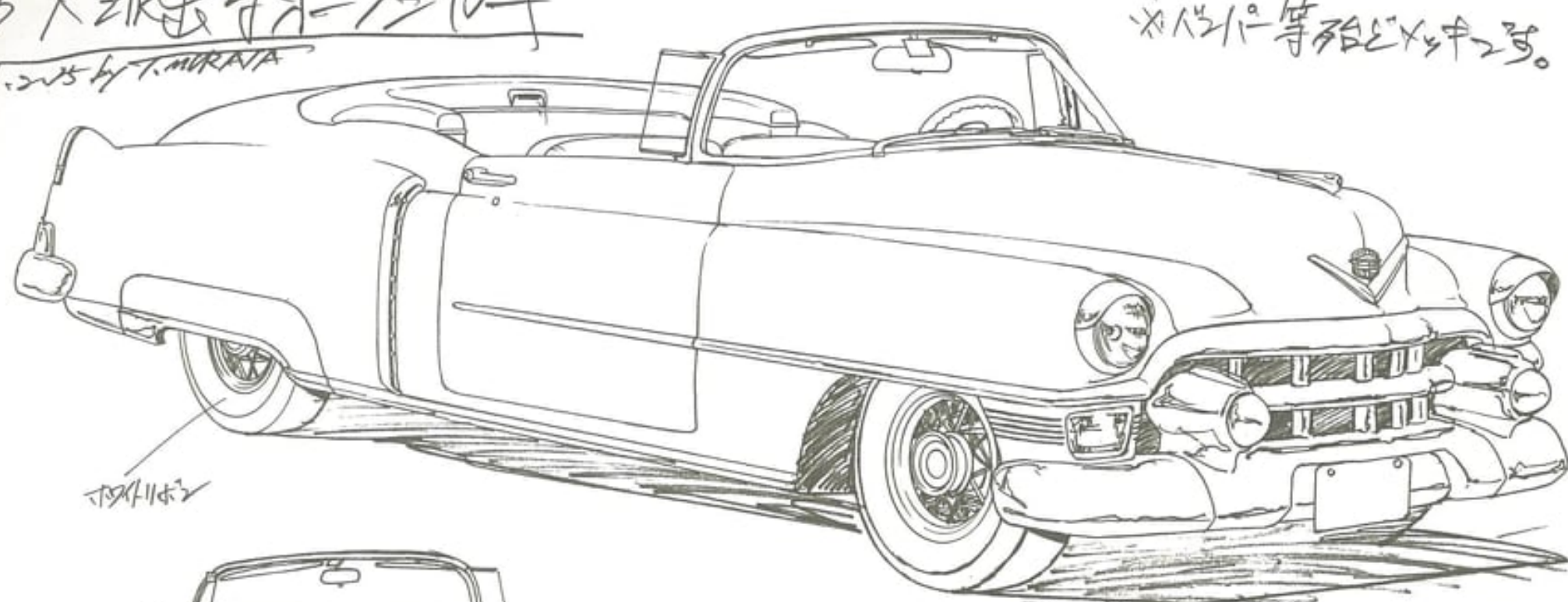
マーキュリー エイト

#6 XZK出有オートカ

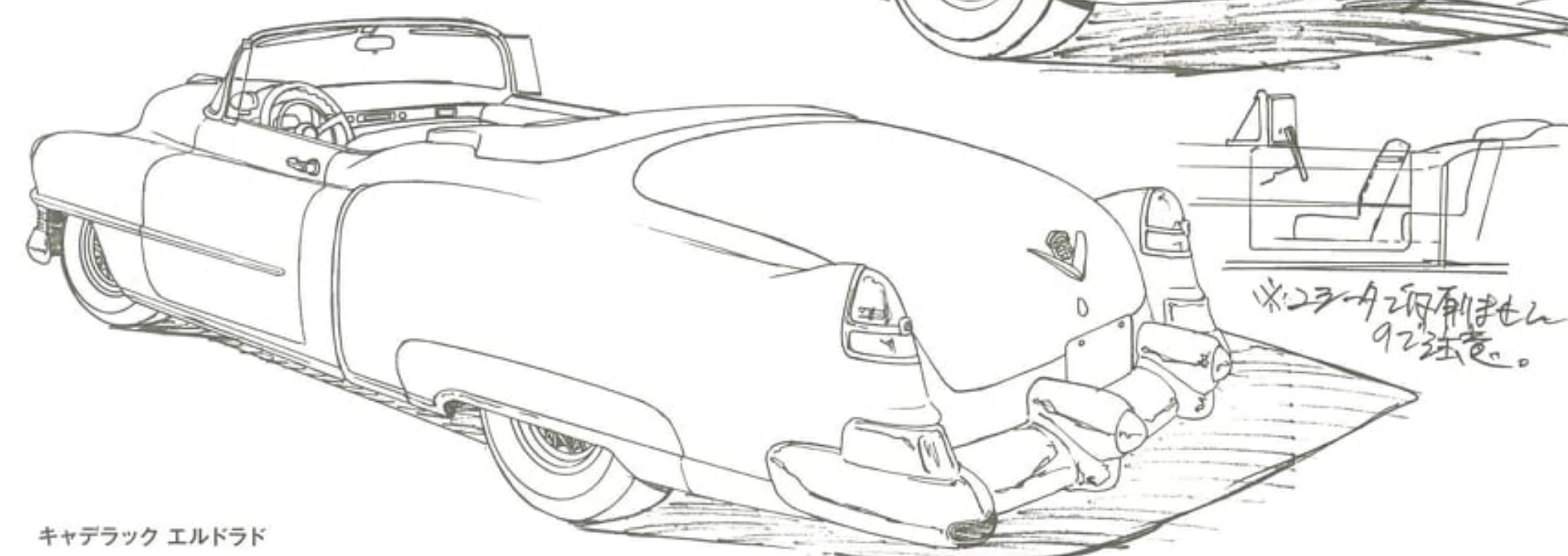
1953. CADILLAC ELDORADO

2001.2.25 by T. MURATA

※バンパー等殆どXZK25。



※ボディボツ

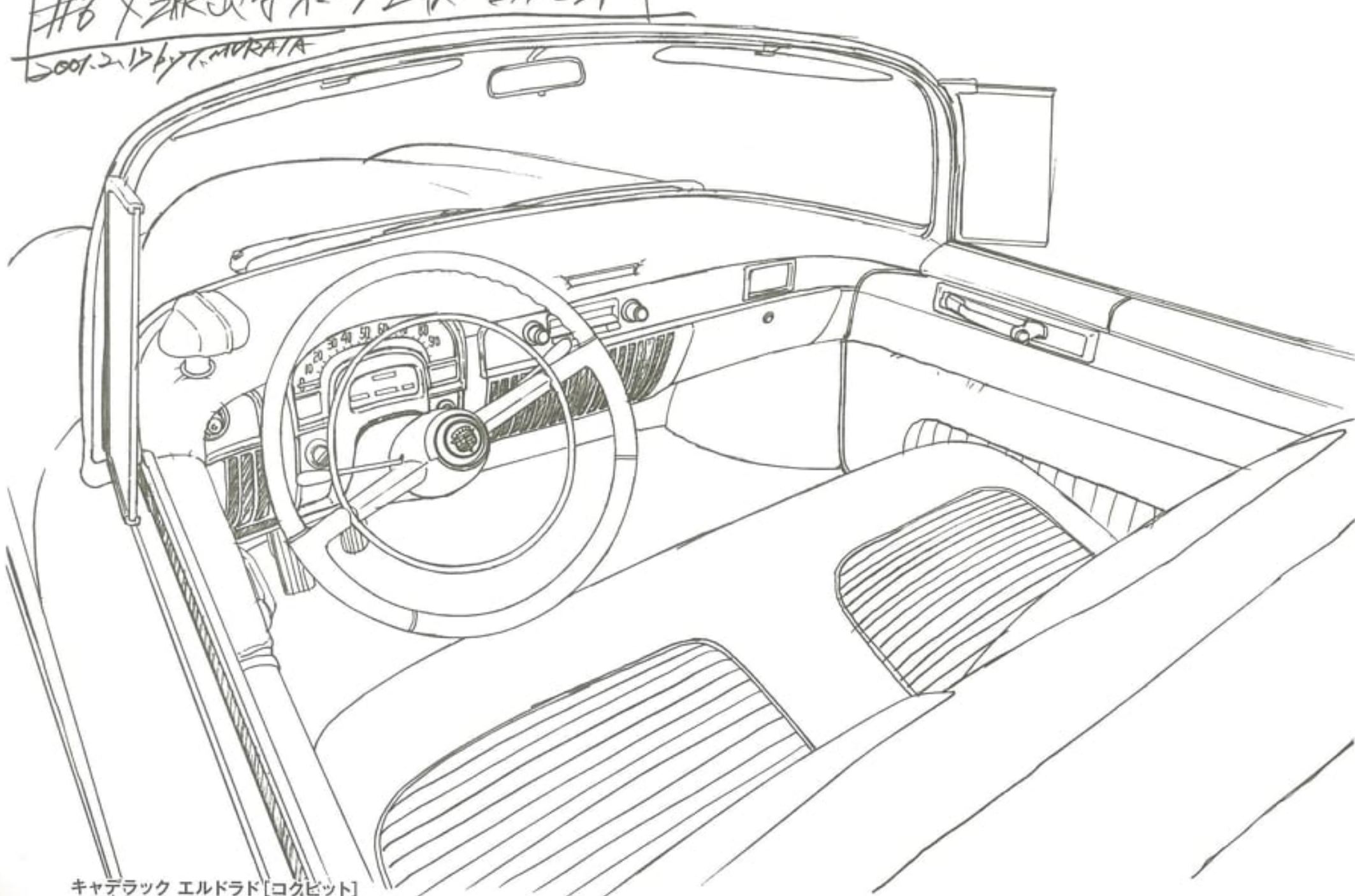


※コンタクト面有ボツ
92法電。

キャデラック エルドラド

#6 XZK出有オートカ - コクピット

2001.2.12 by T. MURATA

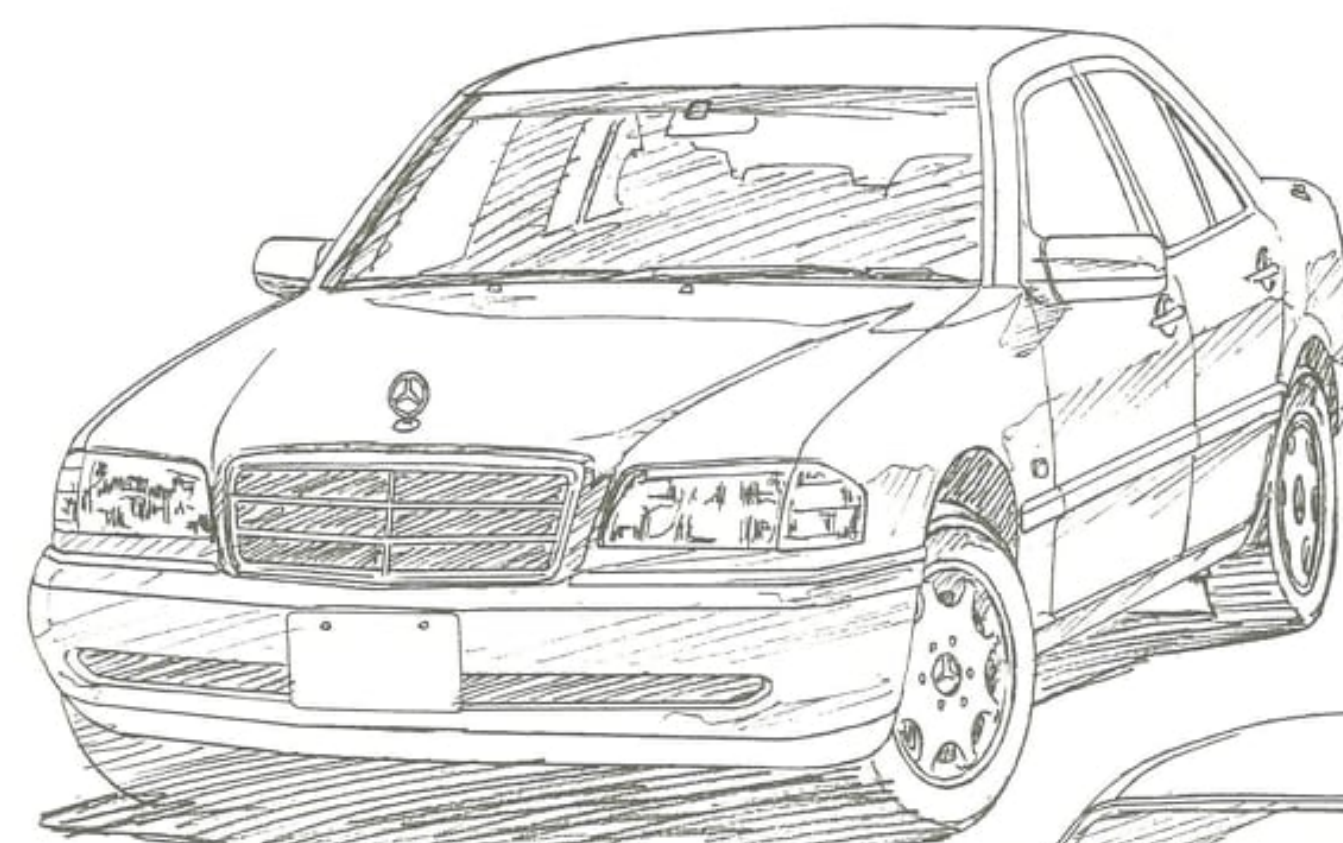


キャデラック エルドラド [コクピット]

#25

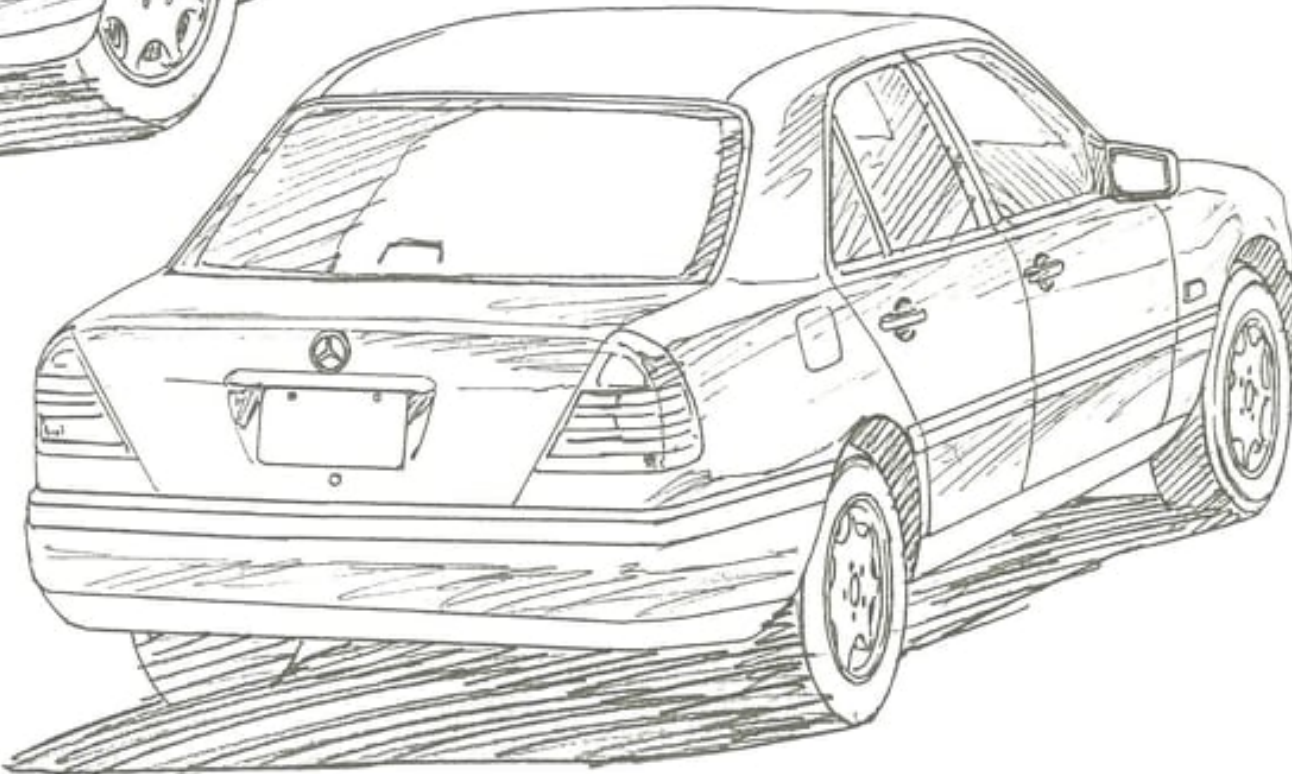
解、松川中年男の
外車

・メルセデス・ベンツ C230
年 449524 全幅 172024 全高 142024



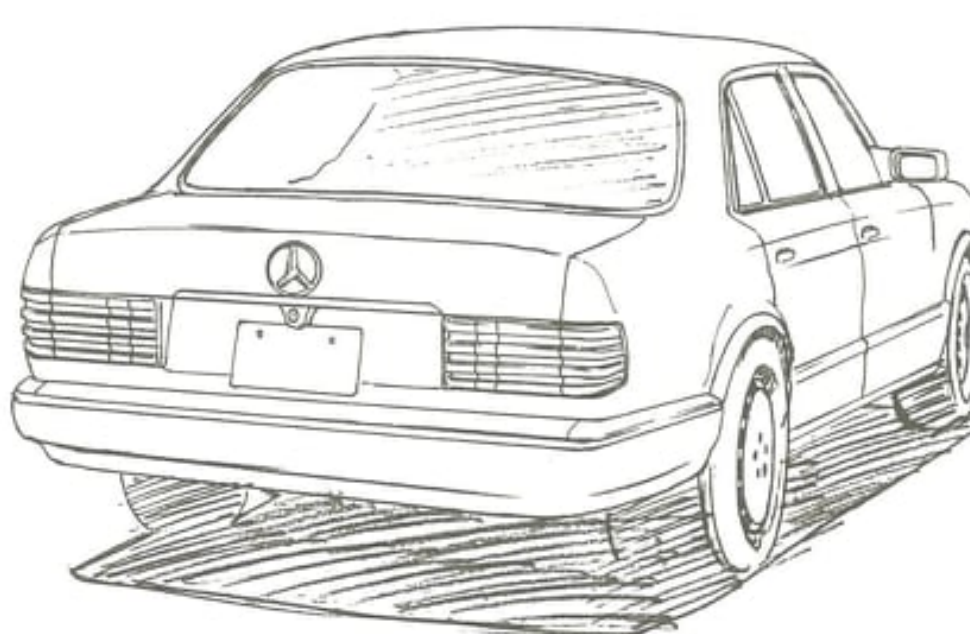
1999.2.23 by T. MURATA

メルセデス・ベンツ Cクラス

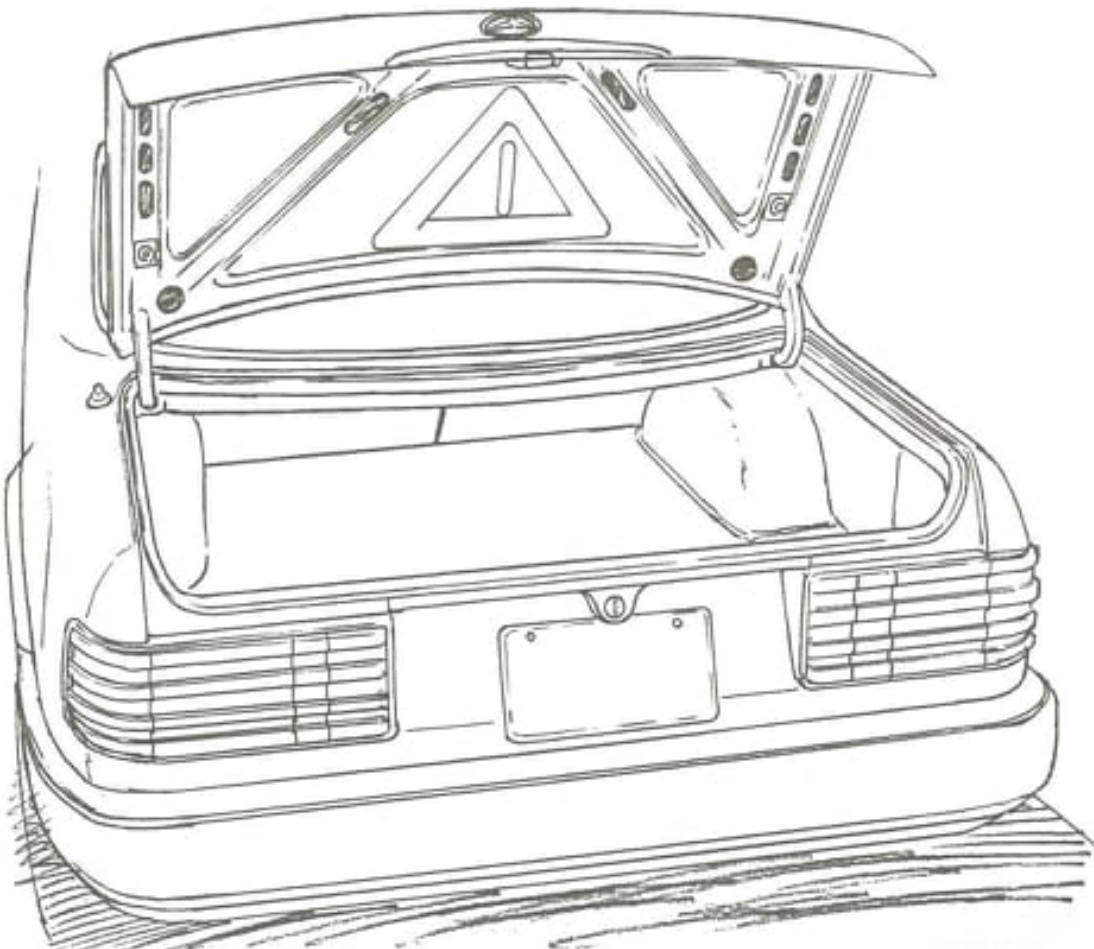


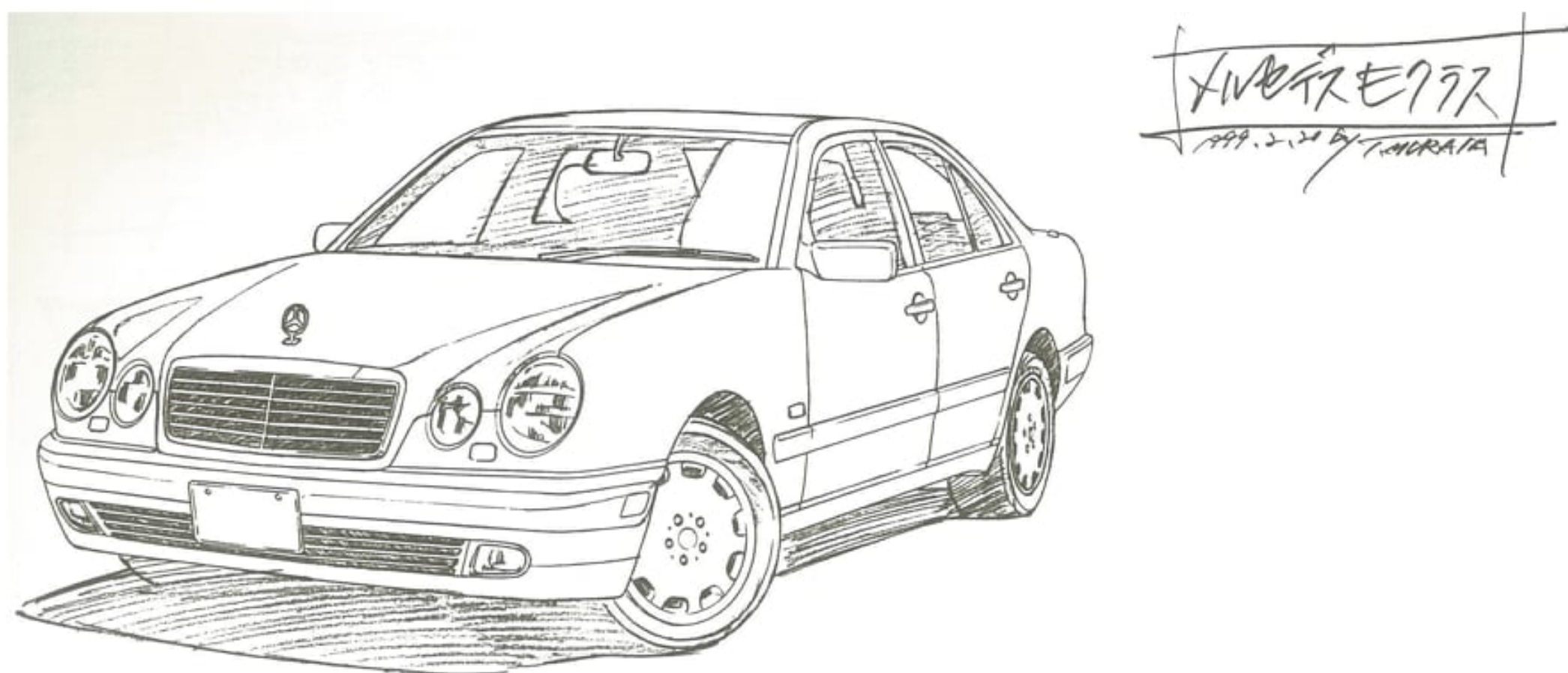
ボクバンリ

1998.3.26 by T. MURATA



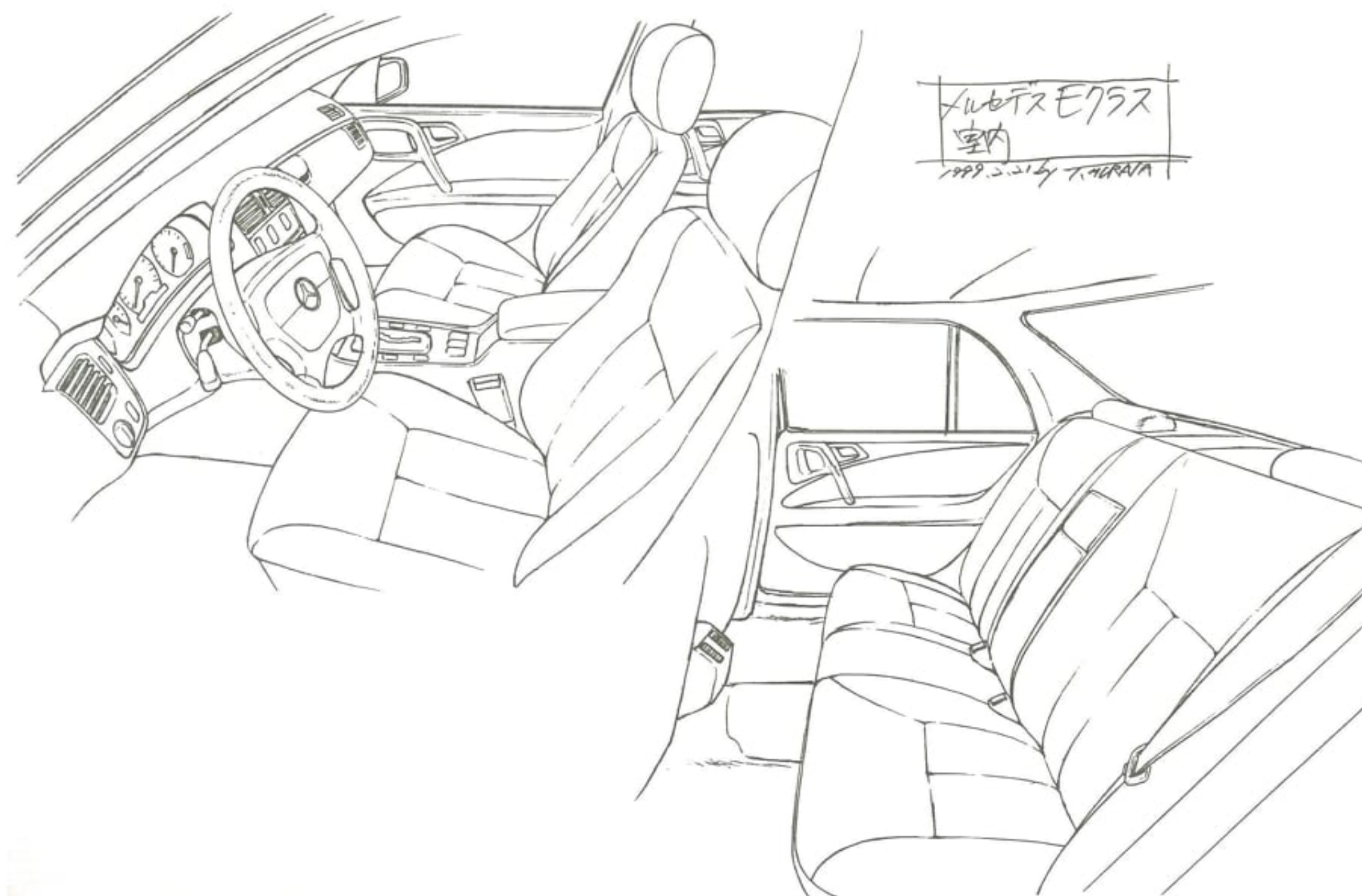
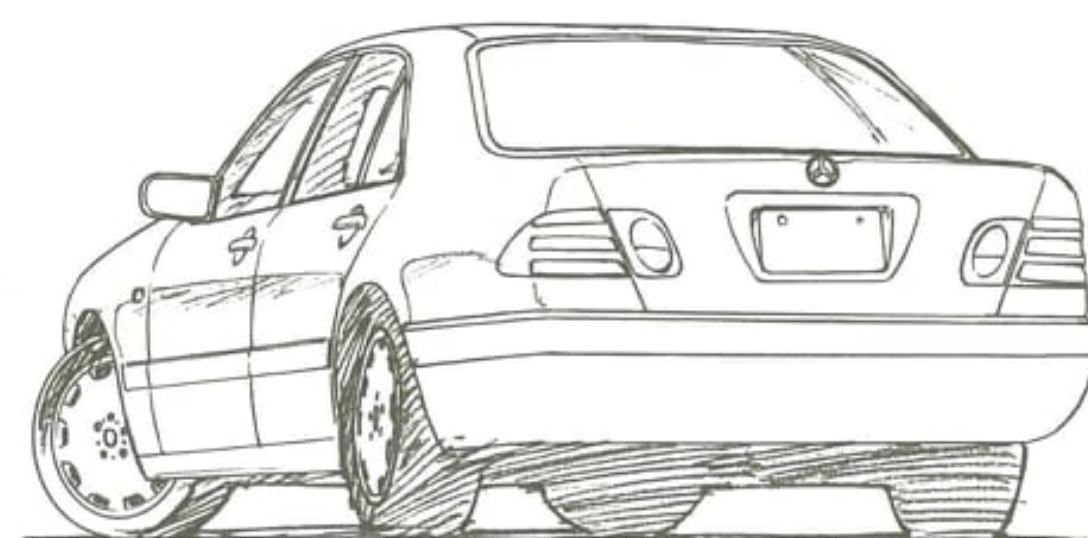
メルセデス・ベンツ Sクラス





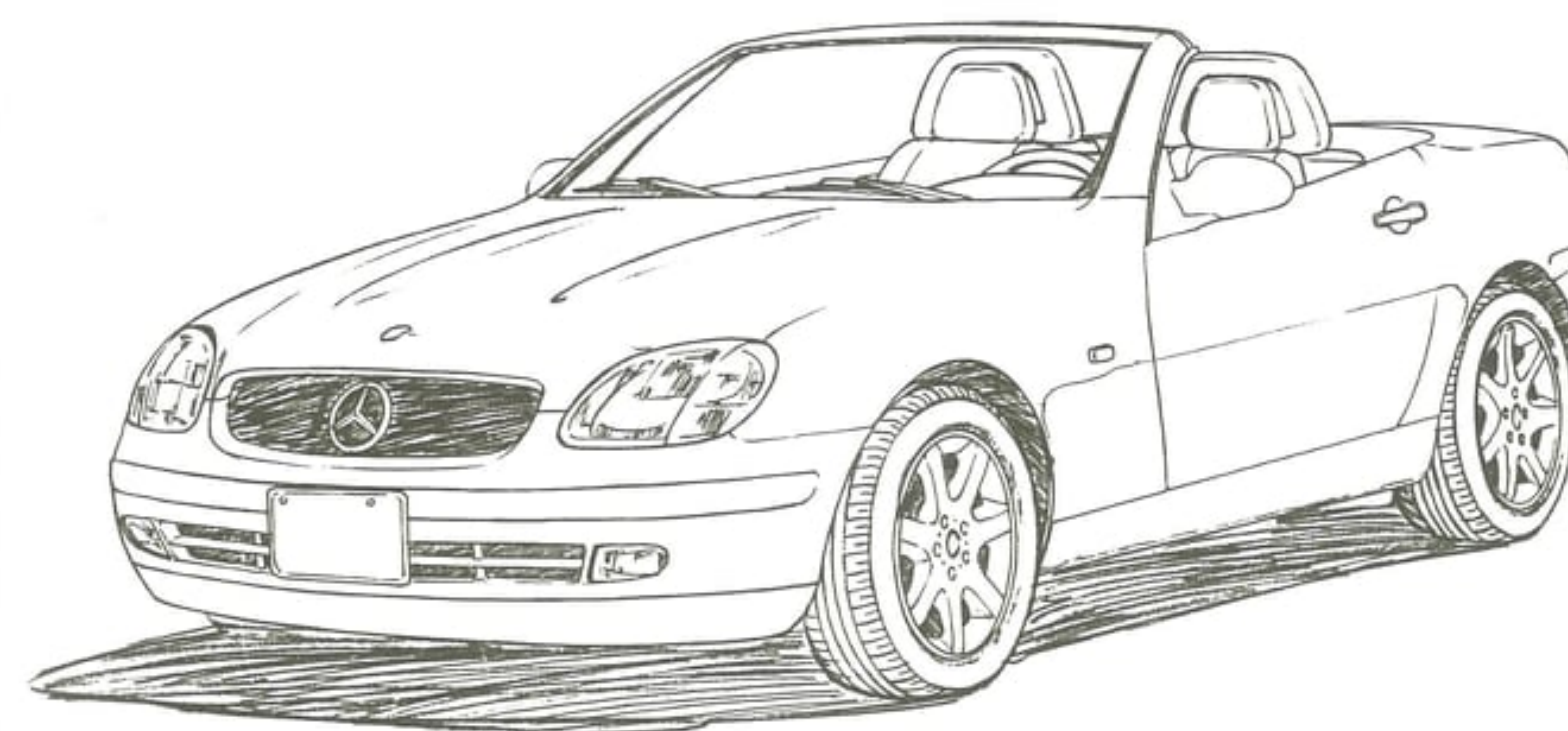
メルセデス・ベンツ Eクラス

46



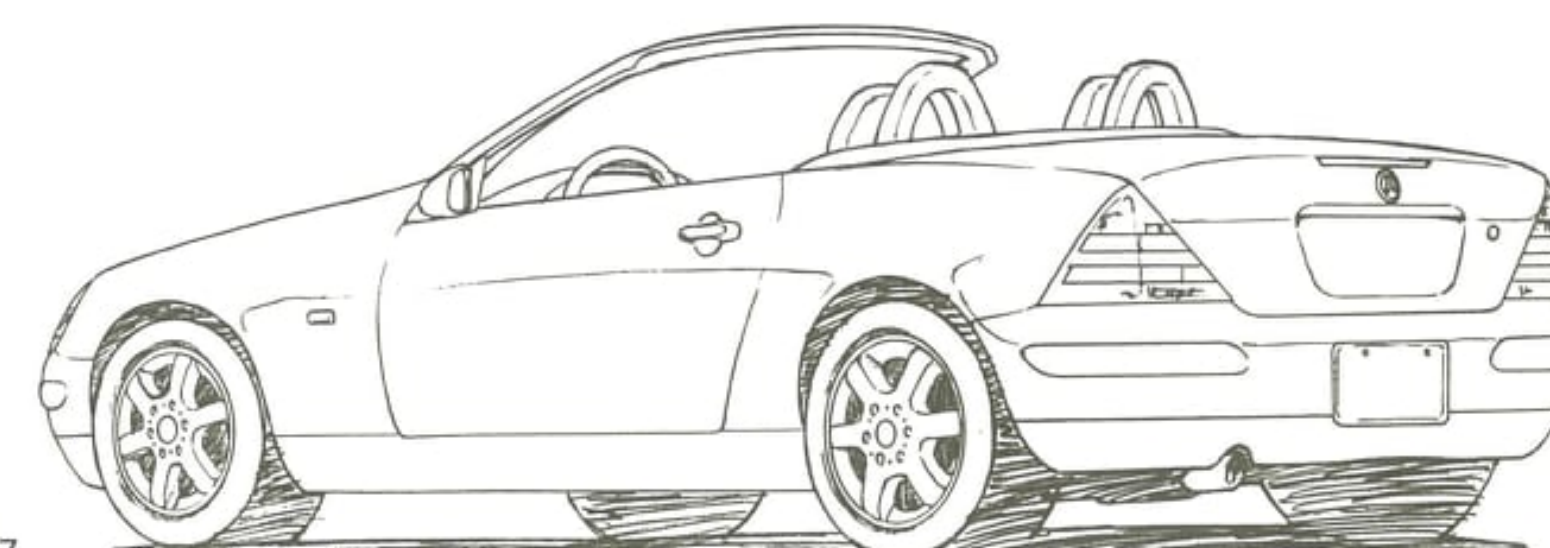
メルセデス・ベンツ Eクラス [コクピット、内装]

XIVETZ SLK
1999.1.26 by T. MURATA

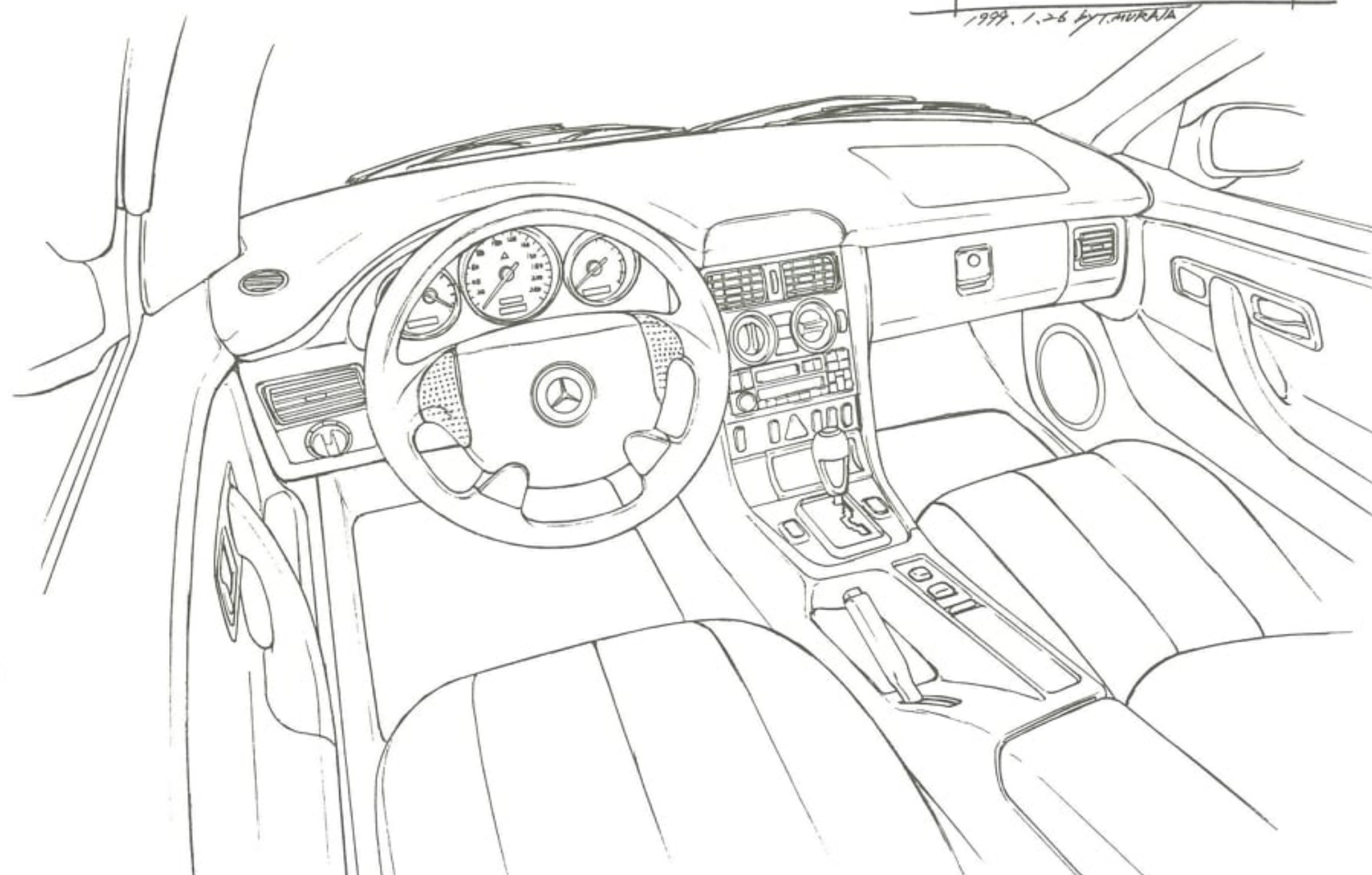


メルセデス・ベンツ SLKクラス

47

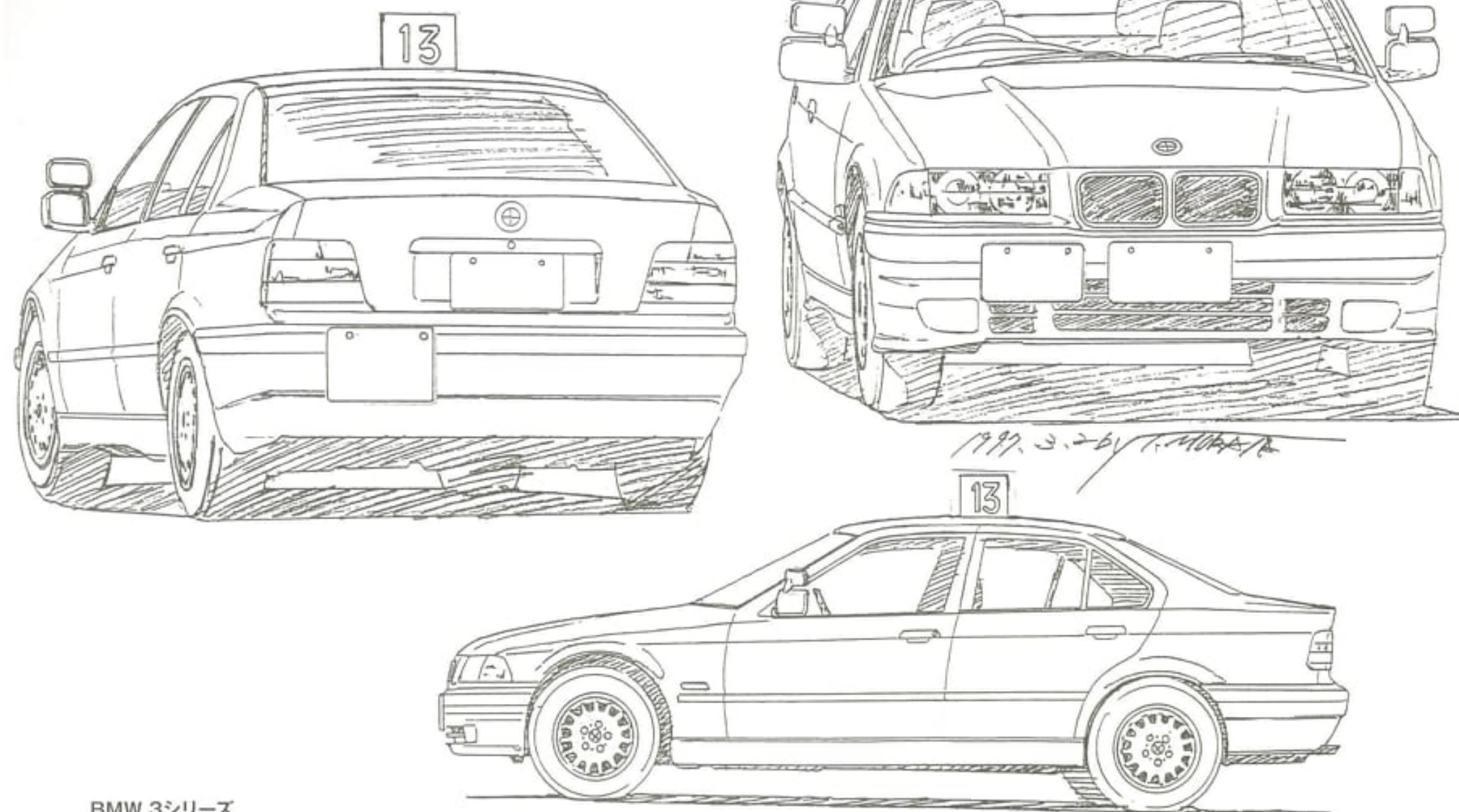


XIVETZ SLK 27ピット
1999.1.26 by T. MURATA



メルセデス・ベンツ SLKクラス [コクピット]

#27 教習車

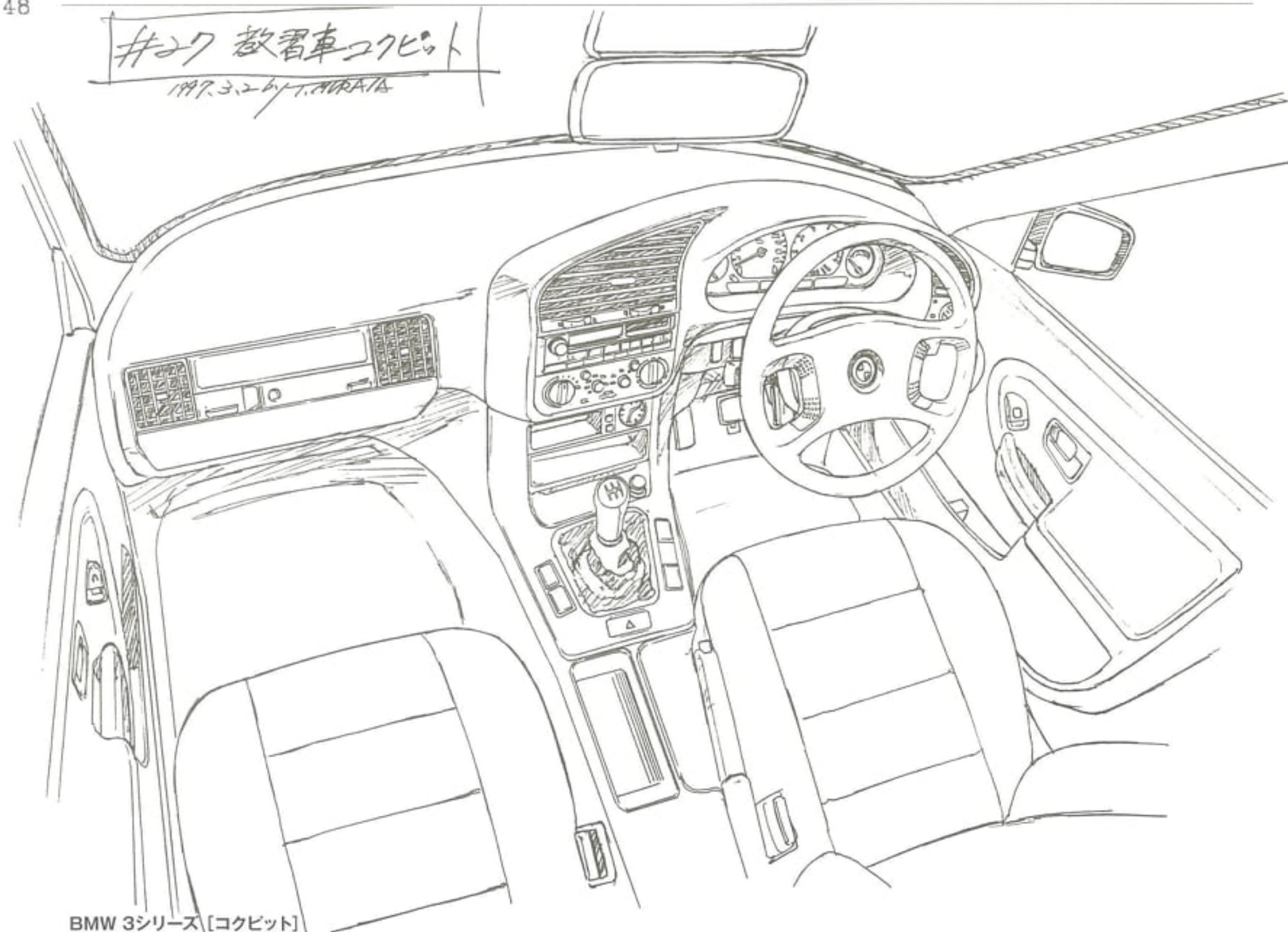


BMW 3シリーズ

48

#27 教習車コクピット

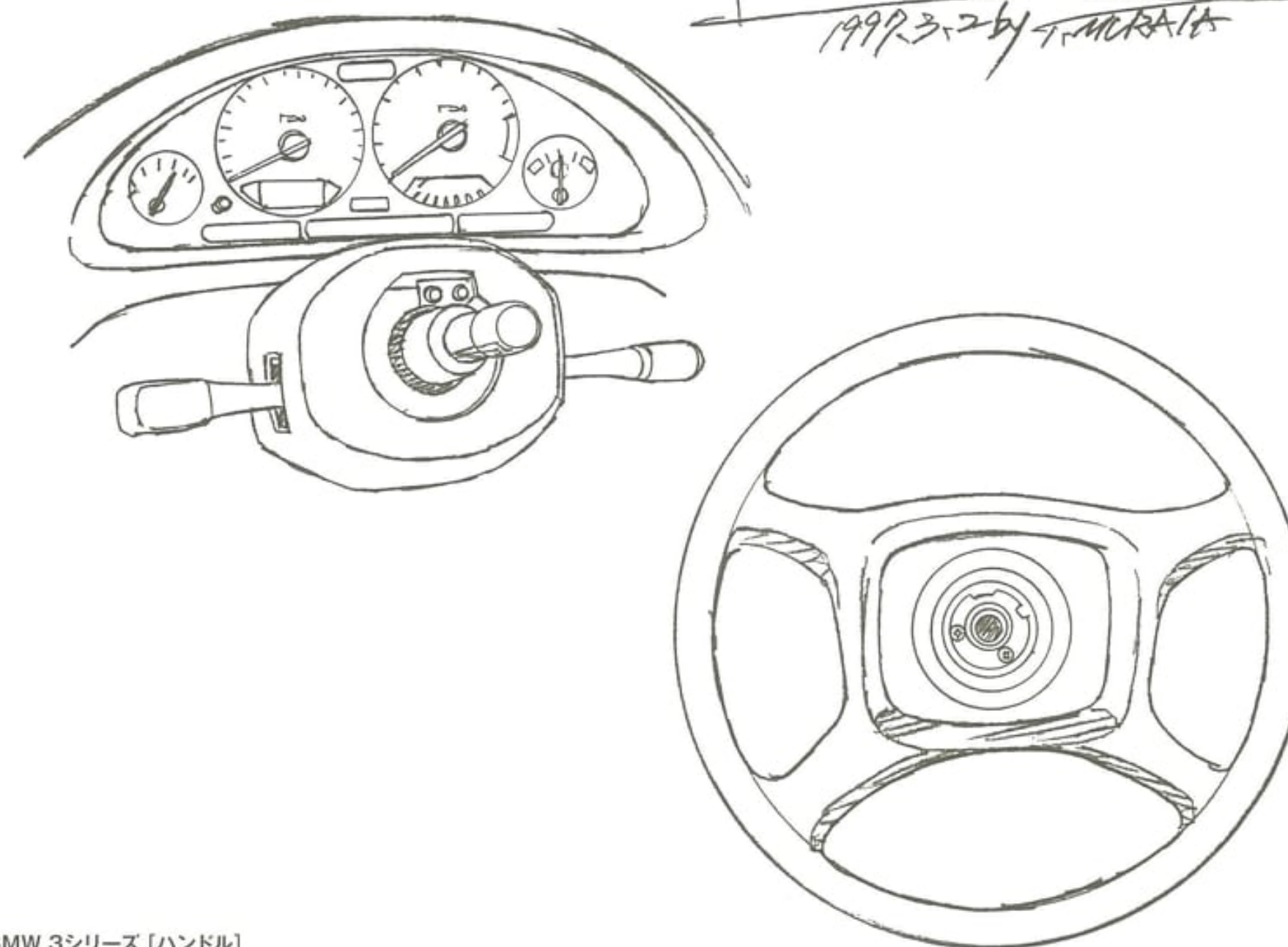
199.3.2 by T. MURATA



BMW 3シリーズ [コクピット]

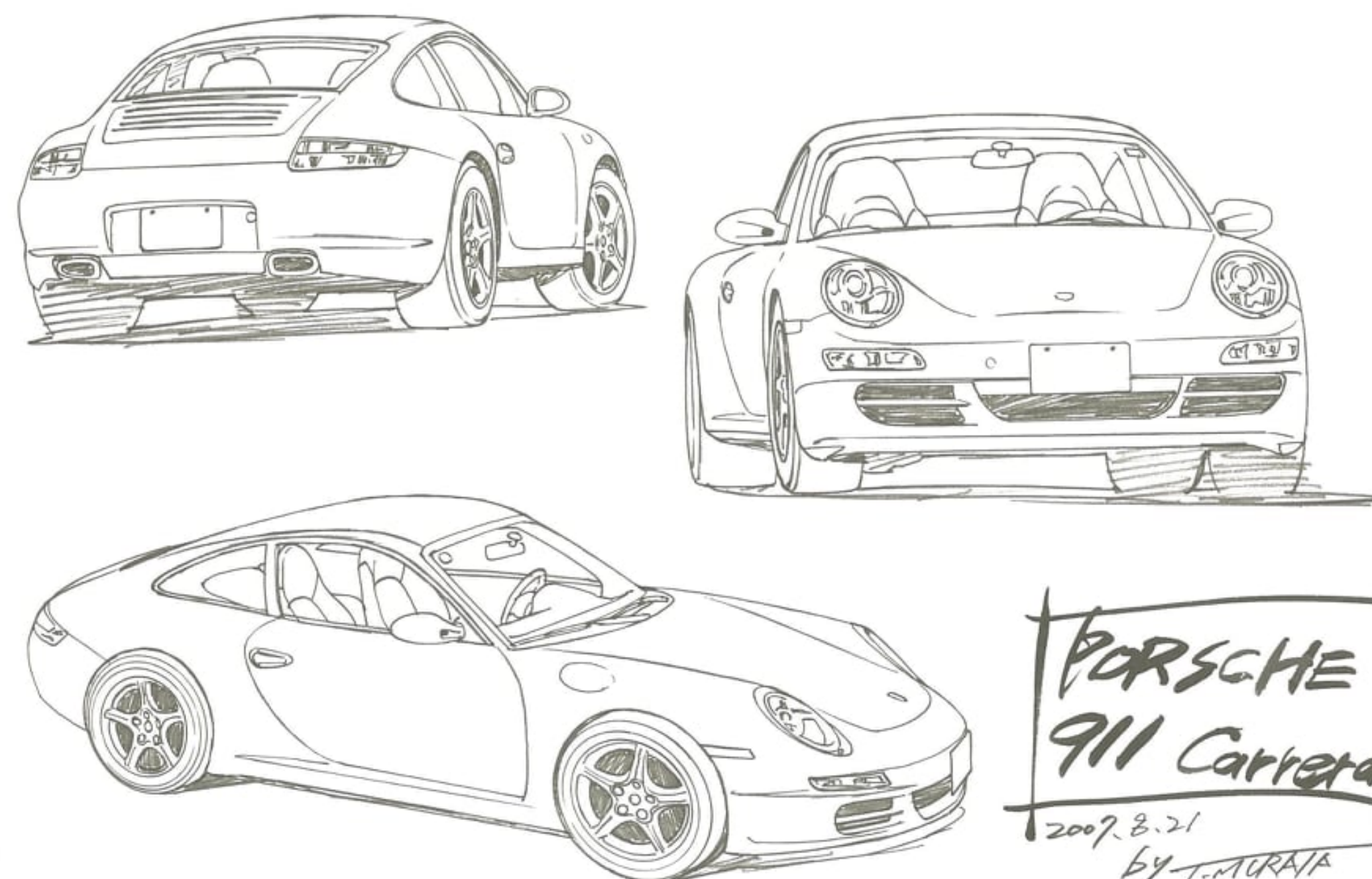
#27 教習車ハンドル

199.3.2 by T. MURATA



BMW 3シリーズ [ハンドル]

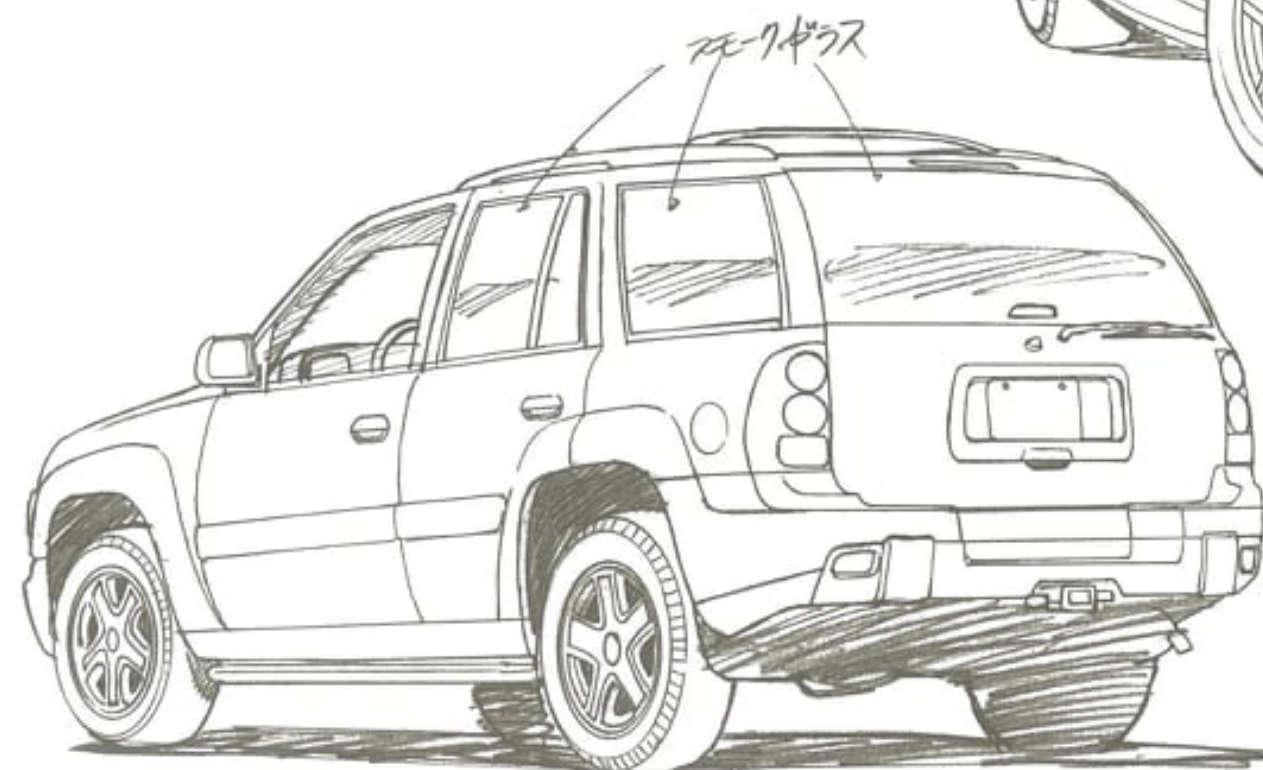
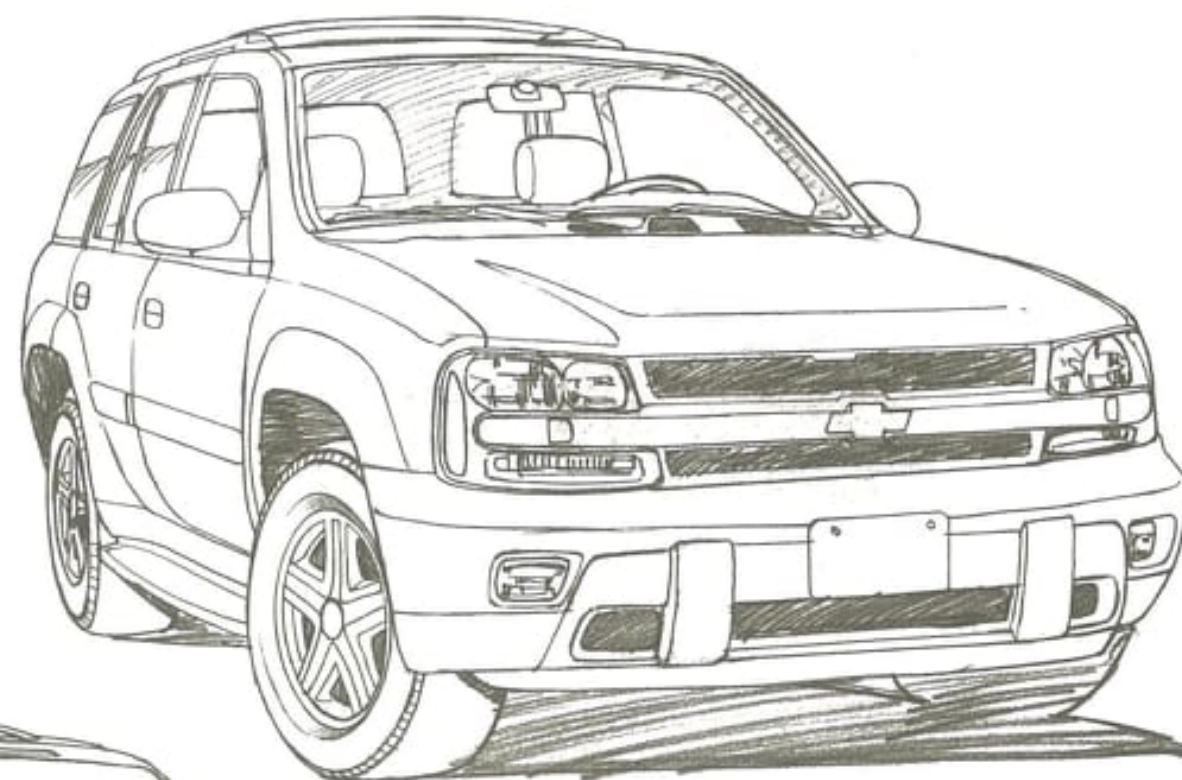
49



PORSCHE
911 Carrera
2007.8.21
by T. MURATA

ポルシェ 911

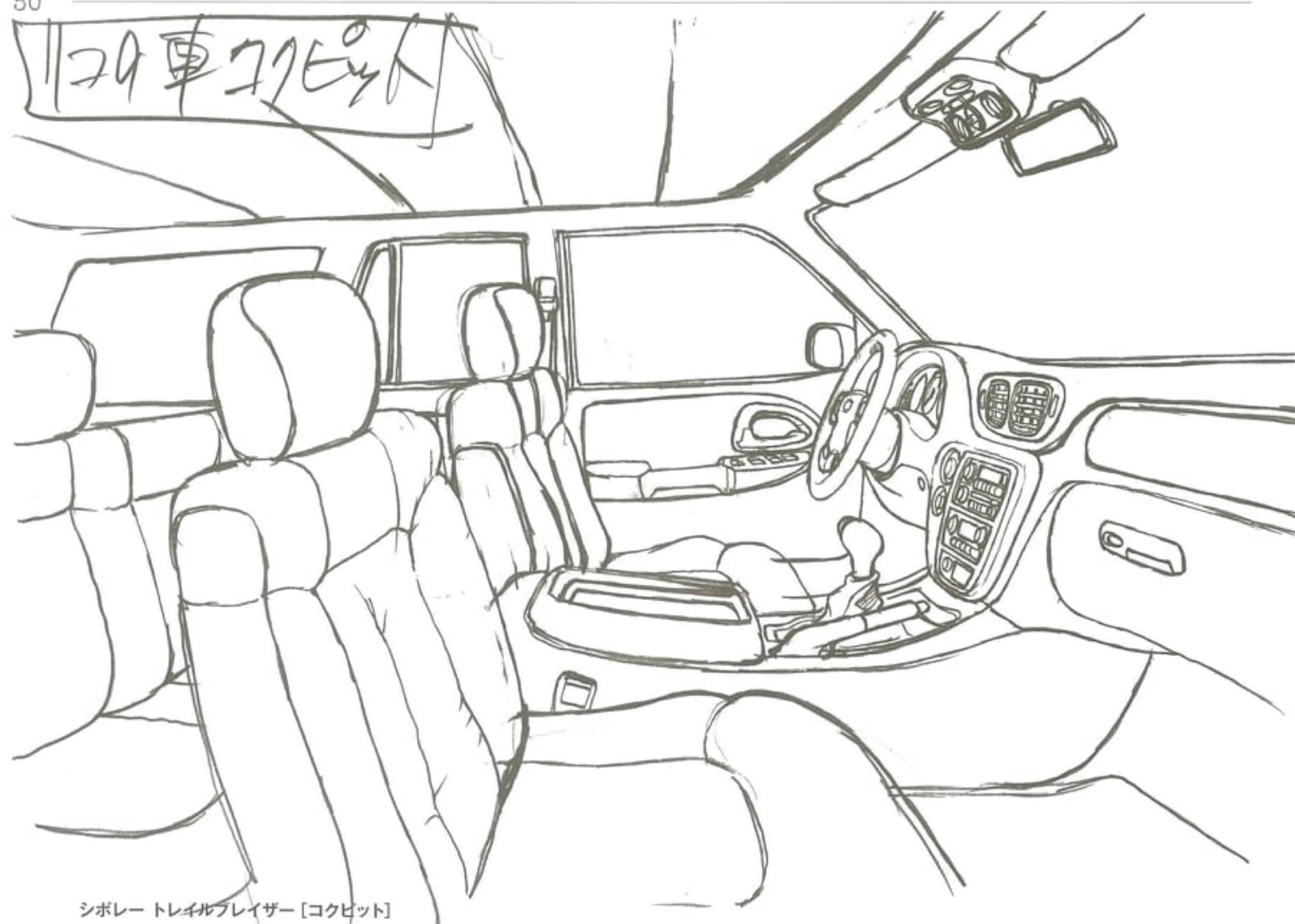
全長 4890mm 全幅 1900mm 全高 1850mm



1129 SUV
2002.1 by T. MURATA
• chevrolet TRAIL BLAZER

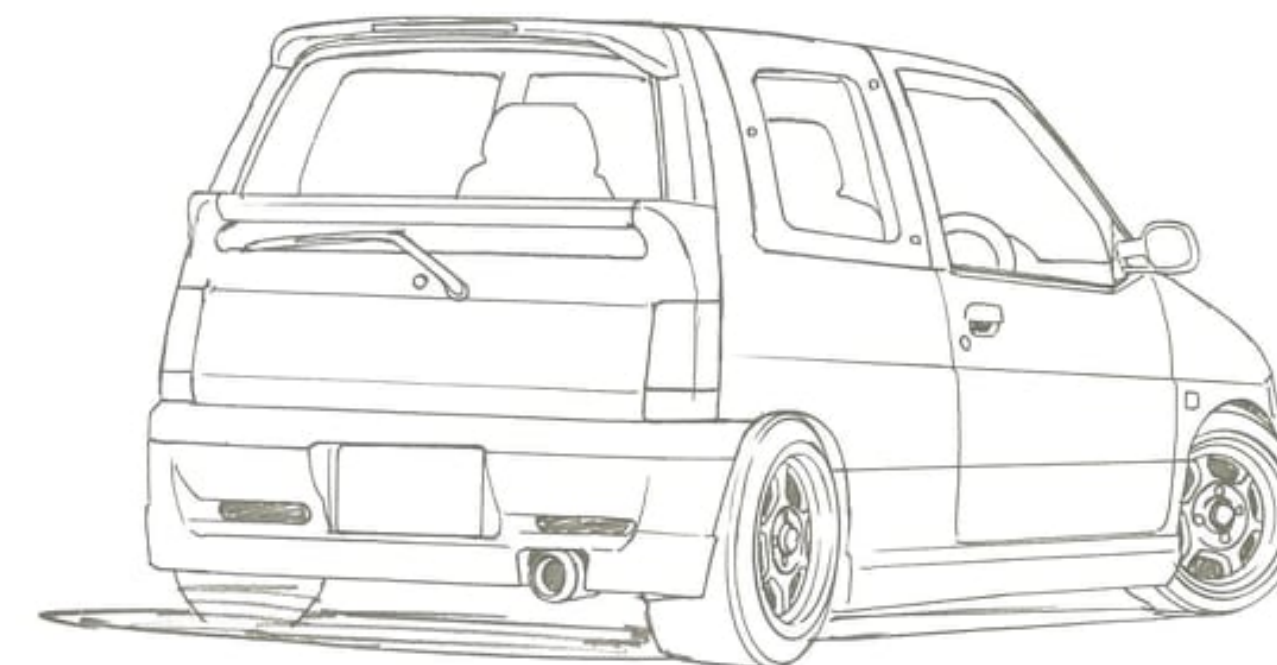
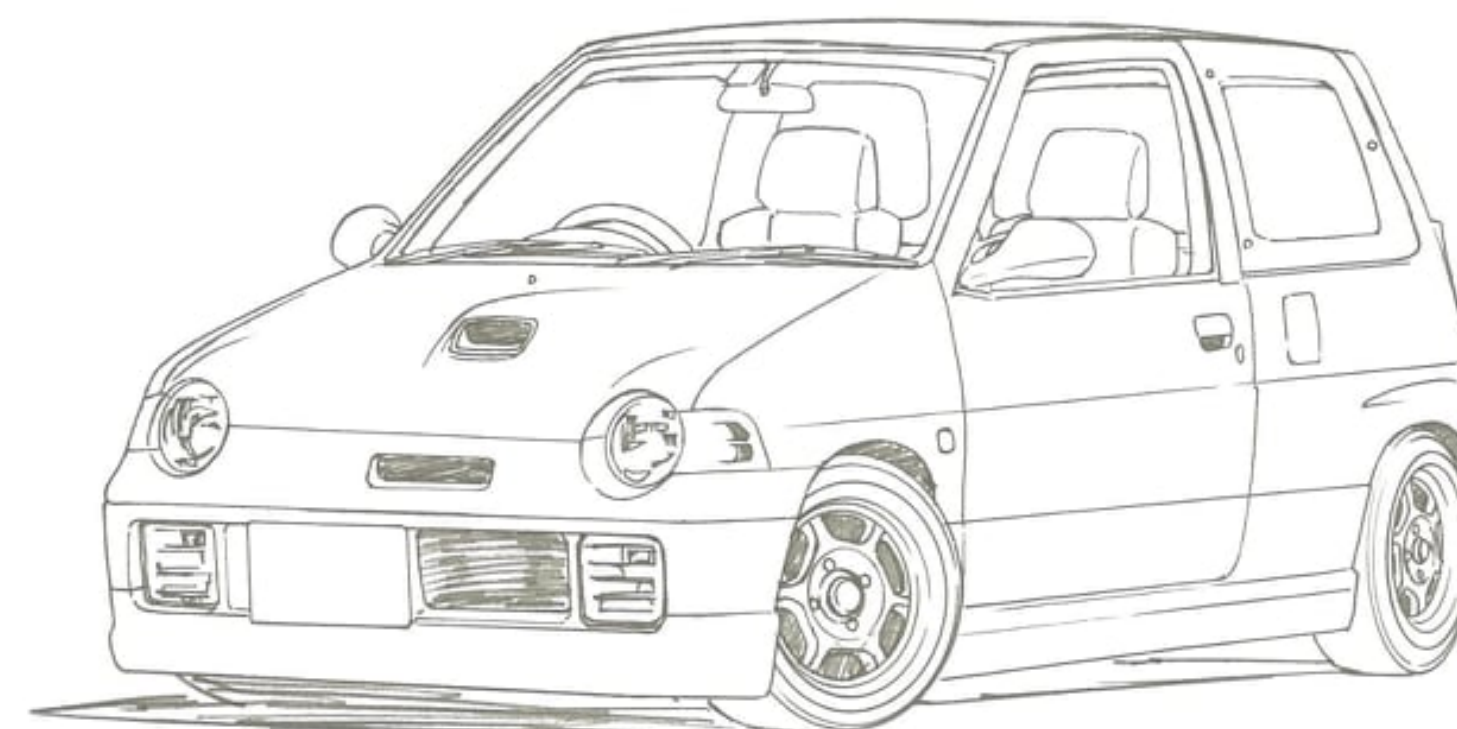
シボレー トレイルブレイザー

50



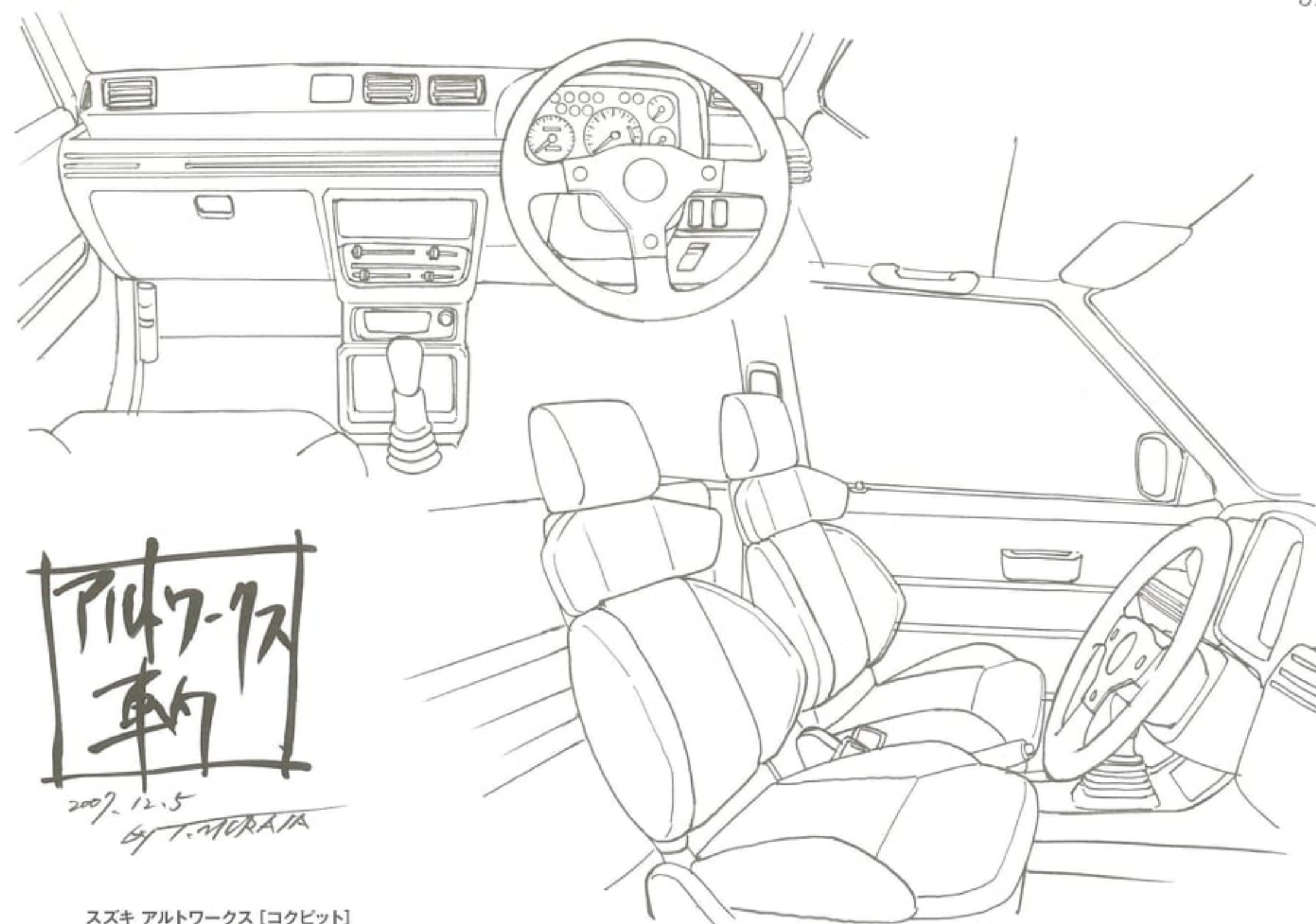
シボレー トレイルブレイザー [コクピット]

1147-72
2007.12.5 by T. MURATA



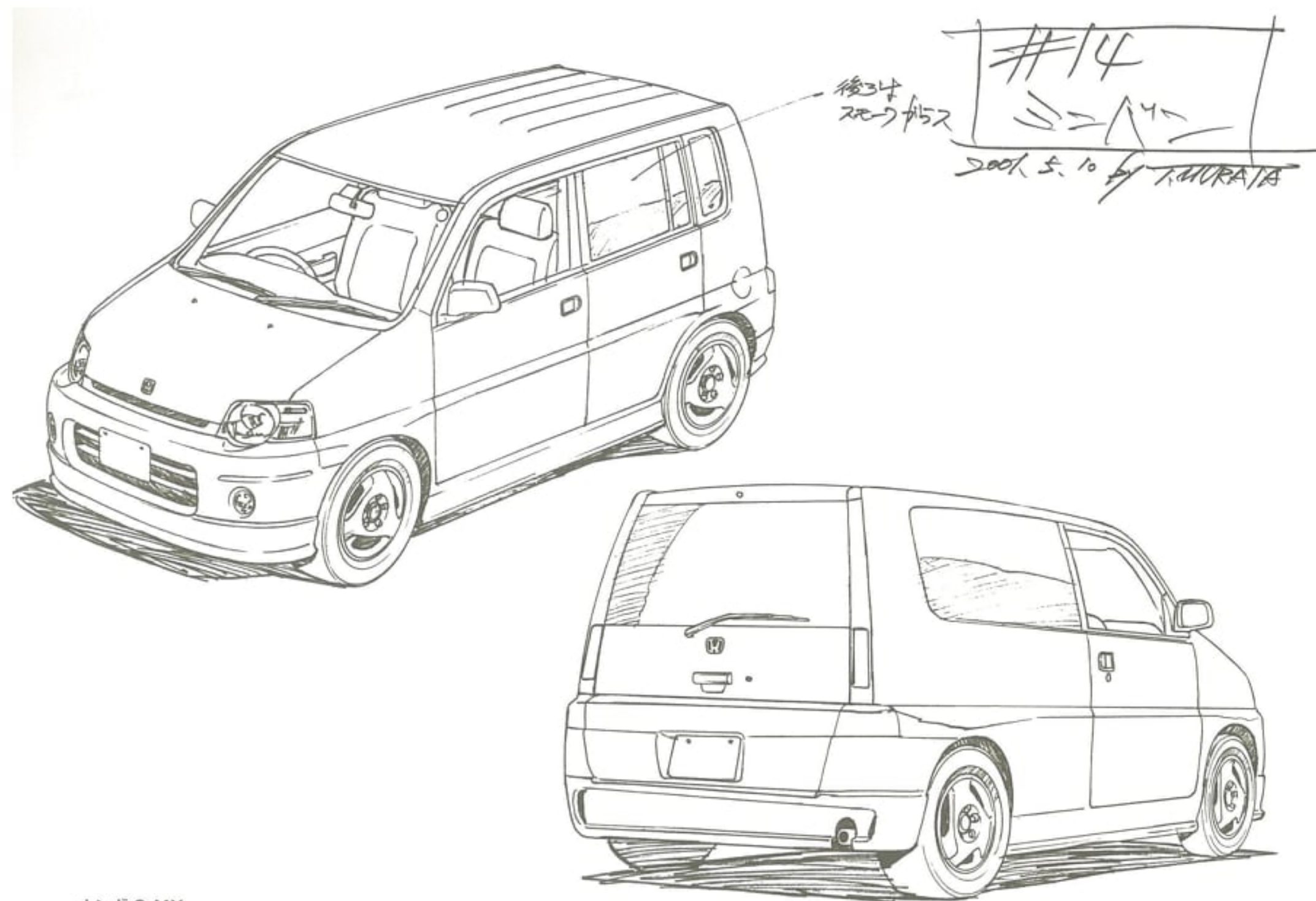
スズキ アルトワークス

51



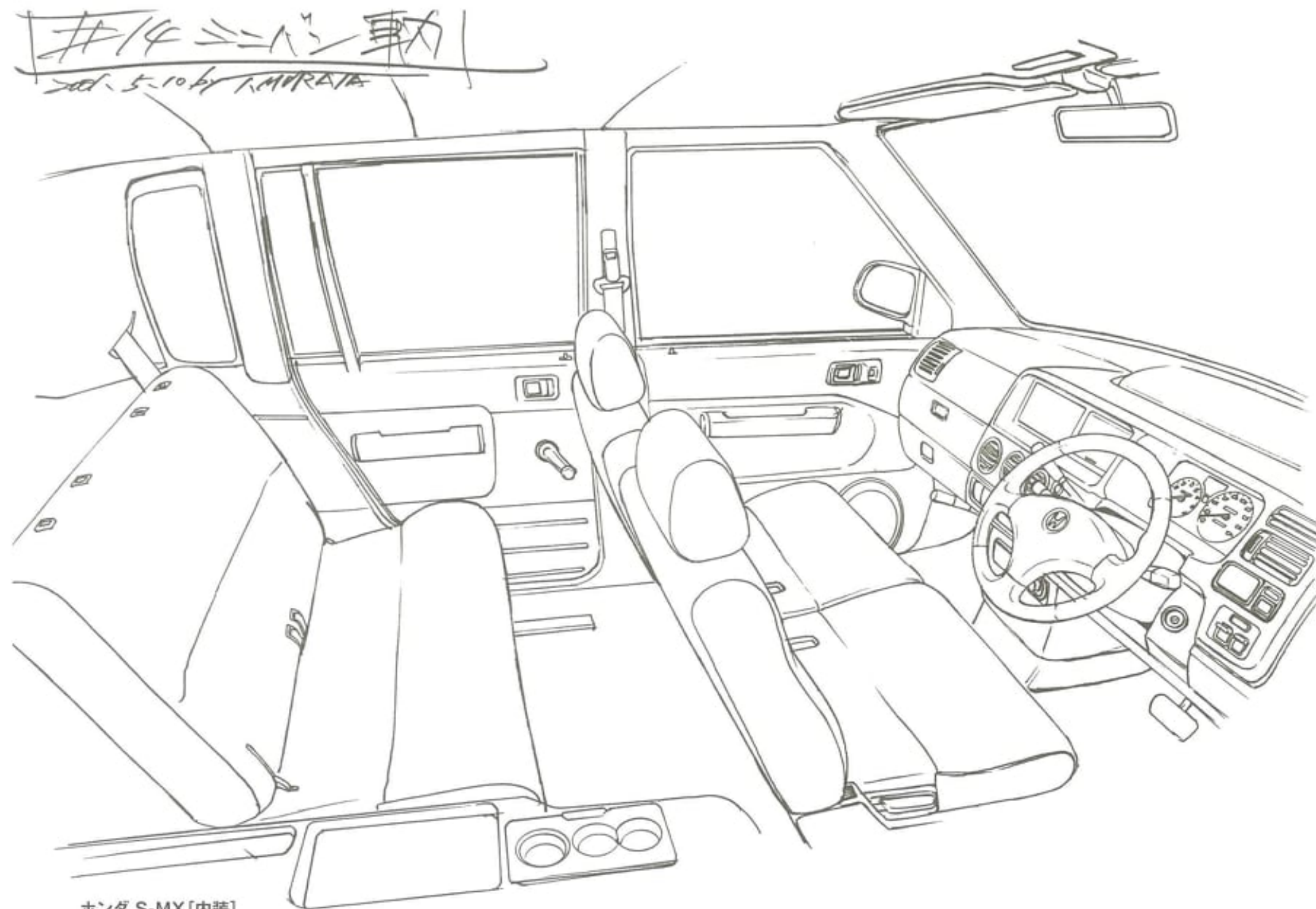
1147-72
車
2007.12.5
by T. MURATA

スズキ アルトワークス [コクピット]

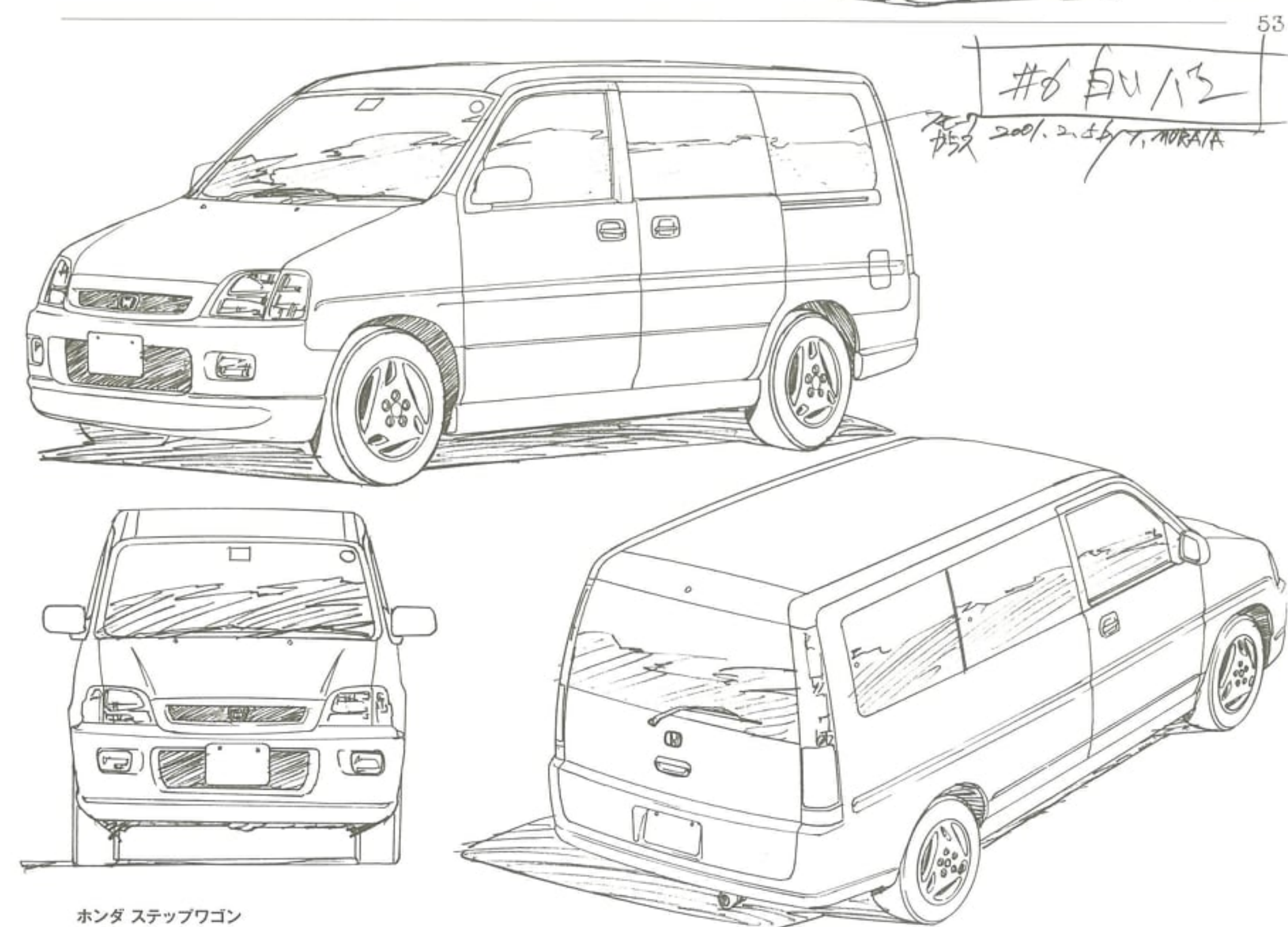
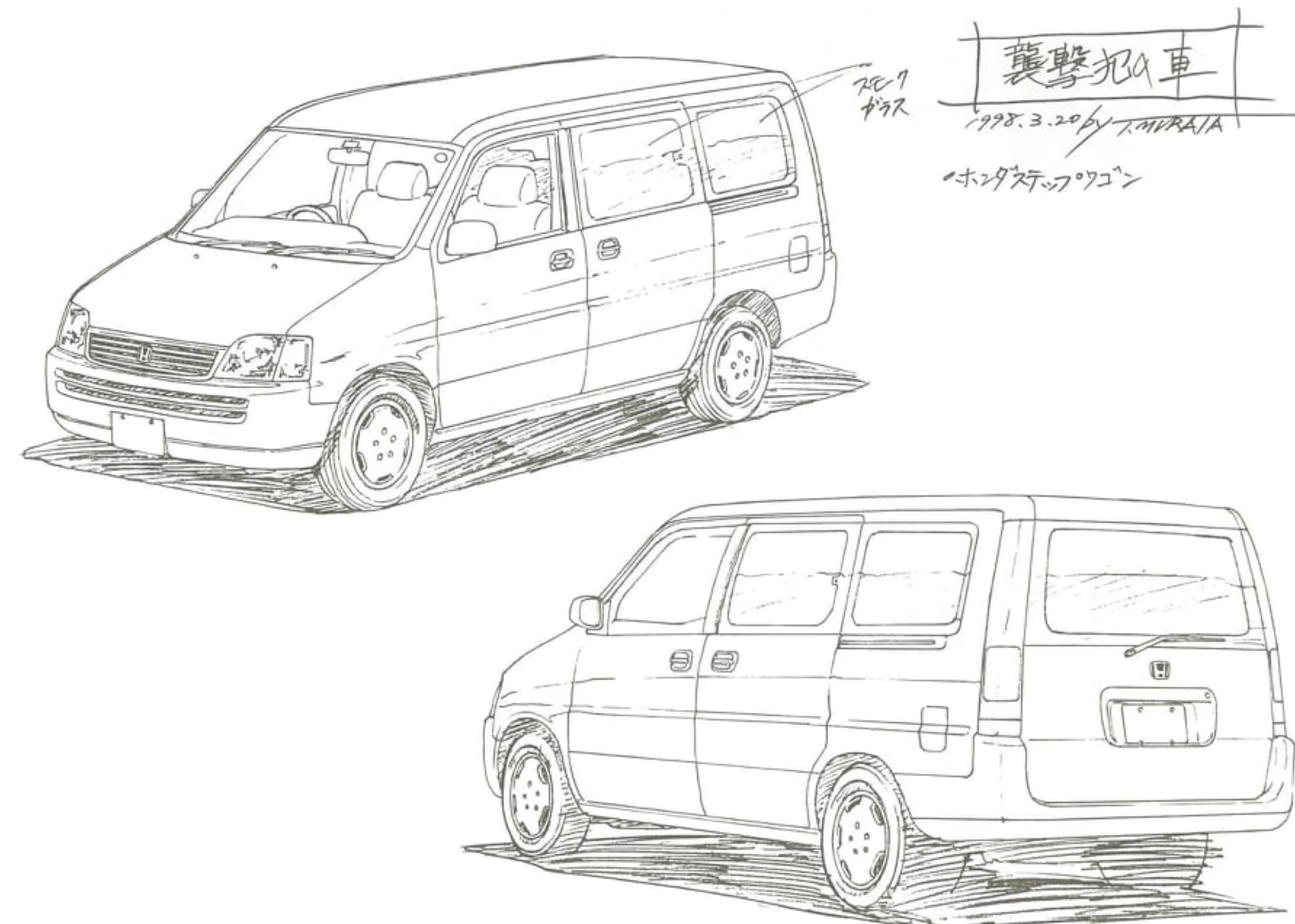


ホンダ S-MX

52



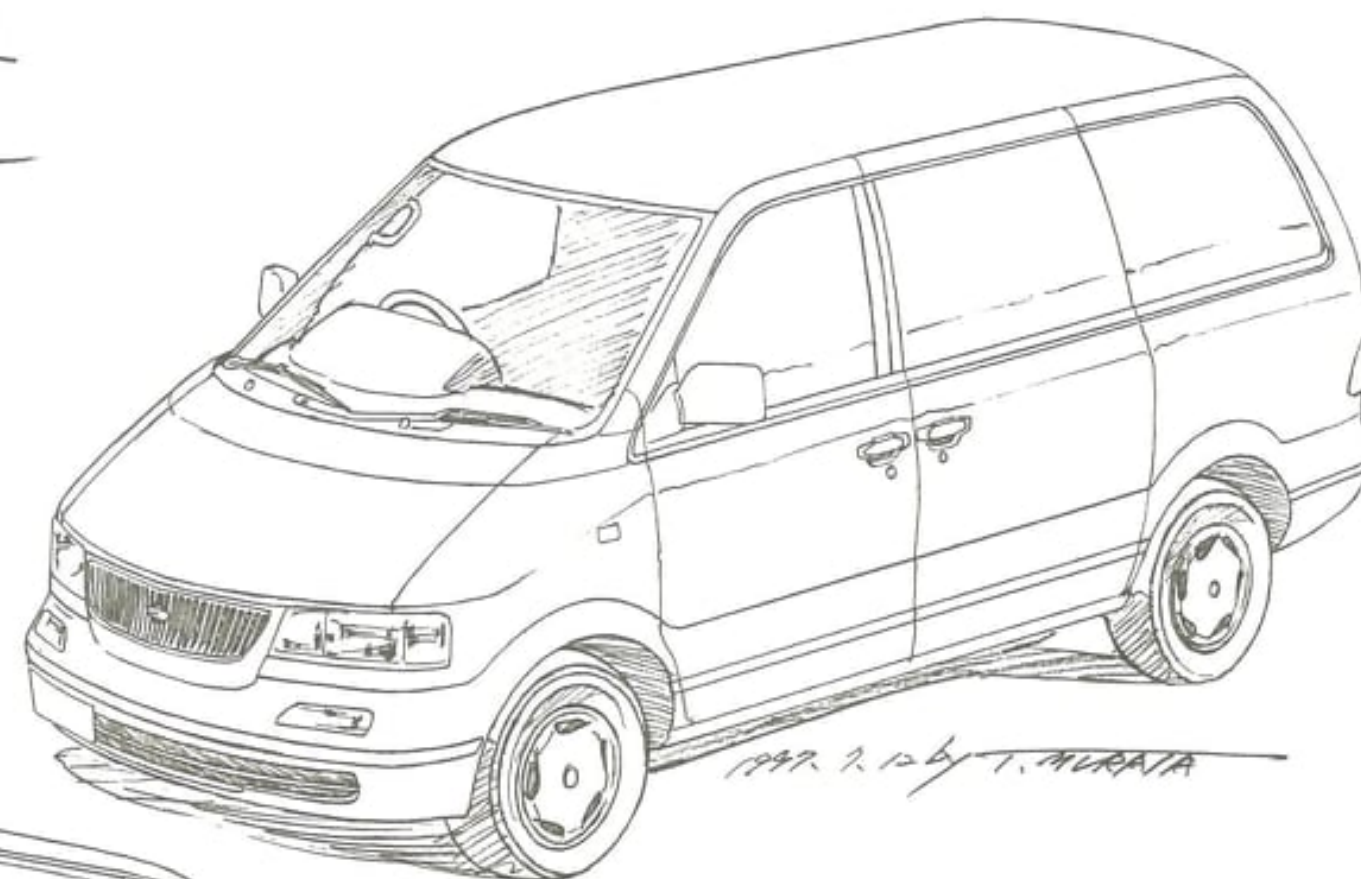
ホンダ S-MX [内装]



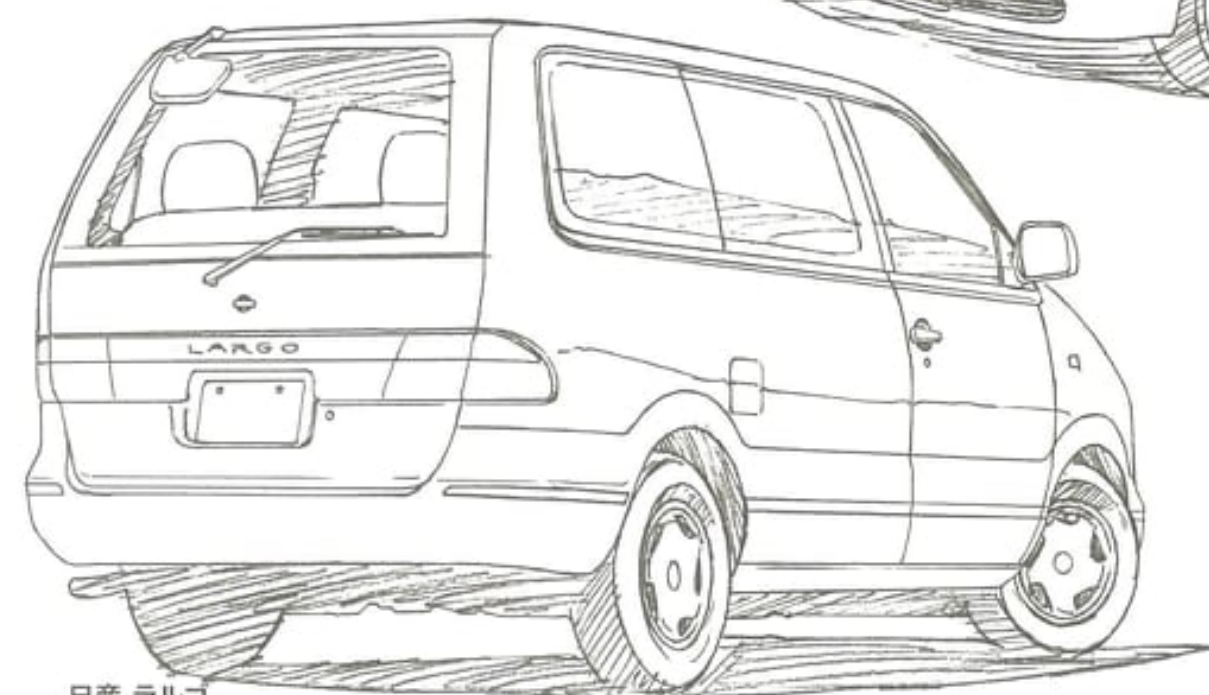
ホンダ ステップワゴン

53

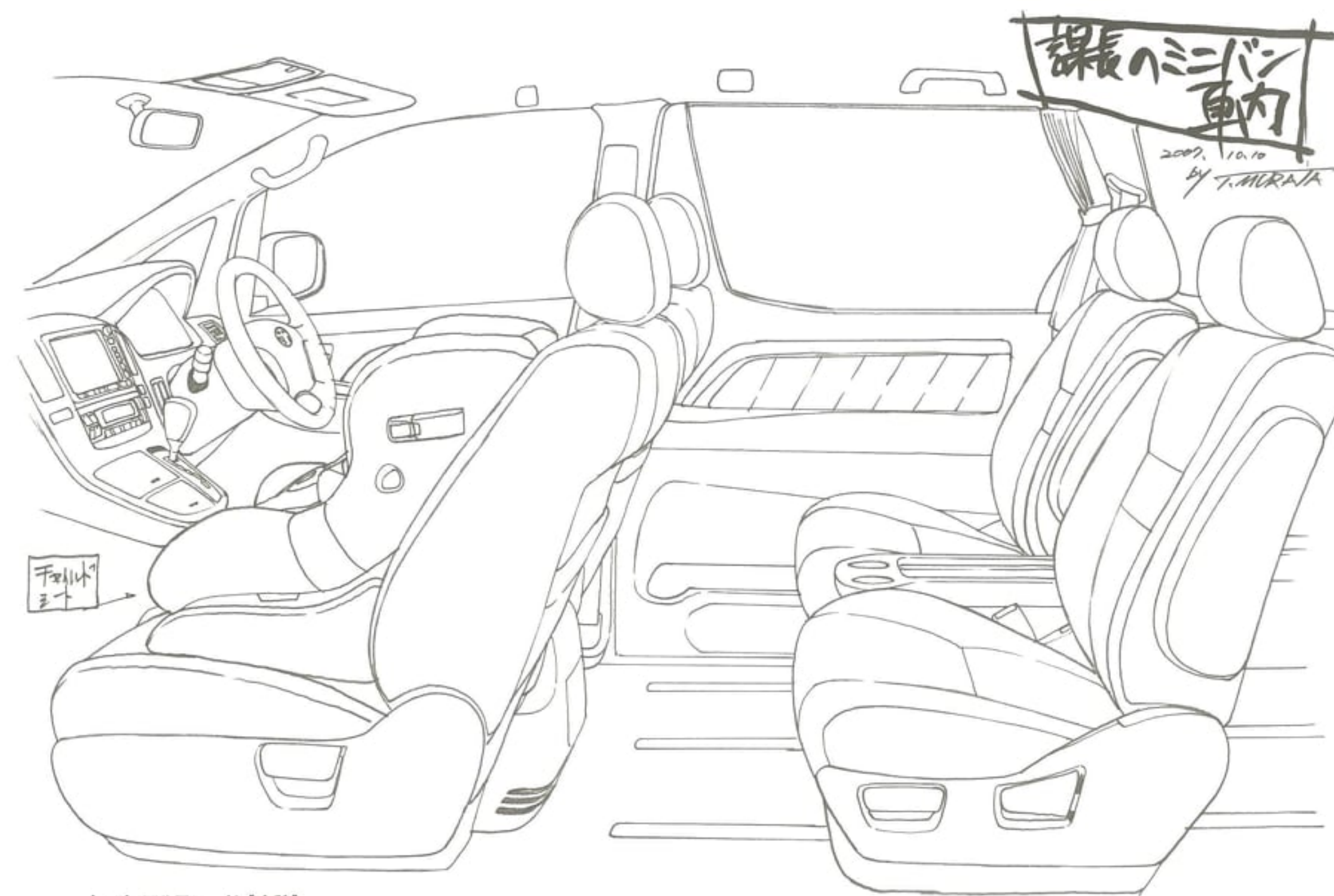
#49 ~ 白9772



1997. 2. 12 by T. MURATA



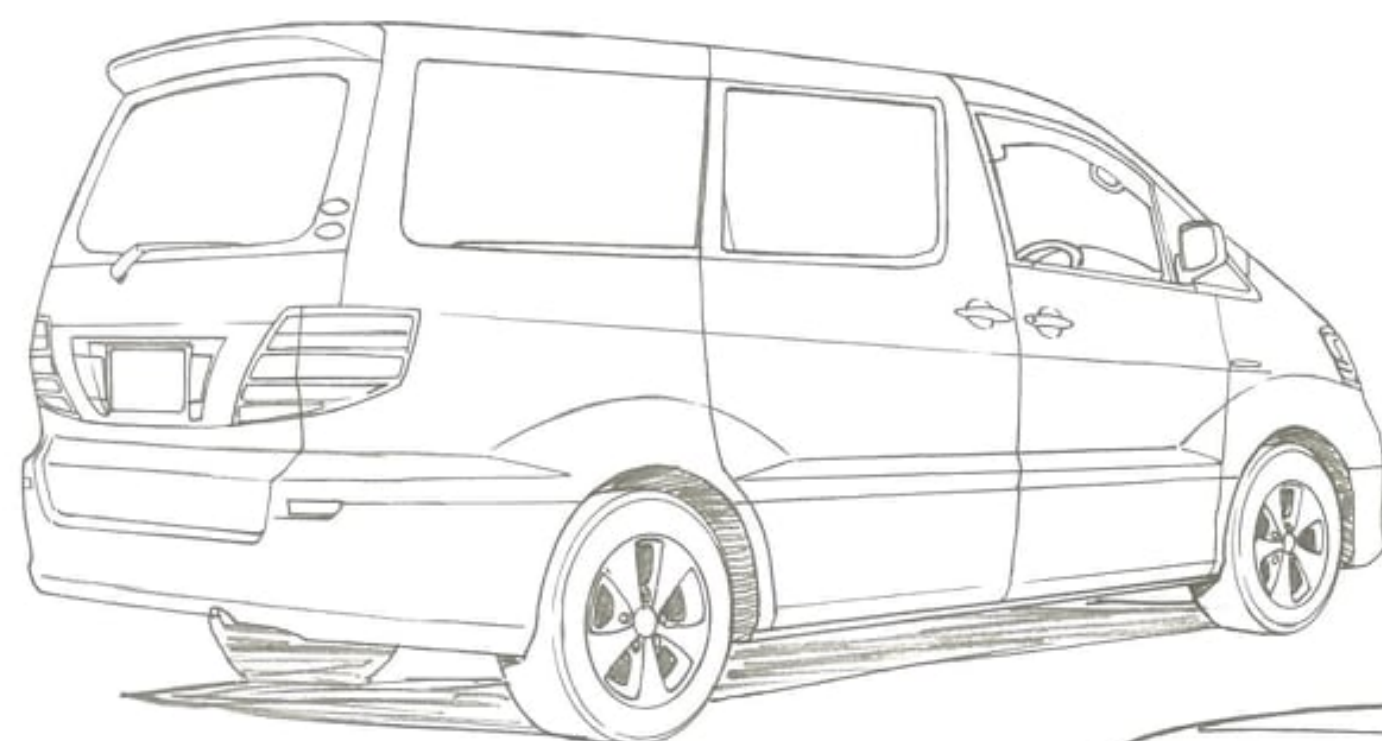
日産 ラルゴ



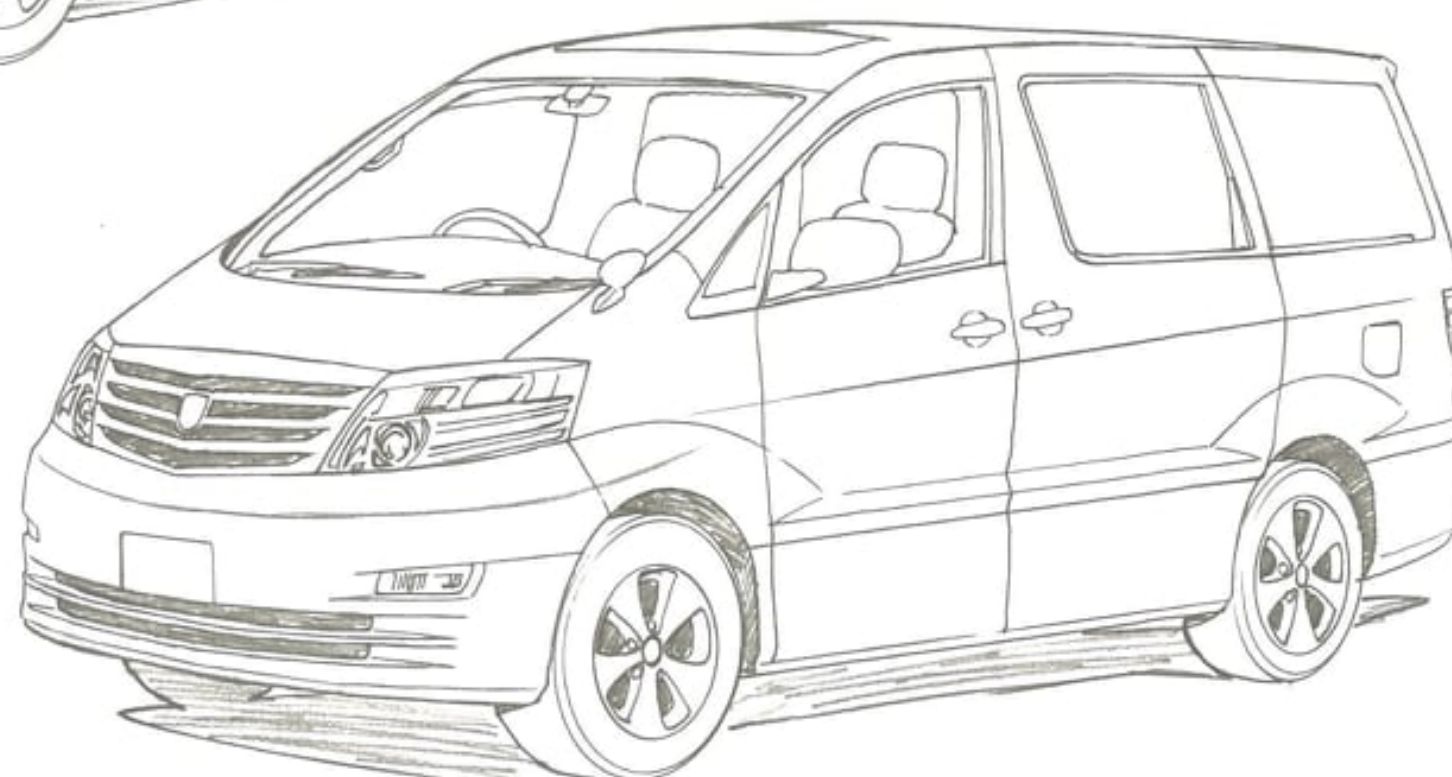
課長のミニバン
車内
2007. 10. 10
by T. MURATA

フェルト
シート

トヨタ アルファード [内装]

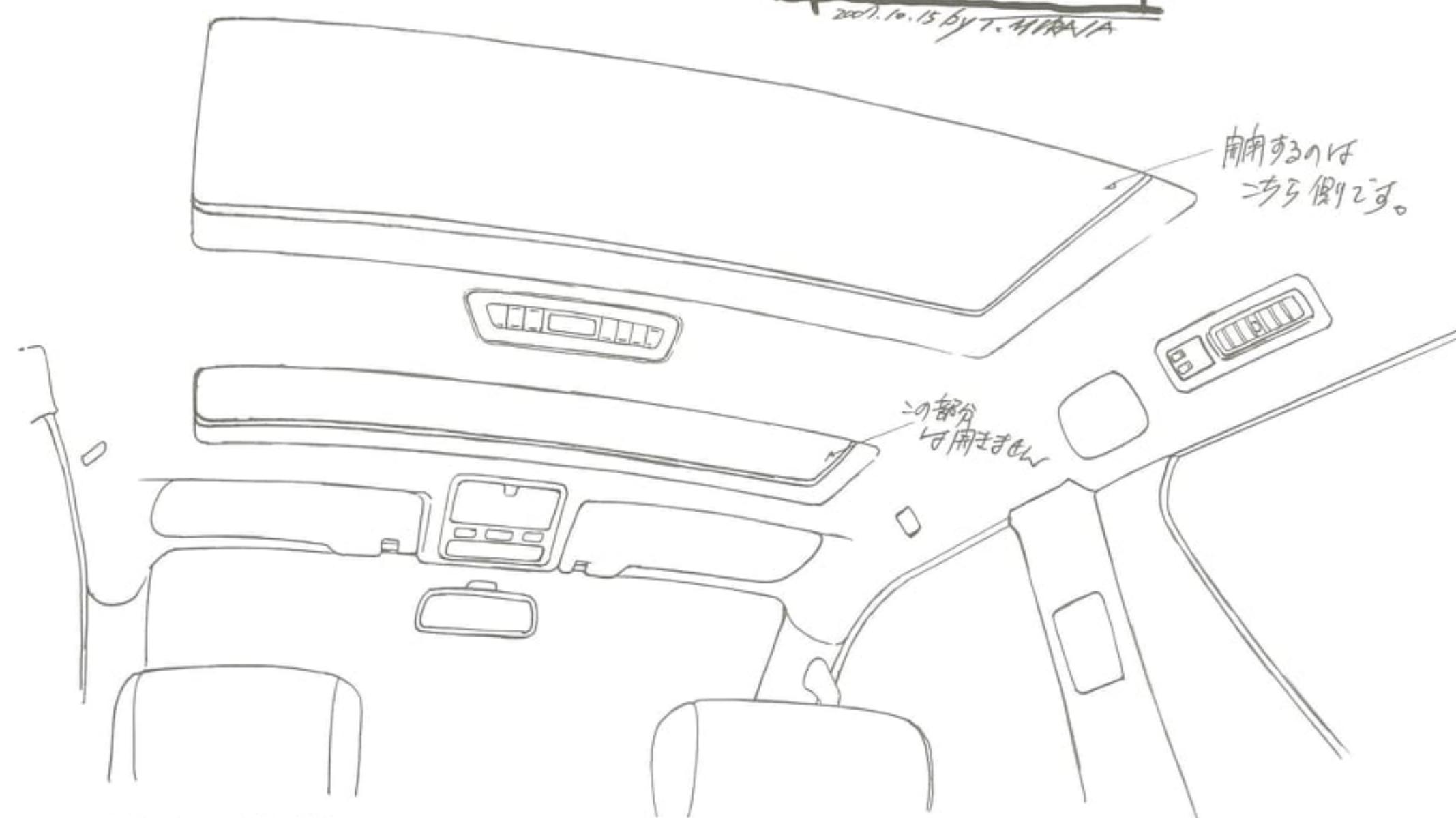


課長のミニバン
2007. 10. 10 by T. MURATA



トヨタ アルファード

課長のミニバン
サンルーフ
2007. 10. 15 by T. MURATA

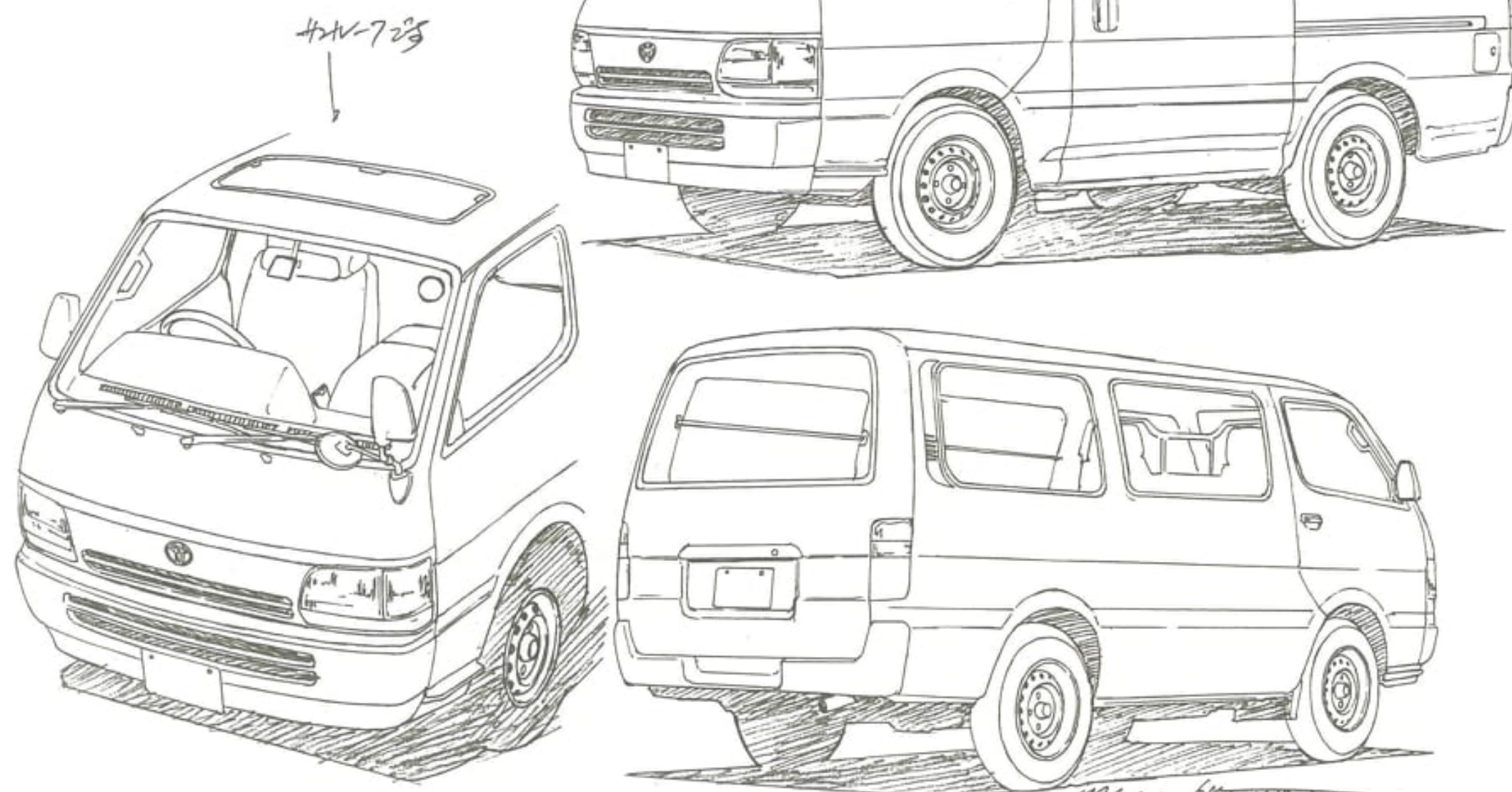


開閉するのば
こちら側です。

この部分
は開きます

トヨタ アルファード [サンルーフ]

#10 多難グレイブバン

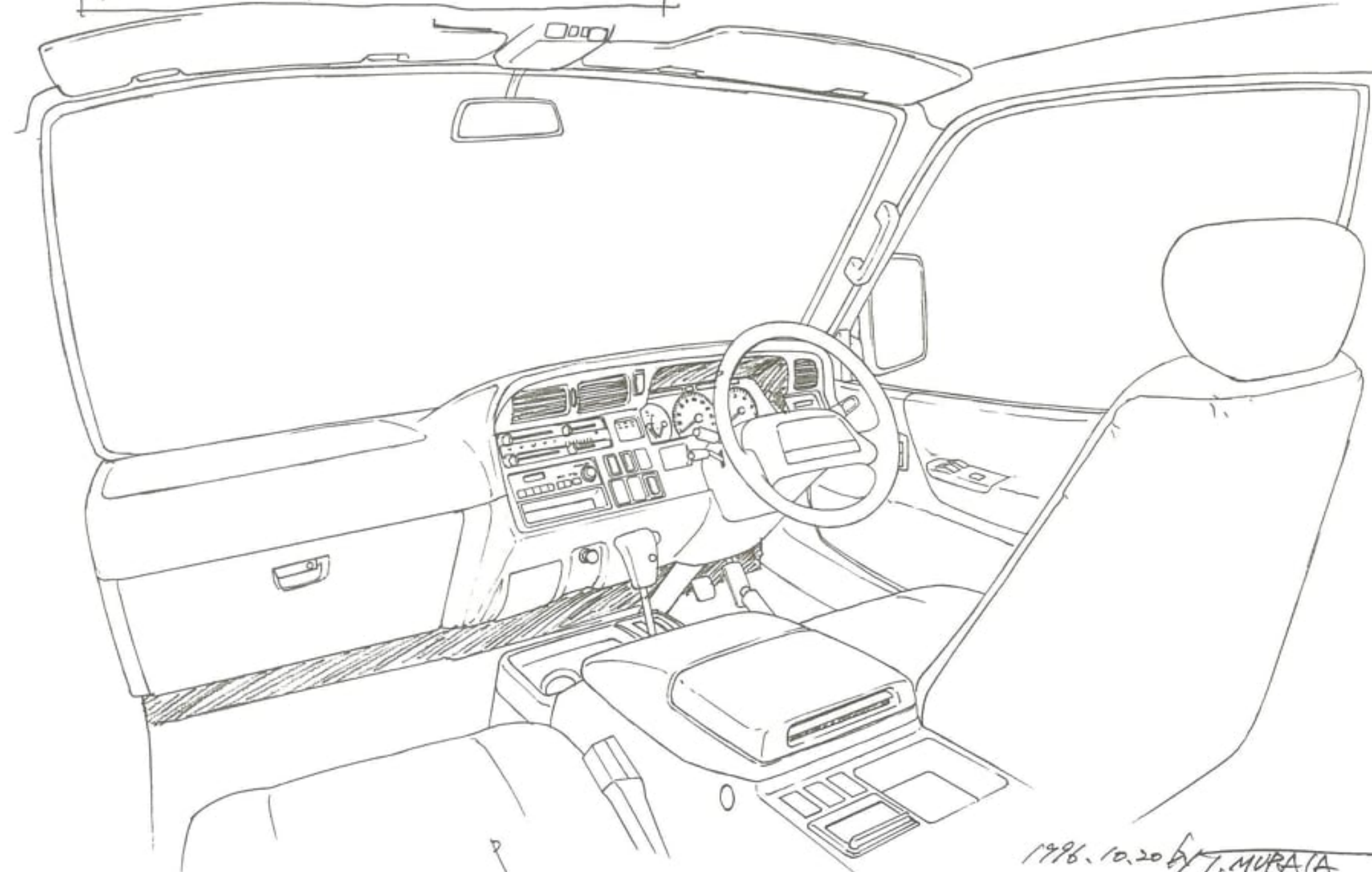


トヨタ ハイース

1996.10.20 by T. MURATA

56

#10 多難グレイブバンコクビット



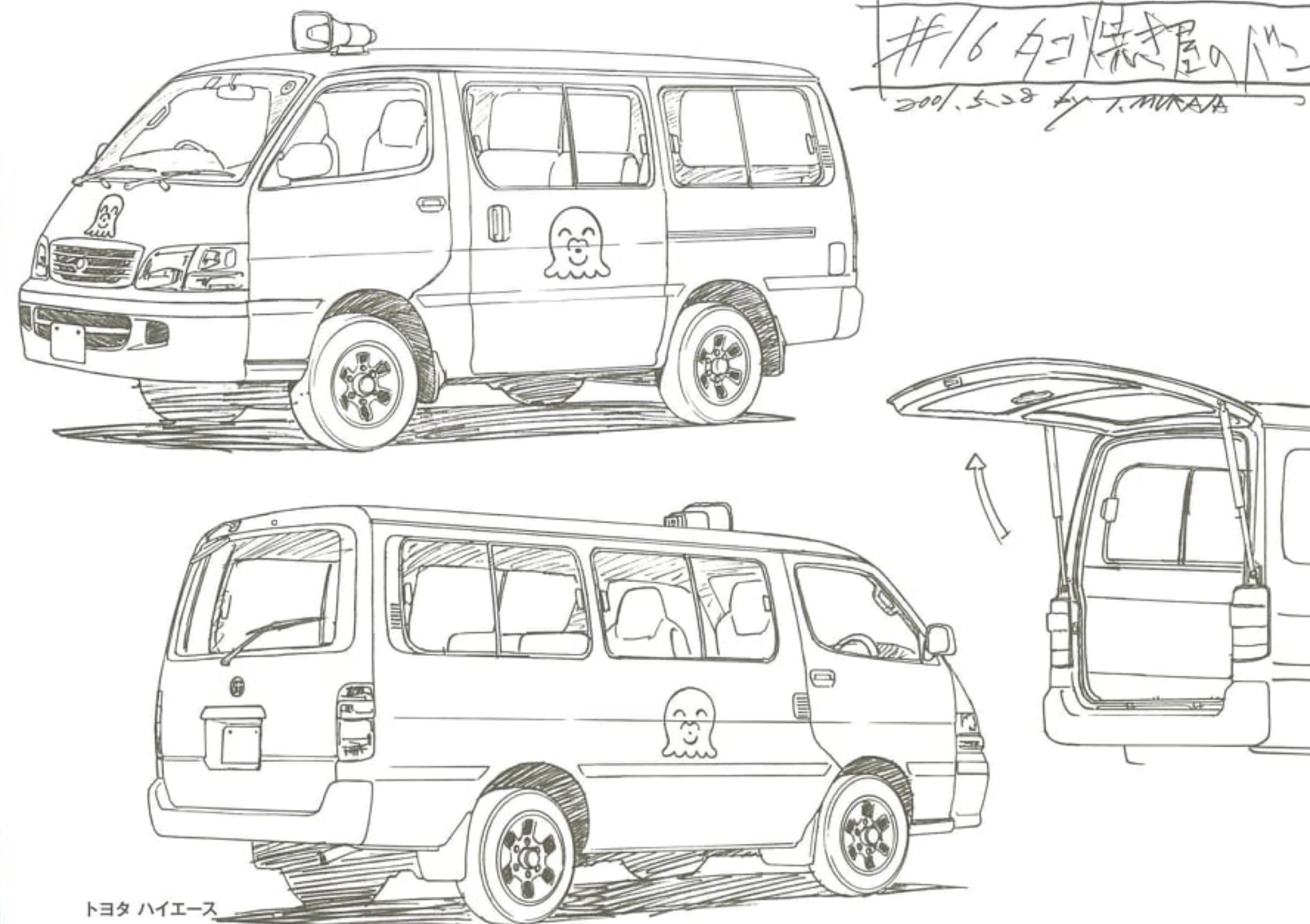
トヨタ ハイース [コクビット]

コンダクタシート省略して利用

1996.10.20 by T. MURATA

#16 タコ焼き屋のバン

2001.5.28 by T. MURATA

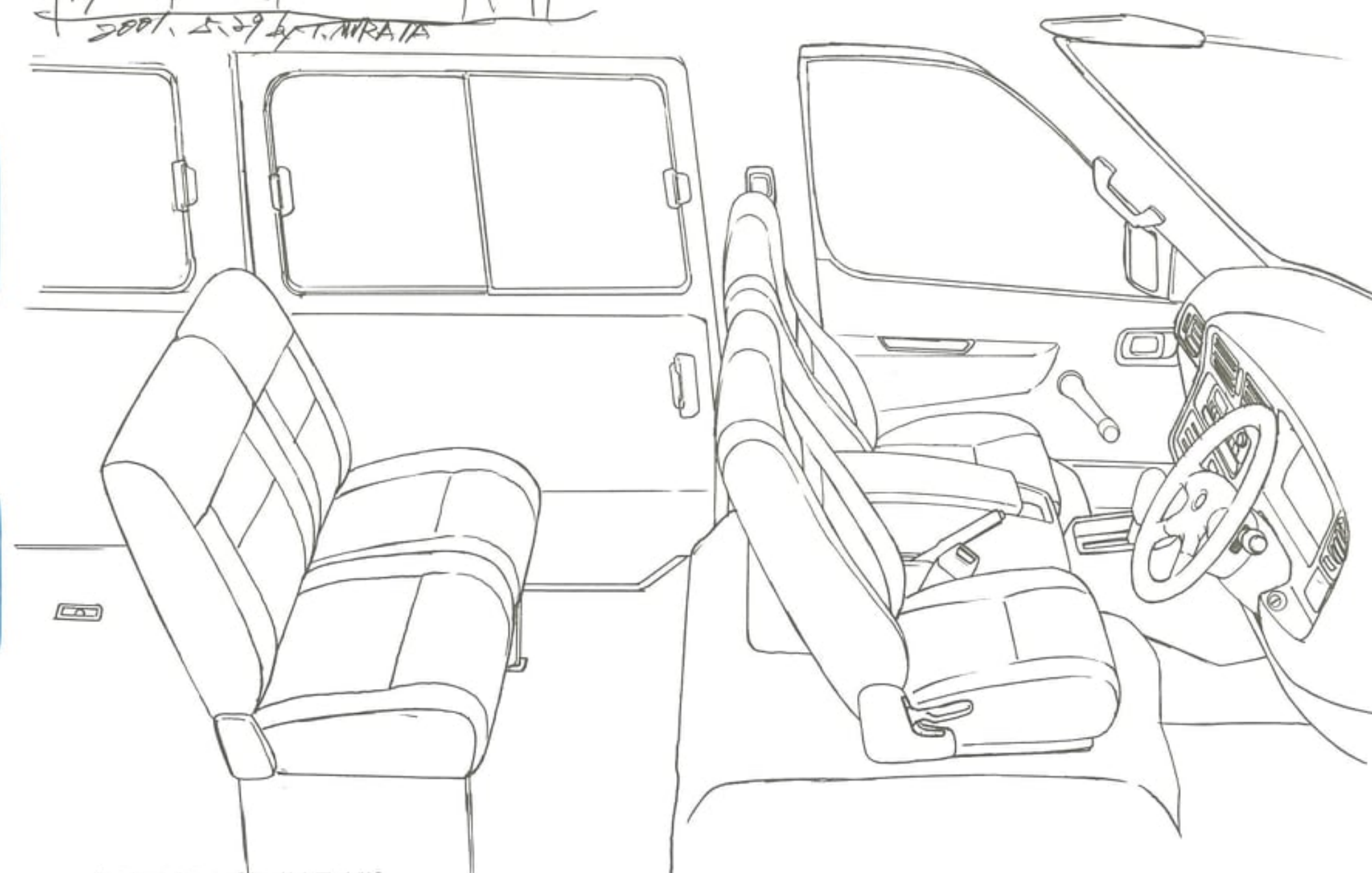


トヨタ ハイース

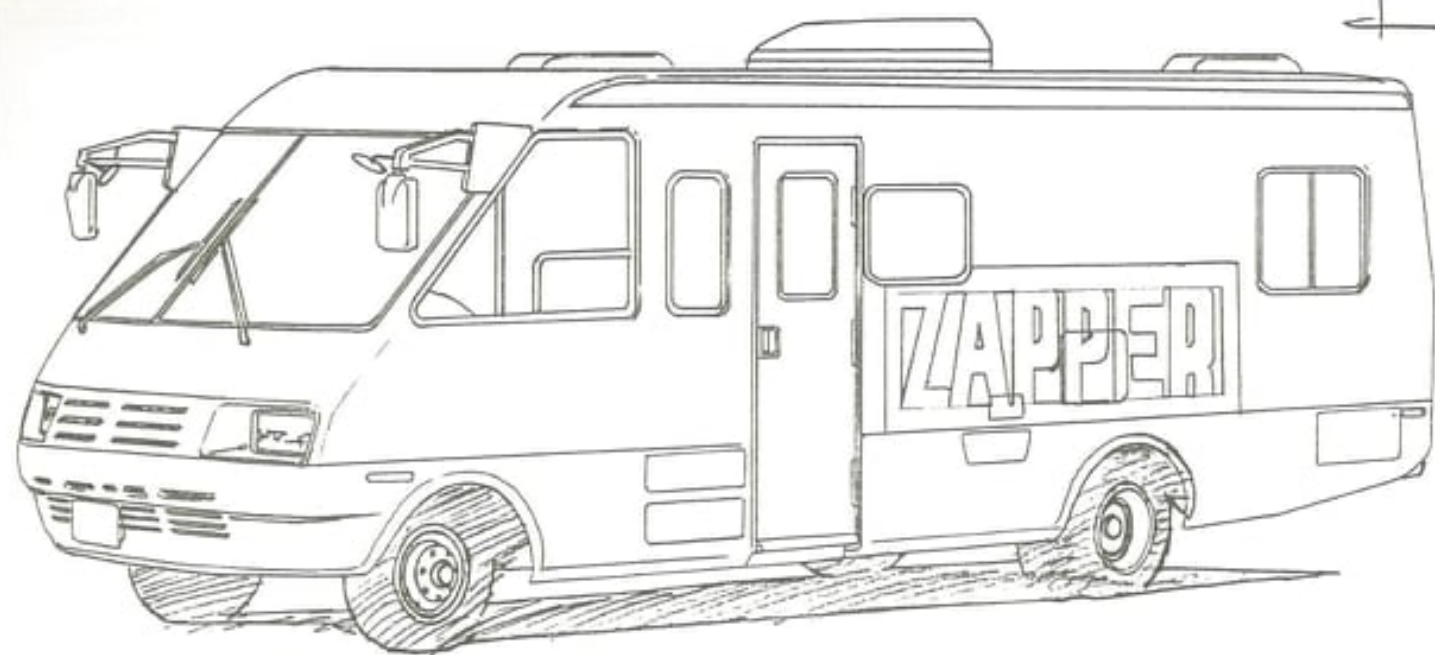
57

タコ焼き屋のバン

2001.5.29 by T. MURATA



トヨタ ハイース [タコ焼き屋・内装]



ZAPPER 9系2500cc

1997.2.8 by T. MURATA

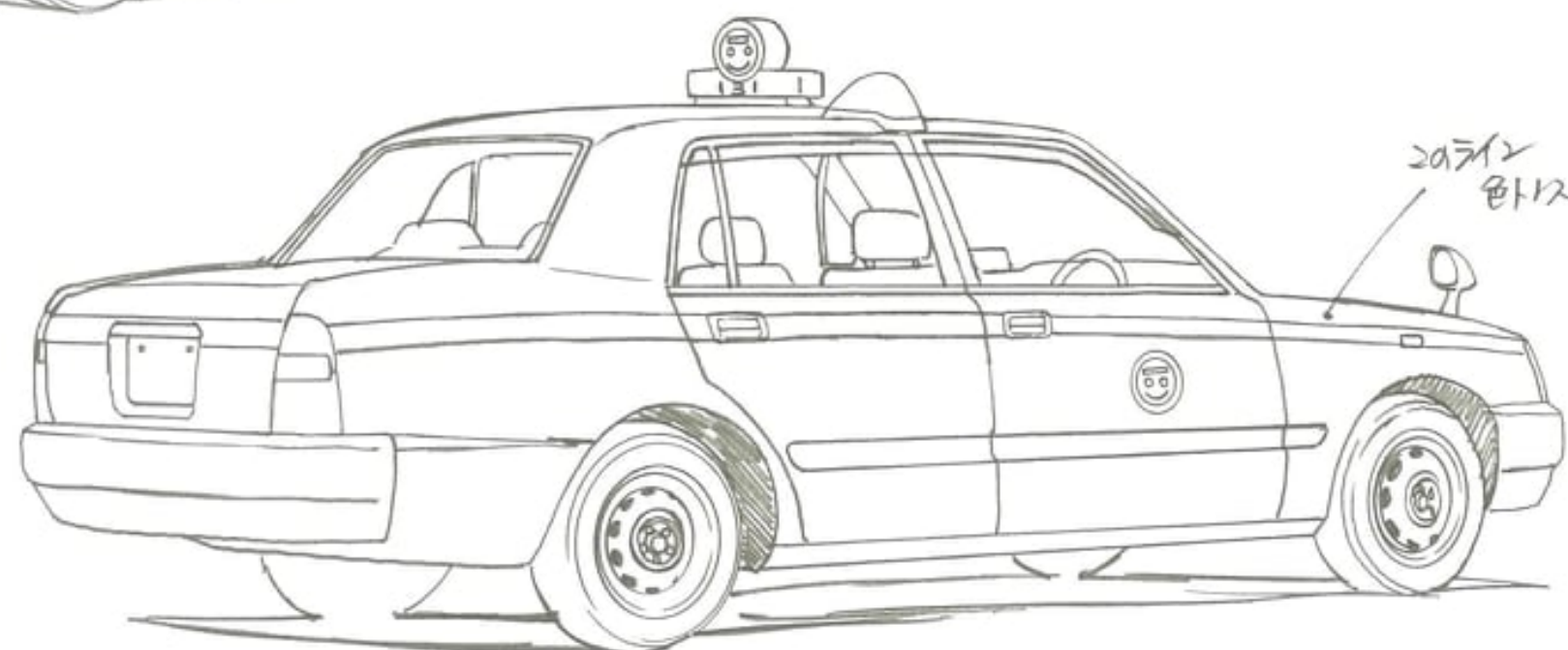


ナショナルRV トロピカル



91シー

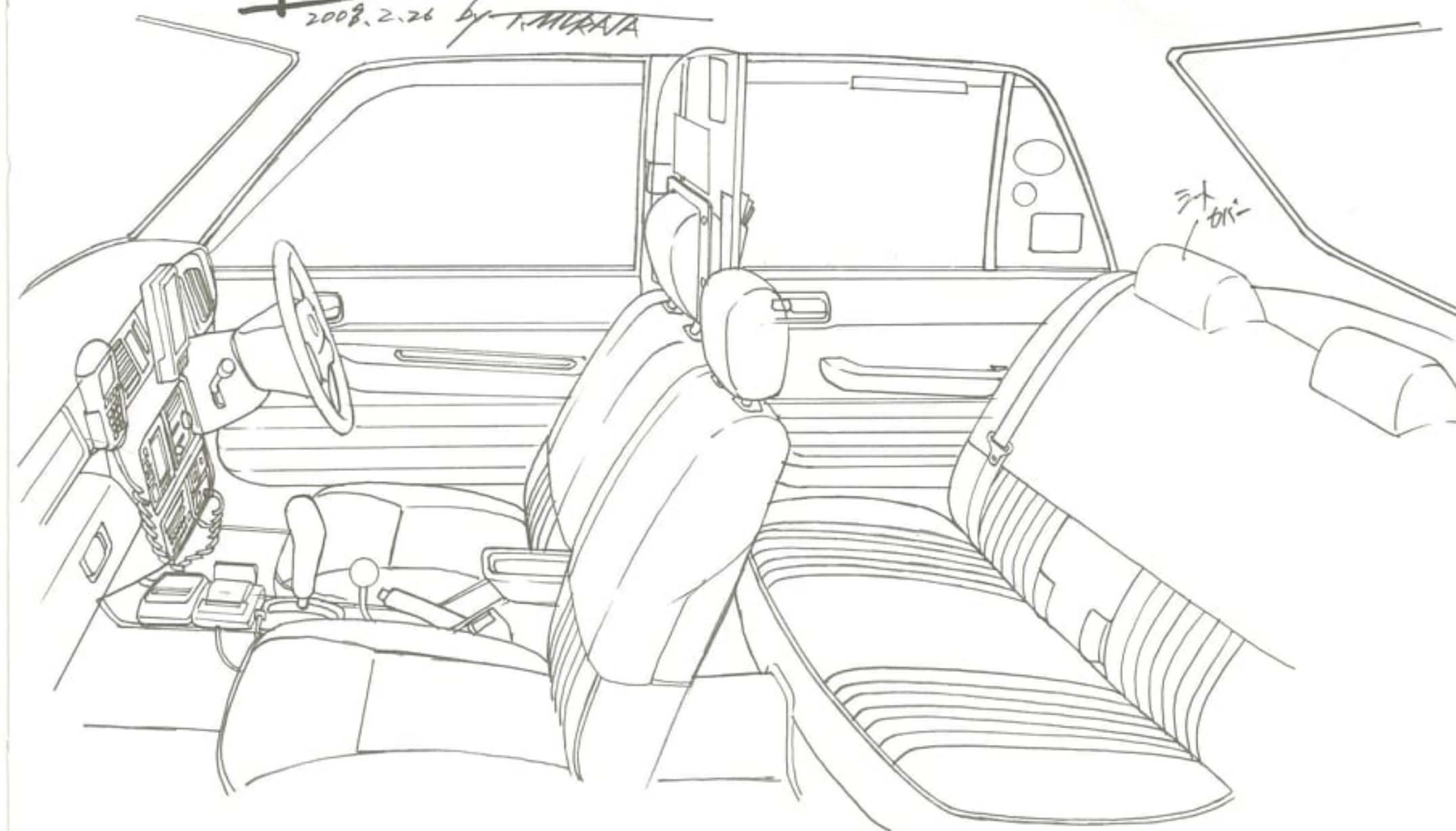
2008.2.26 by T. MURATA



トヨタ クラウンコンフォート

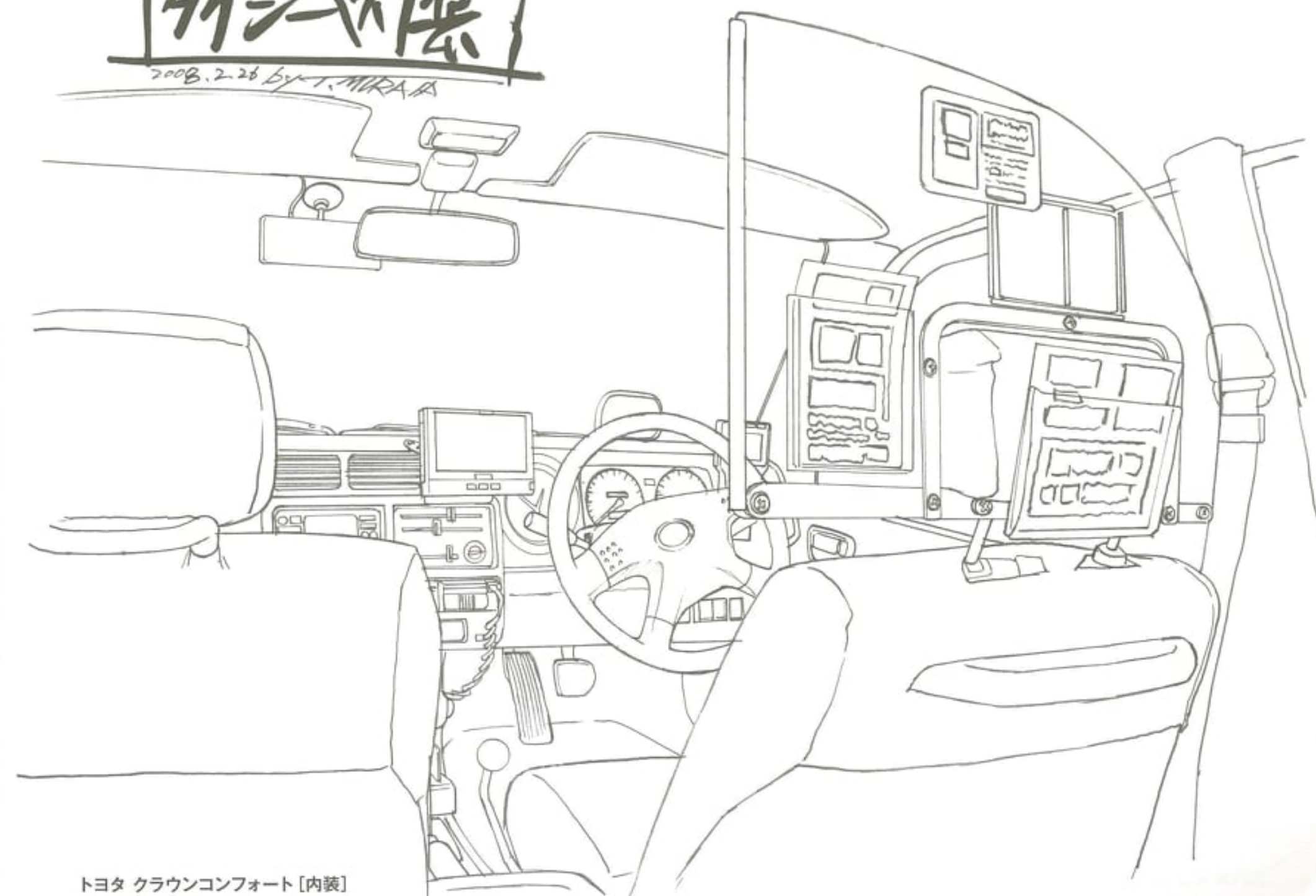
91シー車内

2008.2.26 by T. MURATA

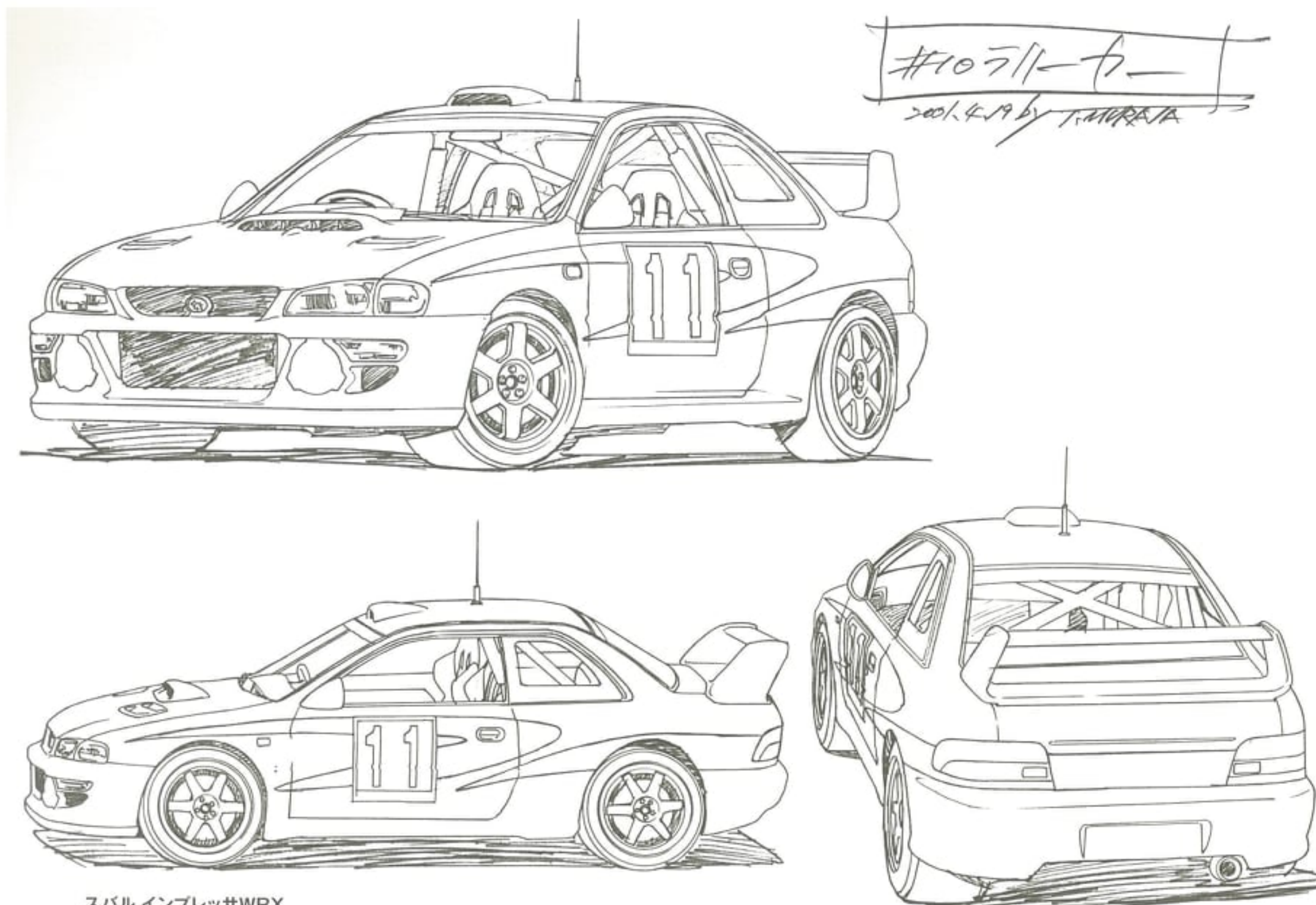


91シー内装

2008.2.26 by T. MURATA

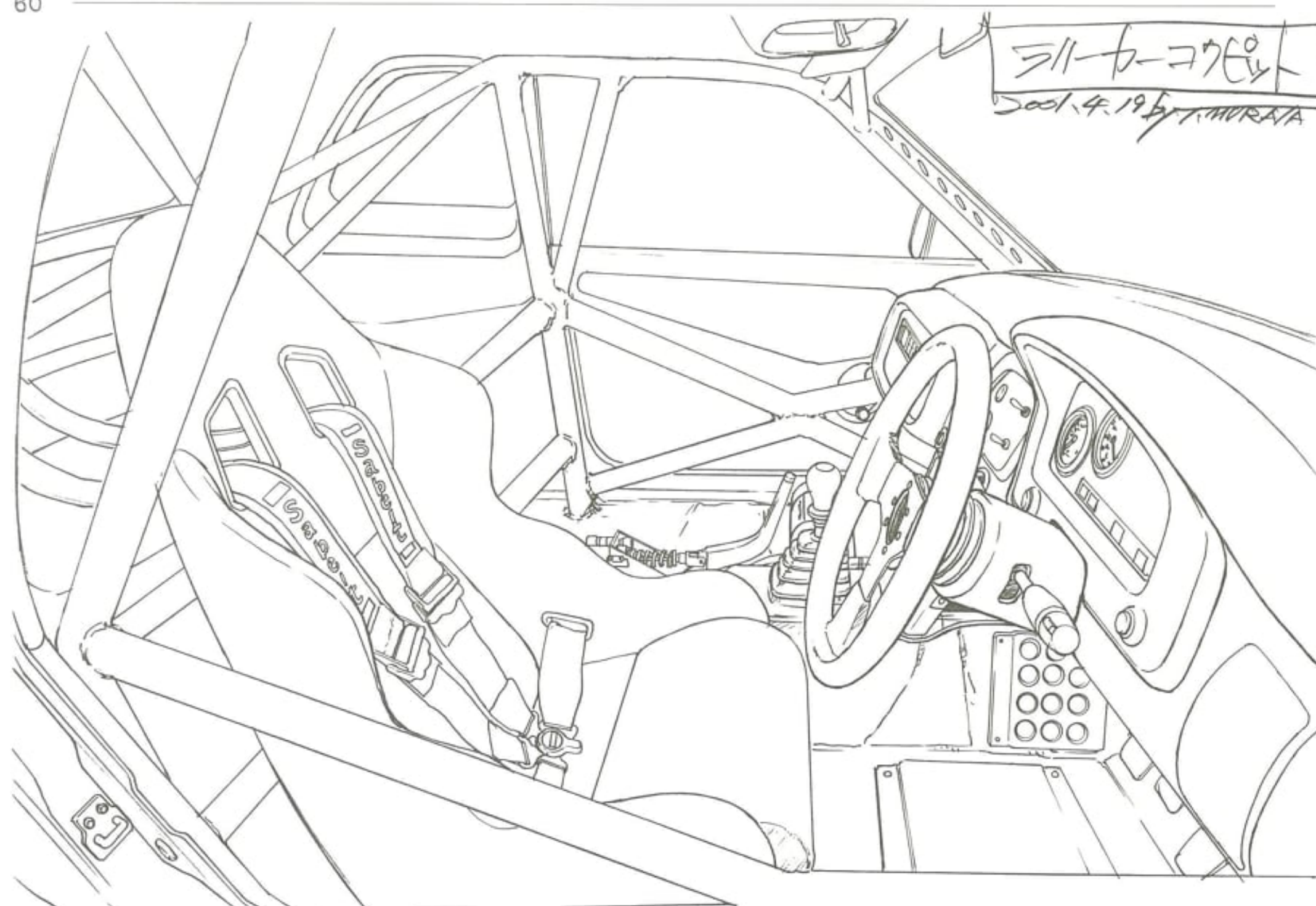


トヨタ クラウンコンフォート [内装]



スバル インプレッサWRX

60



スバル インプレッサWRX [コクピット]

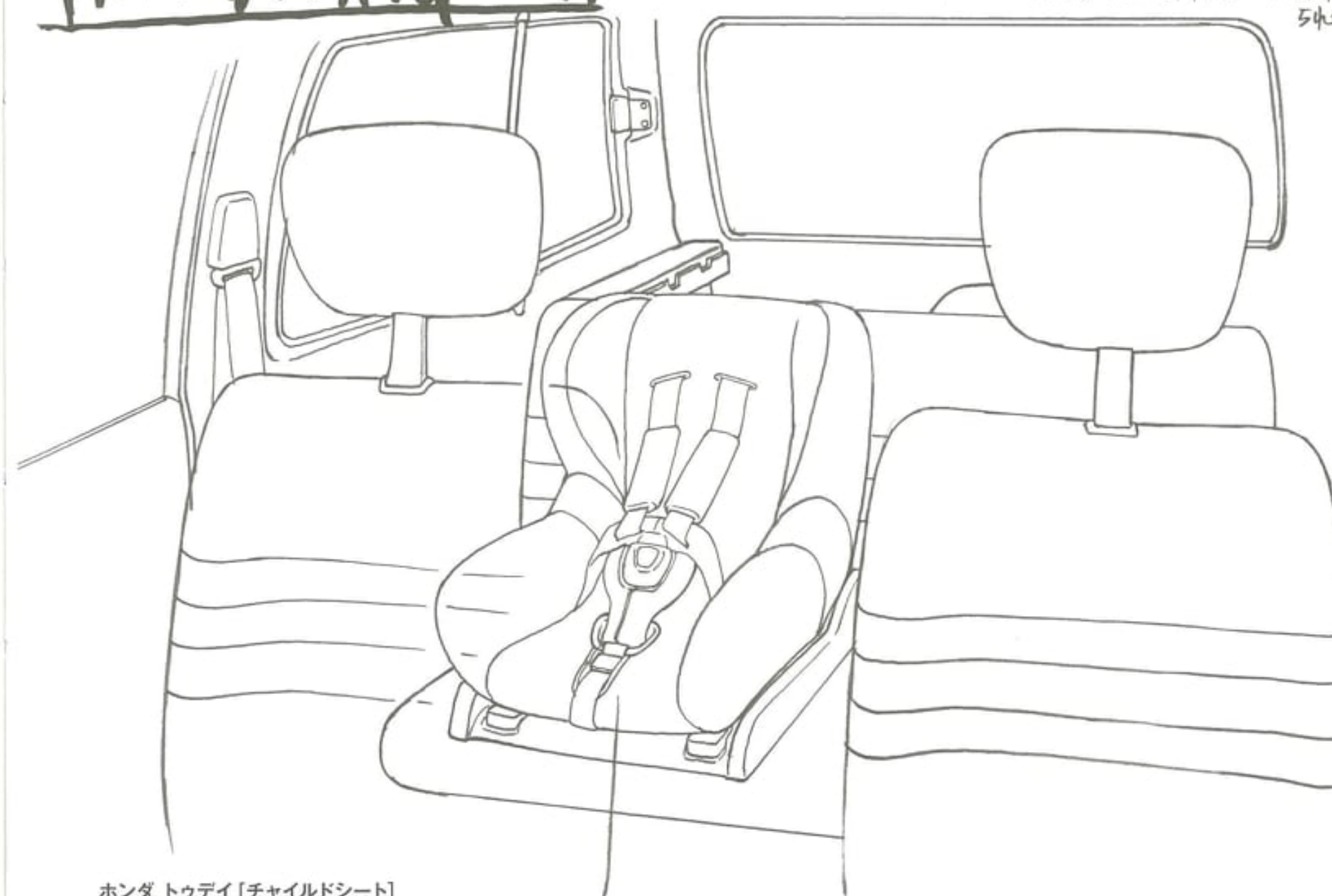
チャイルドシート
2007.10.10 by T. MURATA



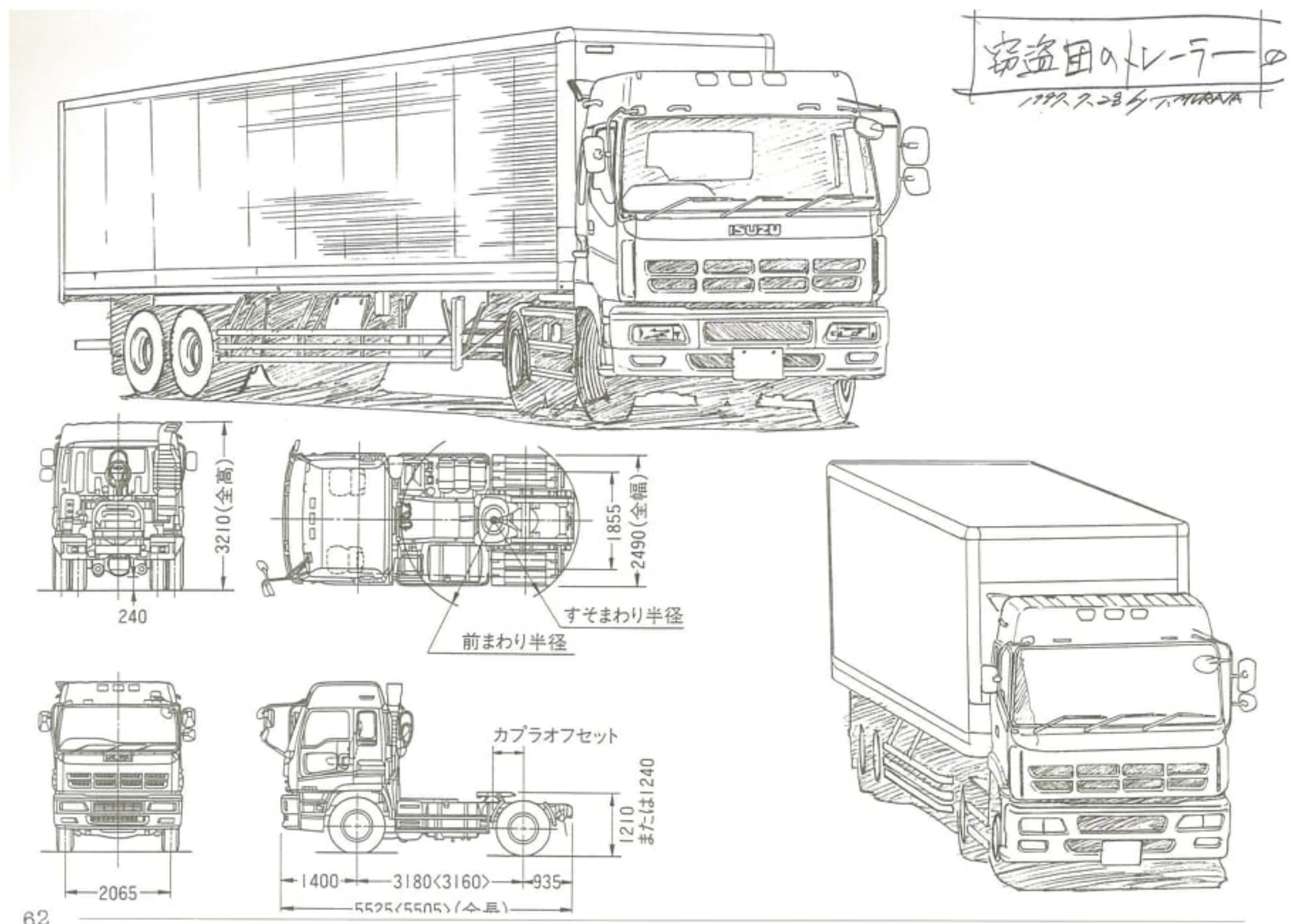
チャイルドシート

61

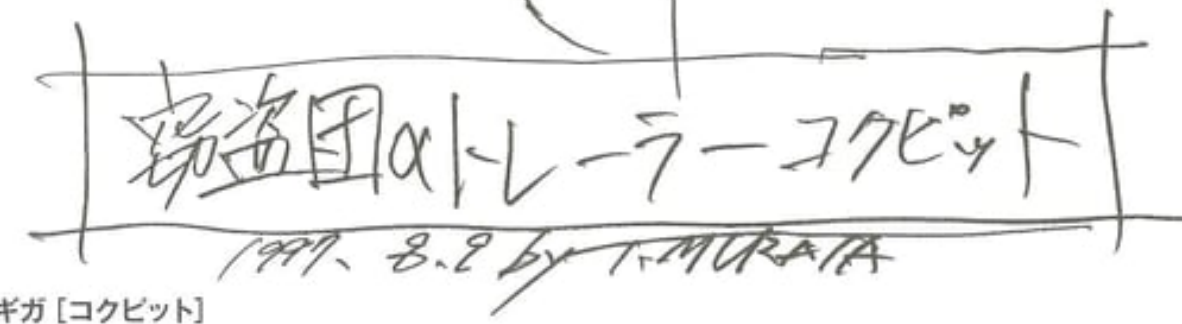
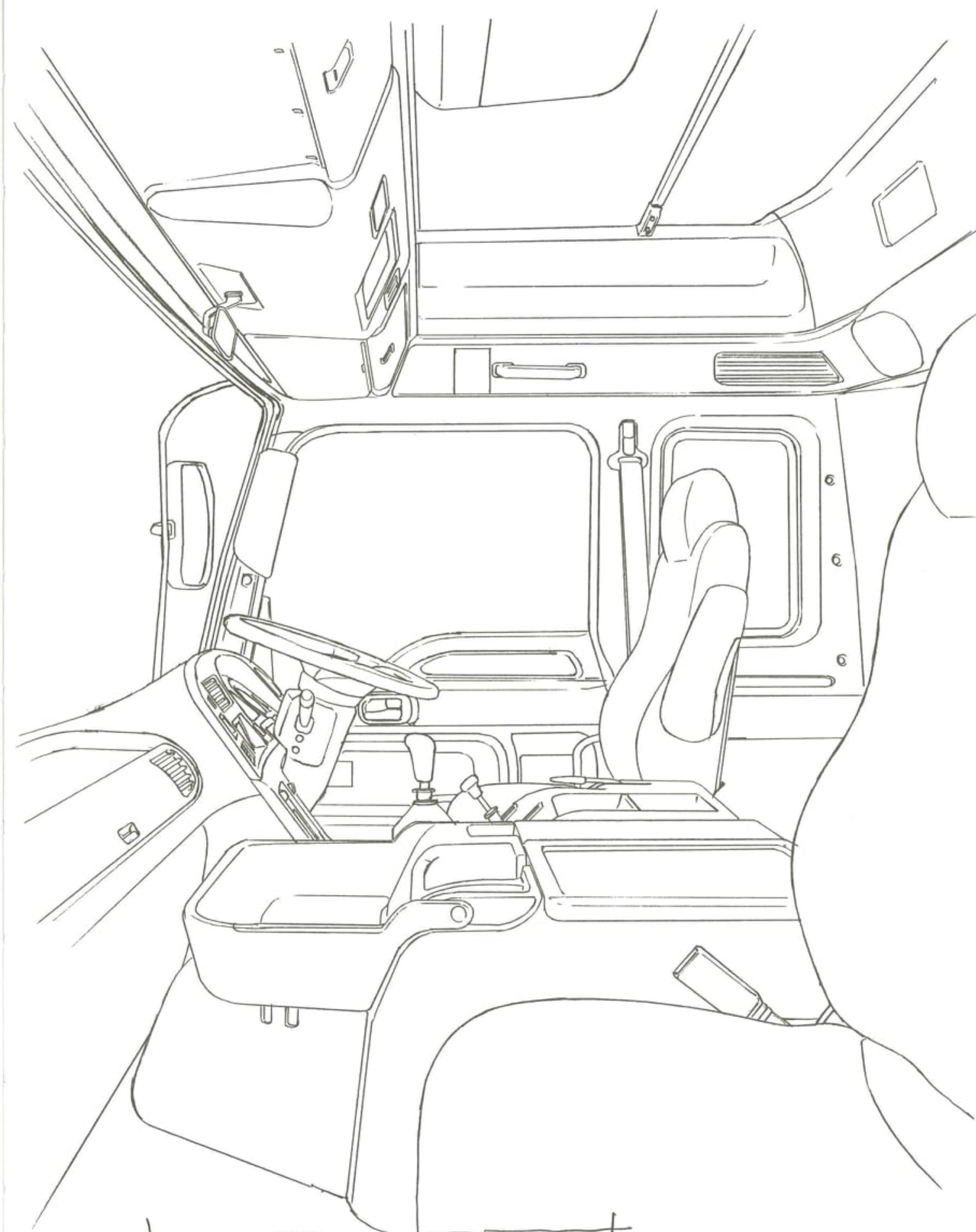
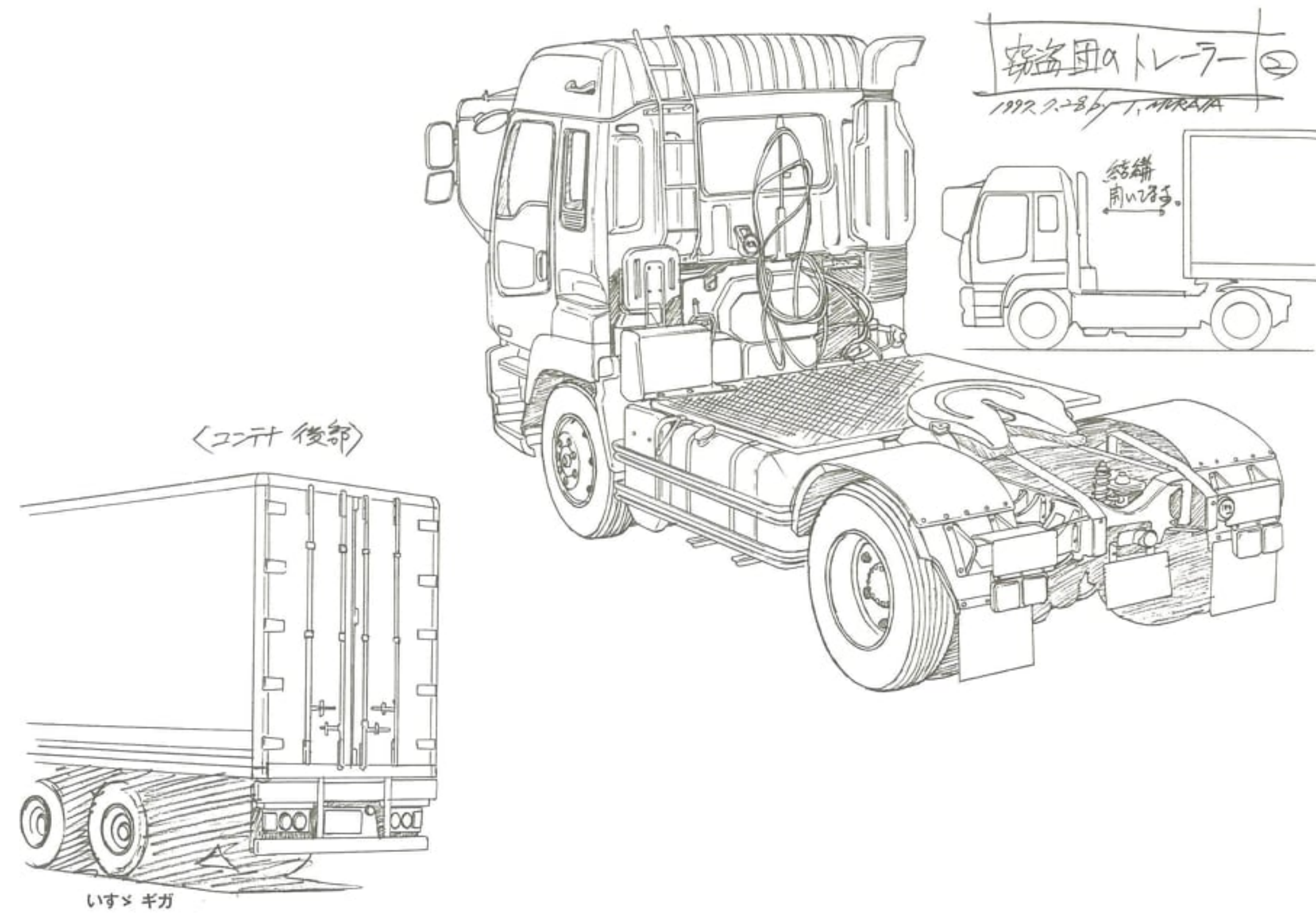
TODAYのチャイルドシート
2007.10.10 by T. MURATA



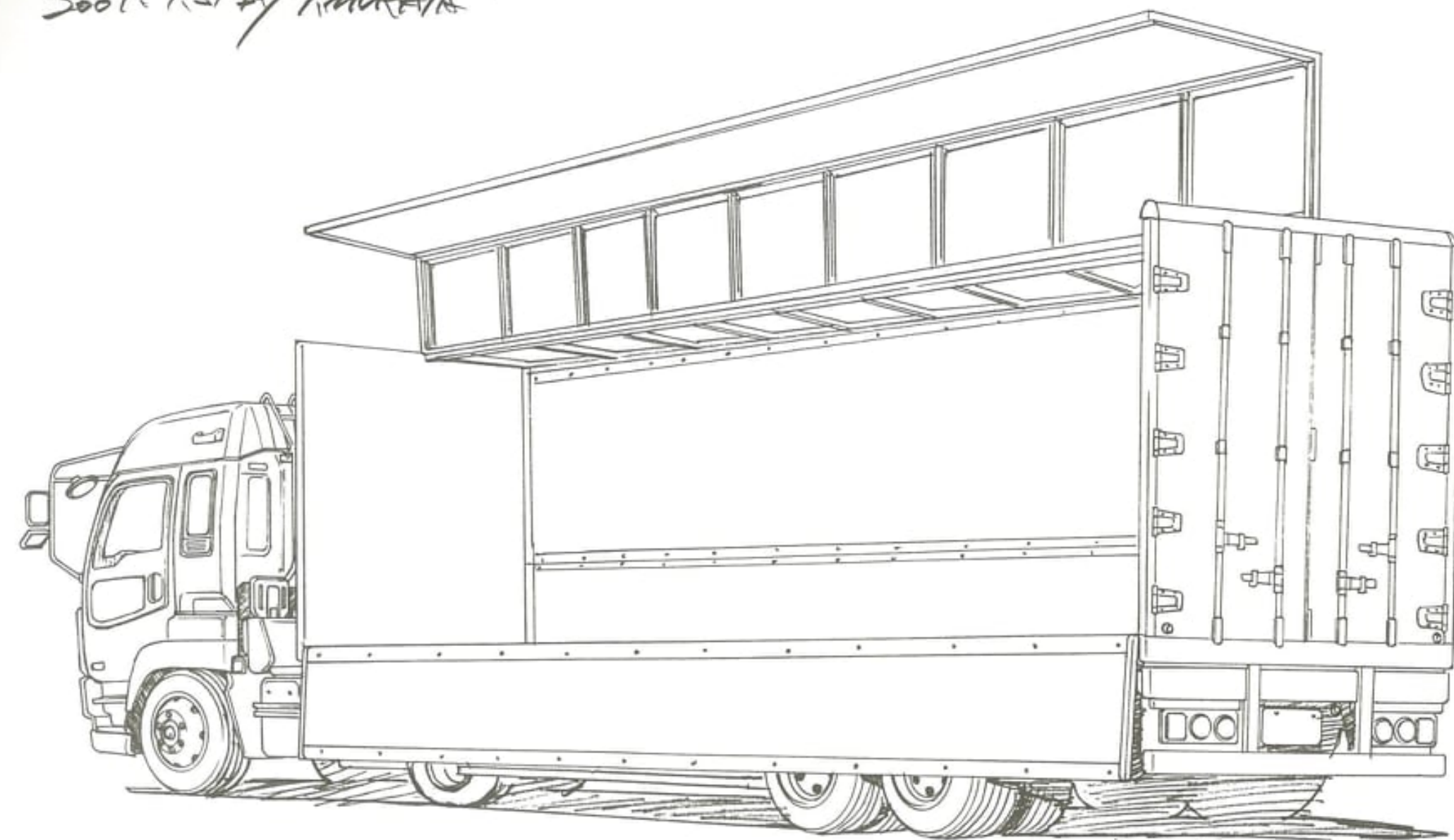
ホンダ トウデイ [チャイルドシート]



62

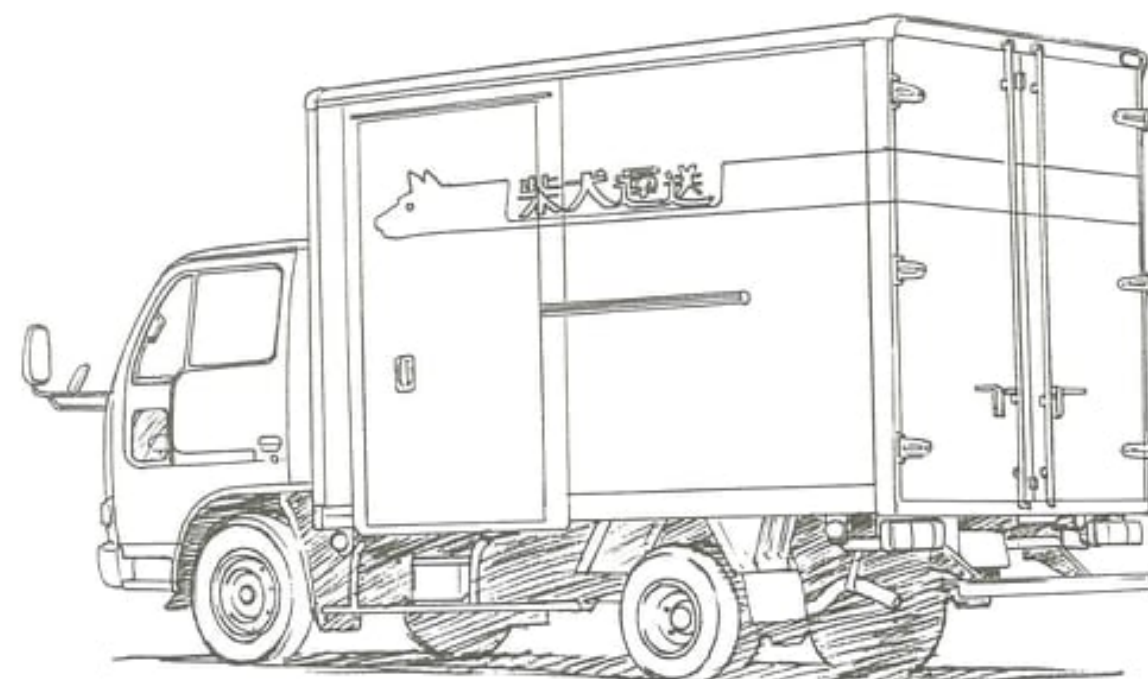
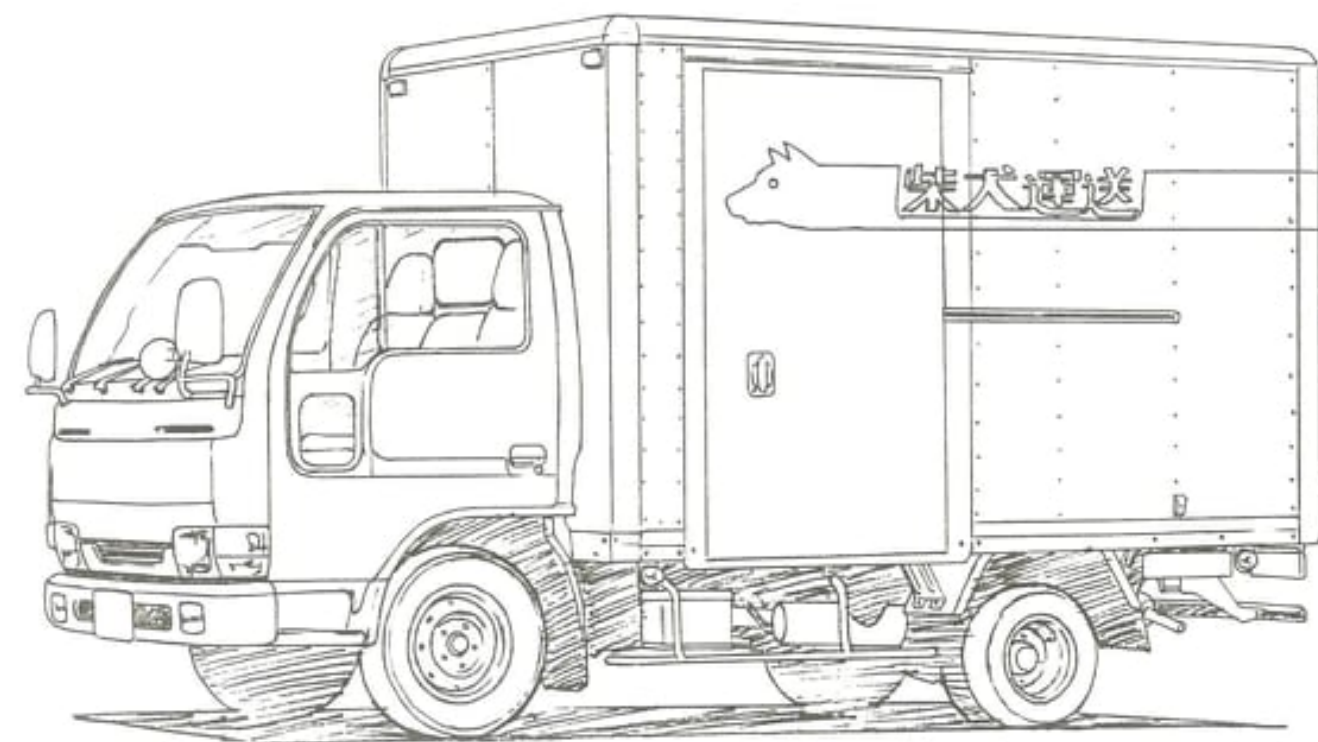


箱車 910-3-5
2001.1.22 by T. MURATA



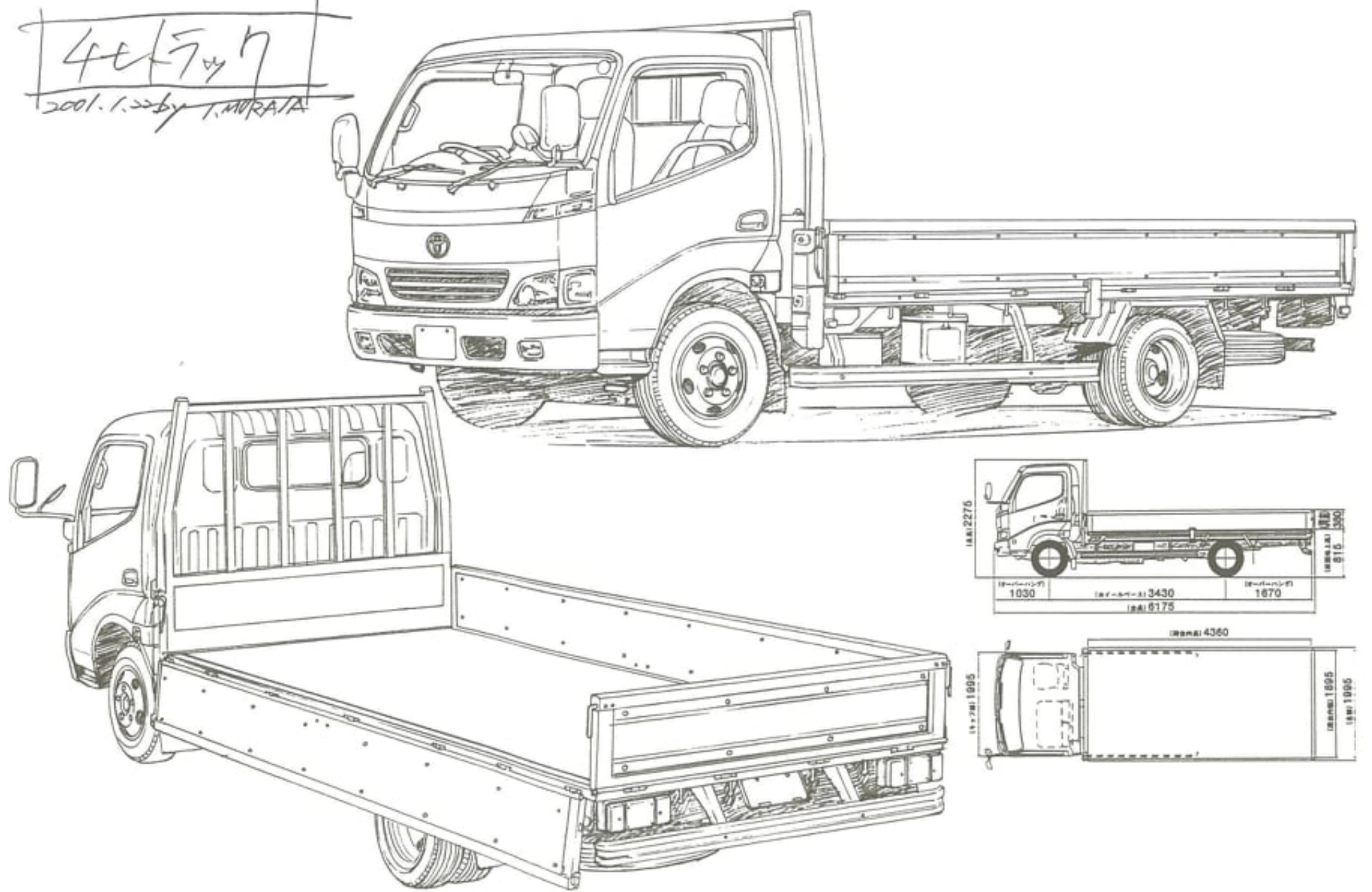
いすゞ ギガ

柴犬運送 910-3-5
1998.3.20 by T. MURATA

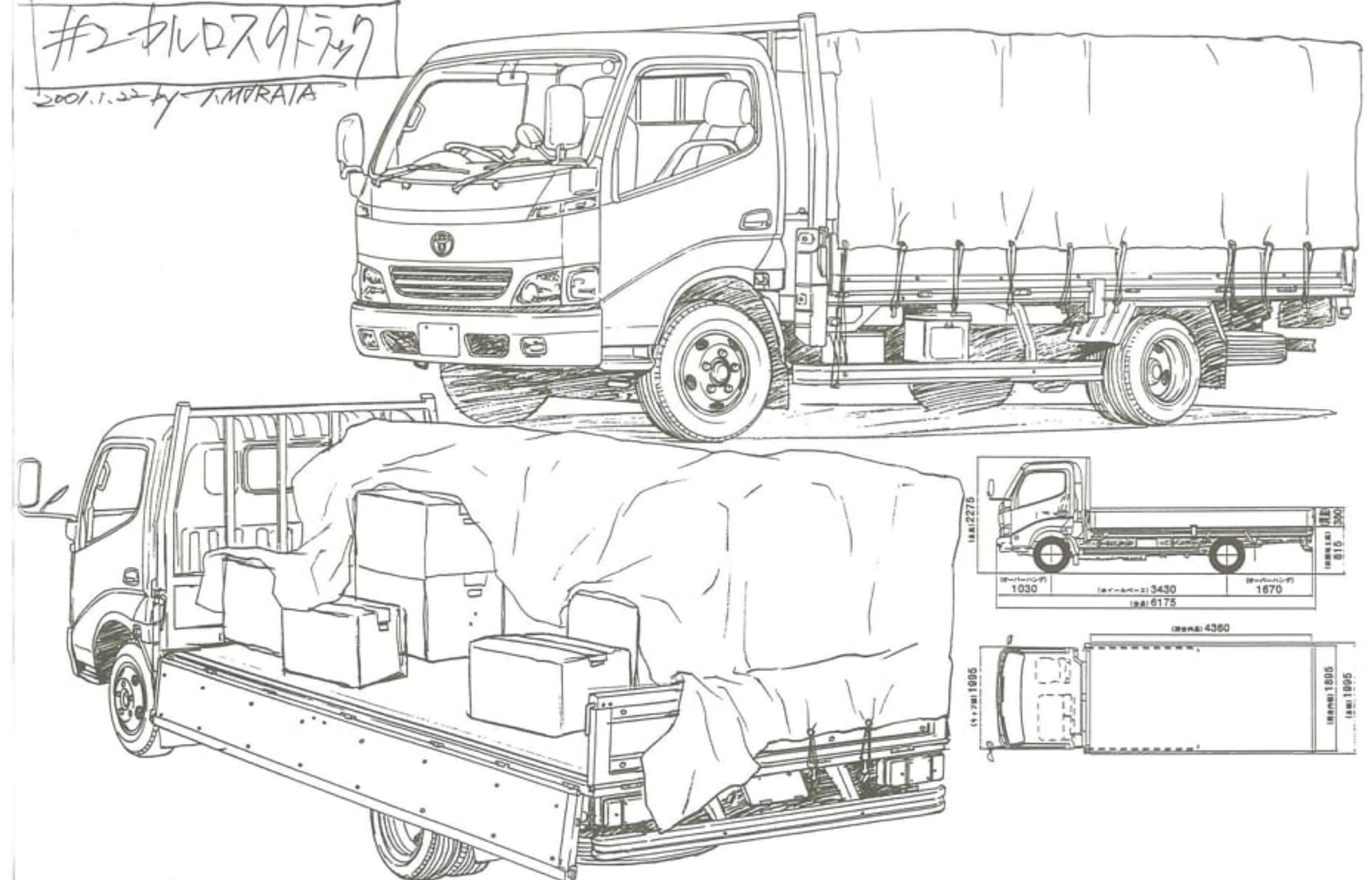


日産 アトラス

4c1547
2001.1.22 by T. MURATA

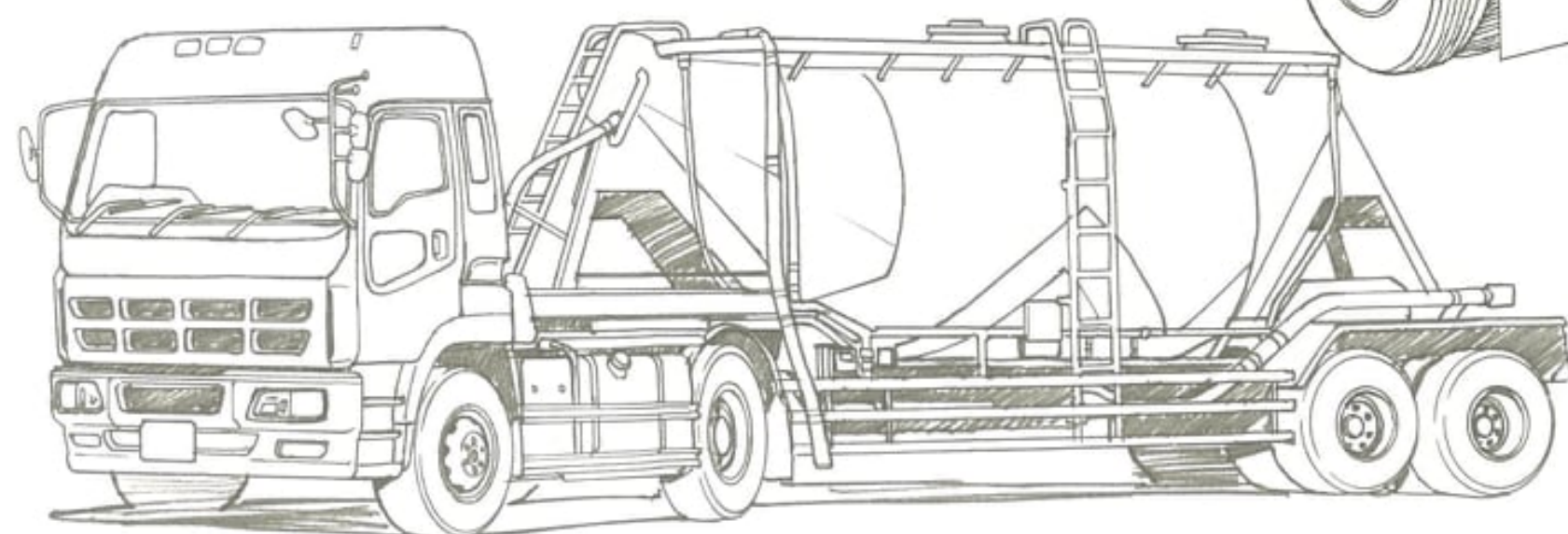
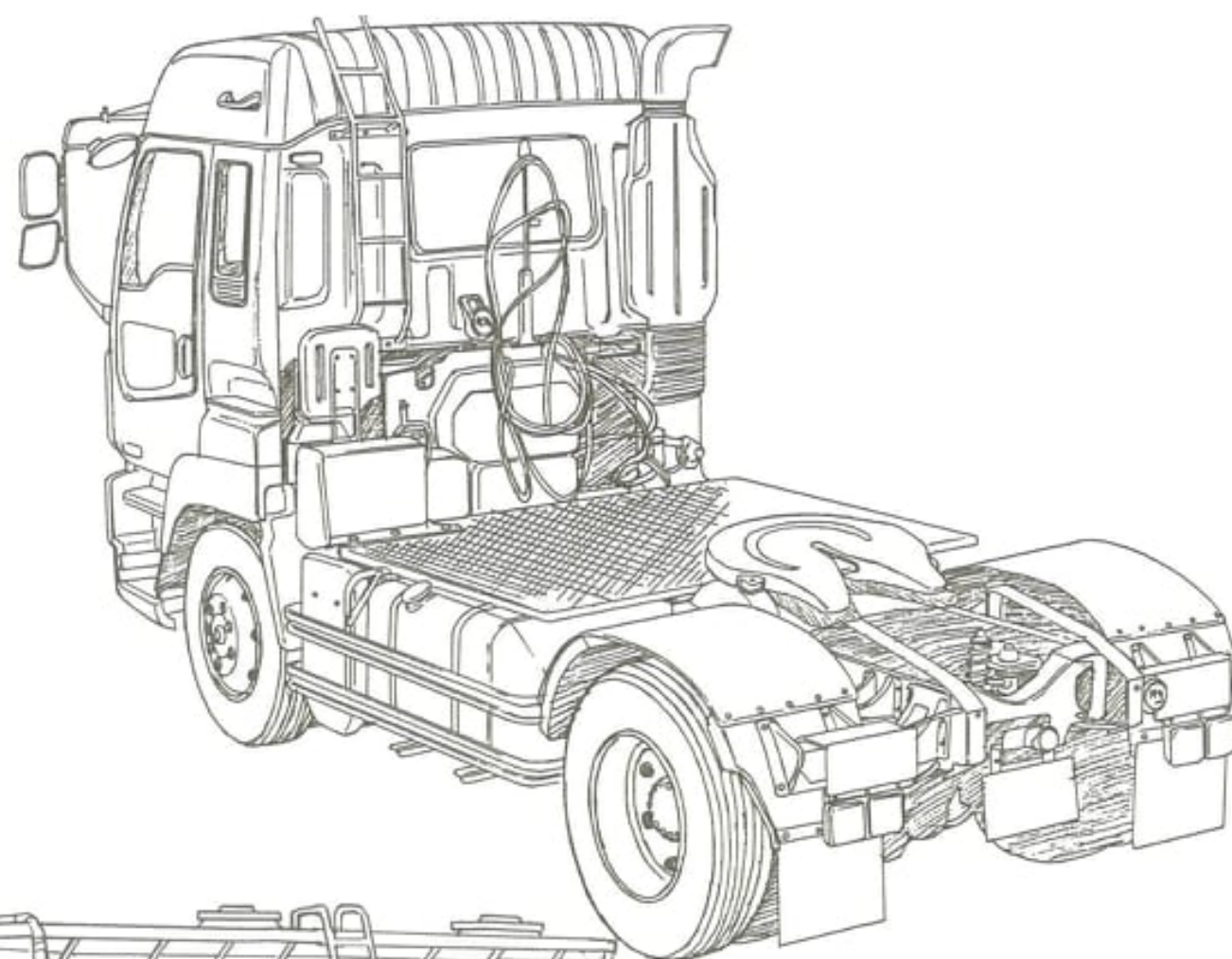


#2 4c1547
2001.1.22 by T. MURATA



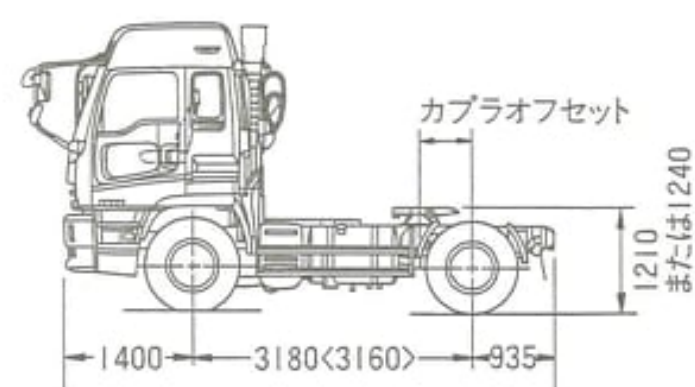
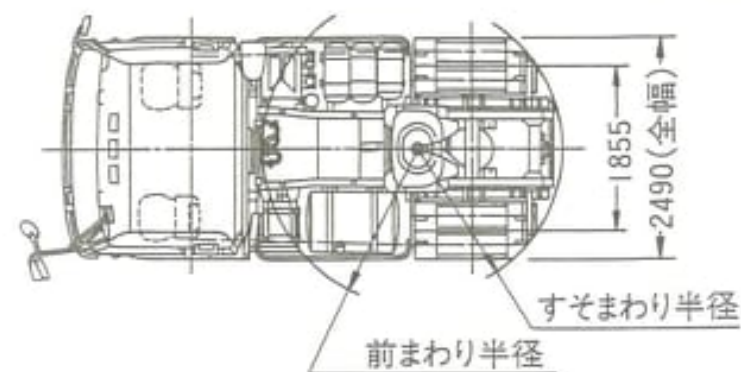
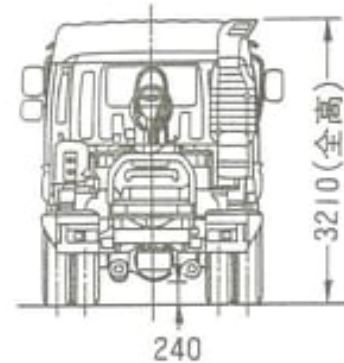
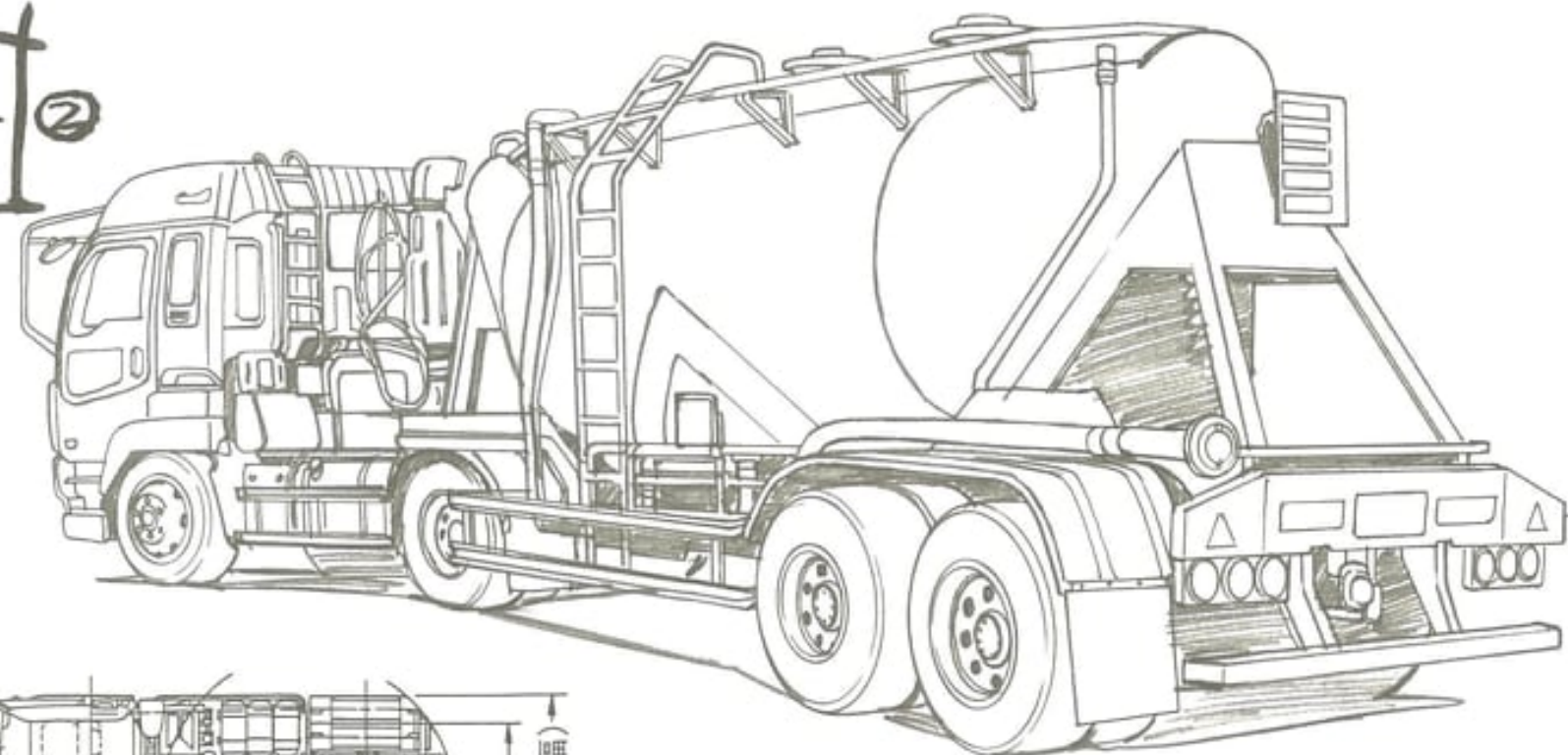
トヨタ ダイナ

バートル
2007.10.10 by T. MURATA

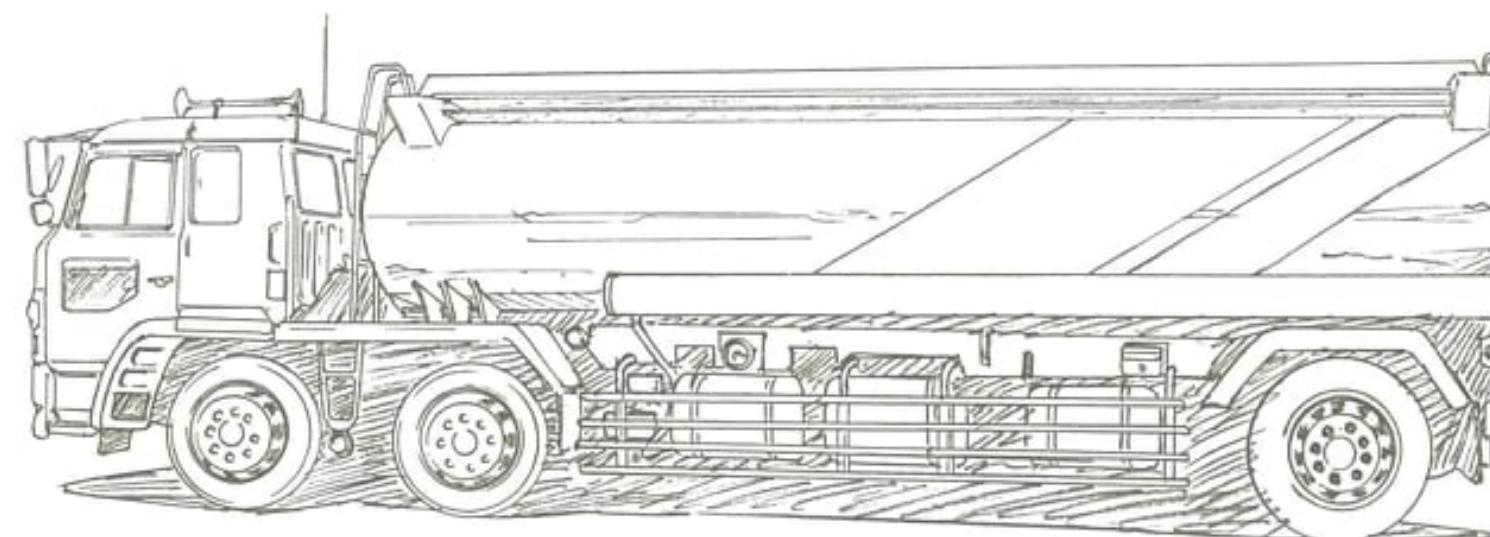


66

バートル②
2007.10.10 by T. MURATA



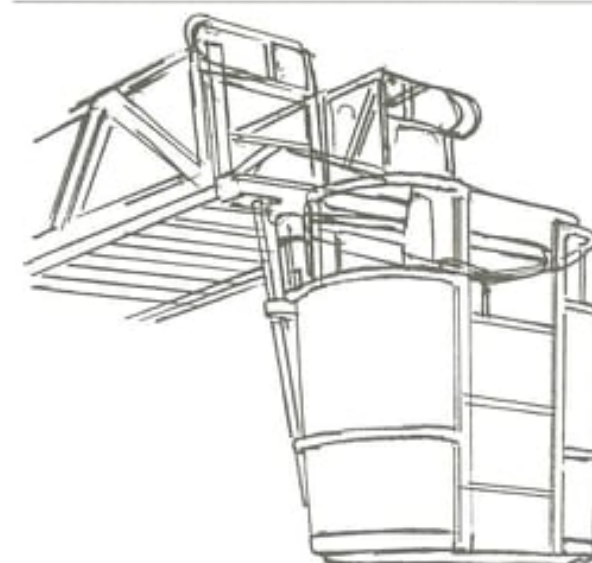
の逮捕井4 4270-11-



日野 スーパードルフィン [タンクローリー]

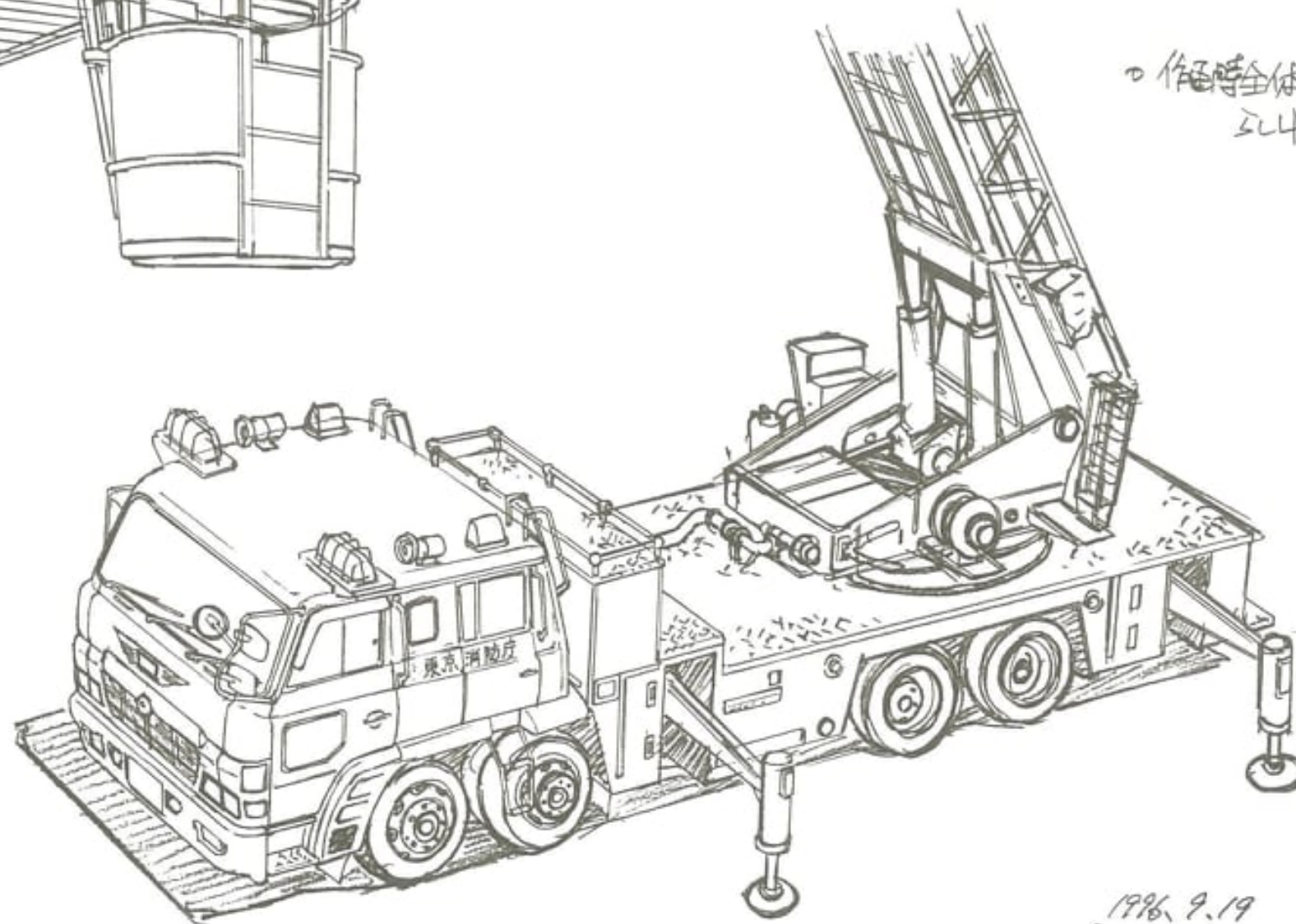
1995.5 by T. MURATA

67



#6 はしご車

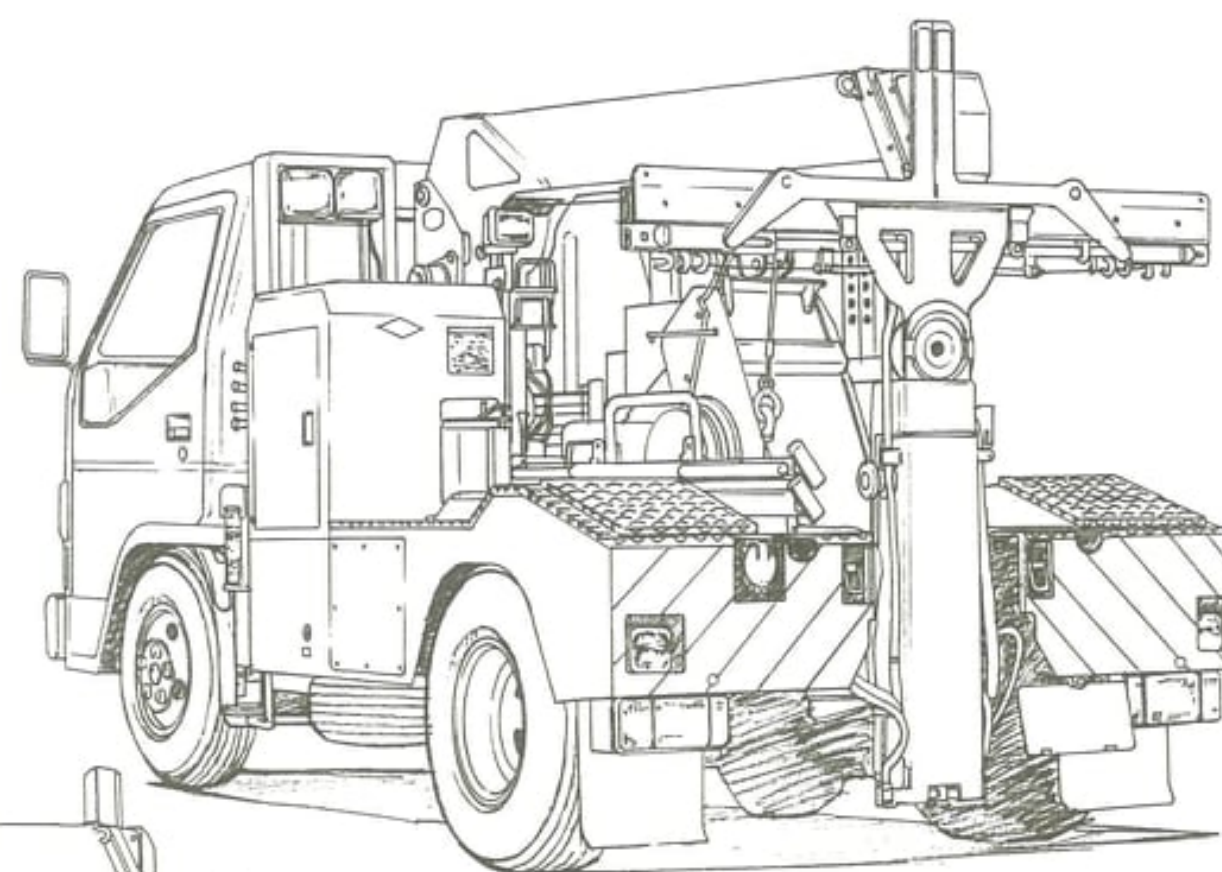
の作動全体より感じて
ふたは"OK"です



1996.9.19
by T. MURATA

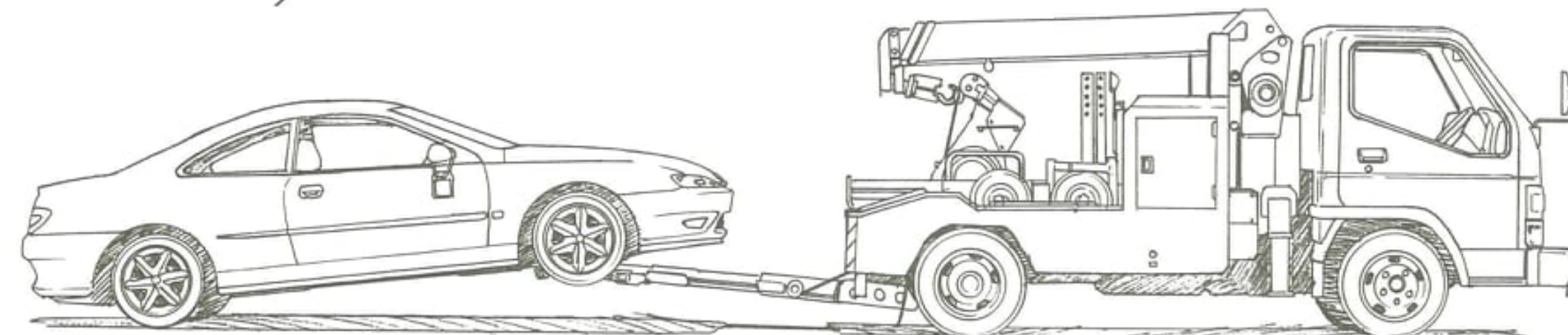
日野 スーパードルフィン [はしご車]

#1 レッカー車①
2001.1.6 by T. MURATA

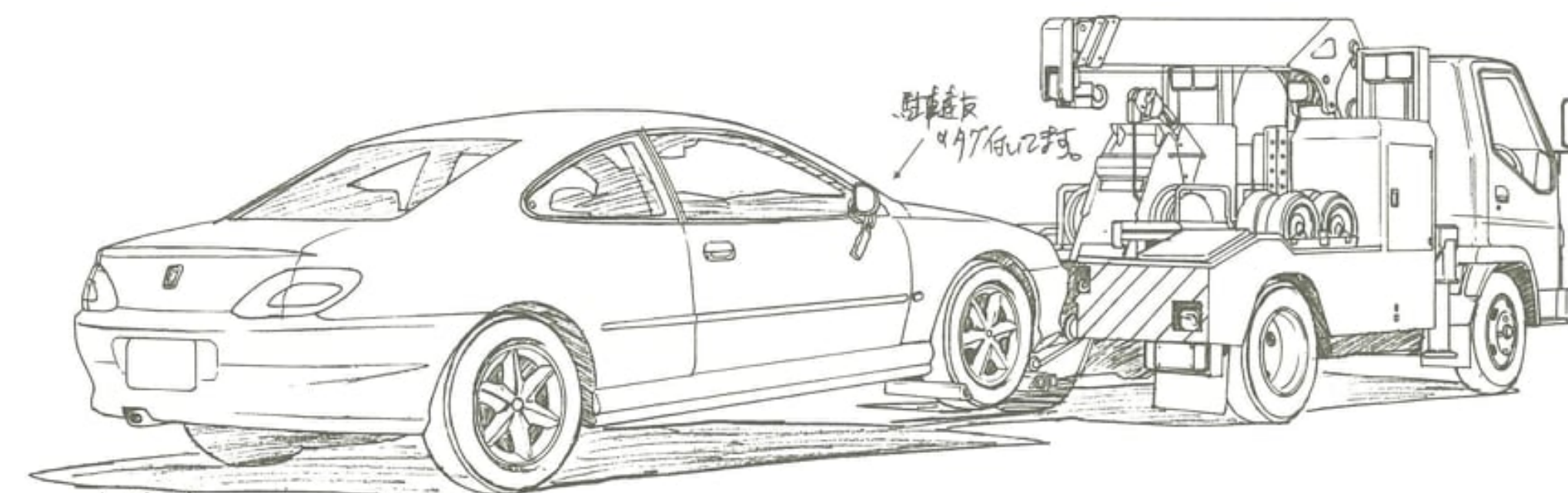


この台車フォークを引込可能で
牽引時と別紙に示す。

#1 レッカー車②
2001.1.15 by T. MURATA



レッカー車は
左右非対称です。

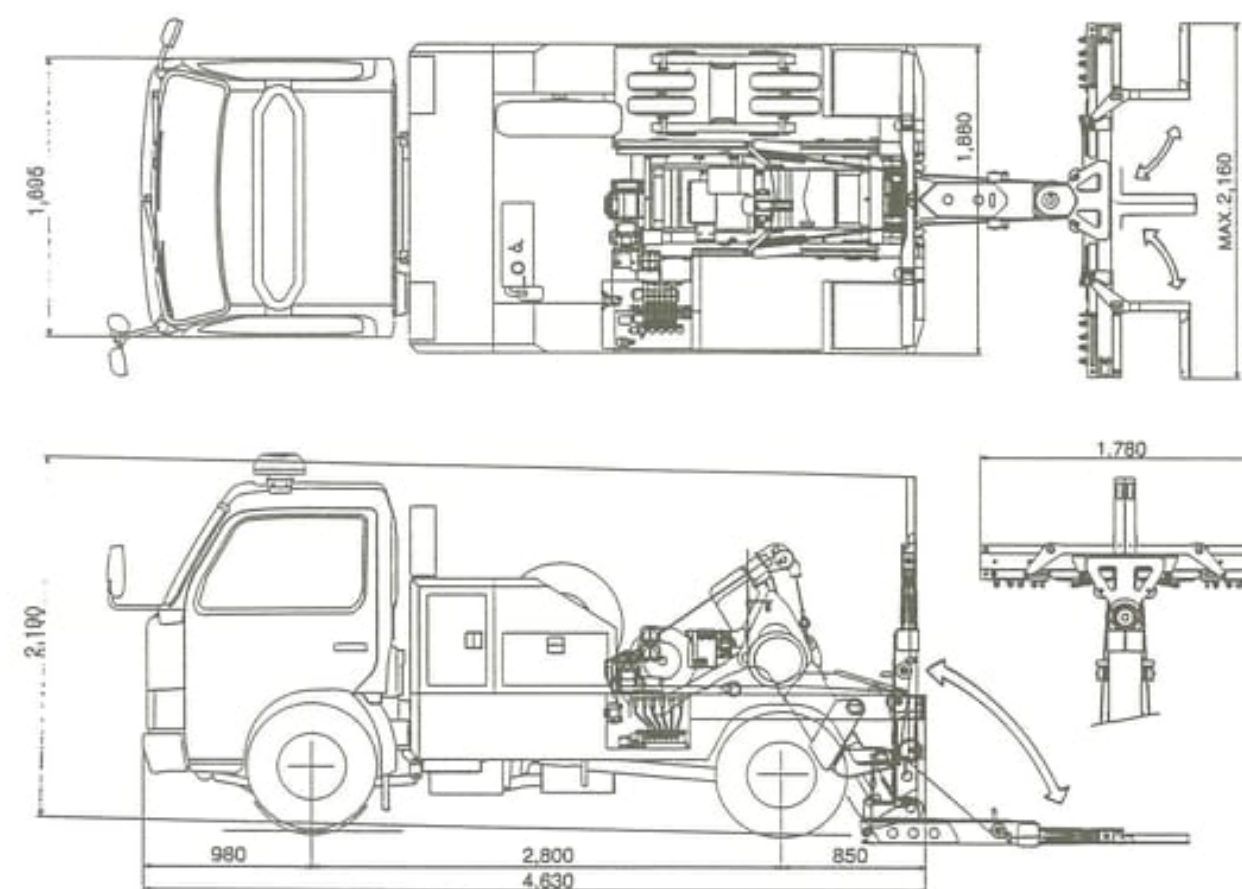
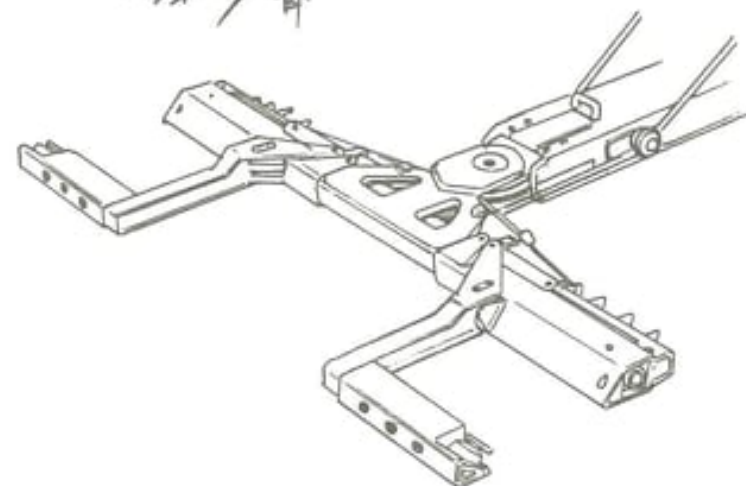


車体長
4.97mに示す。

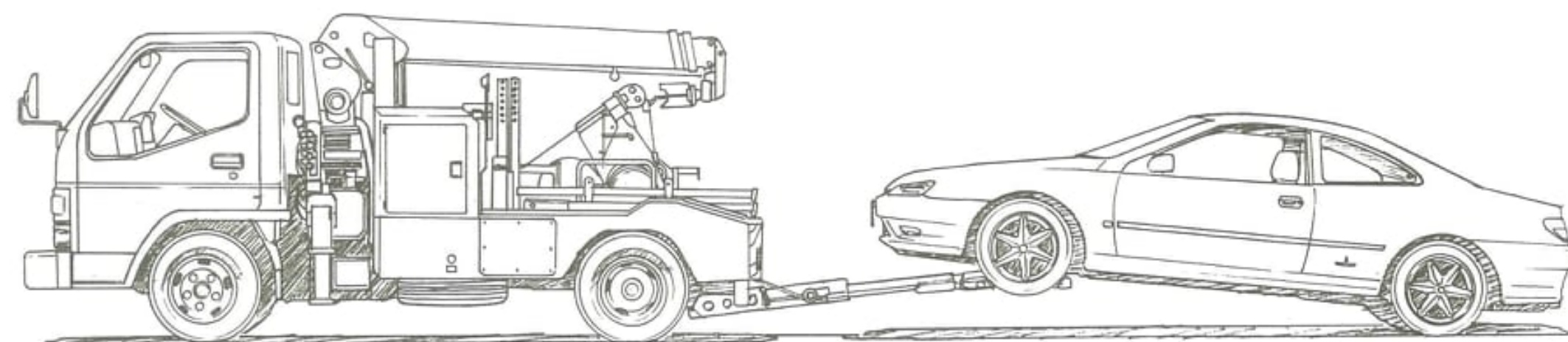
レッカー車

#1 レッカー車②
2001.1.6 by T. MURATA

フォーク部

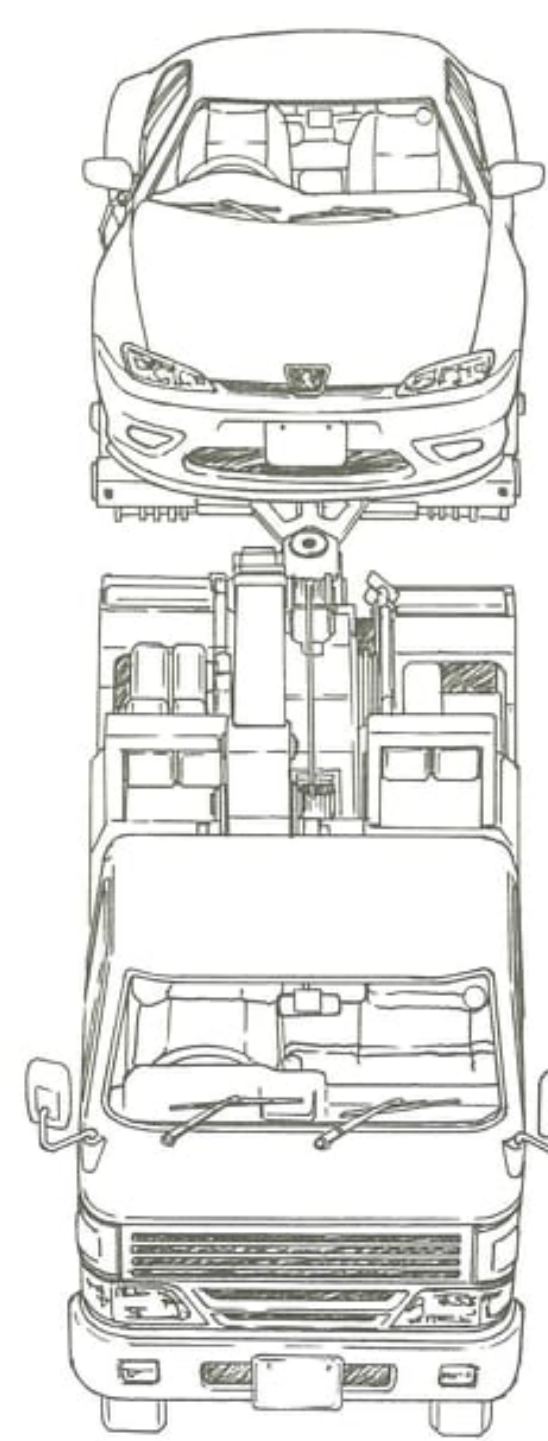


(mm)

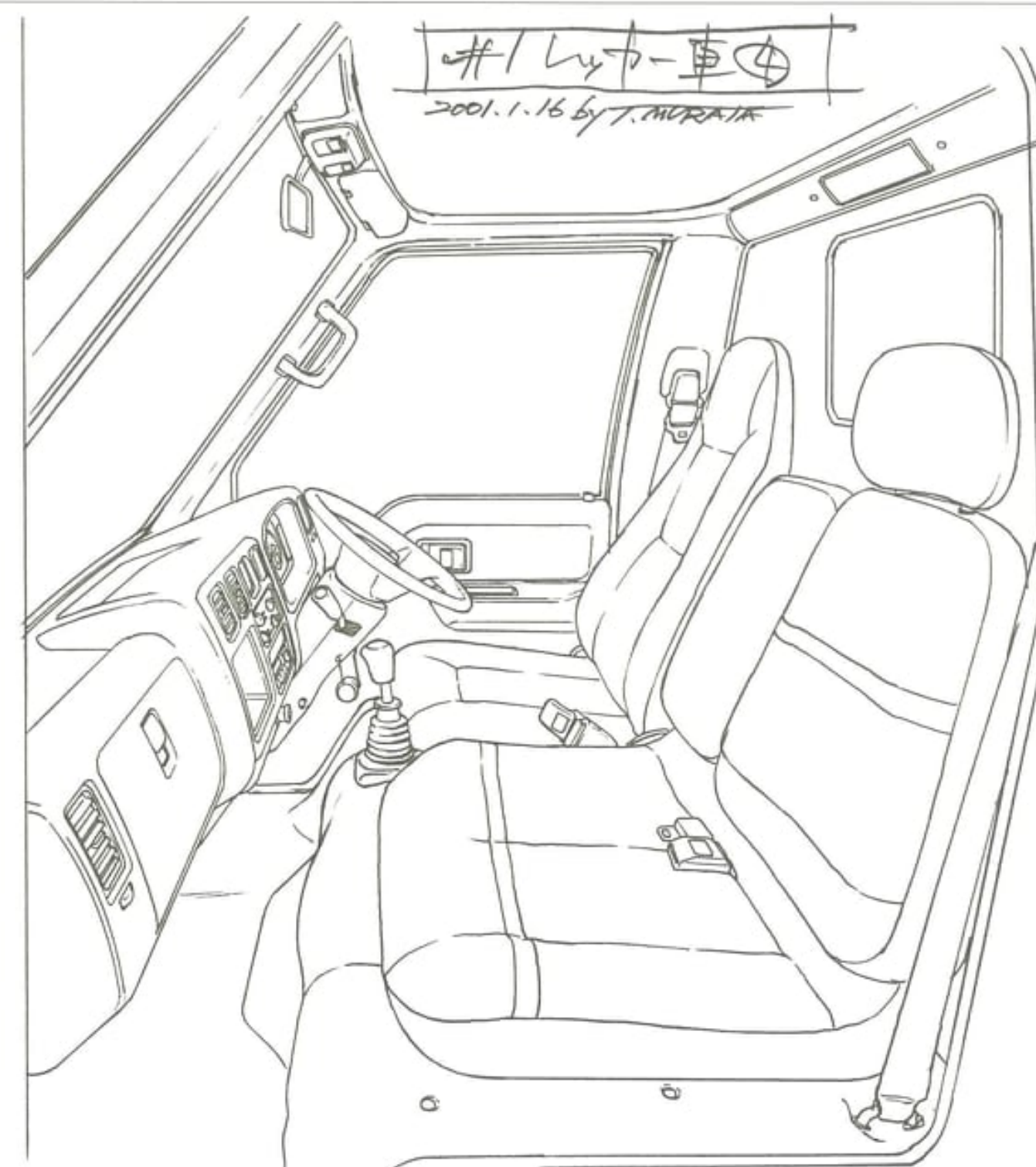


レッカー車

#1 レッカー車④
2001.1.16 by T. MURATA

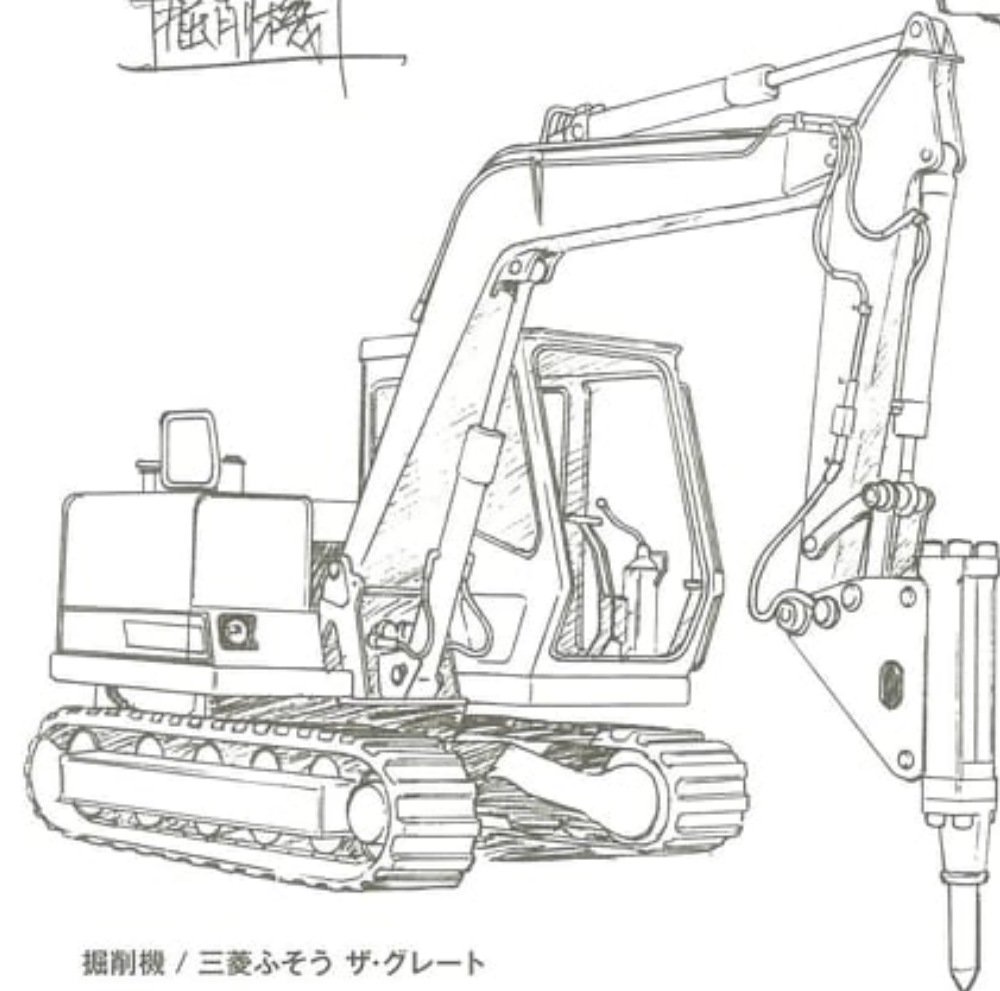


レッカー車 [参考、コクピット]



70

掘削機

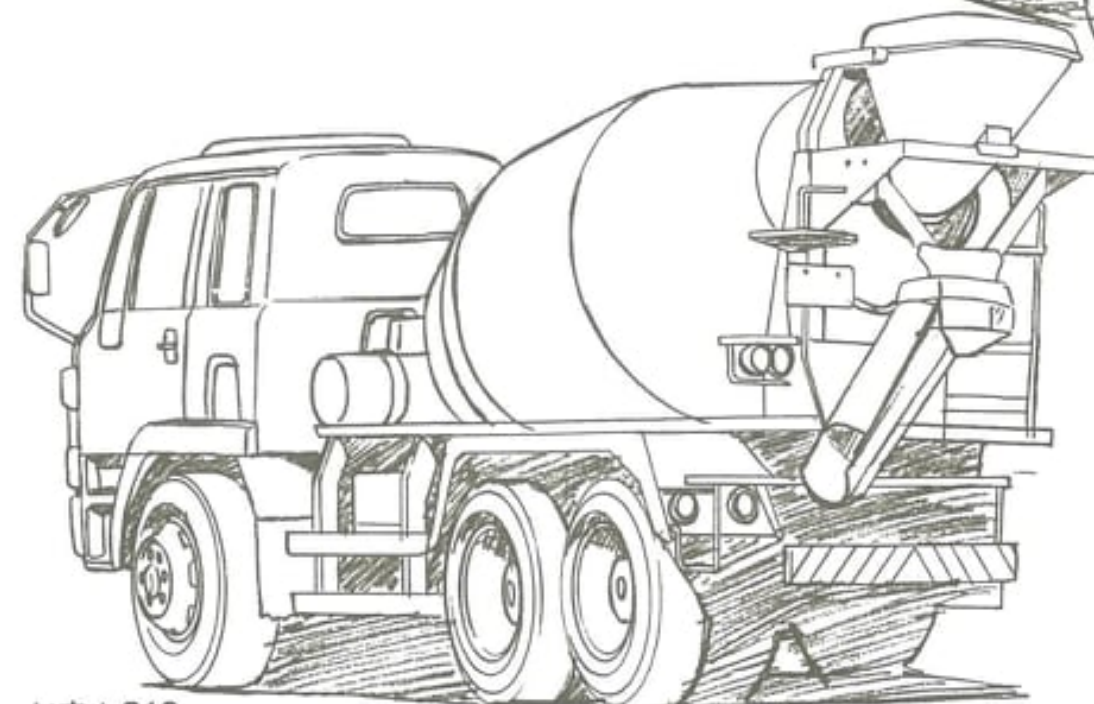


掘削機 / 三菱ふそう ザ・グレート



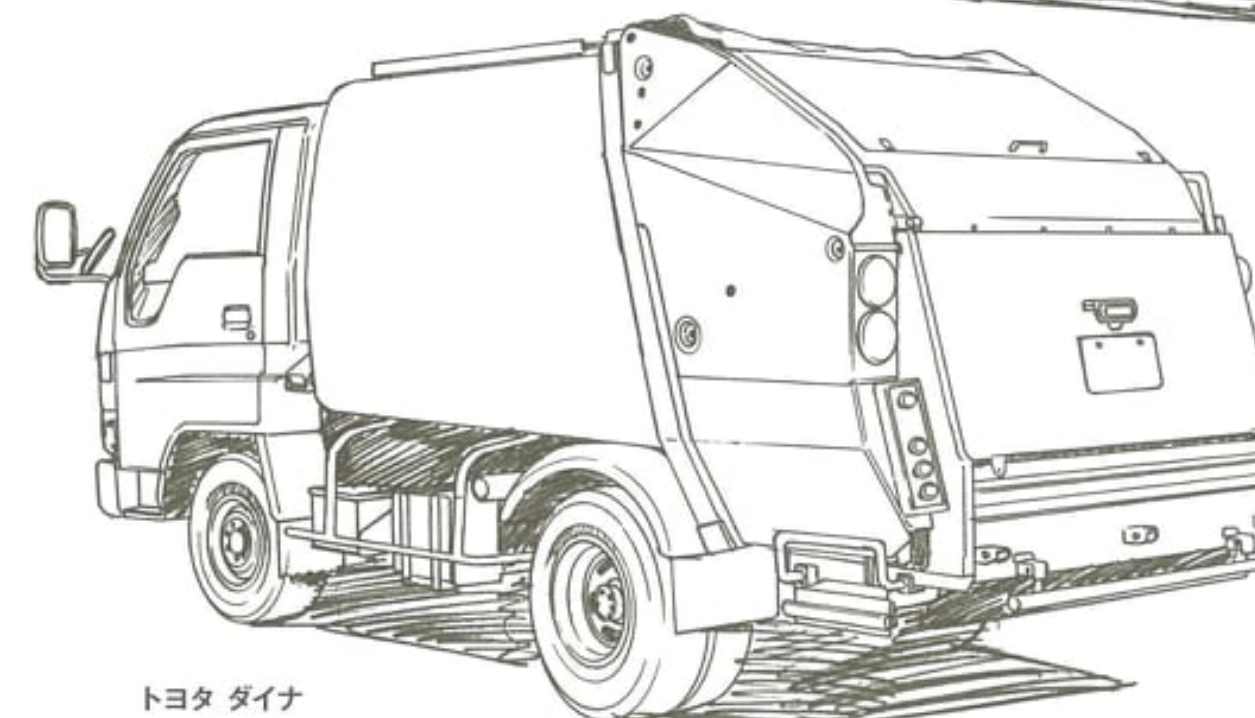
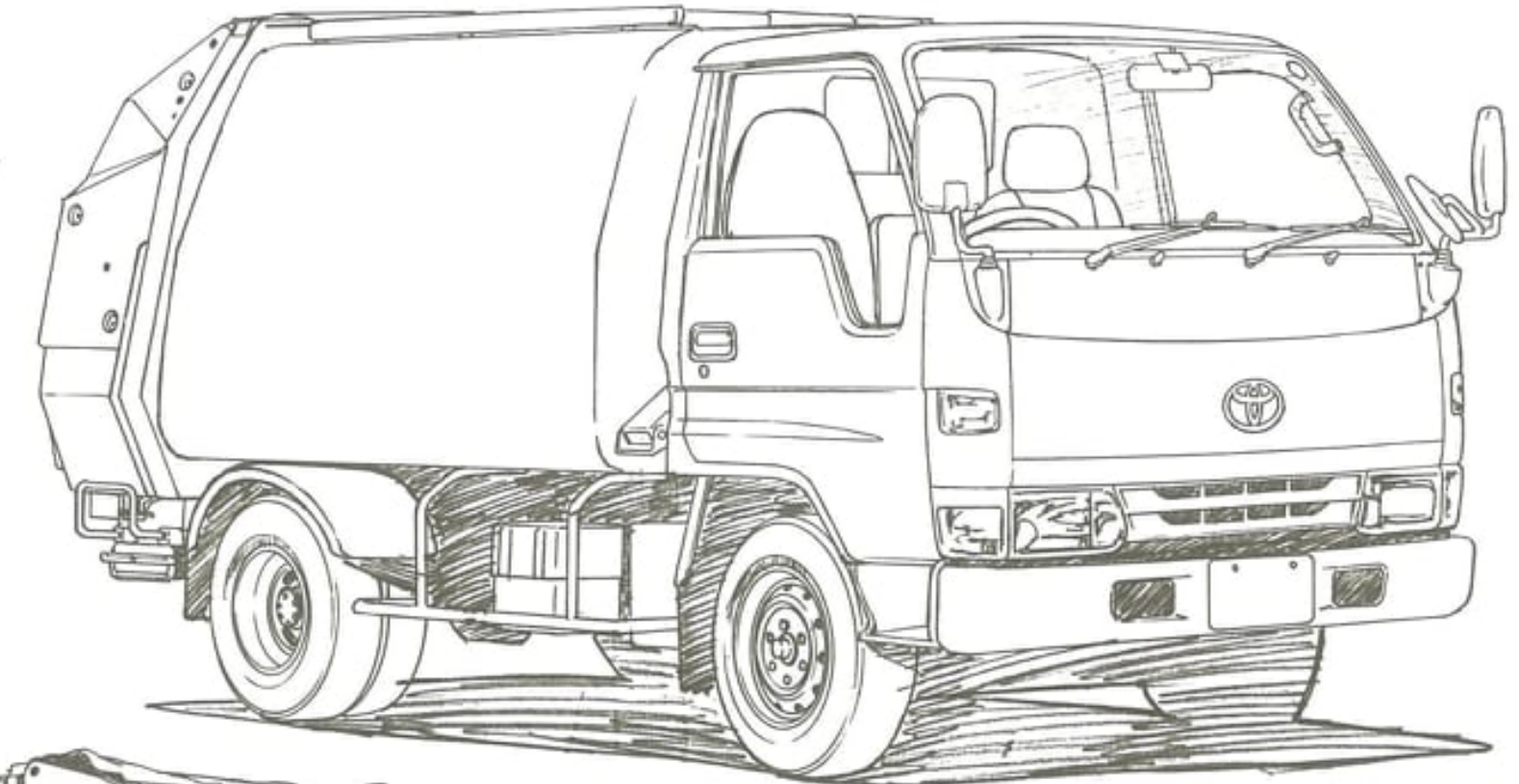
70

ミキサー車
1999.2.20 by T. MURATA

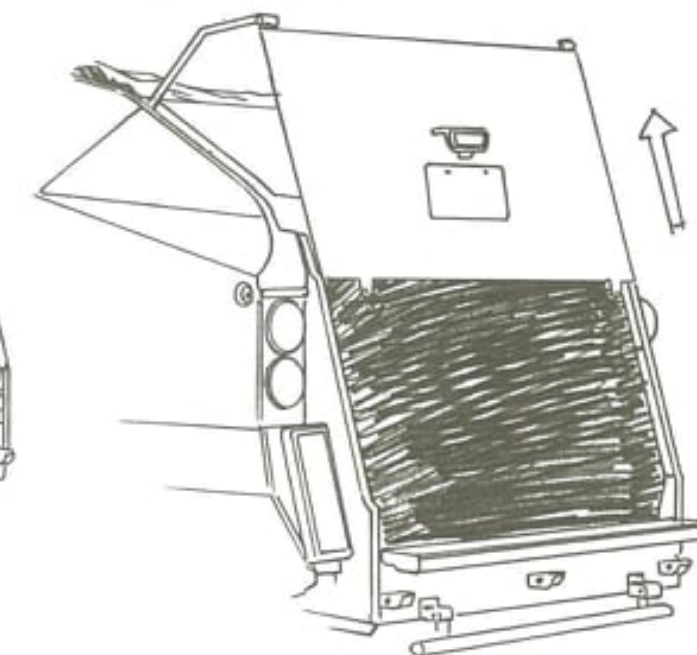


いすゞ 810

ゴミ収集車
2001.3.16 by T. MURATA

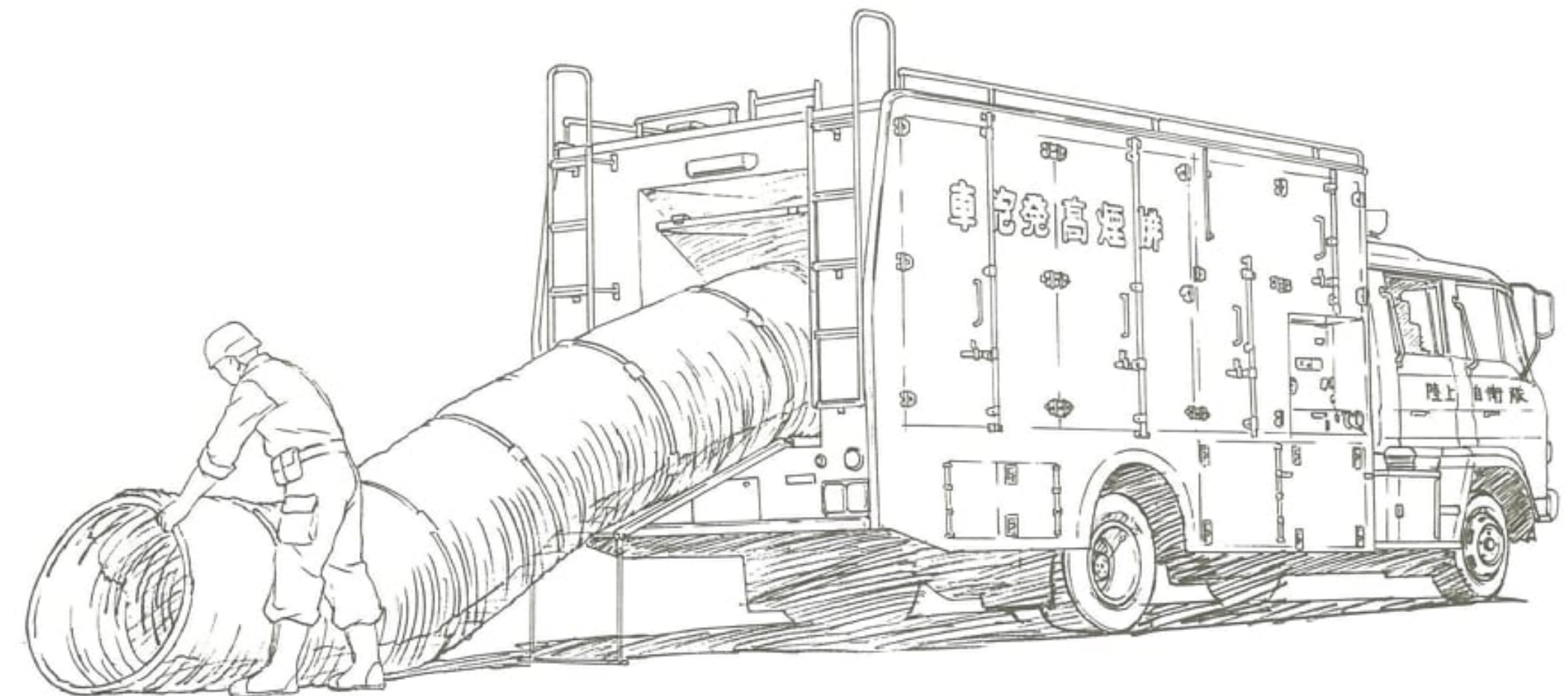


トヨタ ダイナ



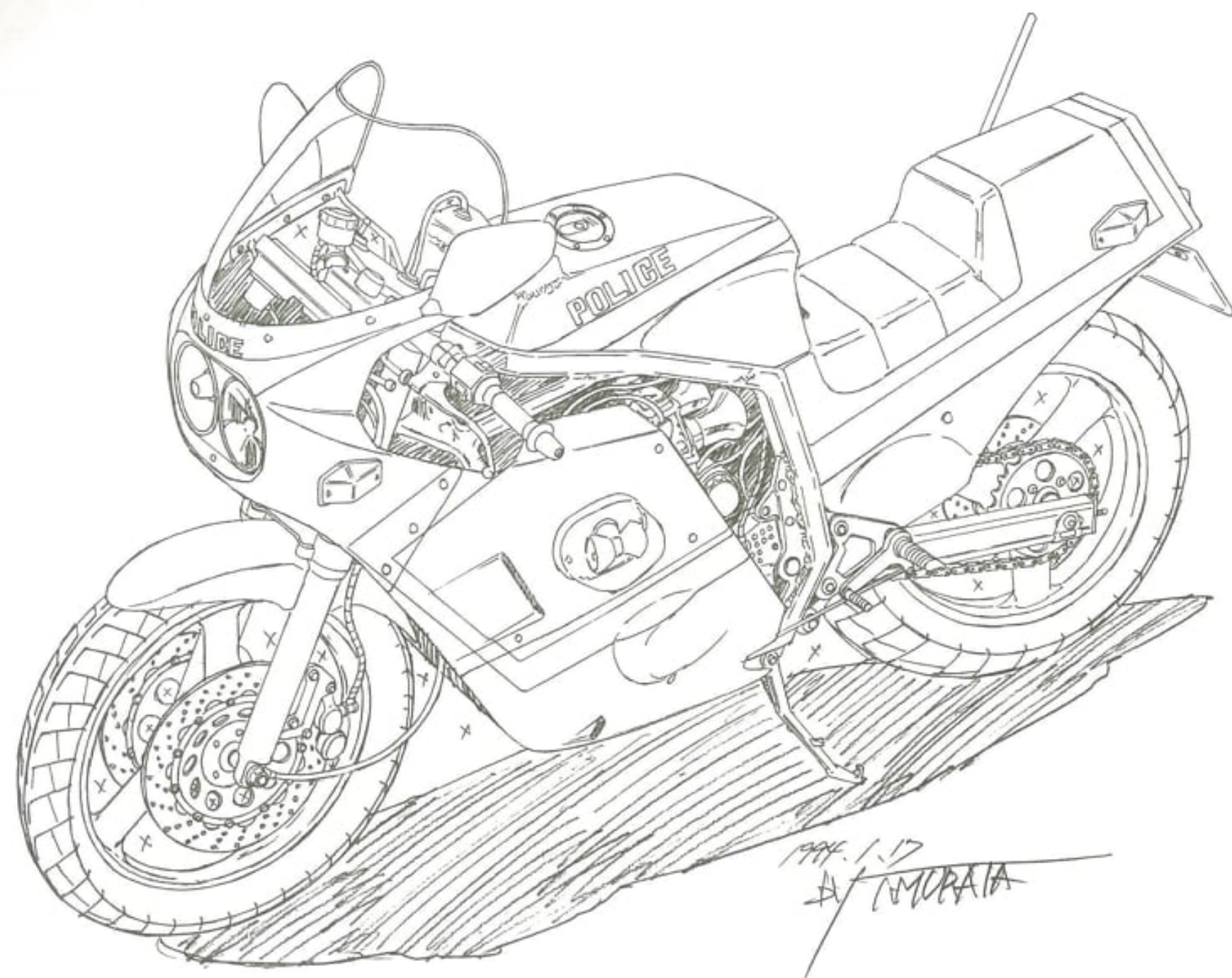
71

送風車
1998.3.20 by T. MURATA



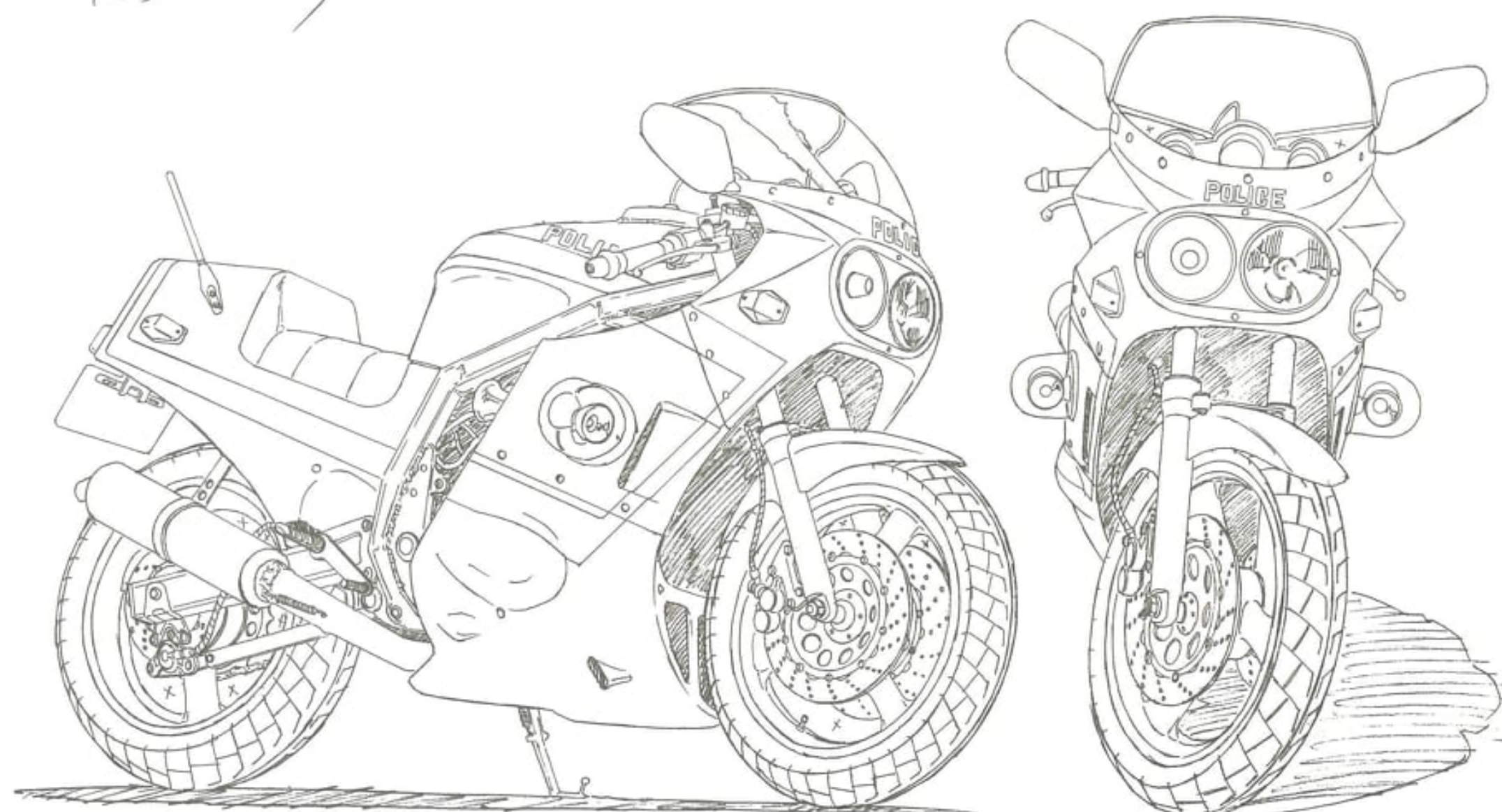
送風車

・中嶋の白バイ (GSX-R750) ①



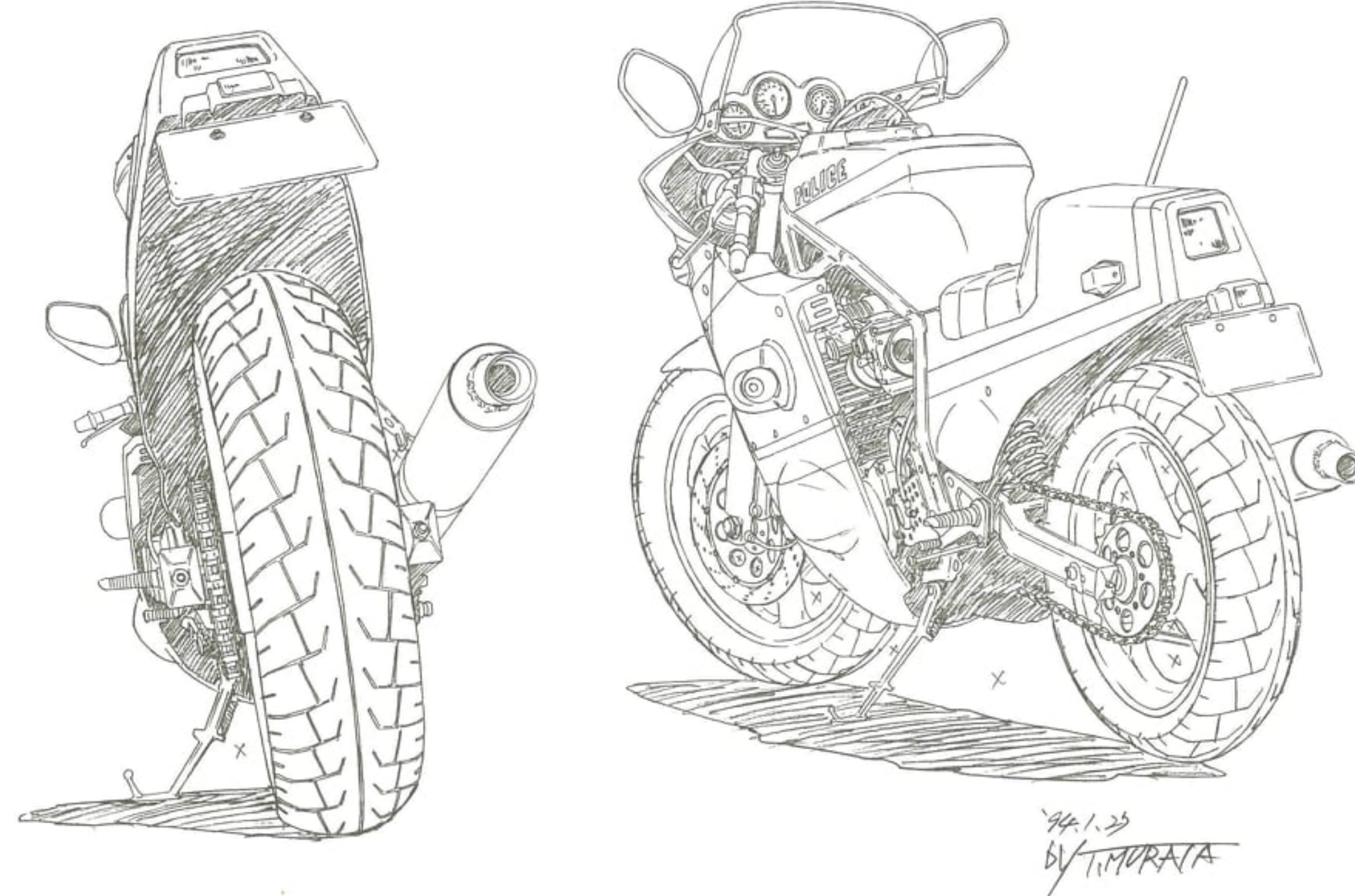
72

・中嶋の白バイ ②



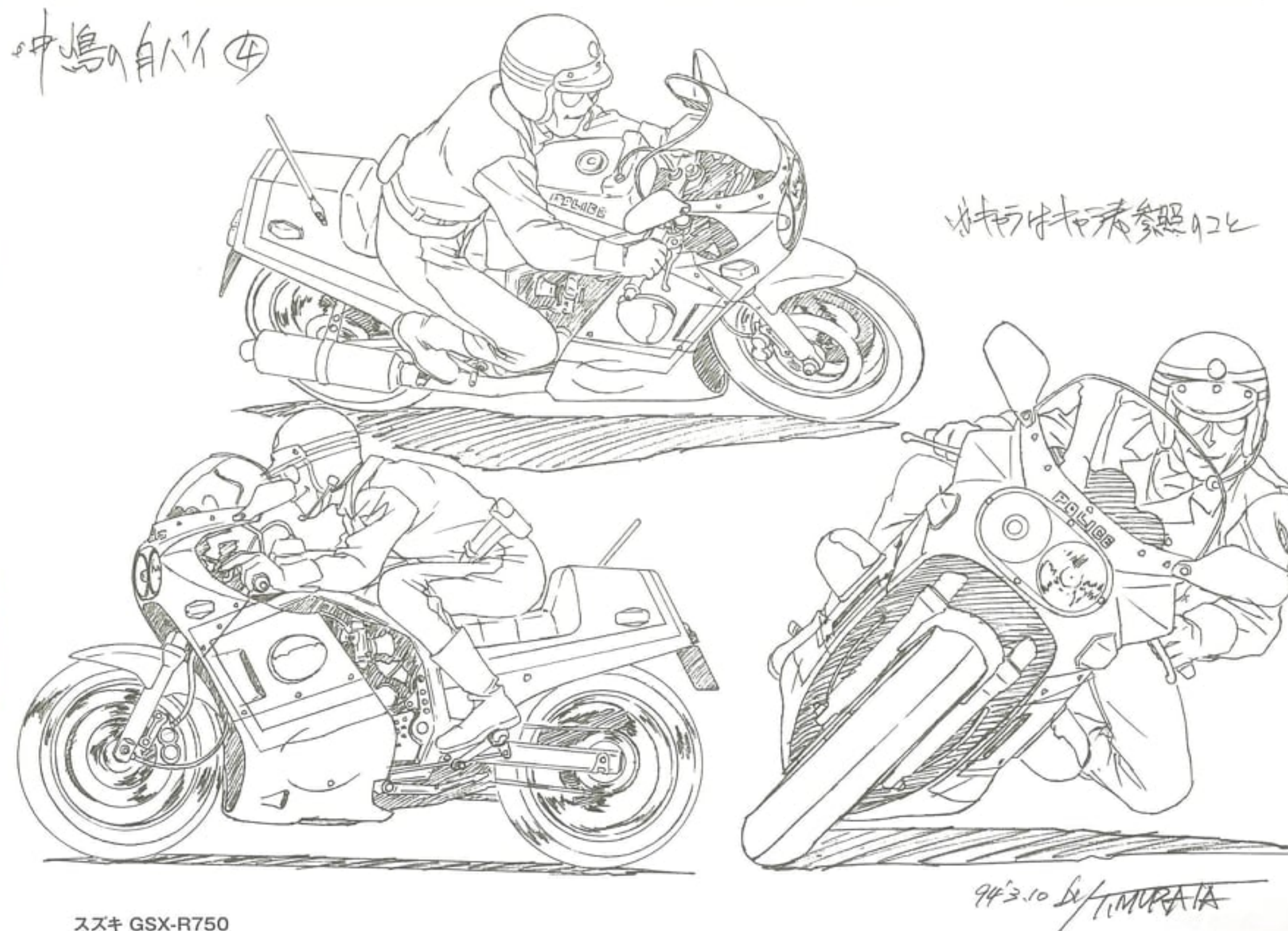
スズキ GSX-R750

・中嶋の白バイ ③



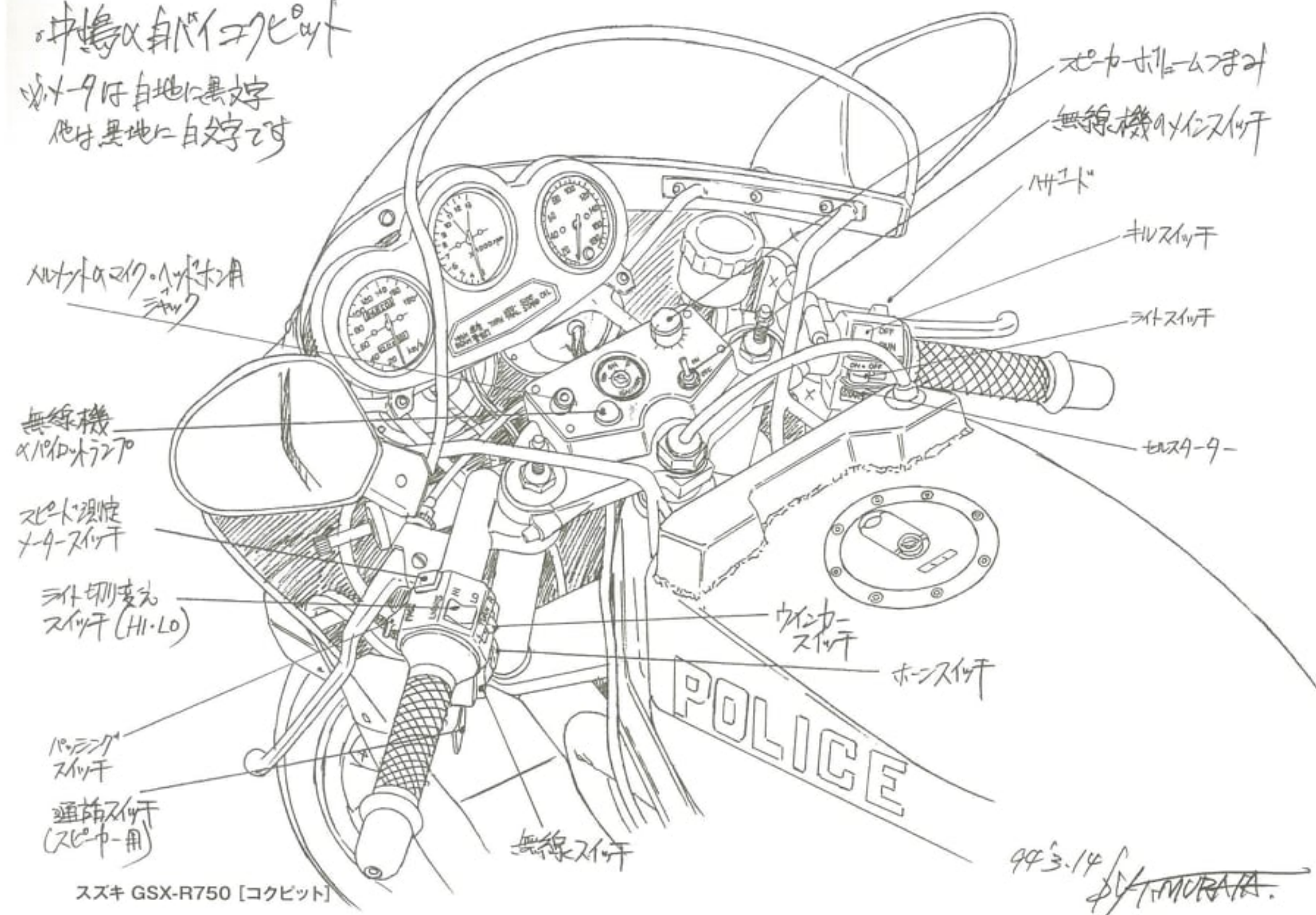
73

・中嶋の白バイ ④



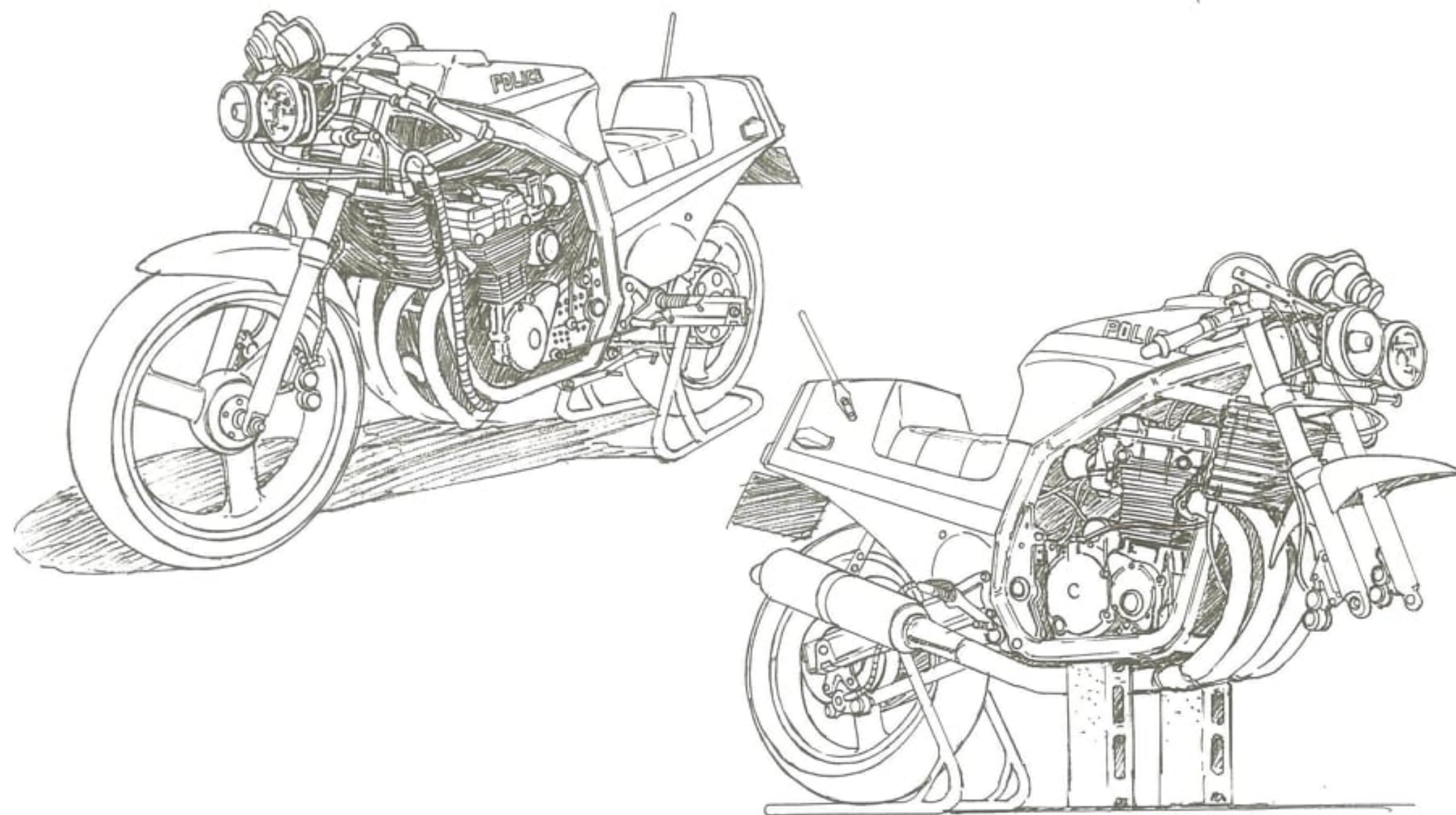
スズキ GSX-R750

中島自バイエビット
 ※-9は自地に異文字
 他は異地に自文字です

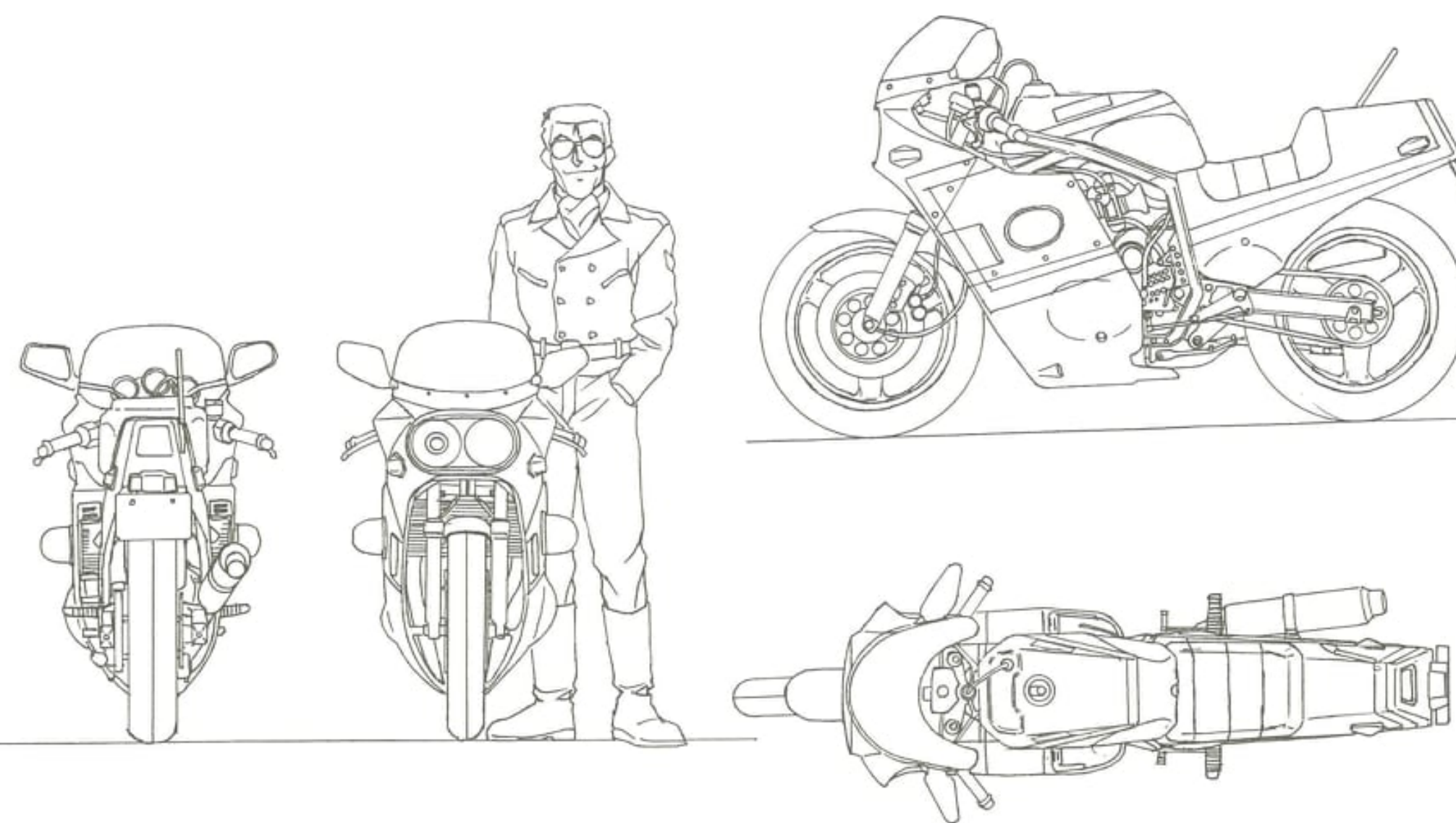


スズキ GSX-R750 [コクピット]

#9 修理中の中島自バイ

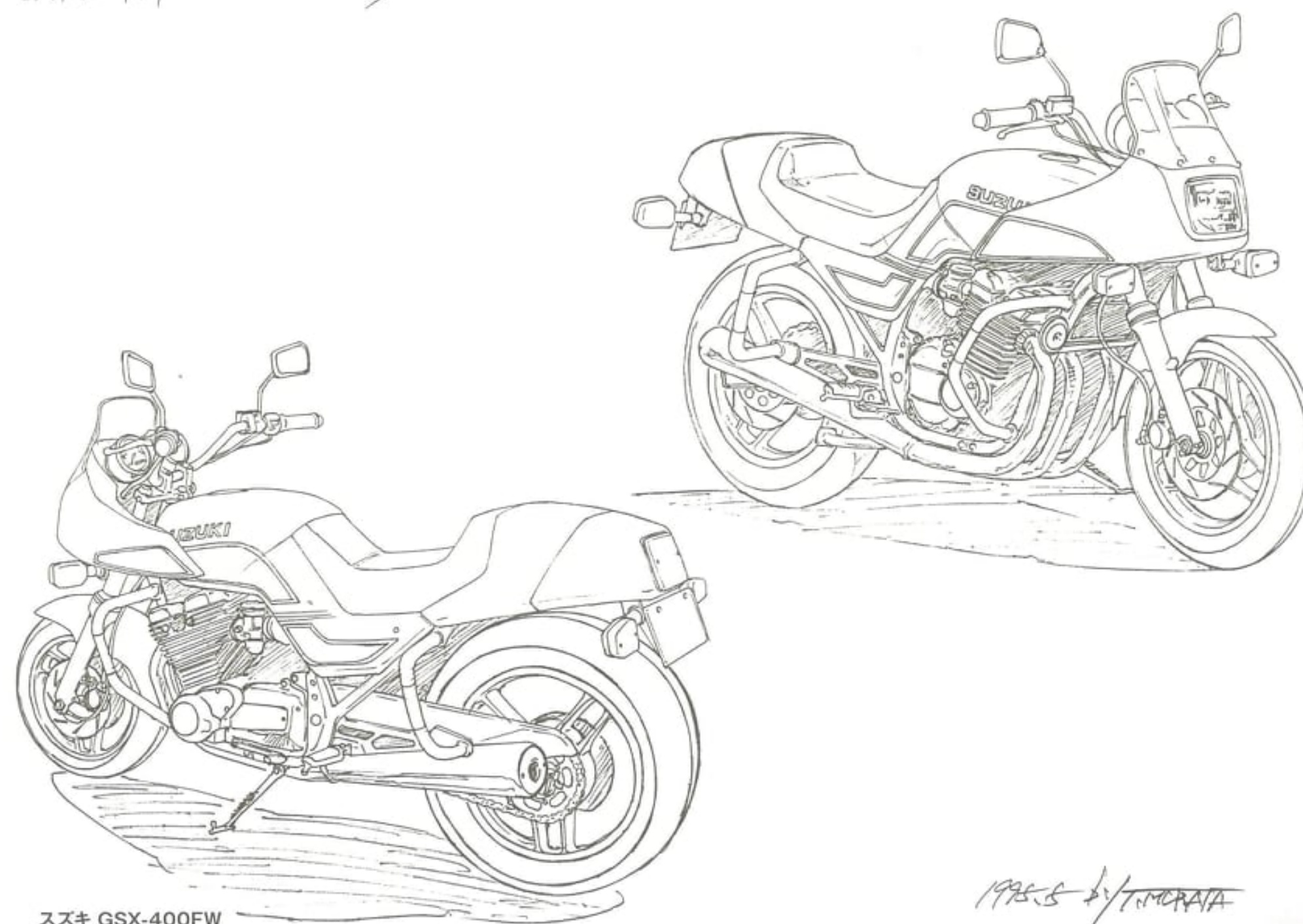


スズキ GSX-R750 [修理中]



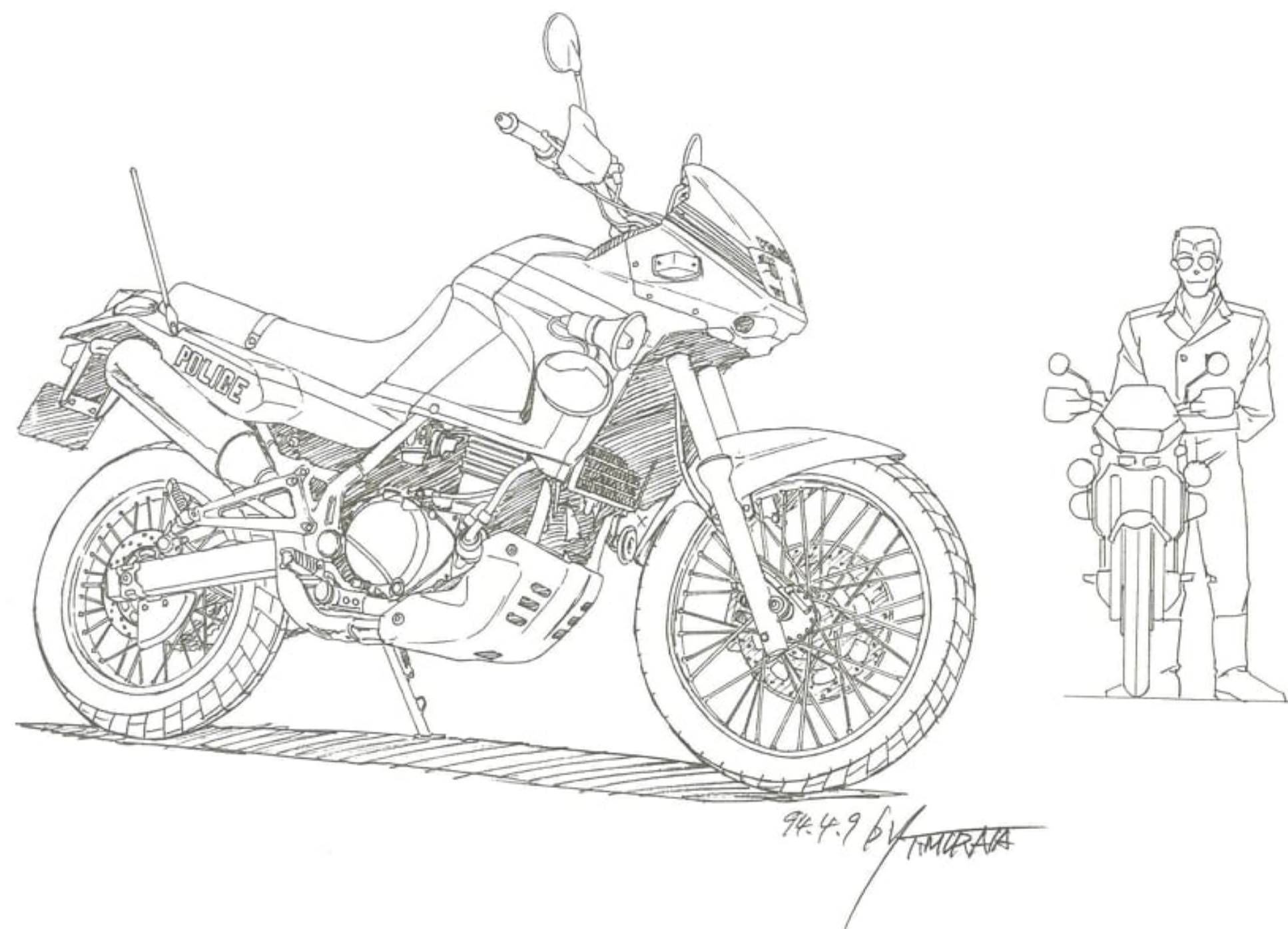
スズキ GSX-R750 [四面図]

逮捕 #4 教習用バイク



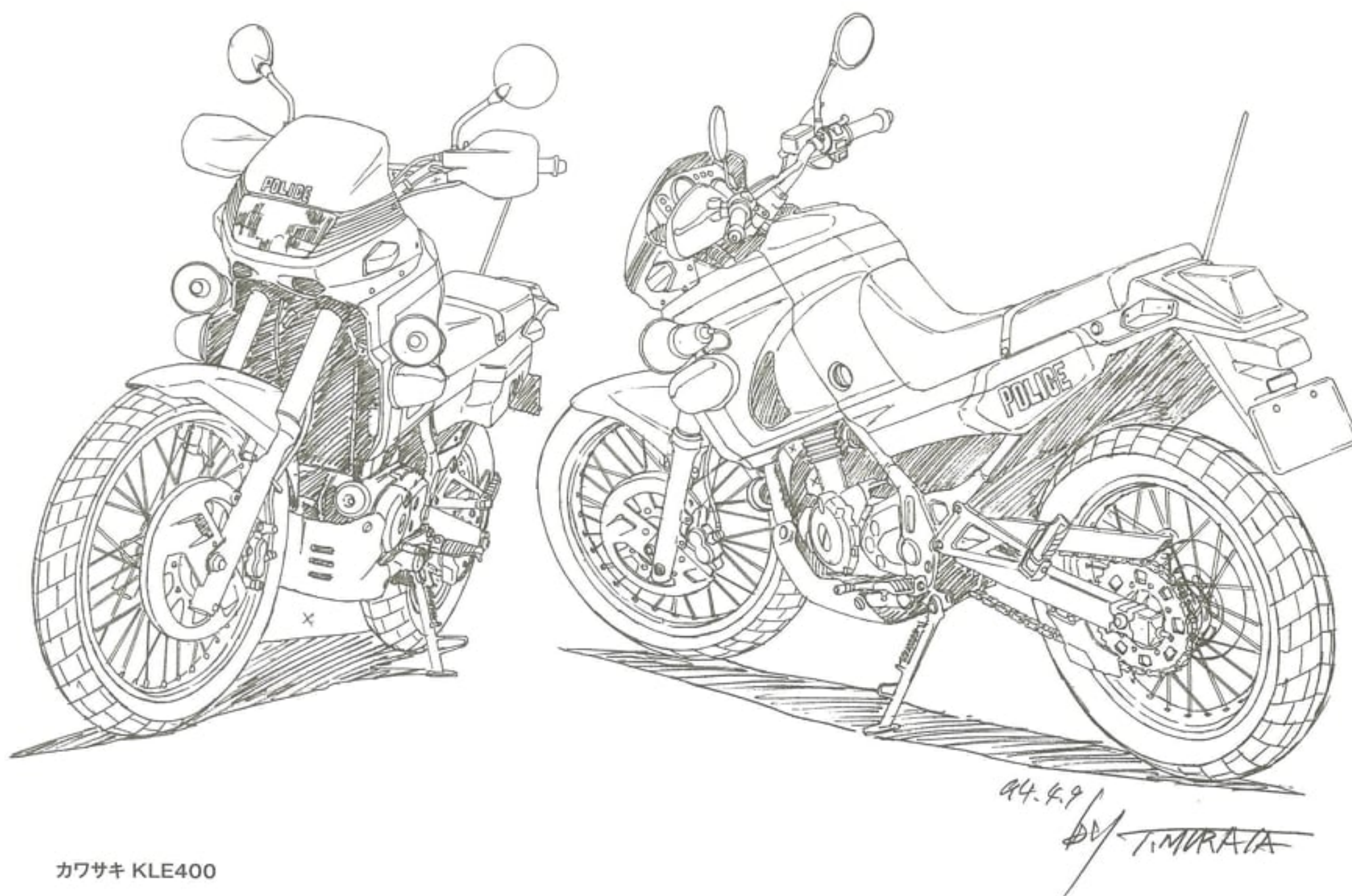
スズキ GSX-400FW

#2 KLE改自14



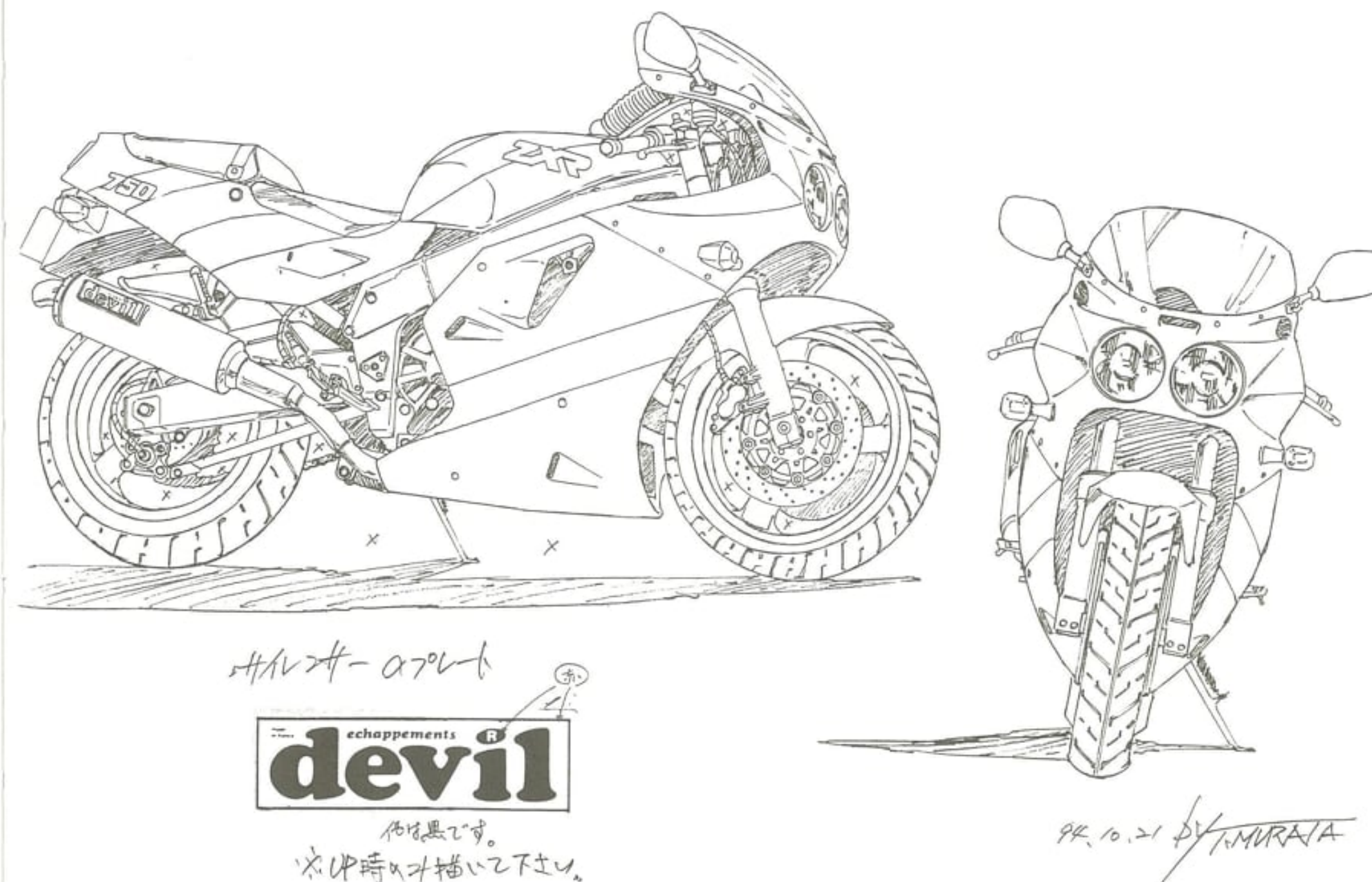
76

#2 KLE改自14



カワサキ KLE400

#3 中嶋の ZXR750

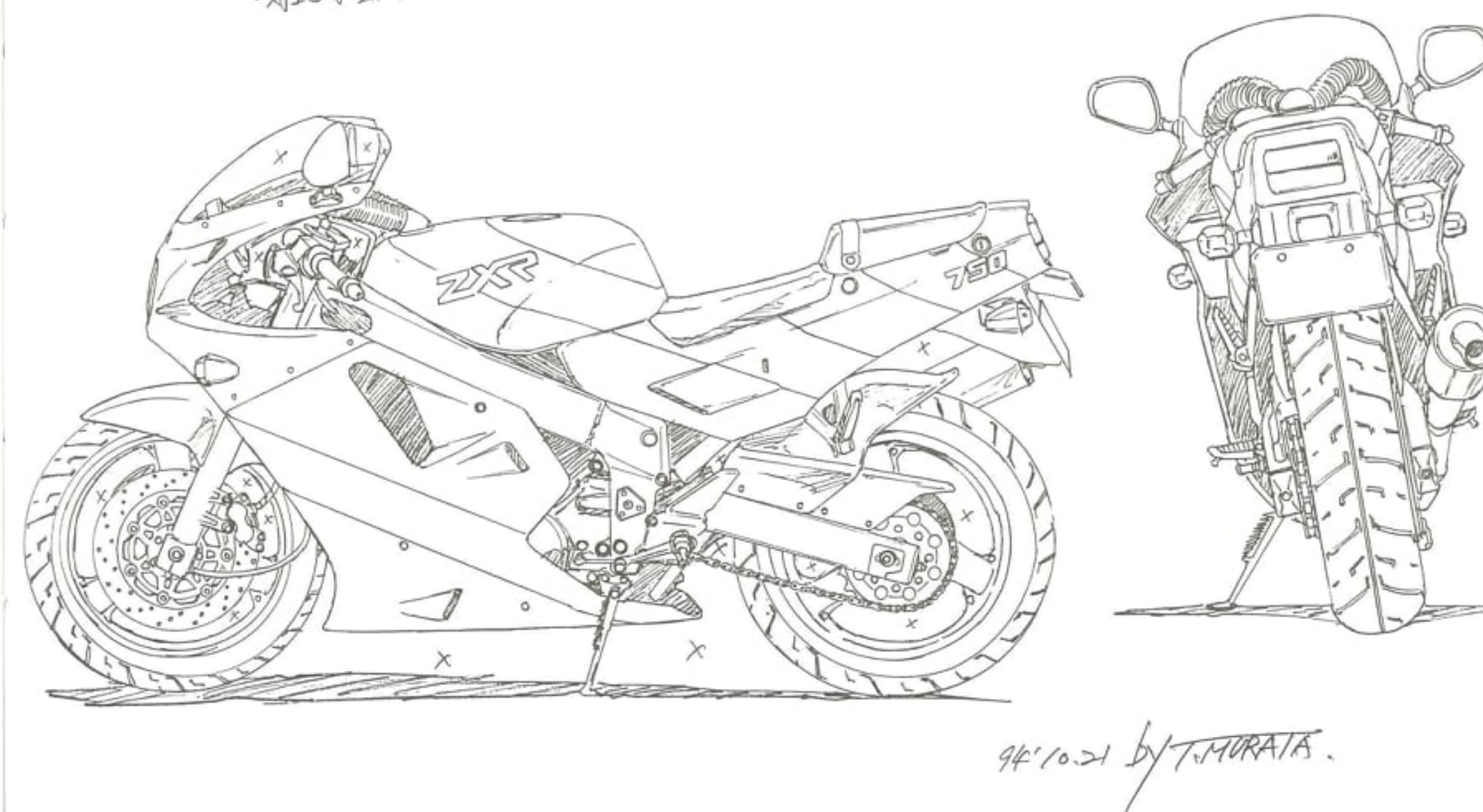


サルス-アポルト
echappements
devil
他は黒です。
※UP時々描いて下さい。

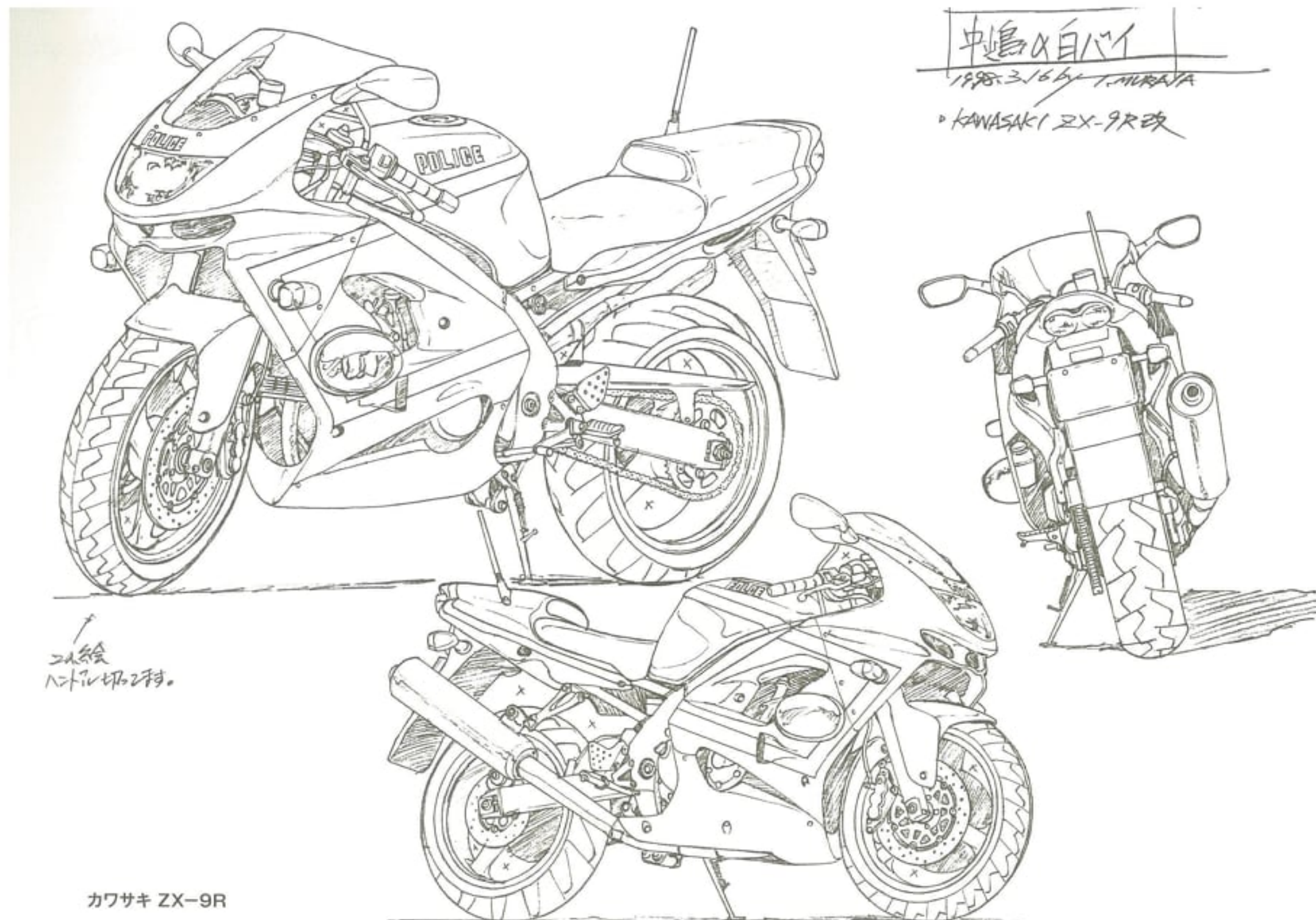
77

#3 中嶋の ZXR750 ②

対此中自14化同じです。

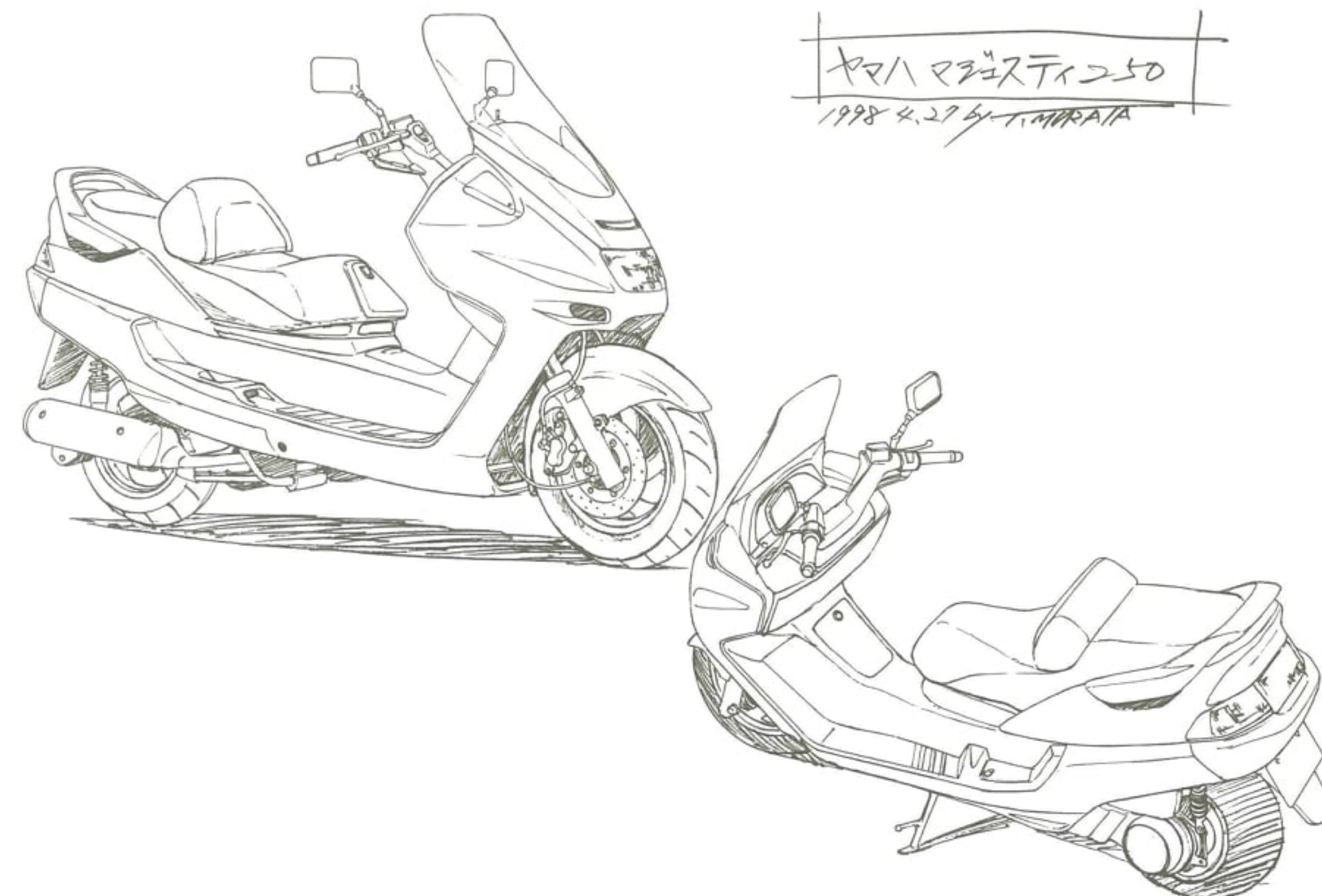


カワサキ ZXR750

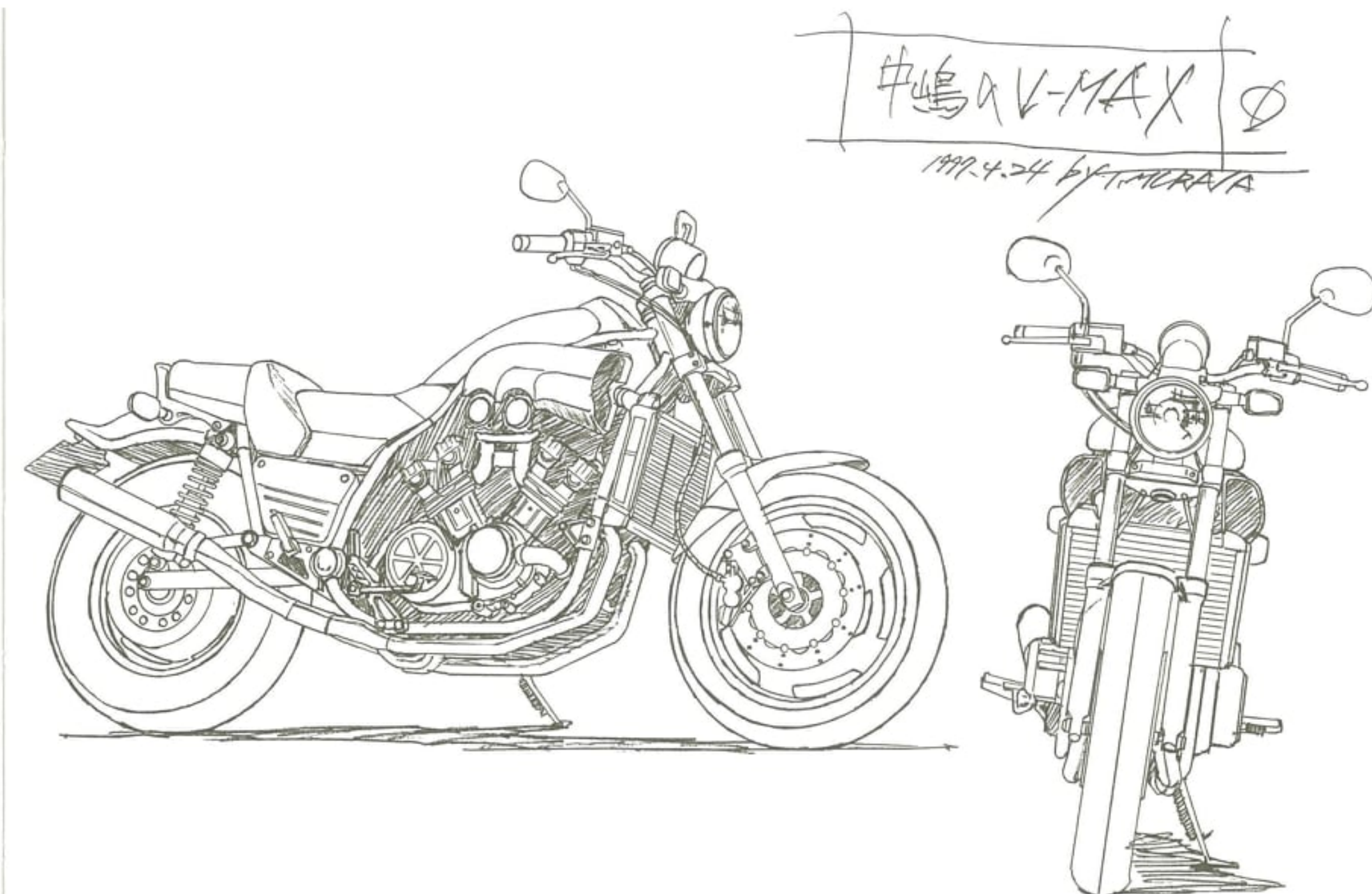


78

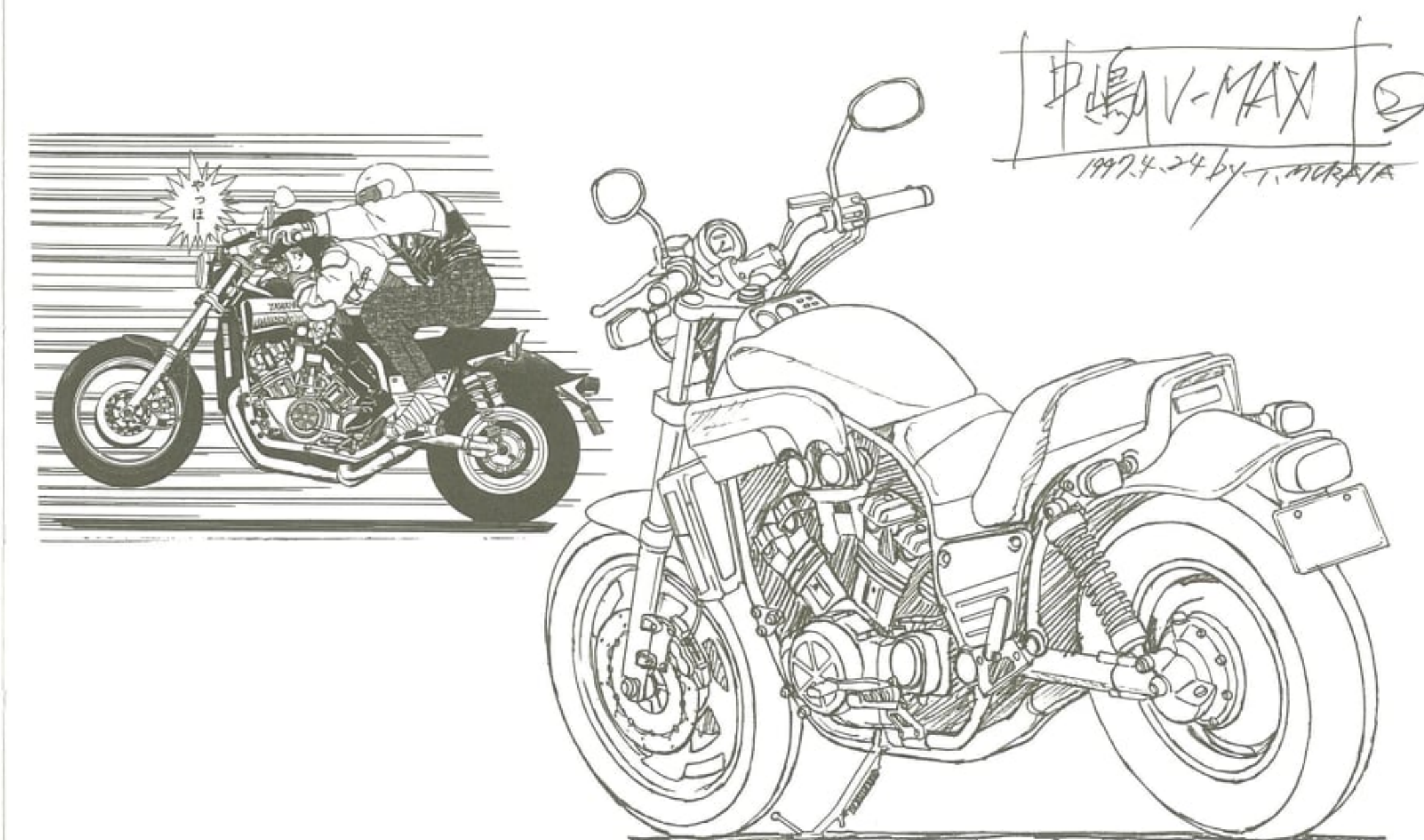
カワサキ ZX-9R



ヤマハ マジェスティ250

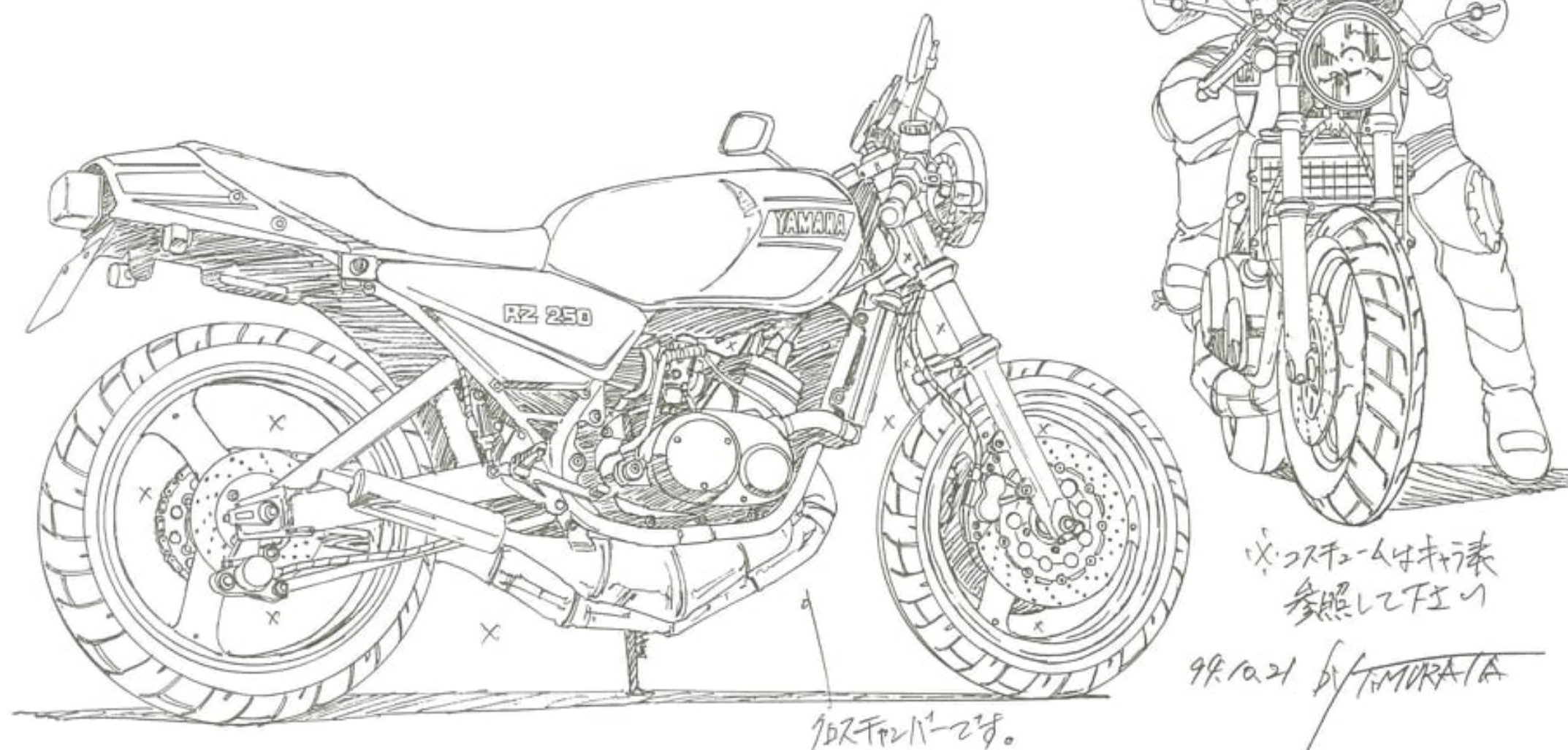


79



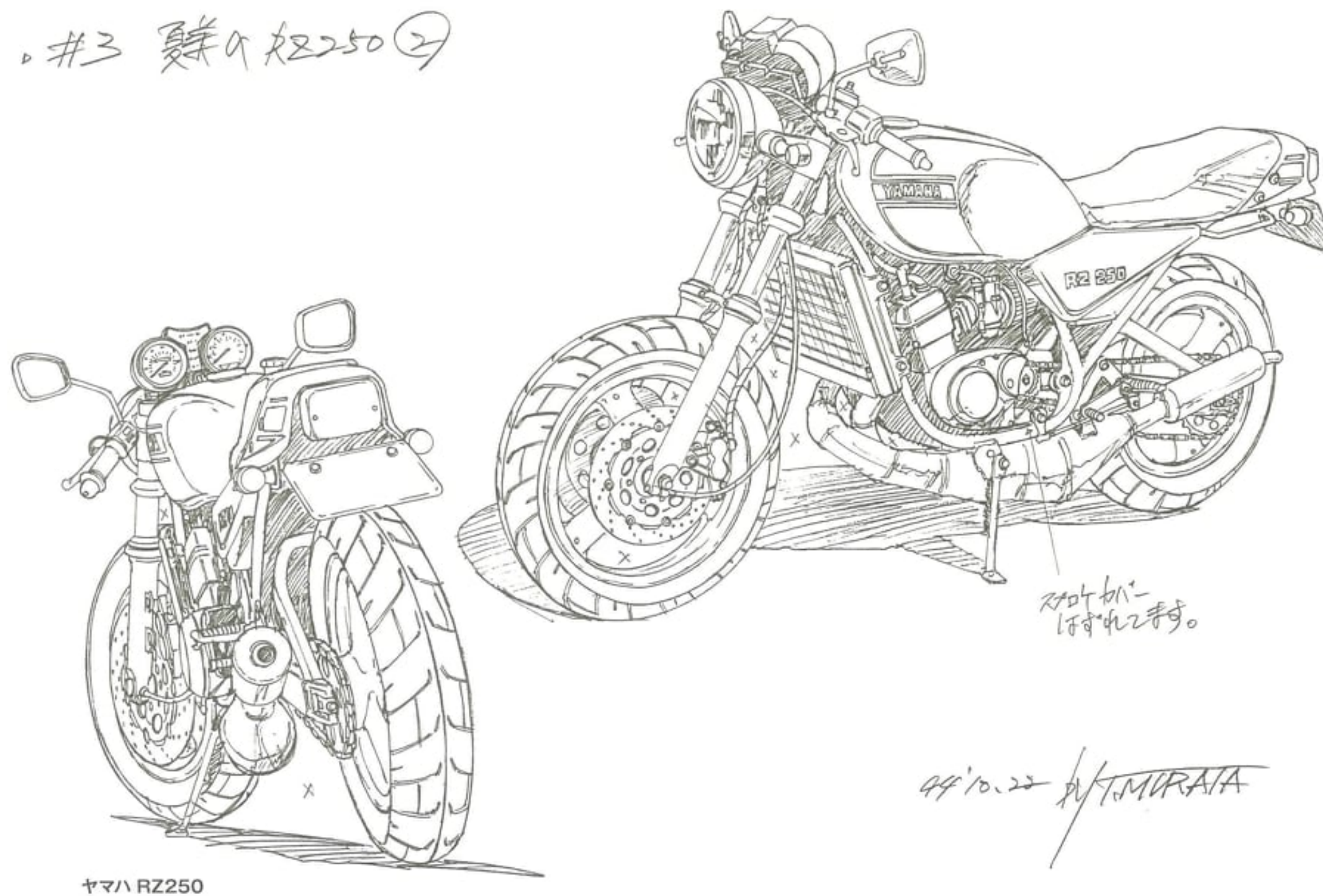
ヤマハ V-MAX

♫ #3 夏美の RZ250 ♪



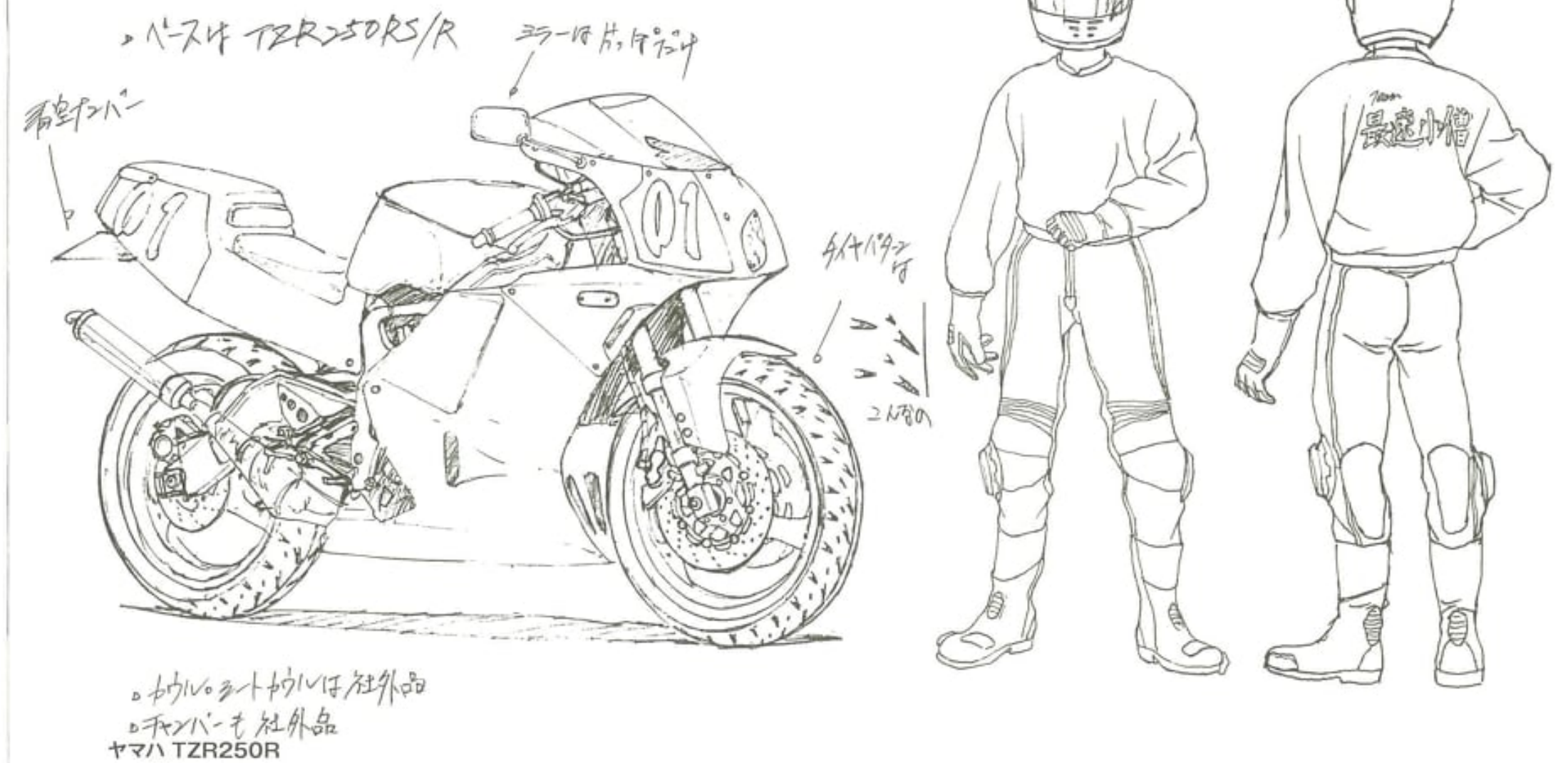
80

♫ #3 夏美の RZ250 ♪

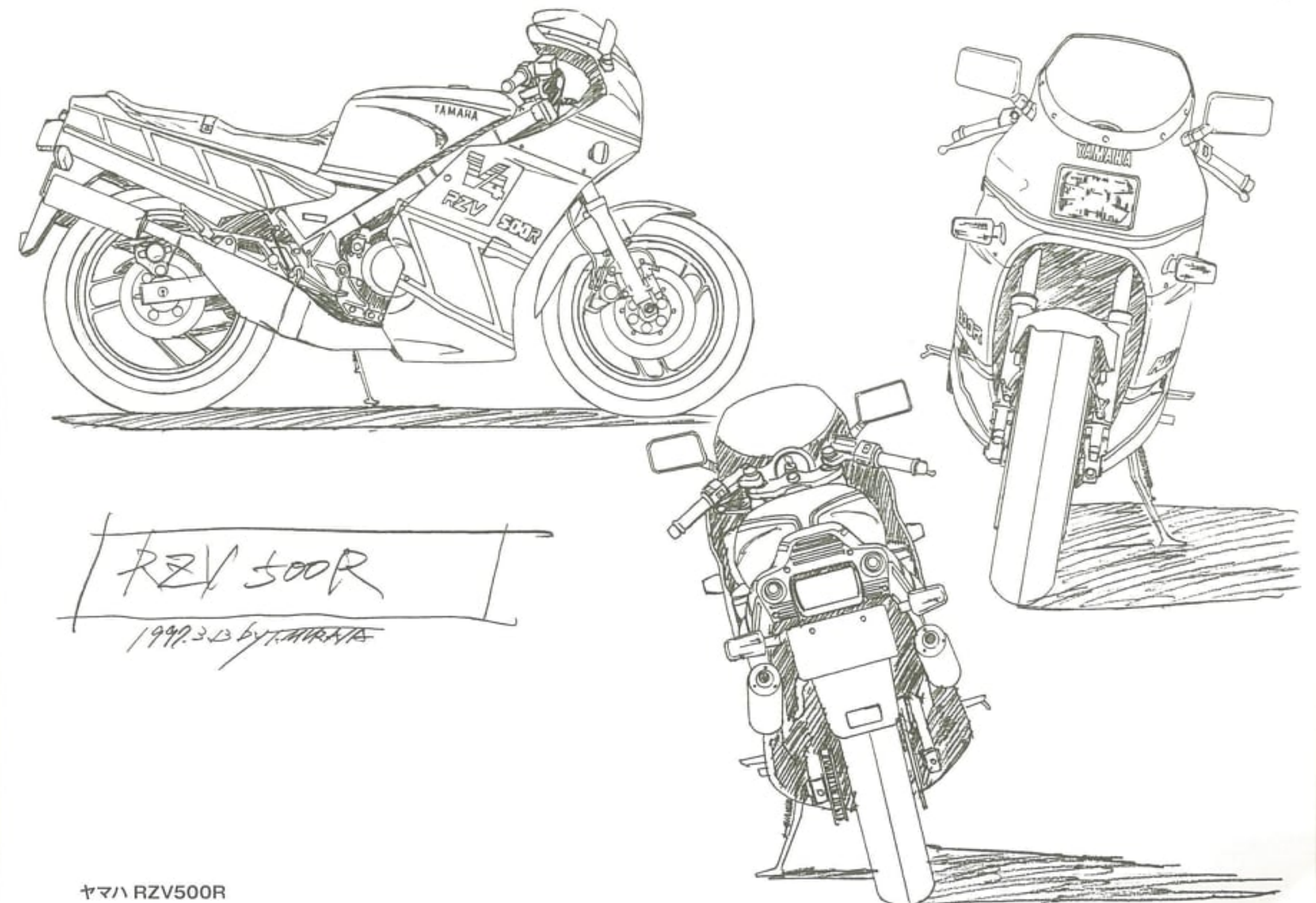


#3 峠小僧 Ⓐ

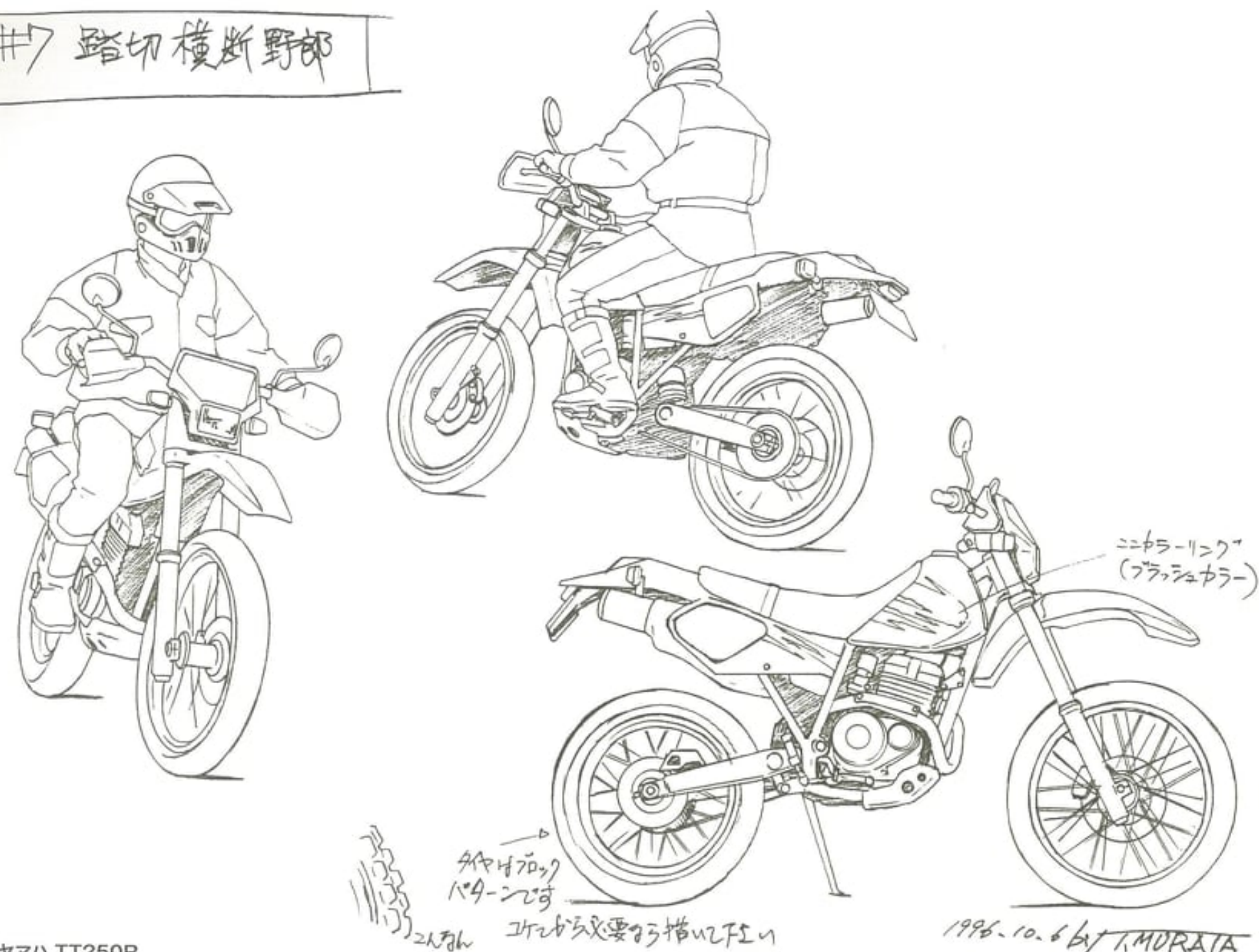
・基本はこんな感じですか、統一感を出したいので、
デザインはこんな感じでお願いします
(②も同じく)



81

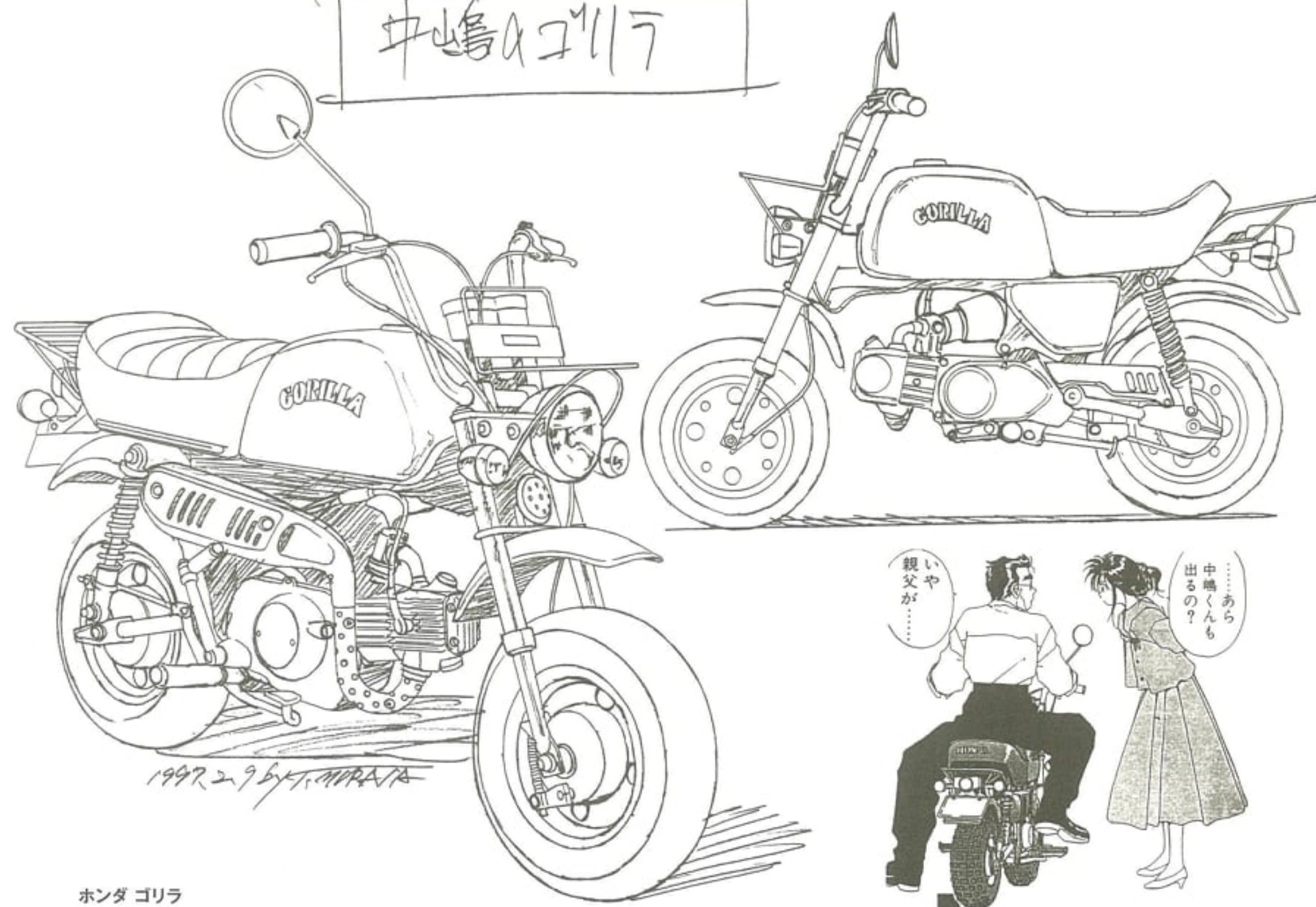


#7 踏切横断野郎

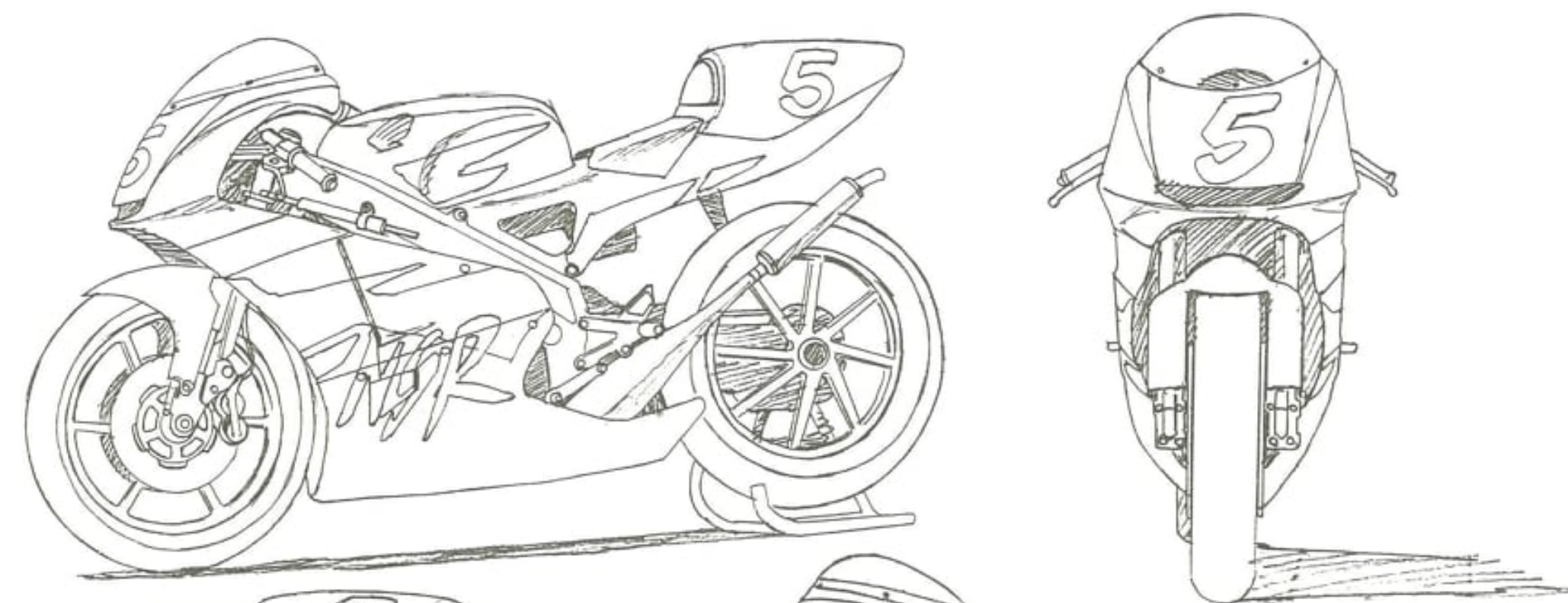


ヤマハ TT250R

中山島ゴリラ



ホンダ ゴリラ



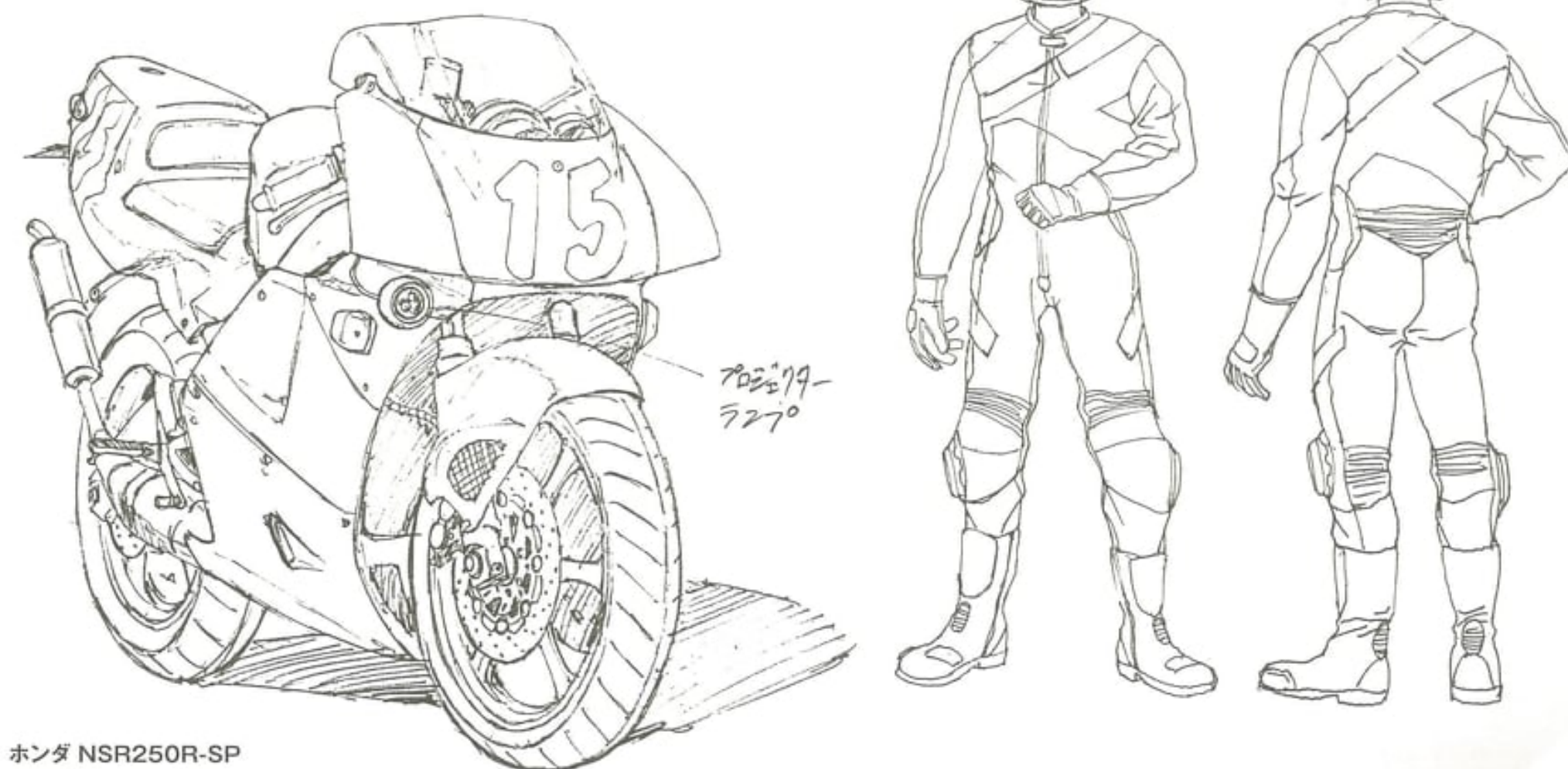
#29
月島A232
NSR250
1997.3.21
G.T. MORATA

ホンダ NSR250

#3 峠小僧

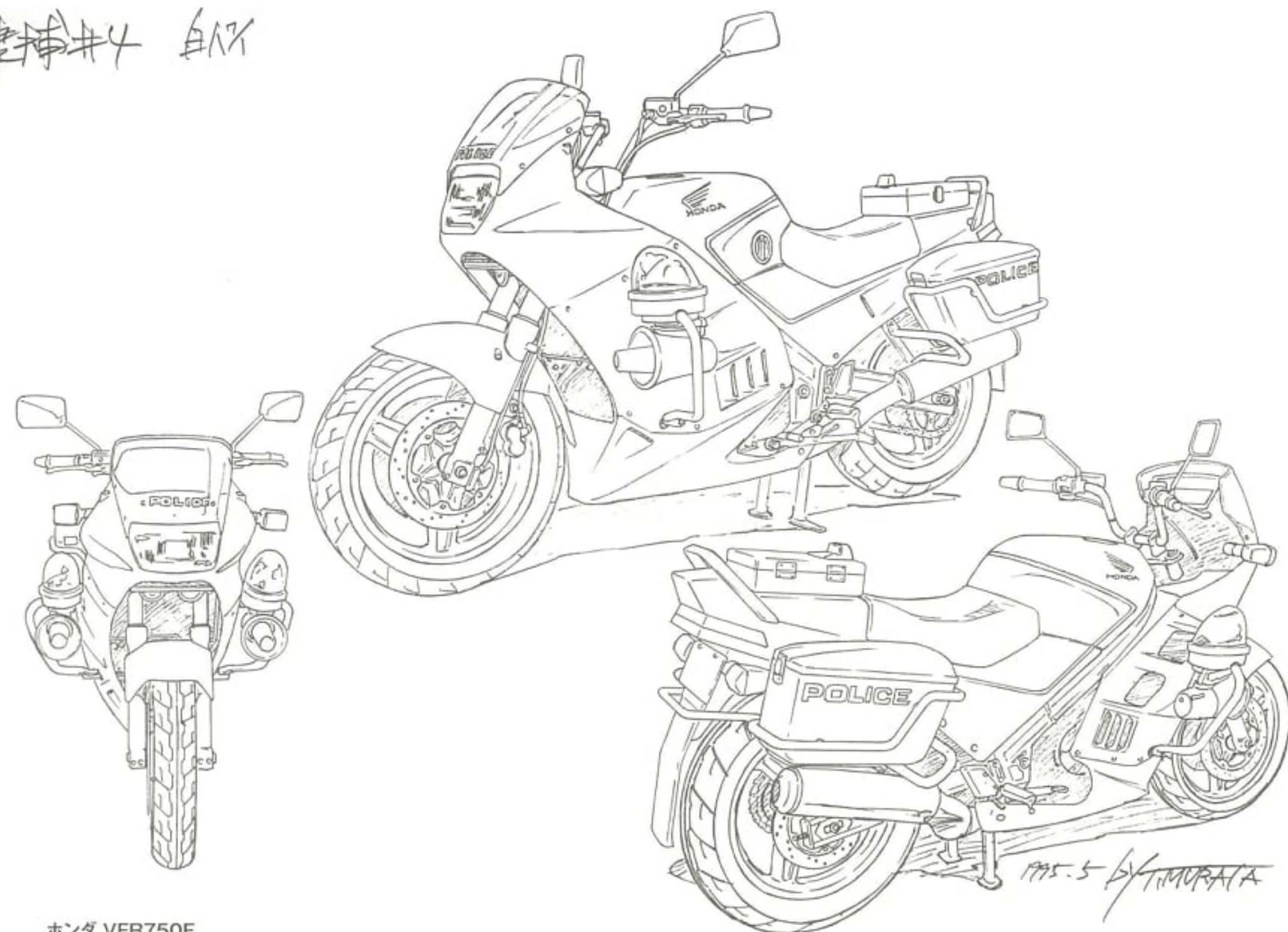
・バグ-ン-ビ-ス・70mm・72mm
72mmは本製品です。

・バグ-ン-ビ-ス NSR250R-SP



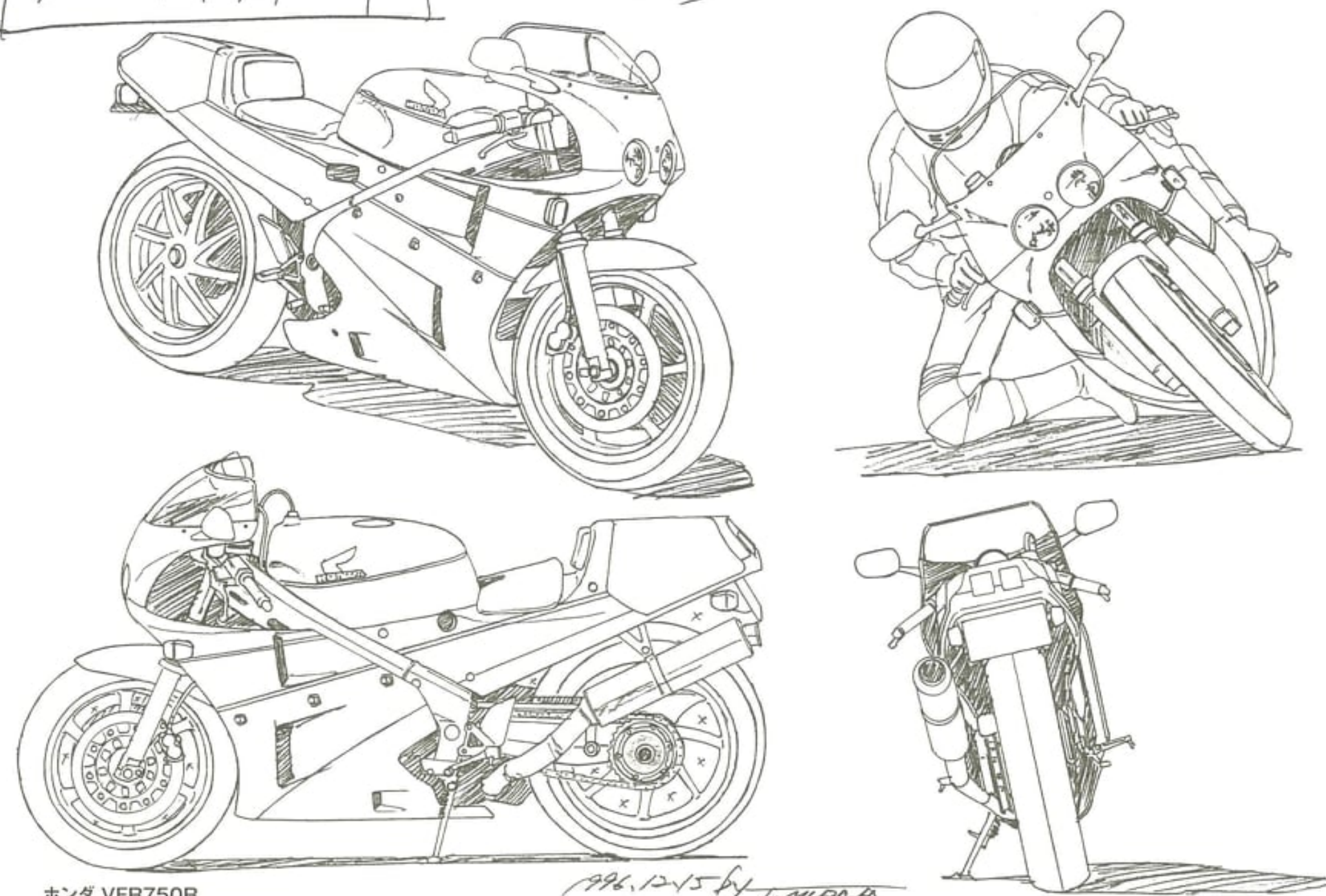
ホンダ NSR250R-SP

建補#4 白バイ

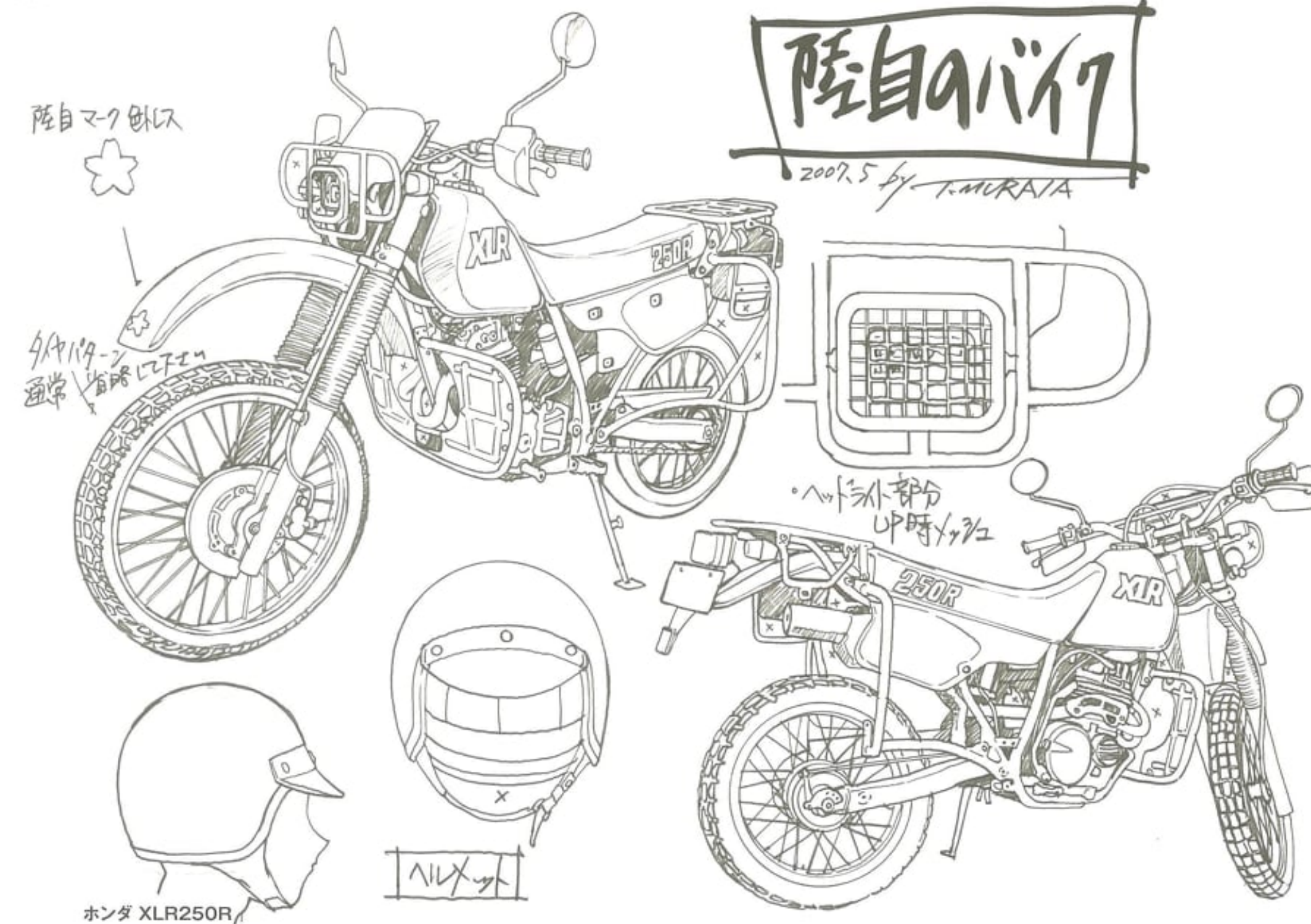


ホンダ VFR750F

建補#15 若くは白バイ [VFR750R (RC30)]

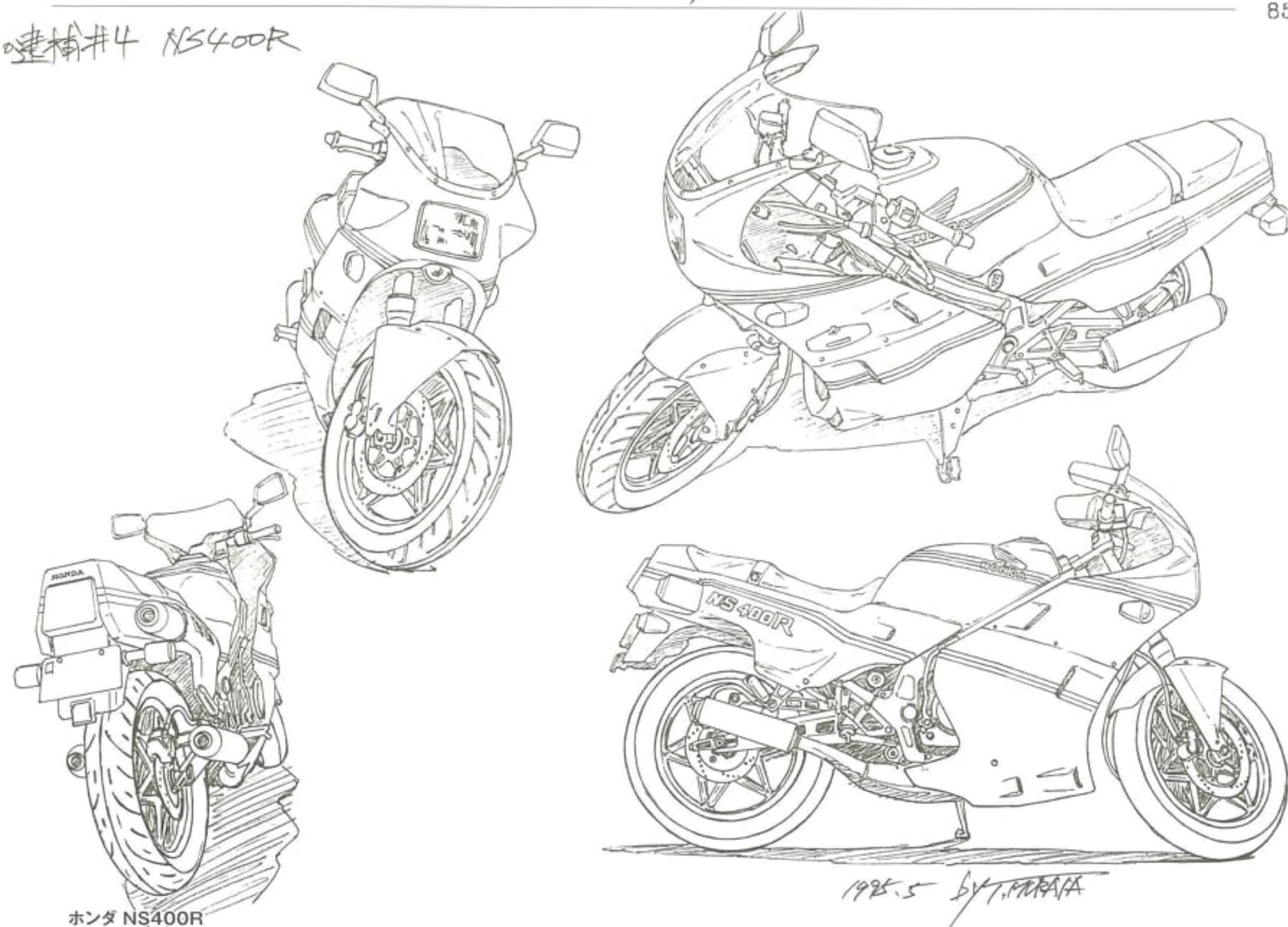


ホンダ VFR750R

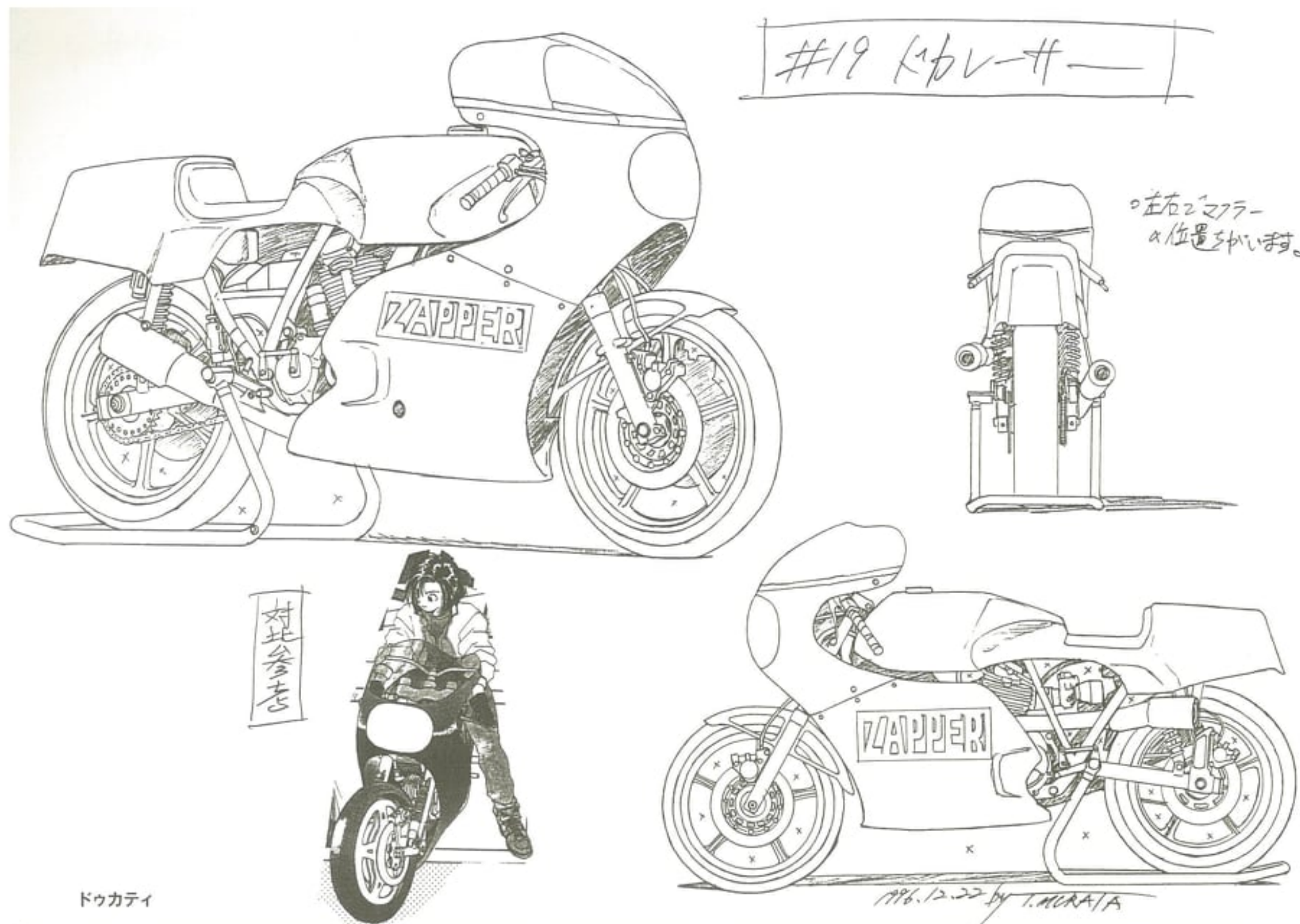


ホンダ XLR250R

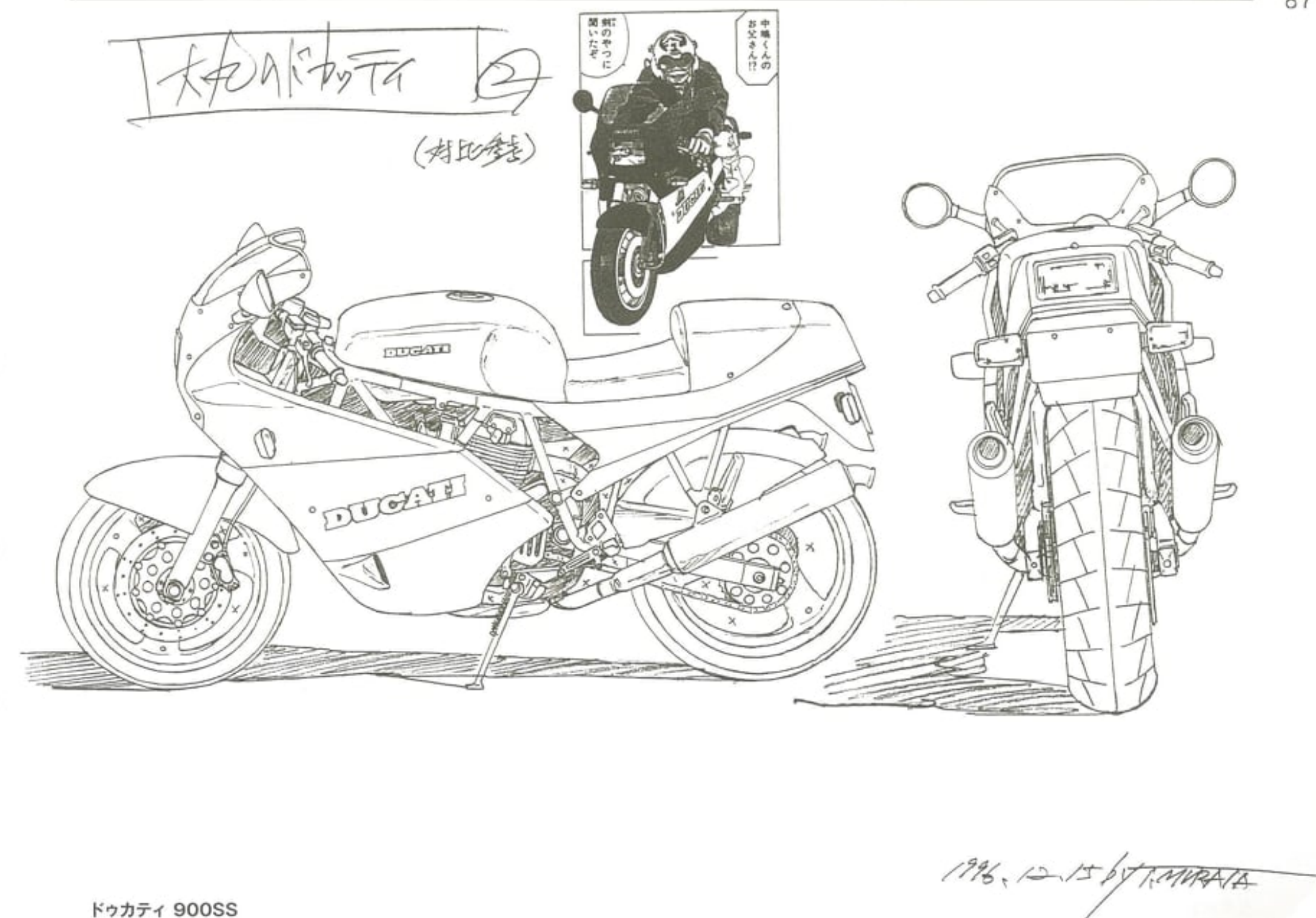
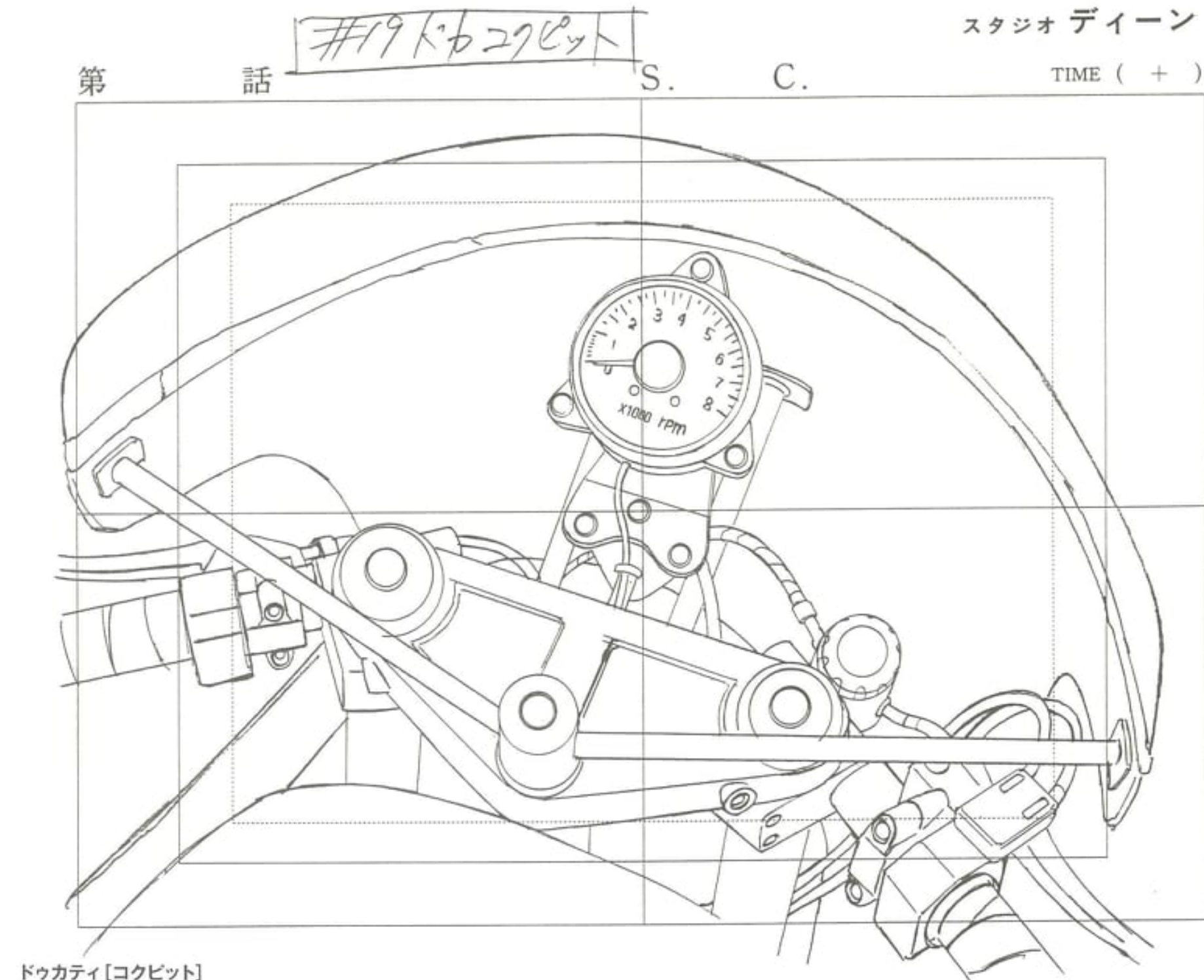
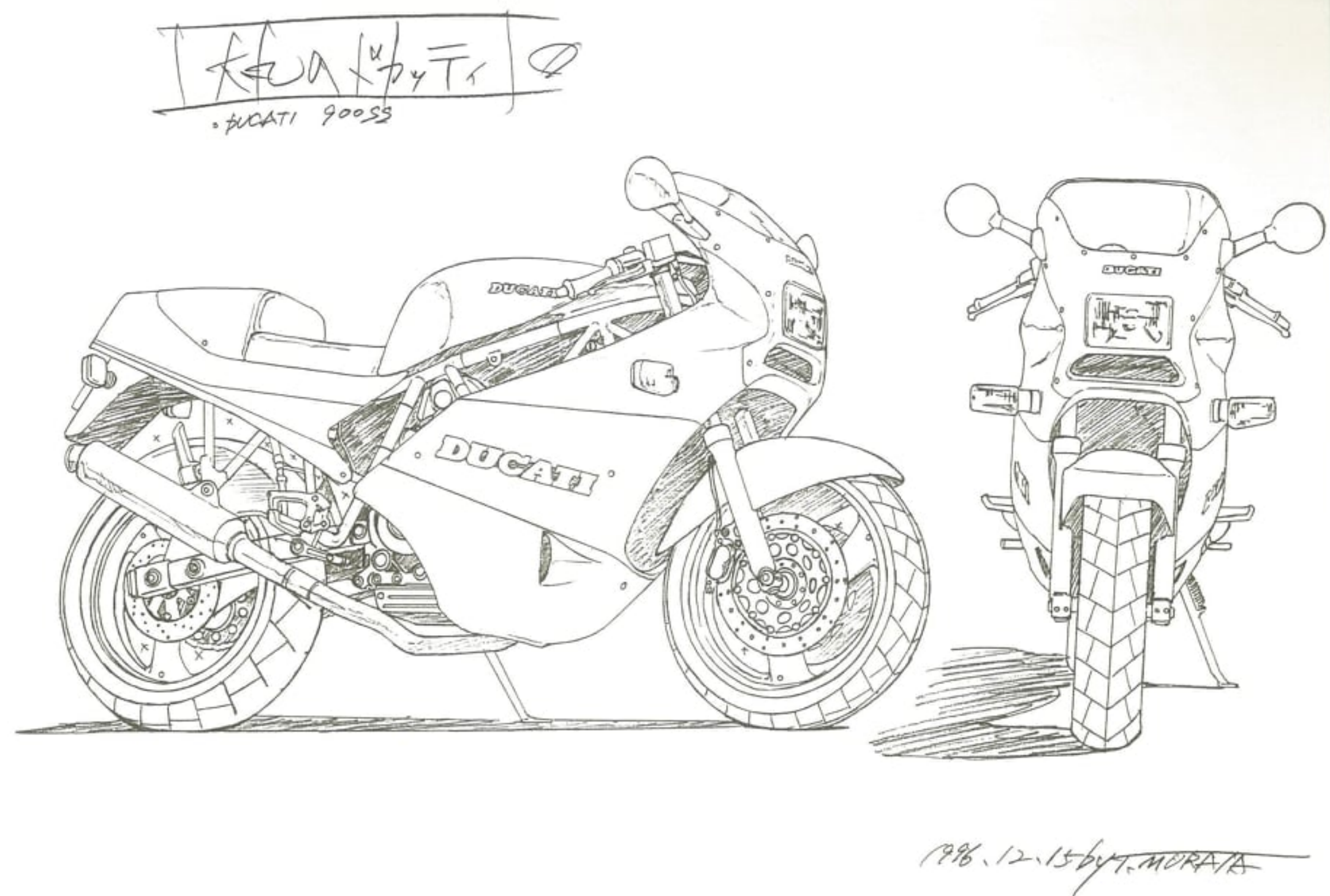
建補#4 NS400R



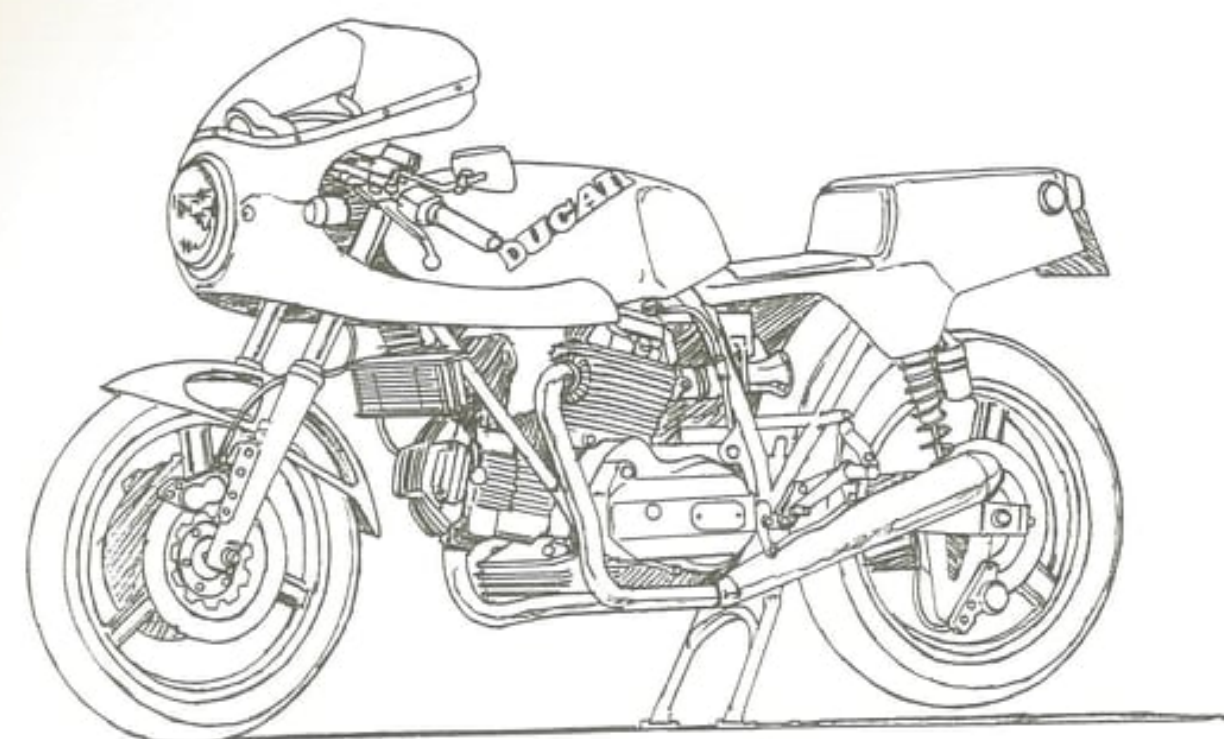
ホンダ NS400R



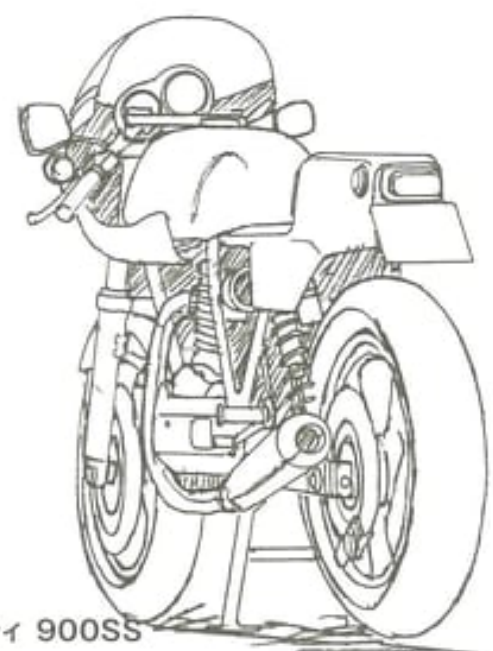
ドゥカティ



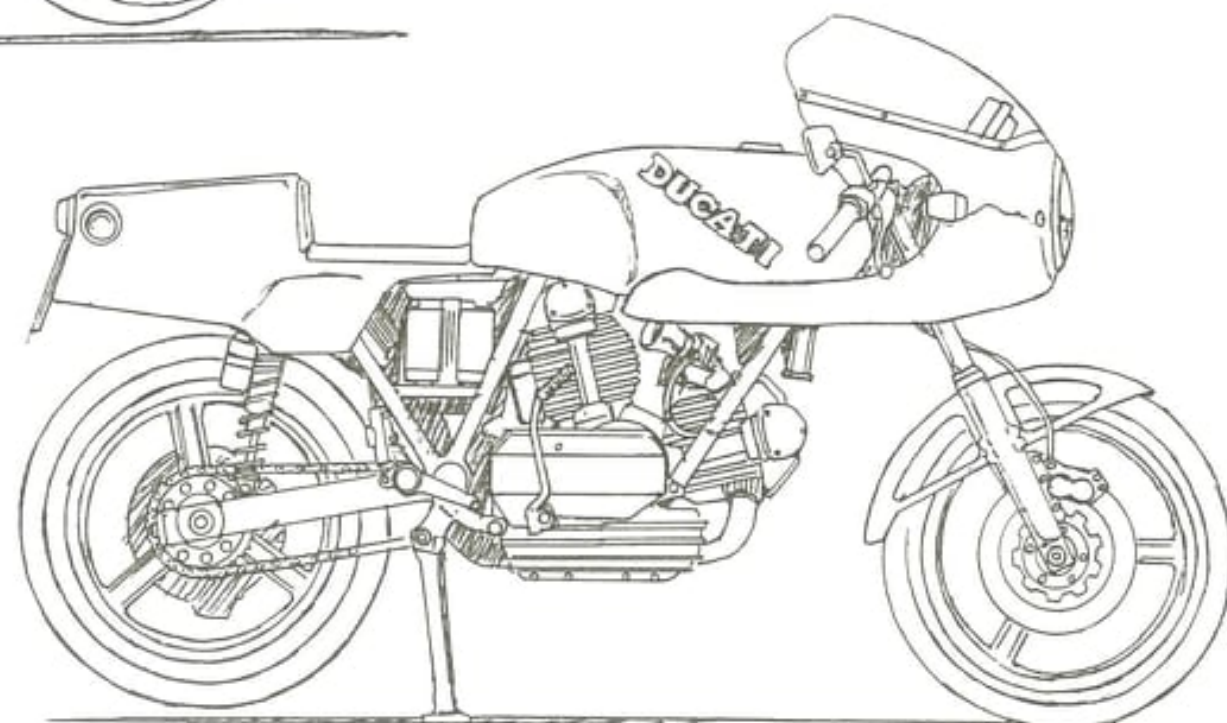
ドゥカティ 900SS



1992.2.3 by T. MURATA
 ヤマハ Xa100

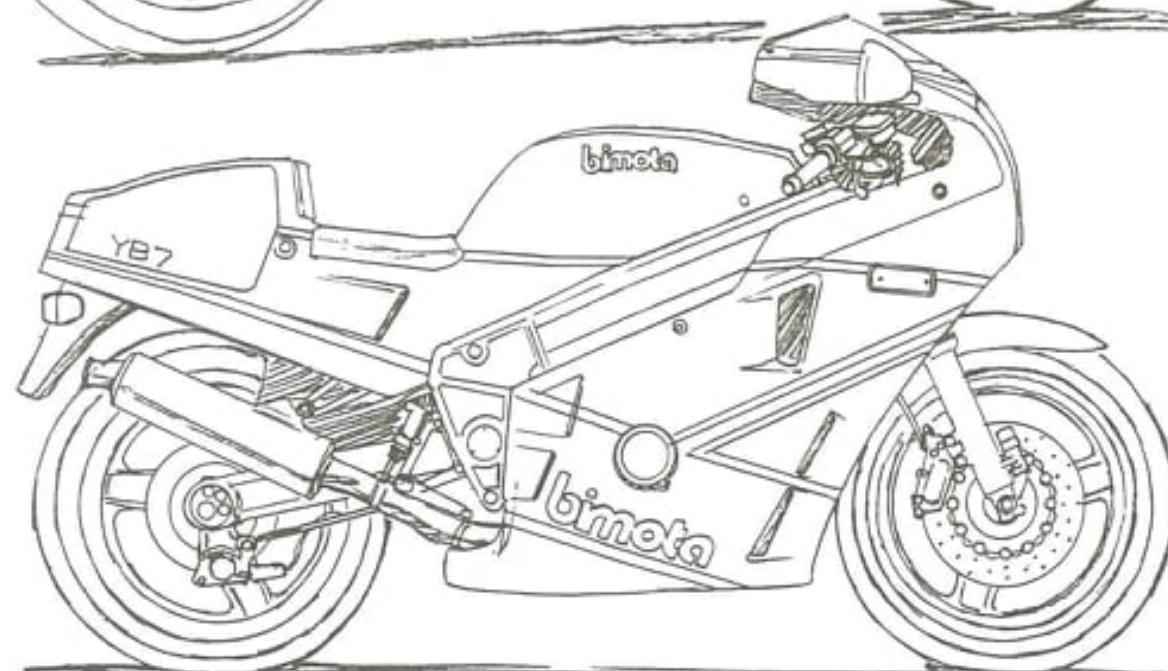
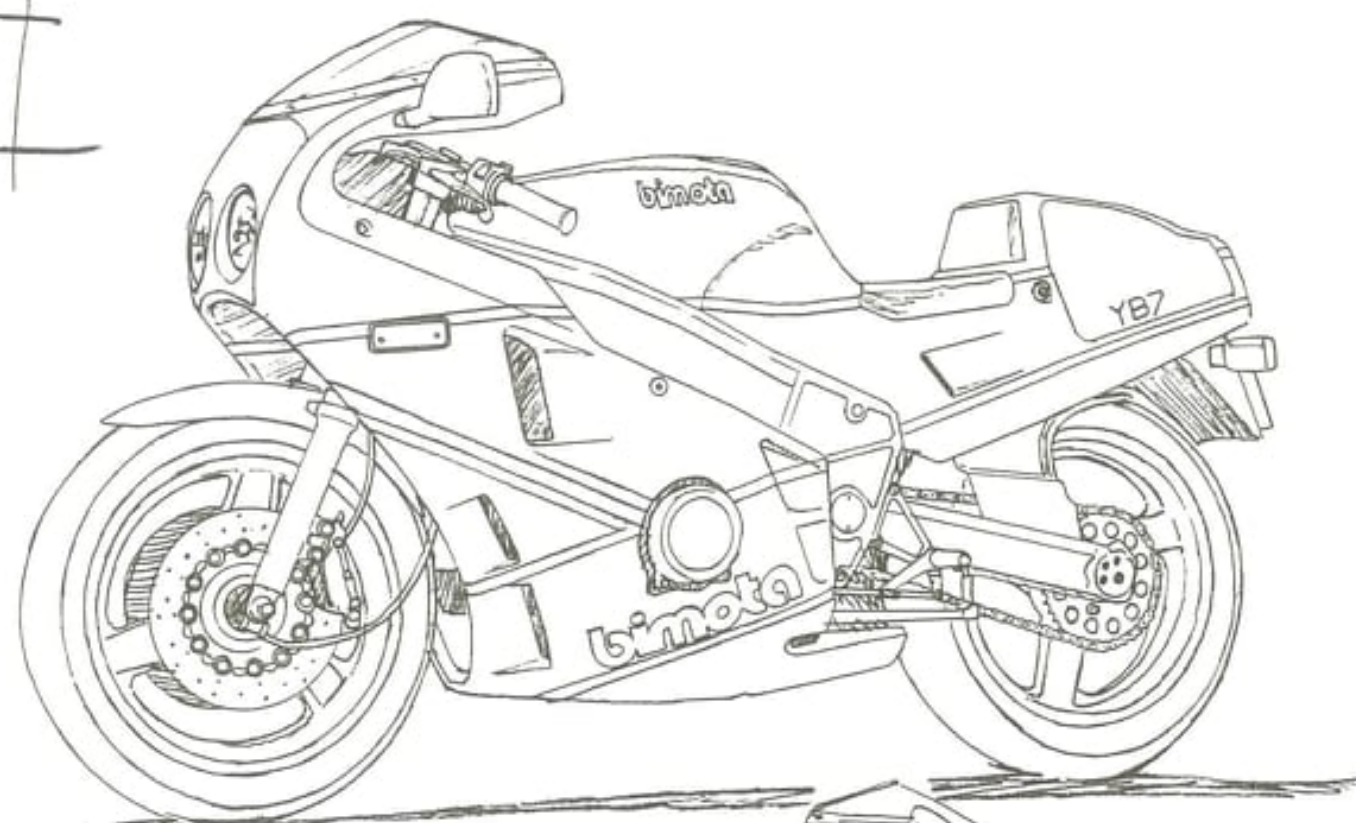
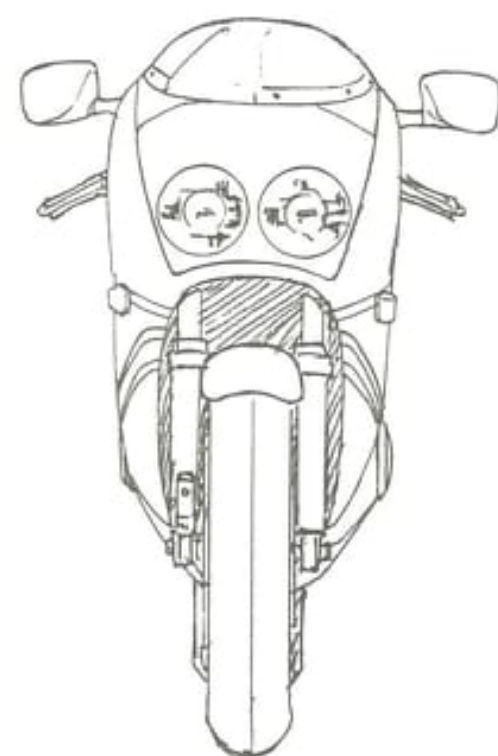


ドゥカティ 900SS

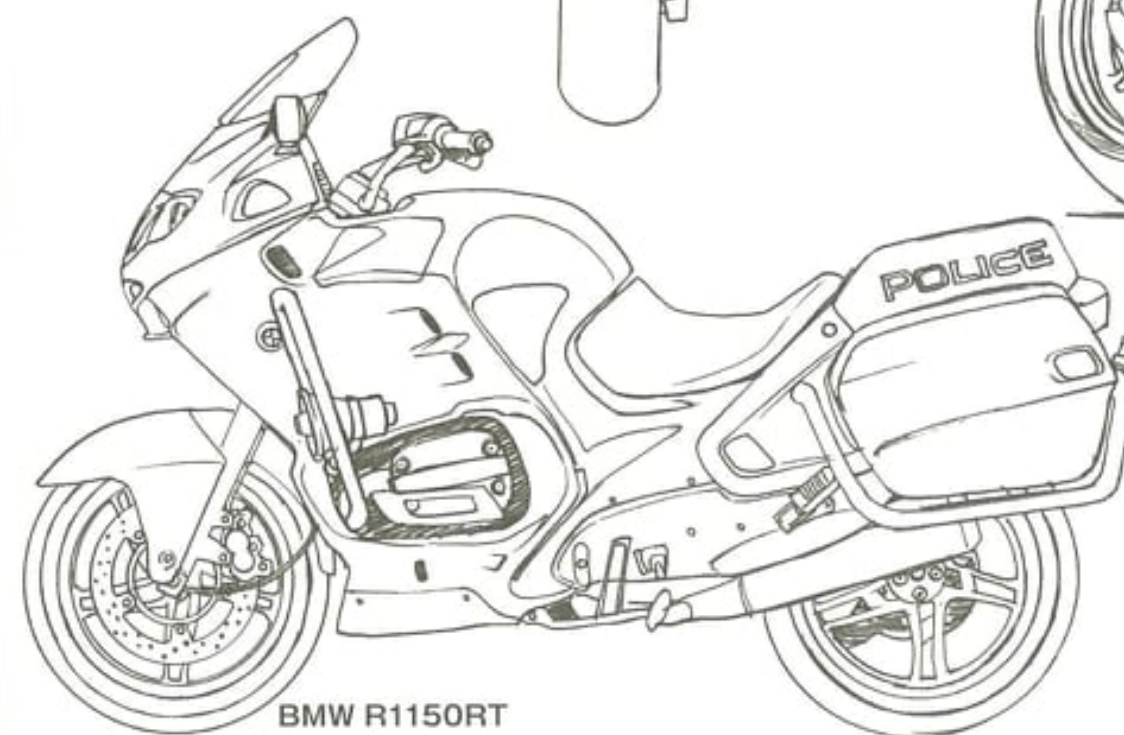
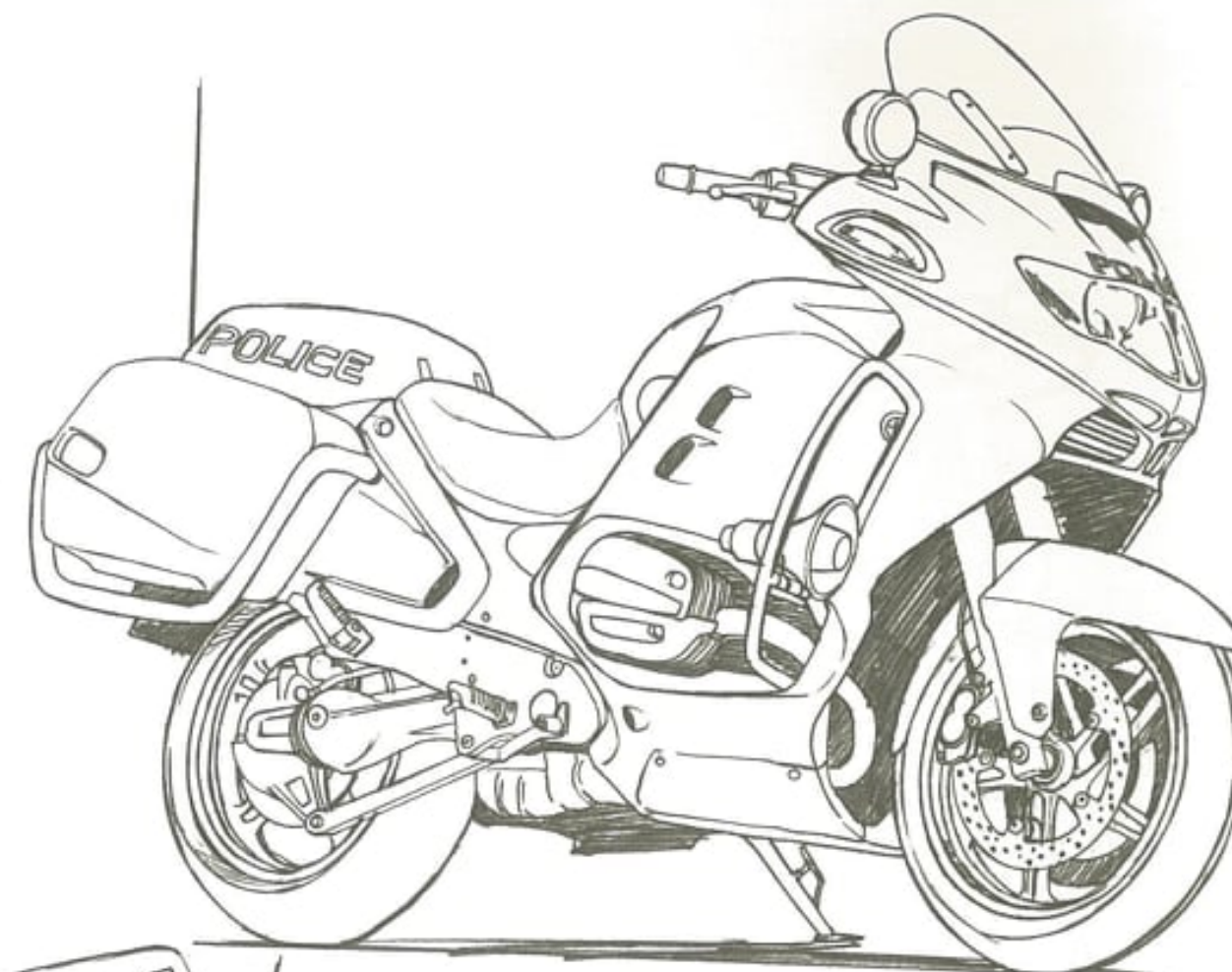
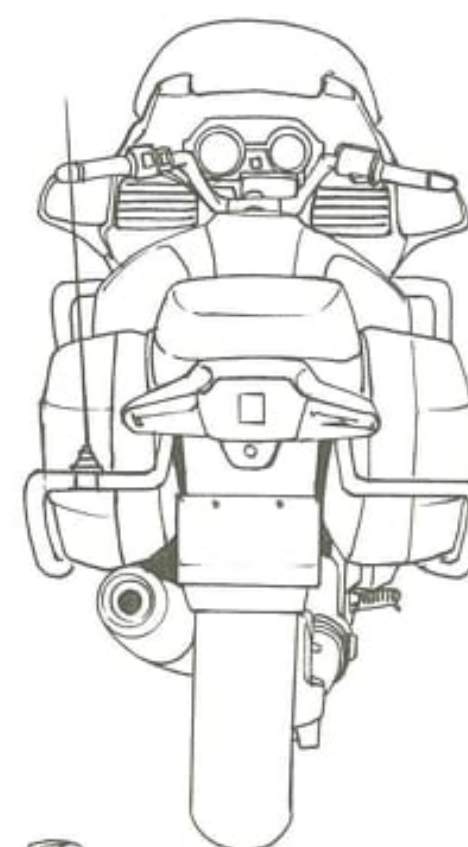


#29 国崎ハビモータ

1992.3.15 by T. MURATA
 ・62-7 YB-7

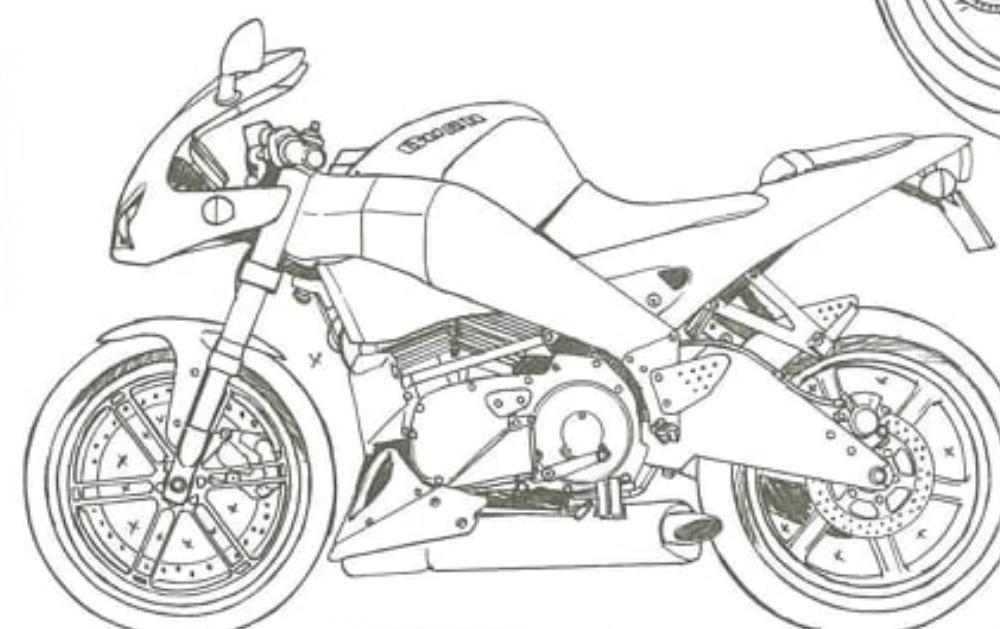
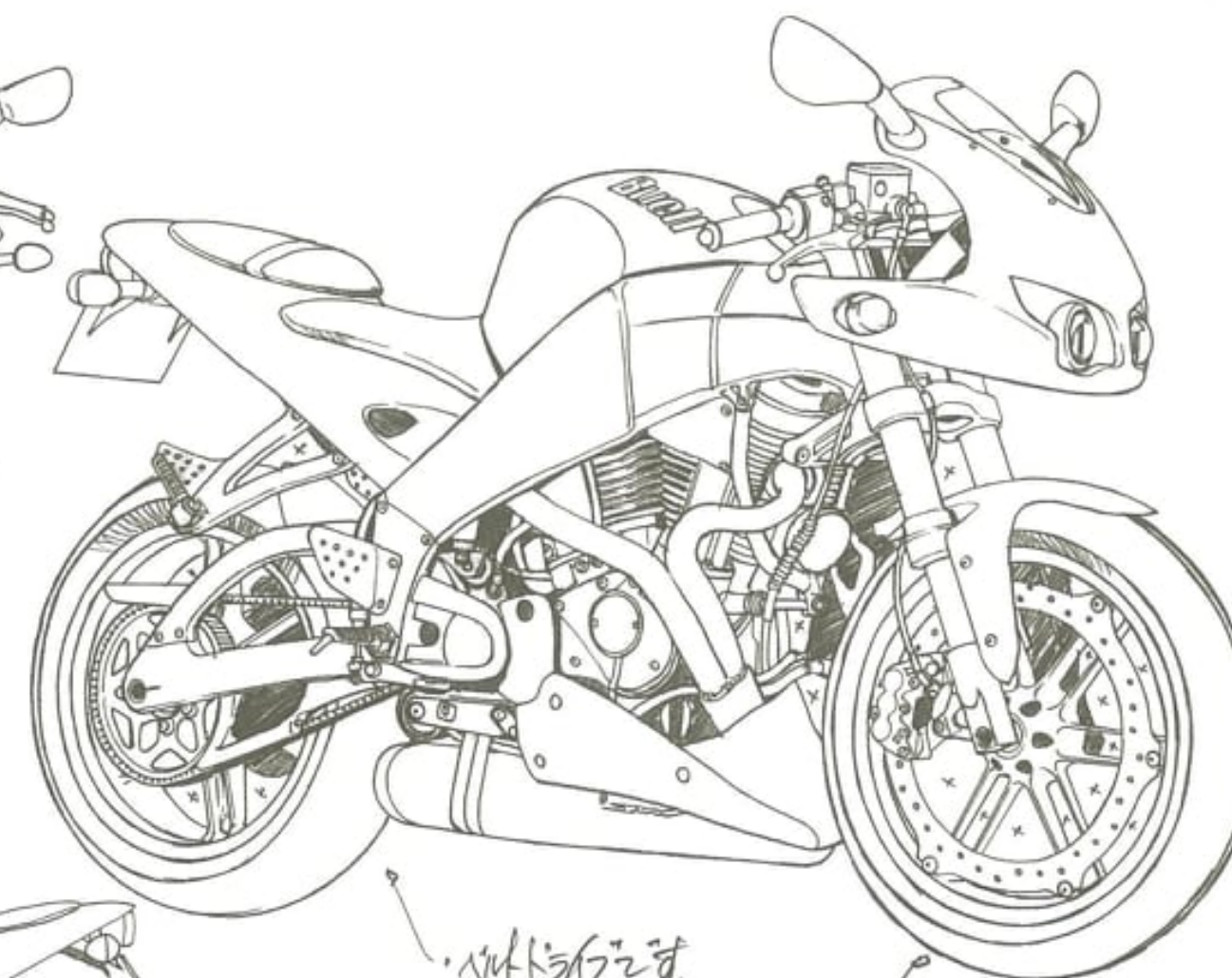
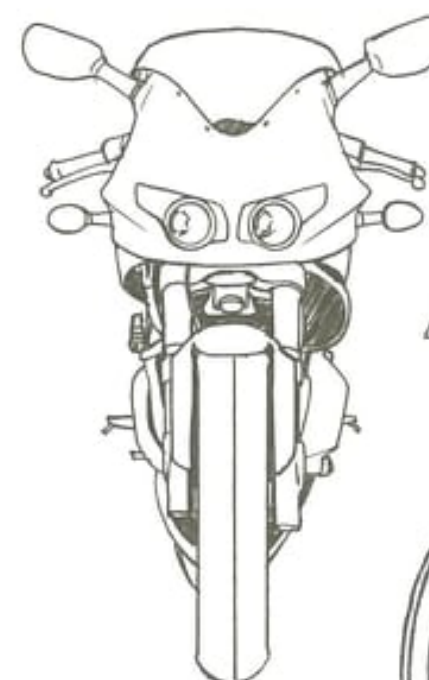
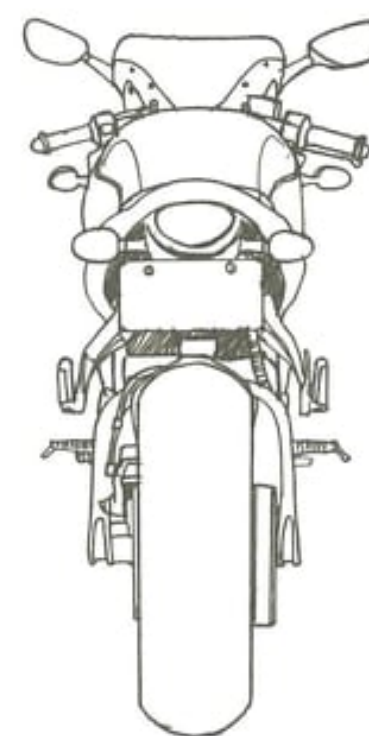


ビモータ YB7



BMW R1150RT

1992.1 by T. MURATA
 ・BMW R1150RT



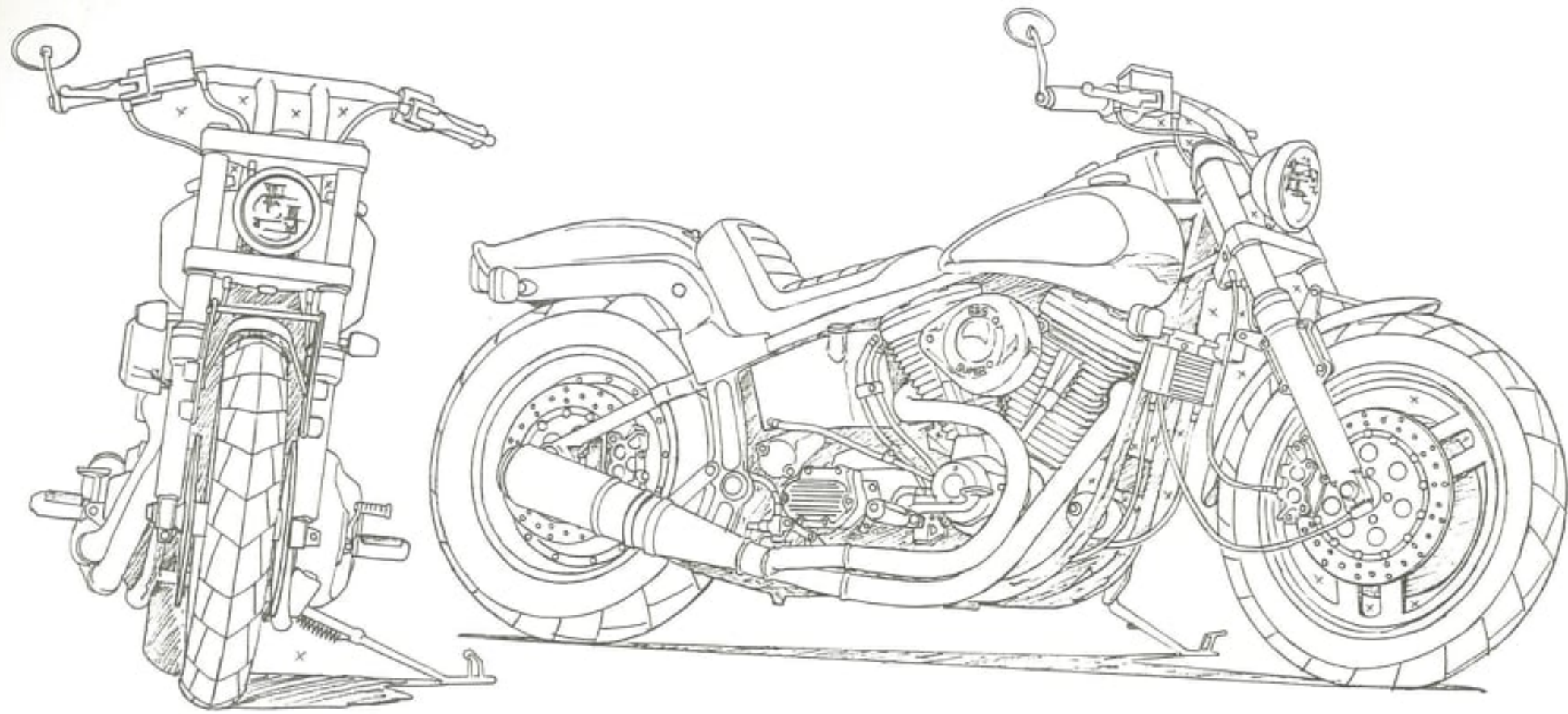
ビューエル ファイアーボルトXB9R

・カウルは
 ティンからステンレスに
 変更した。
 (エンジン)

中島ハビ

2002.1 by T. MURATA
 ・Buell Fire Bolt XB9R

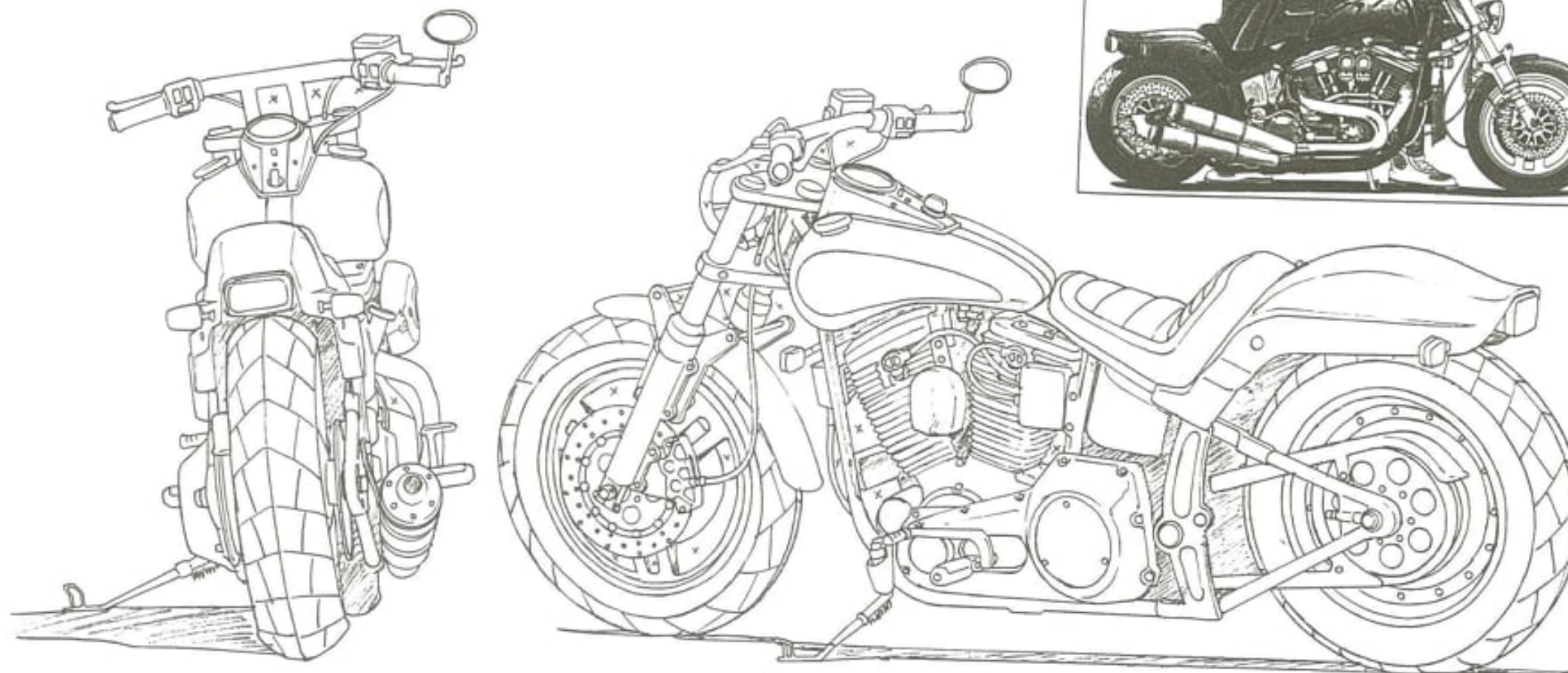
ストライク男のハーレー・デビッドソン



1996.9.29 by T. MURATA

90

ストライク男のハーレー・デビッドソン



ハーレー・デビッドソン FLSTFファットボーイカスタム

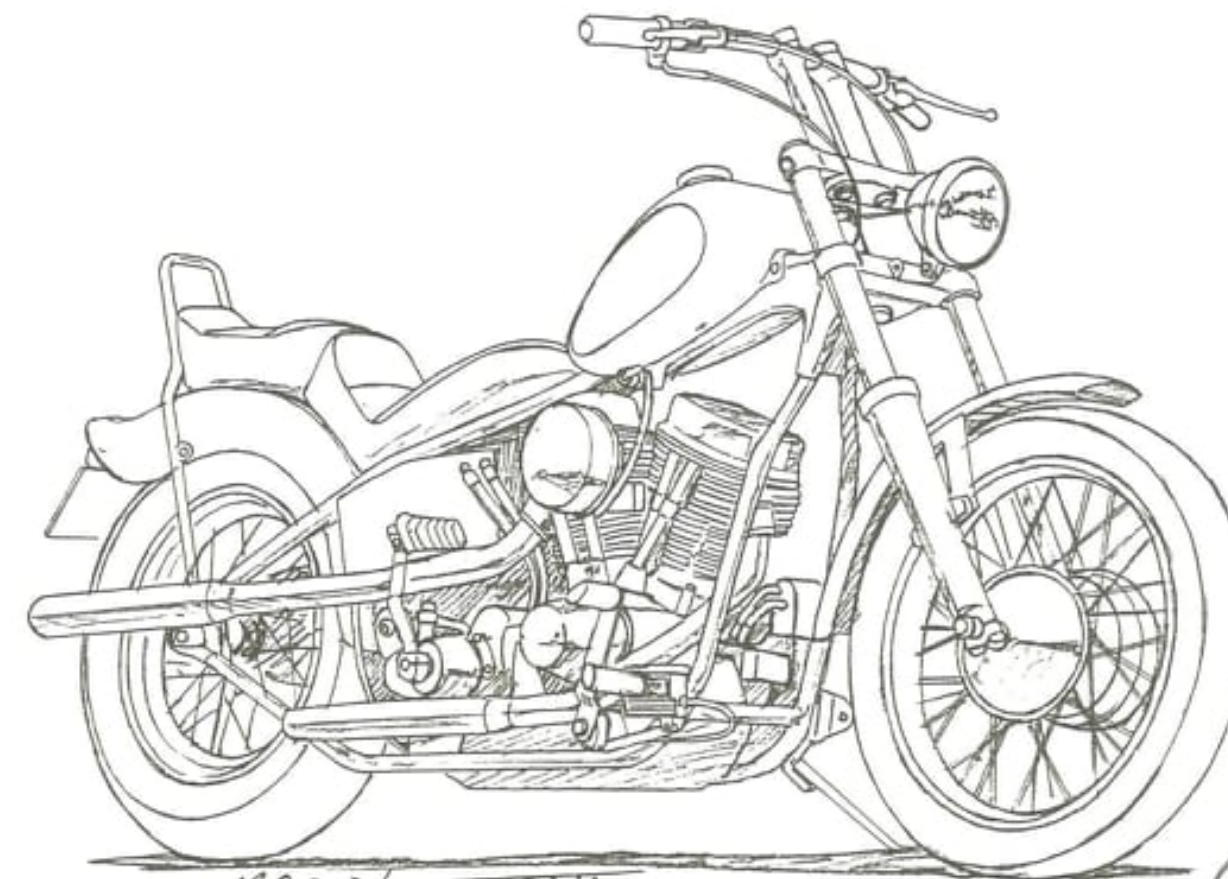
1996.9.29 by T. MURATA

(対比参考)
実際のサイズ感

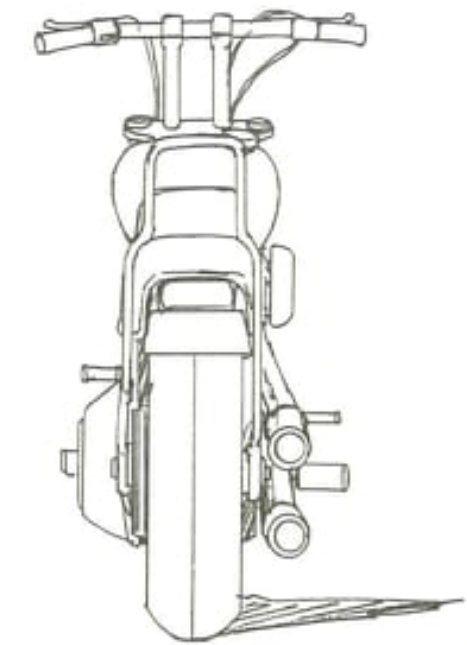


ボクサーのハーレー

イージーライダー (デニス・ホッバー仕様)
※ウィンカーは無し。



1997.2.2 by T. MURATA

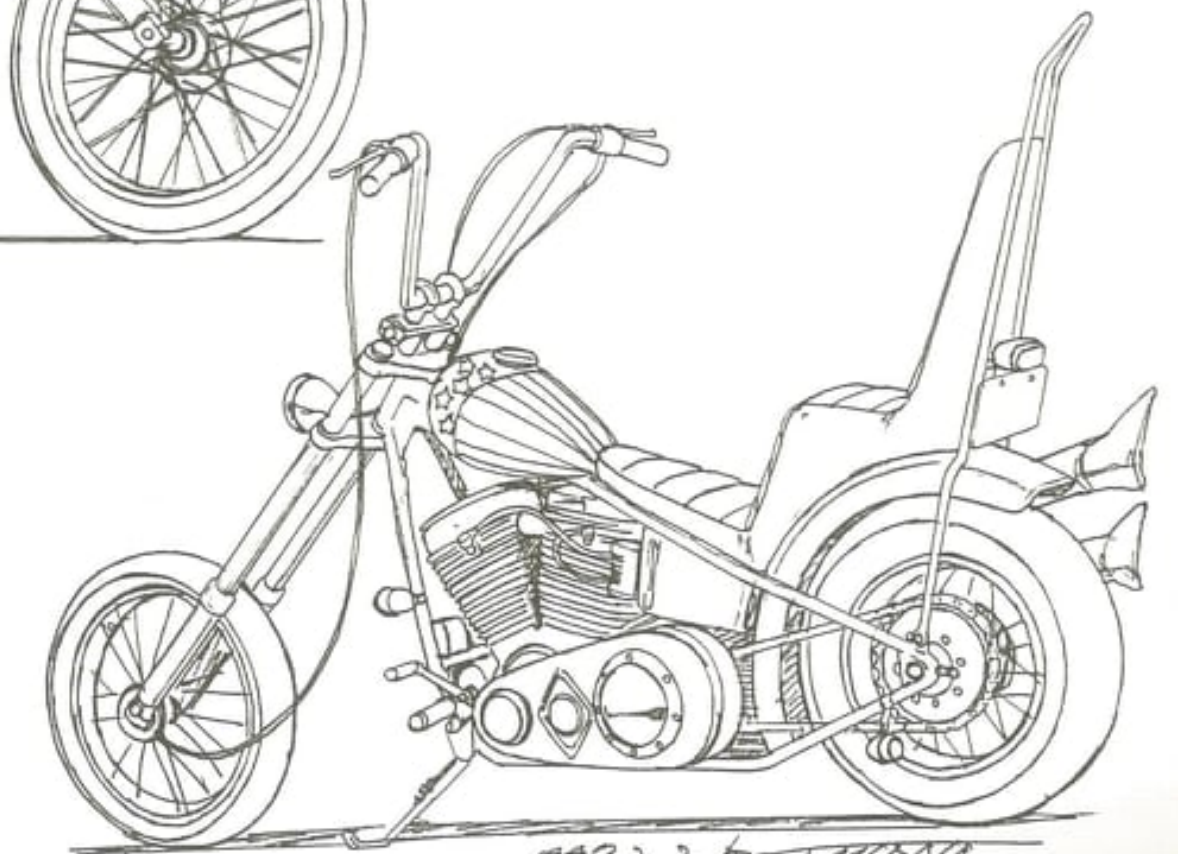
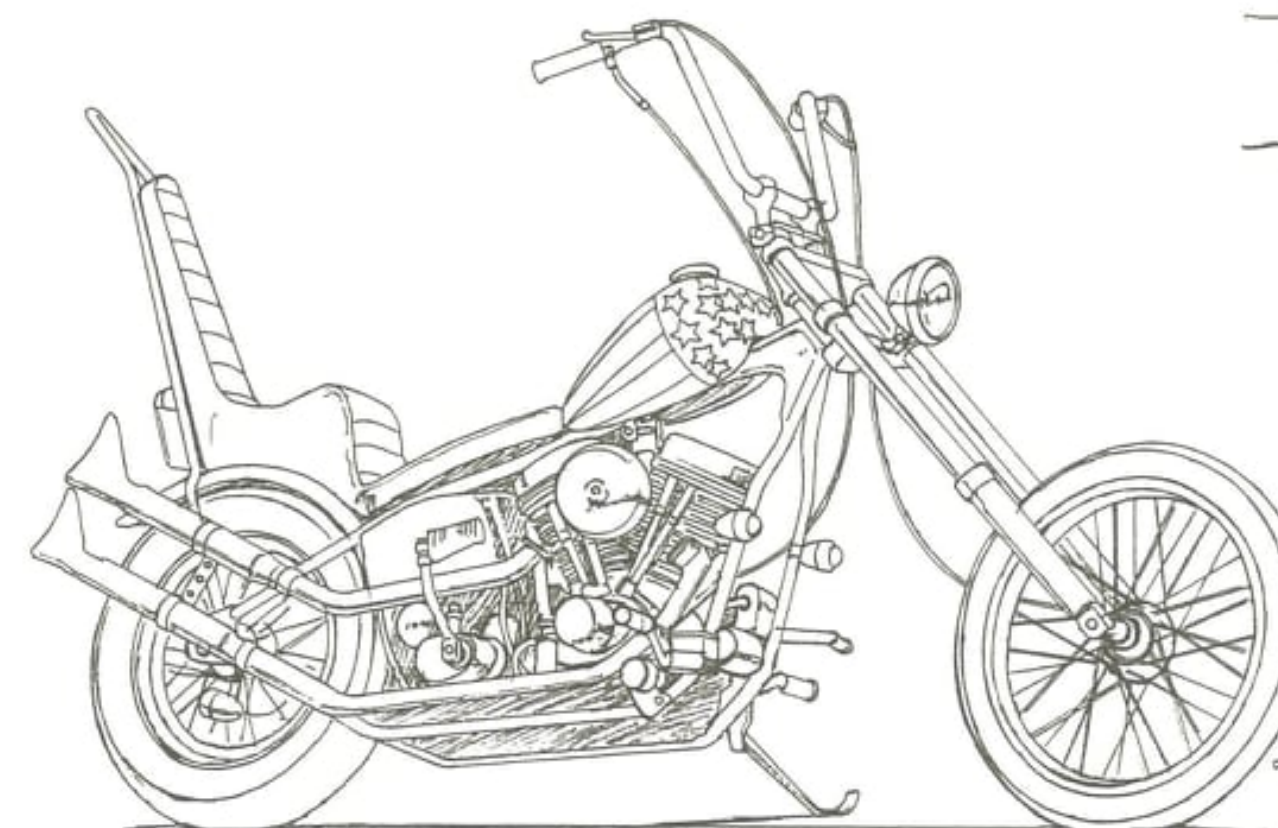


ハーレー・デビッドソン イージーライダー [デニス・ホッバー仕様]

91

デニス・ハーレー

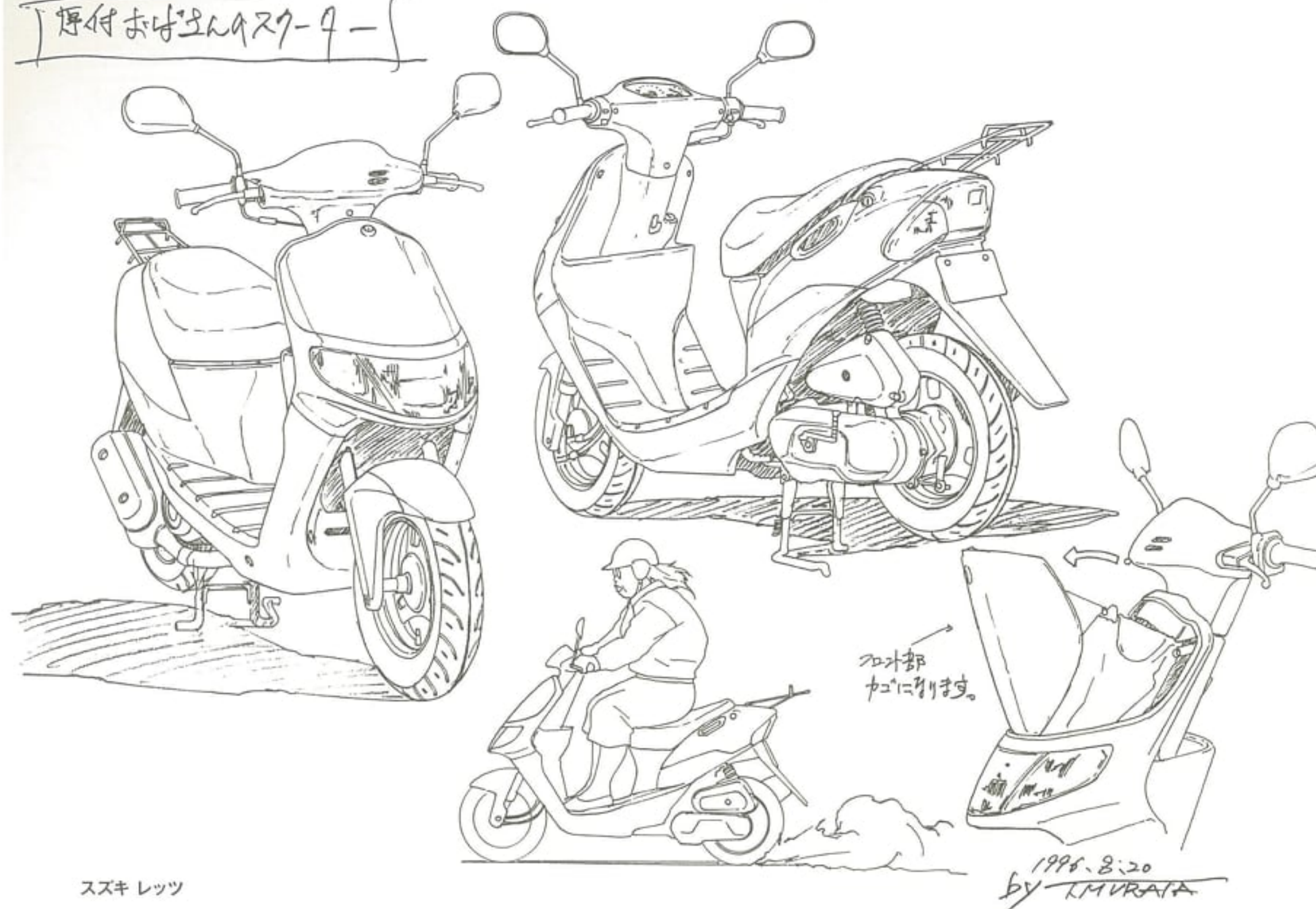
・イージーライダー (ビター・フォンダ仕様)
・フロントにはイージーライダーのデモグラフィック



1997.2.2 by T. MURATA

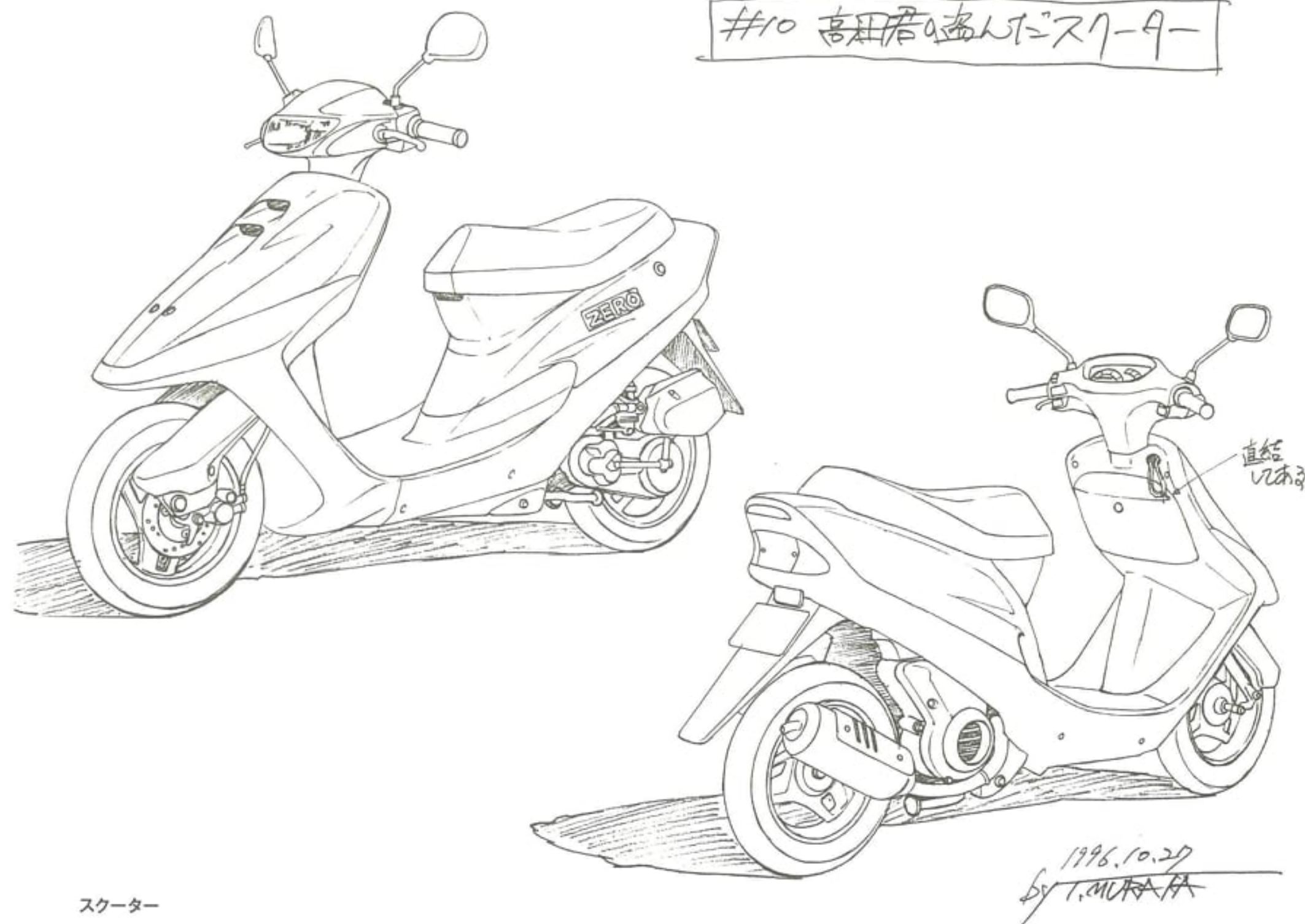
ハーレー・デビッドソン イージーライダー [ビター・フォンダ仕様]

原付おかしんがスクーター



スズキ レッツ

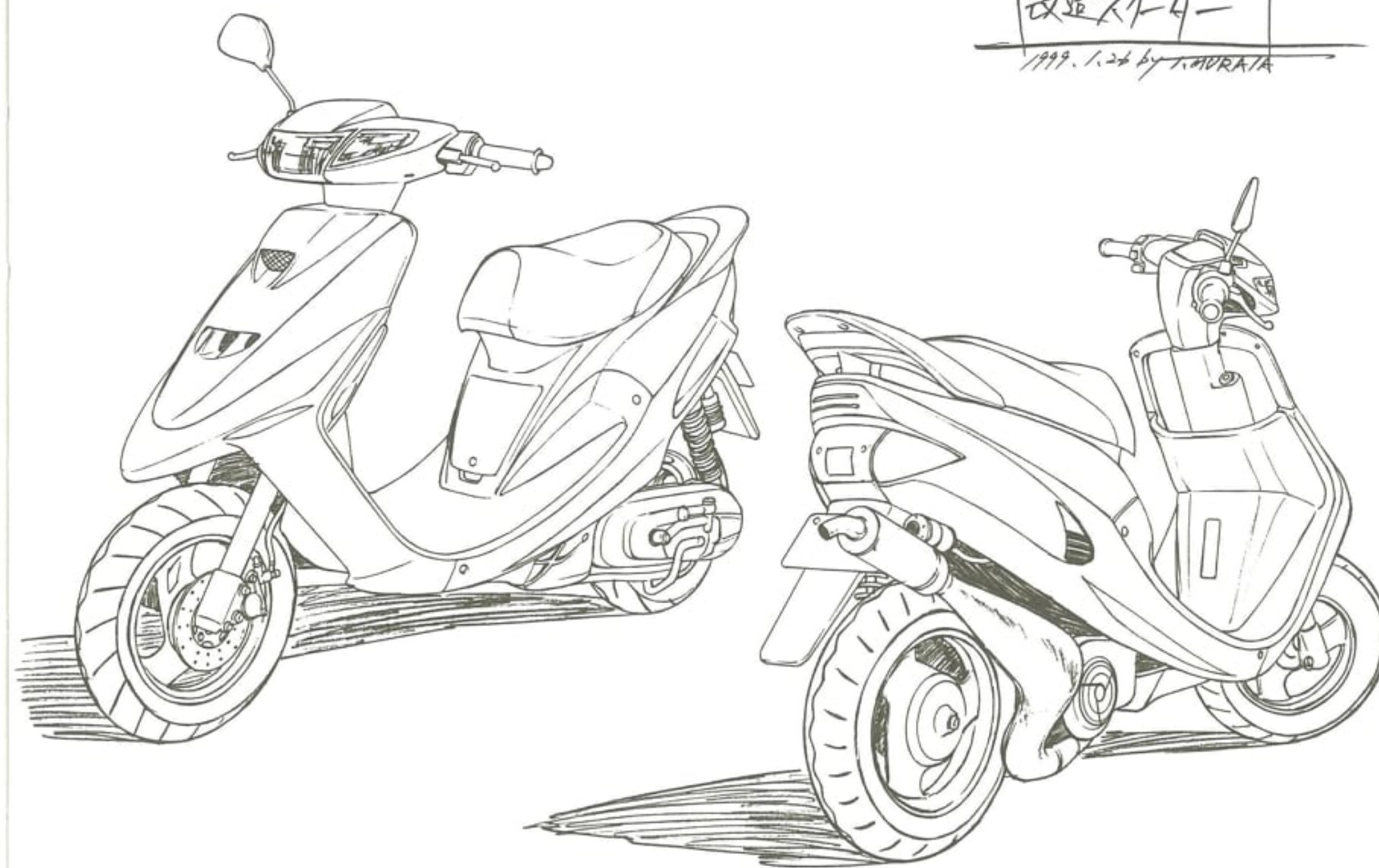
#10 喜田君のあんこスクーター



スクーター

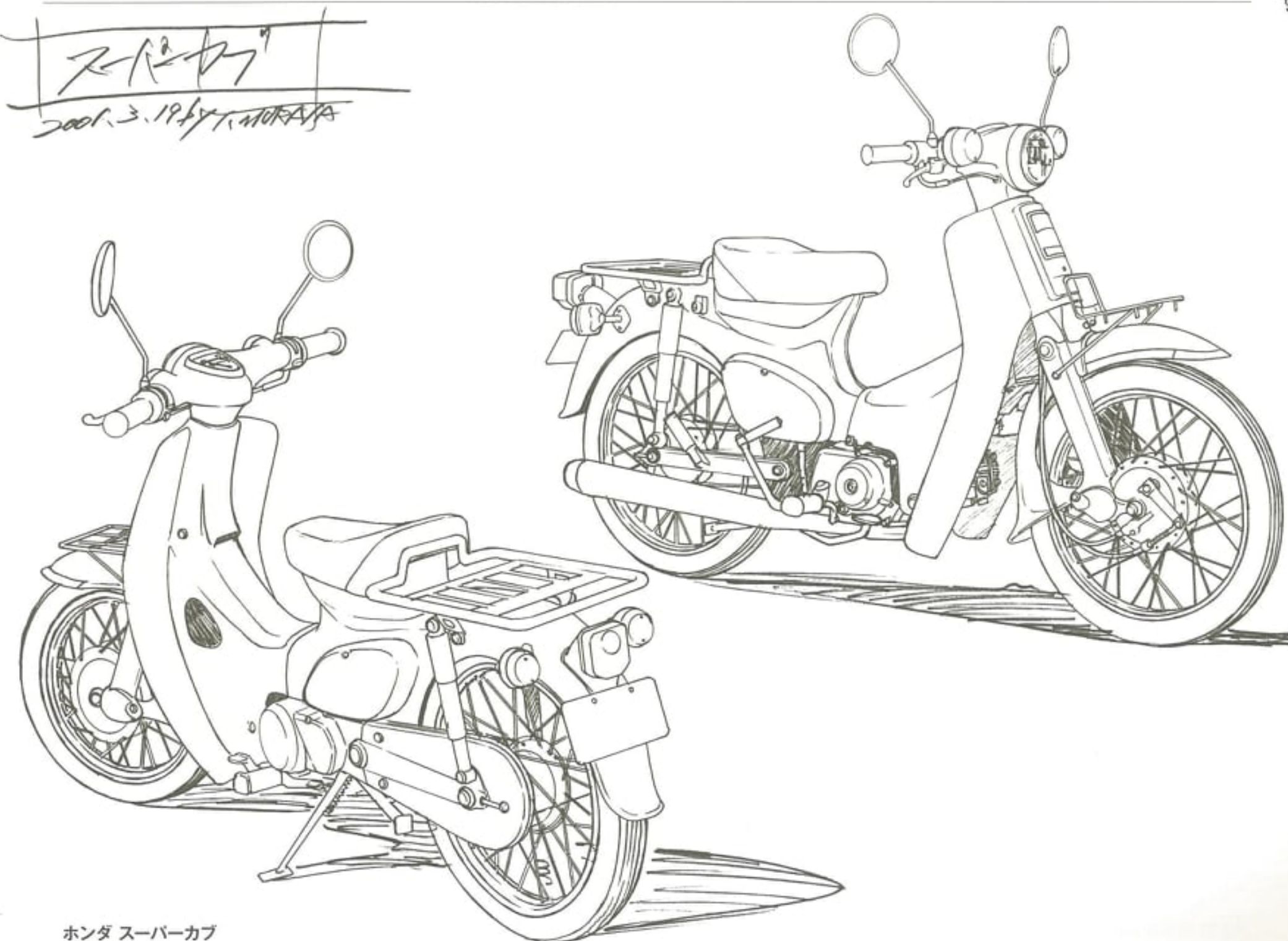
改造スクーター

1999.1.26 by T. MURATA

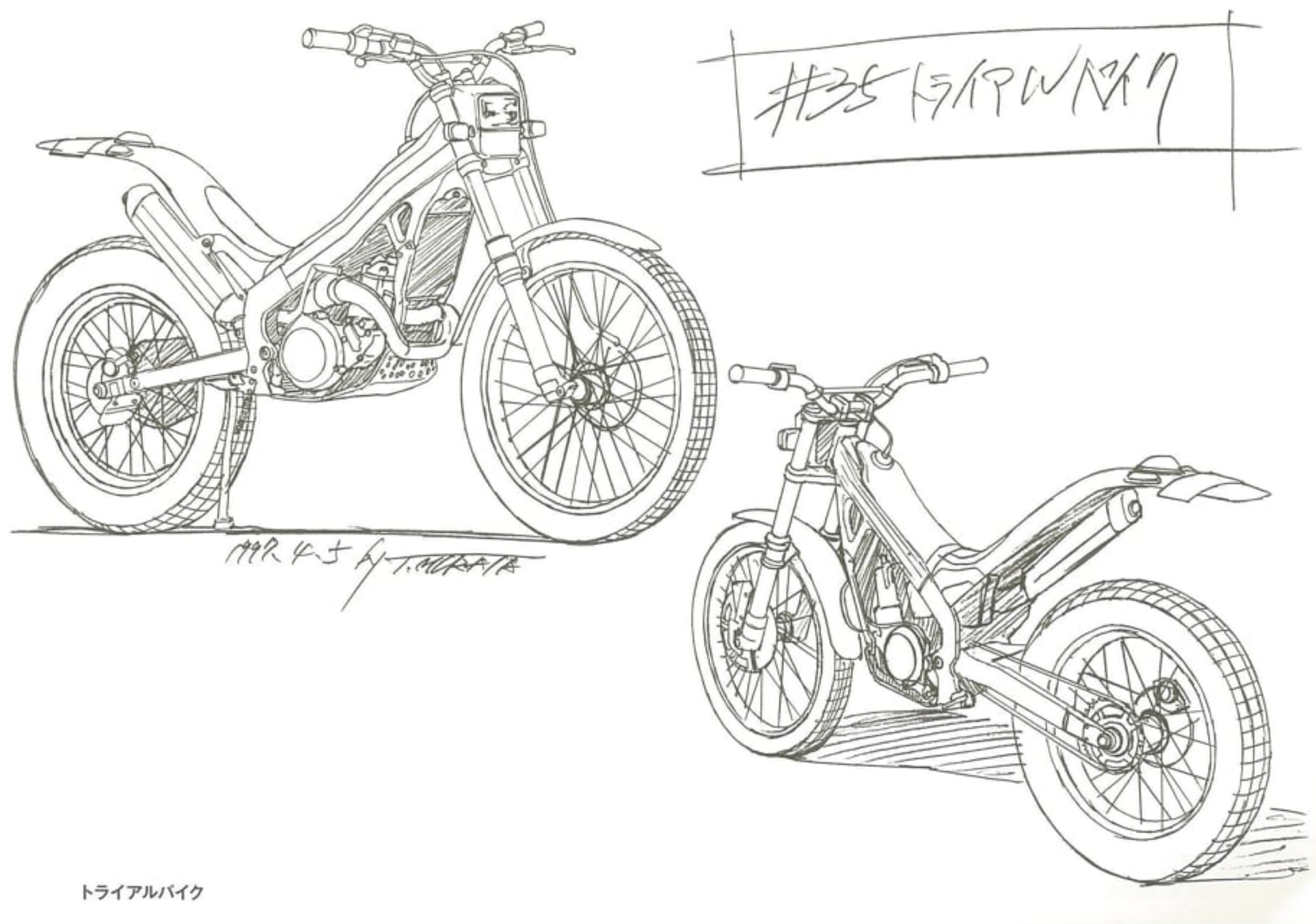
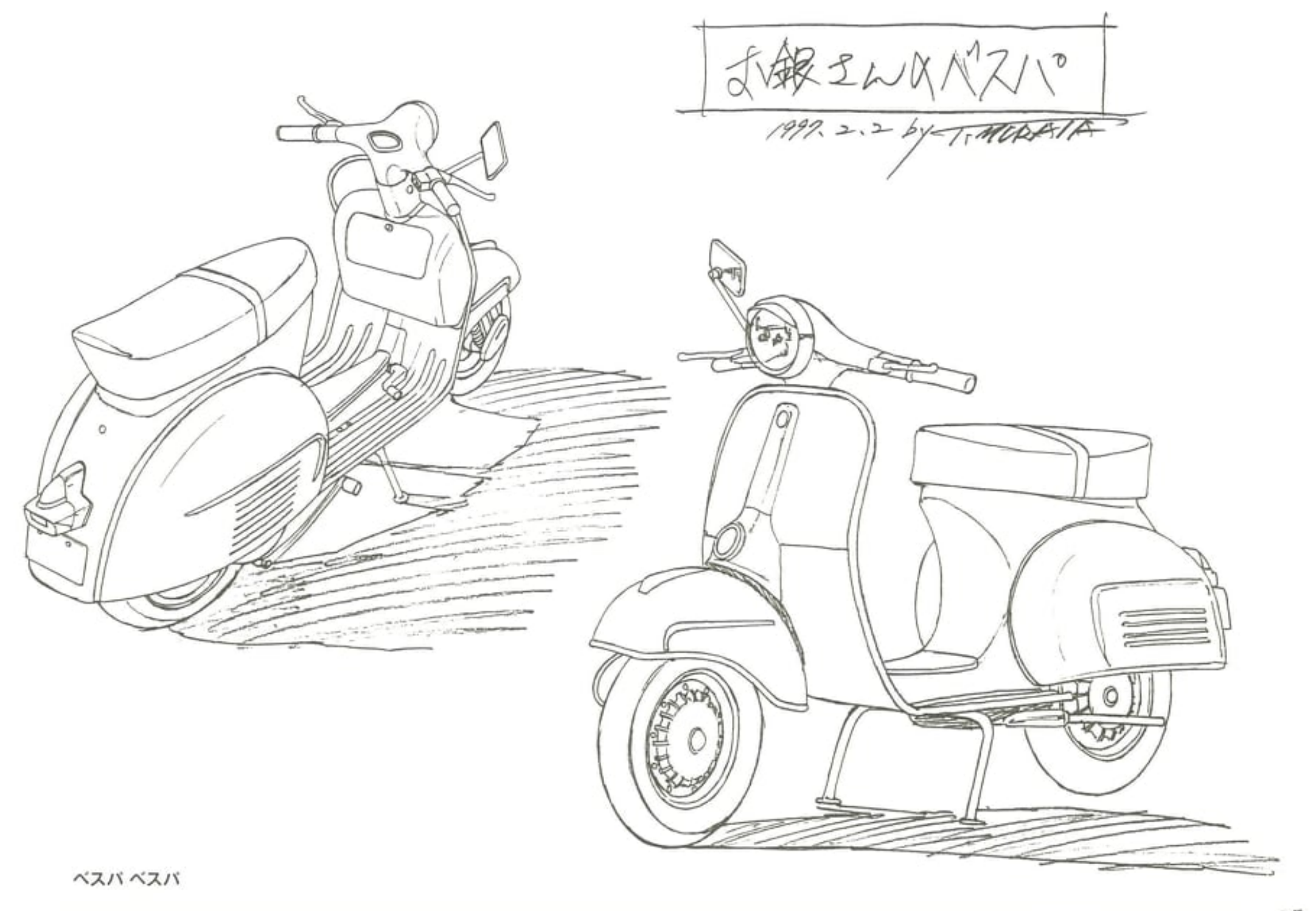
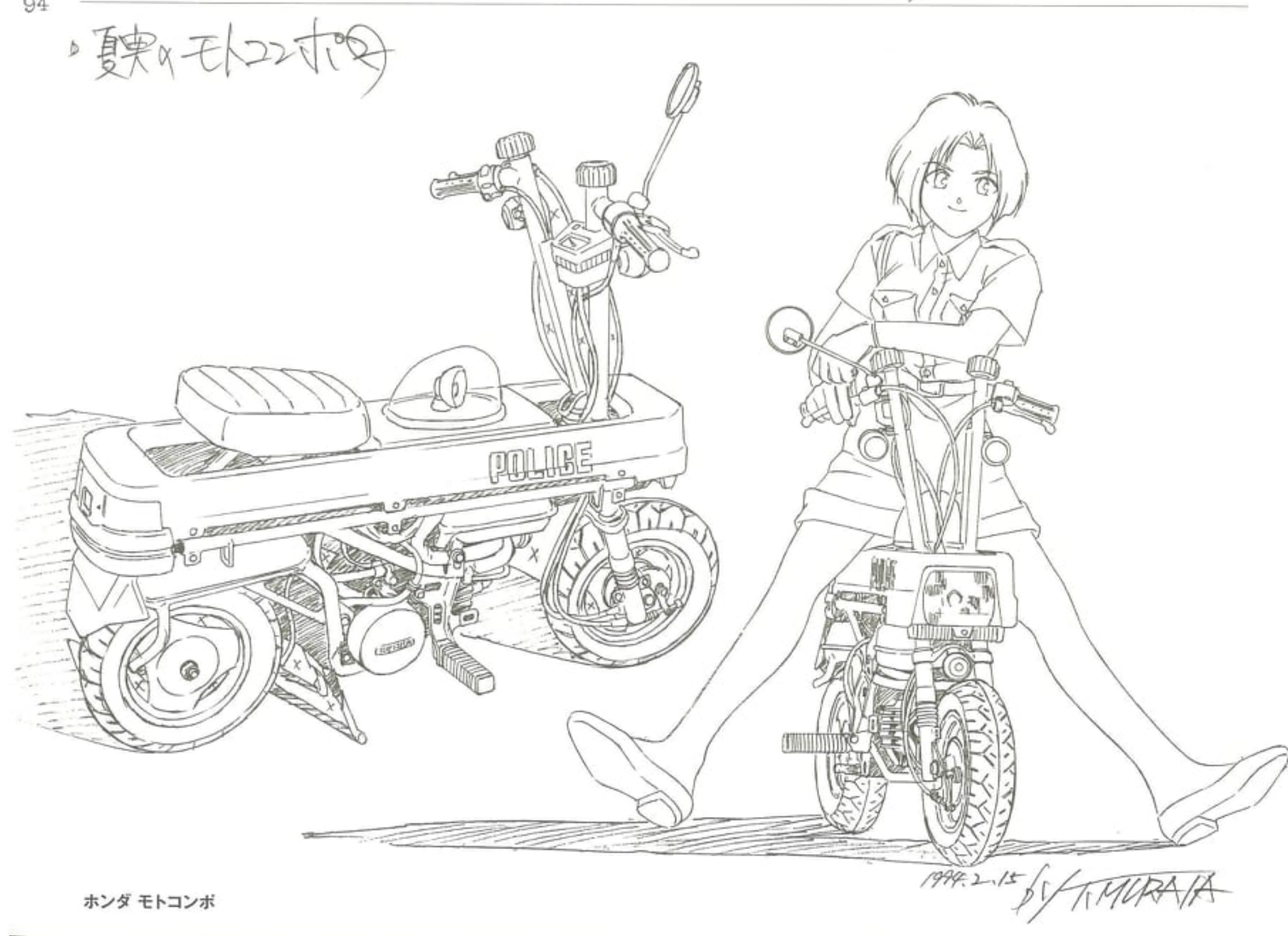
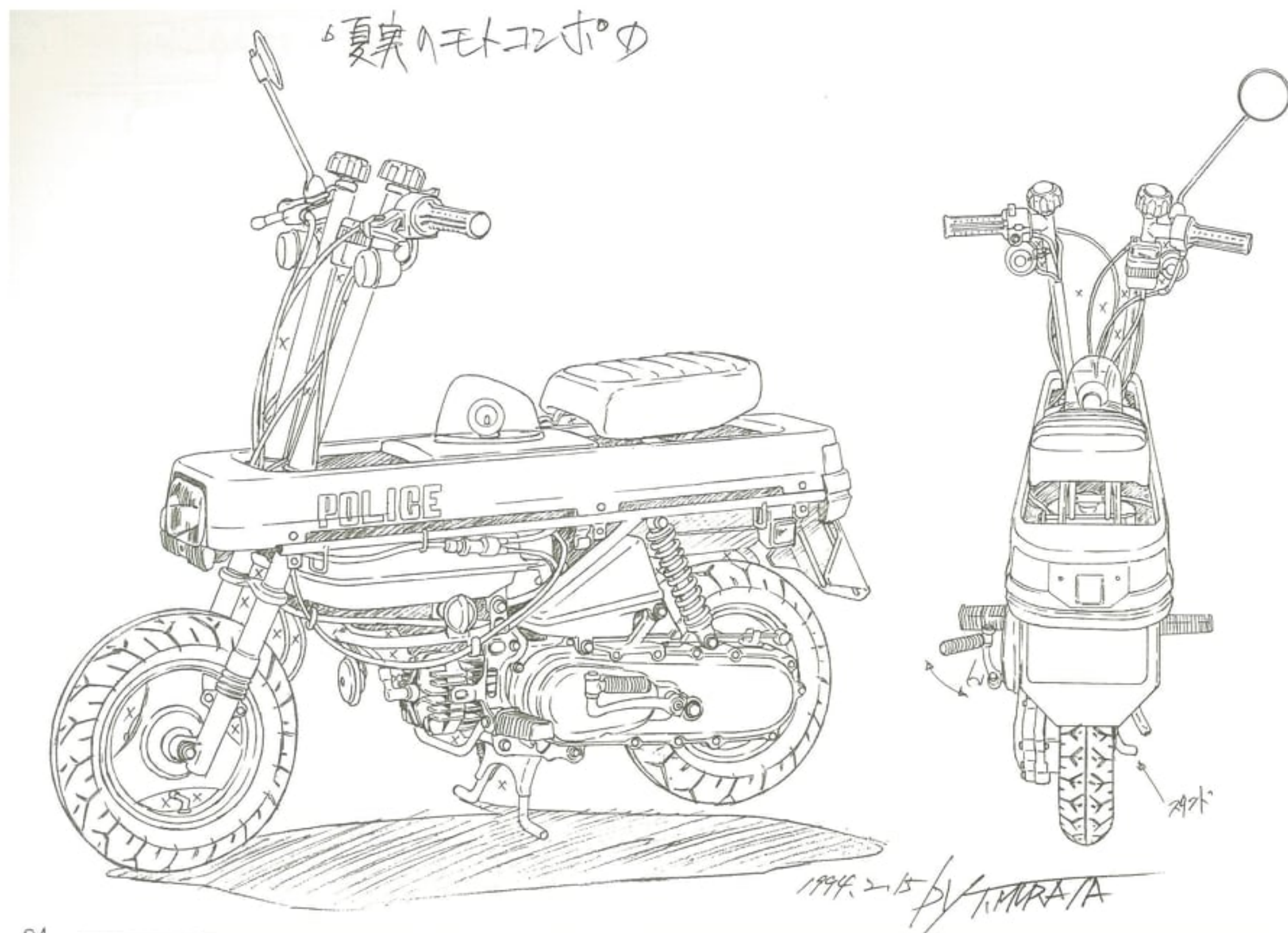


ヤマハ ジョグ

スーパーカブ
2001.3.19 by T. MURATA



ホンダ スーパーカブ





#11 墨東線

2001.4.21 by T. MURATA



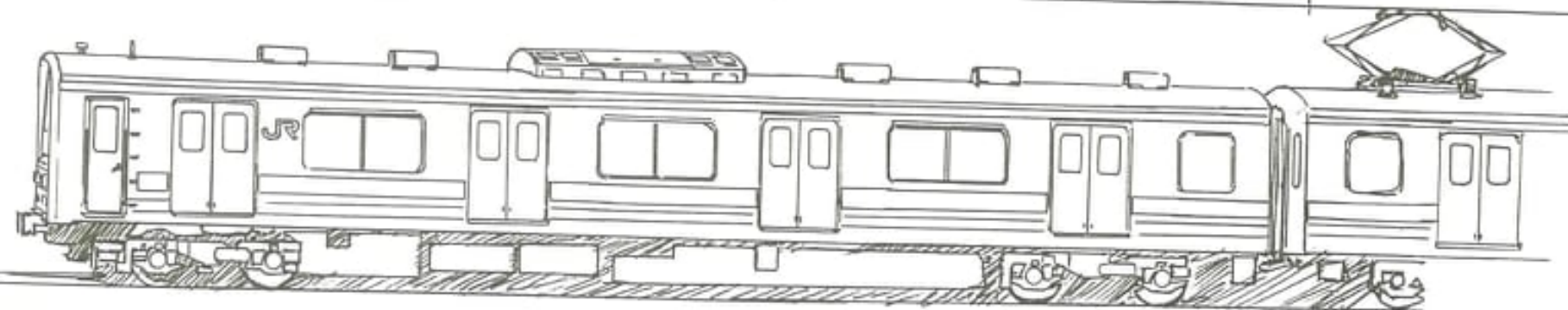
東京都交通局 12-000形



この形は
コウチカワ262号

#37 山手線

1999.4.17 by T. MURATA



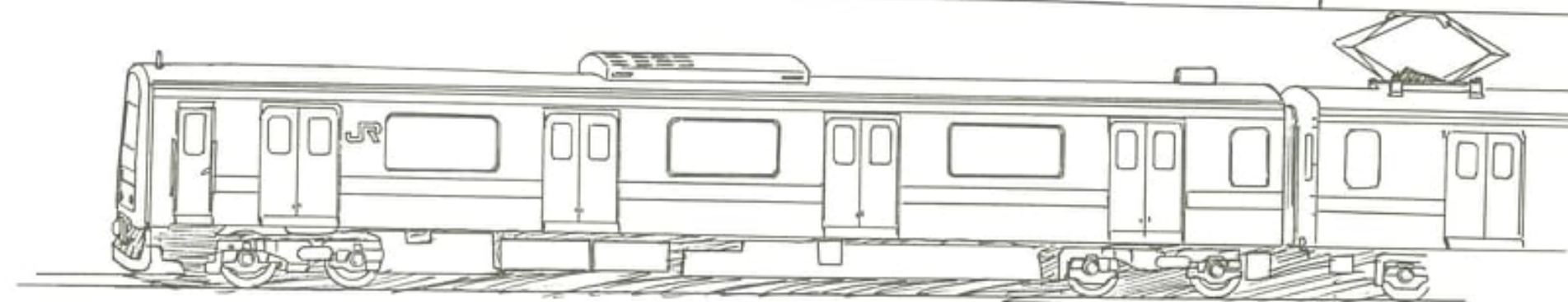
JR東日本 205系



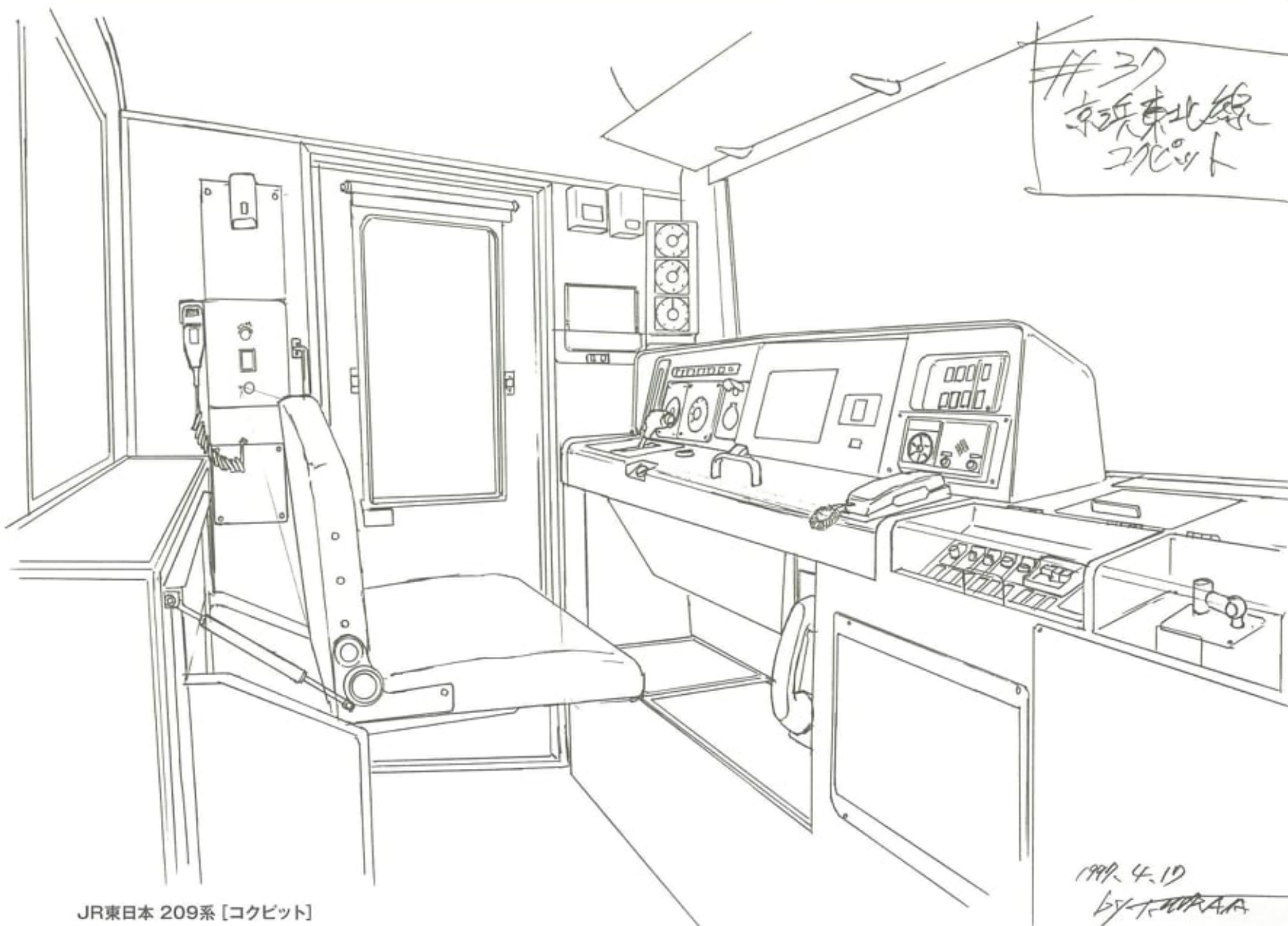
#37

京浜東北線

1999.4.17 by T. MURATA



JR東日本 209系

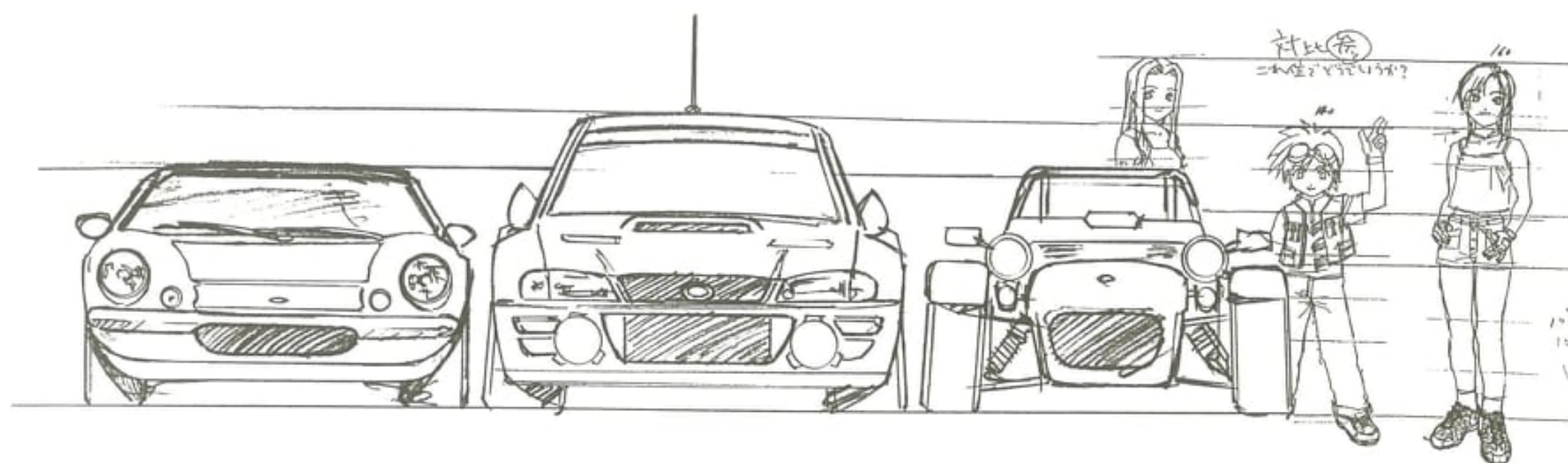


#37
京浜東北線
コクピット

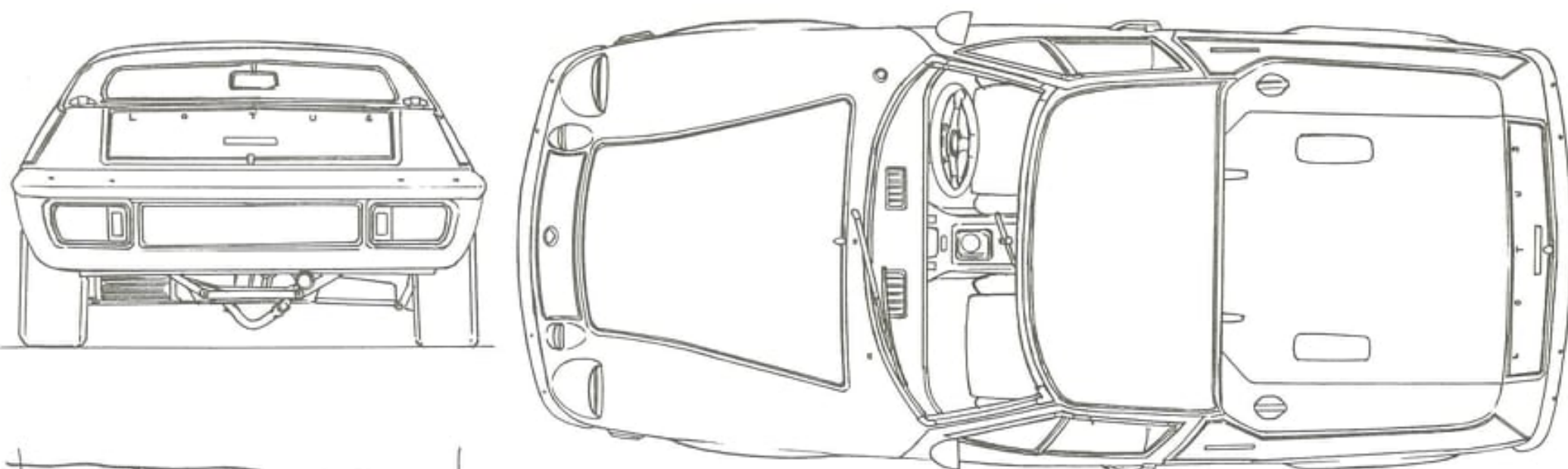
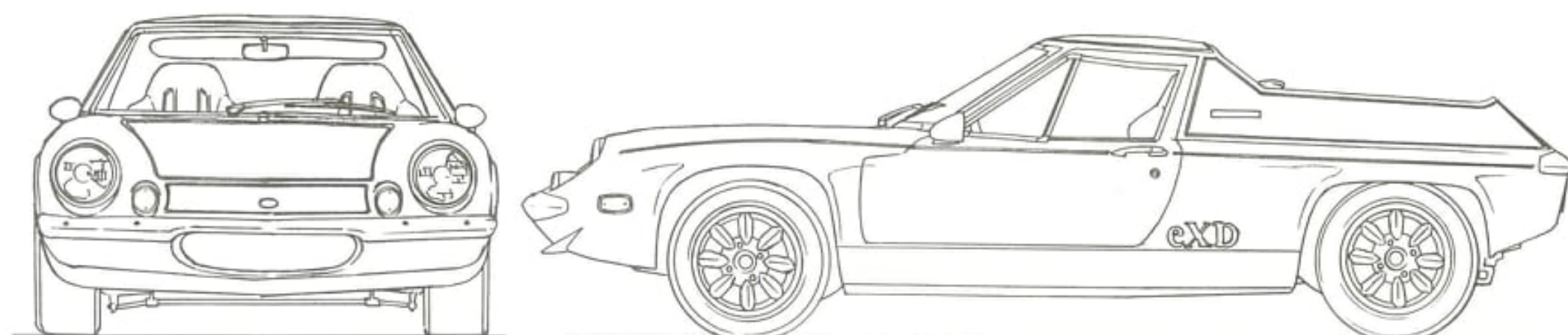
JR東日本 209系 [コクピット]

1999.4.17
by T. MURATA

3人と車の対比参考

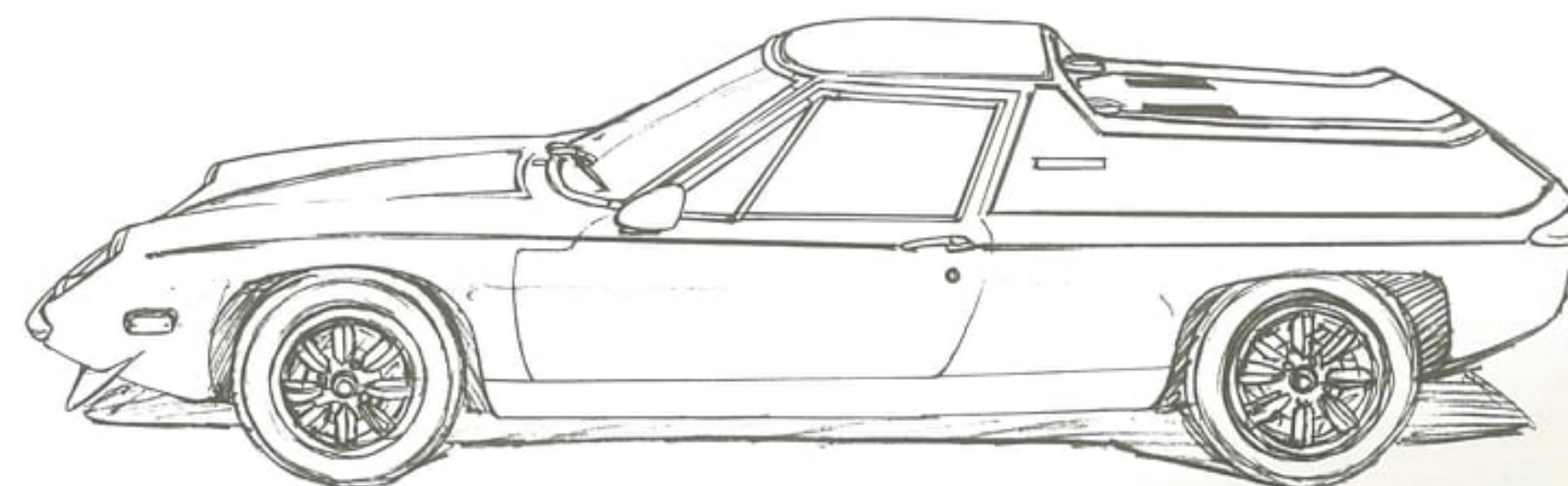
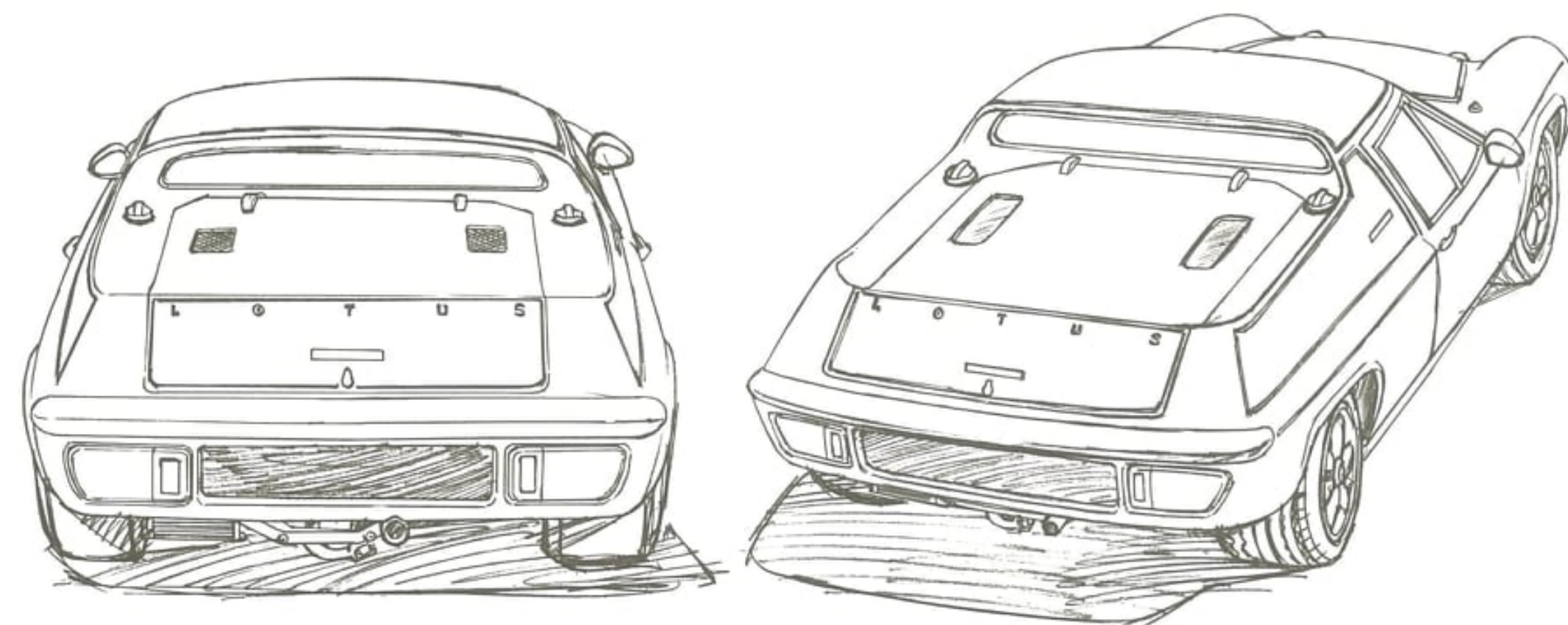
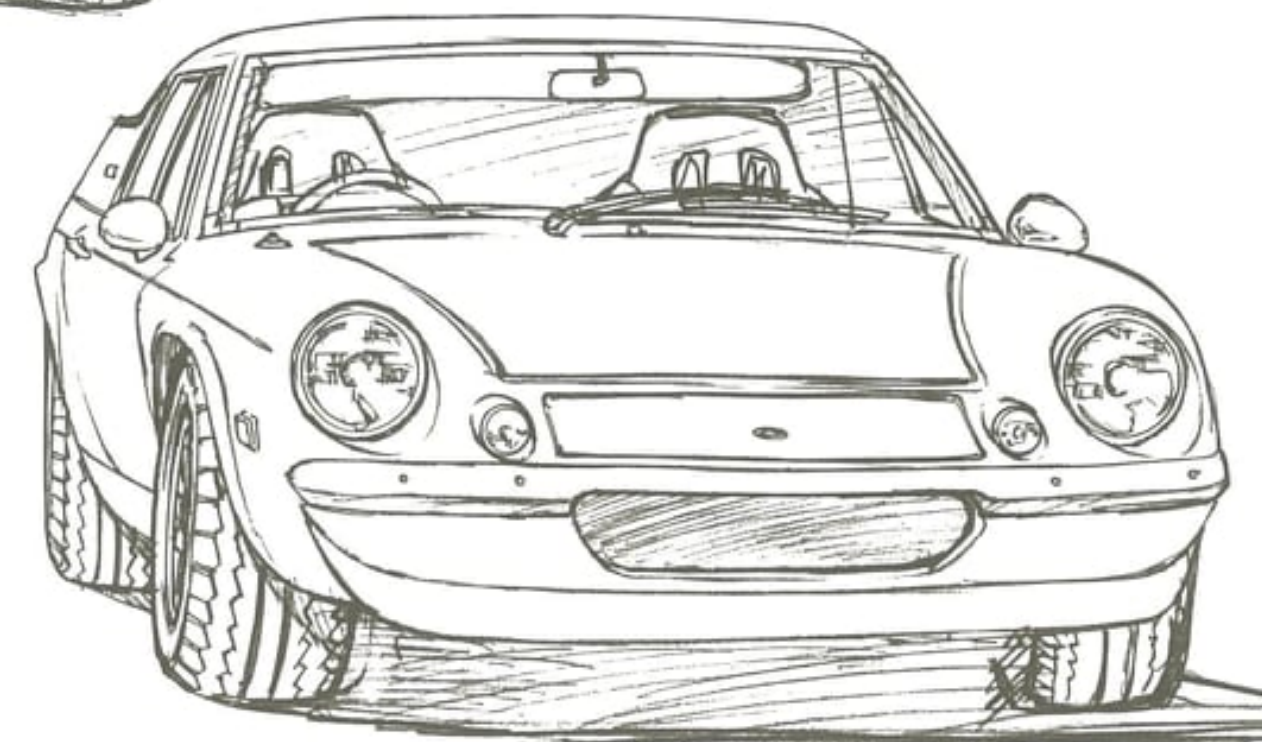
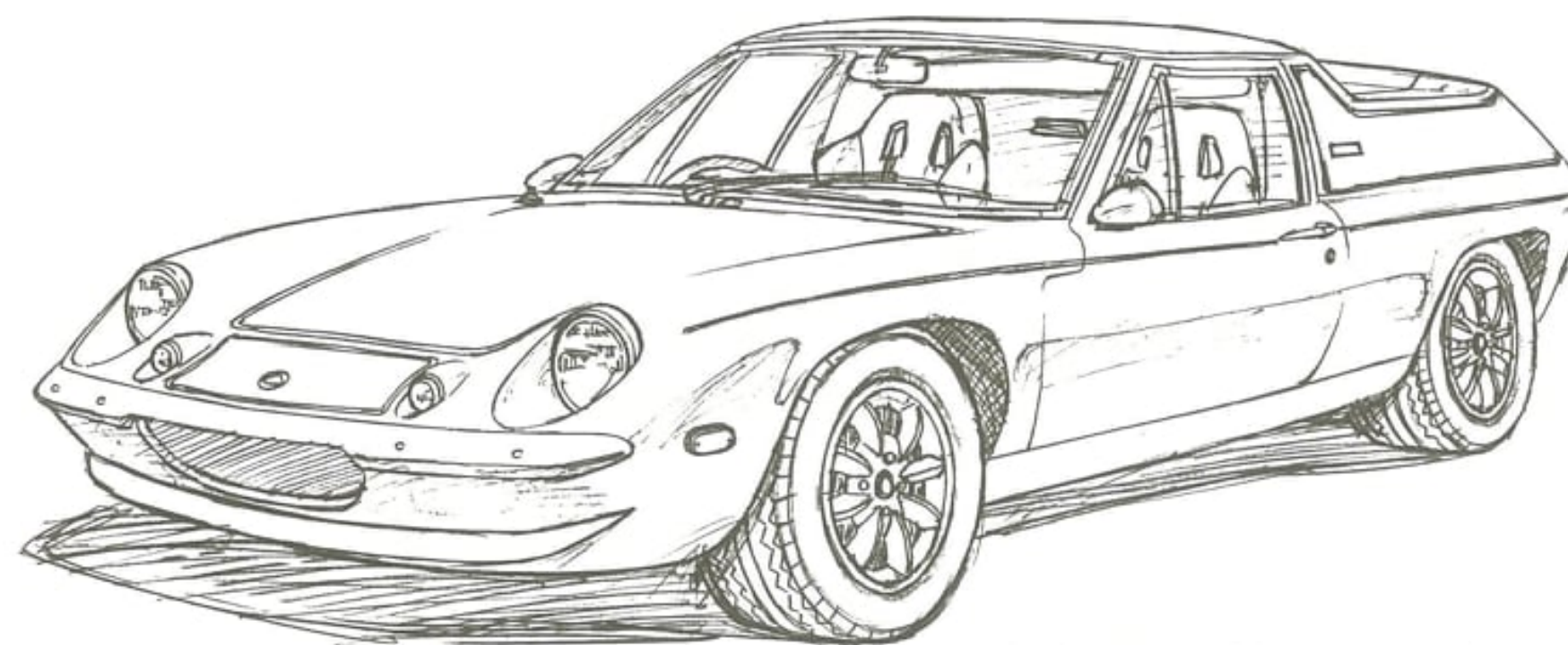


3人と車の対比参考



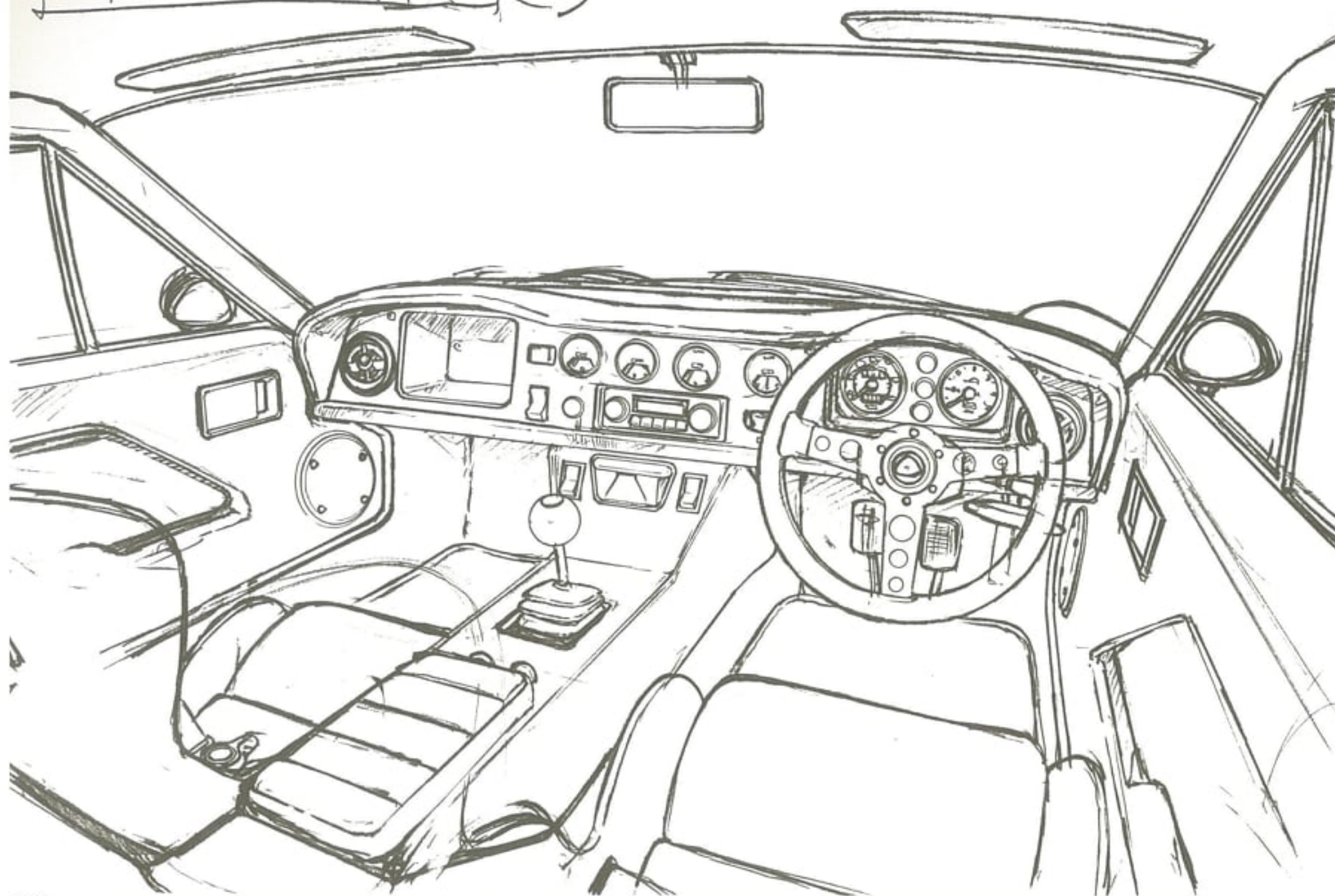
ロータスヨーロッパSP 3面図
2000.10.2 by K. MORIYA

ロータス ヨーロッパ [四面図]



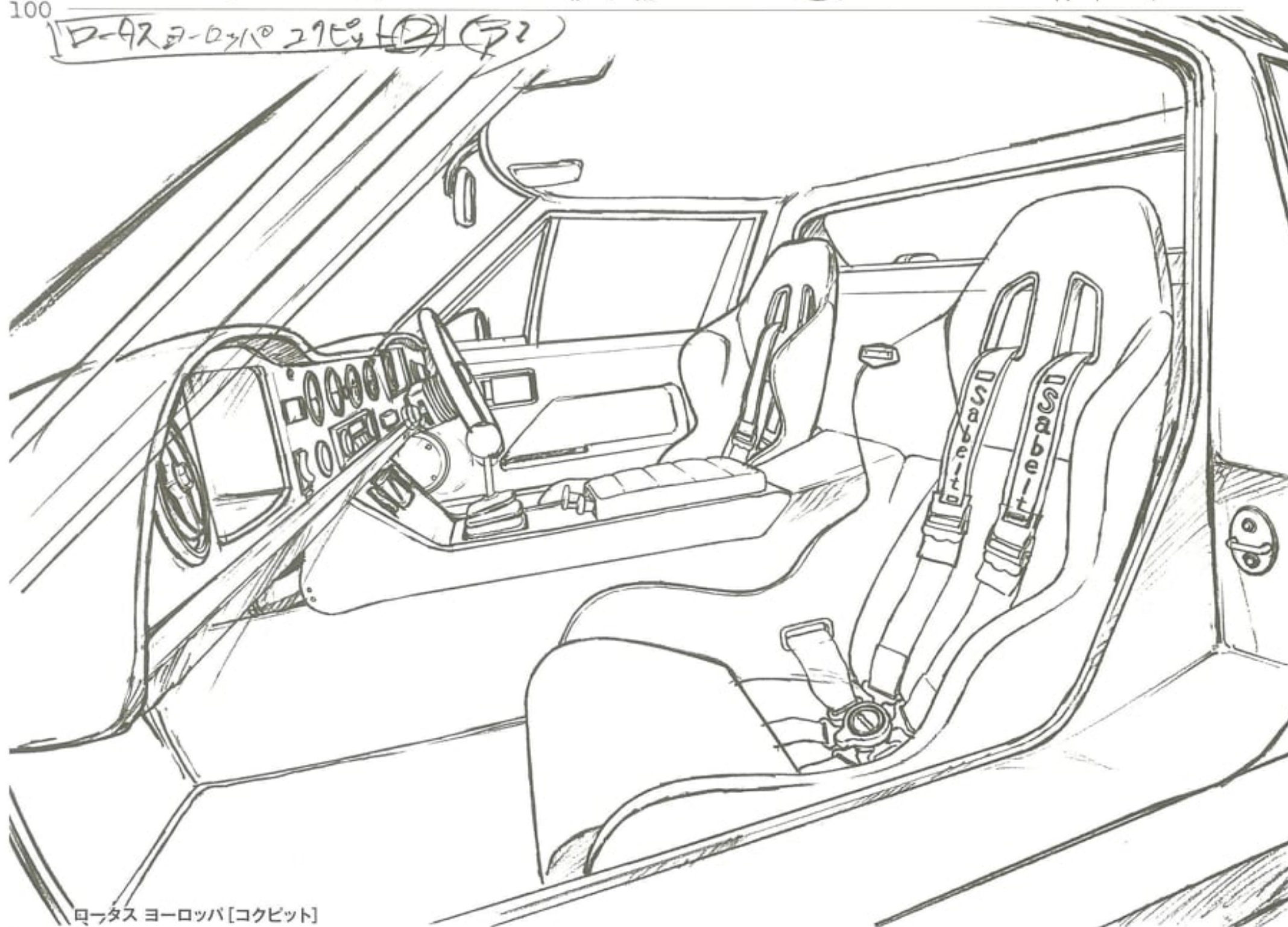
ロータス ヨーロッパ

トヨタヨーロッパ (3)



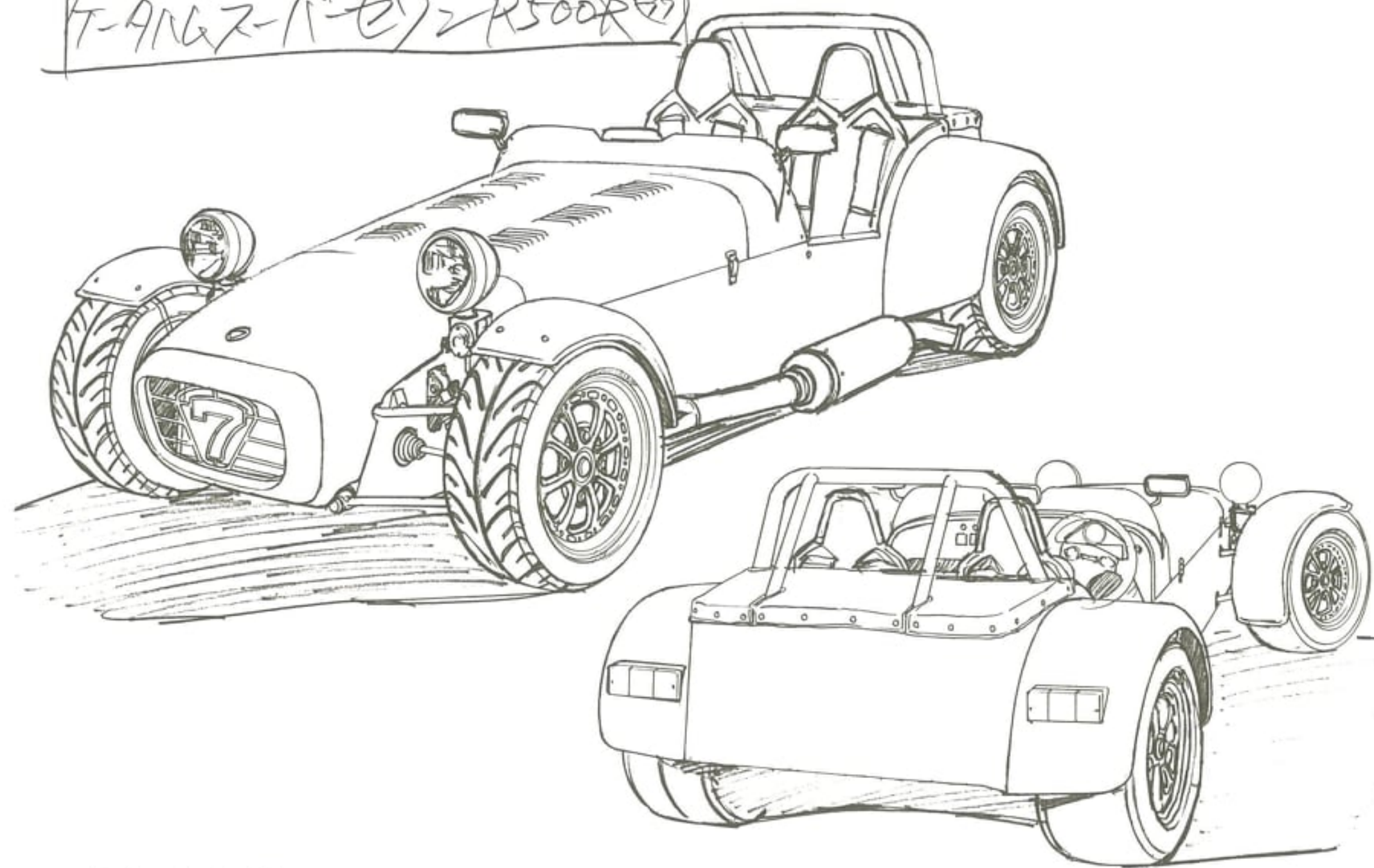
100

トヨタヨーロッパ (3)



トヨタ ヨーロッパ [コクピット]

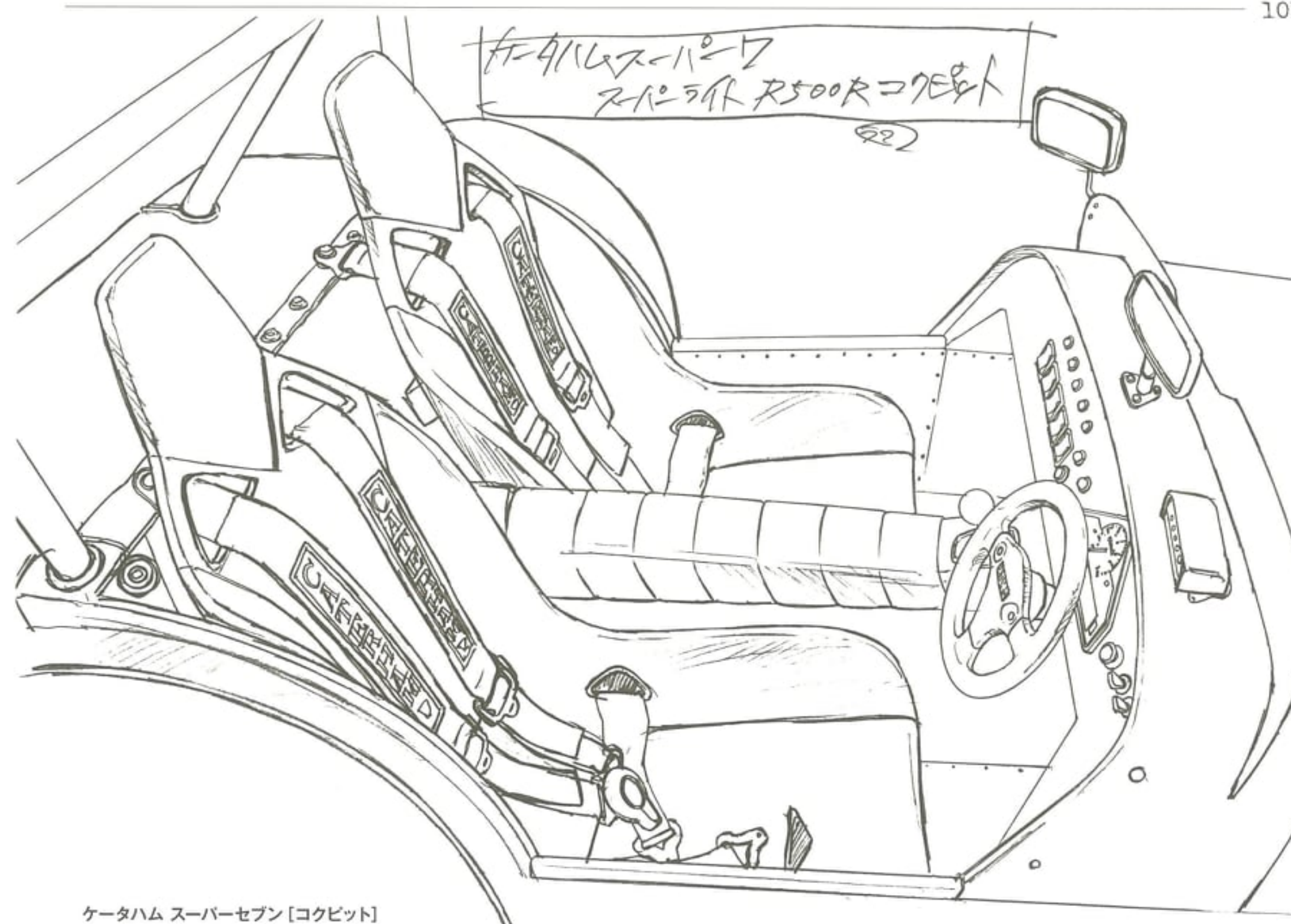
ケータムスーパーセブン R500R (3)



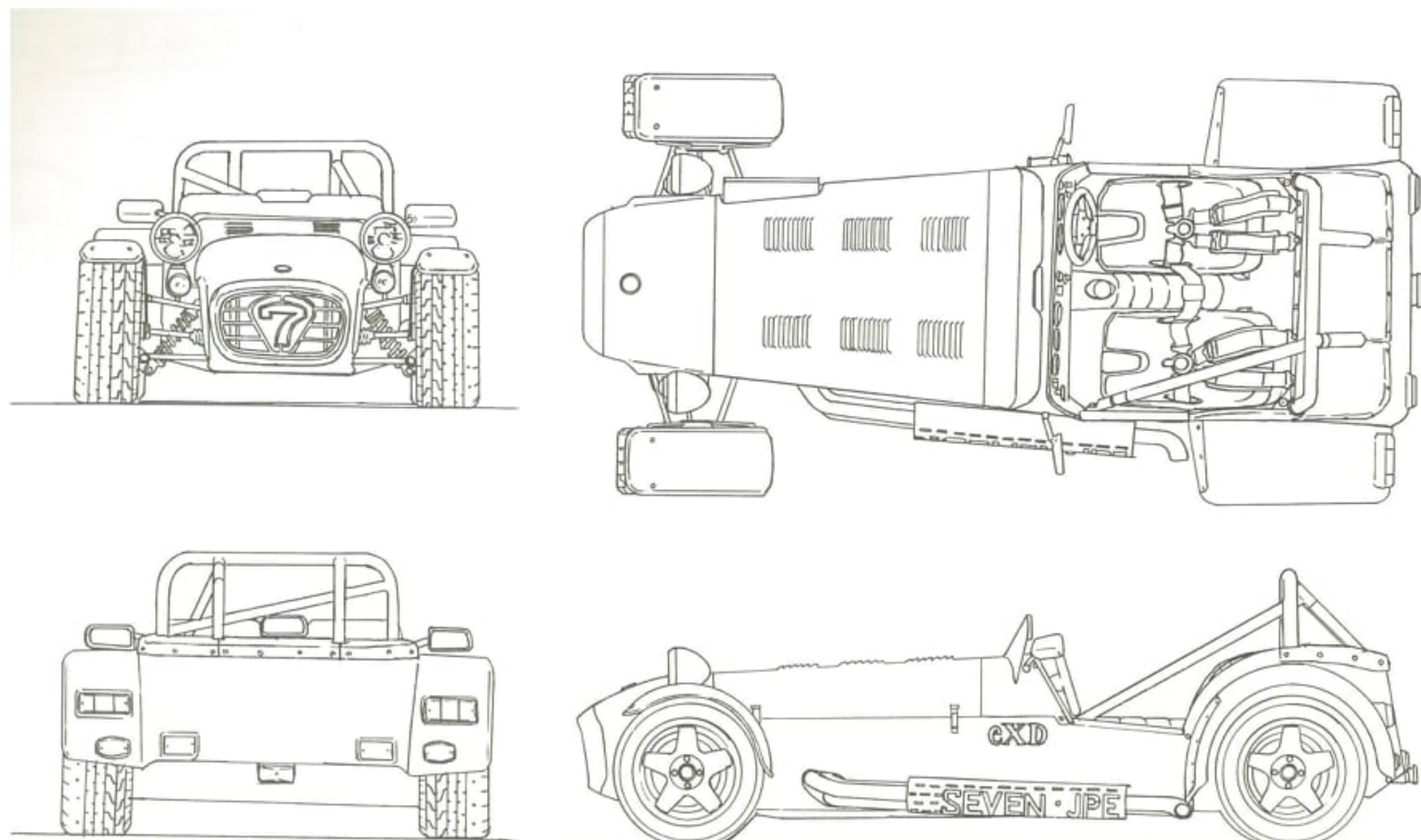
ケータム スーパーセブン

101

ケータムスーパーセブン R500R コクピット (3)

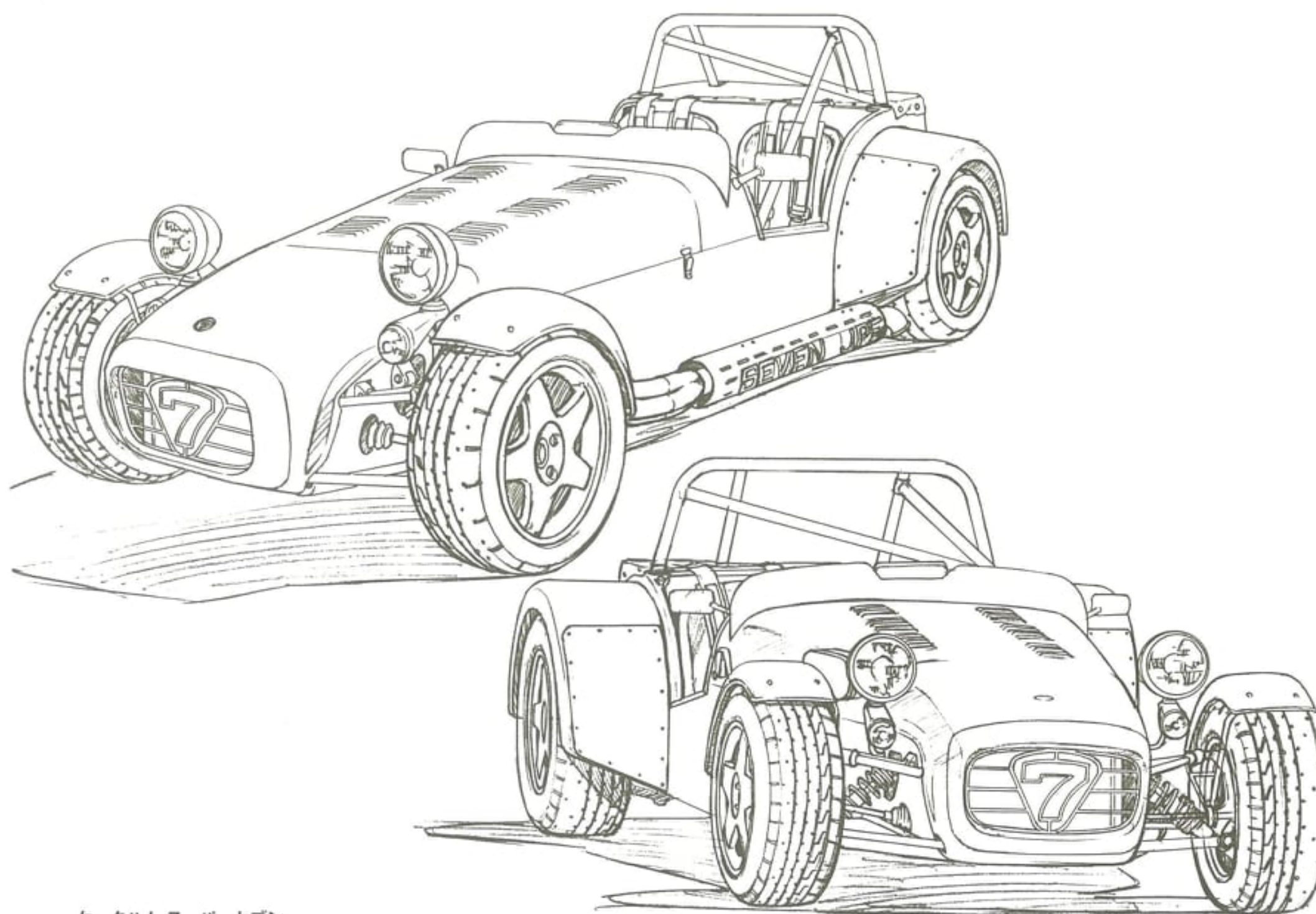


ケータム スーパーセブン [コクピット]

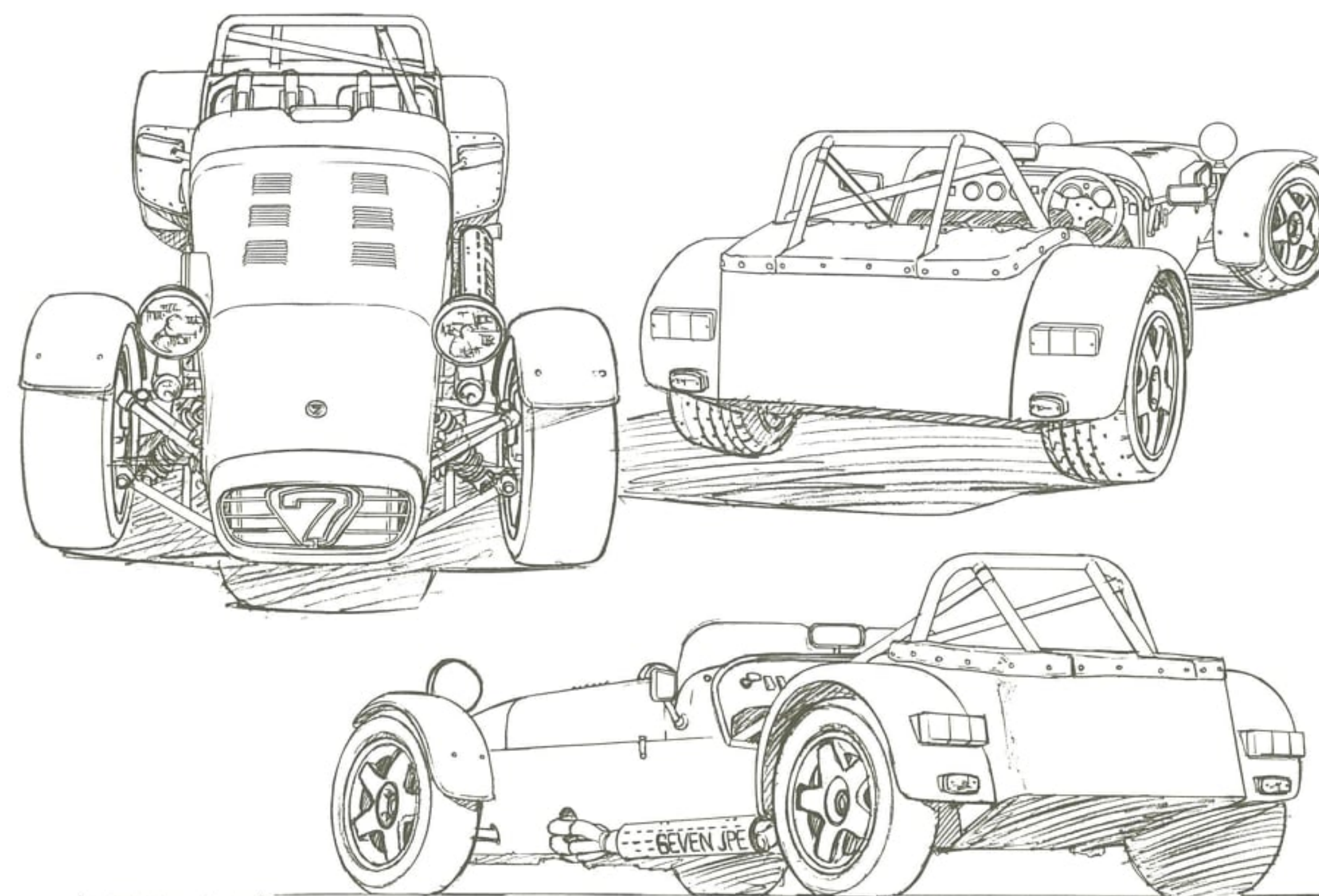


ケータハムスーパー7 JPE 4面図
2000.10.5 by T. MURATA
ケータハム スーパーセブン [四面図]

102

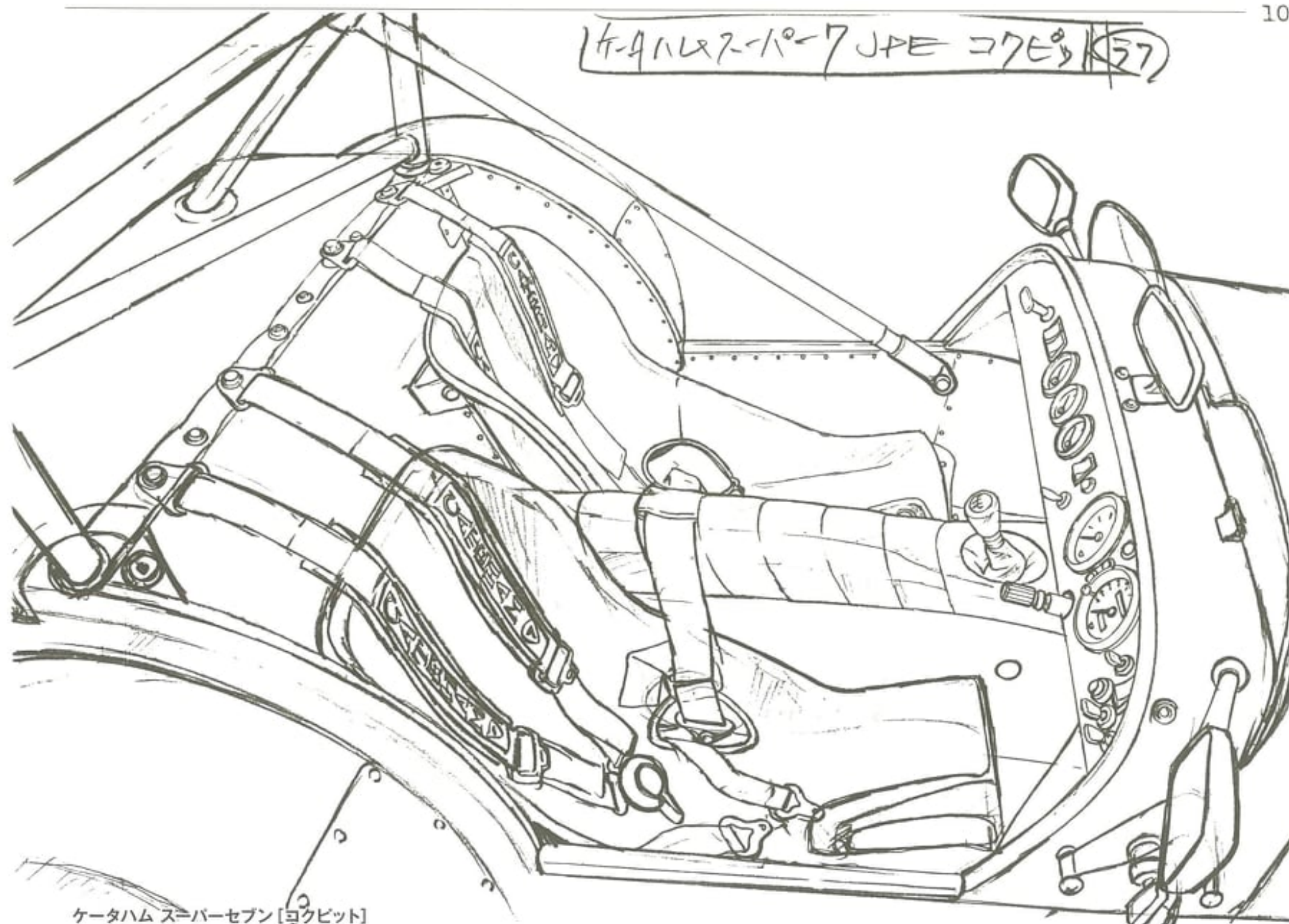


ケータハム スーパーセブン

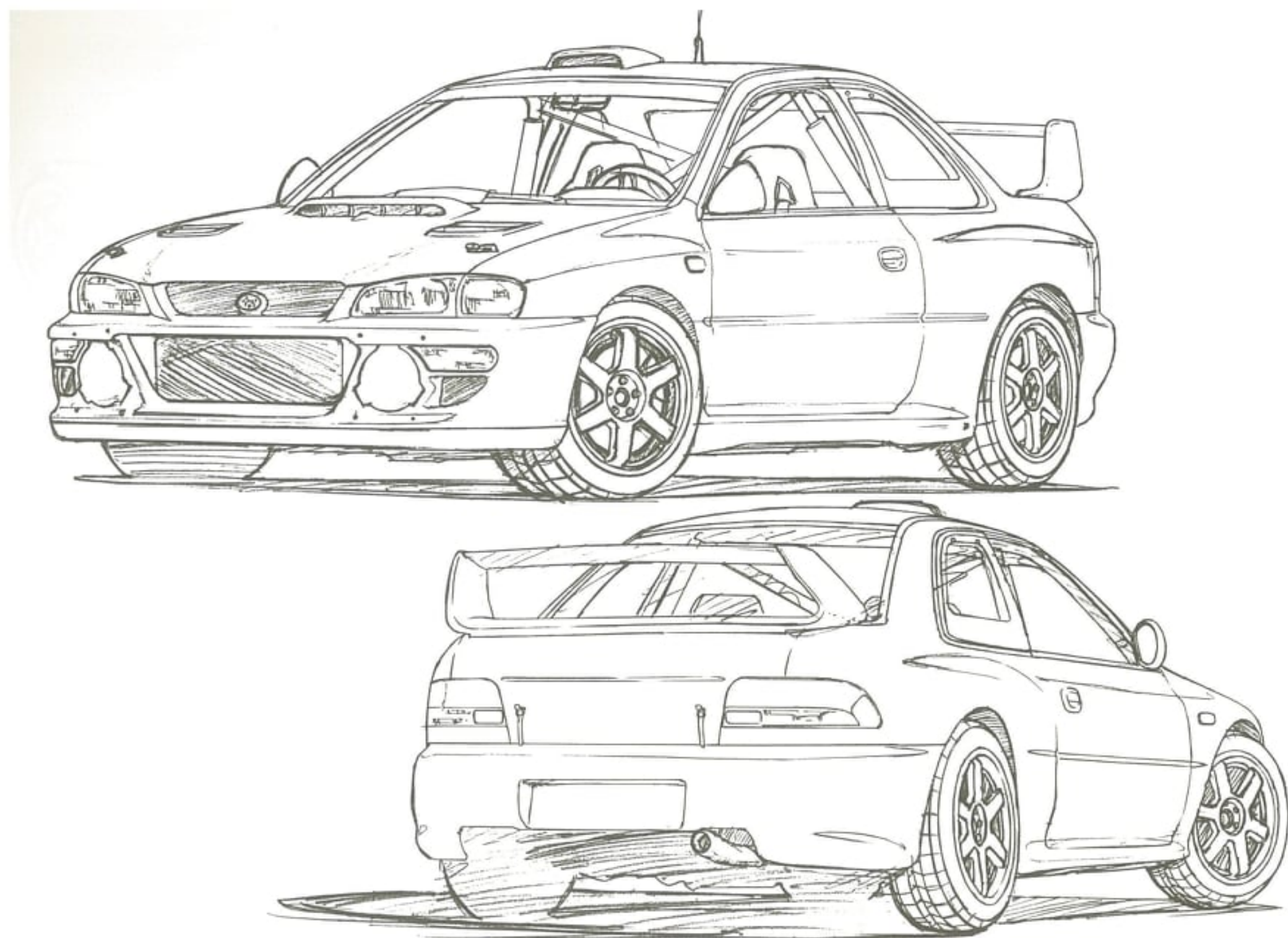


ケータハム スーパーセブン

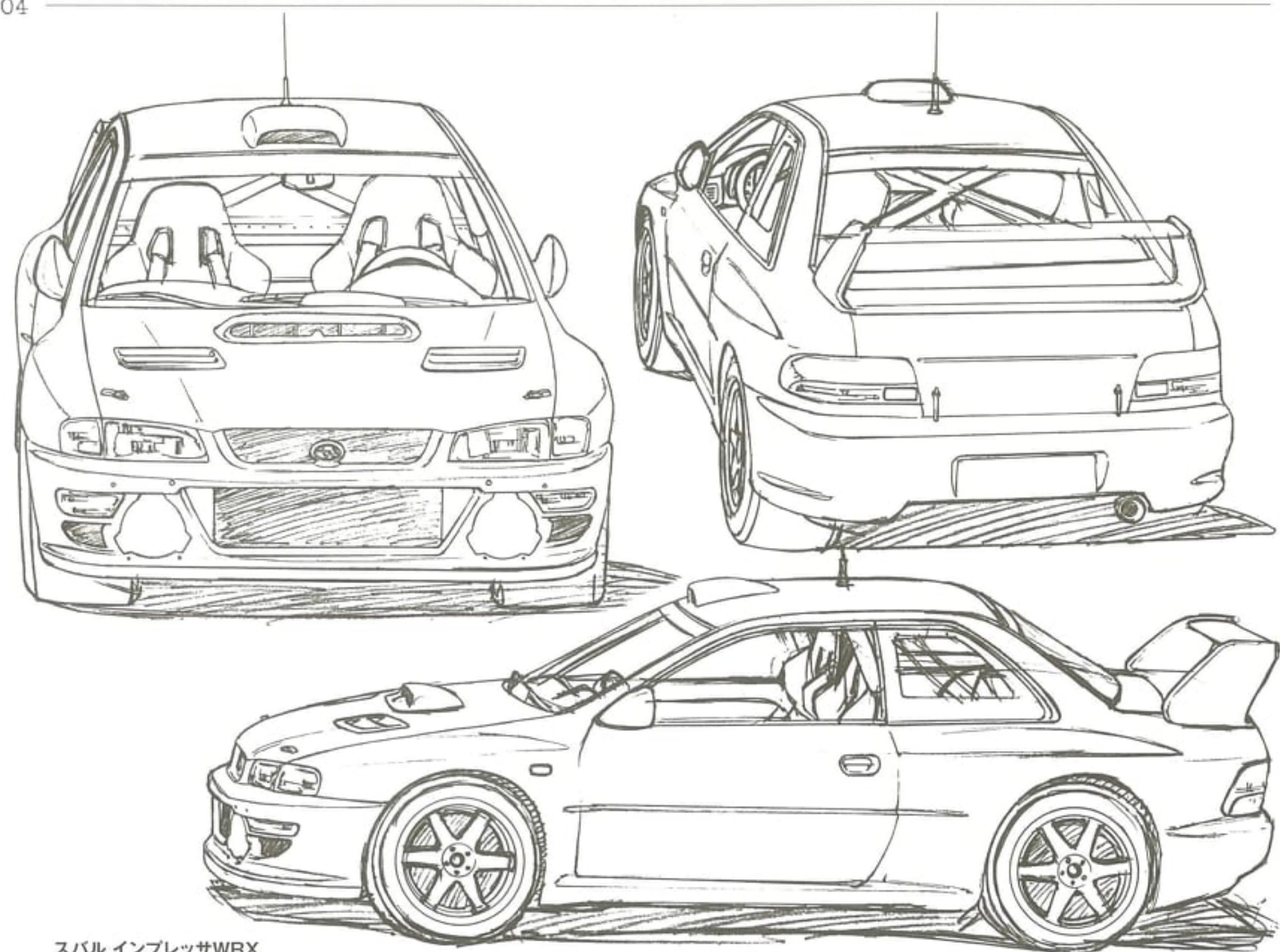
103



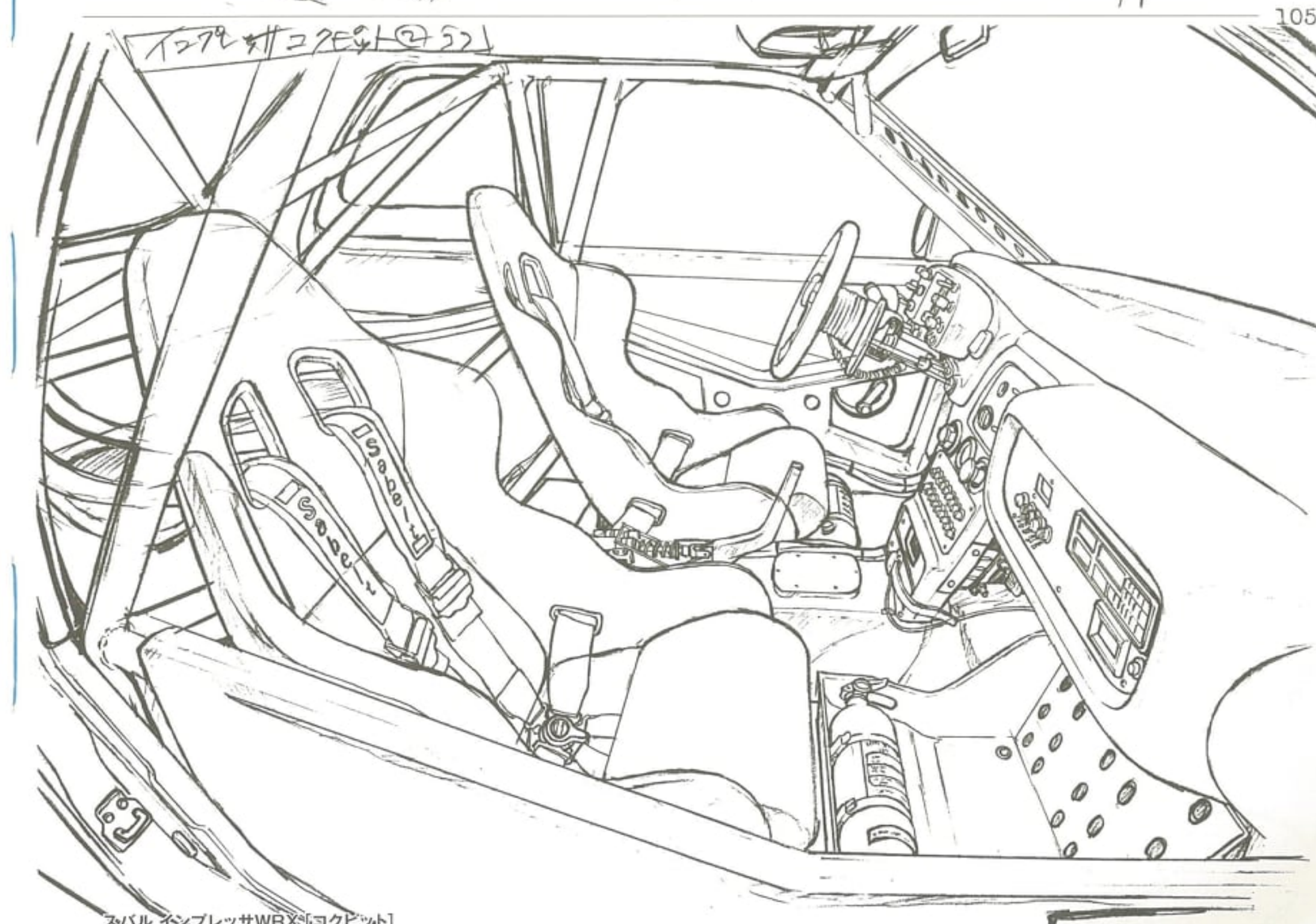
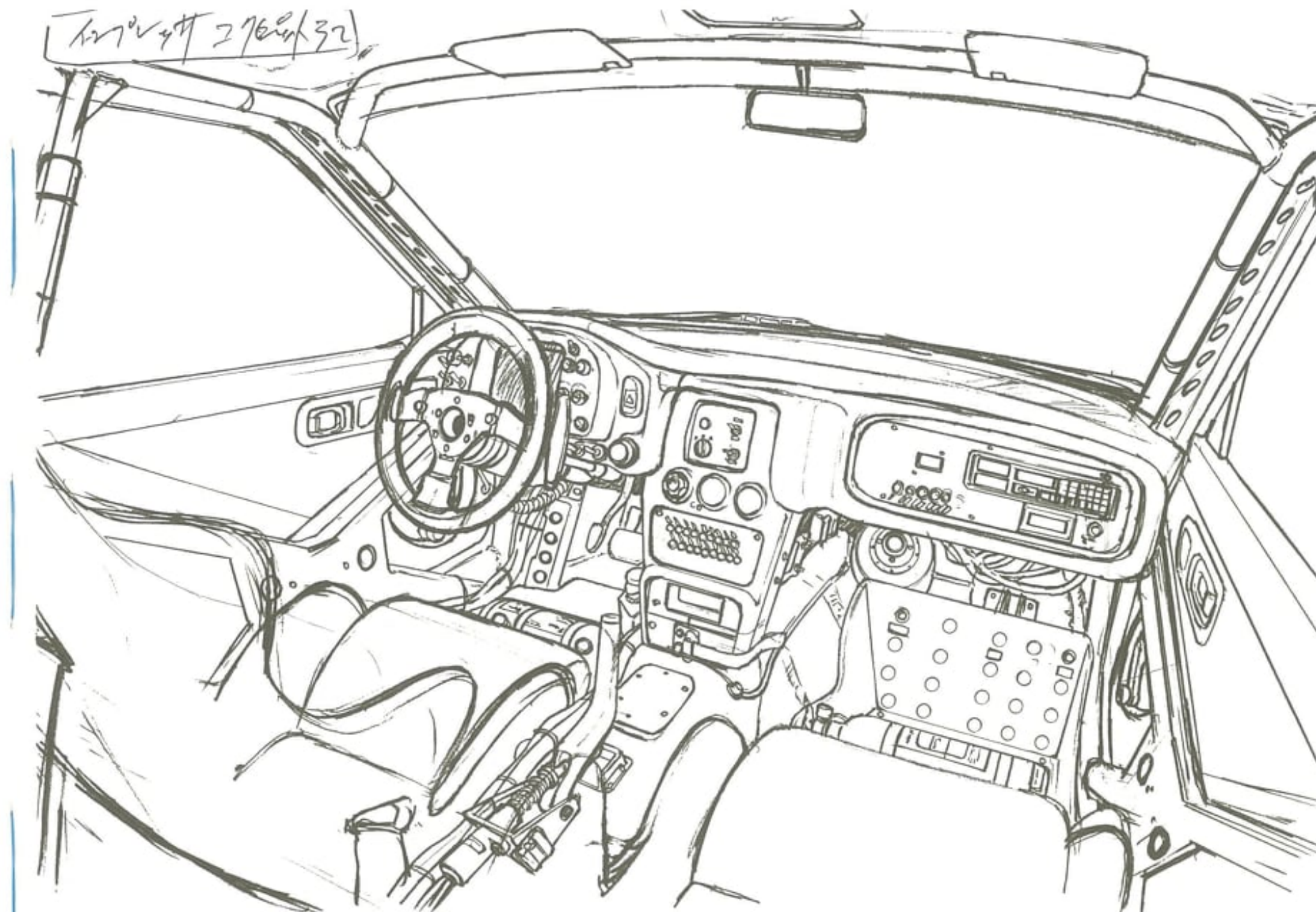
ケータハム スーパーセブン [コクピット]



104

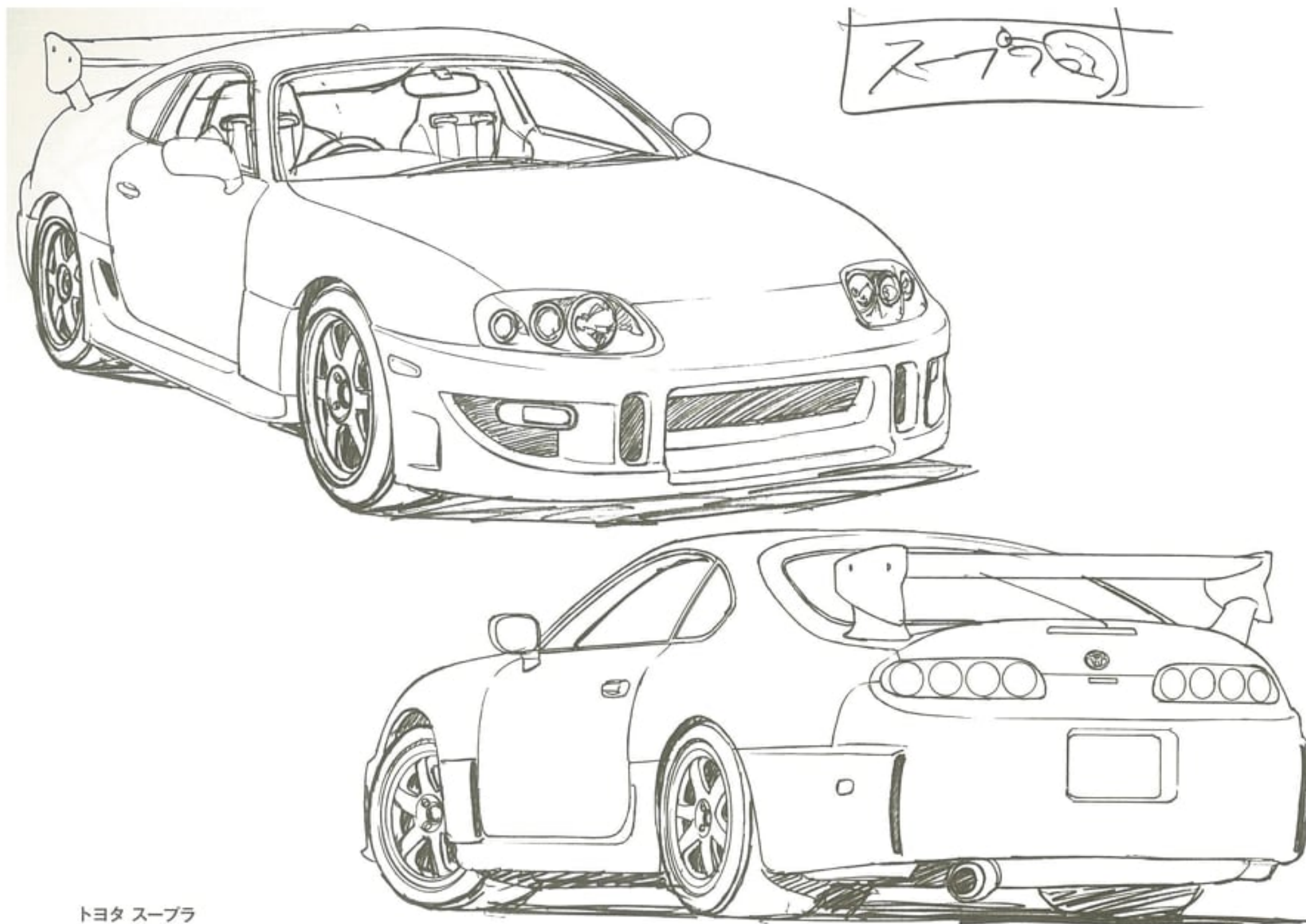


スバル インプレッサWRX

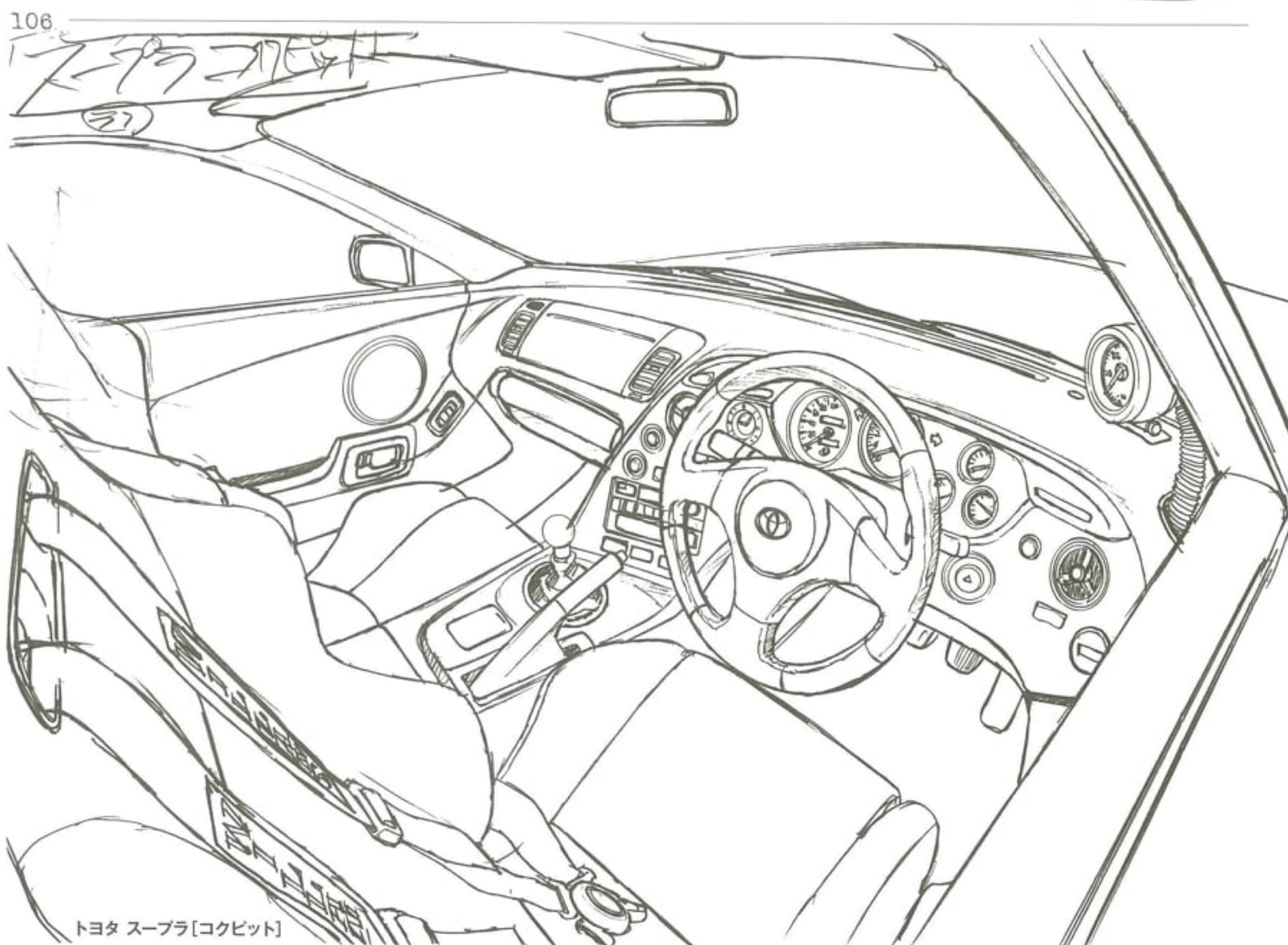


105

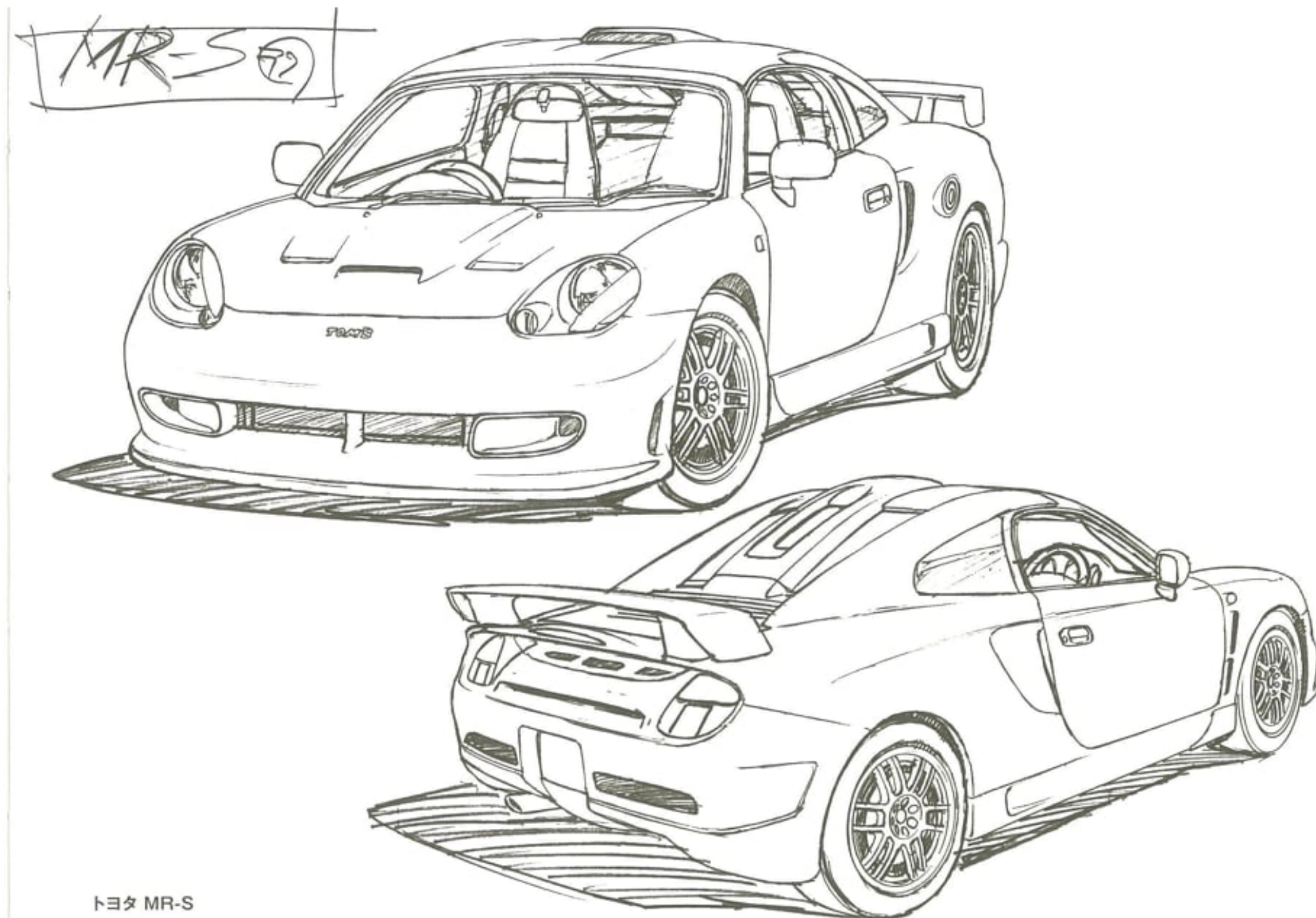
スバル インプレッサWRX(ヨクビット)



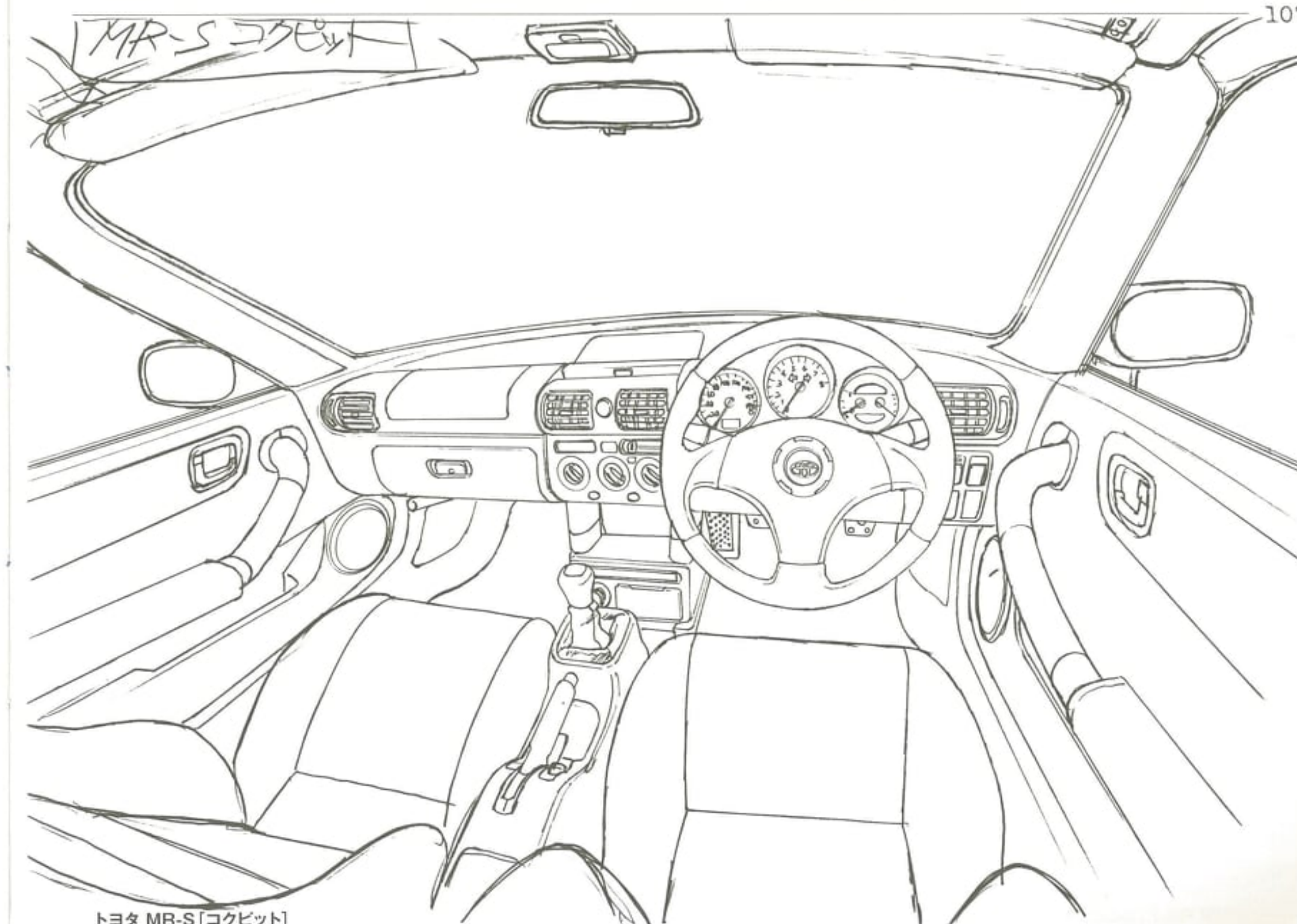
トヨタ スーブラ



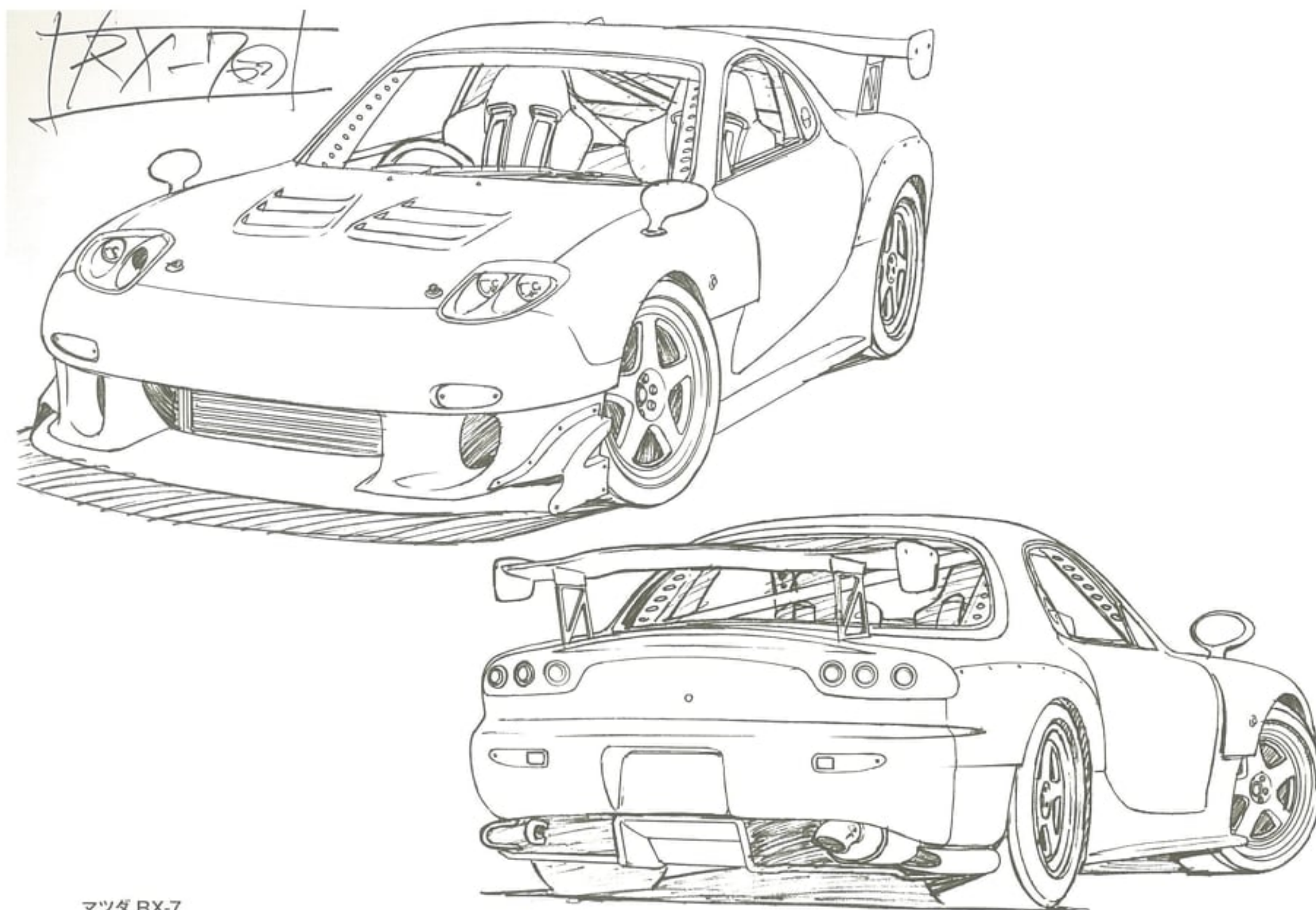
トヨタ スーブラ[コクピット]



トヨタ MR-S

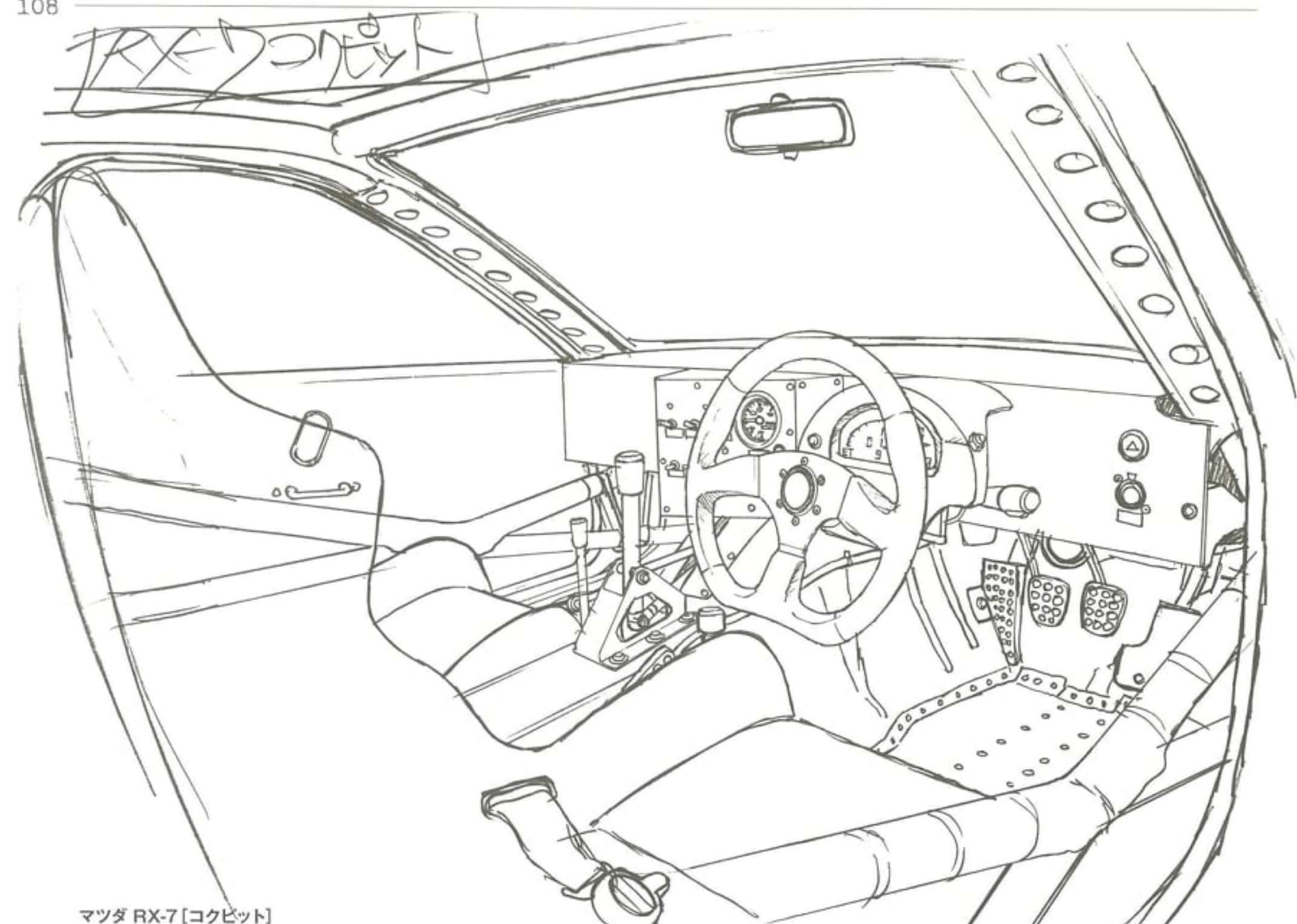


トヨタ MR-S[コクピット]

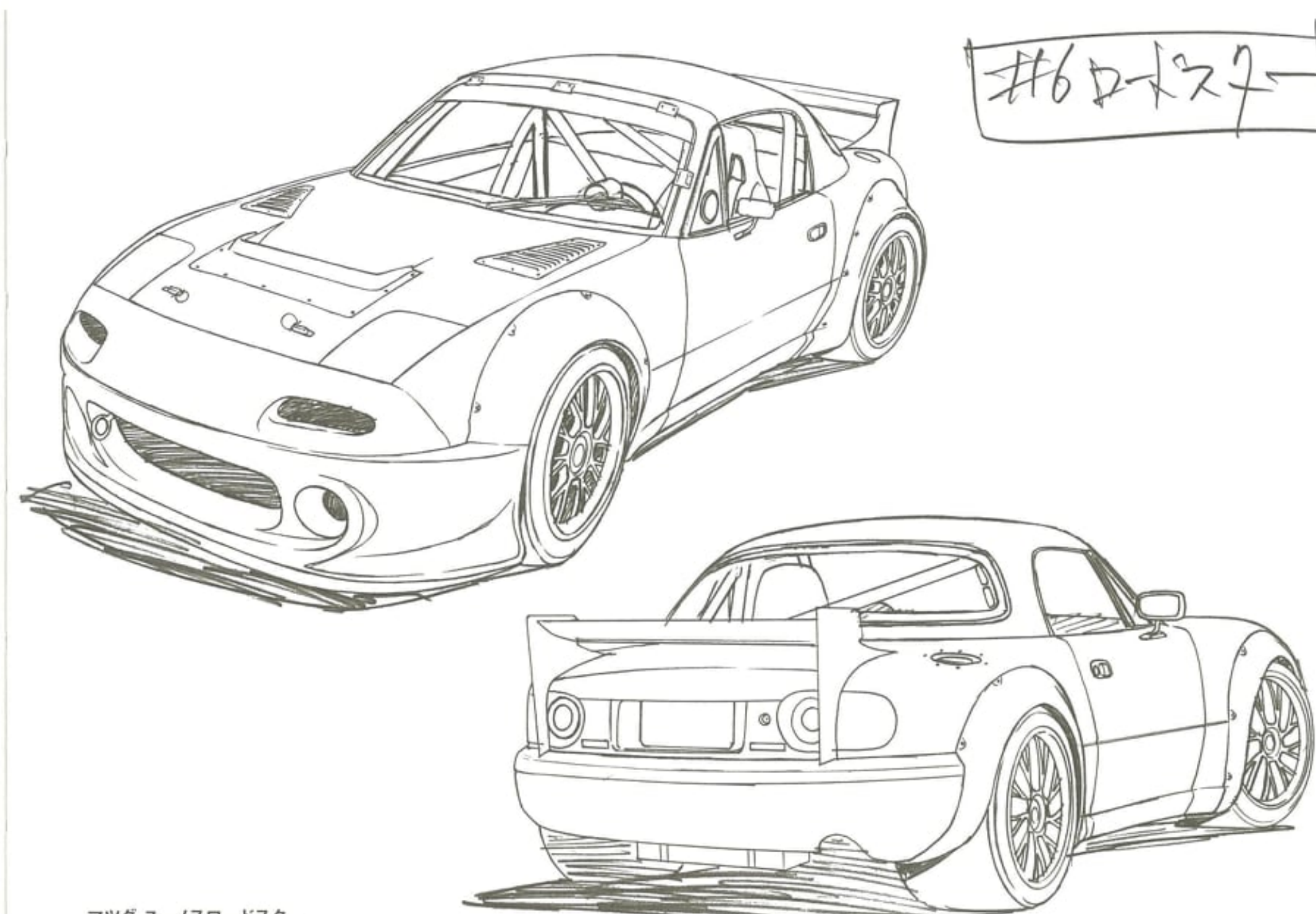


マツダ RX-7

108

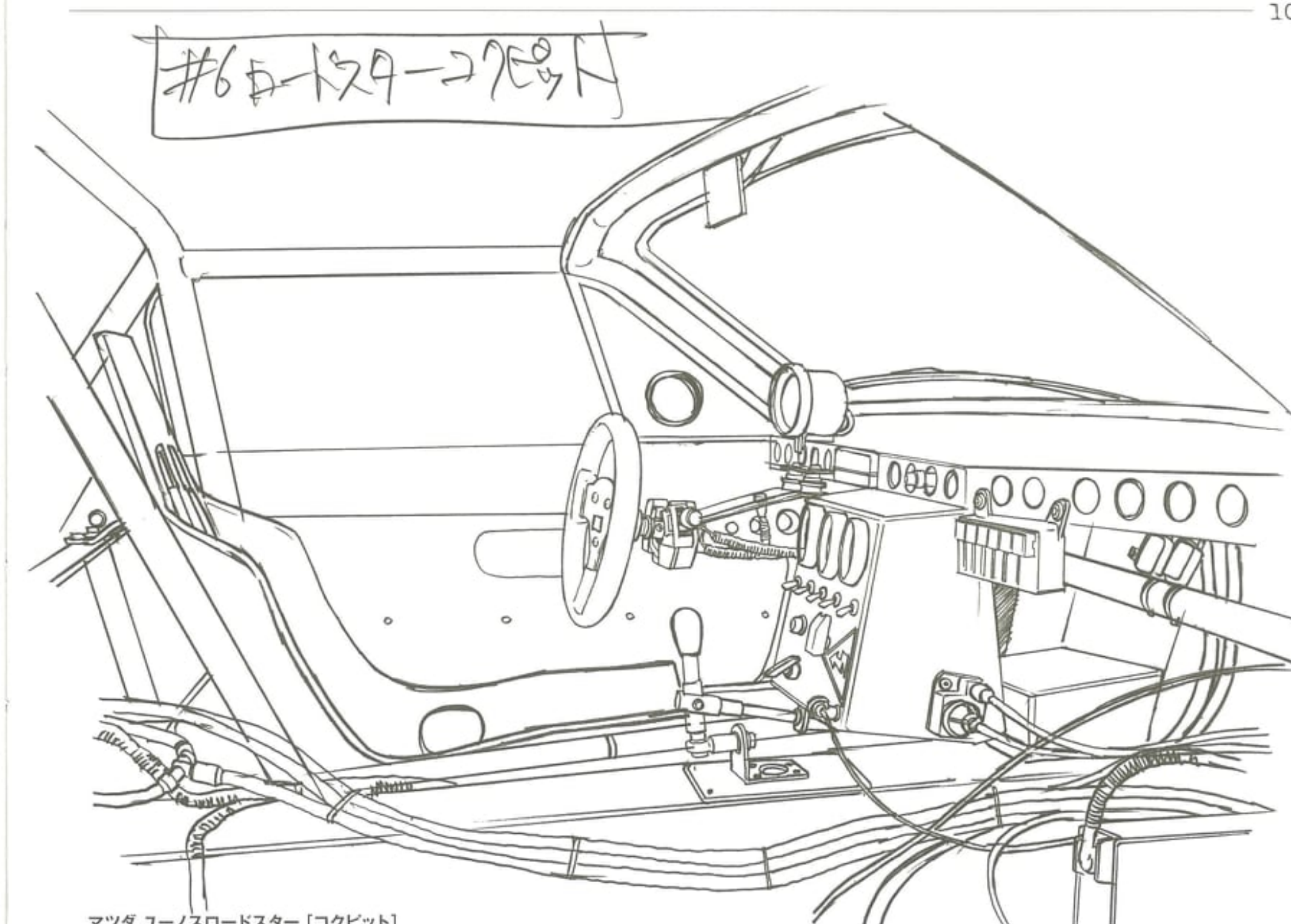


マツダ RX-7 [コックピット]

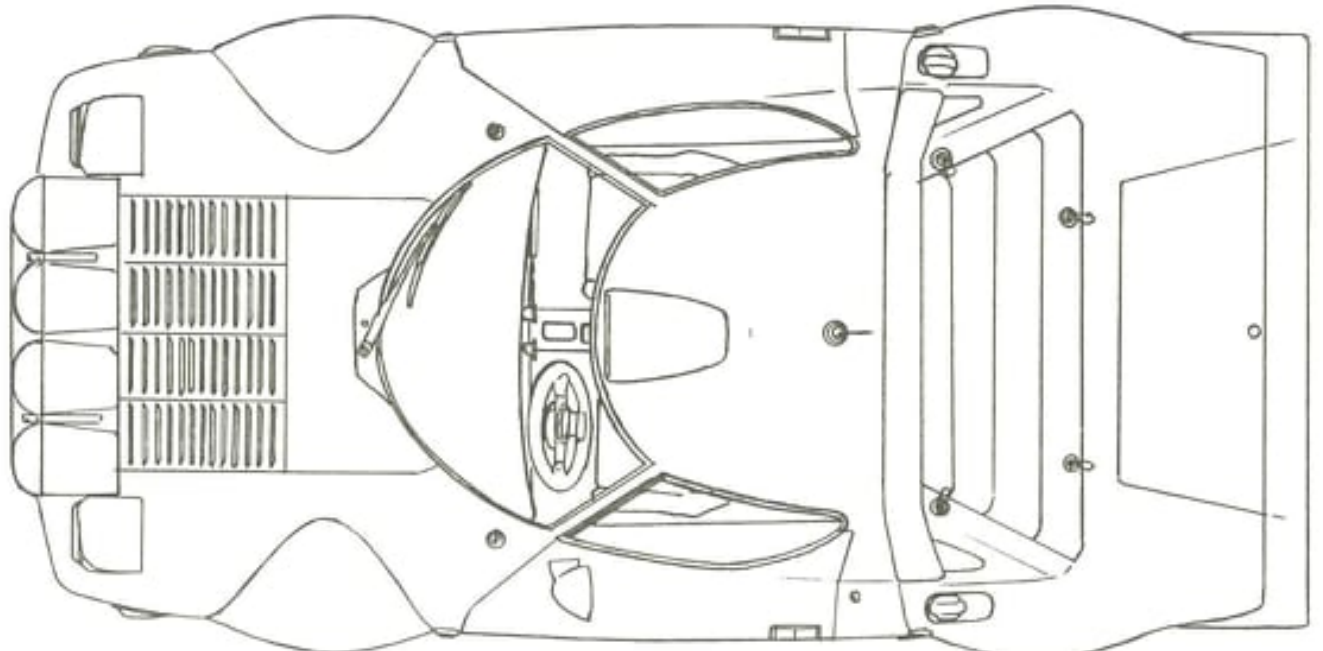
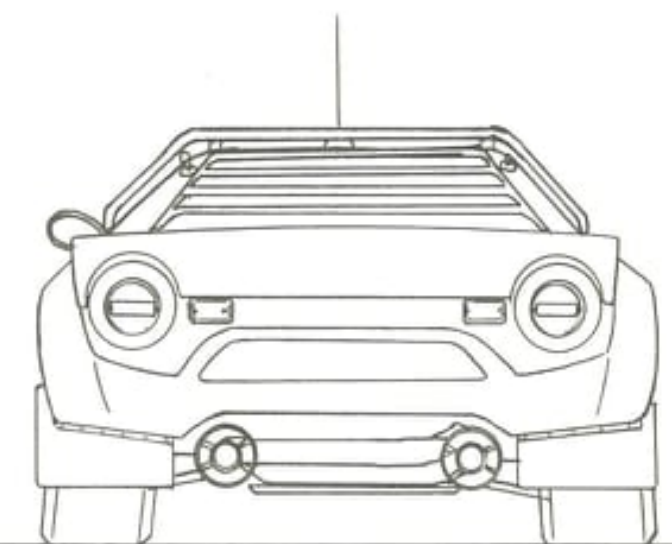
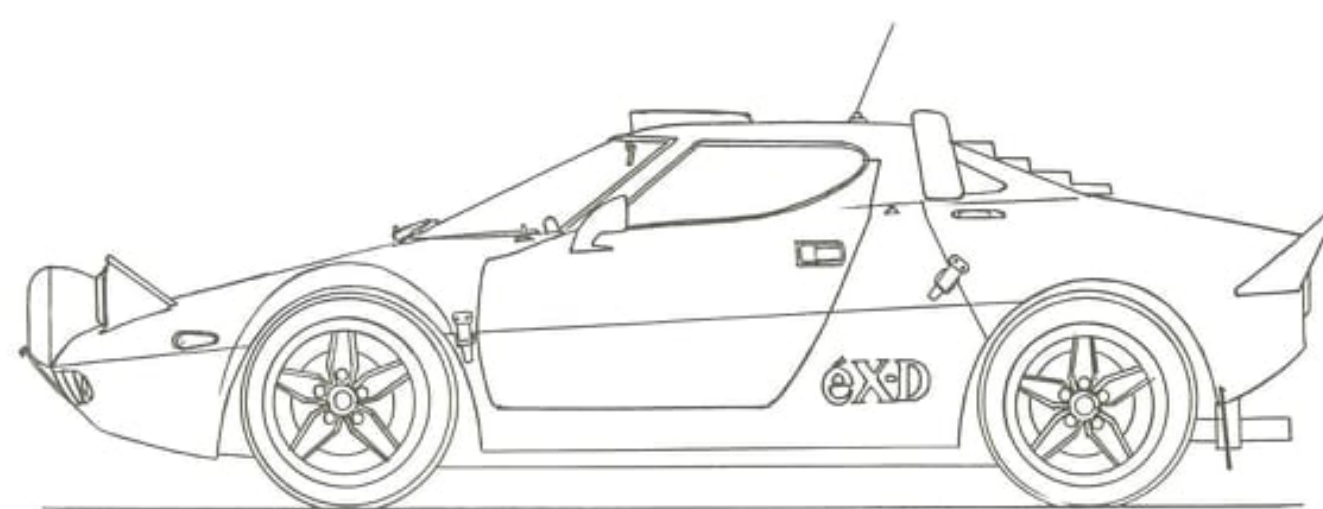
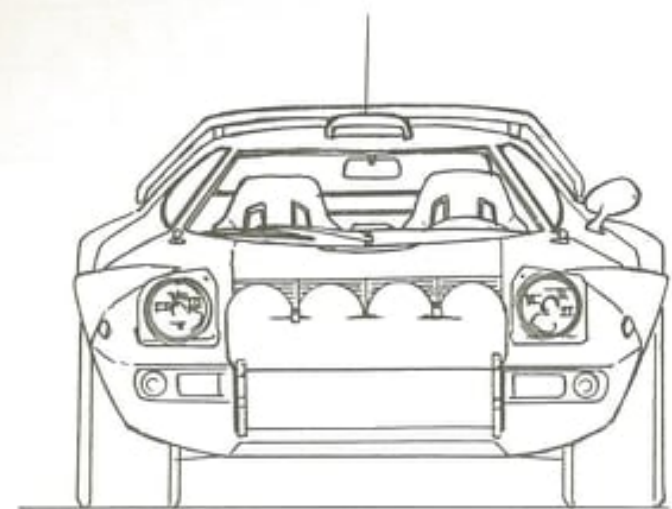


マツダ ユーノロードスター

109

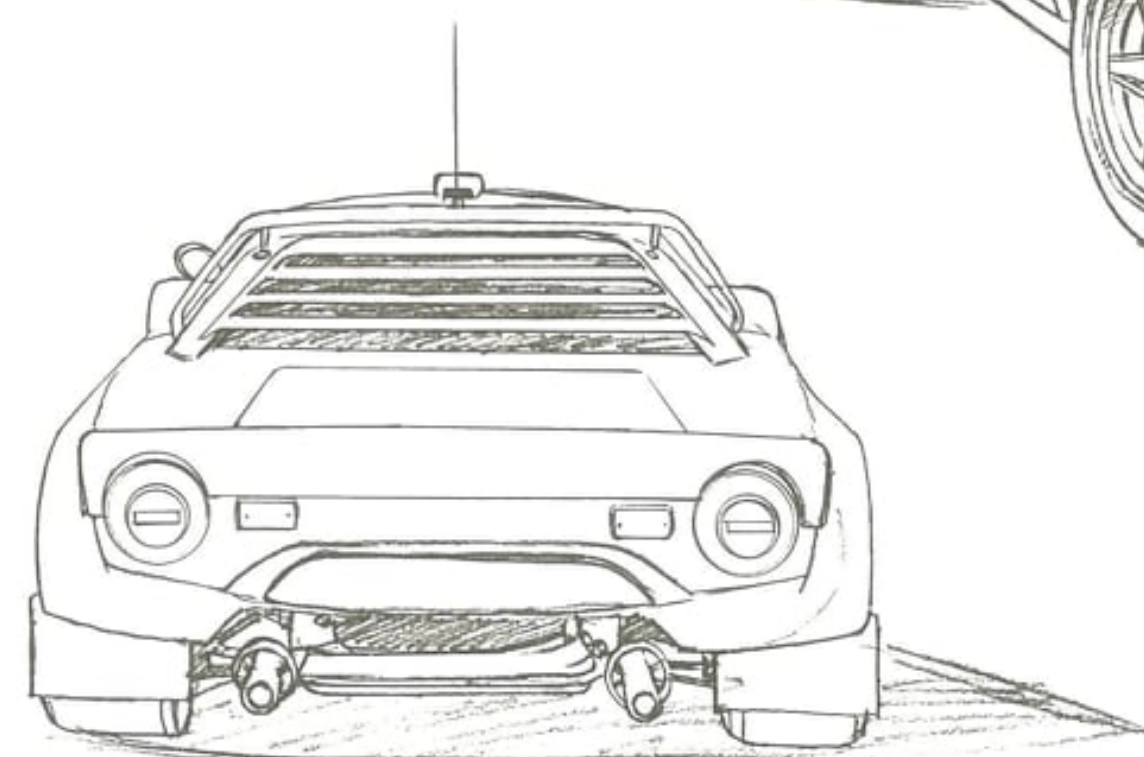
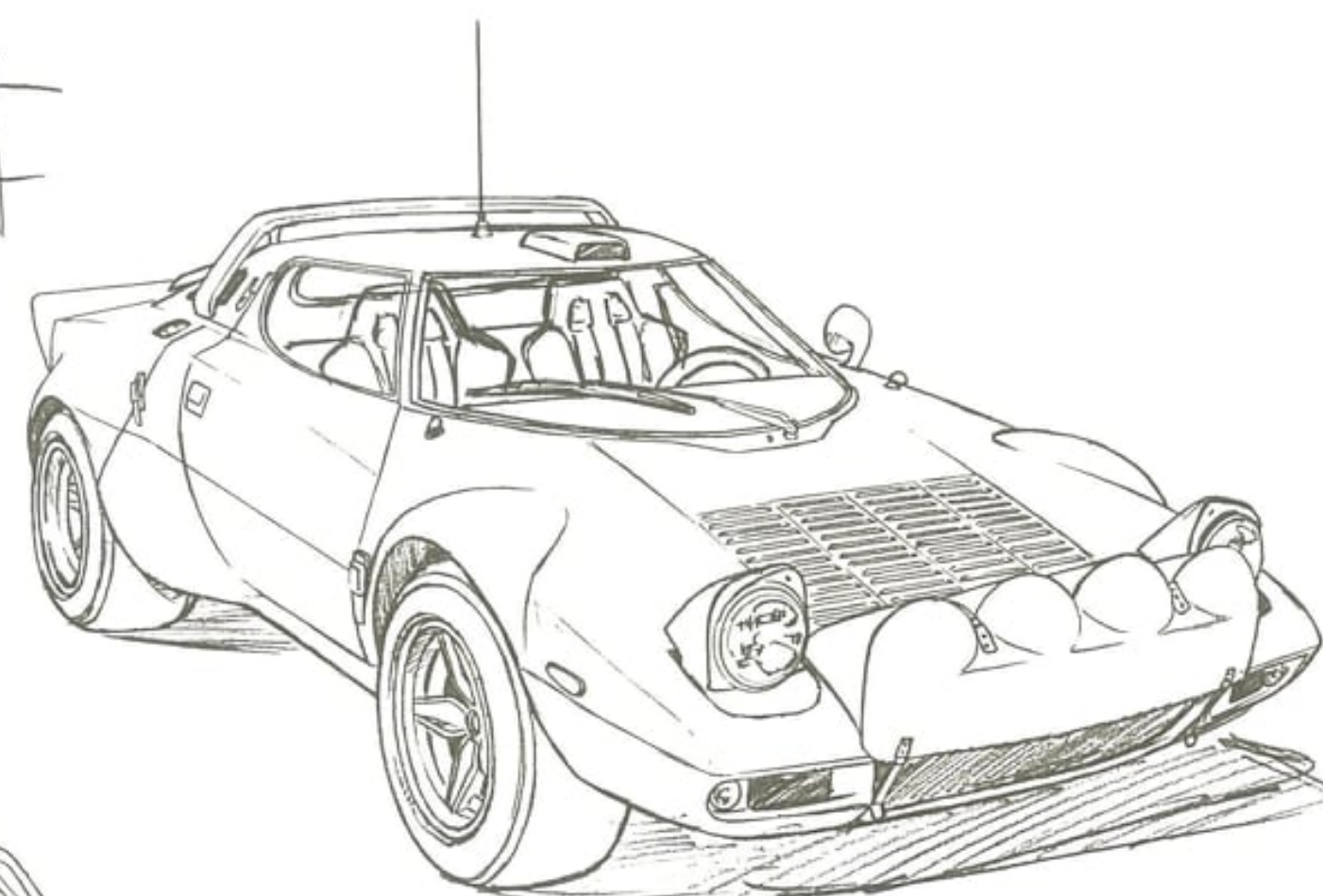


マツダ ユーノロードスター [コックピット]

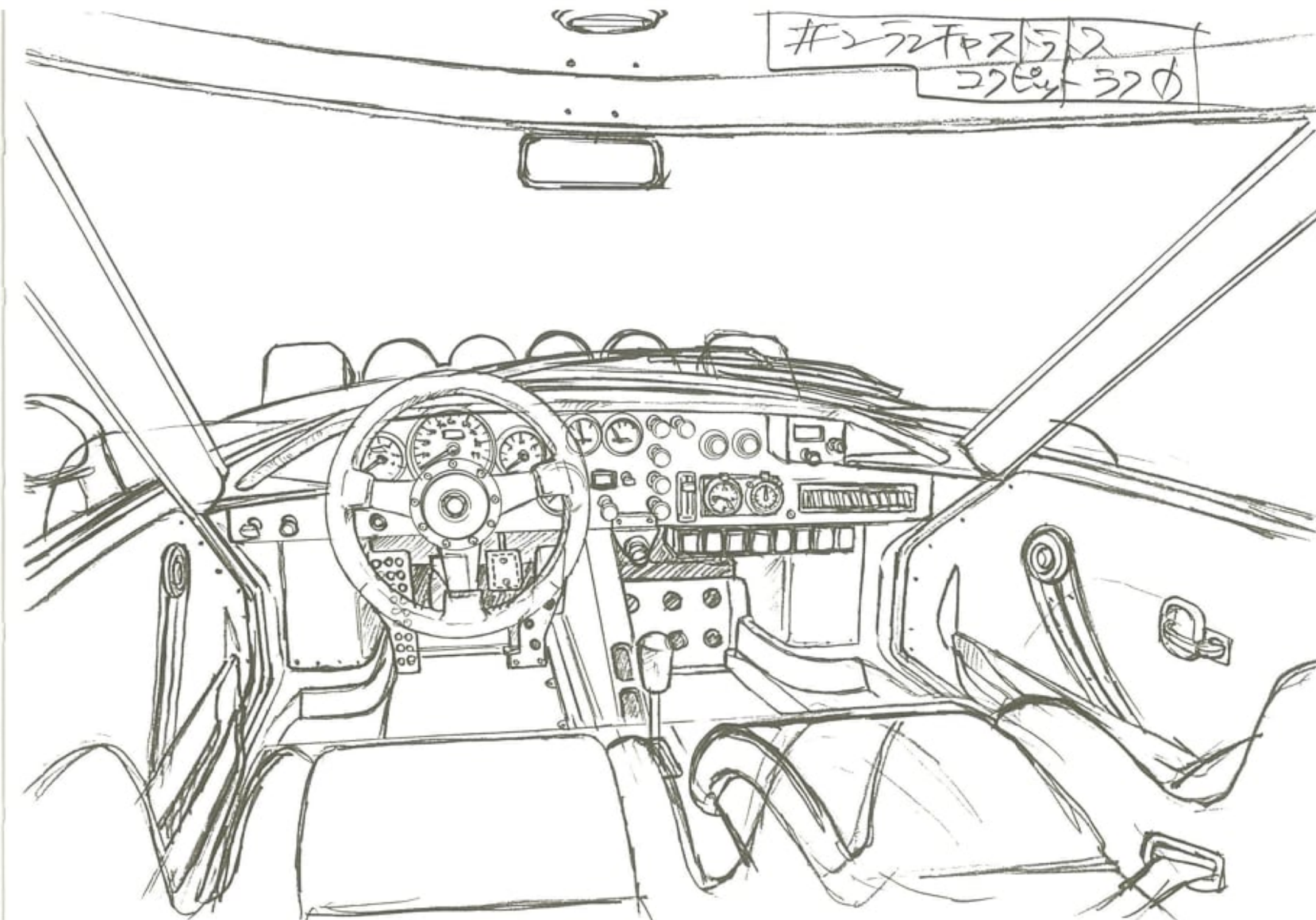


ランチャストラトス 4面図
2000.10.11 by T. HARA
ランチャ ストラトス [四面図]

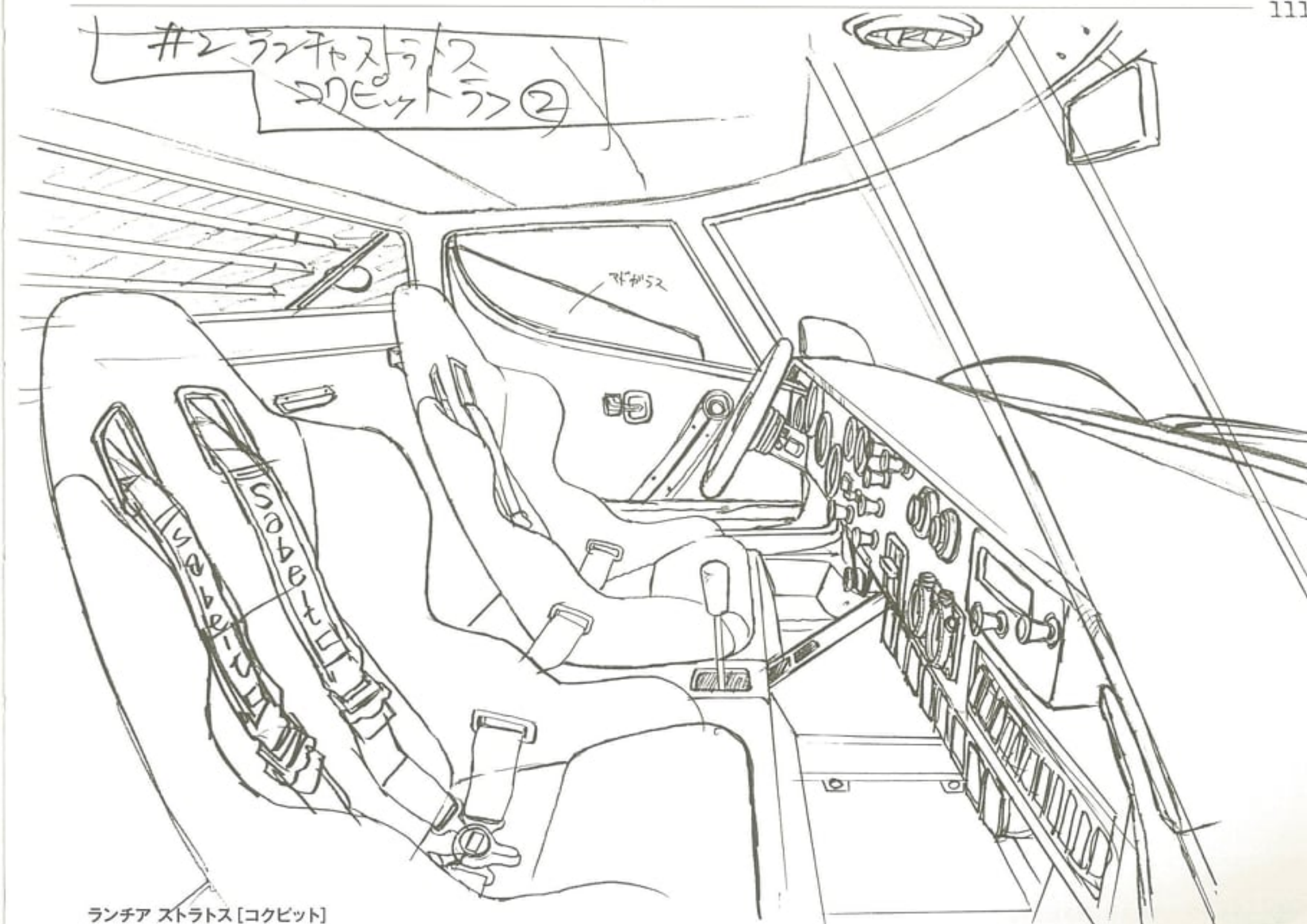
#2 ランチャストラトス 77
オリジナル WRC / 1984年
2000.10.11 by T. HARA



ランチャ ストラトス



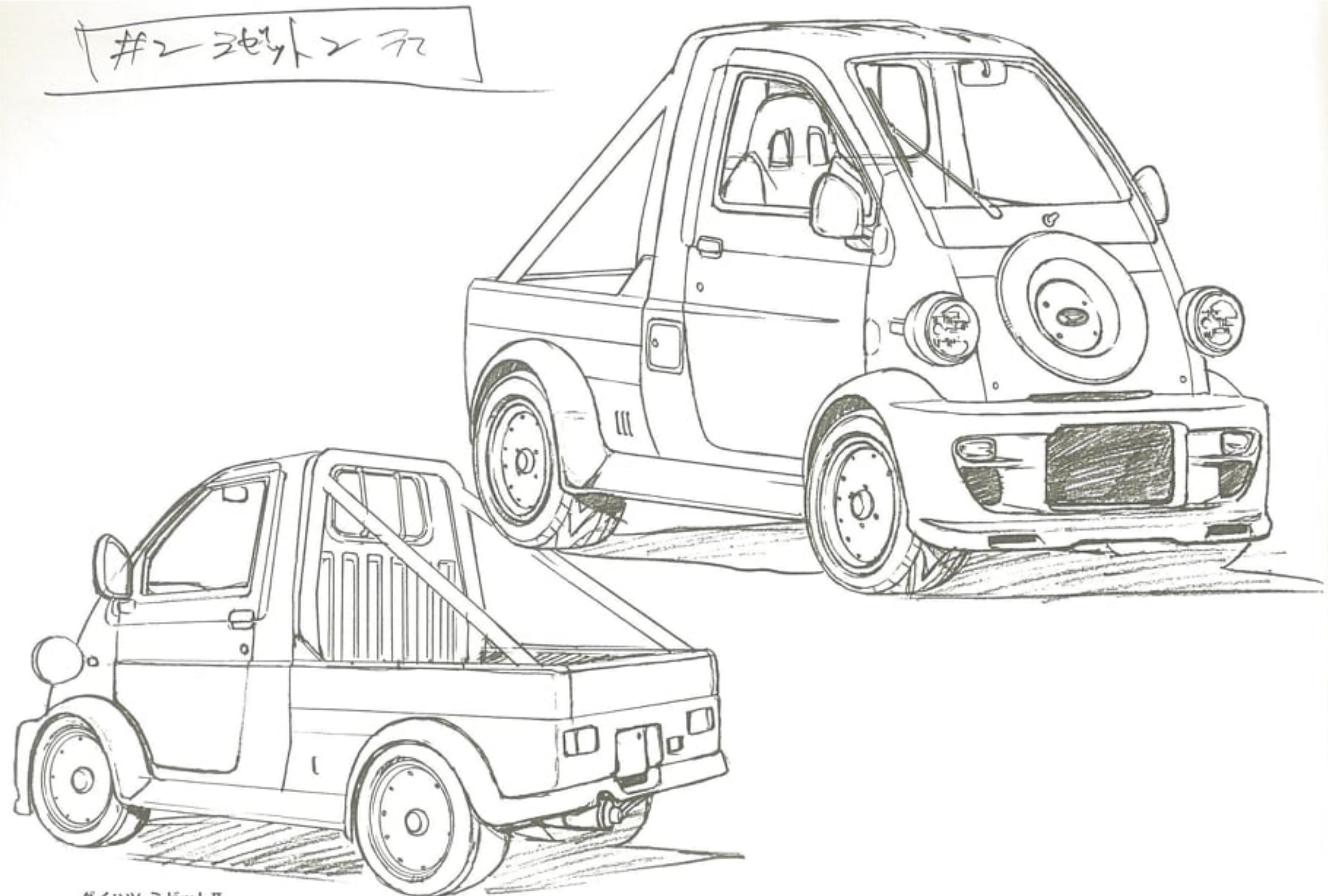
#2 ランチャストラトス
コクピット 320



#2 ランチャストラトス
コクピット 77 ②

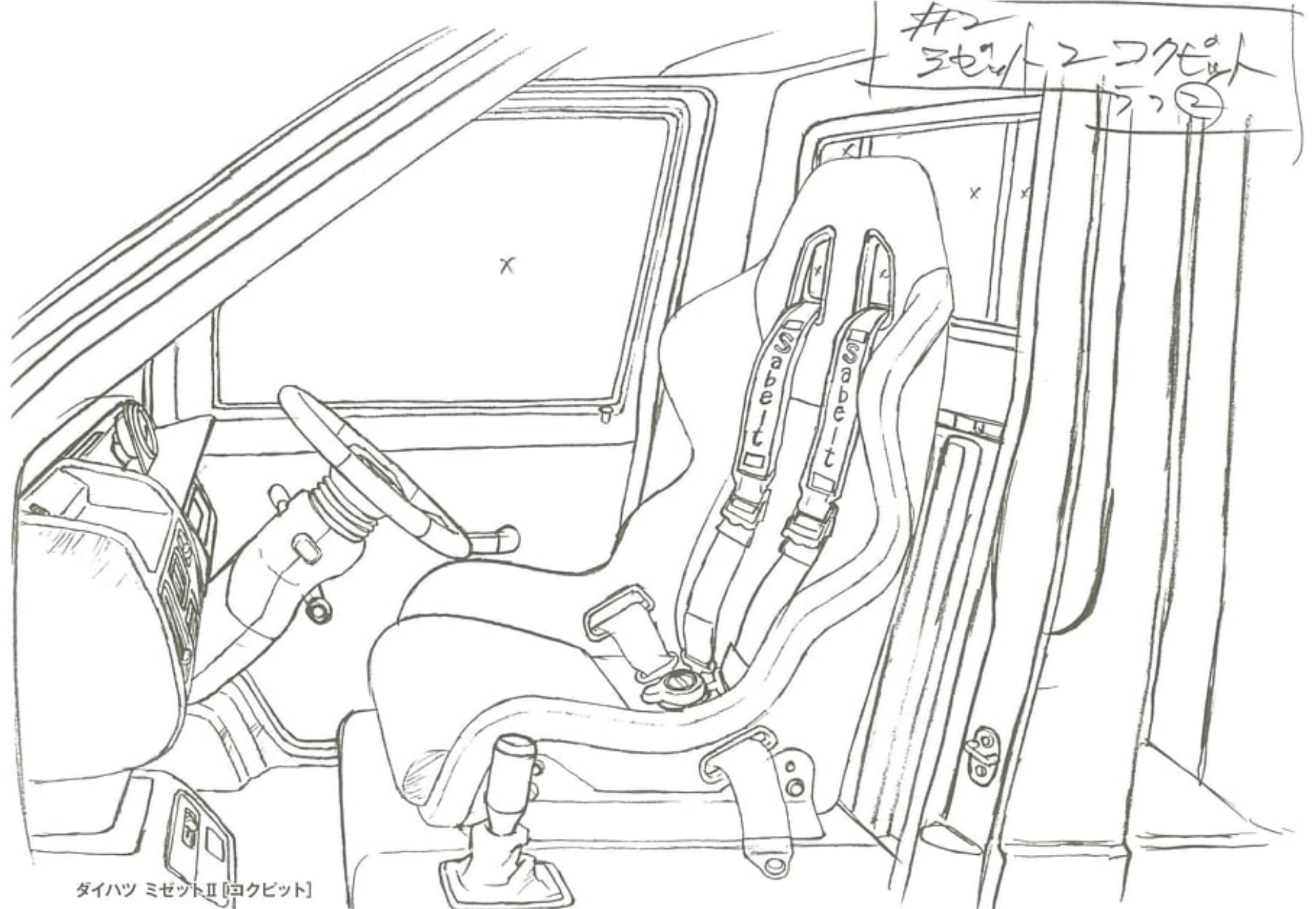
ランチャ ストラトス [コクピット]

#2 ミゼット 2



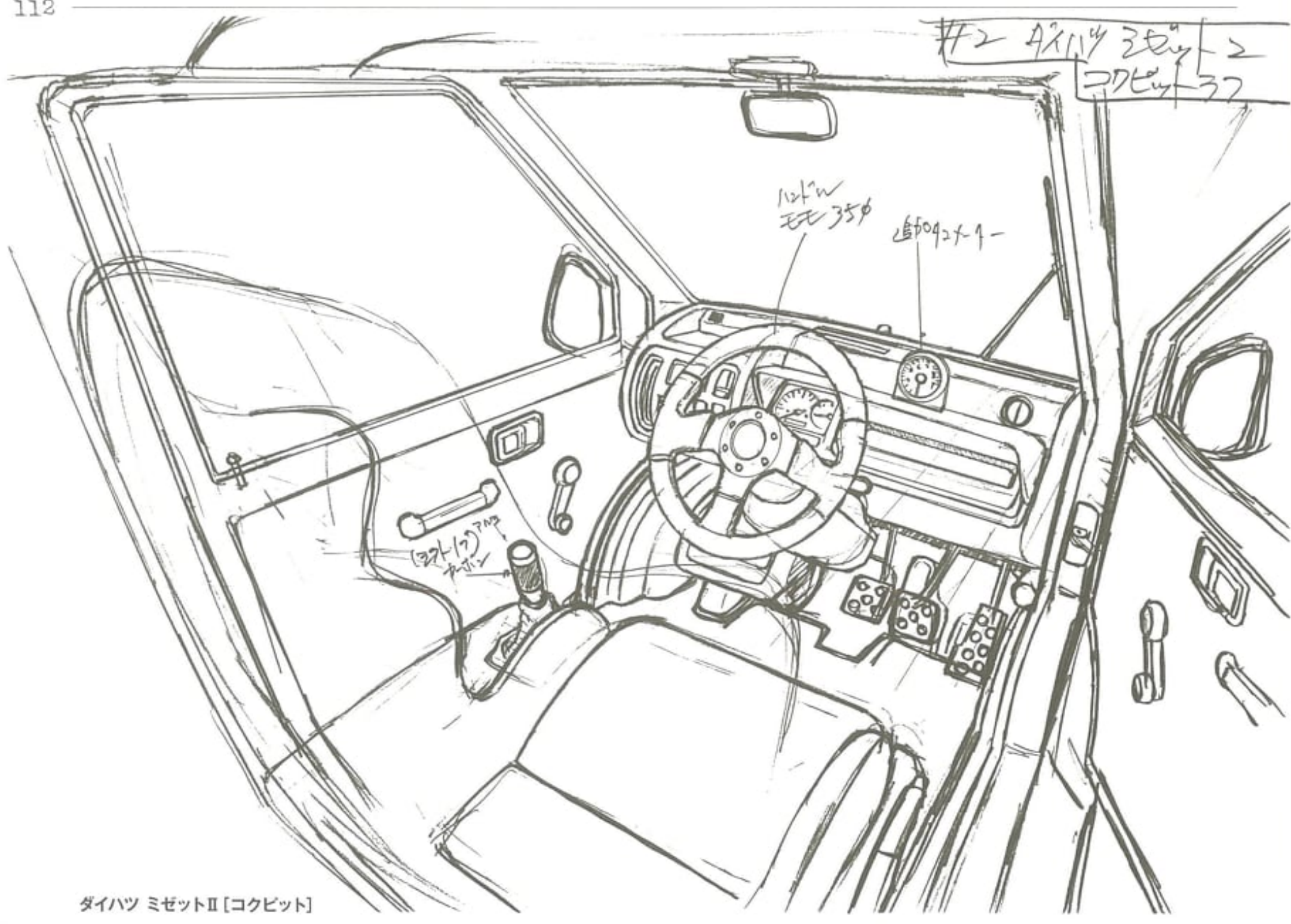
ダイハツ ミゼットII

#2 ミゼット 2 コクピット



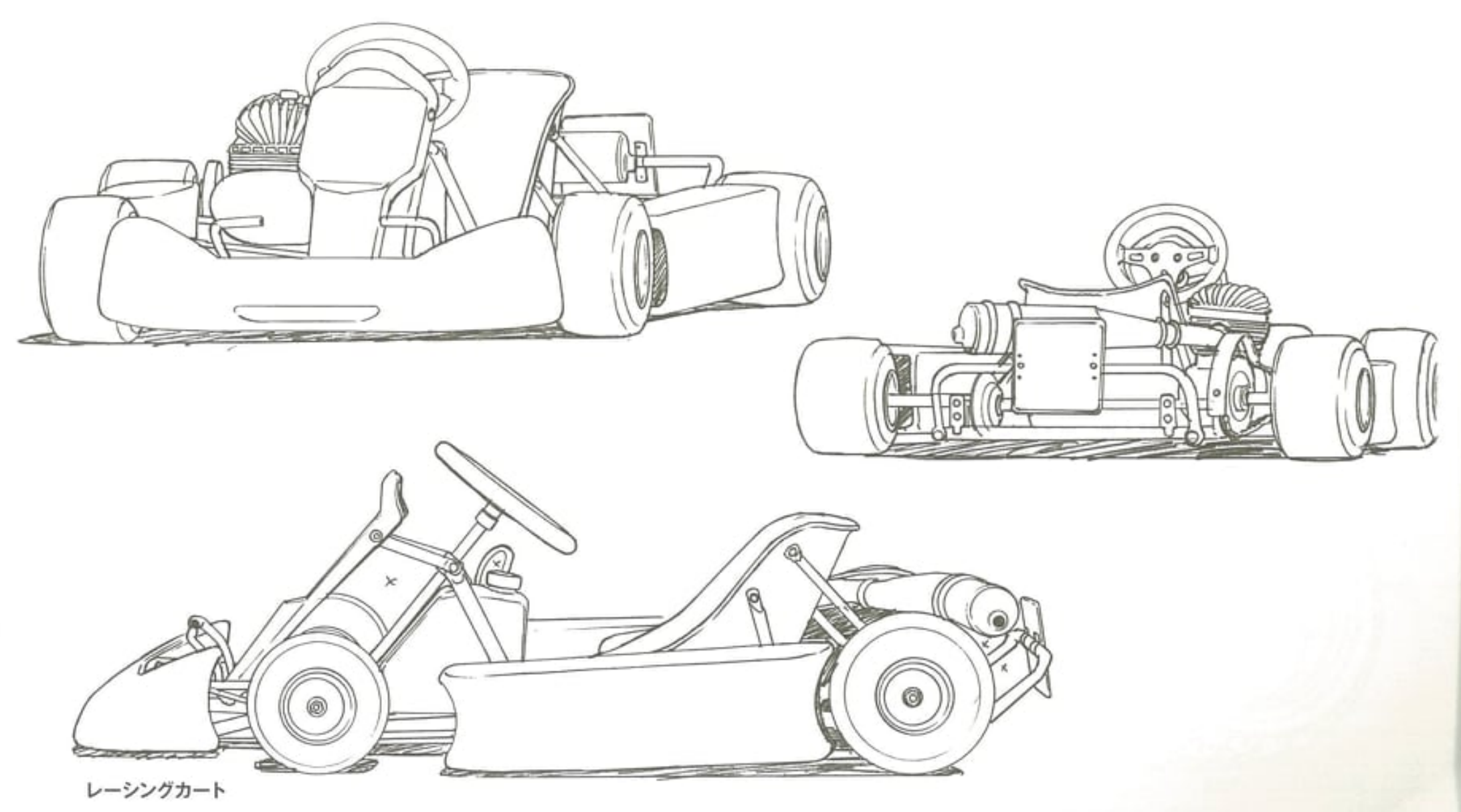
ダイハツ ミゼットII [コクピット]

#2 ダイハツ ミゼット 2
コクピット



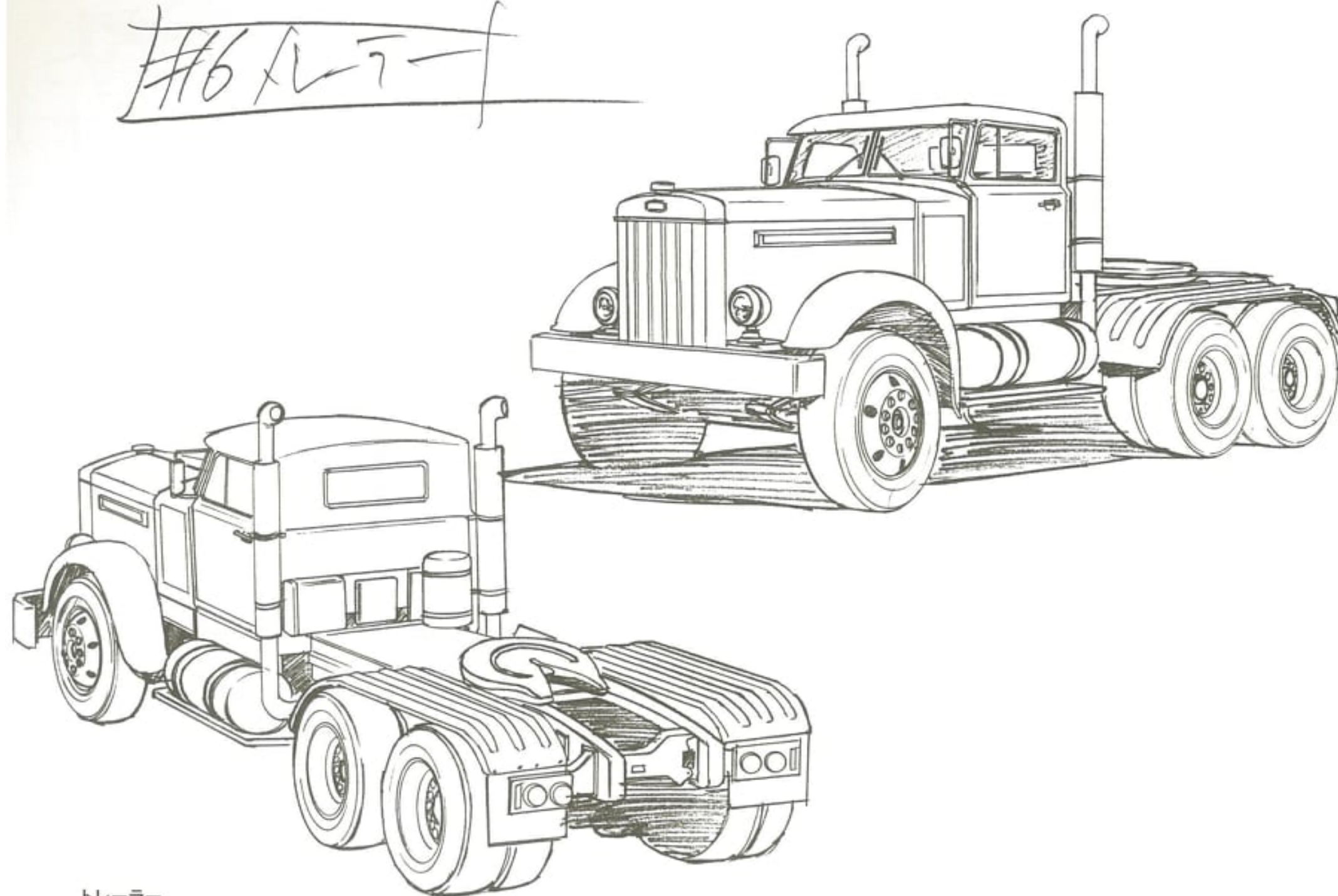
ダイハツ ミゼットII [コクピット]

レーシングカート
2001.5.22 by T. MURATA



レーシングカート

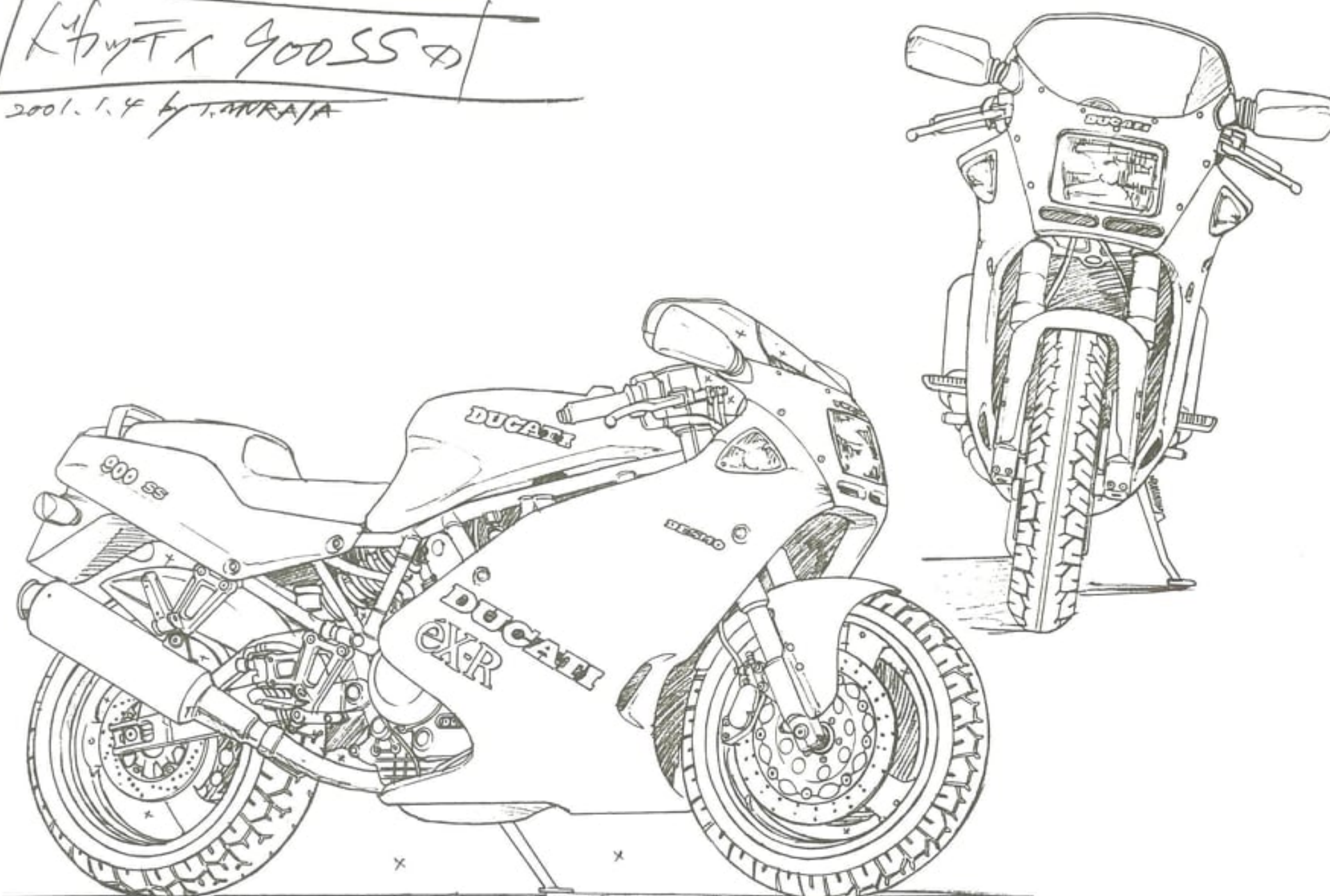
#6 R-T



トレーラー

ドゥカティ 900SS

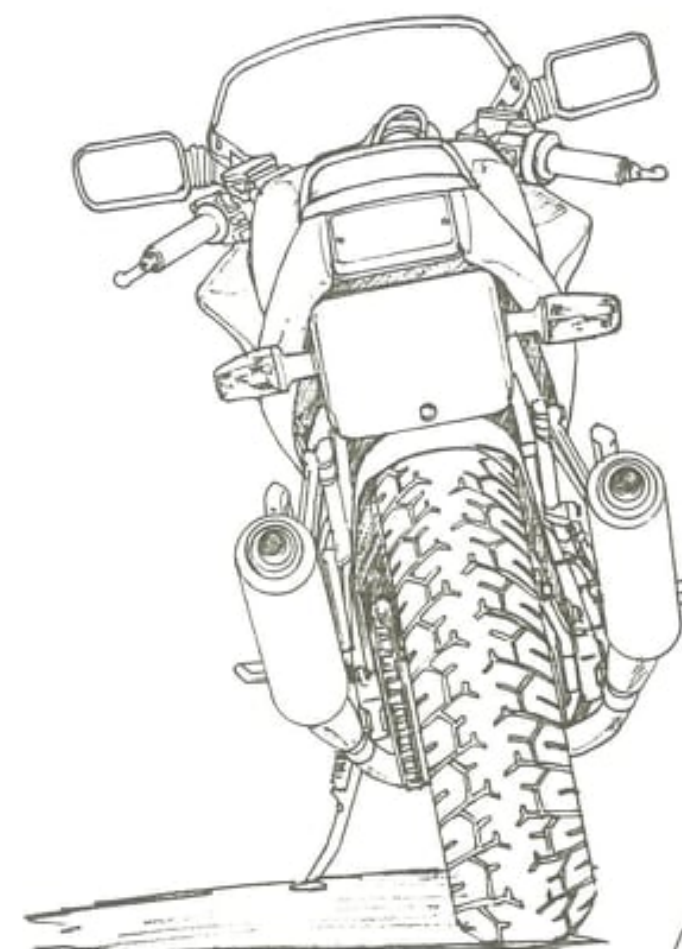
2001.1.4 by T. MURATA



ドゥカティ 900SS

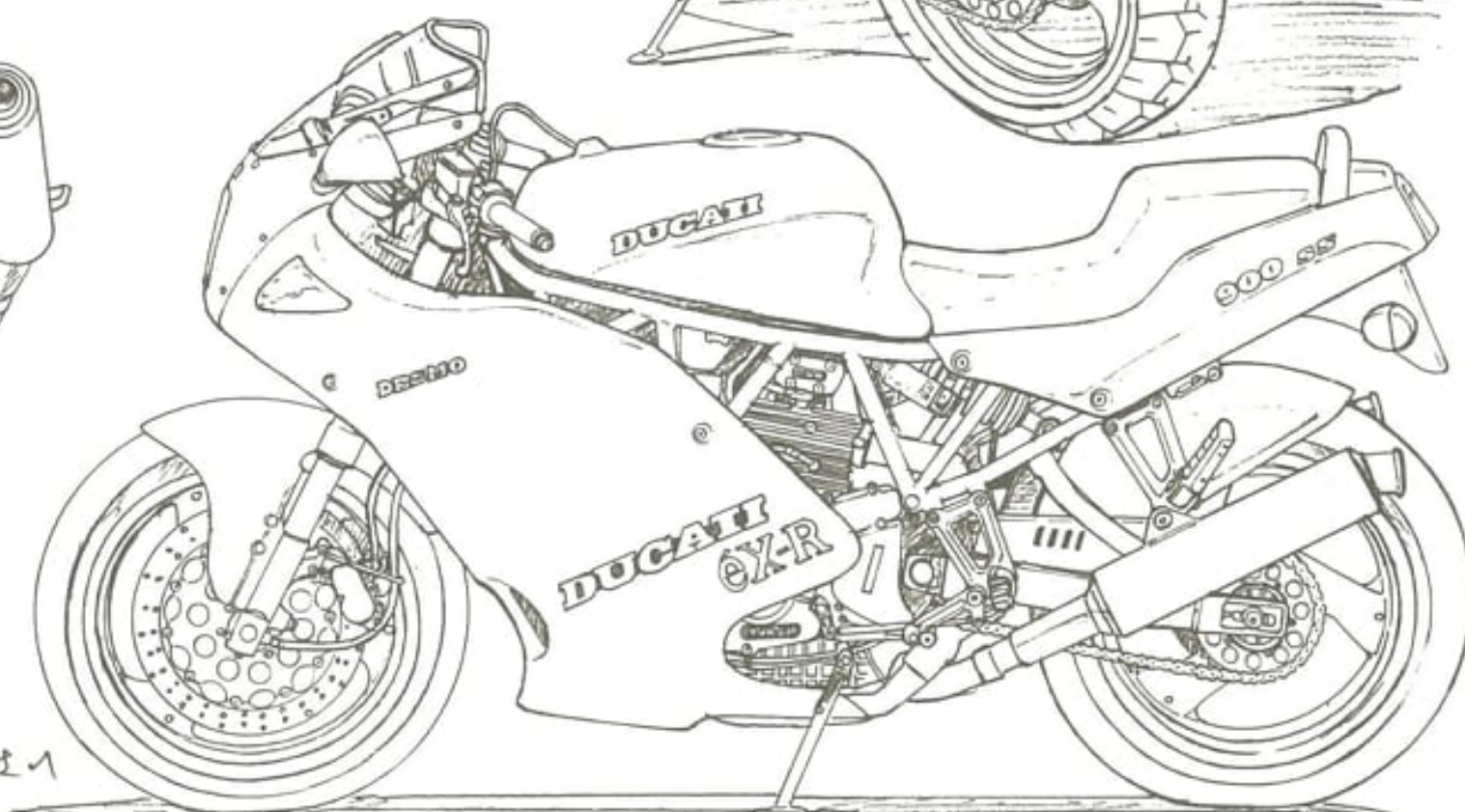
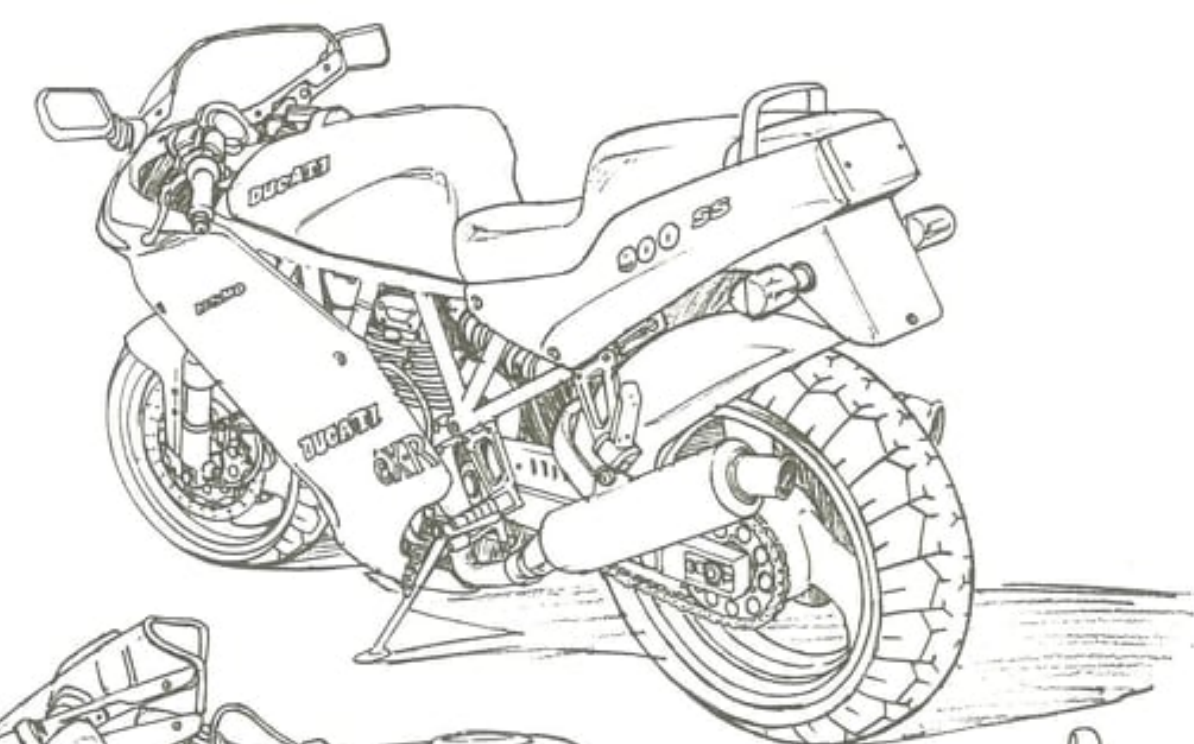
ドゥカティ 900SS

2001.1.4 by T. MURATA



4/10-1
はUP時以外
省略化して主

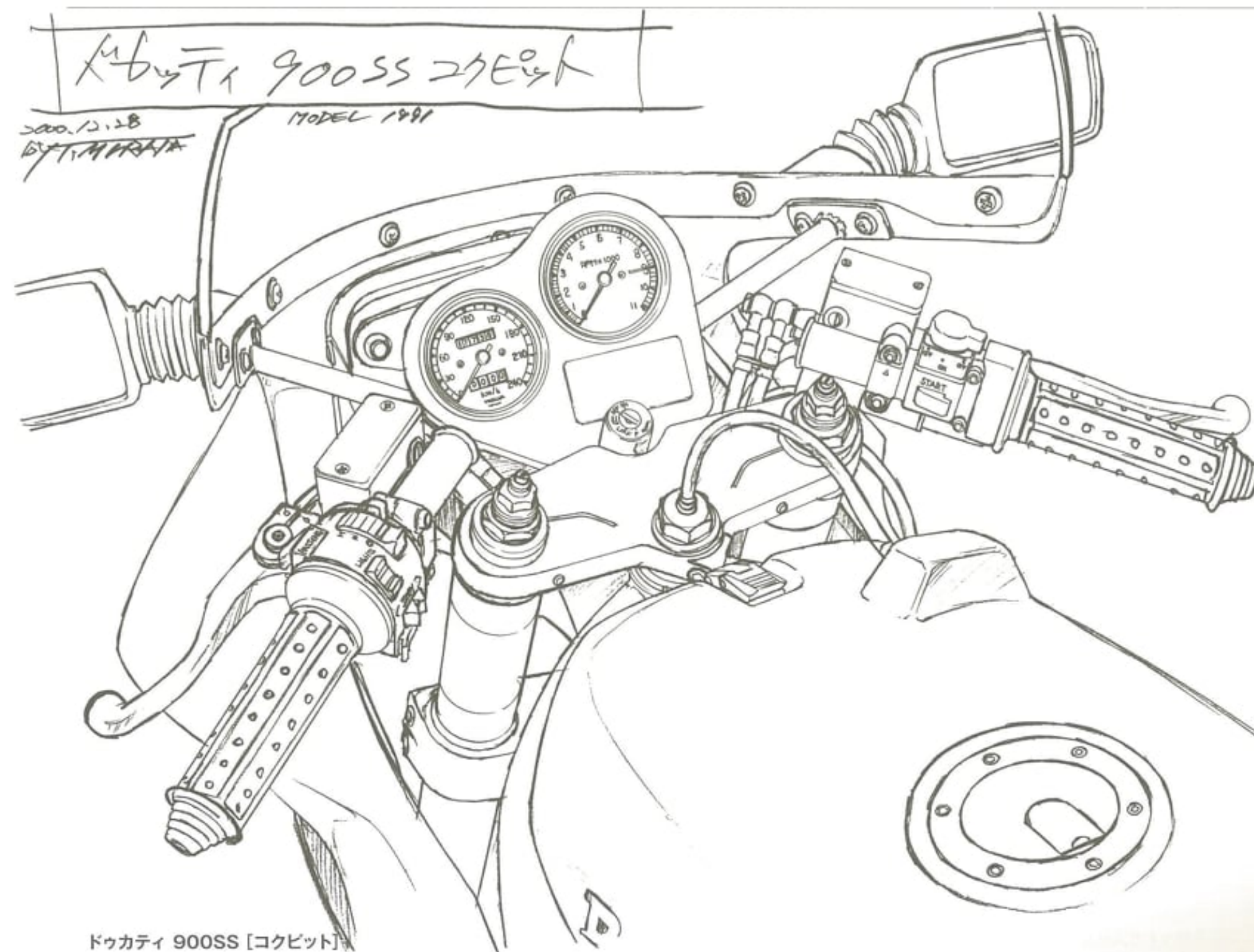
ドゥカティ 900SS



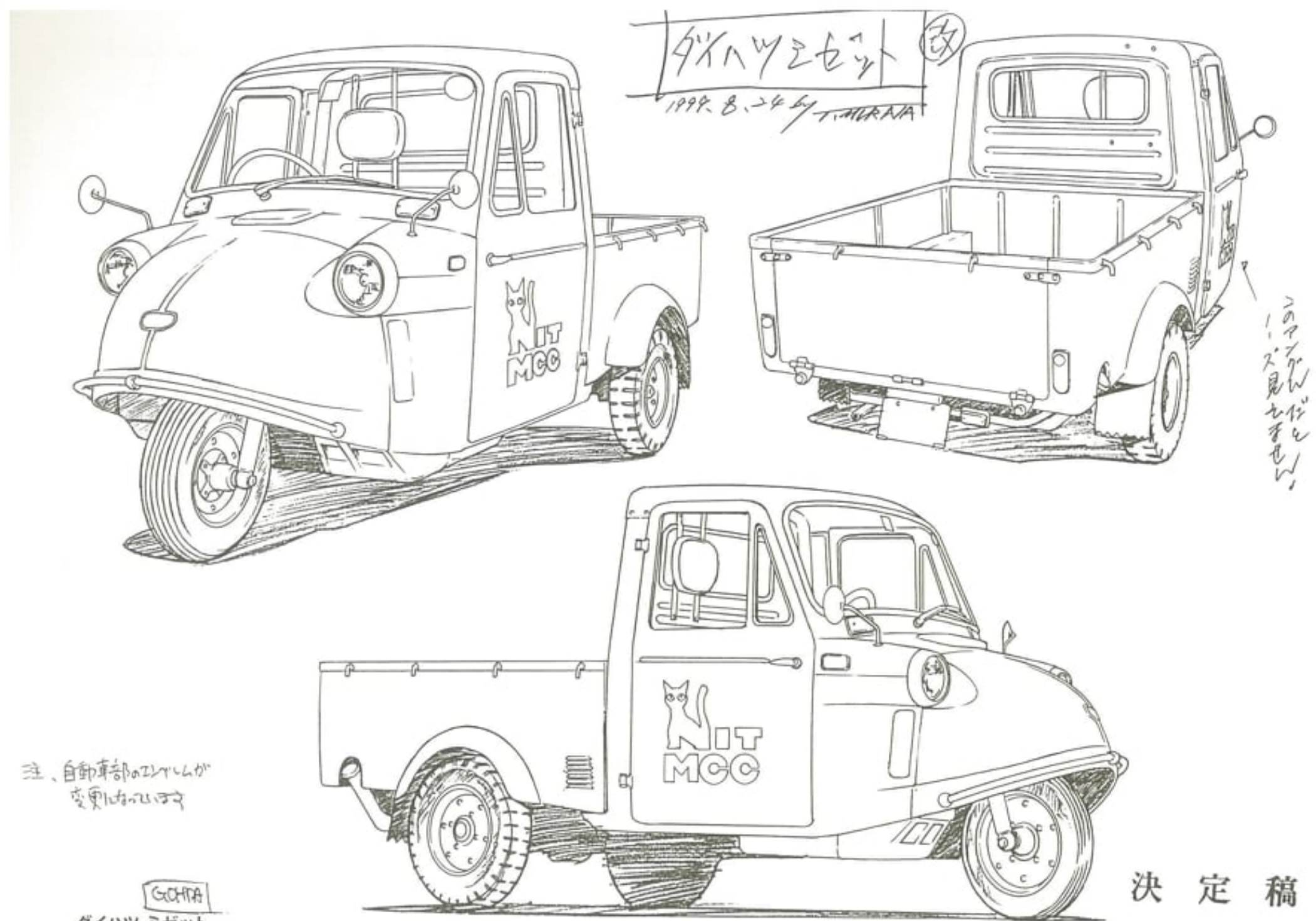
ドゥカティ 900SS コクピット

2001.12.28
by T. MURATA

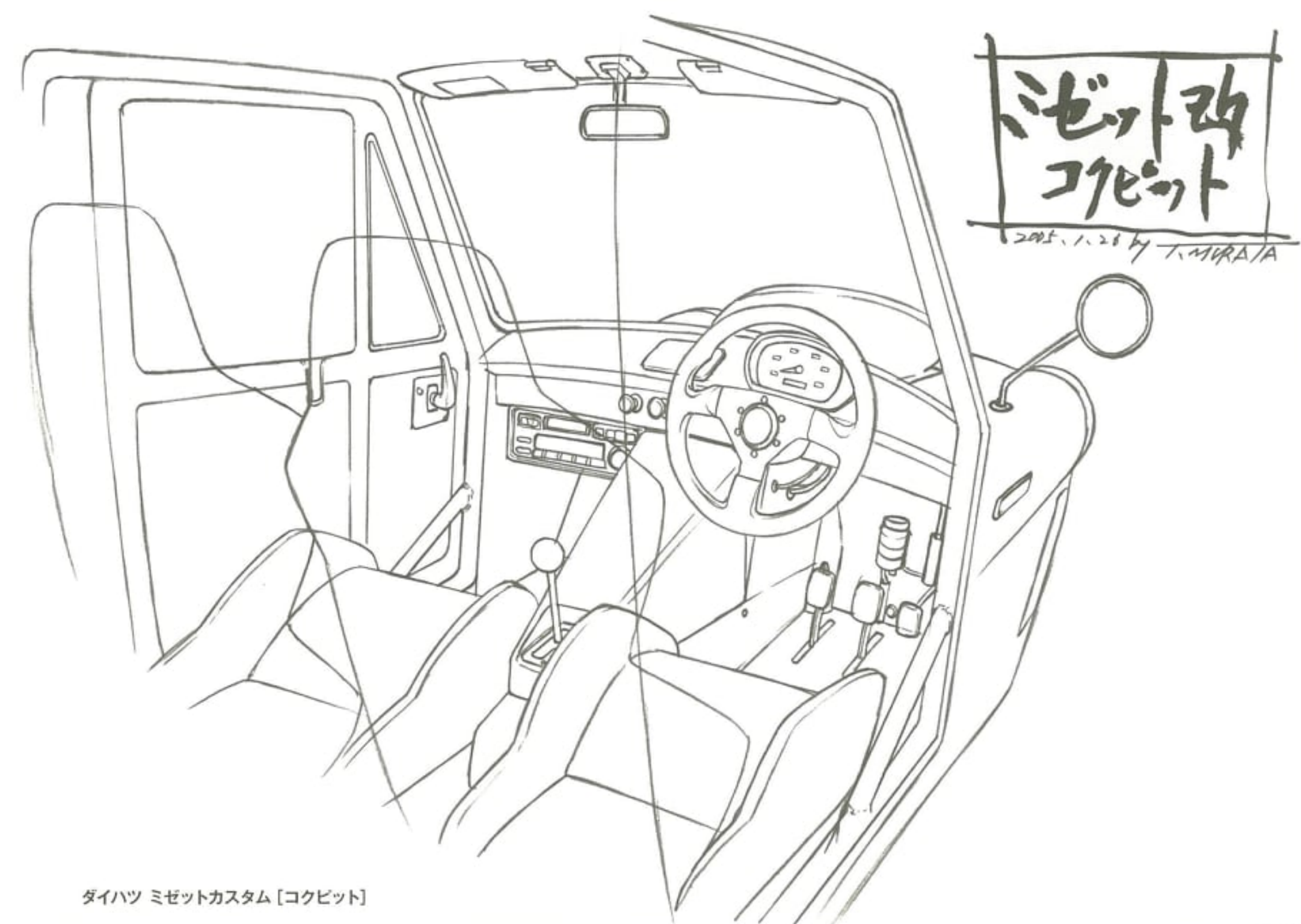
MODEL 1881



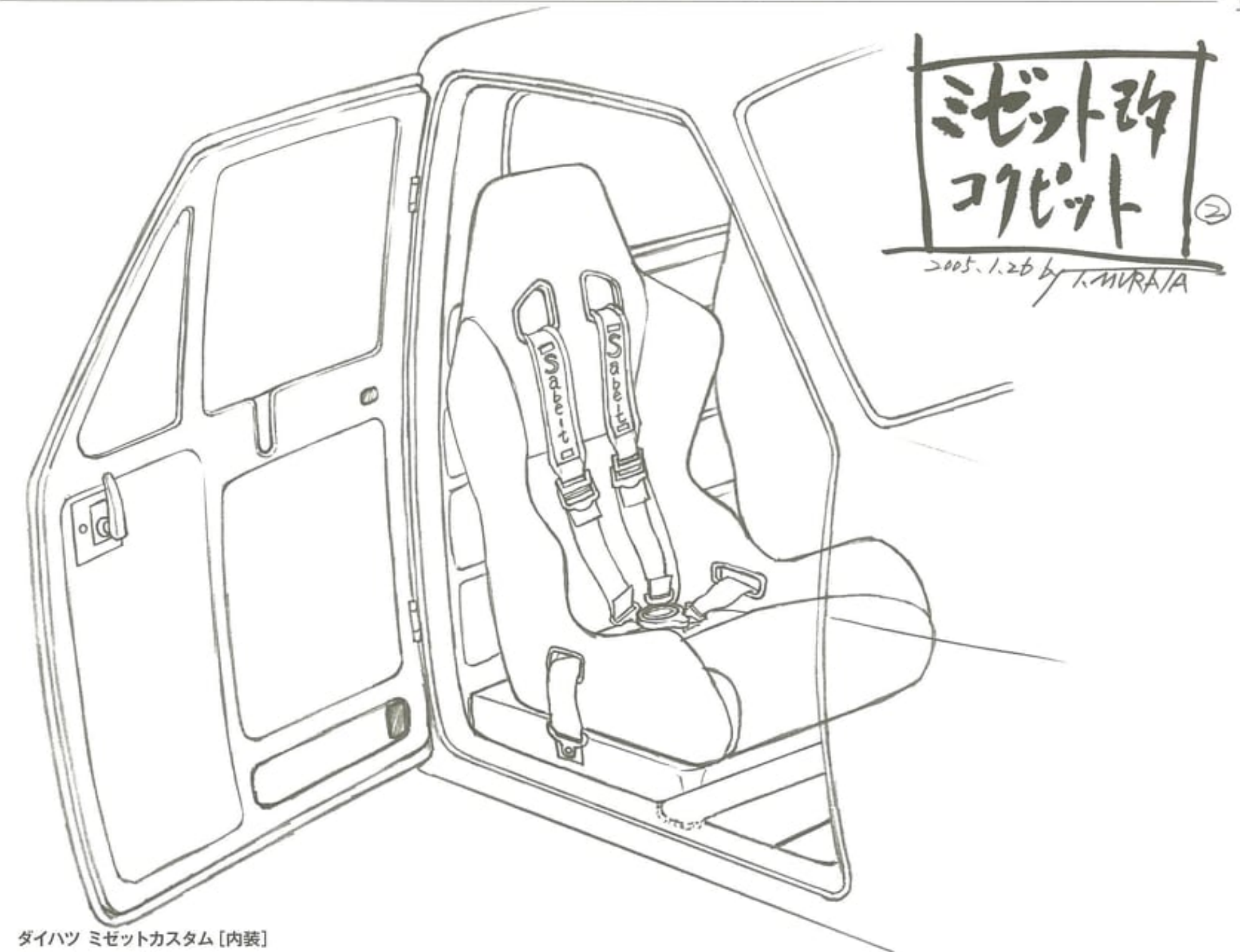
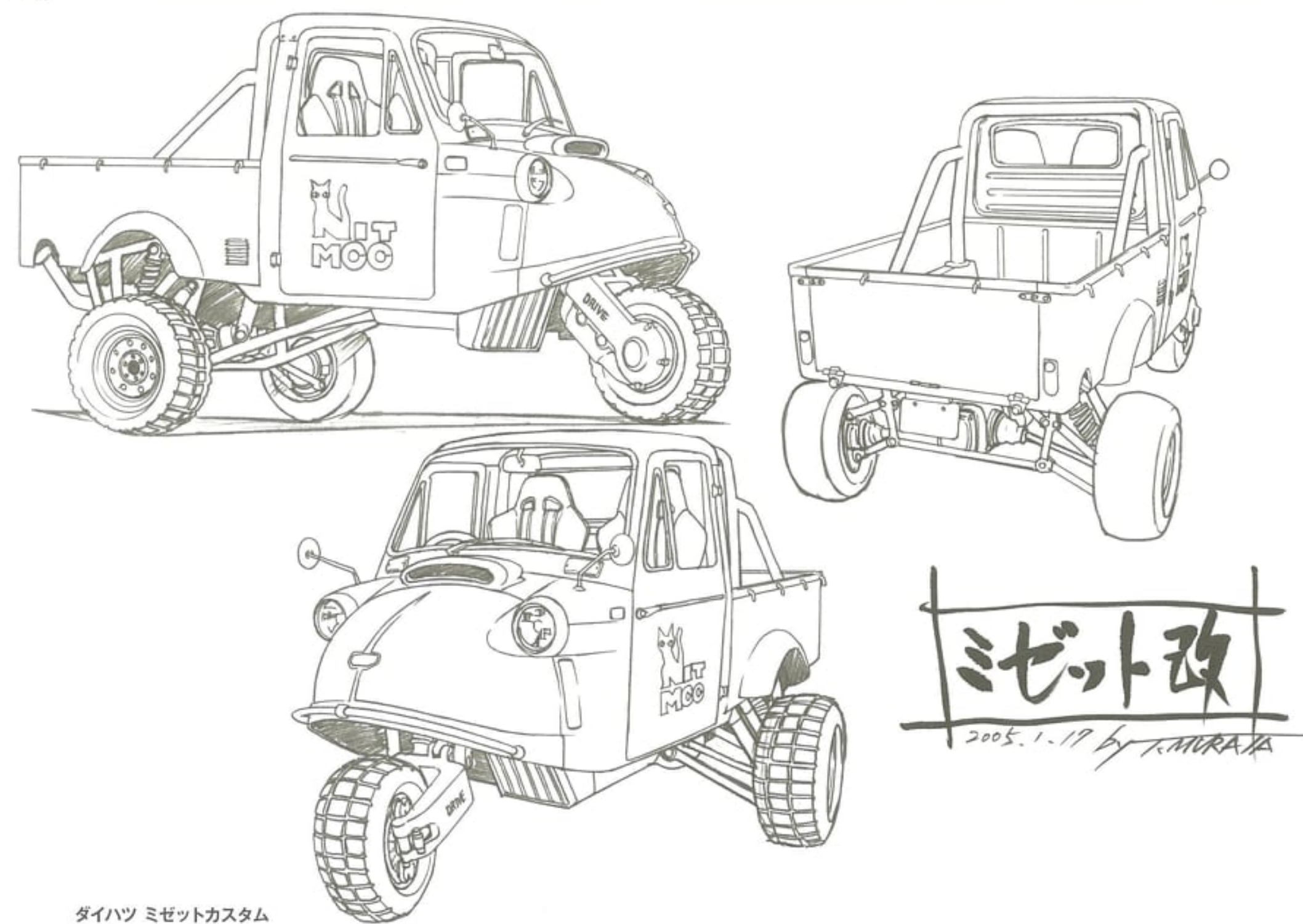
ドゥカティ 900SS [コクピット]



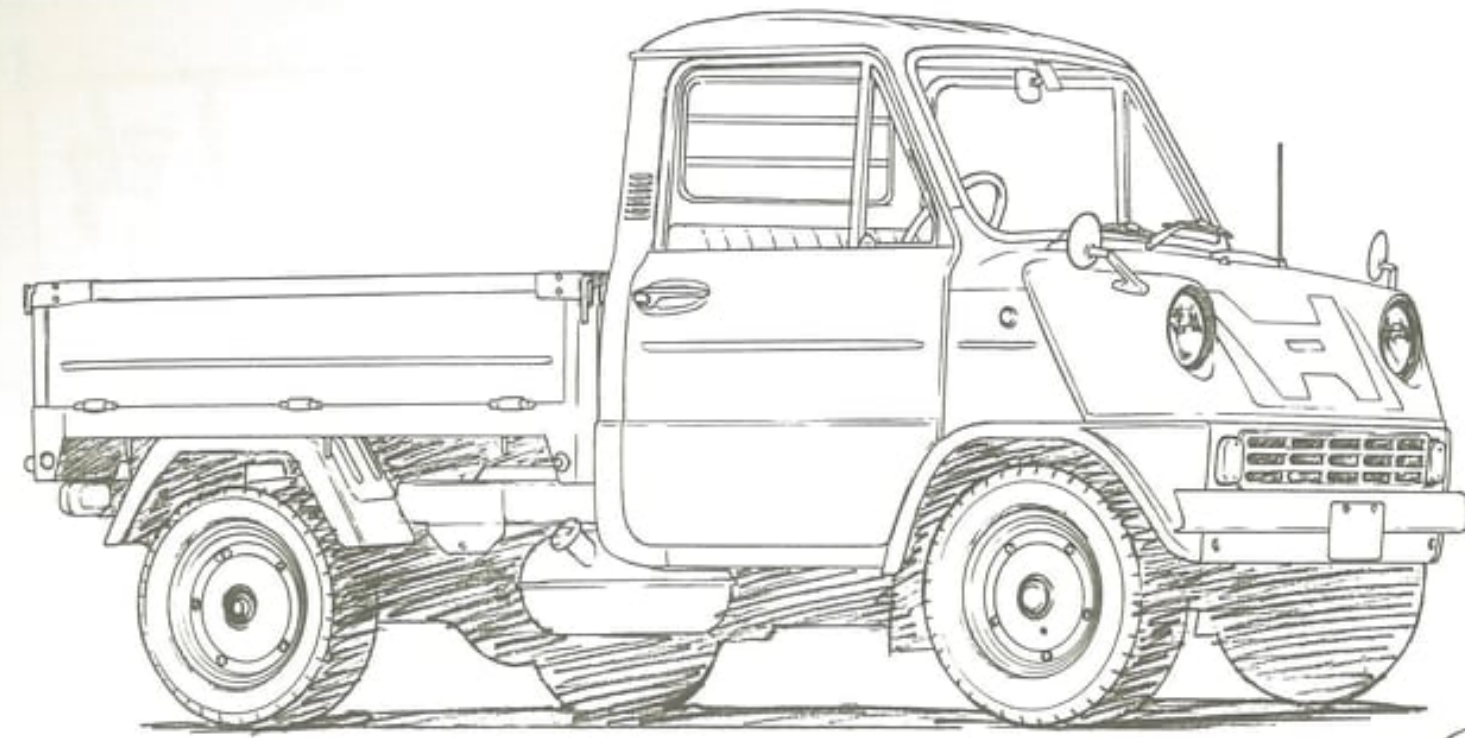
116



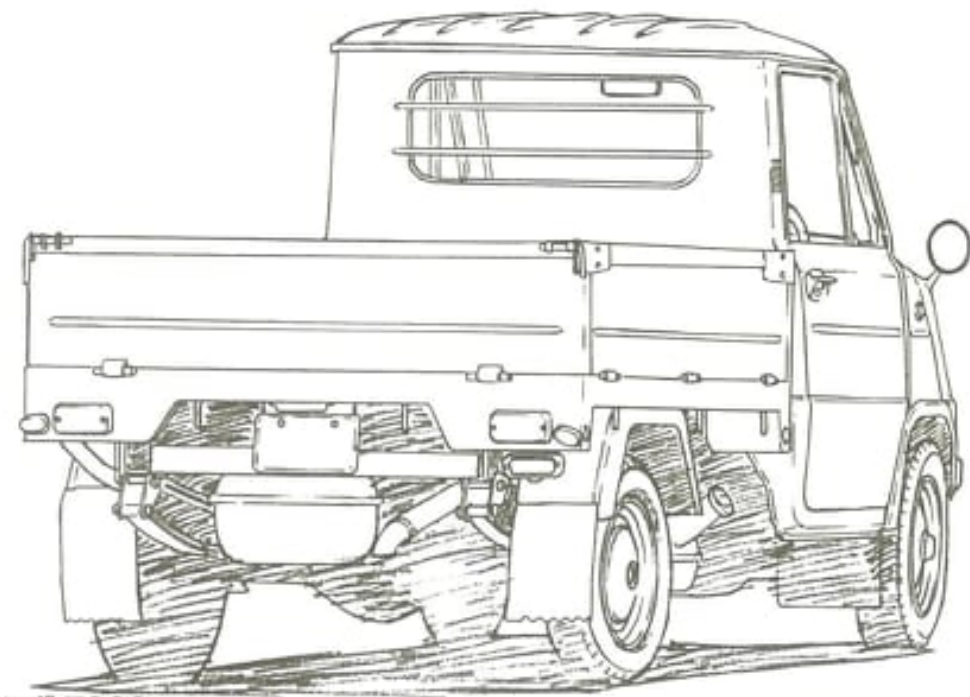
117



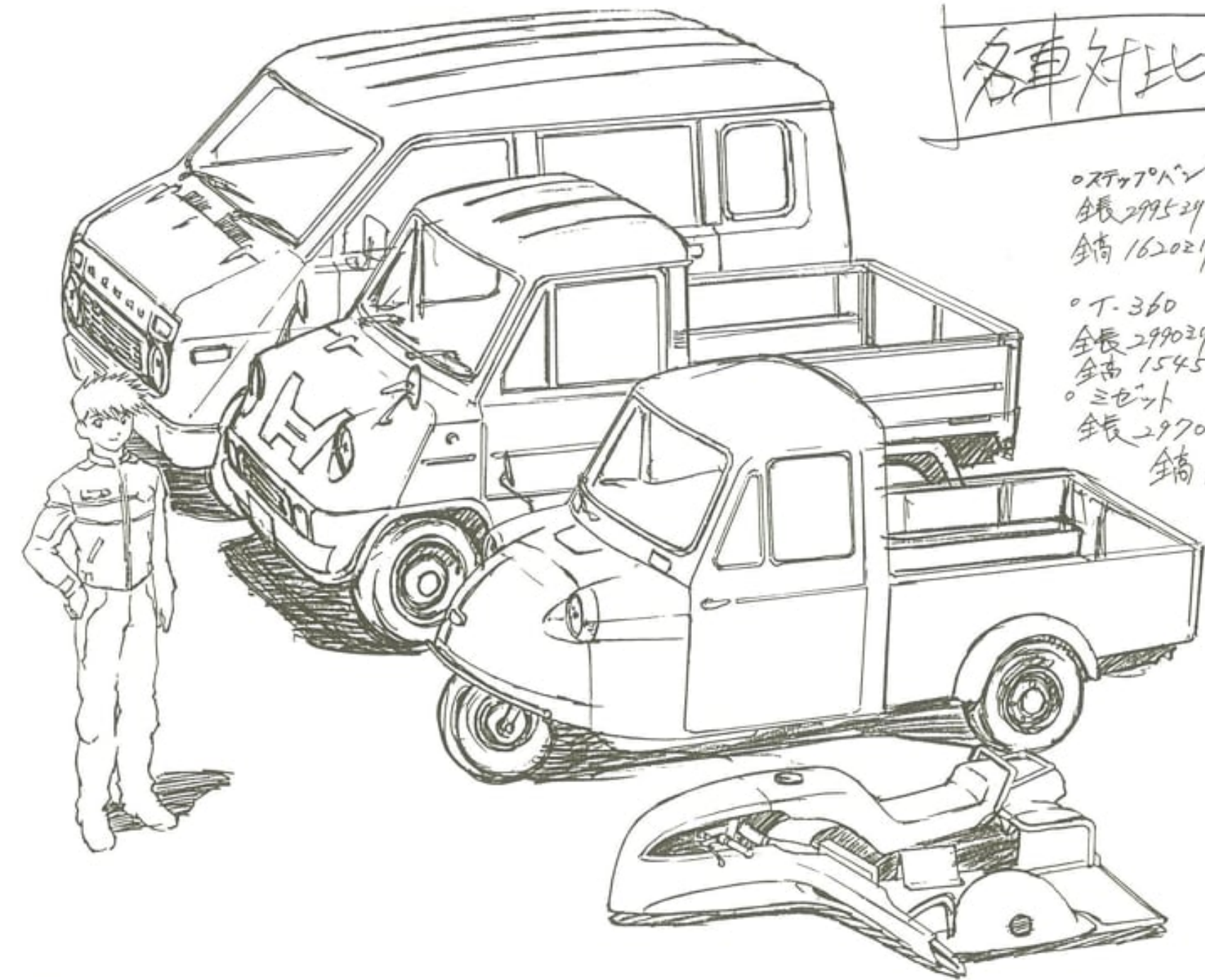
ダイハツ ミゼットカスタム [内装]



ホンダ T360
1998.12.3 by T. MURATA



ホンダ T360

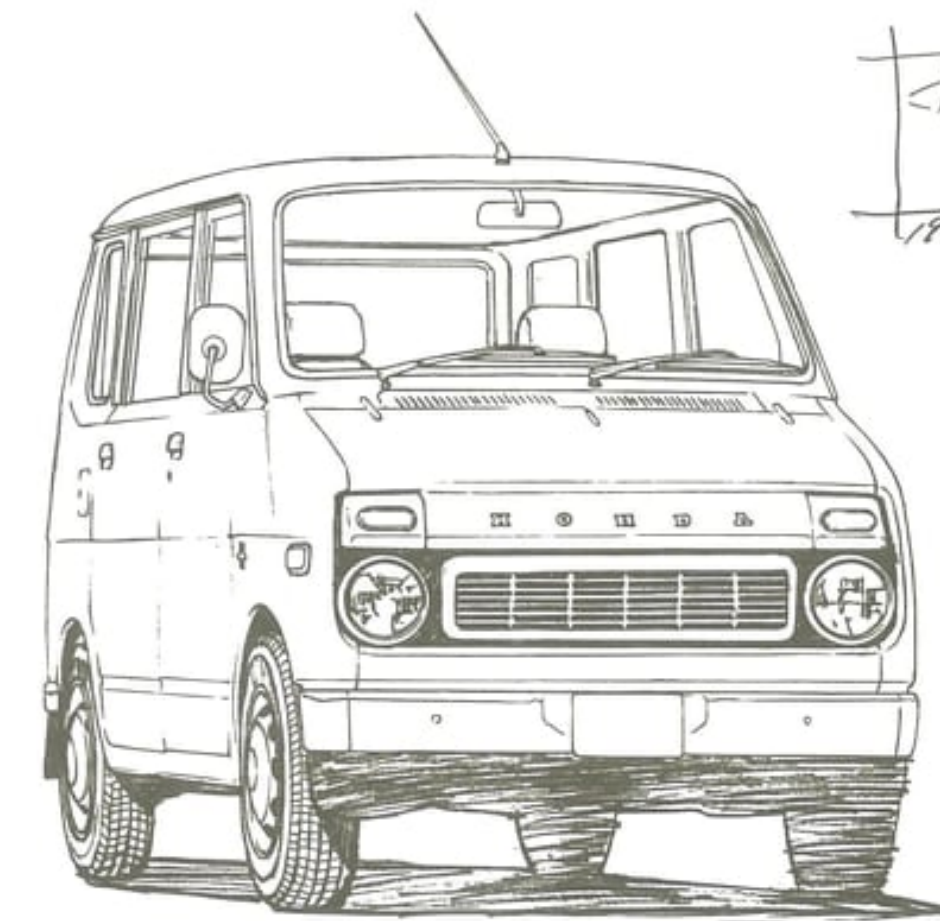


各車対比

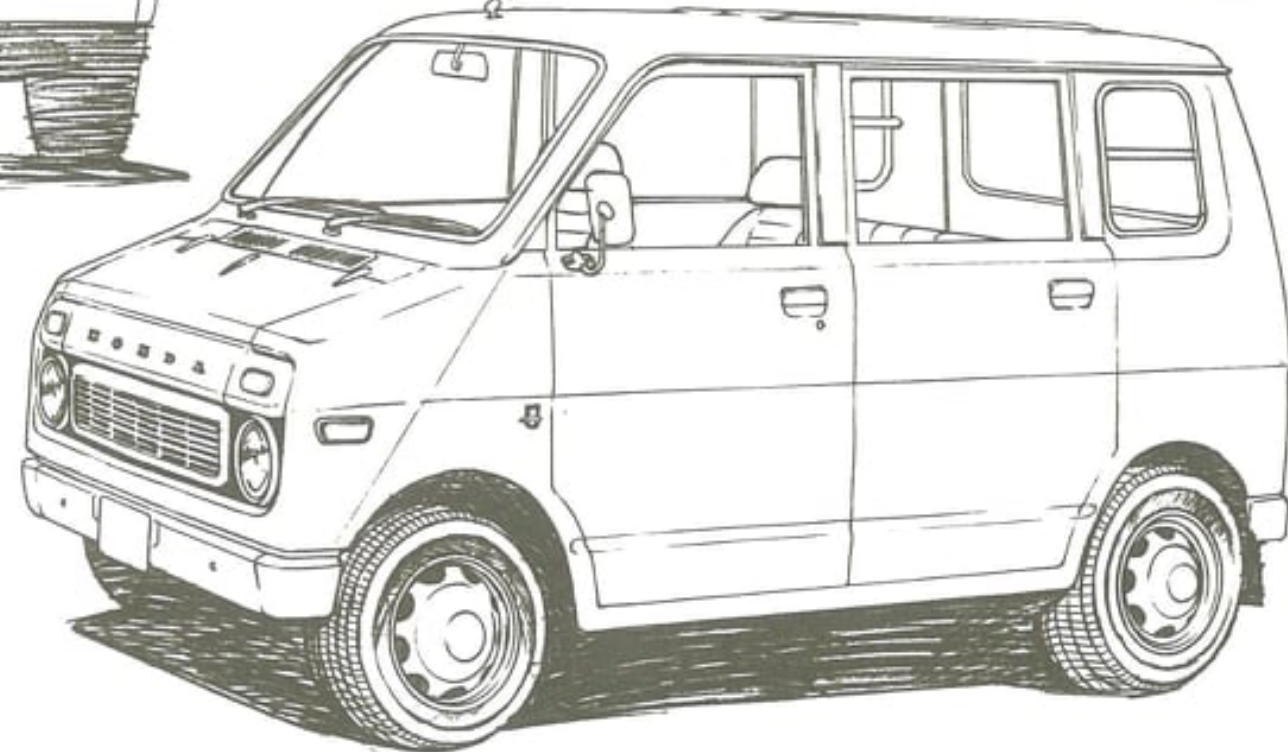
○ステップバン
全長 2995mm 全幅 1295mm
全高 1620mm
○T-360
全長 2990mm 全幅 1295mm
全高 1545mm
○ミゼント
全長 2970mm 全幅 1295mm
全高 1455mm

各車対比

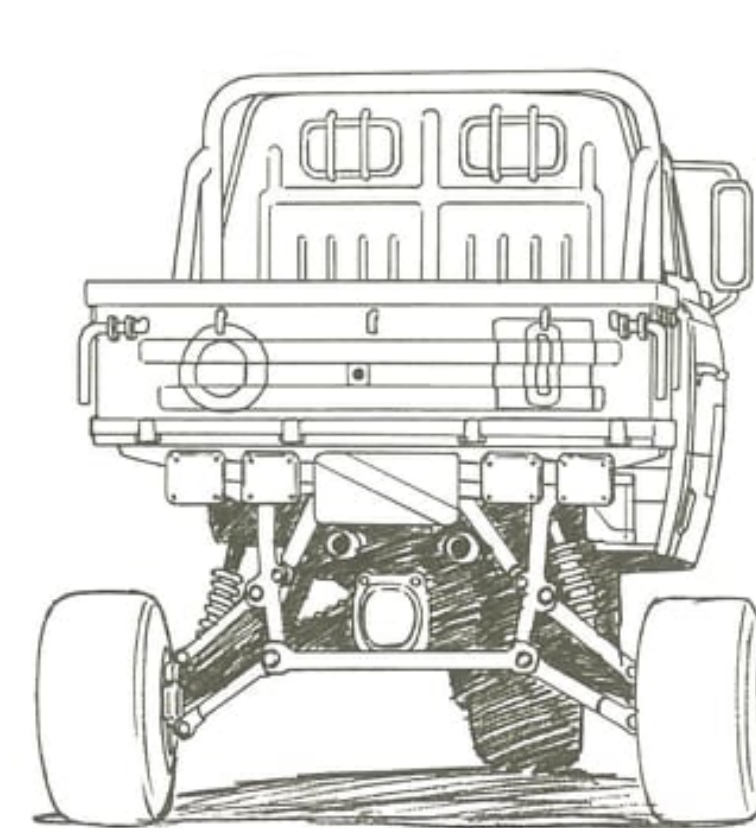
決定稿



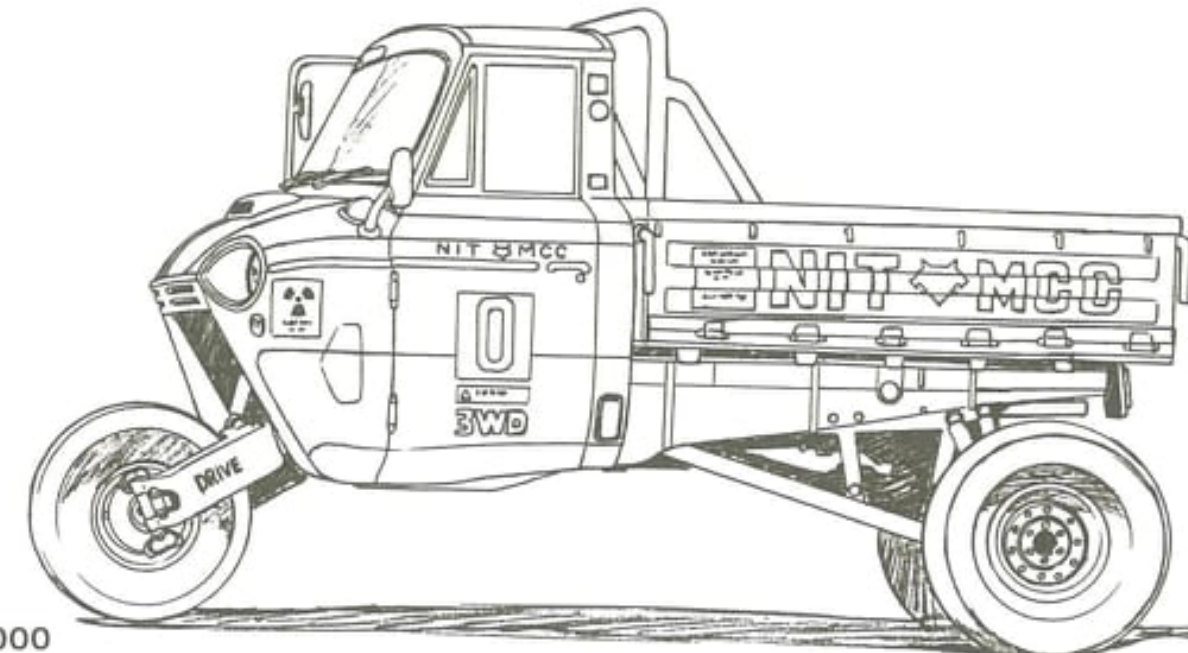
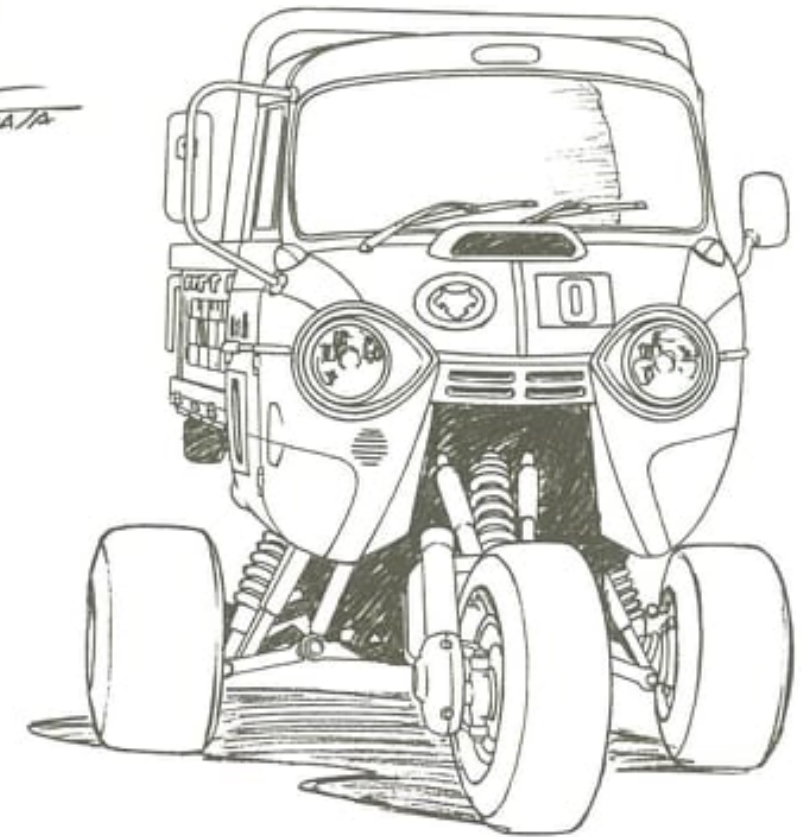
ホンダライフ
ステップバン
1999.6.26 by T. MURATA



ホンダ ライフステップバン

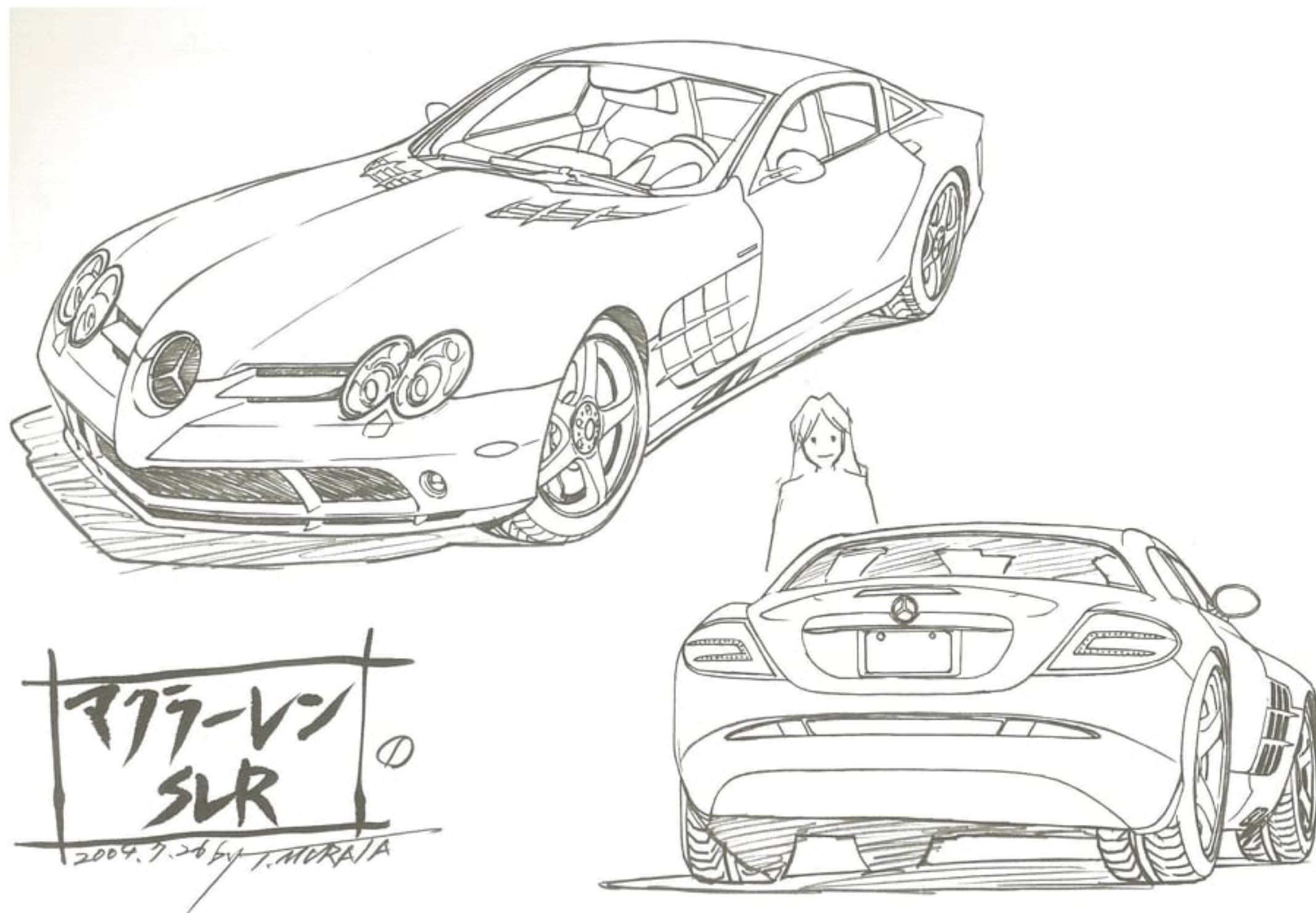


トラック
1999.2.10 by T. MURATA

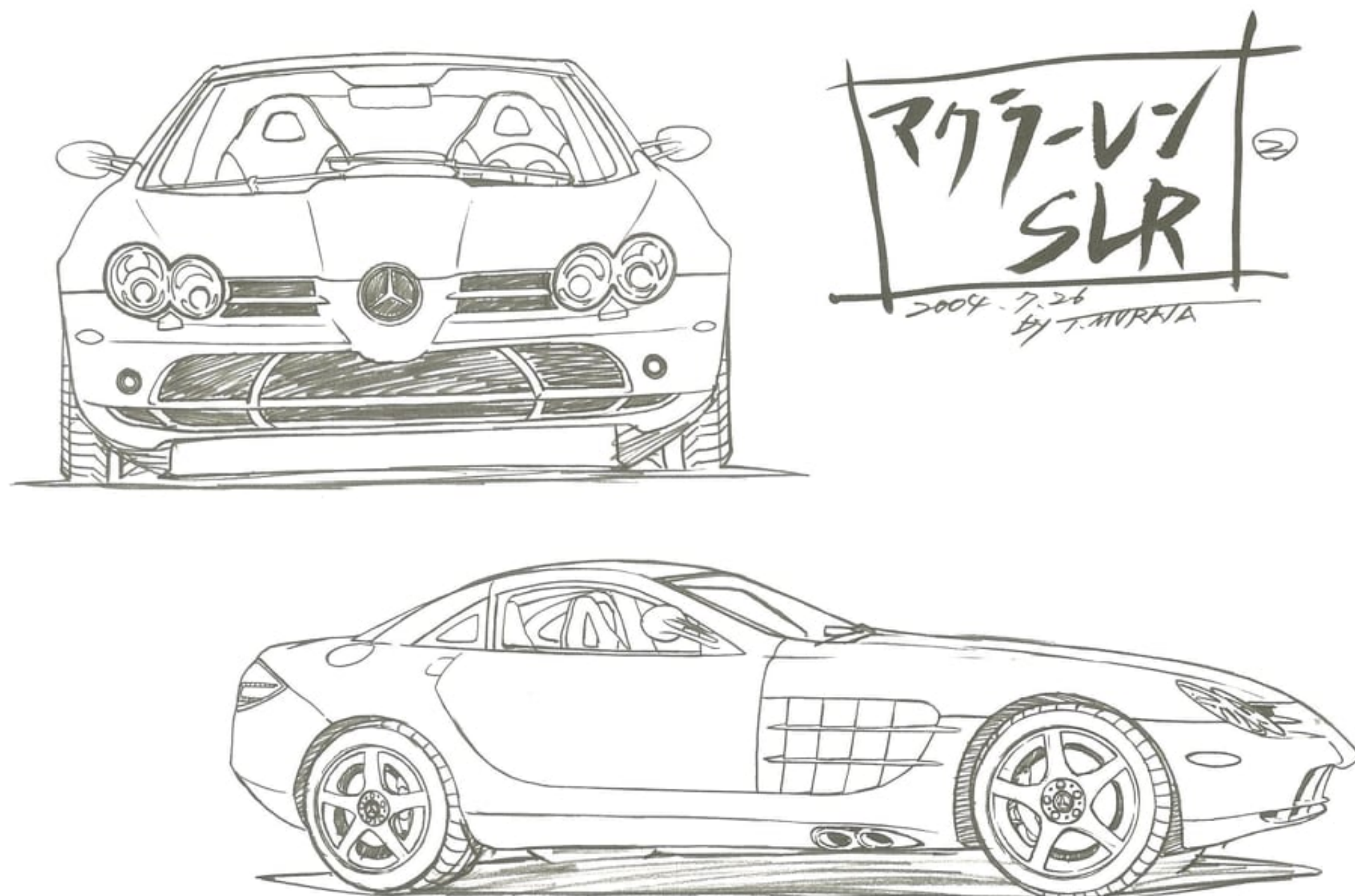


マツダ T2000

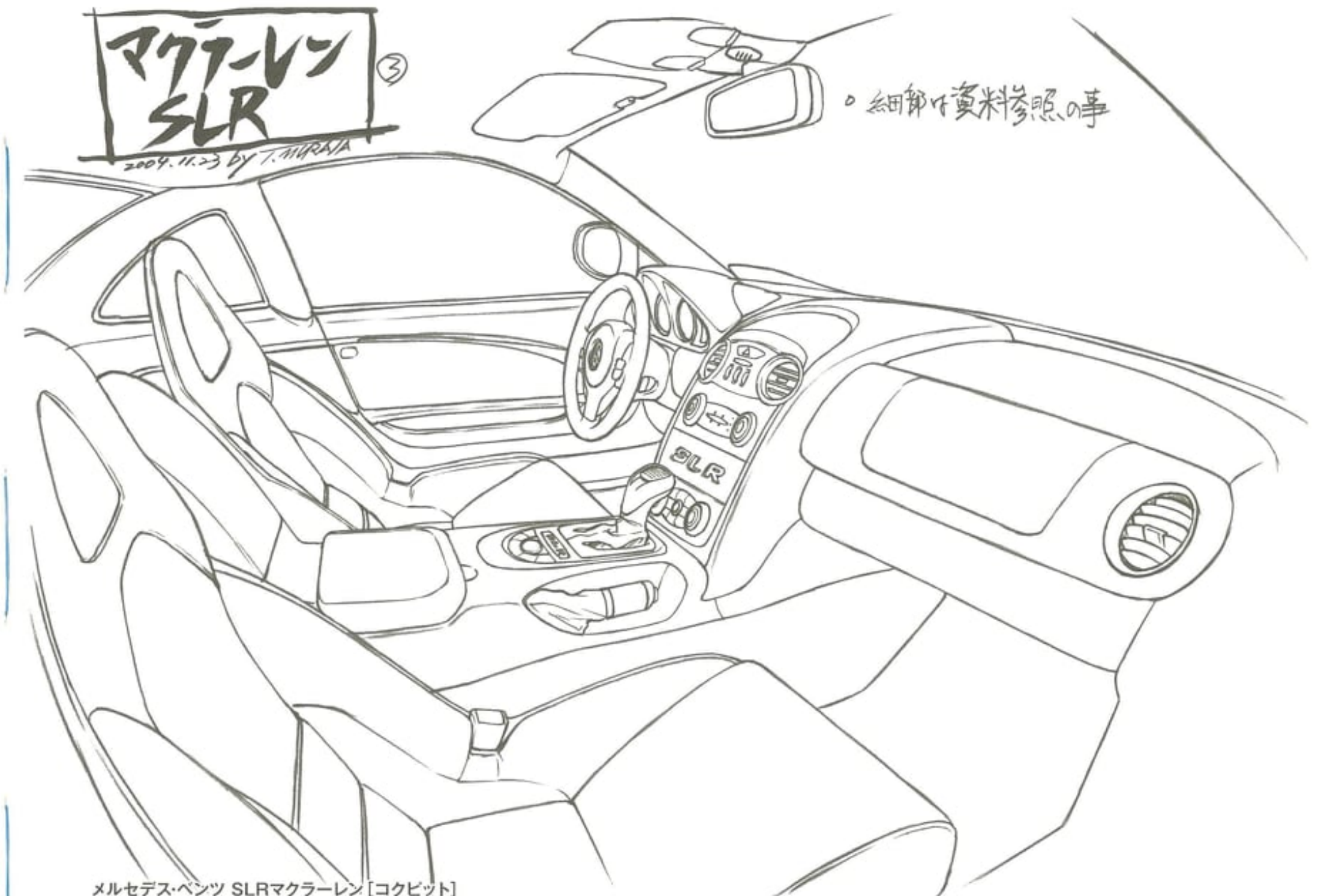




120

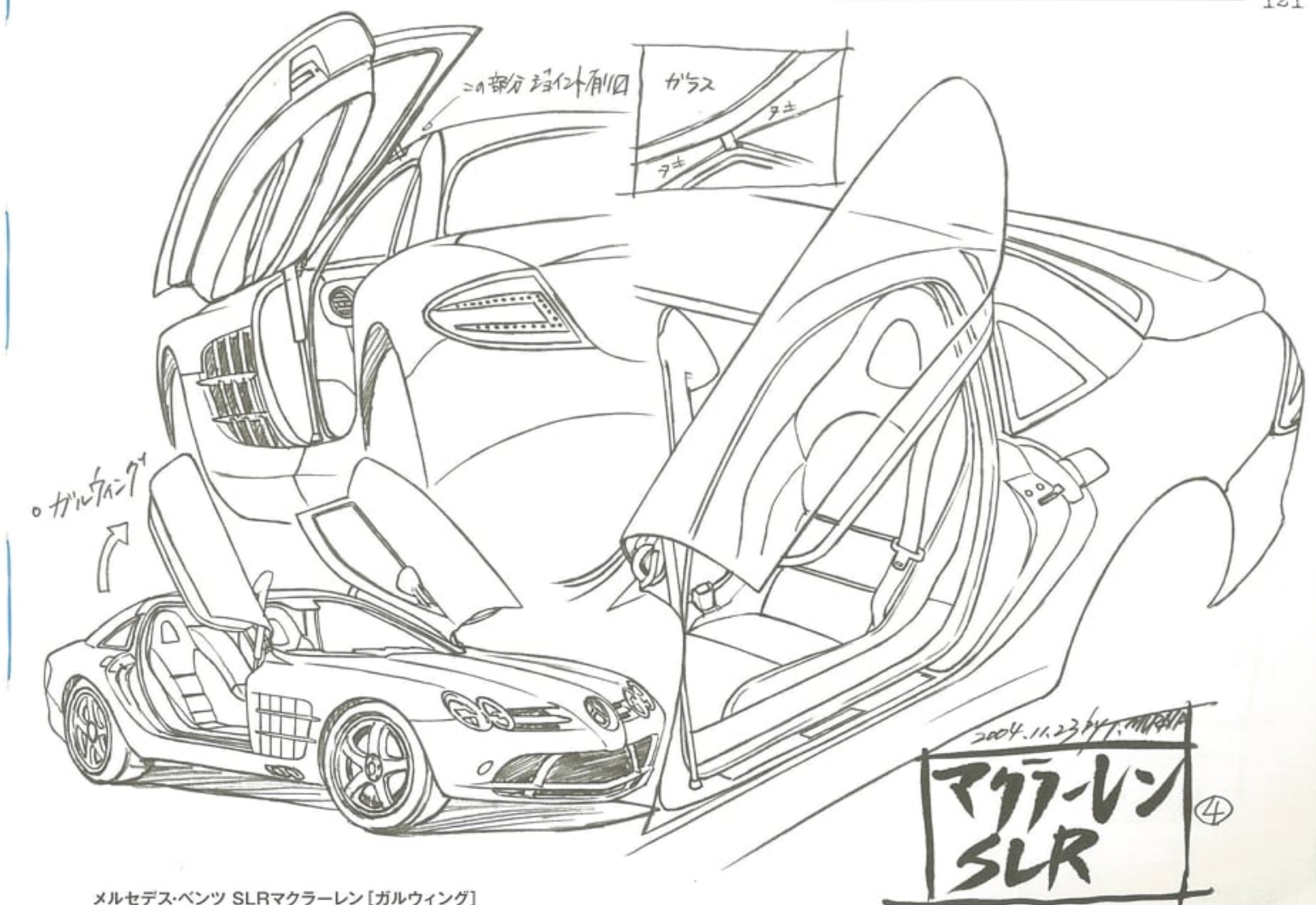


メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン

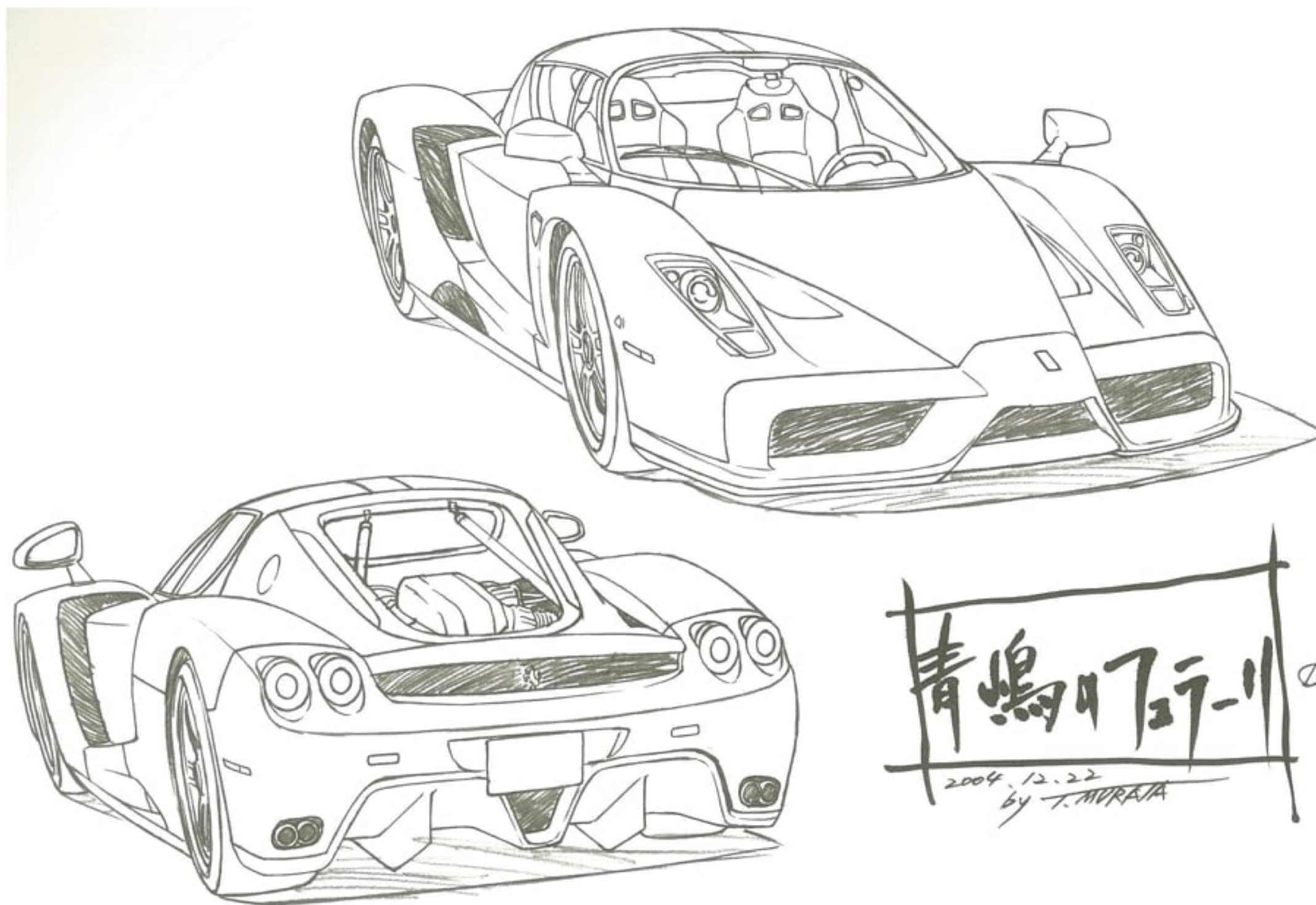


メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン [コクピット]

121

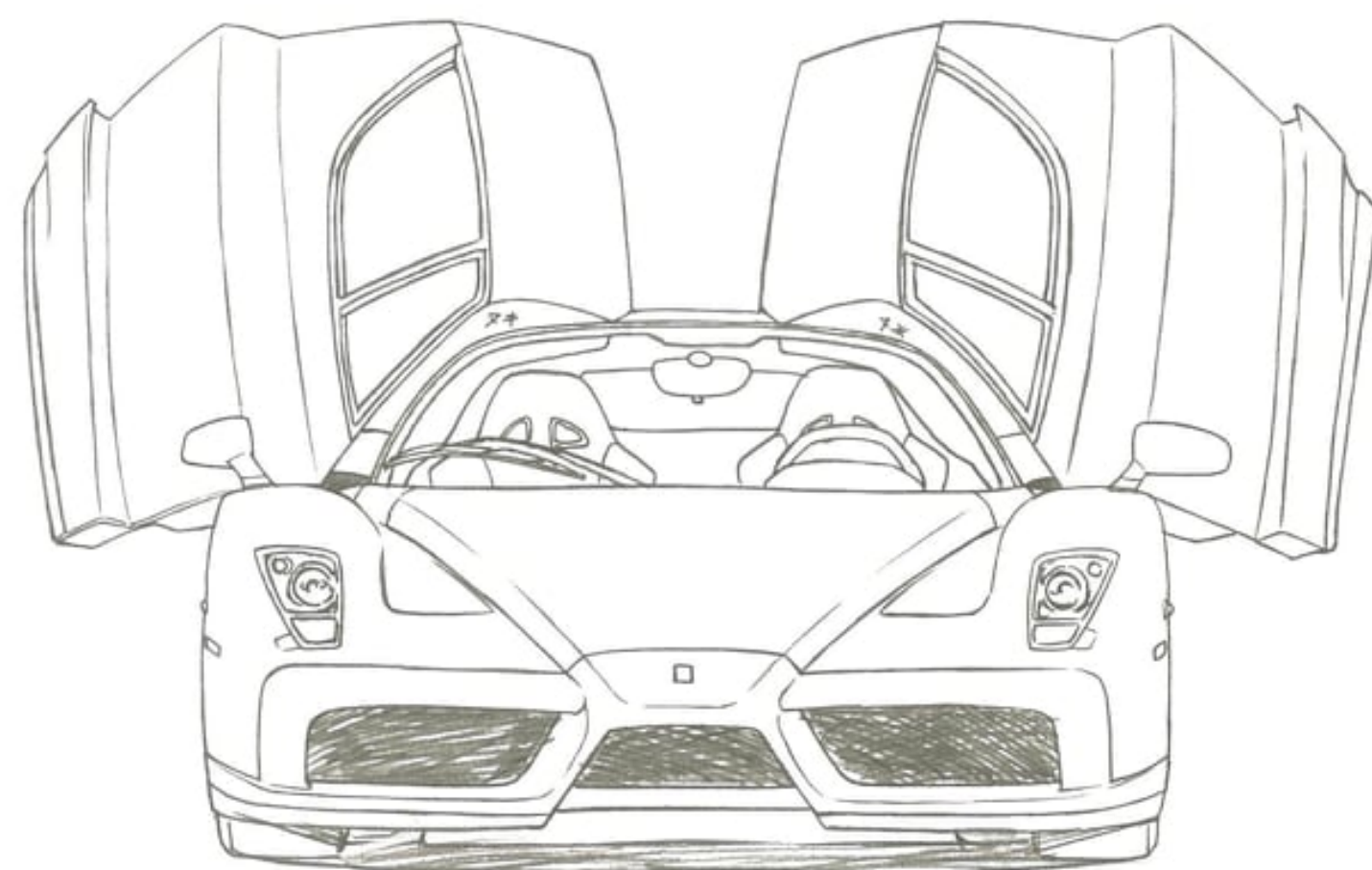


メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン [ガルウィング]

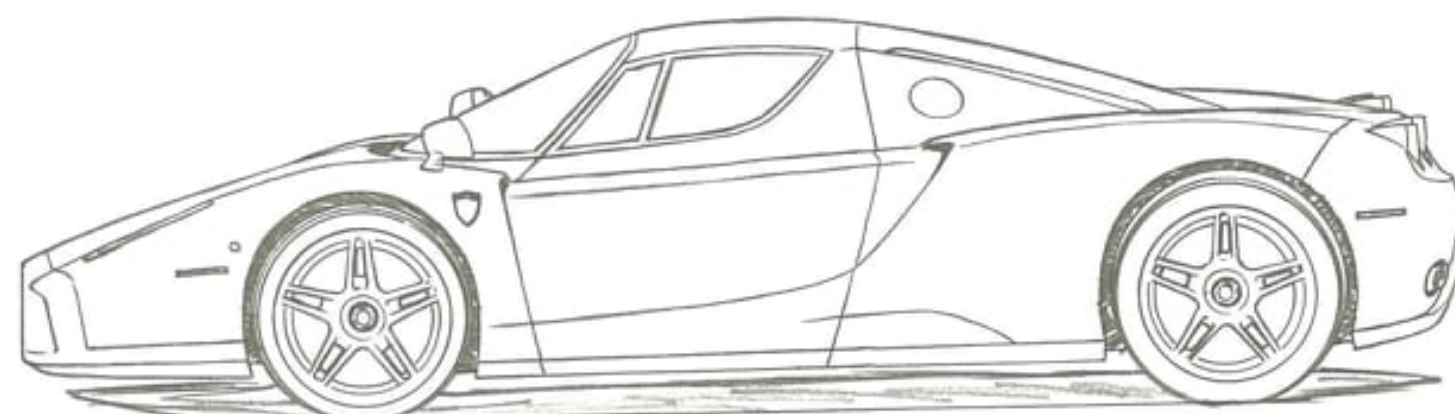


青島のフェラーリ
2004.12.22
by T. MURATA

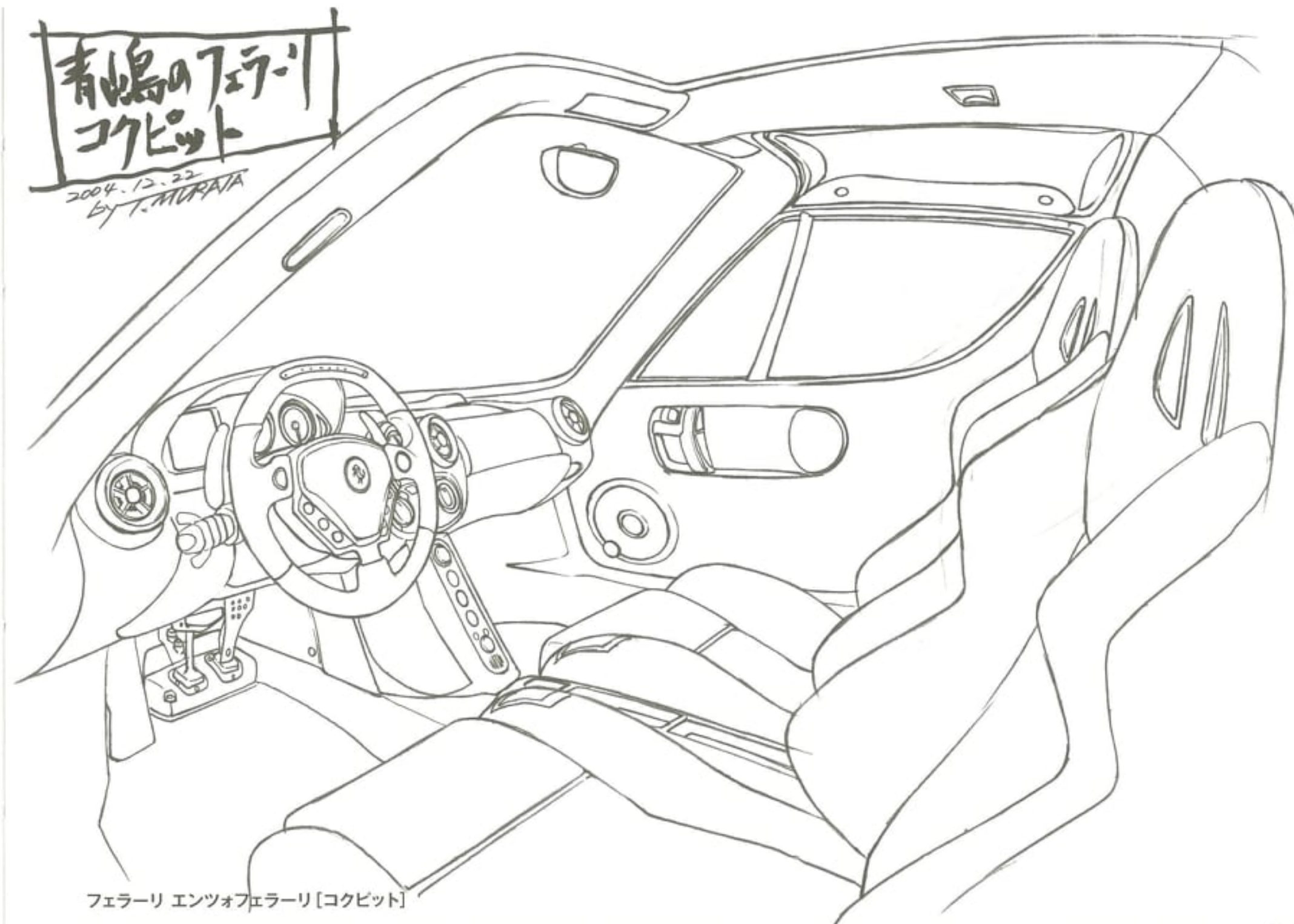
122



② 青島のフェラーリ
2004.12.22
by T. MURATA

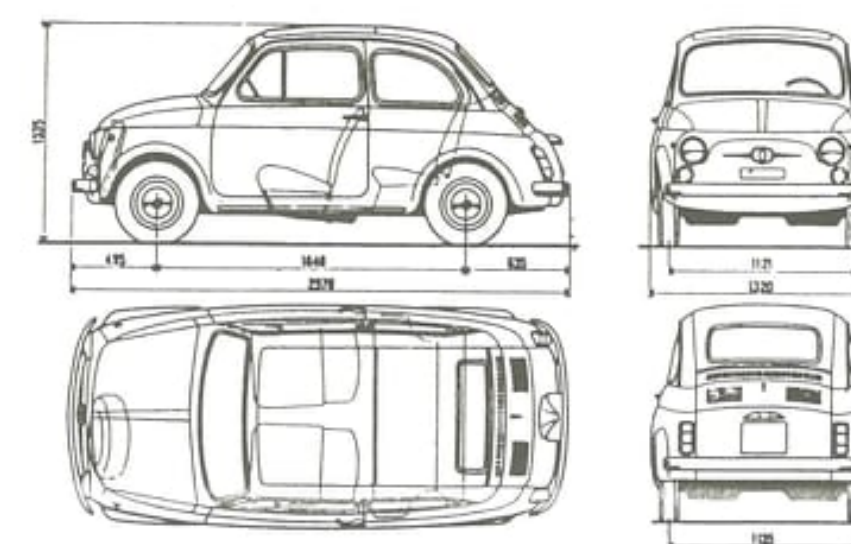
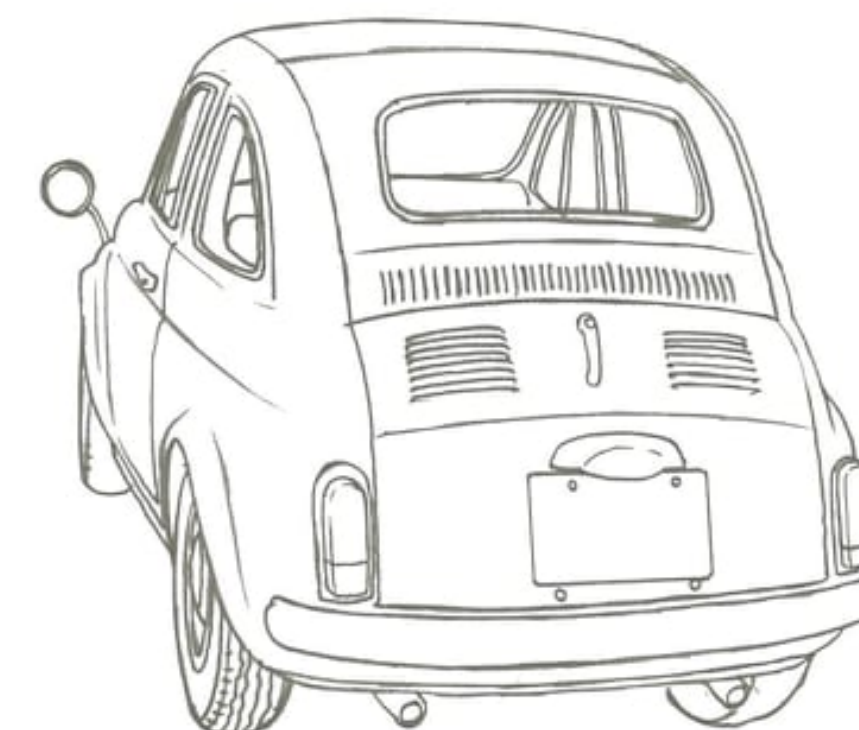
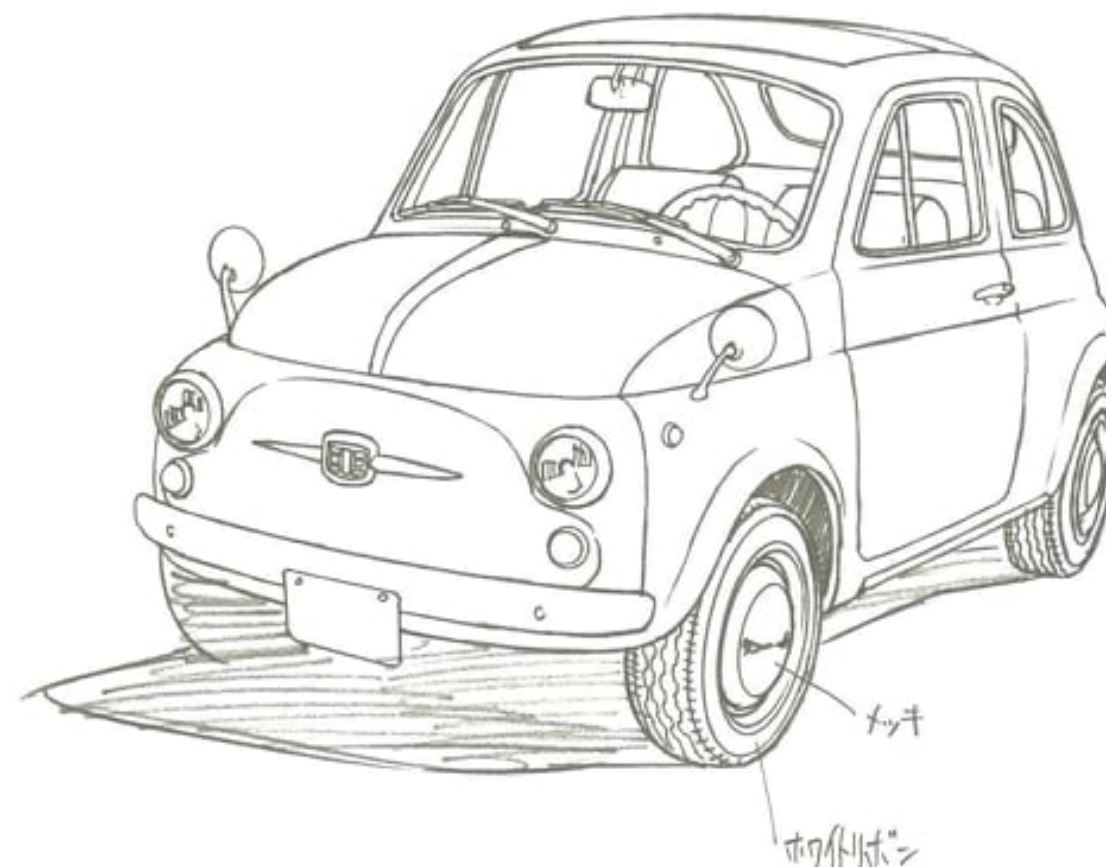


フェラーリ エンツォフェラーリ



フェラーリ エンツォフェラーリ [コクピット]

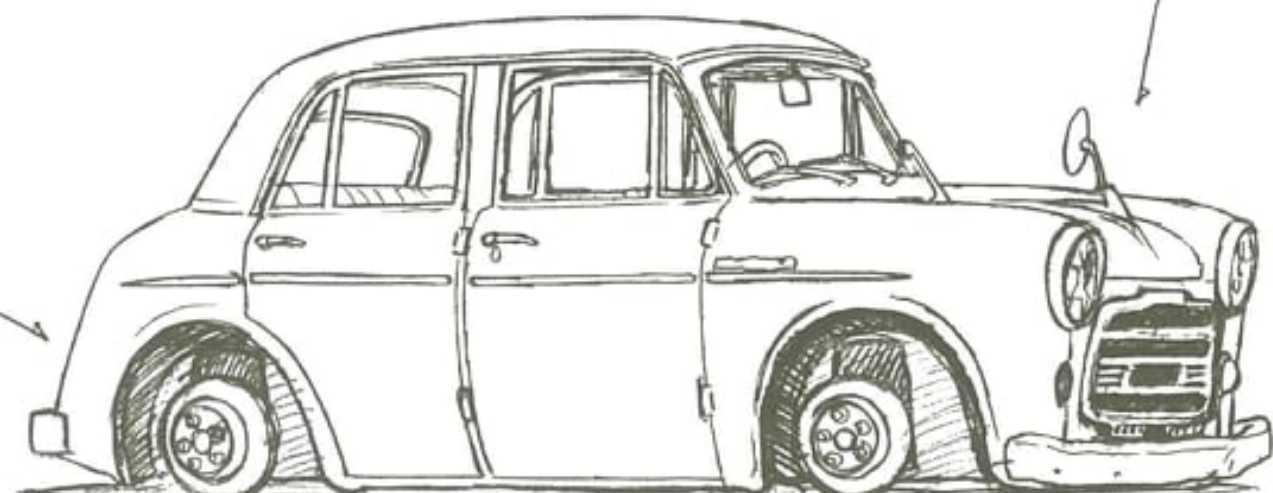
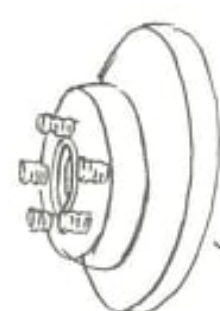
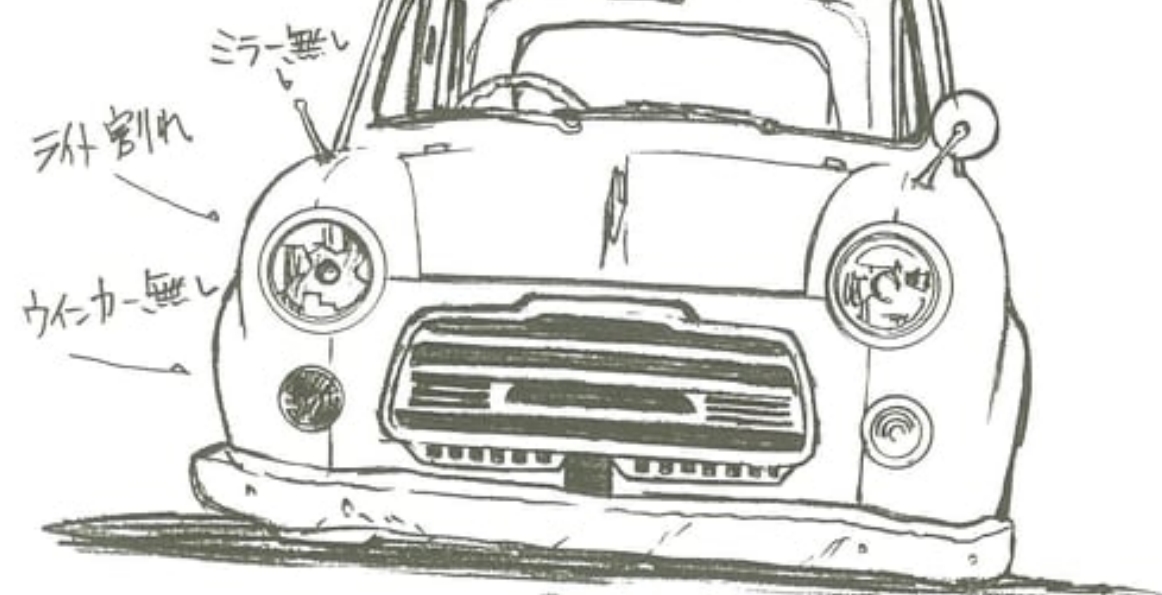
123



フィアット 500

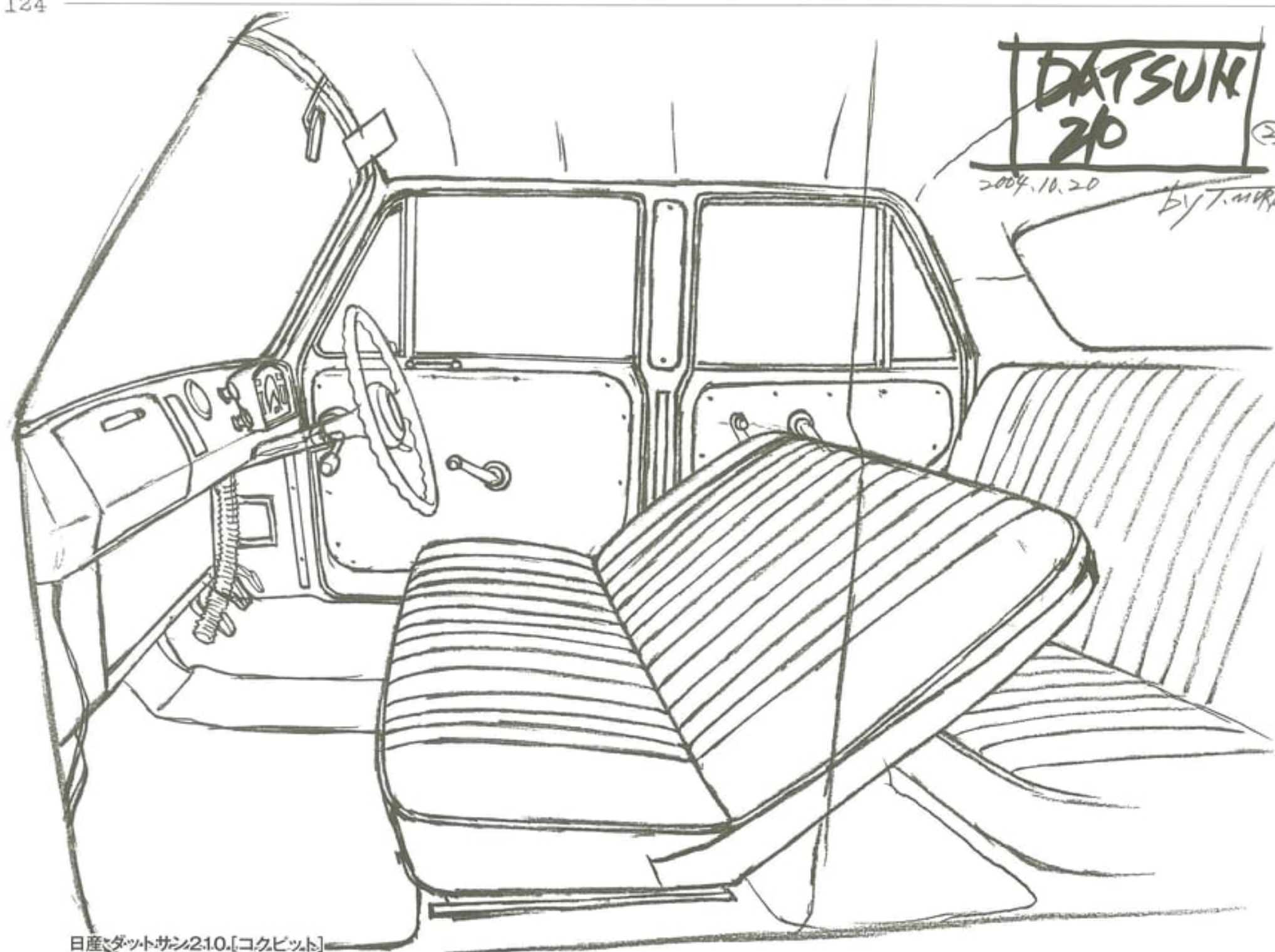
FIAT 500
2005.3.17
by T. MURATA
GONDA

DATSUN
210 ①
2004.10.20 by T. MURAKI



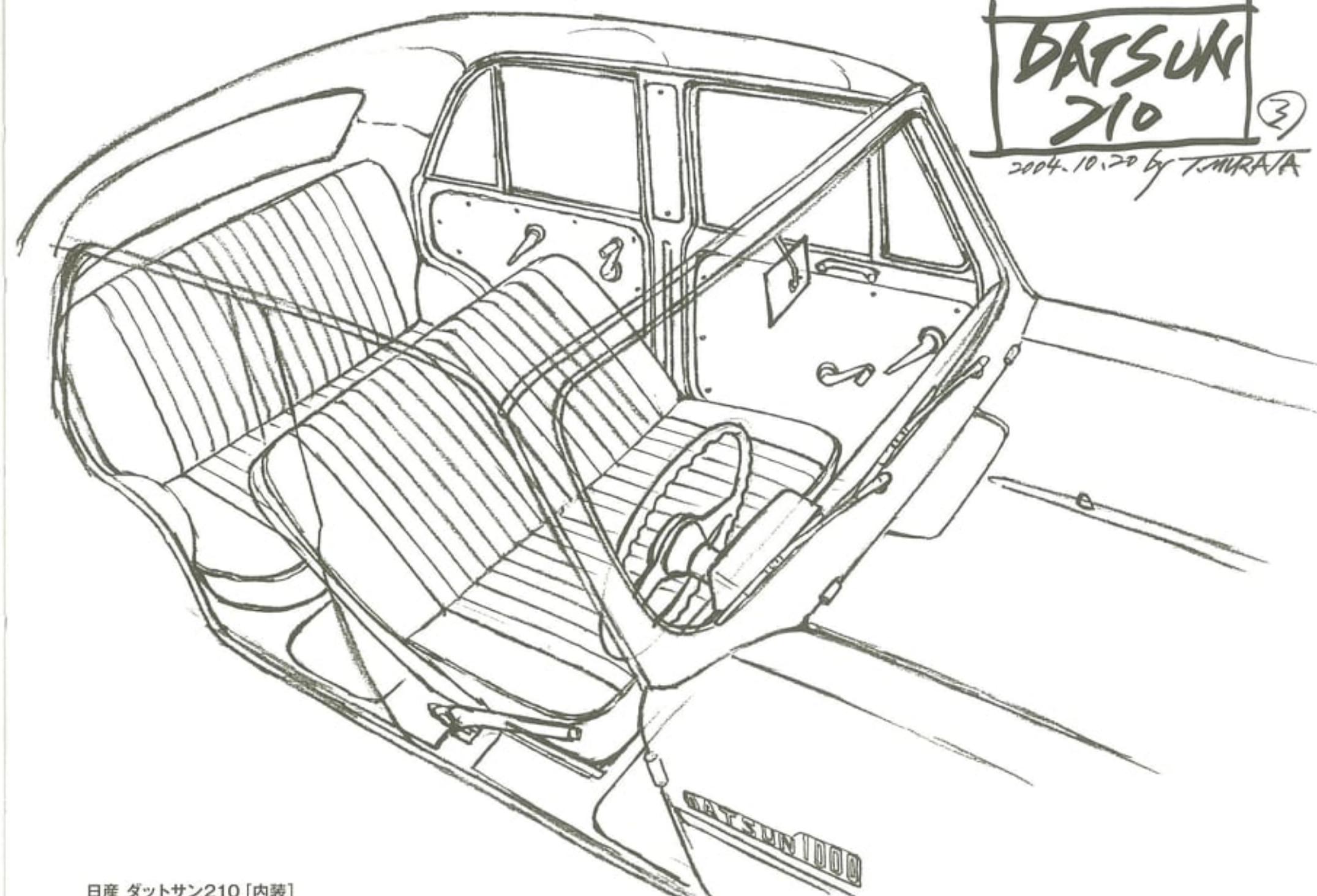
日産 ダットサン210

DATSUN
210 ②
2004.10.20 by T. MURAKI

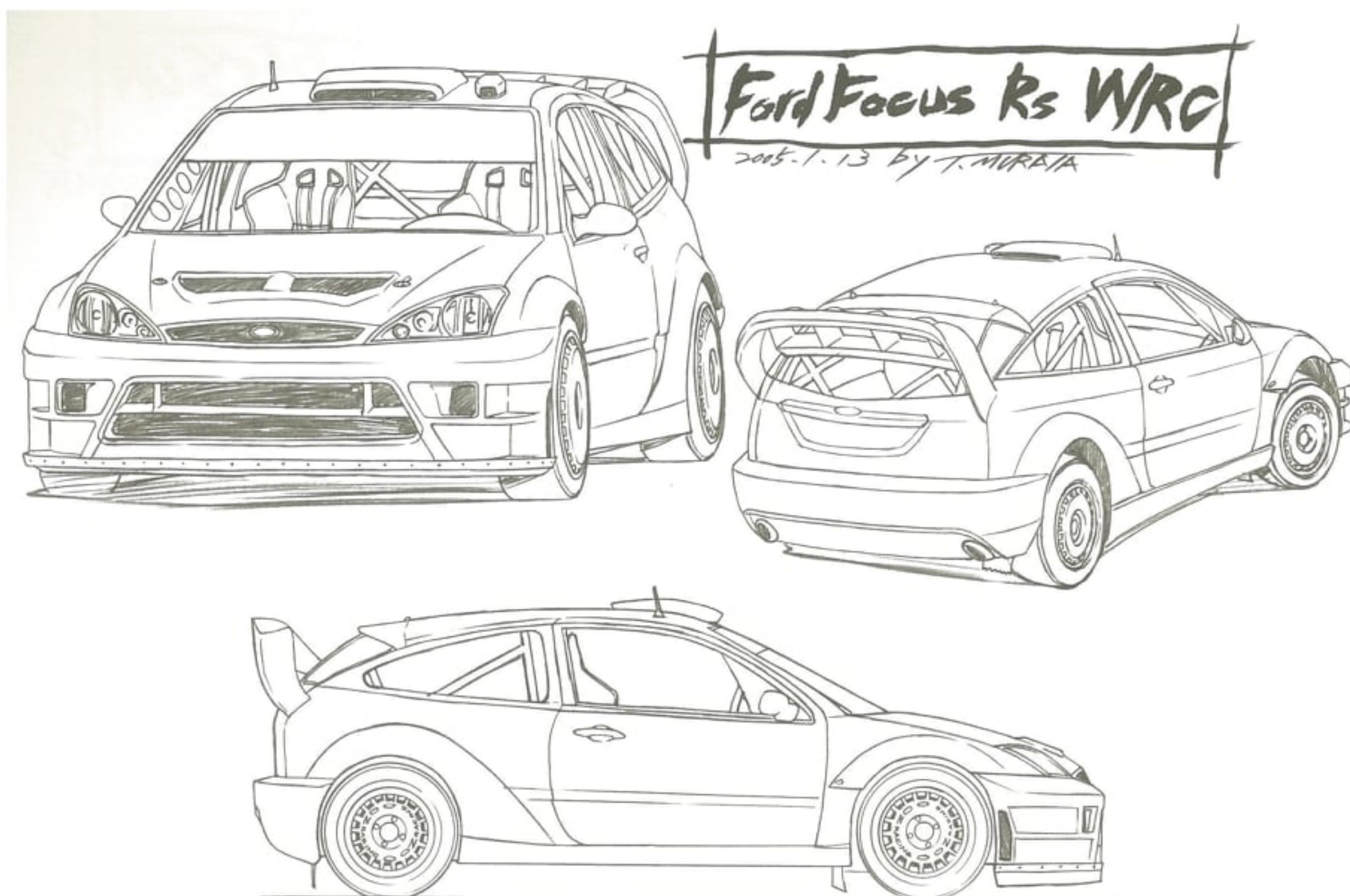


日産ダットサン210.[コクピット]

DATSUN
210 ③
2004.10.20 by T. MURAKI

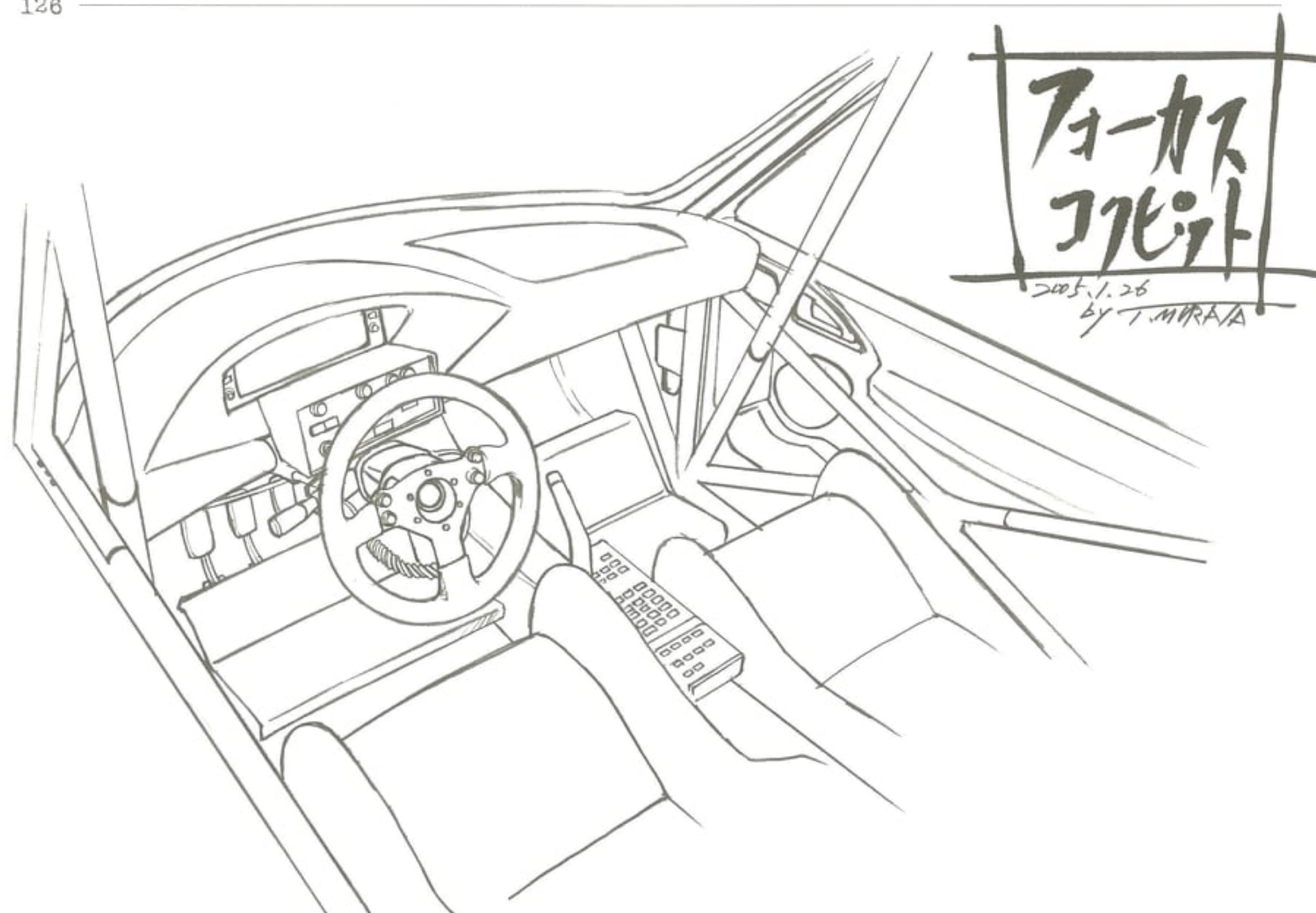


日産 ダットサン210 [内装]



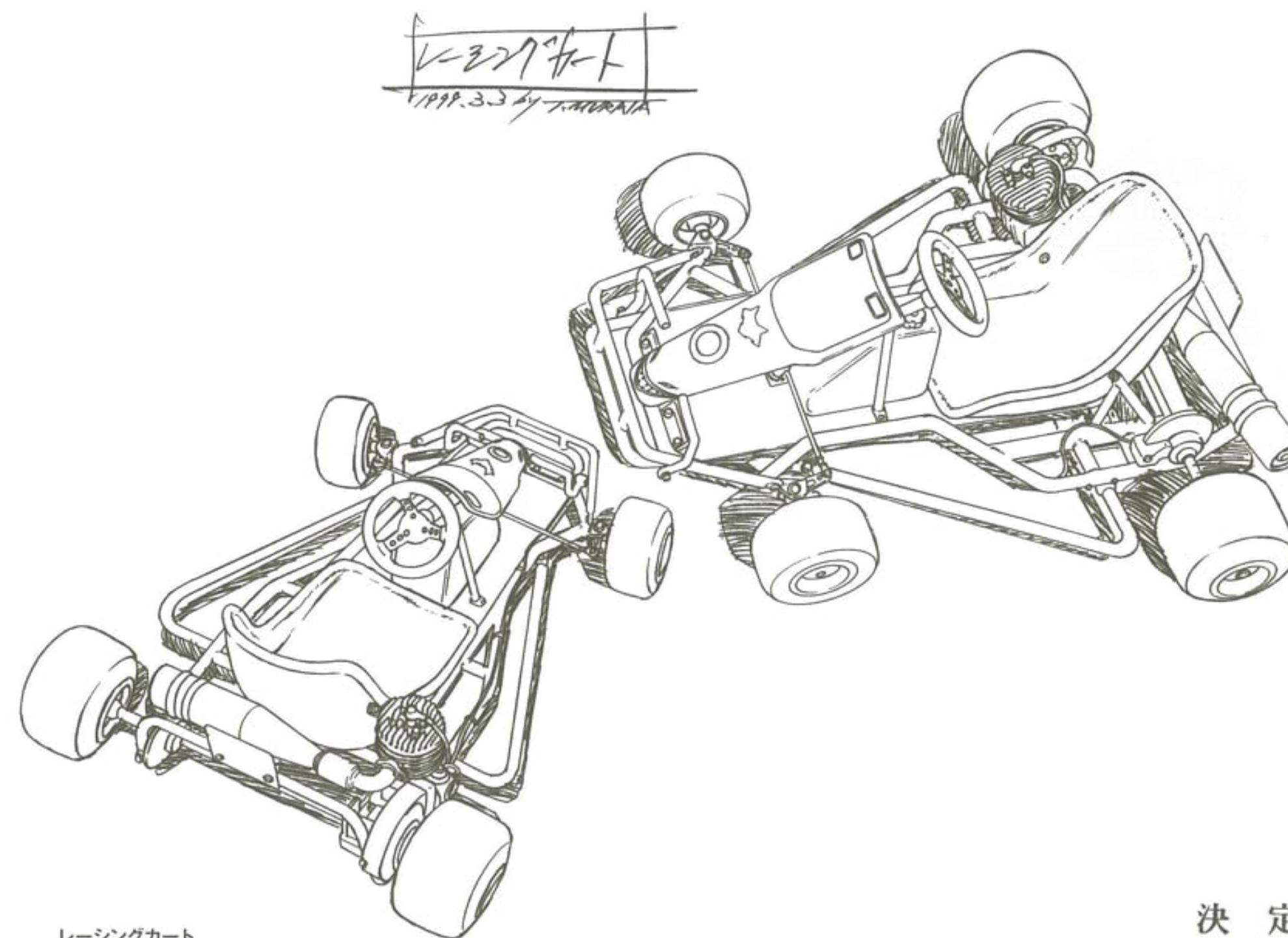
Ford Focus Rs WRC
2005.1.13 by T. MURATA

フォード フォーカスRSWRC



**フォーカス
コクピット**
2005.1.26
by T. MURATA

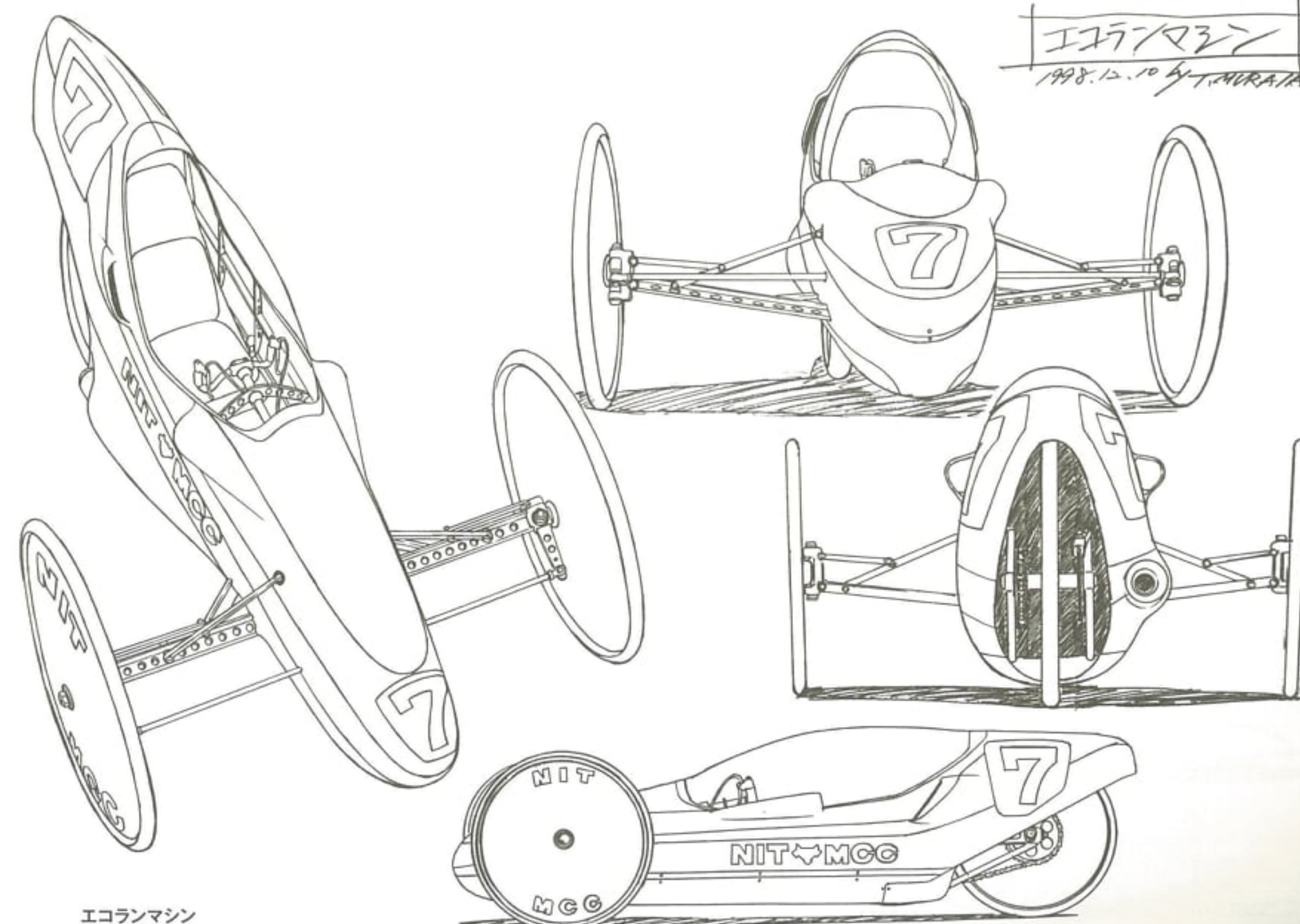
フォード フォーカスRSWRC [コクピット]



レーシングカート
1998.3.3 by T. MURATA

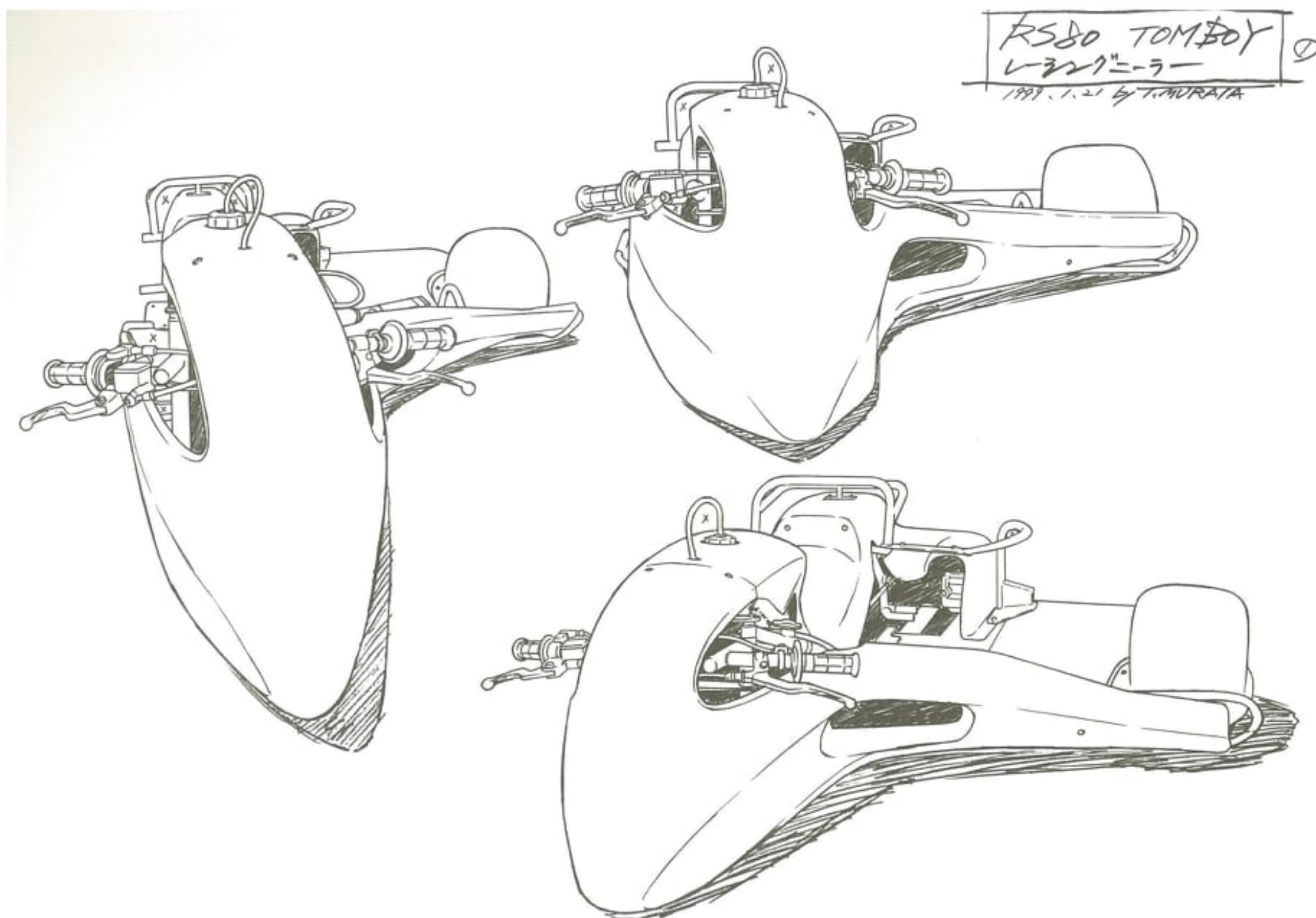
レーシングカート

決定稿

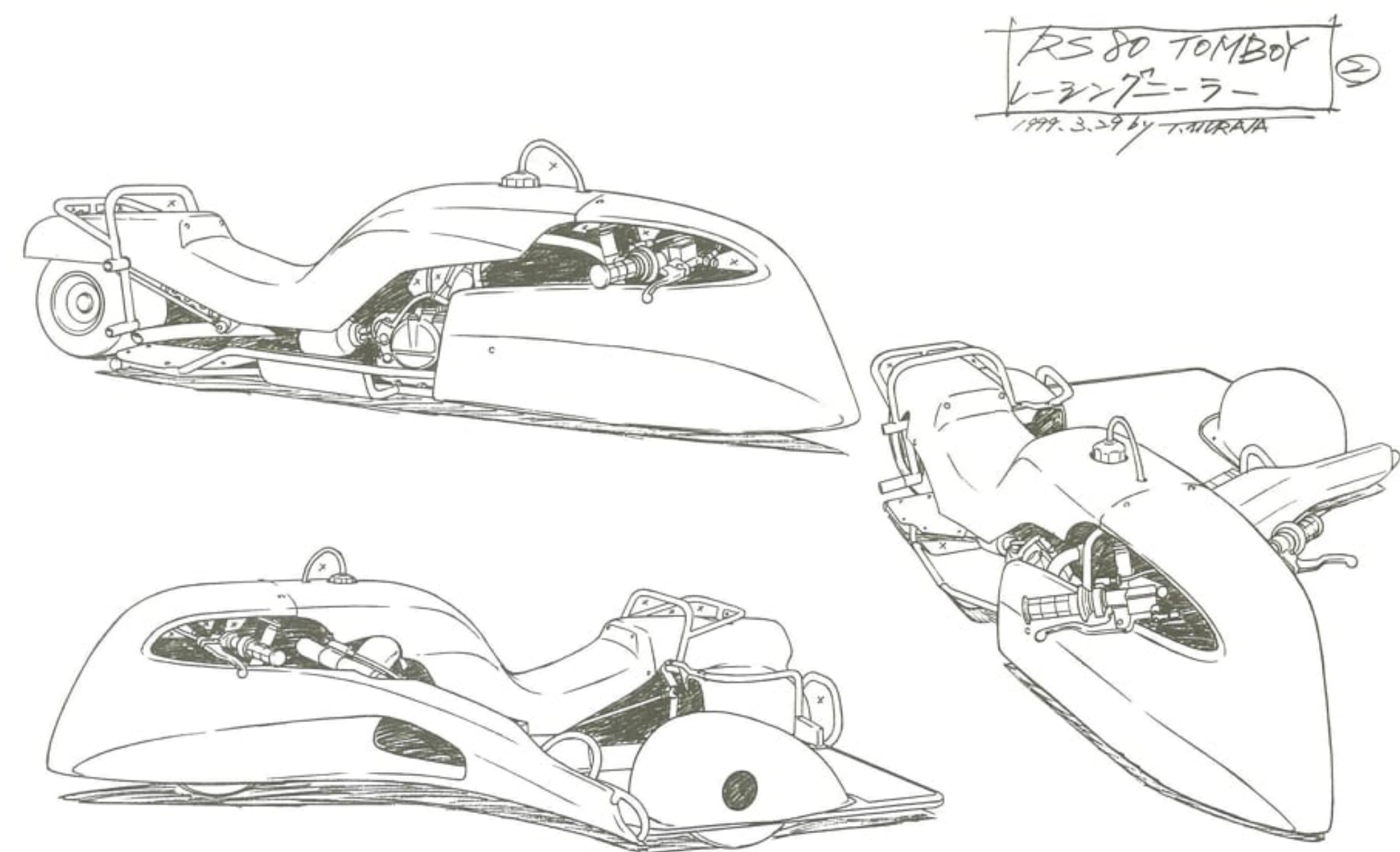


エコランマシン
1998.12.10 by T. MURATA

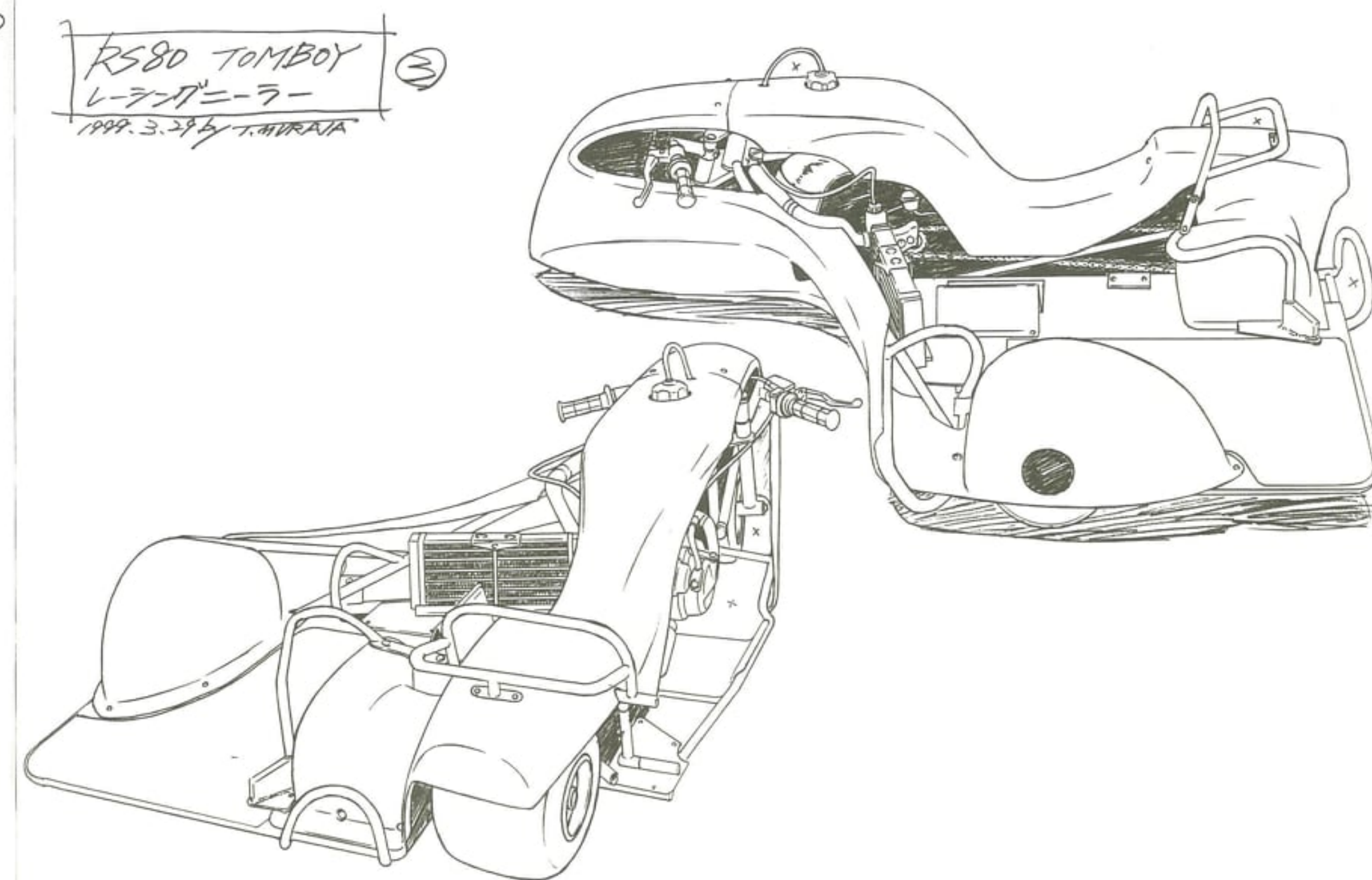
エコランマシン



128

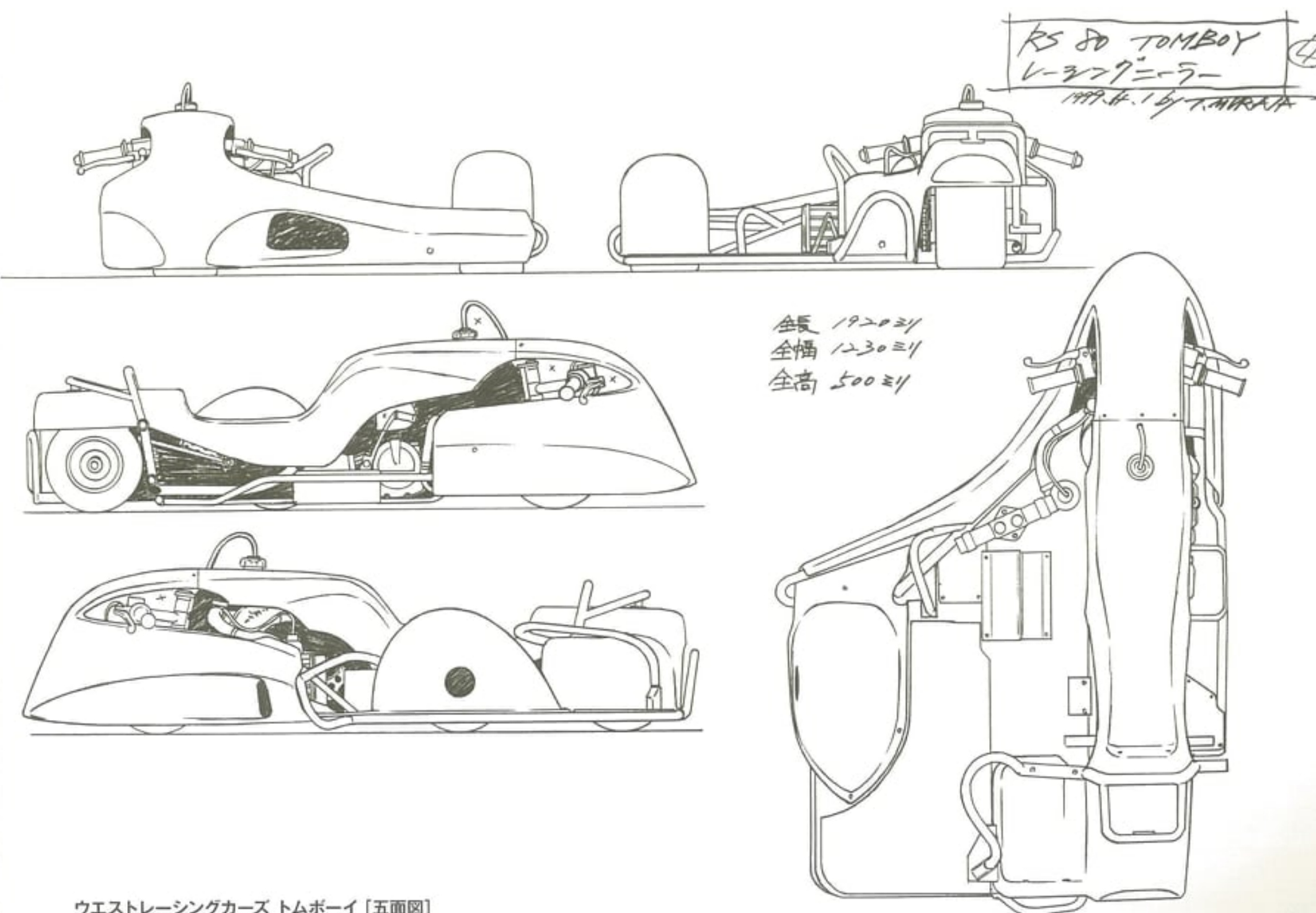


ウエストレーシングカーズ トムボーイ

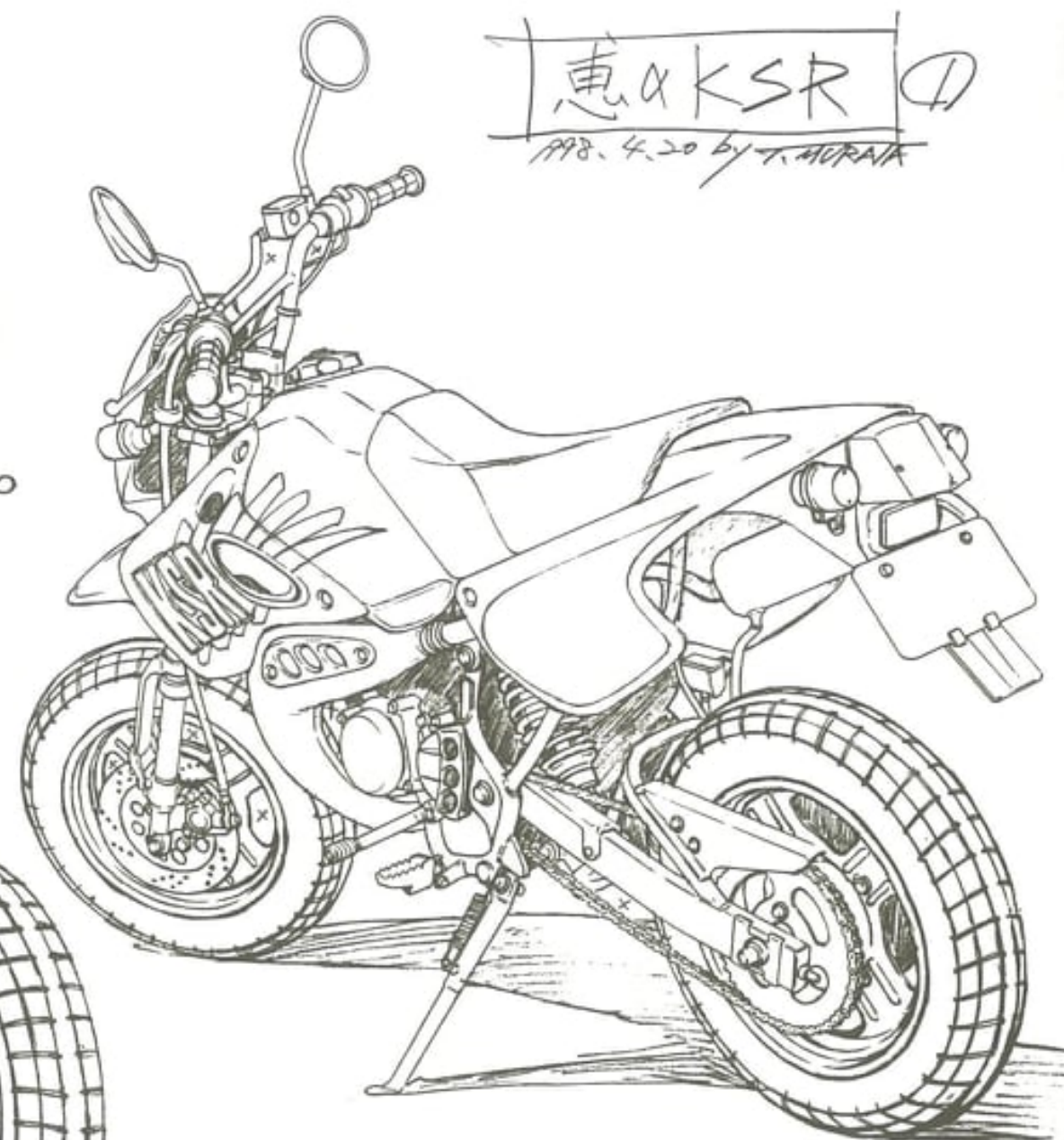
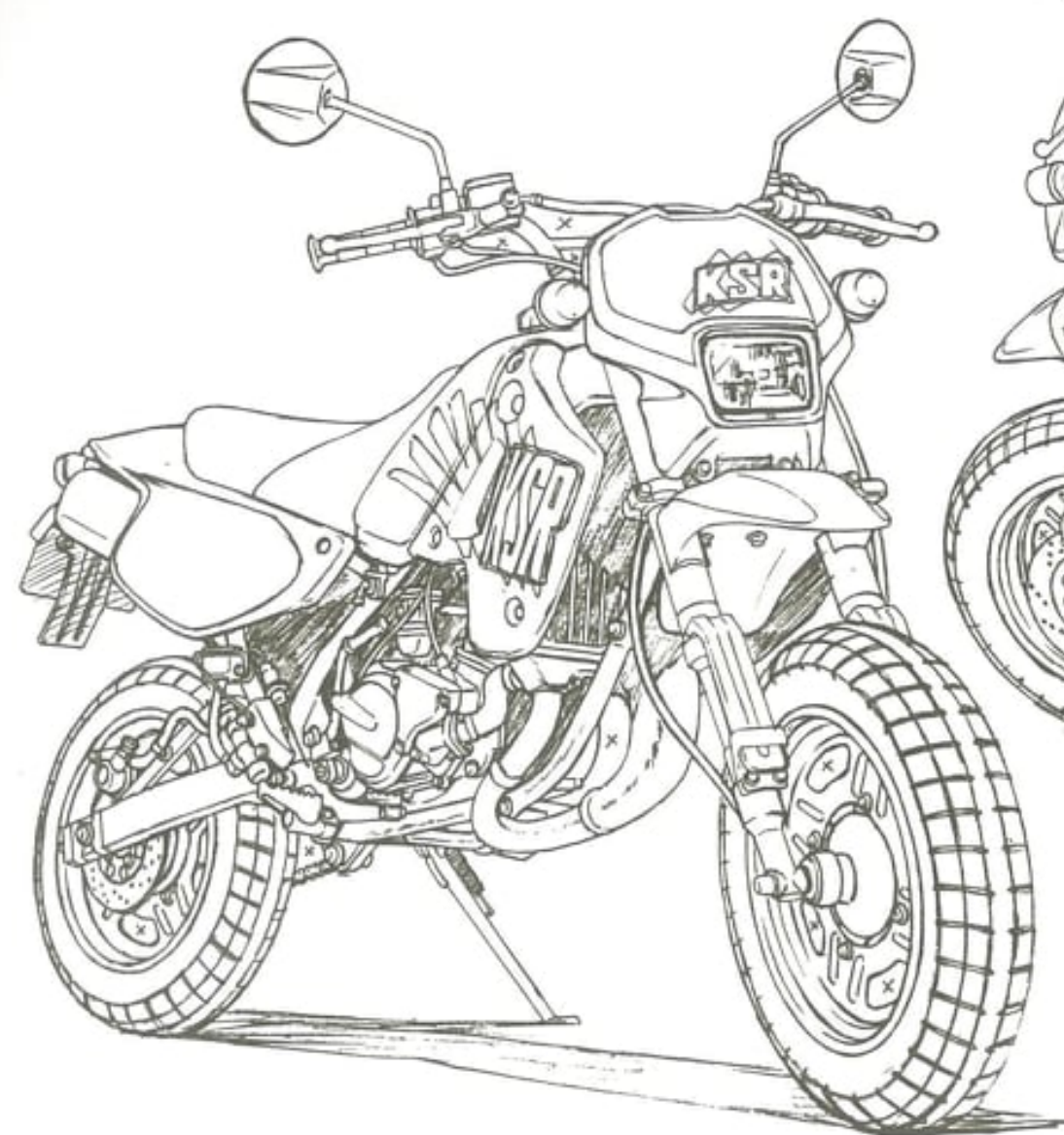


ウエストレーシングカーズ トムボーイ

129

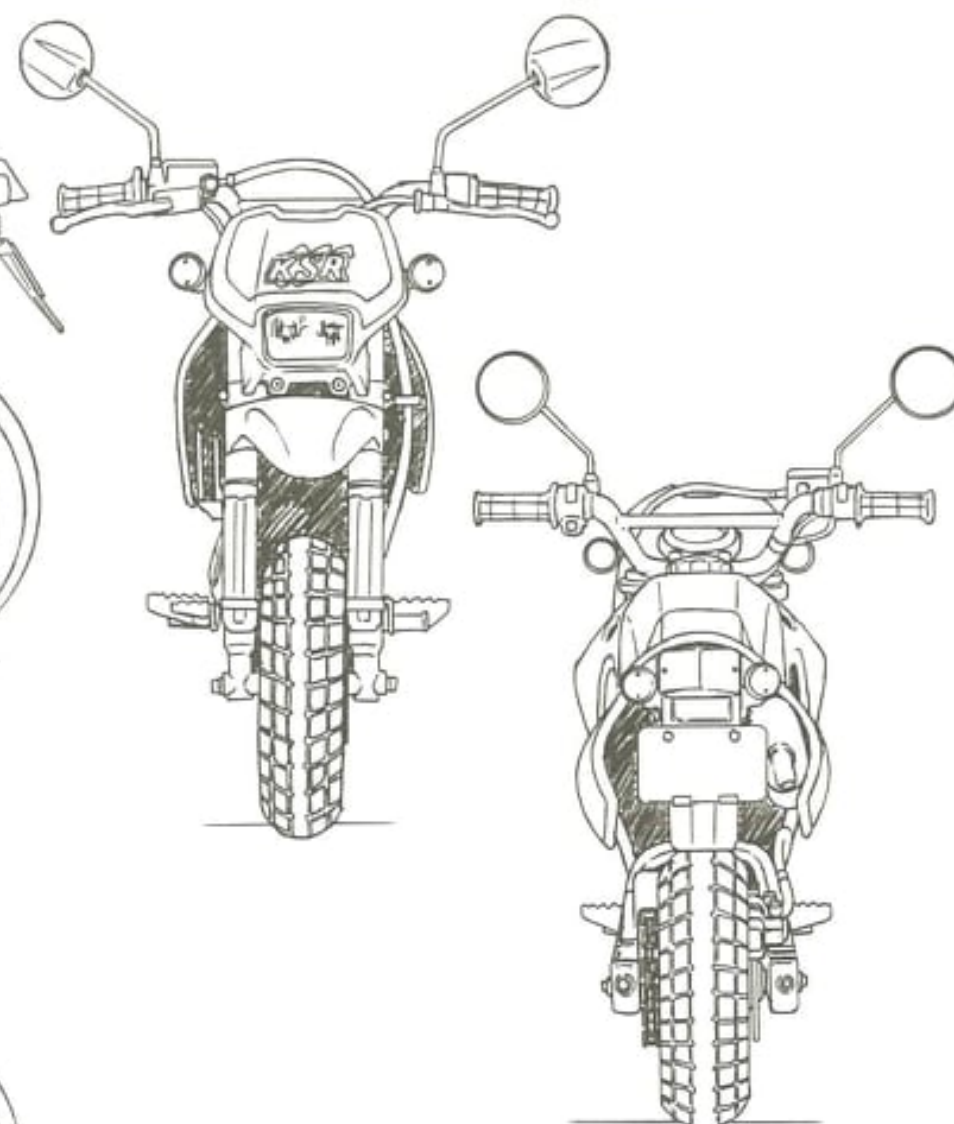
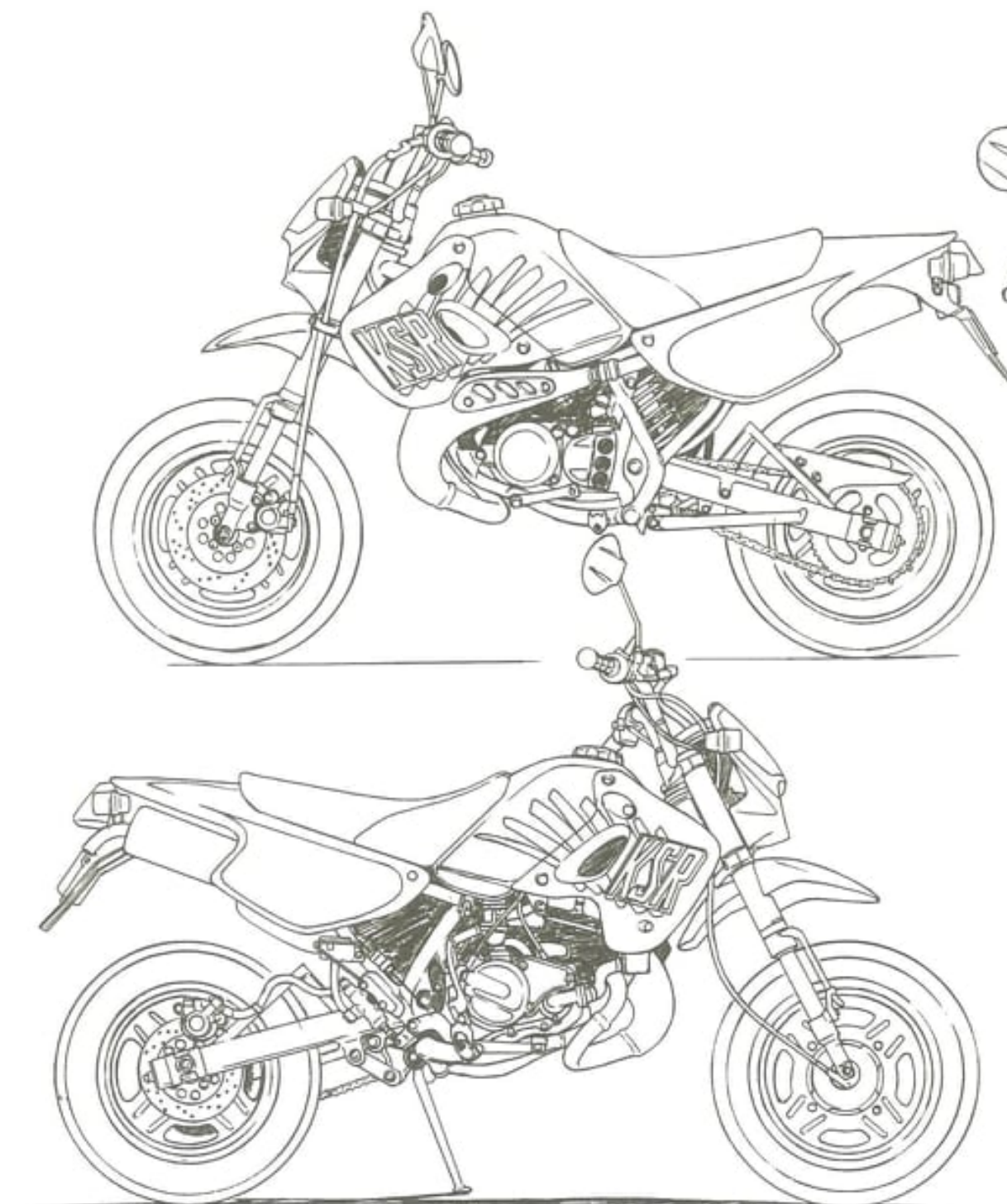


ウエストレーシングカーズ トムボーイ [五面図]



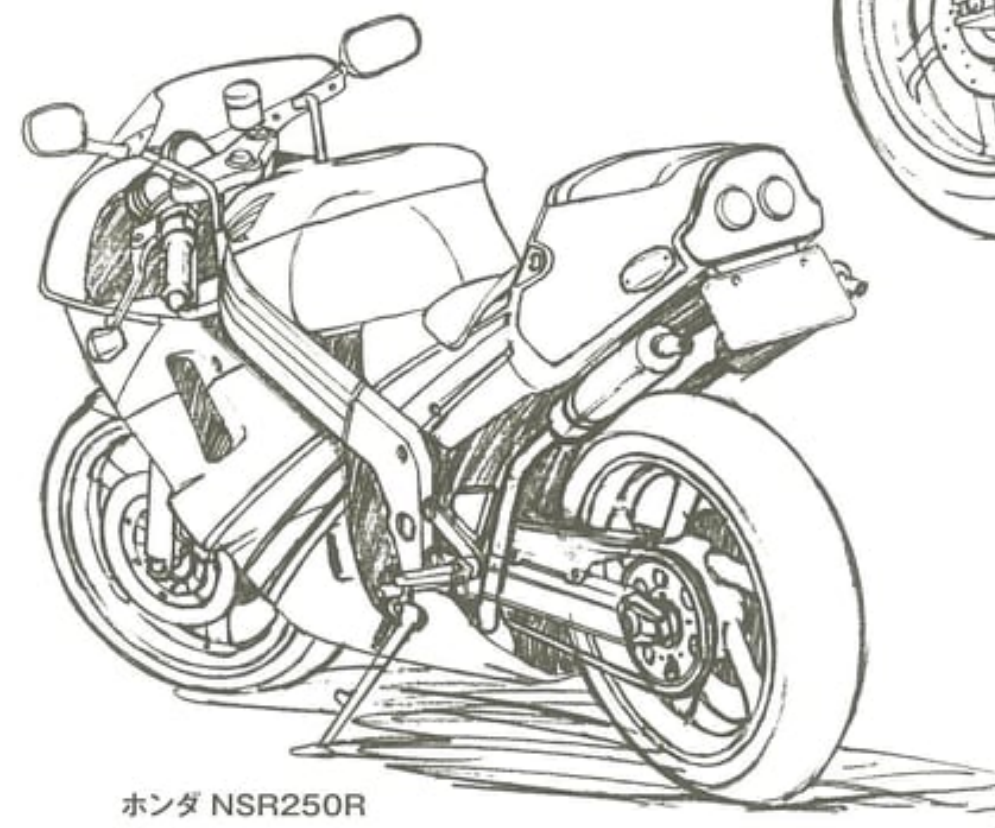
恵αKSR ①
1998.4.20 by T. MURATA

130



恵αKSR ②
1998.12.6 by T. MURATA

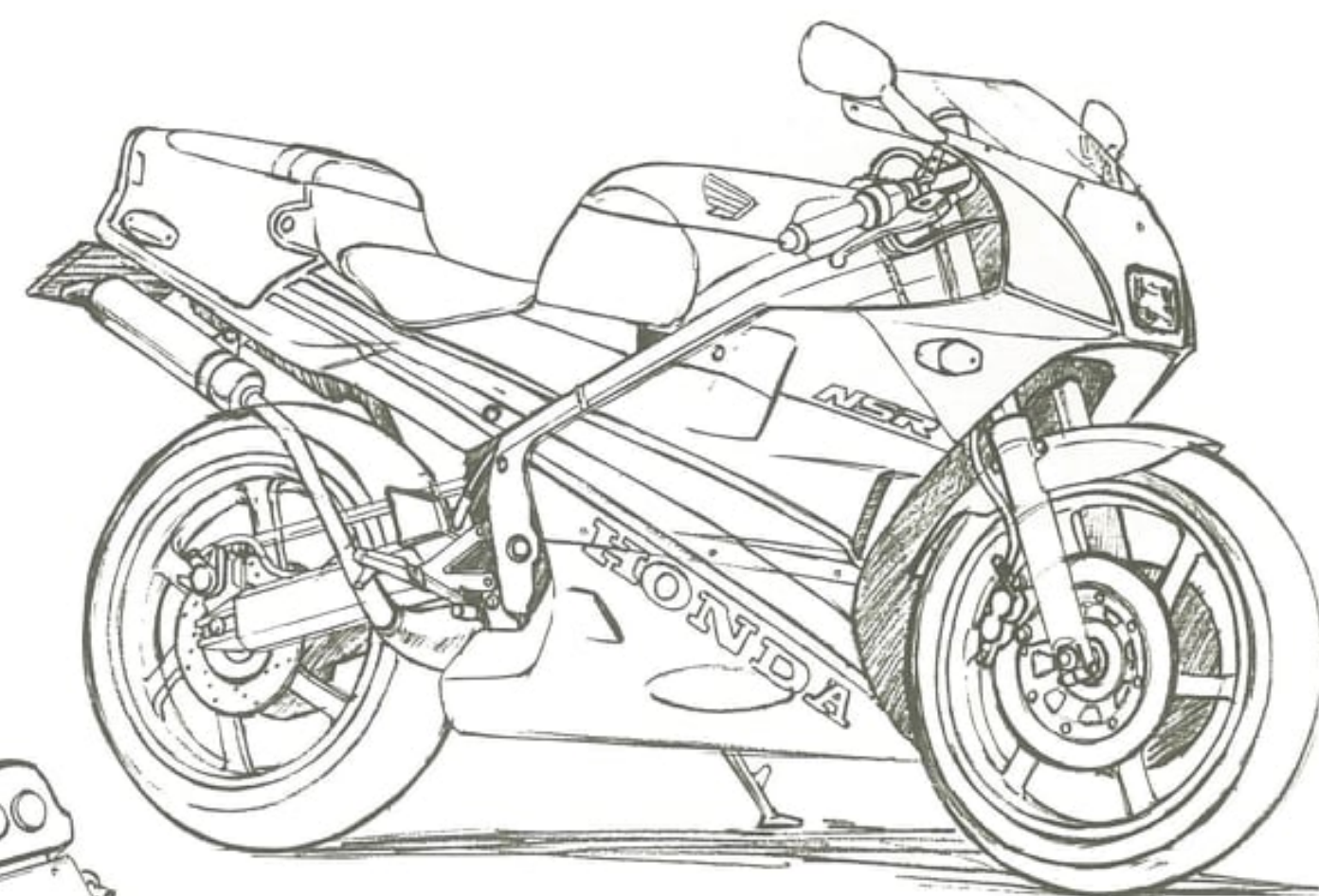
カワサキ KSR-II



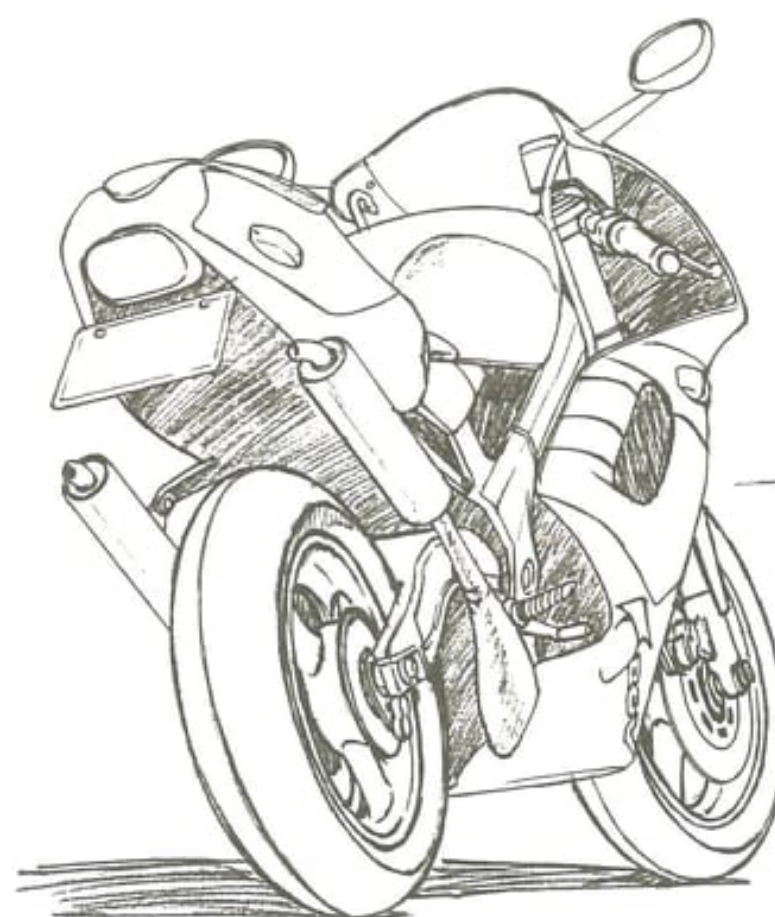
ホンダ NSR250R

峠αバグ ① ②

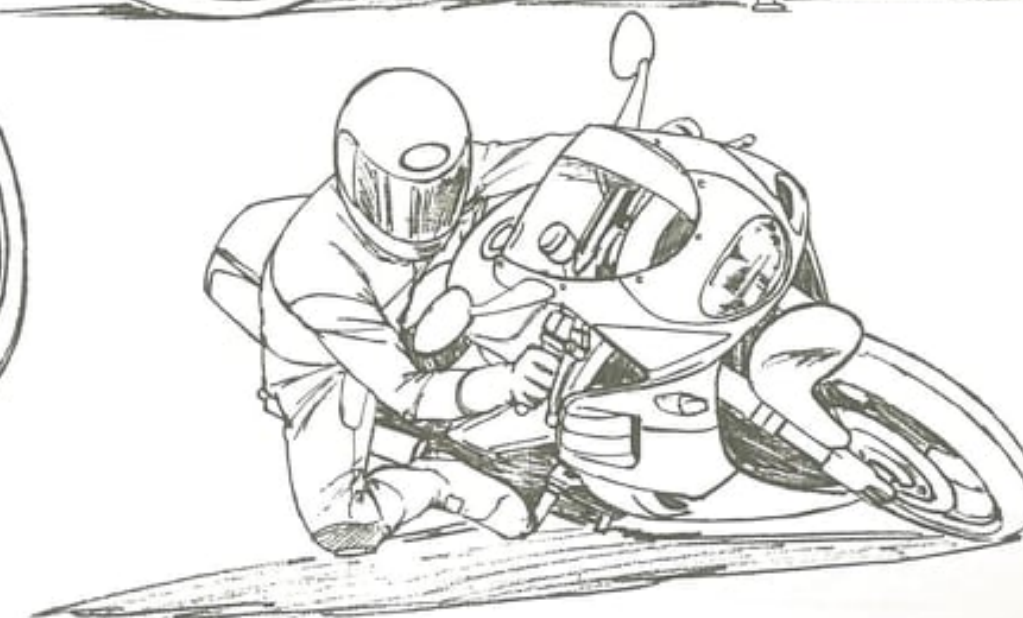
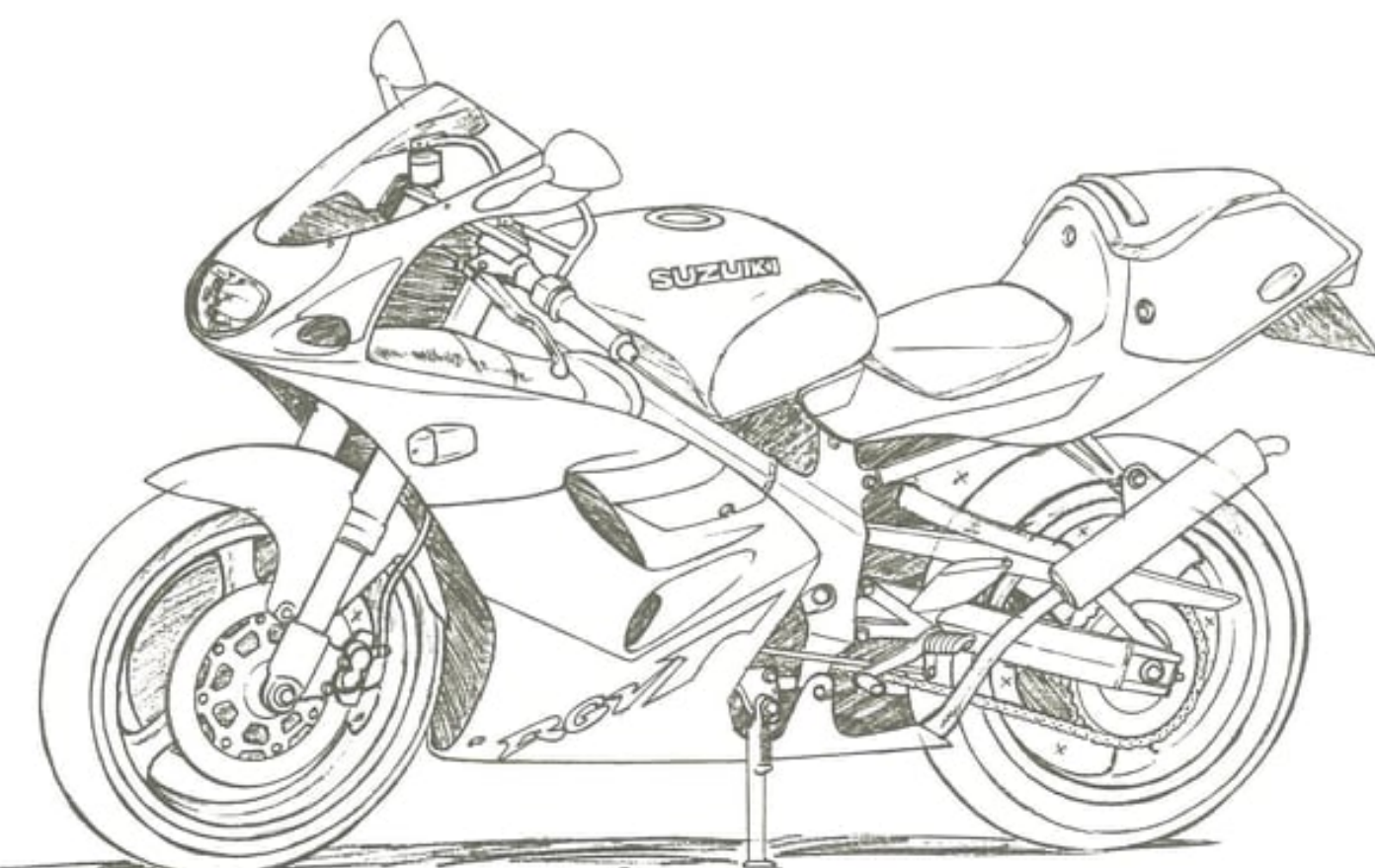
峠αバグ ② ③

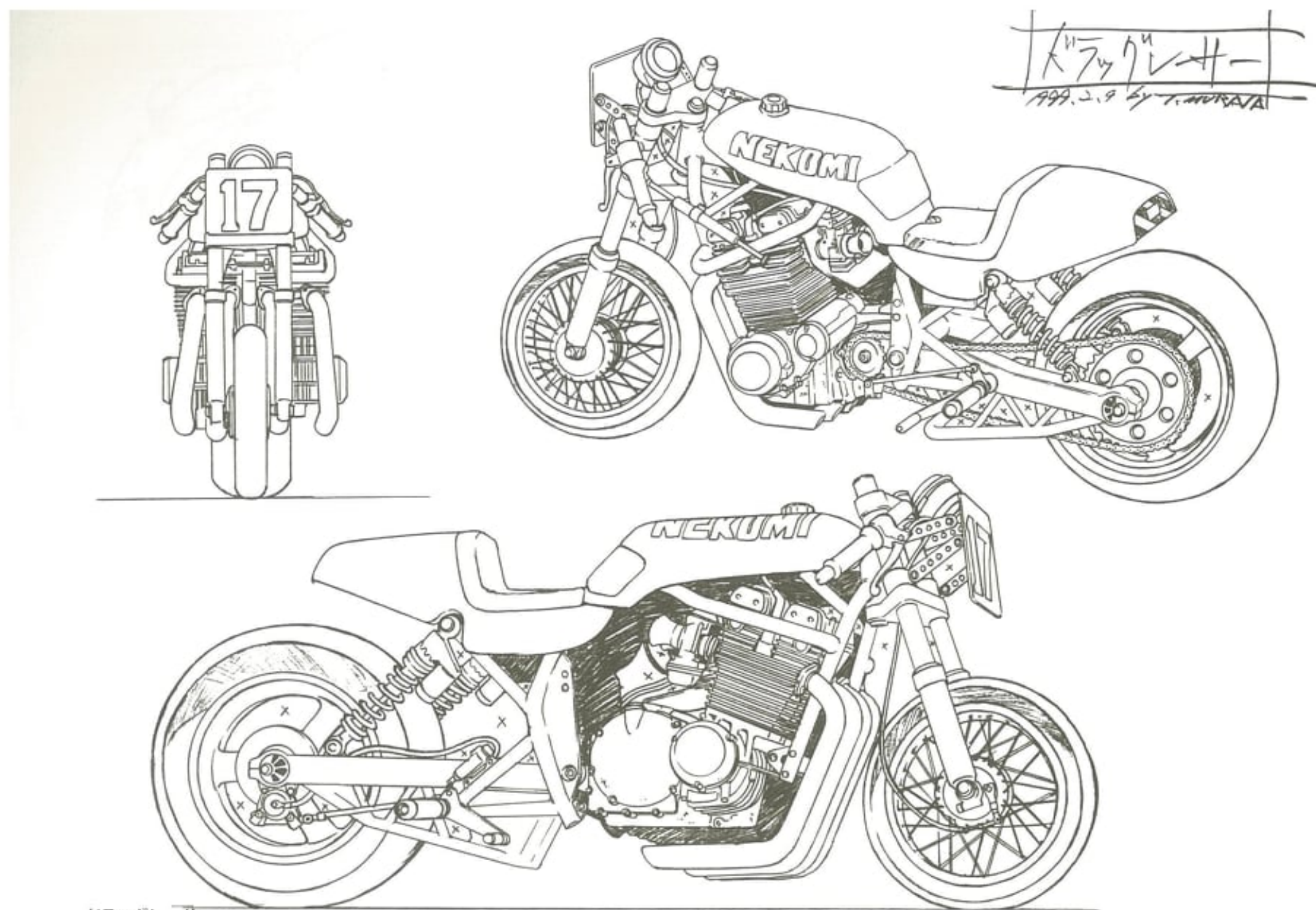


131

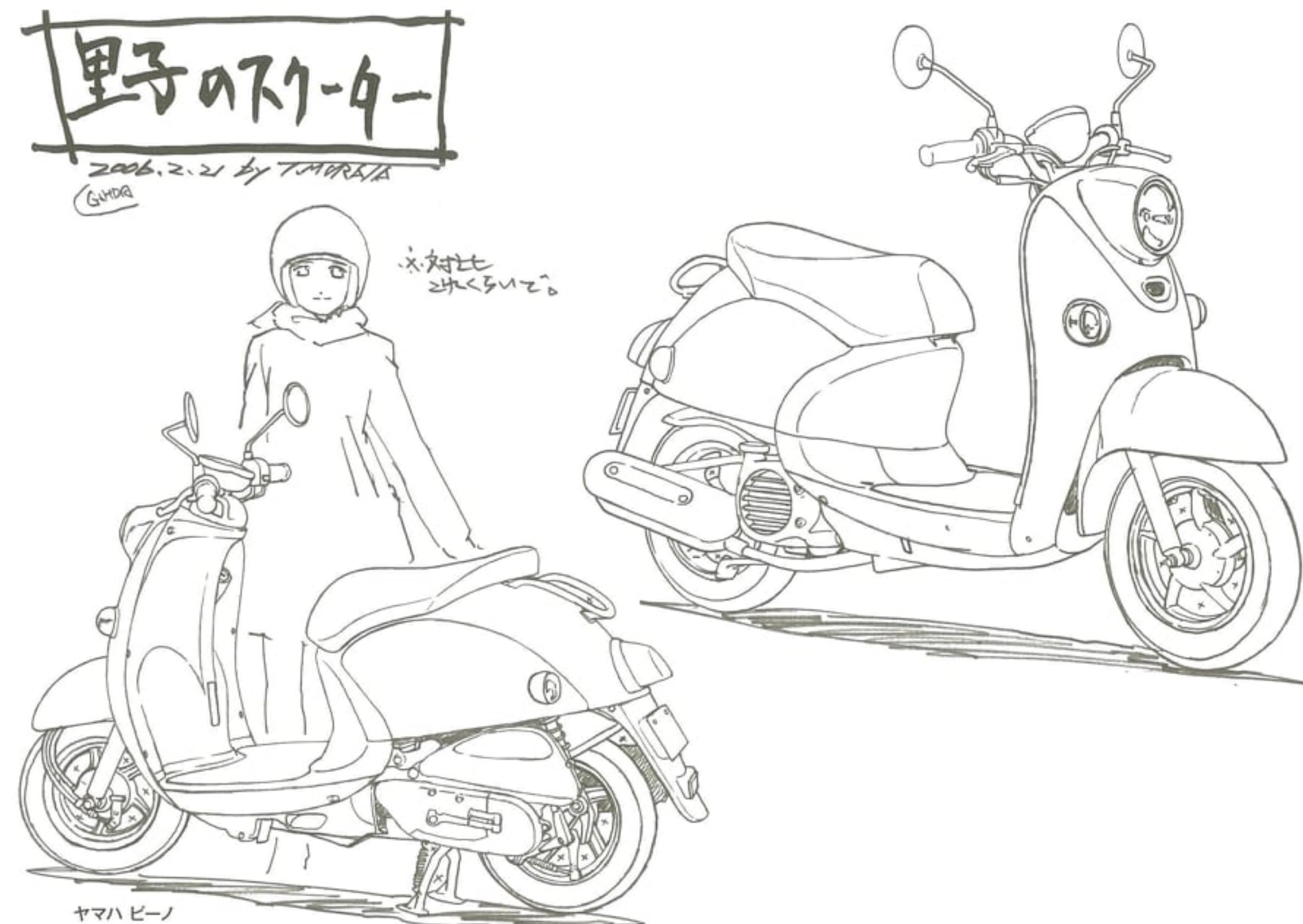


スズキ RGV250 Ⅰ

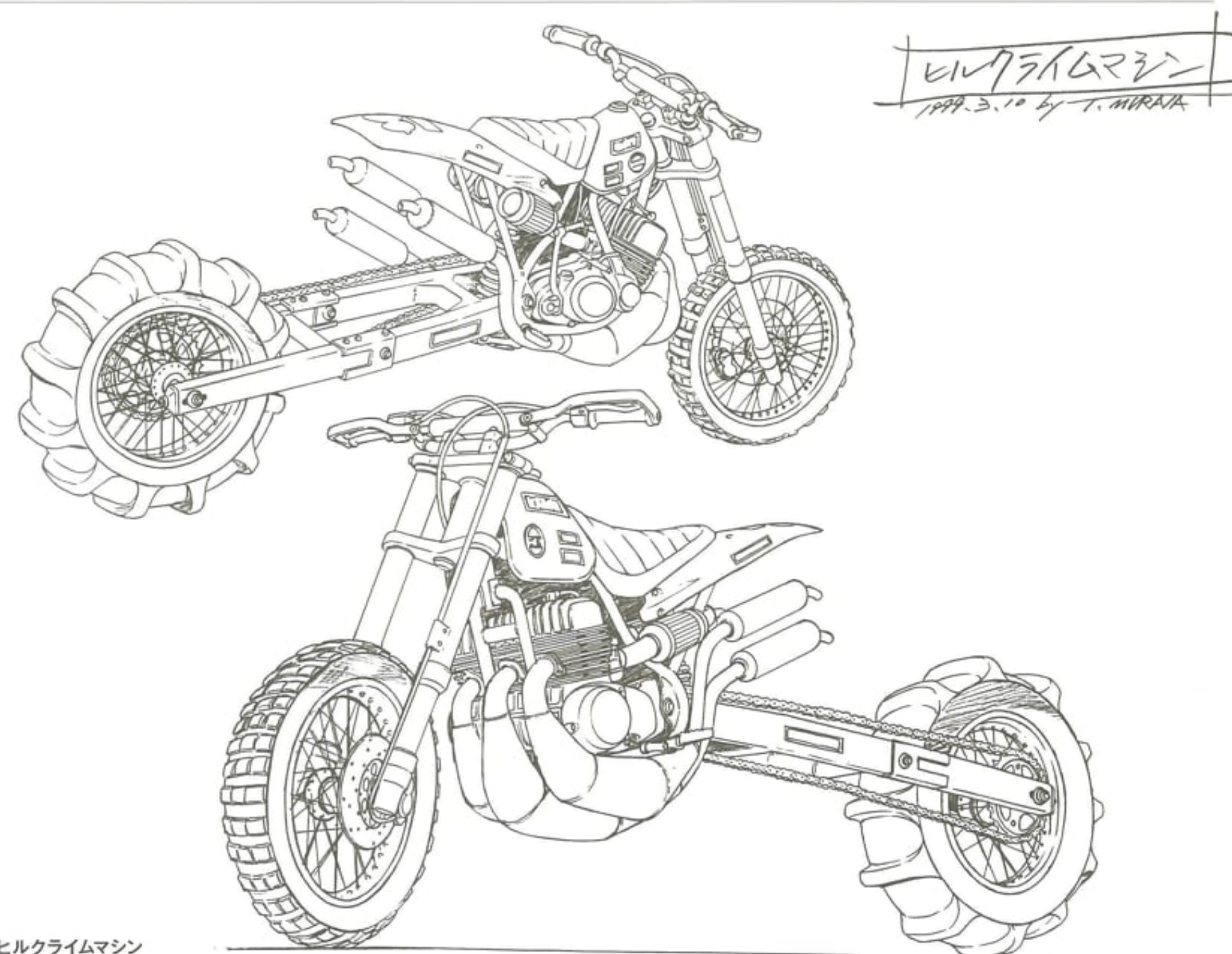




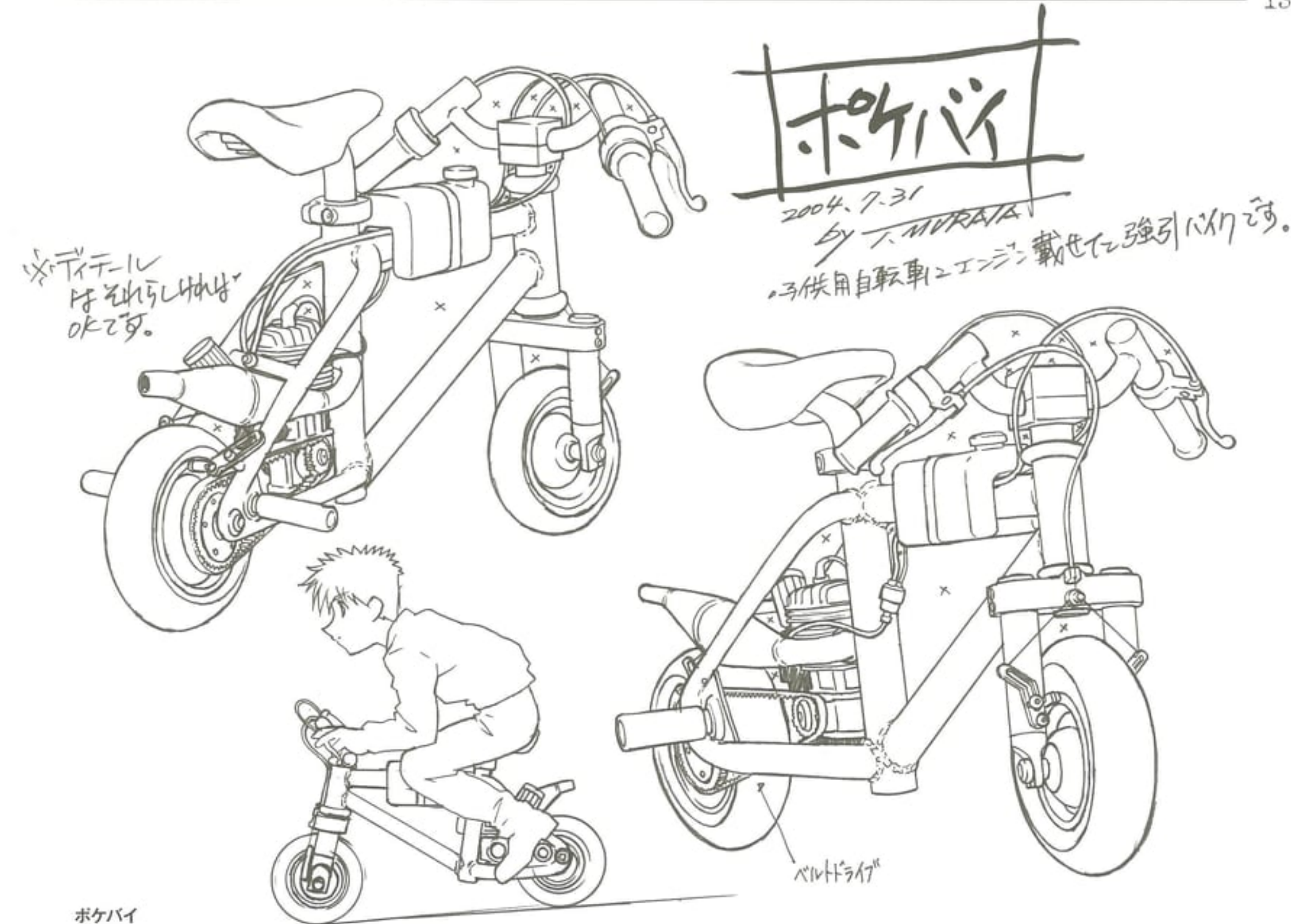
ドラッグレーサー



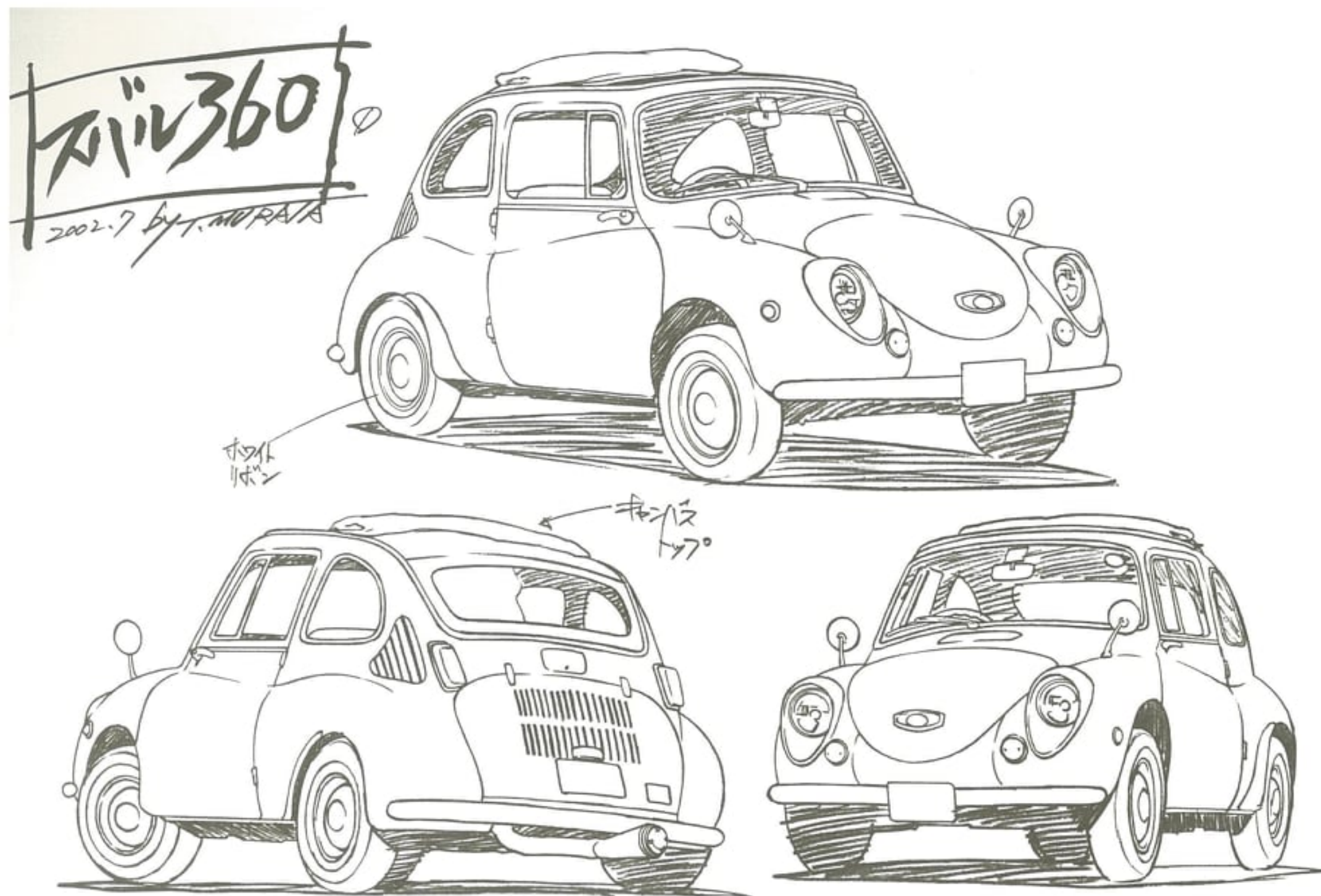
ヤマハ ビーノ



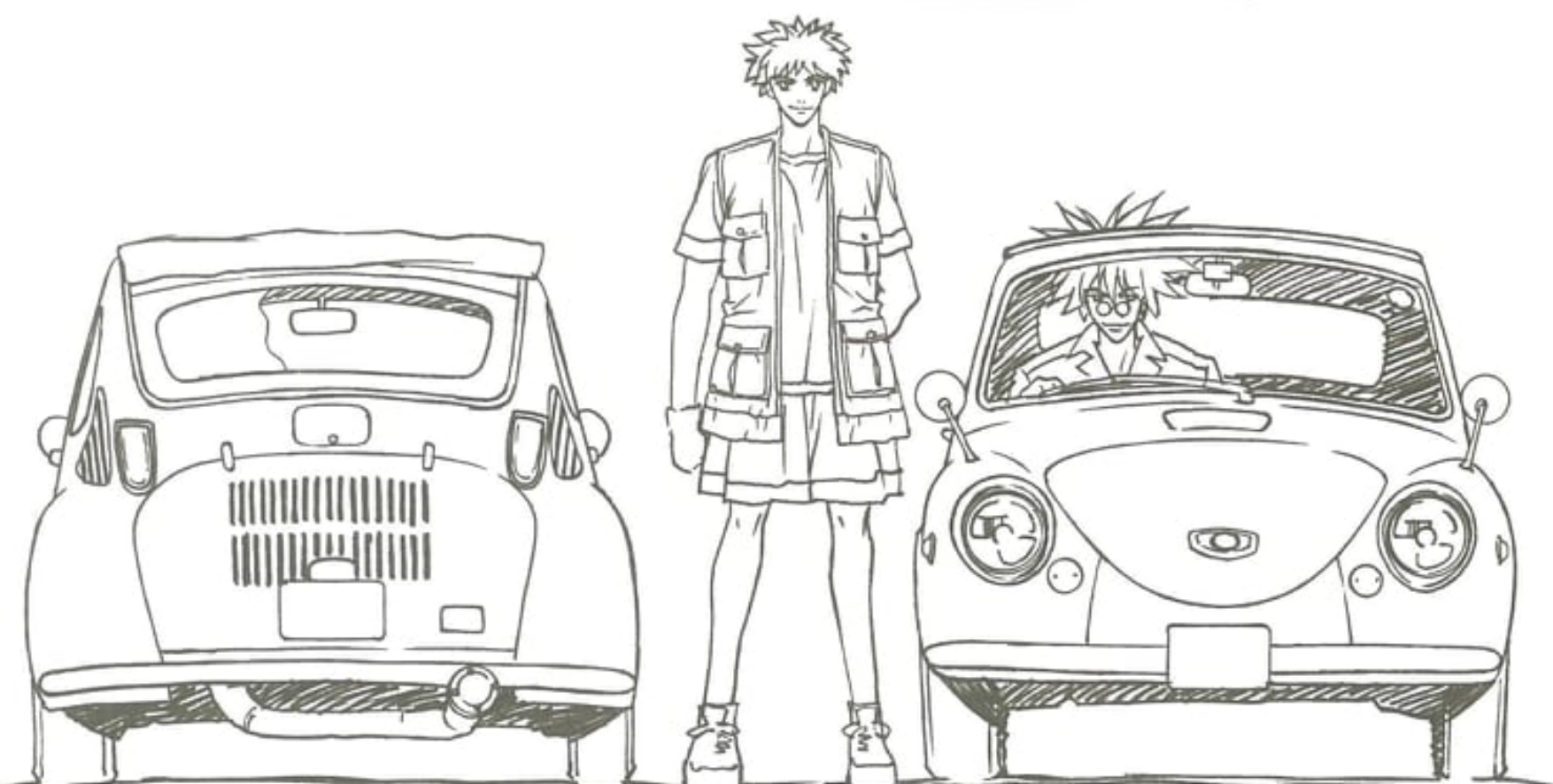
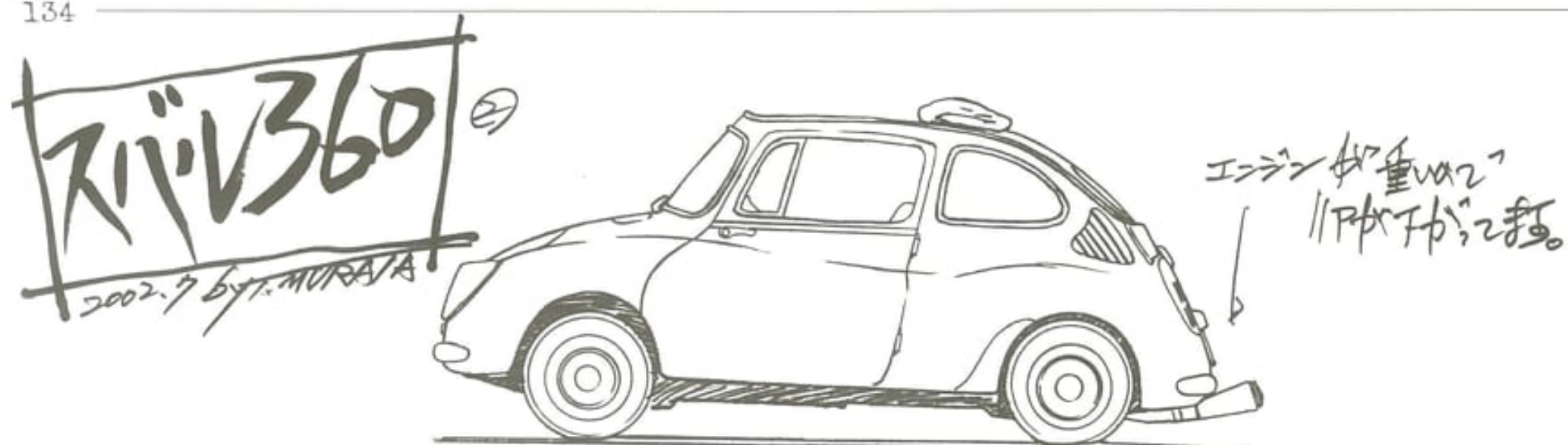
ヒルクライムマシン



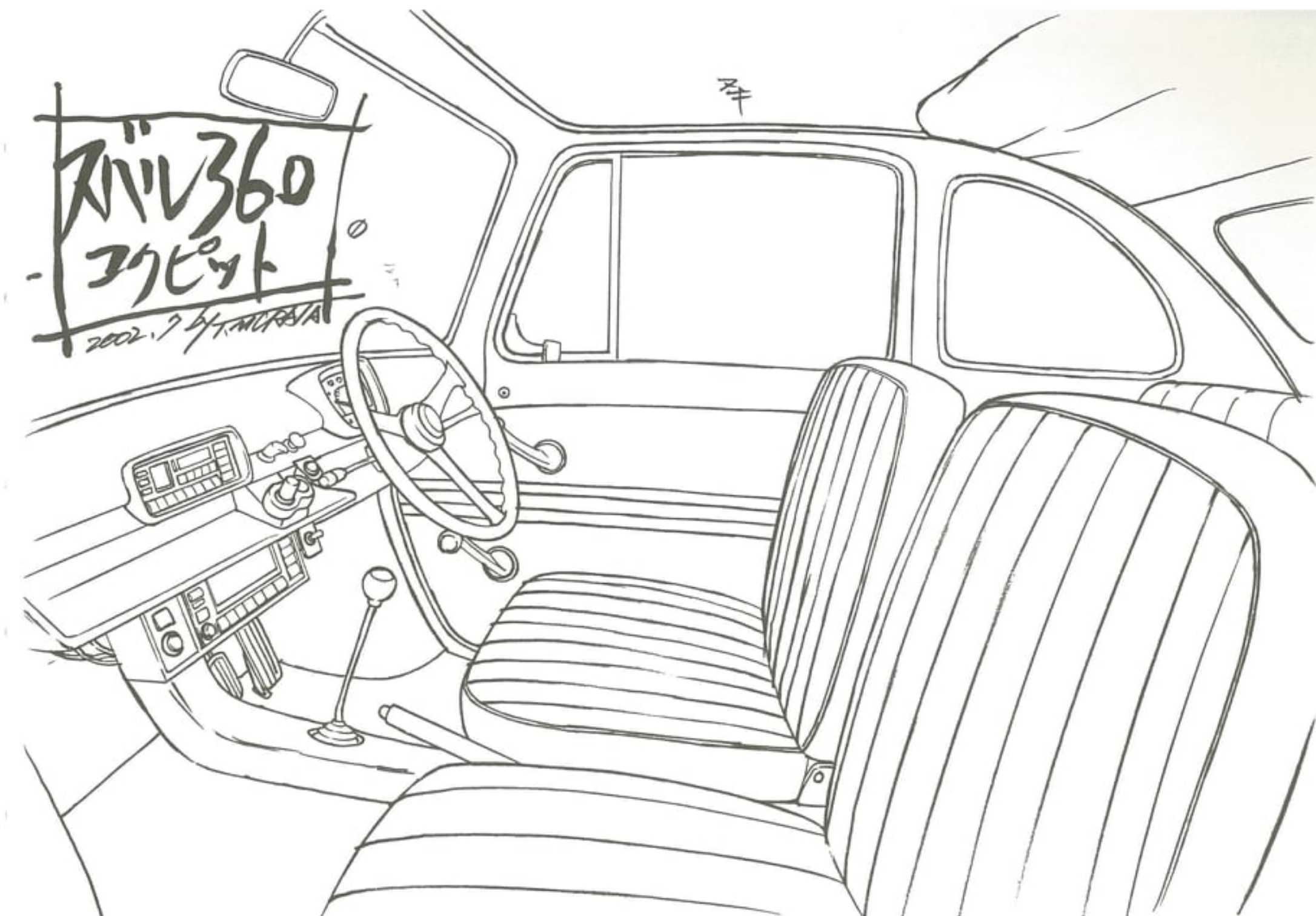
ポケバイ



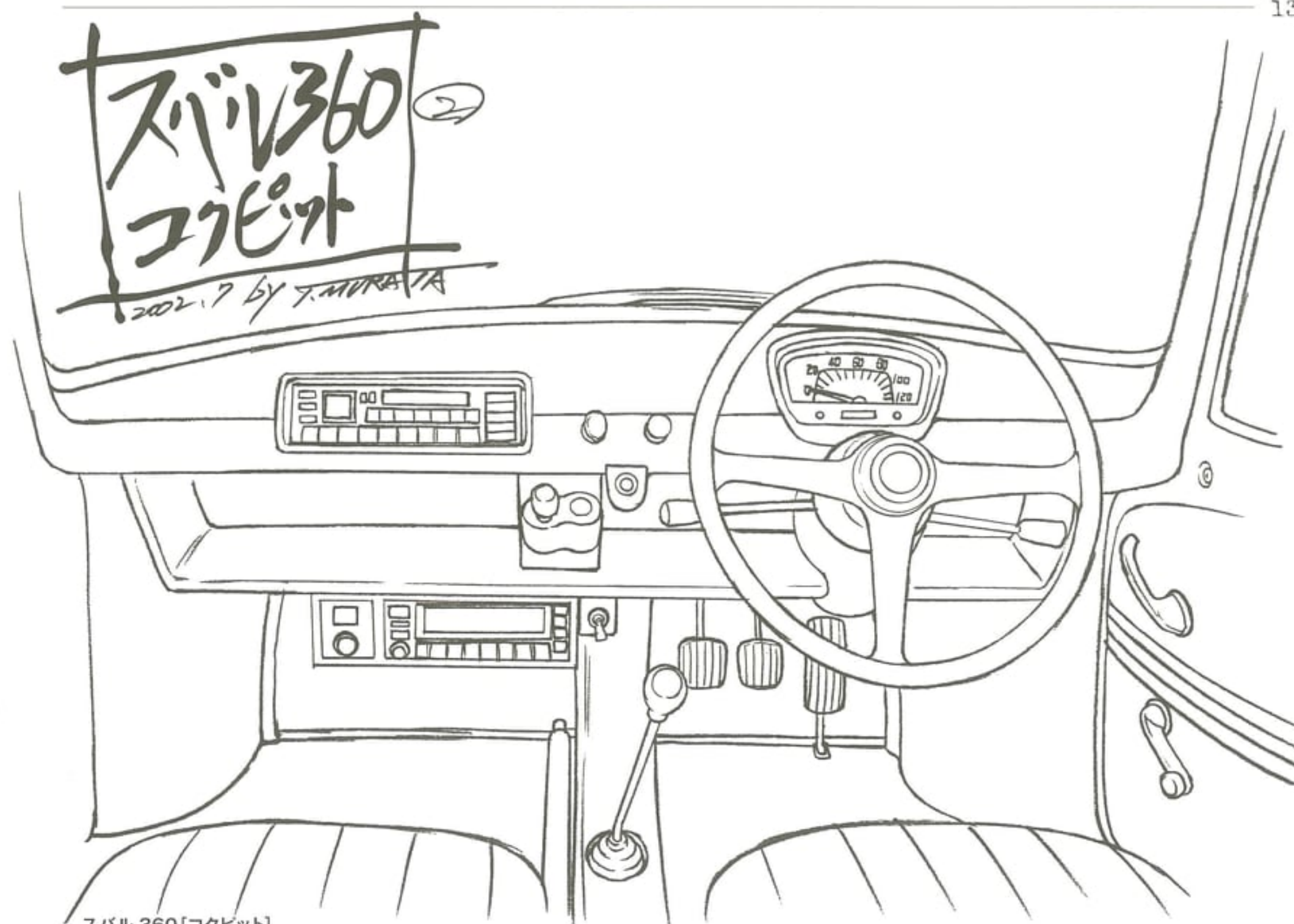
134



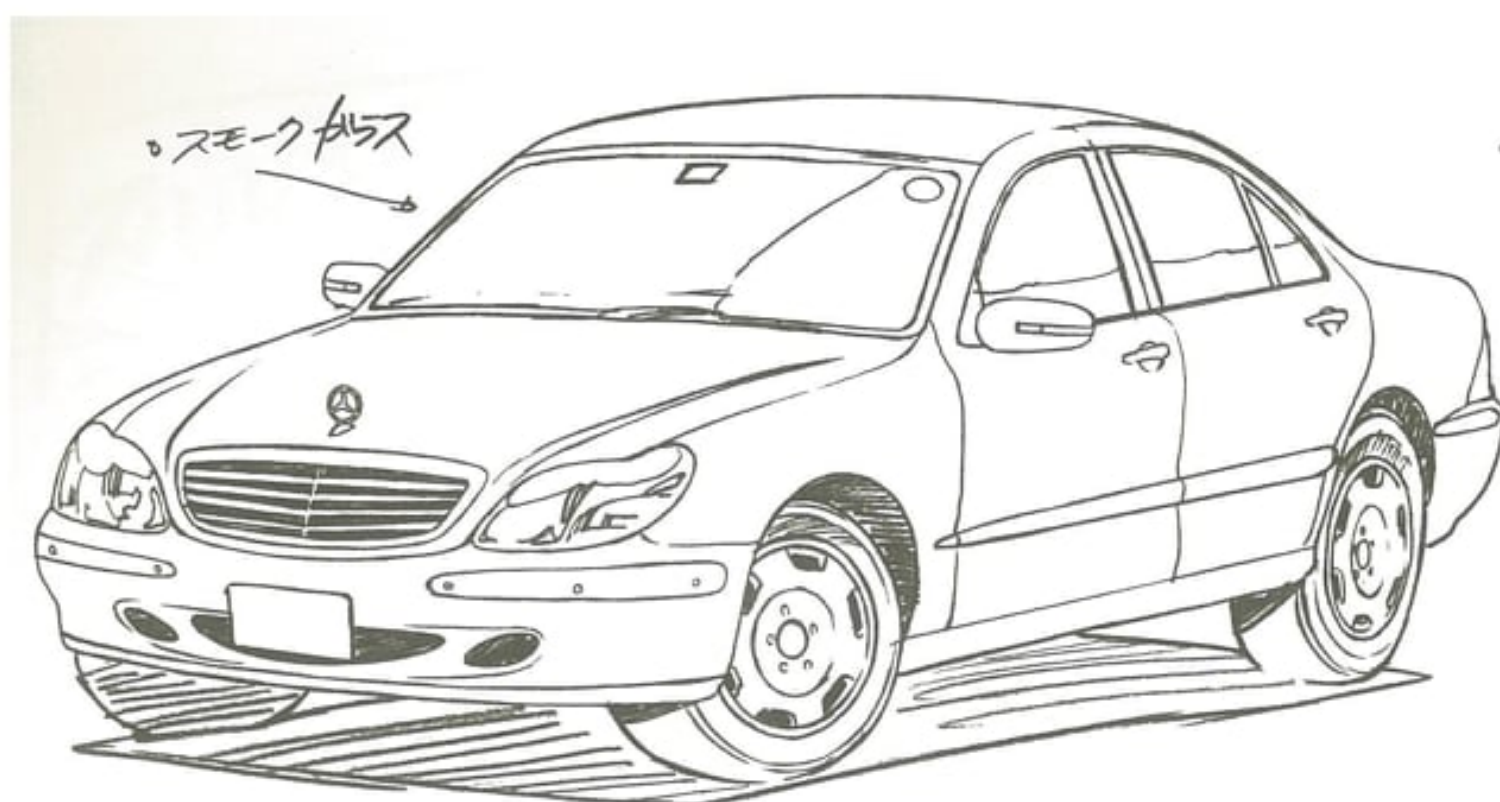
スバル 360



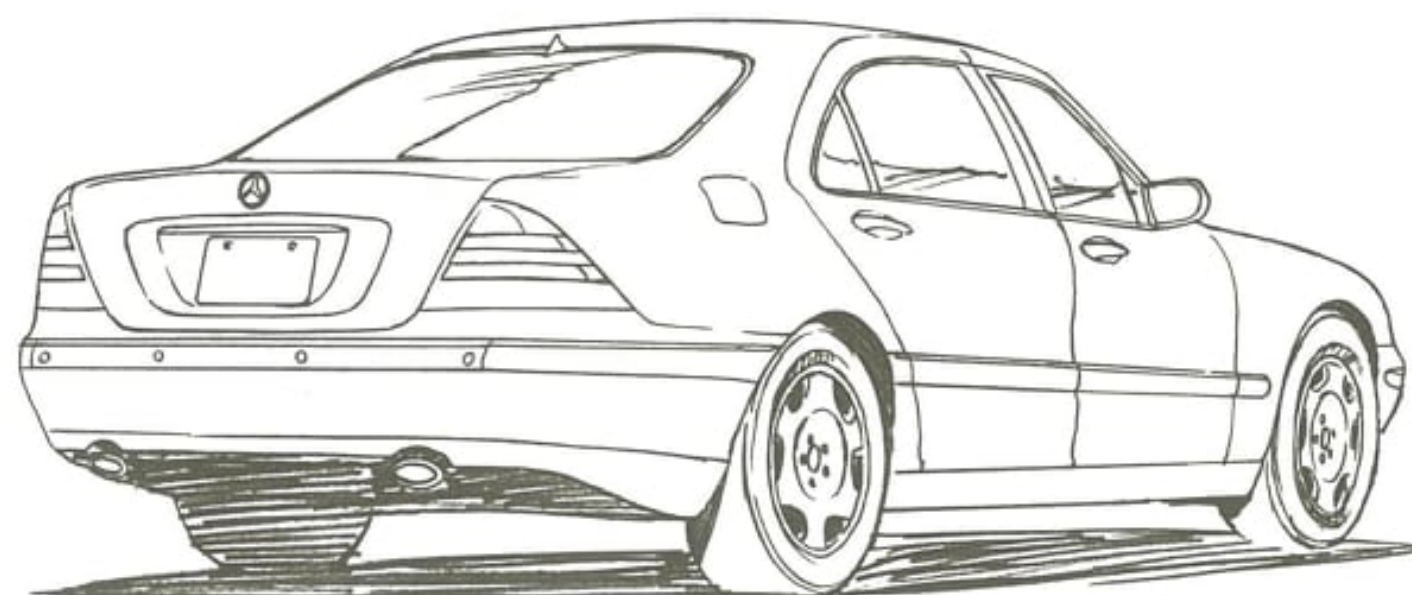
135



スバル 360 [コクピット]

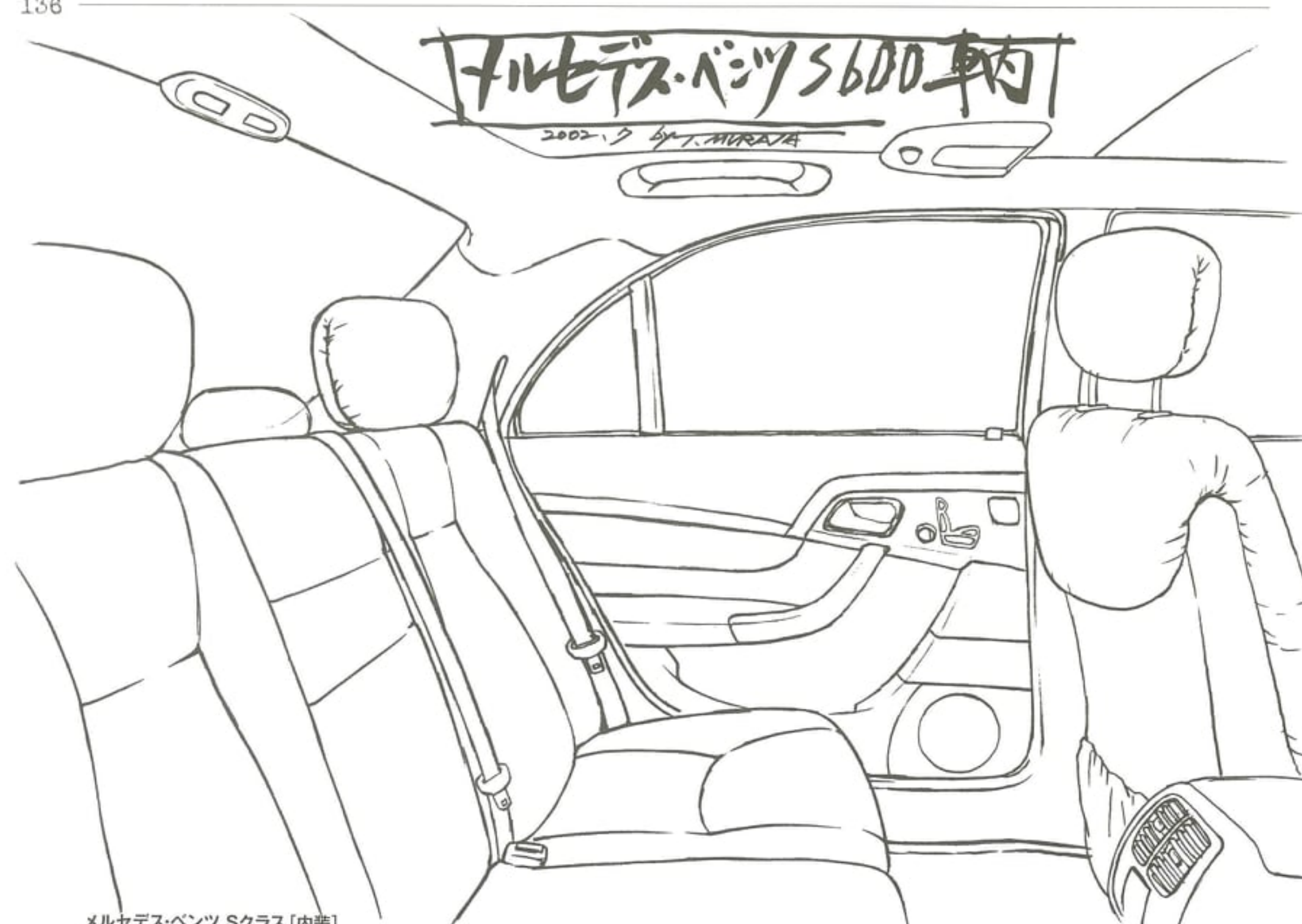


メルセデス・ベンツ
S600
2002.9 by T. MURATA



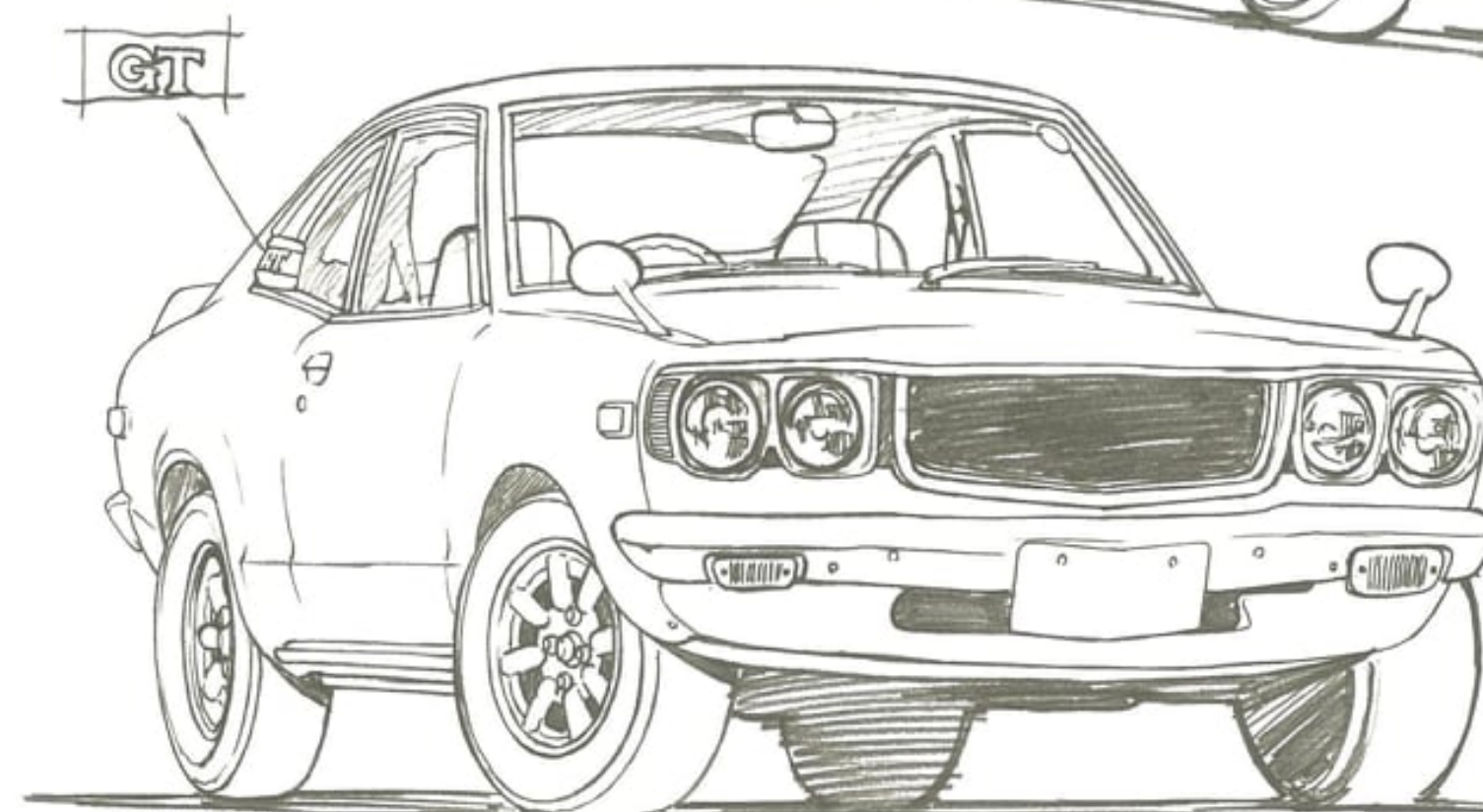
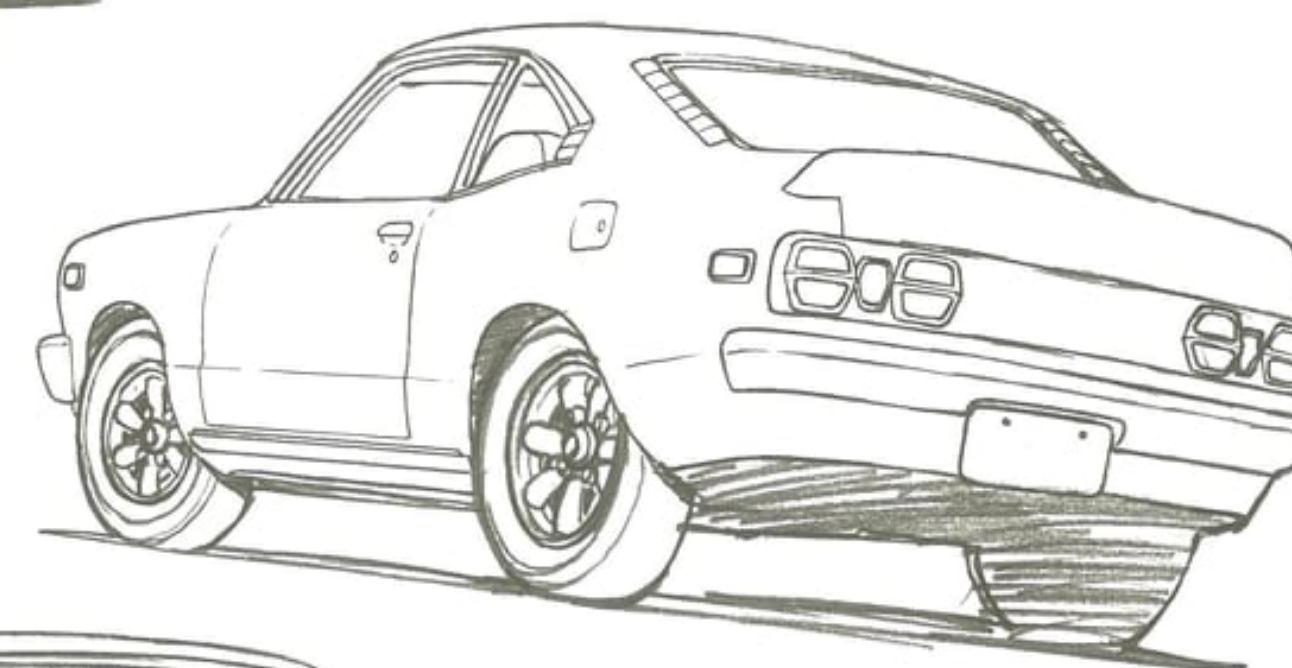
メルセデス・ベンツ Sクラス

136



メルセデス・ベンツ Sクラス [内装]

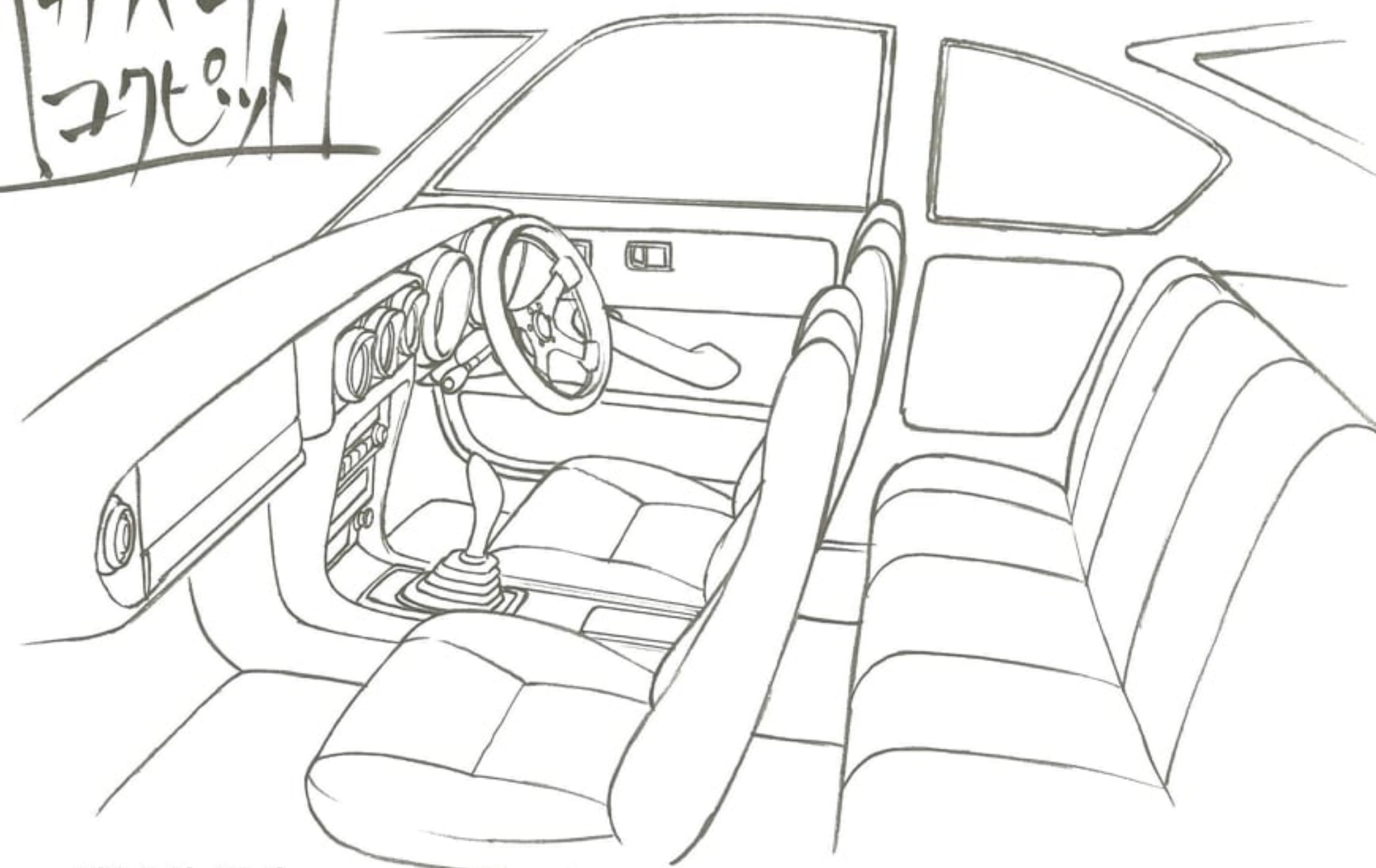
マツダ サバンナ GT
2003-6 by T. MURATA



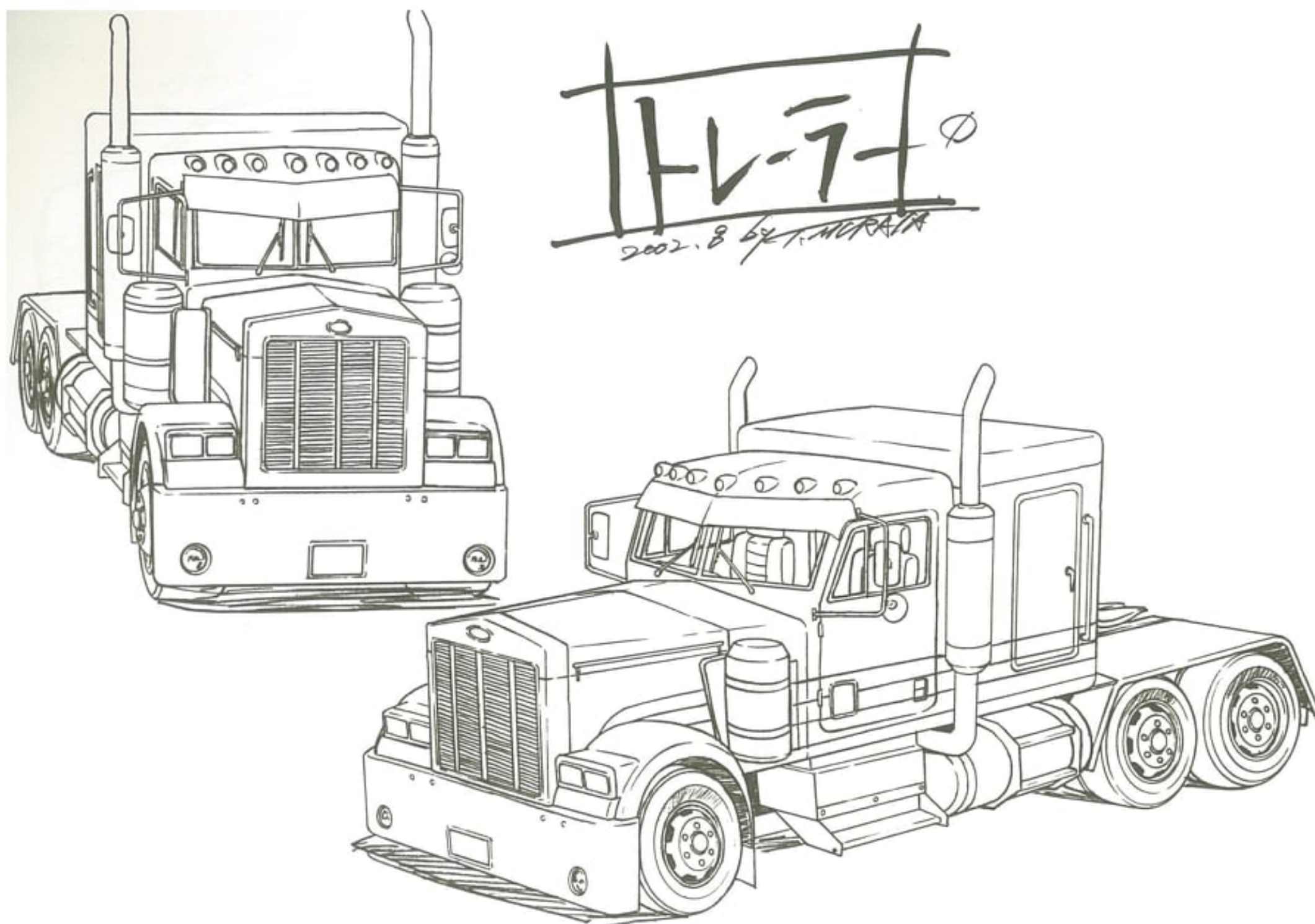
マツダ サバンナ

137

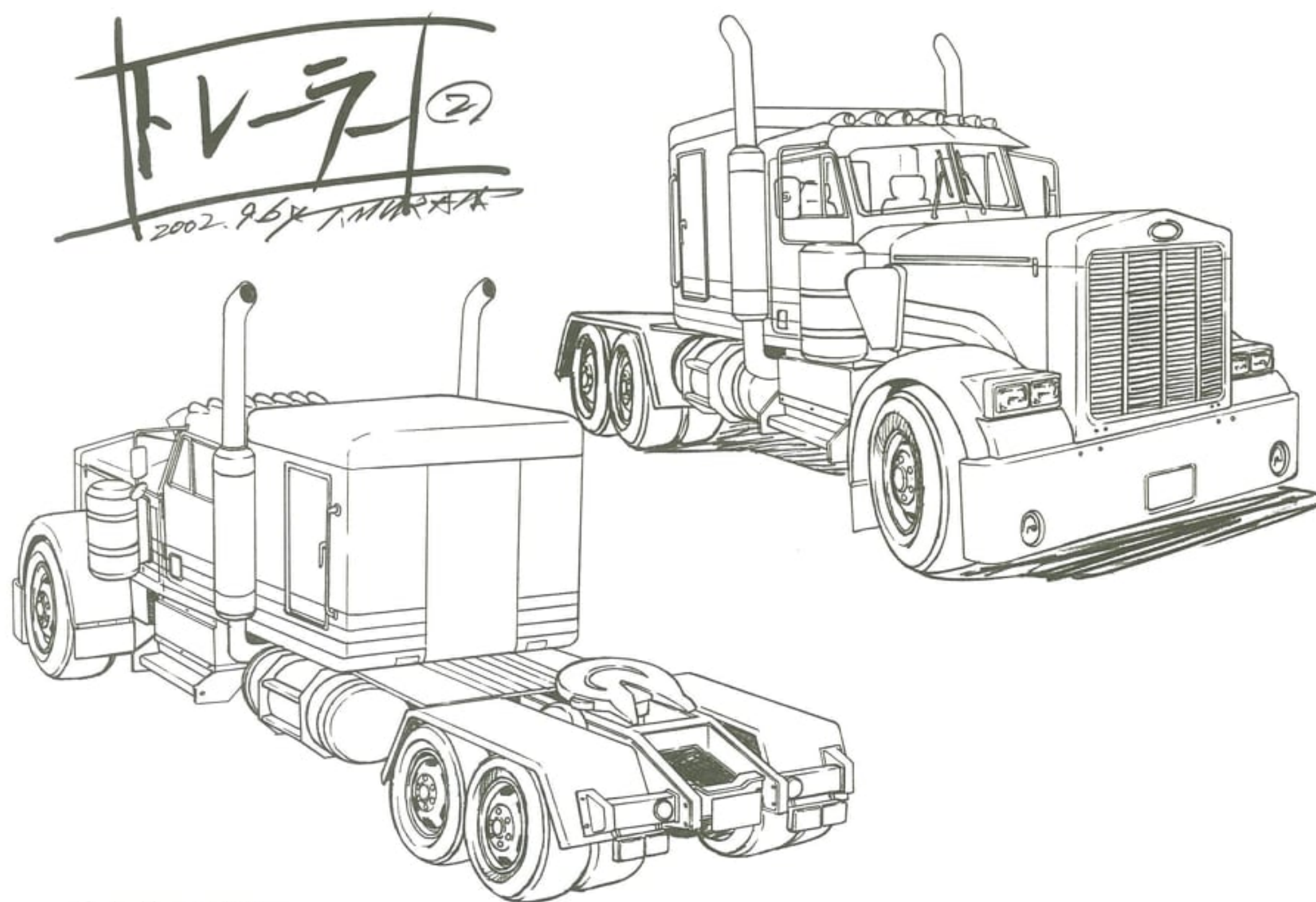
マツダ サバンナ
コクピット



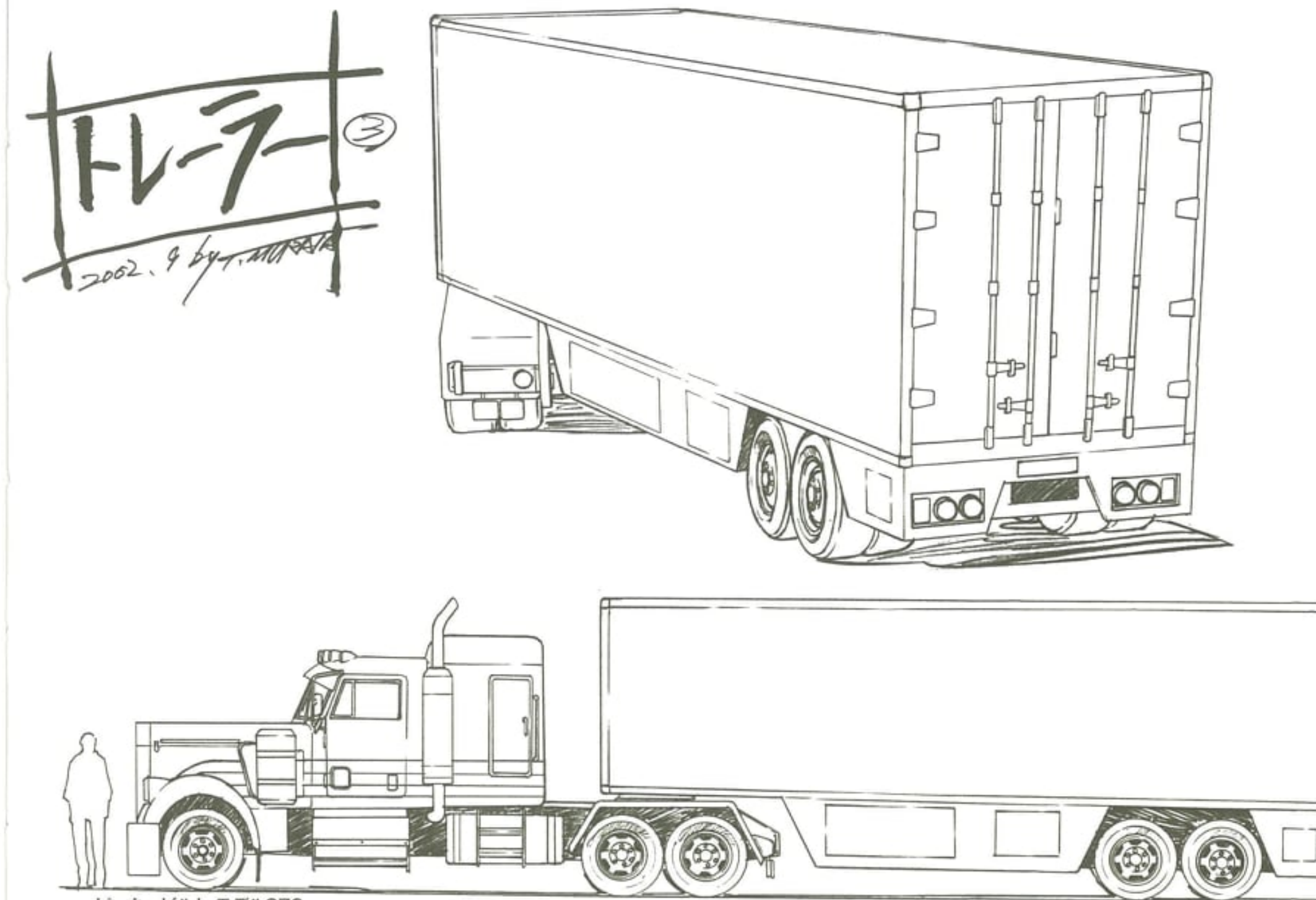
マツダ サバンナ [コクピット]



138

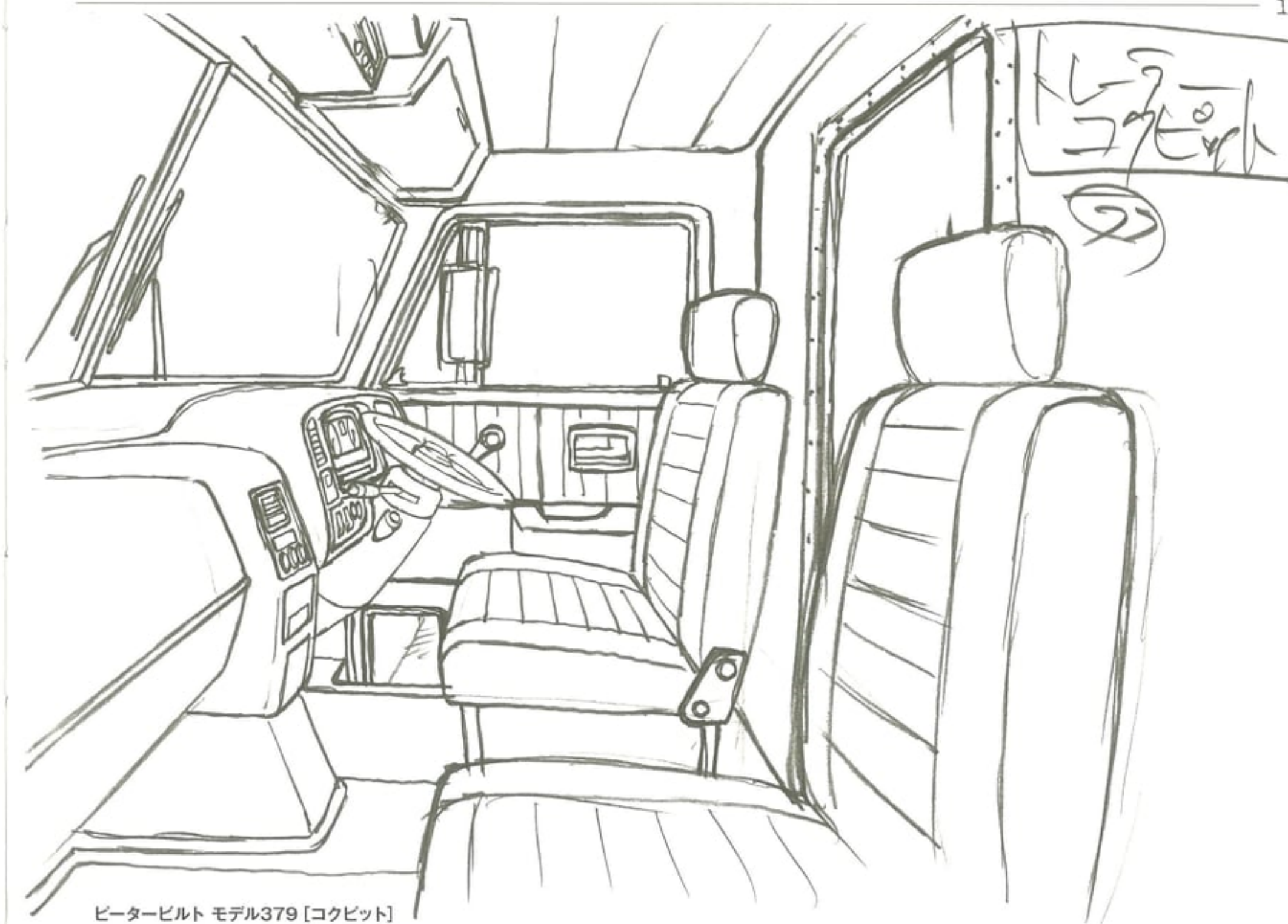


ピータービルト モデル379

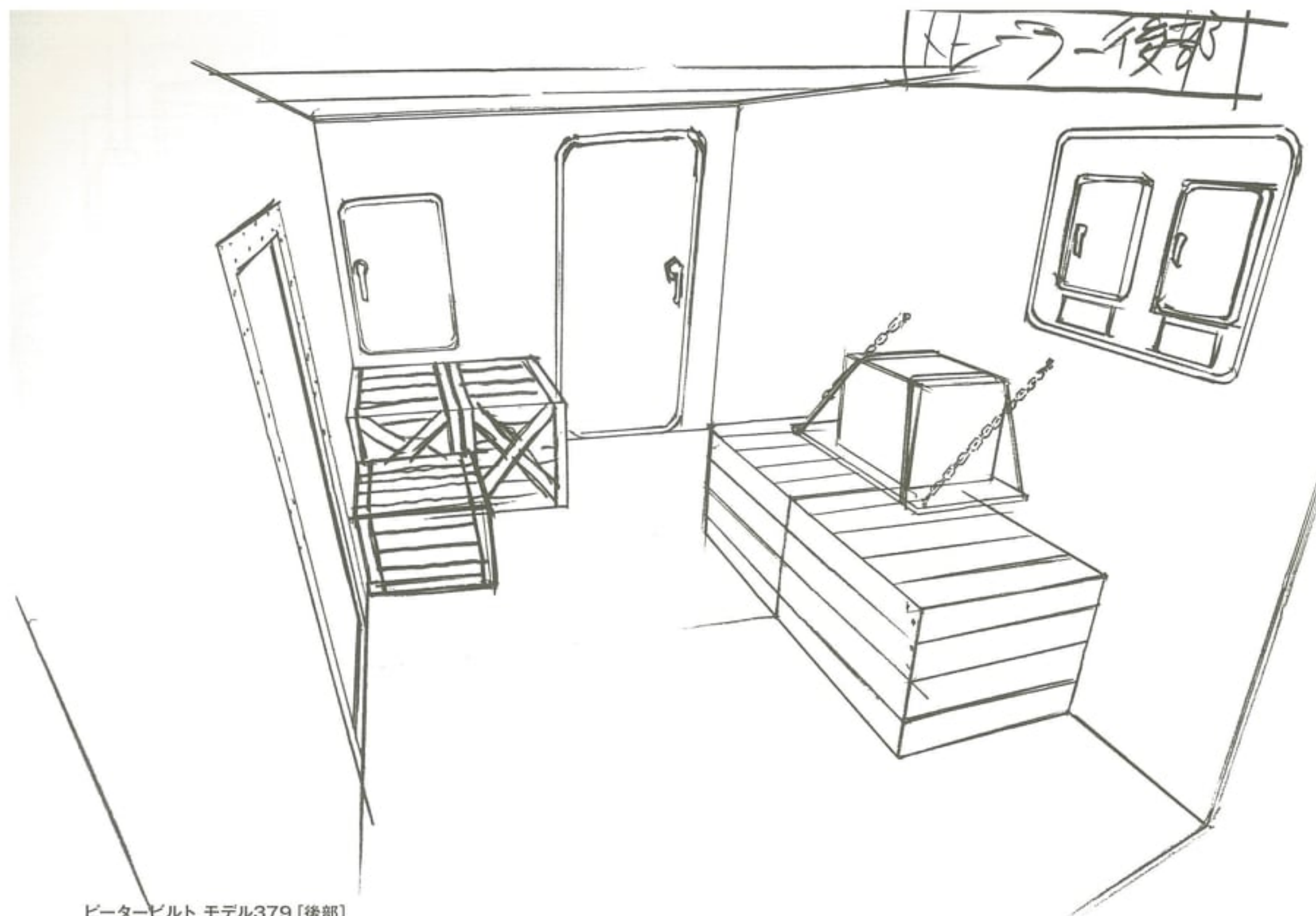


ピータービルト モデル379

139

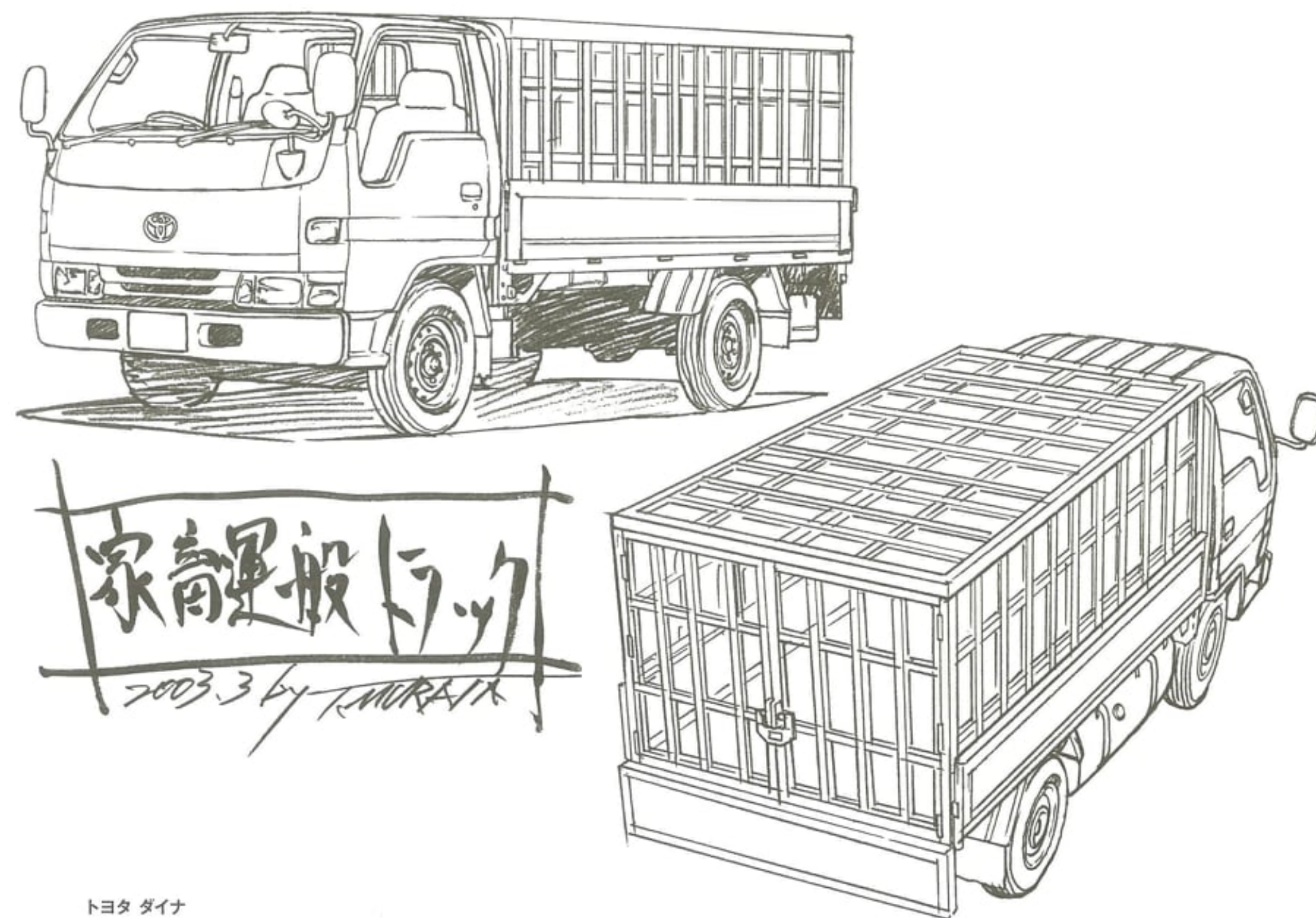


ピータービルト モデル379 [コクピット]



ピータービルト モデル379 [後部]

140

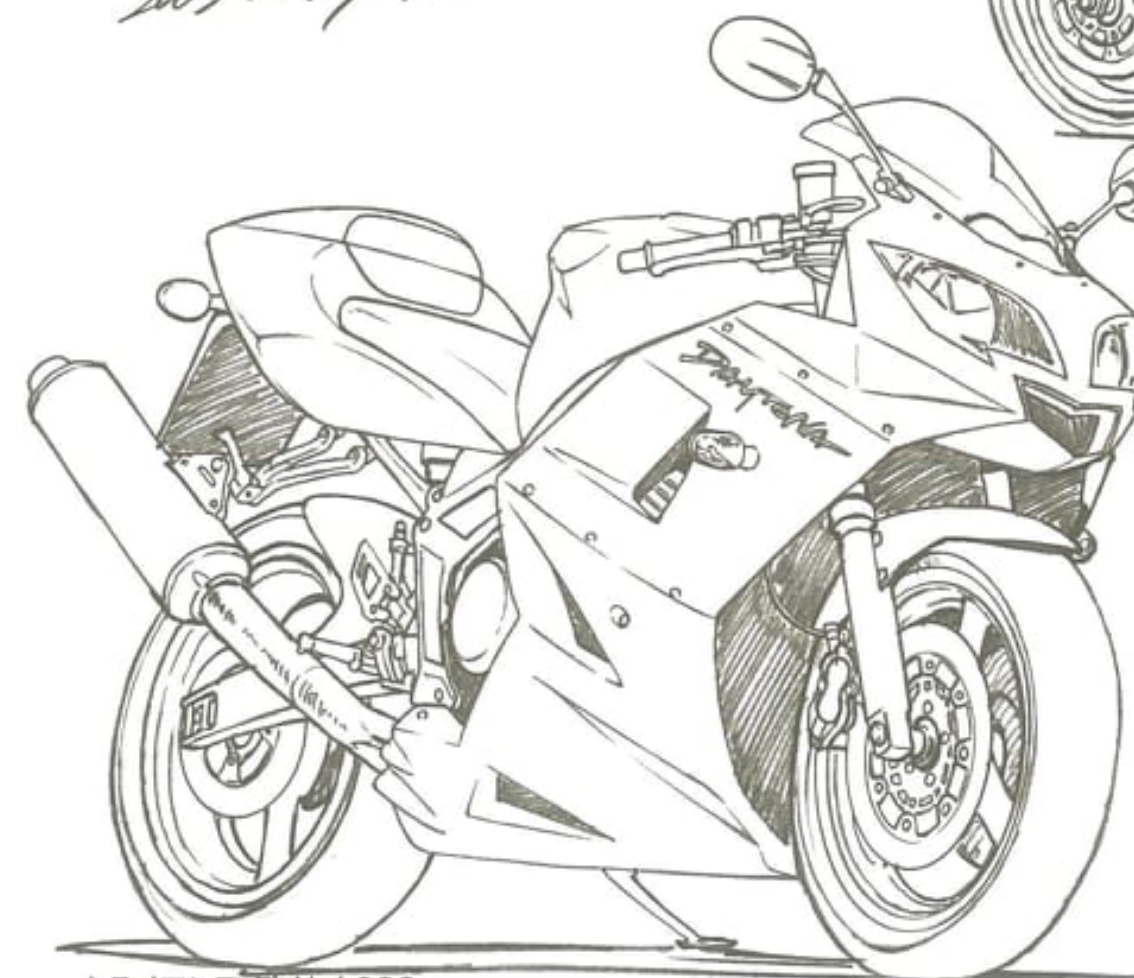
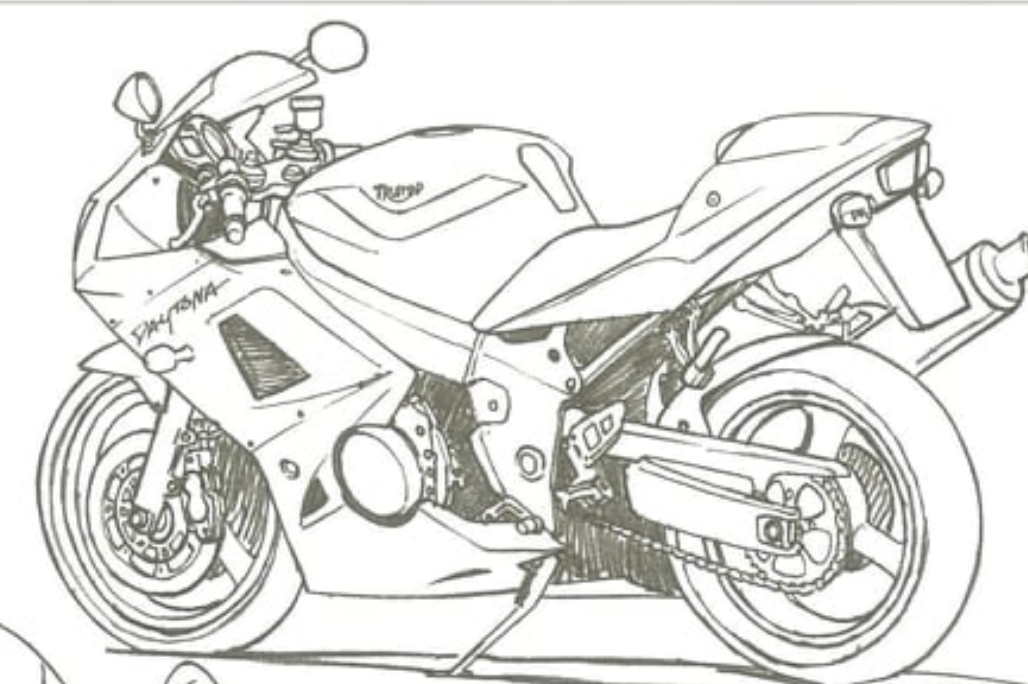


トヨタ ダイナ

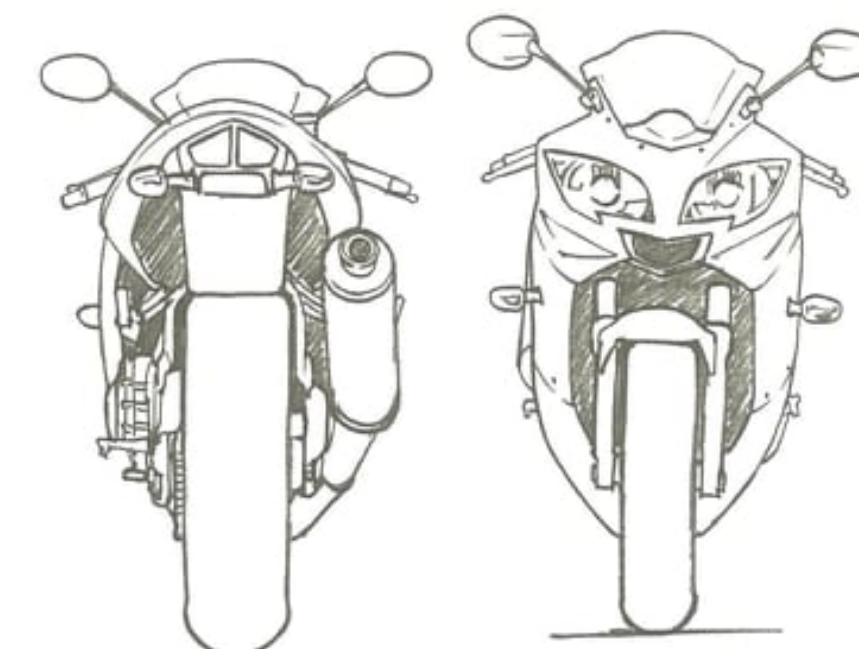


日産 ウイングロード

141



トライアンフ デイトナ600



MURATA TOSHIHARU ANIMATION WORKS REFERENCE FOR DRAWING AUTOMOBILES

掲載車輛 索引

四輪車

- ◆いすゞ
810.....70
ギガ.....62,63,64,66
- ◆スズキ
Kei.....16
アルトワークス.....51
- ◆スバル
360.....134,135
R-2.....15
インプレッサ WRX.....60,104,105
- ◆ダイハツ
ミゼット.....116
ミゼットII.....112,113
ミゼットカスタム.....116,117
- ◆トヨタ
MR-S.....107
アルファード.....54,55
ヴィッツ.....22,23
カムリ.....19
クラウン.....13
クラウンコンフォート.....58,59
スープラ.....106
スポーツ 800.....20,21
ソアラ.....23
ダイナ.....65,71,140
ハイエース.....56,57
マークII.....24
- ◆ホンダ
S-MX.....52
T360.....118
シビック TYPE-R.....28,29
ステップワゴン.....53
トゥデイ.....4,5,6,7,8,61
プレリウド.....27
ライフステップバン.....118
レジェンド.....17,18

- ◆マツダ
RX-7.....25,108
T2000.....119
キャロル.....26
サバンナ.....137
ユーノスロードスター.....109
ランティス.....27
- ◆三菱
ギャラン.....9,10
ミニカ.....14
- ◆三菱ふそう
ザ・グレート.....70
- ◆日産
アトラス.....64
ウイングロード.....141
スカイライン.....29
スカイライン GT-R.....12
ダットサン 210.....124,125
フェアレディ Z.....30,31
ラルゴ.....64
- ◆日野
スーパードルフィン.....67
- ◆BMW
3 シリーズ.....48,49
- ◆MG
MGF.....33
- ◆TVR
サブラウ.....32
- ◆アルファロメオ
156.....40
- ◆キャデラック
エルドラド.....44
セビル.....43
- ◆ケータハム
スーパーセブン.....101,102,103
- ◆ウエストレーシングカーズ
トムボーイ.....128,129
- ◆ジネッタ
G4.....32

- ◆シボレー
トレイルブレイザー.....50
- ◆ナショナル RV
トロピカル.....58
- ◆ピータービルト
モデル 379.....138,139,140
- ◆フィアット
500.....123
- ◆フェラーリ
512TR.....36
550 マラネロ.....37
エンツォフェラーリ.....122,123
ディノ 246GT.....37
- ◆フォード
クラウンビクトリア.....18
フォーカス RSWRC.....126
マスタング.....41
- ◆ボルシェ
911.....10,11,49
- ◆マーキュリー
エイト.....42,43
- ◆マセラティ
ギブリ.....40
- ◆メルセデス・ベンツ
C クラス.....45
E クラス.....46
SLK クラス.....47
SLR マクラーレン.....120,121
S クラス.....45,136
- ◆ランチア
ストラトス.....39,110,111
デルタ.....38,39
- ◆ロータス
エラン.....34
エリーゼ.....35
ヨーロッパ.....34,98,99,100
- ◆ローバー
ミニ ERA ターボ.....31

- ◆車種不明
エコランマシン.....127
トレーラー.....114
レーシングカート.....113,127
レッカー車.....68,69
掘削機.....70
送風車.....71

二輪車

- ◆カワサキ
KLE400.....76
KSR-II.....130
ZX-9R.....78
ZXR750.....77
- ◆スズキ
レッツ.....92
GSX-400FW.....75
GSX-R750.....72,73,74,75
RGV250 Γ.....131
- ◆ホンダ
NS400R.....85
NSR250.....83
NSR250R.....131
NSR250R-SP.....83
VFR750F.....84
VFR750R.....85
XLR250R.....84
ゴリラ.....82
スーパーカブ.....93
モトコンボ.....94
- ◆ヤマハ
RZ250.....80
RZV500R.....81
TT250R.....82
TZR250R.....81
V-MAX.....79
ジョグ.....93
ビーノ.....133

- マジスティ 250.....78
- ◆BMW
R1150RT.....89
- ◆ドゥカティ
900SS.....87,88,114,115
(車種不明).....86
- ◆トライアンフ
デイトナ 600.....141
- ◆ハーレーダビッドソン
FLSTF ファットボーイカスタム.....90
イージーライダー.....91
- ◆ビモータ
YB7.....88
- ◆ビューエル
ファイアーボルト XB9R.....89
- ◆ベスバ
ベスバ.....95
- ◆車種不明
スクーター.....92
ドラッグレーサー.....132
トライアルバイク.....95
ヒルクライムマシン.....132
ボケバイ.....133

電車

- ◆JR 東日本
205 系.....96
209 系.....97
- ◆東京都交通局
12-000 形.....96

その他

- チャイルドシート.....61
中嶋剣のヘルメット.....8

対談

村田峻治 × 藤島康介

MURATA TOSHIHARU VS. FUJISHIMA KOSUKE

A TALK BETWEEN A COMICS ARTIST AND A MECHANIC DESIGNER

藤島作品と言えば
車とバイク

—— 村田さんが、藤島さんの作品でメカデザインを担当されたのは『逮捕しちゃうぞ』が最初ですか。

村田 自分が車輛をデザインしたのは、OVAの『逮捕しちゃうぞ』が最初です。藤島さんの作品だと、その前にOVAの『ああっ女神さまっ』がありますが、その作品では誰かが一人でメカニックデザインを担当していたというわけではなかったんです。蜚一のBMWのサイドカーは貞本義行さんが描いて、ドラッグレースの話では齊藤格さんが描いたと聞いています。自分が『女神さま』に参加するのは、後に作られる劇場版からとなります。

—— 村田さんが『逮捕しちゃうぞ』の原作マンガをご覧になった時の印象はどうでしたか。

村田 「ここまで描く人がいるんだ!」ということで驚きました。アニメにはできませんでしたが、『逮捕しちゃうぞ』の原作に東京から北海道まで行くキャノンボールの話があったんです。マニアックなネタまでやっていて感心してたんですね。

『逮捕しちゃうぞ』についてはアニメ化は決まっていたけど、車のデザインが難航していた時期があったんです。自分は当時『無責任艦長タイラー』の作業で平田（智浩）さんと一緒に仕事してたんですけど、平田さんの奥様で『逮捕しちゃうぞ』のキャラクターデザインをやっていた中嶋（敦子）さんから電話が来たんですよ。それで平田さんが「カミさんが『逮捕しちゃうぞ』のメカデザインを探してるらしい!」と言うので、すぐに「オレオレ!」みたいな感じに手を挙げました（笑）。

—— それで『逮捕しちゃうぞ』には、メカデザインとして参加されることになったんですね。

藤島 助かりました。参加してもらえてよかったです。

村田 役職はメカデザインではありませんでしたが、『逮捕しちゃうぞ』では車輛に限らずプロップのデザインまで自分がやっていましたね。携帯電話なんかは、待ち受け画面も考えないといけないので、結構大変でした（笑）。

藤島 OVAの『逮捕しちゃうぞ』の時から、村田さんは凄く緻密に設定を描いてくれていて、驚きました。アニメで車とバイクを描くのは特に難しいですよ。

村田 藤島さんの作品と言えば、車とバイクが重要なプロップですからね。だから『逮捕しちゃうぞ』でも『女神さま』でもアップにも耐えうる作画をしないと、それは藤島作品じゃないだろうと思いました。設定として簡略化したものを描いてしまうと、アップのカットでも簡略化されたまま描かれちゃうんですよ。

—— 村田さん自身は車輛をデザインするということについて、どのように思われたのでしょうか。

村田 子供の時から戦車や車を描いていたので、車輛も銃も飛行機もみんな好きでしたから、実在する機械のデザインなら何が来てもOKといった感じでした。

意外とそういうプロップに強いデザイナーっていないんですよ。ガンダムなどの架空のロボットを描くのが好きな人はいても、実車を描くのが好きな人はあまりいないんですよ。

藤島 ガンダムを描ければ、車も描けそうだけどなあ。人型じゃないからかな? 関節が複雑に動く分だけ、ロボットのほうが難しそうですけど。

村田 そう思うんですけどね。

『逮捕しちゃうぞ』のディテールへの
こだわり

—— 車輛のデフォルメやメリハリの付けかたは、マンガとアニメで違うものですか。

藤島 どうだろう? マンガだといらない部分は塗り潰しちゃうと、本編の作画でも塗り潰してしまうから、ちゃんと描かないといけなわけですよ。

村田 『逮捕しちゃうぞ』のOVAが始まった頃は、のちにプロデューサーになるスタジオディーンの野口（和紀）君が制作担当で、彼に「フレームの溶接痕まで描くんですか?」みたいなことを言われました（笑）。

藤島 『逮捕しちゃうぞ』のOVAは、古橋（一浩）監督が最初はそんなに車のことに詳しくなかったんだけど、勉強して知識を詰め込んでくれたんです。3話の時かな? 中嶋のZXR750のサイレンサーをdevilにしたので、わざわざ回り込んでロゴを映したりとかして、現場でも肉付けをしてみたいですね。

—— ホイールのデザインはどうしてたんですか。

藤島 ちゃんと実車をベースにしています。ただ、PCD（編注：ボルト穴の中心線を結んだ円の直径）が合ってるかは分からないですね。ひょっとしたら合っていないかもしれないです。

村田 アニメのデザインでは、原作に出てくる車だったら原作に合わせています。それから、基本的には実車に無いホイールは履かせてないです。『逮捕しちゃうぞ』の劇場版ではトゥデイのホイールを替えているんですが、メカ作監の水村（良男）さんが設定には描いていないホイールのロゴまで再現してくれていて、ずいぶん助けられましたね。『エクストライバー』ではインプレッサだったかな? カーボンの柄まで作画していて「ここまでやってくれるんだ」と思いました。

藤島 アップでそれを描くのは凄いですね。

—— 当時は勿論手描きですしね。

藤島 やっぱ手描きがいいですよ。CGでやると硬く感じるしね。

村田 自分もそう思います。模型でも本物の図面どおり縮小してもそれっぽく見えなくて、アレンジが必要なんですよ。それと同じでCGでやってもアレンジを加えないと、本物のように見えてくれないんです。

藤島 あと車とかバイクって、グニャグニャとたわみながら走っているのが案外歪んでいるんですよ。

村田 そこも画として表現したほうがいいですよ。

対談

村田峻治

×

藤島康介

145

藤島 人間のキャラクターを手で描いているので、合わせるならやっぱり手描きがいいですね。車やバイクのCGモデルで、作画に匹敵するものを作ろうとすると凄く大変で、一度聞いてみたら何百万円単位の金額がかかると言われたんですよ。

—— 作画の際に模型等の立体物を参考にすることはありますか。

藤島 ありますけど、見て頭に入れてから描くので、同じじゃないですね。写真を見て描くこともあるけど、写真は画角で全然違う車になるので、できれば本物を見たいですね。

村田 見られるんだったら実際に見に行きますね。OVAの『ハートカクテル（アゲイン）』に参加した時に、モトグッチの珍しいバイクが出てきたんですよ。写真だと分からないから、オーナーにお願いして実車を見せてもらって作画しました。

実車を見られない場合は、藤島さんも常連だったリンドバーグという車とバイク専門の本屋によく通ってました。そこは元々、バイク屋が経営していた本屋で、今は代官山蔦屋書店の一部になっています。ネットもなかった時代だったし、洋書もいっぱいあって、重宝しました。メカデザインをやっている後輩の子に教えたなら「こんな店があったんですよ！ 知ってたら苦労しなかったのに！」と言われました。

—— 『逮捕しちゃうぞ』では、お二人が会って打ち合わせする機会はあったのですか。

藤島 会ったのは何度かですね。

村田 基本的に電話でやりとりをしていました。自分が最初に設定画について話をしたのは、古橋監督より藤島さんのほうが先だったんです。「トゥデイとGSX-R750はこんな感じでどうですか」と言って、先に見てもらいました。

藤島 他には設定を描く上で、私が実車を持っている場合もありましたね。

村田 そうそう。実際に見させていただきました。

生っぽくするための嘘を

—— 村田さんが車やバイクを描く上で、特に気をつけている点はどこですか。

村田 カスタムしてあるものは、ありもののパーツで描くようにしています。例えばブレーキはブレンボならブレンボのパーツ、ニッシンならニッシンのパーツと、全部ありもののパーツで構成しましたね。

藤島 ありものじゃないと後で困るんですよ。「この角度だとどう見えるんだ？」って時に、ありものから起こさないと分からないし。元々マンガの時からありものを参考にして描いていて、完全に無いものを描くほうが難しいんです。

—— 藤島さんが力を入れるポイントはどこなんですか。

藤島 かっこよく見える感じですね。トゥデイだと幅広く見えたほうがかっこいいのでタイヤを外に出したりしています。そこは車次第でスポーティなら広め、旧車なら狭めと少しいじりますね。

村田 自分も藤島さんと同じでタイヤの太さはいじります。「逮捕しちゃうぞ」や『女神さま』だとタイヤの模様、トレッドパターンまで描いてました。

藤島 タイヤの柄も決めてやっていました。適当にやっちゃうとバラバラになってしまう。「逮捕しちゃうぞ」

は連載を約5年やっていて、トゥデイも連載の後半には、アシスタントに頼むことが多かったんですが、最終的には全く見ないで描けましたね。今でもわりと描ける気がする。アニメでトゥデイを動かす上で一番大変だったのは『警視庁』の文字だと思うんだよなあ。文字を動かすのは難しいですよ。画数も多いし、曲がっていると気になるし（笑）。

村田 そうなんですよ。しかも凄く潰れた特殊なフォントじゃないですか。自分が参加した『機動警察パトレイバー [劇場版]』でも『警視庁』の文字だけ直す動画検査の人がいましたからね。今ならデジタルで貼り付けできますけど。

藤島 あれもずっと描いていると慣れちゃうんですけどね。大変と言えば、レーシングスーツも大変ですね。慣れるとほぼ見ないで描けるようになるんですけど、少し経ってまた描こうとすると忘れてるんですよ。そのうちモデルチェンジしたら覚え直しになるし。最近ではレーシングスーツもどんどん難しくなってるんですよ。

村田 ヘルメットなんかも、えげつないデザインですよ。

藤島 パーツ数が凄いですよ。昔のは簡単でよかった（笑）。この間もモーターサイクルショーに行って色々試着してみたんですけど、付けてみて「なるほどね」って思うと描きなくなっちゃうんです。

—— 劇中のヘルメットやスーツも村田さんがデザインされるんですか。

村田 劇場の『女神さま』の時は自分がヘルメットをデザインして、レーシングスーツはキャラデザの松ちゃん（松原秀典）がやりましたね。

藤島 あの頃はレーシングスーツもまだシンプルだったけど、今だったらメカデザインのほうに回ってきそう気がする。車もどんどん難しくなってるじゃないですか。『逮捕しちゃうぞ』の頃はシンプルだったけど、今はキャラクターライン（編注：車のボディラインを構成する線）がいっぱい入っていて、描くのがすげえ大変。キャラクターラインをZ型にしたりとかしてるし。

—— 角度によってこのラインが見えるとか。車ってそこも魅力ですよ。

藤島 魅力ではあるし、難しいところですよ。例えば、見せたいところが回り込んだ部分で、その構図だと見えないはずだったとしても、描いてしまうよね。

村田 そうそう。その辺は興味のある人じゃないと勘所が分からないんですよ。ドアのラインも、見えても見えなくてもいいアングルの場合、描かないほうがよかったりすることもあるんです。さっき藤島さんが「CGは硬い」と言っていたのは、そういうことです。嘘をつくのが難しいんで、生っぽくならないんですよ。そういった部分でも、興味とかセンスが必要になってくる。勿論、CGでもやればできるはず。ハリウッドの映画では、CGでそれをやっているわけだし。

藤島 日本の場合は予算の問題もあるけど。

村田 車をちゃんと動かすだけで、かなり費用がかかるでしょうし。ハリウッド映画では、もうCGの車と実際の車の区別がつかないですからね。

藤島 そこがゴールかと言うと、そうでもない気がするんですけどね。ハリウッド映画といえば「ターミネーター2」でバイクが4ストなのに2ストの音になっ

てるんですよ。あれだけの大作でも音は気にしてないんですね。

村田 「ブラックレイン」でも、オフロードバイクは2ストのはずなのに、音は4ストになってたりしてましたね。

—— 『逮捕しちゃうぞ』は車やバイクのデザインもそうですけど、音にもこだわってましたよね。

藤島 そうですね。全部きちんと録ってもらいました。「最低限なんとかエンジン形式と気筒数だけは合わせてください」とお願いしてたんですけど、可能な限り同じ車やバイクから音を録ってきてくれたんです。

村田 音響監督さん次第なんですよ。『逮捕しちゃうぞ』は、こだわっていたと思います。そういう実車のリアリティとの兼ね合いの話で言うと、演出さんから「トゥデイをウィリーさせてほしい」って言われたことがあったんです（笑）。

藤島 不可能だね（笑）。

村田 「トゥデイは後輪駆動じゃないからウィリーはしないんですよ」っていうところから説明しなきゃいけない。

—— アニメだから、画的な演出としてほしいってことなんでしょうね。

藤島 さすがに駆動形式を無視してウィリーさせるのは違うかな。

村田 そうそう、そういうところは分かってほしいんです。

藤島 車好きからすると、そこの違和感はオートマチックの拳銃じゃないのに連射してるぐらいおかしい感じがするんですよ。

—— 演出との兼ね合いは難しいですね。『逮捕しちゃうぞ』『女神さま』は車輛関連について、藤島さんのリクエストはかなり反映されていたんですね。

藤島 ですね。過分にやってもらって本当にありがたかったです。

村田 藤島さんのオーダーは、車やバイクが分かっている人のオーダーだったので理にかなったものでした。**藤島** 今、観返しても凄くと思います。今はもう車を描ける人がほとんどいないですしね。

村田 本当にはいないんですよ。CGが主流になっちゃったから描く機会が余計に減ってしまったんです。『弱虫ペダル』でも自転車やCGじゃないですか。マンガでも車やバイクをメインで描く人って、限られてますからね。

藤島 講談社はまだ多いほうですけどね。しげの秀一さんとか、楠みちはるさんとか。ご本人も車やバイクが好きな方々じゃないですか。

—— 若手のマンガ家さんだと、そもそも車とか乗り物に関心が薄くて、モチーフにもならないのかもしれない。

村田 世代というのもあるのでしょうか。

藤島 でも、最近は若い人もオートバイに乗るようになってきているからね。

村田 一時期に比べると、最近をよく見ますね。

藤島 レースに行くと若い人が多いです。女子も多い。女の子がオートバイに乗ることについて、とやかく言われない時代になってきたのかなと思います。

—— 藤島さんのマンガからの影響が？

藤島 だったらいいですね。みんなも気軽にバイクをやってみたらいいと思うし、アニメやマンガが力になってたらいいんですけどね。

好きな車、好きなバイク

—— 藤島さんは好きな車やバイクの系統はあるんですか。

藤島 どれでも好きなので、実は特別に好きな系統ってないんですよ。

村田 自分もヨーロッパ車でもアメ車でもなんでも好きですね。

藤島 ところでアメ車ってどうですか。楽しいですか。

村田 今は持っていないですけど、やっぱり面白かったですよ。ばかばかしいところがいいんです。カマロとかに乗ってた時は、ハイパワーなエンジンに載せ替えてたんですけど、油断するとホイールスピンしちゃうんですよ（笑）。

藤島 本当に何も考えてないですよ。車自体が何も考えていない。とにかくでかいエンジンを積めばいいと思ってる（笑）。

村田 パワーがほしいから排気量を倍にすればいいや、みたいな考えですよ。

藤島 でも、バカな車やバイクは面白い。アメ車ってスロットルを踏んだ時に前がガバって上がるのが面白いんですよ。あれは他の国の車にはないですからね。

村田 ないですね。ヨーロッパ車にはないデザインですね。

藤島 そういうこだわりは、マンガの「ライディングビーン」が凄くよくできてるんですよ。

村田 園田健一さんはアメ車大好きですからね。

藤島 マンガだと「ライディングビーン」と、新谷かおるさんの「クレオパトラD.C.」のアメ車が凄くいい。コルベットの大好きなんで、いつか買いたいんですけど、怖くて買えないんです。

村田 意外と壊れないですよ。

藤島 確かに単純な作りだしね。でもコルベットって、うちのガレージに入るのかなあ。

村田 コルベットは幅1.9メートルぐらいなので、そんなに大きくないですよ。

—— バイクだとお二人が好きなのは？

藤島 エボックメイキングで言ったら初代カタナだと思う。未だにあれを超えたデザインのバイクって見たことない。あのインパクトはありえないほどのものだった。

村田 自分はカワサキの空冷のZですかね。Z1も好きなんですけど、あれが一番楽しかったですね。デザインも完成され尽くしてる気がします。

藤島 かっこいいですよ。あれ。隙がないですもんね。

村田 乗ってみた感じだとハヤブサも楽しかったですよ。油断すると凄くスピードが出ちゃうんです。

藤島 確かにね。今、僕はインディアン（モトサイクル）でバイクの勉強をさせてもらってるようなかたちなんです。インディアンは、とにかく重いので曲がる時にちゃんとコーナーの手前で「こうやって曲がるぞ」って準備しておかないとえらい目に遭う。でも、それがちゃんとできると素直に走るんですよ。ブレーキのリリースが早いと、フロントはアワアワになっちゃうし、どこでリリースするかも一生懸命考えないといけないんだけど、面白いんです。

—— デザイン面でお気に入りの車はありますか。

村田 デザインだと旧車のほうがいなくなってなっちゃいますね。新しいのも悪くはないんですけど。

対談 村田峻治 × 藤島康介

藤島 フェラーリ 308がいいかな。フェラーリの中で最もカッコいいフェラーリだと思います。

村田 自分もそう思います。一番好きなフェラーリですね。という感じで、なんか自分と藤島さんって趣味が合うんですよ（笑）。308は、本当に完成されつくしてますよね。

藤島 シュッと尖っててカッコいいんですよ。最近のフェラーリ、どんどん幅広くなってゴツゴツしてきて。308ってシンプルに見えるんだけど、もの凄く複雑なラインになっていて見どころが多いんです。

村田 その辺では（フェラーリ）288GTOが一番好きなんです。

藤島 あれは買えないですね。（編注：生産台数272台で価格は2億円以上）

村田 288GTOと比べると308は、まだ頑張れば買えそうな値段ですね。

藤島 まだ308は、全然買える値段ですね。好きだけど買えない車も画で描く分にはタダなんですけどね。

村田 車好きのマンガ家は、本物は買えないけど描いて楽しもうみたいな感じで画で描いてストレス発散してる場所はありますよね。

—— フィクションに出てくる車やバイクで印象深いものはありますか。

藤島 フィクションだと、どうしても変わった車になるんだけど、やっぱり「バック・トゥ・ザ・フューチャー」かなあ。よりによってデロリアンを持ってきてしまうところとか。

村田 映画しか知らない人は驚くんですけど、デロリアンって本当にある車なんです。撮影用に色々つく付けてますけど、元の車が実在するんです。劇中に「デロリアンをタイムマシンにしちゃったの？」というセリフもありますね。

藤島 デロリアンはむき出しのステンレス製という凄いや車なんです。

村田 塗装されていないけど錆びないんですよ。自分は映画からアメ車好きになったので「パニシングin60」や、スティーブ・マックイーン「プリット」に出てくるマスタングとか。スーパーカーブームの時にそういう映画を見て好きになって、友達みんなカウンスラックや（フェラーリ 512）BBと言ってるけど、自分はヘソ曲がりなので「マスタングが最高」とか言っていました（笑）。あと「マッドマックス」に出てくるKZ1000かな。あれで空冷Zが好きになった人って、結構多いみたいですからね。他には「トップガン」のニンジャとかも好きですね。

藤島 ああ。俺はニンジャ、持ってないんだよね。

村田 ニンジャは750Rと900Rを持ってましたね。

藤島 水冷のGPZなら持ってます。

村田 GPZはいいバイクですよ。アメリカ人ってハーレーとか乗って直線をとどこ行くのが好きな人と、ロサンゼルス郊外で峠へ行くのが大好きな人と二極化してるんですよ。だから「日本の車やバイクが最高」って言うてる人も結構いるんですよ。『ワイルド・スピード』の1作目もRX-7とかスーブラとか日本車がフィーチャーされていて、スポーツコンバクトって名前が日本車が人気があったりするんです。

『逮捕しちゃうぞ』のトゥデイとGSX-R750

—— キャラクターと車、キャラクターとバイクの組

み合わせで思い入れのあるものはありますか。

藤島 それで言うとうデイと夏実と美幸の二人かな。

村田 そうですね。

藤島 あれもトゥデイが好きで選んだわけではなくて、資料で買える軽自動車のプラモデルが当時トゥデイしかなかったんですよ（笑）。2ドアなんでミニバトには向いてないんですけどね。マンガだしいいかと（笑）。でも、そのままやっても面白くないと思って、ターボを付けたりとしました。

—— 今だったら別の車にしますか。

藤島 違う何かを考えるとと思いますね。どれにするかなあ。

村田 今は尖った軽ってないから難しいですよ。アルトとか見ても、アルトワークスが元気だった頃のアルトは、どこ行っちゃったのみたいな感じがありますね（笑）。

藤島 あれはギリギリまで攻めた車でしたよね。

村田 当時はコンパクトで尖ったの多かったですからね。マーチのスーパーターボとか。

藤島 トゥデイも元々は普通の車だったんで、そういう意味では選べるんだらうけど、今はあんまりカッコいいのがないんだよね。トゥデイは、くさび形のデザインがカッコよかった。

村田 デザイン的には完成してますからね。

藤島 フロントの傾斜がすさまじいじゃないですか。居住性を気にしてないところがよかったんです。解放感はあるんですけどね。

村田 フロントウィンドウが凄くでかいんですよ。

藤島 無駄にでかい。でも、速そうじゃない車を速くするのは面白いですね。

—— トゥデイ以外で印象深いものはありますか。

村田 よくできたかなと思ったのは、中嶋とGSX-R750ですかね。設定を描く時に一番苦労したバイクですよ（笑）。

藤島 形が分りにくいらね。

村田 藤島さんにも相談したじゃないですか。バイクに取り付けるシングルシートカウルのパーツを探すのに苦労してて、1点もののパーツにしちゃう案もあったんですけど、美幸や中嶋はお金持ちじゃないから、ありもののパーツを使うだろうと思ったんです。色々探したらヨシムラのボンネビルがそっくりだったので、それにしようということになりました。だから、ガソリンタンクもボンネビルのパーツなんですよ。

藤島 実際にはボンネビルのパーツって高くて、なかなか買えないので、レプリカのパーツが多いんですよ。

村田 オリジナルのボンネビルは台数少ないから、本当に実車が見られただけでもめっけものだったんです。GSX-R750は中嶋のキャラに合っているし、白バイに付いているスピーカーを2つあるヘッドライトの片方に仕込むのもいいアイデアだなと思いました（笑）。

藤島 たまたまね、実際にびったりかは知らないですけど、空いているなと思いついたんです。

村田 あと、演出で使ってくれるのを期待しつつ、コクピットの設定もちゃんと作ったんですよ（※P74）。どれがどのボタンで、どこにジャックがあってというのも決めたんです。例えば中嶋と美幸が喧嘩をして、喧嘩の後で、中嶋が「おーい、待ってくれ」とスピーカーを使って呼びかけるような時に、スイッチを押すカットを作ってくれないかなと思ったけど、全然使ってもらえなかった（笑）。

藤島 設定があるなら、ちょっと使ってみたくなる人もいていいのに。

村田 設定の作業って期待感も含めて、事前に色々なものを用意しなきゃいけないから難しいですね。

モトコンボは載る？ 載らない？

—— ここからは、今回収録される設定を見ながら振り返っていききたいと思います。

藤島 マンガを描いてる最初の頃は、パトライトの構造が分からなかったんですよ。モーターショーに行ったら、パトライトのメーカーにももらったカタログに、中身の写真があって「やった！ 欲しかったものだ！」ってことがありました（笑）。

村田 自分は原作に描いてあったので、それを参考にしながら描きました（笑）。

藤島 パトライトも今は変わっちゃいましたけどね。懐かしい感じがですね。

村田 ホイールにボルクレーシングのロゴまで描いてあるのは、やりすぎといわれればやりすぎなんですけど（※P4／ホンダ トゥデイ）。

藤島 でも、アップにした時にね。

村田 そうそう。描いてもらわないと困るから。でも、こうやって見ると時代を感じますよね。ラップトップのMacもアニメのシリーズが進むにつれて、バージョンアップしていききましたからね。

藤島 こんな時代になると思ってなかったからなあ。カーナビもこんなに普及するとは思ってなかった。

村田 最近だとドライブレコーダーまで付いてますしね。

藤島 こっちのは自動車電話が付いている（笑）（※P18／ホンダ レジェンド [自動車電話]）。

村田 時代で変わりますからね。昔の携帯電話は大きかったですねえ。最初の「リーサル・ウェポン」とか見ると「うわ、デケえ」って思いますね（笑）。

藤島 それでも通信できるだけで凄かったからねえ。

—— 今だとトゥデイの内装も変わりそうですね。

藤島 変えるでしょうね。あとステアリング（編注：ハンドル）もノーマルのを使ってたんだよね。なぜかノーマルを頑なに守っていた。

村田 警察車輛だからって考えればノーマルなんですけどね。

藤島 後半はシートをバケットにしちゃったけどね。

村田 最後はエンジンもふたつになっちゃってましたね（笑）。

藤島 おかげで後ろに何も載らなくなっちゃった。

村田 設定で悩んだのは、トゥデイのトランクに積むモトコンボの載せ方（※P8）をどうするかなんですよ。

藤島 まあ、夏実がなんとか載せるから大丈夫ですよ。本来載らないんだけどね。

—— サイズ的には可能なんですか。

藤島 いや、載らないです（笑）。3センチぐらいトゥデイの大きさが足りない。

村田 モトコンボは、シティという車に載せるために設計されているので、トゥデイには微妙に載らないんです。一回り大きいんですよ。

藤島 だから、マンガでも大分小さく描いてたんです（笑）。

—— スタジオディーンにうかがったことがあるんで

すが、モトコンボがちゃんと置いてありました。お邪魔したのは『逮捕しちゃうぞ』のかなり後でしたけど。

藤島 うちにもありますよ。ホコリをかぶってて絶対に動かないけど。

村田 そう言えばツイッターで、この本の告知をしたらOVAのキャンペーン用に製作したトゥデイの実車を持っていた人が反応してくれたんですよ。

藤島 あのトゥデイは廃車になっちゃったらしいですね。

村田 いや、松戸に旧車を飾っているところ（編注：昭和の杜博物館）があって、そこに保存されているようですよ。

藤島 トゥデイはなぜか知らないけど、バトカーにするとカッコいいんですよ。そう言えば、最近のバトカーって、フェンダーミラーじゃなくても大丈夫になってますね。

村田 確かそうですね。

「悪いことするのは外車にしよう」

村田 『逮捕しちゃうぞ』のTVシリーズの時には、変な不文律があって「日本車が悪いことをしてメーカーから文句を言われると困るから、悪いことするのは外車にしよう」と言われていたんですよ。そうしたら銀行強盗する貧乏な奴の車がBMWだと聞かされて、ちょっとそれは待ってくれと（笑）。ただ、OVAの「東京タイフーン・ラリー」の時はランチアだったかな。

藤島 だんだん途中から、そのルールも関係なくなっただんですけどね。

—— これがその悪いことする外車ですね。酔っ払い中年男の外車（※P45／メルセデス・ベンツ Cクラス）です。

村田 路駐してストライク男にやられちゃうのも、キャデラックなんですよ（笑）（※P43／キャデラック セビル）。こいつ（※P37／フェラーリ 550 マラネロ）は、最近のフェラーリとしては嫌いじゃないです。

藤島 アメ車っぽくていいですね。

村田 「パッドボーイズ2パッド」に、ウィル・スミスの車として出てましたね。

藤島 これもね。こんなことしちゃってねえ。相模大野さん（※P10／ボルシェ 911）。

村田 現実にはありえないですからね。

藤島 でも凄いやバトカーが、時々あるからなあ。ボルシェのバトカーとか。他にもインプレッサでしたっけ。レクサスだったかな。

村田 スカイラインGTRもありましたね。高速用で使ってるみたいですね。確かに凄いやスピードで走ってるフェラーリとかを追いかけようと思ったら、GTRとかでないと厳しいですよ（笑）。

—— ガヤ扱いの車も、ある程度村田さんが設定を描いていたんですか。

村田 ガヤの車はさすがに任せていたと思います。

藤島 キャラクターがちゃんと乗る車だったら設定する？

村田 そういう感じですね。

藤島 このZ（※P30／日産 フェアレディZ）カッコいいなあ。

村田 この形、いいですよええ。

藤島 サスペンションもいいし、ちょっと乗ってみた。前に買うか迷ったんですけど。

対談
村田峻治
×
藤島康介

村田 日産が一番やる気出してる頃の車ですからね。
藤島 エラン（※ P34 /ロータス エラン）も楽しい車でありましたね。
村田 エランは『逮捕しちゃうぞ』と『女神さま』の美術をやった加藤（浩）さんが持っていたんですよ。
藤島 ストラトス（※ P39 /ランチア ストラトス）も、大好きだけど、すげえ高くなったな。
村田 ストラトスは、うっかり買えない値段になっちゃいましたね。レブリカが出てますよね。
藤島 レブリカのほうが壊れなくていい（笑）。出ました、テスト（※ P36 /フェラーリ 512TR）。
村田 テスタはサイドのフィンの部分が苦手だったんですよ。
藤島 そこ描きにくいからなあ。
村田 フィンがないからテストでも、（後期型の）512TRは嫌いじゃないです（笑）。同じ世代でも 348のほうがデザイン的にはいいかな。
藤島 FD（※ P25 /マツダ RX-7）は人気ですよ。でもこの車は描きにくいんだよなあ。
村田 そうなんですよ。
藤島 しげの秀一さん、よくFDを描いてたなあ。
村田 凄いですよね。コークボトルと呼ばれてるぐらいいにくびれたデザインなので立体が複雑なんですよ。
藤島 断面を見ると凄く難しいデザインで、これに比べたらテストが簡単に見えるぐらいくにやぐにやしてるんです。よくこれを量産してたよね。
村田 日本のメーカーじゃなきゃ出せなかった形ですよ。
藤島 FDは凄い名車。しかも、これがかなり安かったんですよ。
村田 マツダは、どうやって採算をとってたんだろう。どっかの車雑誌で「これをフェラーリが出してたら、とんでもないことになるぐらいいいデザインだ」と書かれていたこともありましたね。
藤島 確かにねえ。このロータリーが苦手だったんだよなあ。
村田 ロータリーは、FC（※ 2代目 RX-7）に自分が乗っていて痛い目にあったので、もういいです（笑）。
藤島 ロータリーは、好きな人と好きじゃない人が分かれるんだと思う。
村田 まわりにもファンは多いけど、好きな人は本当に好きですからね。
藤島 やっぱり、アメ車っていいなあ（※ P42 /マーキュリーエイト）。これ（※ P44 /キャデラック エルドラド）も描くのが大変そう。特にバンパーを描くのが大変なんですよ。メッキでキラキラしてるから、いまだに形が把握できないんですよ。写真で見ても分からない車の代表格かな。
村田 ロケットテールのアメ車で、飛行機みたいなデザインにしたかったんだろうって思います。
藤島 本当に、この時代のアメ車って頭が悪くていいですよ。デザインをおもちゃにしてる。
村田 オイルショックまでのアメ車は本当に面白いですね。サイズの制限がないのでのびのびしていますね。
藤島 のびのびしすぎて、なんメートルあるんだよ。曲がれねえだろと（笑）。
村田 向こうは前向き駐車が前提ですからね。バックすることを考えてない。間隔が凄く広いからバックでも切り返ししないで出せる。やっぱりこういうのは、土地が広いアメリカならではの車ですよ。ヨーロッ

パは、やっぱり土地がそんなに広くないから日本車と同じような感じになる。
藤島 外国人は本当にぶつけながら入れますからね。目撃した時に「本当にやってるよ」って思いました。
村田 そのせいでボロボロになってる車もありますよね。

4～6話分を1日で

藤島 インブレッサは、これが一番カッコいいな（※ P60 /スバル インブレッサ WRX）。
村田 そうですね。今の世代より3ボックスだった頃のインブレッサのほうがいいですね。
藤島 このチューニングをしたやつに乗りましたけど、死ぬほど速かったです。このたこ焼き屋のパン（※ P57）は、どういう設定でしたっけ？ たこ焼き器が載ってない。
村田 そう言えば、たこ焼き器のオーダーはなかった。謎ですね。言われるままに描いた気がするんですけど。―― 内装やシートのデザインも本物から？
村田 カタログのとおりです。結局、設定として色々な要素を作っていると写真のように描くしかなくなってくるんですよ。何枚も描かないといけなくなってしまうので。―― 設定画を描くのにはどのぐらいの時間をかけるんですか。
村田 自分でも信じられないんですけど、『逮捕しちゃうぞ』の最初のTVシリーズの時って『EAT-MAN』のキャラデザと作監もやって、『逮捕しちゃうぞ』の設定に使えるのが日曜だけだったんですよ。大体4話～6話分を1日であげていました。
藤島 スピード速っ。
村田 描いてて困ったら、例の本屋のリンドバークにすっ飛んで行って、さも買いそうな顔をして、車のカタログをもらってきたりしてました。
藤島 写真からトレスしてないですもんね。ちゃんとアレンジが入っている。
村田 トレスしようと思っても画角の問題で切れてしまったりするので、あとは想像で描くしかない。アルトワークスはこれ（※ P51 /スズキ アルトワークス）が一番いいですね。
藤島 速かったなこいつ。よくぶっち切られたわ。
村田 ドッカンターボですからね。
藤島 このトレーラー（※ P62 /いすゞ ギガ）が、また大変なんだよなあ。構造がよく分からなかったんで、現場に行ってある程度見たり、プラモデルを買い集めてはいるんですけど、そもそもこういうトレーラーは、日本のレースでは使わないんですよ。角が曲がれなくて、ツインリンクもてぎにも入れないんです。立体交差の下に凄く狭い角があって、普通のトレーラーでもギリギリ。鈴鹿のほうが全然マシ。鈴鹿はF1ができるんだから。
村田 このレッカー車（※ P68）も、現場から『「ドラえもん」ぐらいい線減らせませんか?』って言われましたけど、そういう現場の声を聞いてしまうとあんまりいいデザインができなくなってしまうので、それは聞けませんでしたね。
藤島 レッカー車を出す段階で、そうなるのは仕方がない。
村田 レッカー車がカーチェイスするシナリオにして

から文句を言うなと（笑）。こっちも4枚描いて大変な思いをしてるんだから。牽引している設定も描いて「レバーが邪魔なんで取れませんか」とも言われましたけど「あるものはあるんだからしょうがないの!」という感じですね。ちょっとしか出てこない部分は加減してますけど。
藤島 それでも充分に面倒くさいけど（笑）。しょうがないよね、レッカー車なんだから。
村田 車って結局面倒くさいんですよ。これは（※ P72 /スズキ GSX-R750）外装部分以外がヨシムラのボンネビルなんですよ。
藤島 買うに買えない値段のバイクだね。
村田 うっかり買おうとしても買えない値段なんですよ。
藤島 そもそも値段がつかない。誰も手放さないから売ってない。
村田 幻のバイクですからね。―― 『逮捕しちゃうぞ』のお話が続きましたが、『女神さま』はいかがでしたか。
藤島 架空の車やバイクが多かったですよ。
村田 『女神さま』になるとそうですね。
藤島 架空のものも、機構は考えながら描いているんですよ。ただそれをアニメで拾うのはすげえ大変だろうなと思いますよ。
村田 そうですね。
藤島 このヒルクライムマシン（※ P132）は、実際に存在する車なんですよ。
村田 アメリカにありますね。
藤島 おお、もうこの時代にビーノ（※ P133）を描いている。『ゆるキャン△』を先取りしてますね。
村田 そんなことはないです（笑）。あっちはCGですよ。―― 『エクストライバー』では、藤島さんはどの程度までコンセプトを出されたんですか。
藤島 内容だけかな。デザインはやってないんですけど「出すなら、この車がいいんじゃないの」と提案したりとかしきましたね。
村田 この頃は、もうツーカーな感じだったので、大体お任せしてもらっていました。あとA1カーについては自分はまったくタッチしてないです。A1カーは、他の方がデザイナーとして立っている。自分のところには、ありものの車のデザインが来る感じでしたね。
―― 『エクストライバー』のデザインは、他の藤島作品と同じラインで、なるべくリアリティをもたせるかたちでデザインされたのでしょうか。
村田 そうです。藤島さんが関わっている作品なのでそういう前提でしたね。
―― ロータス ヨーロッパ（※ P34、P98）等、車種的には同じものがありますが、その場合もデザインをやり直すのですか。
村田 このヨーロッパの場合は『逮捕しちゃうぞ』に出てきたものはシリーズ2で、『エクストライバー』はスペシャルと、形も微妙に違うので、まったくの起こし直しです。全く同じ車輛で制作会社が同じならコピーして使ったりもできますけど。
―― 今回、村田さんの設定画を見直して、何か思われたことはありますか。
藤島 僕から先に言うと、村田さんの設定がなかったら、『逮捕しちゃうぞ』も『ああっ女神さまっ』も、あ

んなに車輛の描写がしっかりした作品にならなかったわけで、本当に助かりました。車好きの方でなければ、ここまでやってもらえなかったと思います。通常なら省略する部分も、ほとんど省略されてないんです。だから、フィルムが上がる前は「こんなにまんま描いて大丈夫なんですか？ 本当にできるんですか?」と不安に思ったこともあります。むしろ、私より描き込んでくれているところもあるぐらい。
村田 自分のほうが描き込んでいたところは、確かにありましたね。
藤島 村田さんのほうが正確に車を描いていますよね。私は実車よりも丸く描いているんですけど。
村田 原作はかなり丸くなってますね。とは言え、基本的には原作を忠実に再現することを目指していたので、なるべく違いがないようにしようとしていたというのもあるんです。今回あらためて見直して、あまり簡略化しなくてよかったなと思いました。
―― 今回一冊の本にまとまった感想を。
村田 自分がやったことが、こうしてアーカイブされるのは非常に嬉しいですね。
藤島 僕もアニメファンとして設定画って好きなんです。それが本にまとまるということは、とてもエキサイティングなことですよ。

対談 村田峻治 × 藤島康介

藤島康介（ふじしま こうすけ）

漫画家、イラストレーター。1964年7月7日生まれ。主なマンガ作品に『逮捕しちゃうぞ』『ああっ女神さまっ』『パラダイスレジデンス』等。マンガ作品以外にもゲーム『サクラ大戦』シリーズや『テイルズオブ』シリーズ等のキャラクター原案を手掛け、OVA『エクストライバー』ではキャラクター原案と共に企画、原案も務めた。現在は月刊アフタヌーンにて『トップウGP』を連載中。

村田峻治

ANIMATION WORKS

車輛設定資料

2019年12月14日 第1刷発行

【企 画】 小黒祐一郎
【編集・デザイン】 村上修一郎
【編集スタッフ】 小林 治、鈴木知哲、佐野清彦、林原竜太
【編集協力】 芦田忠明、野口智弘、安原まひろ
【表紙デザイン】 坂根 舞（井上則人デザイン事務所）

【協 力】 株式会社講談社
株式会社バンダイナムコアート

一般財団法人昭和の杜博物館

【発行人】 小黒祐一郎
【発行所】 株式会社スタイル
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-34-1
広告塔センタービル 3 階
電話：03-5953-3986

【印刷・製本】 株式会社シナノバブリッシングプレス

Printed in Japan

©1994・1995 藤島康介／講談社・バンダイビジュアル・丸紅
©1997 藤島康介／講談社・TBS
©1999 藤島康介／講談社・バンダイビジュアル・TBS・スタジオディーン
©1999 藤島康介／TBS・バンダイビジュアル・東映ビデオ・スタジオディーン
©藤島康介／逮捕しちゃうぞ製作委員会
©KOSUKE FUJISHIMA／"YOU'RE UNDER ARREST" PARTNERSHIP
©藤島康介・講談社／墨東署交通課

©2001 藤島康介・exd・BV／D・G・A

©2000「ああっ女神さまっ」映画製作委員会
©藤島康介・講談社／「ああっ女神さまっ」製作委員会
©藤島康介・講談社／「お助け女神事務所」分室

©青樹佑夜・綾峰欄人・講談社／チーム寄道屋

©2019 村田峻治
©2019 株式会社スタイル

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配付は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。